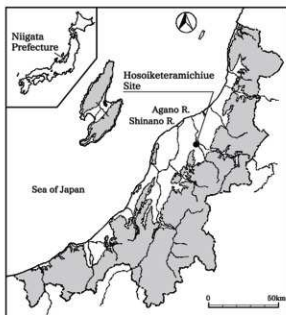


ほそ いけ てら みち うえ
細池寺道上遺跡Ⅲ 第26次調査

— 県営ほ場整備事業（担い手育成型）両新地区に伴う第12次発掘調査報告書 —



2014

新潟市教育委員会

例 言

- 1 本書は新潟県新潟市秋葉区大安寺字上手外 80-1 番地他に所在する細池寺道上遺跡（新潟市遺跡番号 151）の発掘調査記録である。書名は旧新潟市教育委員会および新潟市教育委員会刊行の発掘調査報告書〔北村・菊池^{as} 2004、潮田 2014〕に続く 3 冊目の報告書であることから『細池寺道上遺跡Ⅲ 第 26 次調査』とした。
- 2 調査は県営ほ場整備事業（担い手育成型）同新地区造成に伴い、新潟県から新潟市が受託した。調査は新潟市教育委員会（以下、市教委という）が調査主体となり、新潟市文化観光・スポーツ部歴史文化課埋蔵文化財センター（以下、市埋蔵文化財センターという）、平成 23 年 7 月より新潟市文化観光・スポーツ部文化財センター、平成 26 年 4 月より新潟市文化スポーツ部文化財センター（以下、市文化財センターという）が補助執行した。
- 3 平成 20 年度に発掘調査と整理作業、平成 21・25 年度に整理作業、平成 26 年度に報告書刊行を行った。発掘調査と整理作業の体制は第 III 章に記した。
- 4 出土遺物及び調査・整理作業に係る記録類は、一括して市文化財センターが保管・管理している。
- 5 本書の編集は立木宏明（市文化財センター主査）・相澤（高野）裕子（市文化財センター副主査）が行った。遺構図版は相澤（高野）、土器・陶磁器・土製品・鉄製品・木製品図版は相澤（高野）、石製品図版は立木・相澤（高野）、遺構写真図版・遺物写真図版は相澤（高野）が行った。執筆分担は以下の通りである。
第 I・II・III 章・第 V 章第 4 節 C・第 VIII 章第 3 節を立木、第 IV・V 章（第 4 節 C を除く）・VII 章第 1・2 節を相澤（高野）、第 VII 章第 4 節を立木・相澤（高野）が行った。なお、第 VI 章については（株）火山灰考古学研究所に委託した。
- 6 第 II 章第 2 節を『中谷内遺跡発掘調査報告書 II』〔渡邊^{as} 2002〕および『萱免遺跡第 2 次調査』〔立木^{as} 2009〕から引用・一部加筆した。
- 7 本書で用いた写真は、遺跡写真は立木・潮田・相澤（高野）が撮影し、遺物写真は佐藤俊英氏（ビッグヘッド）に撮影を依頼した。ただし、写真図版 1 は米軍（国土地理院発行）、写真図版 2・3 上は（株）オリスが撮影、写真図版 86・87 の墨書赤外線写真は（財）元興寺文化財研究所が撮影したものを使用した。
- 8 遺構図のトレースと各種図版作成・編集に関しては、有限会社不二出版に委託してデジタルトレースと DTP ソフトによる編集を実施し、完成データを印刷業者へ入稿して印刷した。
- 9 調査から本書の作成に至るまで下記の方々・機関より御指導・御協力を賜った。ここに記して厚く御礼申し上げる。
阿部泰之・伊藤秀和・小黒博史・尾崎高宏・春日真実・小林 弘・加藤 学・笹澤正史・澤田 敦・高橋保雄・
鶴巻康志・戸根与八郎・土橋由理子・古澤安史・本田祐二・水澤幸一・横山勝栄
新潟県教育庁文化行政課・（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団・新潟県新潟地域振興局新潟農業振興部・
新潟郷土地改良区

（所収・敬称略、五十音順）

凡 例

- 1 本書は本文・別表と巻末図版（図面図版・写真図版）からなる。
- 2 本書で示す方位は全て真北である。磁北は真北から西偏約7度である。掲載図面のうち、既存の地形図等を使用したものは、原図の作成者・作成年を示した。
- 3 図版2は「新津町外二ヶ村開田耕地整理組合現形図」1922年（新津郷土地改良区所蔵）、「新津郷耕地整理組合現形図」1940年頃（新津郷土地改良区所蔵）を縮小し、「新津市都市計画図」1995年（旧新津市）と重ね合わせたものである。
- 4 本文中の注は各章の末尾に記した。引用文献は著者と発行年（西暦）を〔 〕中に示し、巻末に一括して掲載した（但し、第VI章は章の末尾に記した）。
- 5 遺構番号は現場で付したものを用了。番号は遺構の種類ごとに付さず、通し番号とした。
- 6 土層の土色および遺物の色調観察は『新版 標準土色帖』（小山・竹原1967）を用了。
- 7 土器実測図の断面は、須恵器を黒塗り、それ以外を白抜きとした。トーンについてはその都度図版中に提示した。
- 8 土器実測図で全周の1/12以下のような遺存率の低いものについては、誤差があるため中軸線の両側に空白を設けた。
- 9 遺物の注記は細寺道上遺跡の略記号「細池寺道上」とし、出土地点や層位を続けて記した。平成20年度出土遺物は略記号の前に「08」を付した。
- 10 遺物番号は土器・陶磁器・鉄製品は通し番号とし、石製品・木製品は種類ごとに通し番号とし、本文および観察表・写真図版の番号は同一番号とした。
- 11 遺構・遺物観察表中における（ ）付きの値は、推定値を意味する。
- 12 遺構平面図での切り合い関係のある遺構の上端・下端の表現について、切られている遺構の場合、上端の復元が可能ならば破線、下端は切っている遺構より深度が深ければ実線、浅くても復元が可能であれば破線で示した。
- 13 遺構の新旧関係を表現する際に「<」や「>」を用了。例えば、SK1<SK2となる場合はSK1が古く、SK2が新しいことを示す。
- 14 掲載遺物のうち、接合されていない同一個体は観察表および実測図では（ ）書きとした。

目 次

第I章 序 章	1
第1節 遺跡概観	1
第2節 発掘調査に至る経緯	1
第II章 遺跡の位置と環境	4
第1節 遺跡の位置と地理的環境	4
第2節 周辺の遺跡	4
第3節 歴史的環境	14
第III章 調査の概要	16
第1節 試掘・確認調査	16
第2節 本発掘調査	16
A 調査方法	16
1) グリッドの設定	16
2) 調査方法	18
B 調査経過	18
C 調査体制	18
第3節 整理作業	19
A 整理方法	19
1) 遺物	19
2) 遺構	19
B 整理経過	19
C 整理体制	19
第IV章 遺 跡	20
第1節 概 要	20
第2節 層 序	20
第3節 遺 構	21
A 遺構の概要	21
B 1区の遺構	21
1) 1区の概要	21
2) 1区の遺構各説	21
C 2区の遺構	28
1) 2区の概要	28
2) 2区の遺構各説	28
D 3区の遺構	40
1) 3区の概要	40
2) 3区の遺構各説	40
E 4区の遺構	47
1) 4区の概要	47
2) 4区の遺構各説	47

第V章 遺 物	50
第1節 概 要	50
第2節 平安時代の遺物	50
A 土器の分類と記述	50
B 出土土器等各説	50
1) 1区出土土器	50
2) 2区出土土器	50
3) 3区出土土器	50
第3節 鎌倉時代・室町時代の遺物	52
A 土器の分類と記述	52
B 出土土器等各説	52
1) 1区出土土器	52
2) 2区出土土器	53
3) 3区出土土器	56
4) 4区出土土器	56
第4節 転用研磨具・鉄製品・鍛冶関連遺物・石製品・木製品	56
A 転用研磨具	56
B 鉄製品・鍛冶関連遺物	57
C 石 製 品	58
1) 1区出土石製品	58
2) 2区出土石製品	58
3) 3区出土石製品	60
4) 4区出土石製品	60
D 木 製 品	60
第VI章 自然科学分析	62
第1節 植物珪酸体(プラント・オパール)分析	62
第2節 花粉分析	65
第3節 樹種同定	68
第4節 種実同定	70
第VII章 総 括	76
第1節 細池寺道上遺跡の遺構について	76
第2節 細池寺道上遺跡の土器・陶磁器について	78
第3節 細池寺道上遺跡の軽石製石製品について	80
第4節 細池寺道上遺跡の様相について	84
引用・参考文献	86
別 表	93
報告書抄録・奥付	巻末

挿図目次

第 1 図	細池寺道上遺跡周辺地形分類図 (1/150,000) … 5	第 11 図	植物珪酸体 (プラント・オパール) の 顕微鏡写真 …………… 64
第 2 図	細池寺道上遺跡周辺の遺跡分布図 (旧石器時代・縄文時代) (1/125,000) …………… 7	第 12 図	細池寺道上遺跡における花粉ダイアグラム …………… 66
第 3 図	細池寺道上遺跡周辺の遺跡分布図 (弥生時代) (1/125,000) …………… 8	第 13 図	細池寺道上遺跡の花粉・胞子 …………… 67
第 4 図	細池寺道上遺跡周辺の遺跡分布図 (古墳時代) (1/125,000) …………… 9	第 14 図	細池寺道上遺跡の木材 …………… 69
第 5 図	細池寺道上遺跡周辺の遺跡分布図 (古代) (1/125,000) …………… 10	第 15 図	細池寺道上遺跡の樺実 1 …………… 74
第 6 図	細池寺道上遺跡周辺の遺跡分布図 (中世) (1/125,000) …………… 11	第 16 図	細池寺道上遺跡の樺実 2 …………… 75
第 7 図	細池寺道上遺跡試掘・確認調査土層柱状図 (1/40) …………… 17	第 17 図	掘立柱建物の主軸方向 …………… 77
第 8 図	中世土器・陶磁器分類図 …………… 51	第 18 図	掘立柱建物の構造と主軸方向 …………… 77
第 9 図	鉄製品、鍛冶関連遺物点数・重量分布図 …………… 57	第 19 図	2 区道路状遺構 1 の変遷 …………… 79
第 10 図	細池寺道上遺跡におけるプラント・オパール 分析結果 …………… 63	第 20 図	遺跡の変遷 …………… 80
		第 21 図	沼沢カルデラ・只野川・阿賀野川的位置 …………… 80
		第 22 図	軽石製石製品の利用形態 …………… 81
		第 23 図	軽石製石製品目録の分類 …………… 81
		第 24 図	阿賀野川下流域の軽石製石製品出土遺跡分布図 …………… 82

表目次

第 1 表	細池寺道上遺跡調査履歴 …………… 2	第 4 表	細池寺道上遺跡における花粉分析結果 …………… 66
第 2 表	細池寺道上遺跡周辺の遺跡一覧表 …………… 12	第 5 表	細池寺道上遺跡における樹種同定結果 …………… 69
第 3 表	細池寺道上遺跡におけるプラント・オパール 分析結果 …………… 63	第 6 表	細池寺道上遺跡における樺実同定結果 …………… 71
		第 7 表	阿賀野川下流域の軽石製石製品出土遺跡 …………… 83

別表目次

別表 1	細池寺道上遺跡遺構計測表 …………… 93	別表 9	細池寺道上遺跡鉄製品重量集計表 …………… 125
別表 2	細池寺道上遺跡掘立柱建物計測表 …………… 112	別表 10	細池寺道上遺跡鍛冶関連遺物点数集計表 …………… 125
別表 3	細池寺道上遺跡土器・陶磁器・鉄製品・ 鍛冶関連遺物観察表 …………… 116	別表 11	細池寺道上遺跡鍛冶関連遺物重量集計表 …………… 125
別表 4	細池寺道上遺跡石製品観察表 …………… 119	別表 12	細池寺道上遺跡遺構出土石製品・礫構成率 …………… 126
別表 5	細池寺道上遺跡木製品観察表 …………… 120	別表 13	細池寺道上遺跡石製品組成と石材組成表 …………… 133
別表 6	細池寺道上遺跡遺構出土古代土器器種構成率 …………… 121	別表 14	細池寺道上遺跡地区別石製品組成表 …………… 133
別表 7	細池寺道上遺跡遺構出土中世土器・ 陶磁器構成率 …………… 122	別表 15	細池寺道上遺跡地区別石材組成表 …………… 133
別表 8	細池寺道上遺跡鉄製品点数集計表 …………… 125	別表 16	細池寺道上遺跡遺構別石製品点数組成表 …………… 133
		別表 17	細池寺道上遺跡遺構別石製品重量組成表 …………… 133
		別表 18	細池寺道上遺跡木製品集計表 …………… 133

図版目次

図版 1	周辺の旧地形図 (1/25,000)	図版 5	細池寺道上遺跡調査区とグリッド設定図 (1) (1/20,000)
図版 2	周辺の旧地割図 (1/10,000)	図版 6	細池寺道上遺跡調査区とグリッド設定図 (2) (1/20,000)
図版 3	細池寺道上遺跡と周辺の遺跡 (1/20,000)	図版 7	細池寺道上遺跡調査区とグリッド設定図 (3) (1/2,500)
図版 4	両新ほ場整備事業に伴う試掘・確認調査位置図 (1/12,500)		

- 図版 8 1区道構全体図(1/200)
- 図版 9 1区包含層の小グリッド別中世土器・陶磁器
出土重量分布図(1/200)
- 図版 10 1区道構平面部分図1(1/80)
- 図版 11 1区道構平面部分図2(1/80)
- 図版 12 1区道構平面部分図3(1/80)
- 図版 13 1区基本層序実測図(1/40)
1区基本層序位置図(1/600)
1区道構全体図面割付図(1/600)
- 図版 14 1区道構実測図1(1/40)
- 図版 15 1区道構実測図2(1/40)
- 図版 16 1区道構実測図3(1/40)
- 図版 17 1区道構実測図4(1/40)
- 図版 18 1区道構実測図5(1/40)
- 図版 19 1区道構実測図6(1/40)
- 図版 20 1区道構実測図7(1/40・1/80)
- 図版 21 1区道構実測図8(1/40・1/80)
- 図版 22 1区道構実測図9(1/80)
- 図版 23 1区道構実測図10(1/80)
- 図版 24 2区道構全体図(1/200)
- 図版 25 2区包含層の小グリッド別中世土器・陶磁器
出土重量分布図(1/200)
- 図版 26 2区道構全体図面割付図(1/200)
- 図版 27 2区道構平面部分図1(1/80)
- 図版 28 2区道構平面部分図2(1/80)
- 図版 29 2区基本層序実測図(1/40)
2区基本層序位置図(1/600)
- 図版 30 2区道構実測図1(1/40)
- 図版 31 2区道構実測図2(1/40)
- 図版 32 2区道構実測図3(1/40)
- 図版 33 2区道構実測図4(1/40)
- 図版 34 2区道構実測図5(1/40)
- 図版 35 2区道構実測図6(1/40)
- 図版 36 2区道構実測図7(1/40)
- 図版 37 2区道構実測図8(1/40)
- 図版 38 2区道構実測図9(1/40)
- 図版 39 2区道構実測図10(1/40)
- 図版 40 2区道構実測図11(1/40)
- 図版 41 2区道構実測図12(1/40)
- 図版 42 2区道構実測図13(1/40・1/80)
- 図版 43 2区道構実測図14(1/80)
- 図版 44 2区道構実測図15(1/80)
- 図版 45 3区道構全体図(1/500)
- 図版 46 3区包含層の小グリッド別中世土器・陶磁器
出土重量分布図(1/500)
- 図版 47 3区道構平面部分図1(1/80)
- 図版 48 3区道構平面部分図2(1/80)
- 図版 49 3区道構平面部分図3(1/80)
- 図版 50 3区道構平面部分図4(1/80)
- 図版 51 3区道構平面部分図5(1/80)
- 図版 52 3区道構平面部分図6(1/80)
- 図版 53 3区道構平面部分図7(1/80)
- 図版 54 3区基本層序(1/40)
3区基本層序位置図(1/1,000)
- 図版 55 3区道構実測図1(1/40)
- 図版 56 3区道構実測図2(1/40)
- 図版 57 3区道構実測図3(1/40)
- 図版 58 3区道構実測図4(1/40)
- 図版 59 3区道構実測図5(1/40)
- 図版 60 3区道構実測図6(1/40)
- 図版 61 3区道構実測図7(1/40)
- 図版 62 3区道構実測図8(1/40)
- 図版 63 3区道構実測図9(1/40)
- 図版 64 4区道構全体図(1/500)
- 図版 65 4区包含層の小グリッド別中世土器・陶磁器
出土重量分布図(1/500)
- 図版 66 4区道構平面部分図1(1/80)
- 図版 67 4区道構平面部分図2(1/80)
- 図版 68 4区道構平面部分図3(1/80)
- 図版 69 4区道構平面部分図4(1/80)
- 図版 70 4区道構平面部分図5(1/80)
- 図版 71 4区基本層序(1/40)
4区基本層序位置図(1/1,000)
- 図版 72 4区道構実測図1(1/40)
- 図版 73 4区道構実測図2(1/40)
- 図版 74 4区道構実測図3(1/40)
- 図版 75 出土遺物 1 道構出土土器 1 包含層出土土器 1
- 図版 76 出土遺物 2 道構出土土器 2
- 図版 77 出土遺物 3 道構出土土器 3
- 図版 78 出土遺物 4 道構出土土器 4 包含層出土土器 2
- 図版 79 出土遺物 5 道構出土土器 5 包含層出土土器 3
転用研磨具、鉄製品
- 図版 80 出土遺物 6 鍛冶関連遺物 1
- 図版 81 出土遺物 7 鍛冶関連遺物 2
- 図版 82 出土遺物 8 石製品 1
- 図版 83 出土遺物 9 石製品 2
- 図版 84 出土遺物 10 石製品 3
- 図版 85 出土遺物 11 石製品 4
- 図版 86 出土遺物 12 石製品 5
- 図版 87 出土遺物 13 石製品 6
- 図版 88 出土遺物 14 石製品 7
- 図版 89 出土遺物 15 石製品 8
- 図版 90 出土遺物 16 木製品 1 2区 SE14・SE328・
SE612
- 図版 91 出土遺物 17 木製品 2 2区 SE800(1)
- 図版 92 出土遺物 18 木製品 3 2区 SE800(2)
- 図版 93 出土遺物 19 木製品 4 2区 SE800(3)
- 図版 94 出土遺物 20 木製品 5 2区 SE800(4)
- 図版 95 出土遺物 21 木製品 6 2区 SE800(5)・
Pit690

写真図版目次

写真図版 1	細池寺道上遺跡周辺空中写真	写真図版 21	1 区 SE1 土層断面
写真図版 2	調査前空中写真	1 区 SE1 刀子出土状況	
写真図版 3	調査前空中写真	1 区 SE1 完掘状況	
	1 区調査前現況 2 区調査前現況	1 区 SD368 土層断面 A	
	3 区調査前現況 4 区調査前現況	1 区 SK370・SD368 土層断面 B	
写真図版 4	全調査区完掘空中写真	1 区 SD368・Pit419 土層断面 C	
	1 区・3 区完掘空中写真	1 区 SK370・SD368 完掘状況	
写真図版 5	2 区・4 区完掘空中写真	1 区 SK412 土層断面・完掘状況	
	1 区全景空中写真	写真図版 22	1 区 SK327 土層断面 1 区 SK327 完掘状況
写真図版 6	1 区完掘状況	1 区 SK304 土層断面 1 区 SK304 完掘状況	
写真図版 7	1 区 SE6 土層断面	1 区 SK316 土層断面 1 区 SK316 完掘状況	
	1 区畝状小溝完掘状況	1 区 SK265 土層断面 1 区 SK265 完掘状況	
写真図版 8	1 区 SB428 完掘状況	写真図版 23	1 区 SK385 土層断面 1 区 SK385 完掘状況
	1 区 SB429 完掘状況	1 区 SK299 土層断面 1 区 SK299 完掘状況	
写真図版 9	2 区全景空中写真	1 区 SK22 土層断面 1 区 SK22 完掘状況	
	2 区完掘状況	1 区 SK23 土層断面	
写真図版 10	2 区完掘状況	1 区 SK23・Pit228・Pit383 完掘状況	
	2 区 SE612 土層断面	写真図版 24	1 区 SK98・Pit99 土層断面
写真図版 11	2 区 SE800 土層断面	1 区 SK98・Pit99 完掘状況	
	2 区 SE800 井戸掘出土状況	1 区 SK347 土層断面・完掘状況	
写真図版 12	2 区 SD39・SD42・SX177 土層断面	1 区 SD340 土層断面	
	2 区 SX177 完掘状況	1 区 SD341 土層断面 1 区 SD342 土層断面	
写真図版 13	2 区道路状遺構 1	1 区 SD341・SD342 完掘状況	
	2 区道路状遺構 2	1 区 SD21 土層断面	
写真図版 14	2 区 SD39・SD42 完掘状況	写真図版 25	1 区 SD21 完掘状況 1 区 SD16 土層断面 A
	2 区 SD42・SD60 完掘状況	1 区 SD16・SD21 土層断面 C	
写真図版 15	3 区全景空中写真 4 区全景空中写真	1 区 SD289 土層断面	
写真図版 16	4 区 (6N-6H・6I・7I 付近) 完掘状況	1 区 SD290 土層断面 A	
	4 区 (6N-8J・9J・6O-9A・10A 付近)	1 区 SD291 土層断面 B	
	完掘状況	1 区 SD281 土層断面 A	
写真図版 17	4 区 (7O-1B・2B・2C・3C 付近) 完掘状況	1 区 SD18 土層断面	
	4 区 (7O-4D・5D・5E・6E 付近) 完掘状況	写真図版 26	1 区 SD19 土層断面
写真図版 18	4 区 (7O-7F・8F・9G・10H 付近) 完掘状況	1 区 SD18・SD19 完掘状況	
	4 区 (8O-1I・2I・2J・3J・4J・8P-4A 付近)	1 区 SD13 土層断面 A	
	完掘状況	1 区 SD13・SD15・Pit405 土層断面 B	
写真図版 19	1 区基本層序 A 1 区基本層序 C	1 区 SD13 完掘状況 1 区 SD15 完掘状況	
	1 区基本層序 D 1 区基本層序 E	1 区 SD11 土層断面 A・B	
	1 区基本層序 G 1 区 SE17 土層断面	1 区 SD11 完掘状況	
	1 区 SE17 完掘状況	写真図版 27	1 区 SD9 土層断面 1 区 SD9 完掘状況
	1 区 SE333・Pit404 土層断面	1 区 SD8 土層断面 1 区 SD8 完掘状況	
写真図版 20	1 区 SE333・SE420・Pit404 完掘状況	1 区 SD2 土層断面 1 区 SD2 完掘状況	
	1 区 SE12 土層断面・完掘状況	1 区 SD4 土層断面 1 区 SD4 完掘状況	
	1 区 SE14・SD13 土層断面	写真図版 28	1 区 SD7 土層断面 B
	1 区 SE14 完掘状況	1 区 SD5・Pit107 土層断面 A	
	1 区 SE6・Pit62 土層断面	1 区 SD5 土層断面 B 1 区 SD3 土層断面 A	
	1 区 SE6・Pit62 完掘状況	1 区 SB430 完掘状況 1 区 SD332 土層断面	
	1 区 SE10 土層断面 1 区 SE10 完掘状況	1 区畝状小溝完掘状況 1 区 SB428 完掘状況	

写真図版 29	1 区 SB428・SB431・SB432・SB433 完掘状況 1 区 SB429・SB430・SB434・SB435 完掘状況	写真図版 39	2 区 SK454・SK455 土層断面 2 区 SK454・SK455 完掘状況 2 区 SK506・Pit504・Pit505 土層断面 2 区 SK506・Pit504・Pit505 完掘状況
写真図版 30	2 区基本層序 A 2 区基本層序 C 2 区基本層序 F 2 区基本層序 H 2 区 SE34 土層断面 2 区 SE34 完掘状況 2 区 SE19・SD20 土層断面・完掘状況 2 区 SE111 土層断面・完掘状況	写真図版 40	2 区 SK722 土層断面 2 区 SK722 完掘状況 2 区 SK702 土層断面 2 区 SK702 完掘状況 2 区 SK796・Pit795 土層断面 2 区 SK796・Pit795 完掘状況 2 区 SK499・Pit498 土層断面 2 区 SK499・Pit498・Pit500 完掘状況 2 区 SK729 土層断面 2 区 SK729 完掘状況 2 区 SK715・SK716・SK871・Pit503・ Pit872 土層断面・完掘状況 2 区 SK720・Pit719 土層断面・完掘状況
写真図版 31	2 区 SE14 土層断面 2 区 SE14 完掘状況 2 区 SE110 土層断面 2 区 SE110 完掘状況 2 区 SE121 土層断面 2 区 SE121 完掘状況 2 区 SE130 土層断面 2 区 SE130 完掘状況	写真図版 41	2 区 SK724・Pit874 土層断面 2 区 SK724・Pit874 完掘状況 2 区 SK725 土層断面 2 区 SK725 完掘状況 2 区 SK730・Pit867 土層断面 2 区 SK730・Pit867 完掘状況 2 区 SK734 土層断面 2 区 SK734・Pit732・Pit733・Pit735 完掘状況
写真図版 32	2 区 SE328 土層断面 2 区 SE328 完掘状況 2 区 SE375・SK371 土層断面 2 区 SE375 完掘状況 2 区 SE181 完掘状況 2 区 SE494 土層断面・完掘状況 2 区 SE368 土層断面 2 区 SE368 完掘状況	写真図版 42	2 区 SK741 土層断面 2 区 SK741 完掘状況 2 区 SK739・Pit753・Pit926 土層断面 2 区 SK739・Pit753・Pit926 完掘状況 2 区 SK752 土層断面 2 区 SK752 完掘状況 2 区 SK750 土層断面・完掘状況 2 区 SK668・Pit857 土層断面・完掘状況
写真図版 33	2 区 SE453 土層断面 2 区 SE453 完掘状況 2 区 SE609 土層断面 2 区 SE609 完掘状況 2 区 SE612・SK610・SD79 土層断面 2 区 SE612・SK610 完掘状況 2 区 SE513 土層断面 2 区 SE513 完掘状況	写真図版 43	2 区 SK664 土層断面 2 区 SK664 完掘状況 2 区 SK869 土層断面 2 区 SK869 完掘状況 2 区 SK673 土層断面 2 区 SK673 完掘状況 2 区 SK672・Pit942・Pit949 土層断面 2 区 SK672・Pit942・Pit949 完掘状況
写真図版 34	2 区 SE800 土層断面 2 区 SE800 完掘状況 2 区 SK33・SD57 土層断面 2 区 SK33 完掘状況 2 区 SK37 土層断面 2 区 SK37 完掘状況 2 区 SK276 土層断面 2 区 SK277 土層断面	写真図版 44	2 区 SK883 土層断面 2 区 SK883 完掘状況 2 区 SK838・Pit943 土層断面 2 区 SK838・Pit943 完掘状況 2 区 SK890 土層断面 2 区 SK890 完掘状況 2 区 SK900・Pit960 土層断面 2 区 SK902 土層断面
写真図版 35	2 区 SK277 完掘状況 2 区 SK276・SK277 完掘状況 2 区 SK150・SD167 土層断面 2 区 SK150・SD167 完掘状況 2 区 SK160 土層断面 2 区 SK160 完掘状況 2 区 SK165 土層断面 2 区 SK165・Pit166 完掘状況	写真図版 45	2 区 SK902 完掘状況 2 区 SK900・Pit960 完掘状況 2 区 SK951 土層断面 2 区 SK951 完掘状況 2 区 SK956・Pit957・Pit958 土層断面 2 区 SK956 完掘状況 2 区 SK842 土層断面 2 区 SK842 完掘状況
写真図版 36	2 区 SK203 土層断面 2 区 SK203 完掘状況 2 区 SK224 土層断面 2 区 SK224 完掘状況 2 区 SK151 土層断面 2 区 SK151 完掘状況 2 区 SK324 土層断面 2 区 SK324 完掘状況	写真図版 46	2 区 SK851・Pit853 土層断面 2 区 SK851・Pit853 完掘状況 2 区 SK855 土層断面 2 区 SK855・Pit935 完掘状況 2 区 SK331 完掘状況 2 区 SK371 完掘状況
写真図版 37	2 区 SK319 土層断面 2 区 SK319 完掘状況 2 区 SK481 土層断面 2 区 SK481 完掘状況 2 区 SK369 土層断面 2 区 SK369 完掘状況 2 区 SK372 土層断面 2 区 SK372 完掘状況		
写真図版 38	2 区 SK443・SK445 土層断面 2 区 SK443・SK445 完掘状況 2 区 SK381・SK382・SK383 土層断面 2 区 SK382 完掘状況 2 区 SK381 完掘状況 2 区 SK383 完掘状況 2 区 SK495 土層断面 2 区 SK495 完掘状況		

	2区 SK610 完掘状况	2区 SK149 完掘状况	3区 SK177 土层断面	完掘状况
写真图版 47	2区 SX649 土层断面	2区 SX649 完掘状况	3区 SK158 土层断面	完掘状况
	2区 SD42 土层断面 A		3区 SK175 土层断面	3区 SK175 完掘状况
	2区 SD39·SK41 土层断面 B		3区 SK174 土层断面	3区 SK174 完掘状况
	2区 SK41 完掘状况		3区 SK157·Pit155·Pit156 土层断面	完掘状况
	2区 SD39·SD42·Pit971·Pit975 土层断面 C		3区 SK106 土层断面	完掘状况
	2区 SD42·SD80·SK149 土层断面 E		3区 SK142 土层断面	3区 SK142 完掘状况
	2区 SD56·SD42·SD80 土层断面 F		3区 SK140 土层断面	3区 SK140 完掘状况
写真图版 48	2区 SD38·SD57·SD78·SD79 土层断面 A		3区 SK138 土层断面	3区 SK138 完掘状况
	2区 SD58·SD60·SD176 土层断面 A		3区 SK131 土层断面	3区 SK131 完掘状况
	2区 SD38·SD57·SD78·SD79 土层断面 B		3区 SK125 土层断面	3区 SK125 完掘状况
	2区 SD42·SD56·SD57·SD58·SD80·SD148·SD176 土层断面 C		3区 SK126 土层断面	3区 SK126 完掘状况
	2区 SD57·SD78·SD79·Pit565 土层断面 D		3区 SK124 土层断面	3区 SK124 完掘状况
	2区 SD58·SD176·Pit688 土层断面 D		3区 SK123 土层断面	3区 SK123 完掘状况
	2区 SD78·SD79·Pit893 土层断面 E		3区 SK114 土层断面	3区 SK114 完掘状况
	2区 SD58·SD176·SD767 土层断面 E		3区 SK104 土层断面	3区 SK104 完掘状况
写真图版 49	2区 SD78·SD79 土层断面 F		3区 SK96 完掘状况	3区 SK92 土层断面
	2区 SD767·SD768 土层断面 F		3区 SK92 完掘状况	3区 SK134 土层断面
	2区 SD767·SD768·SX959·Pit953 土层断面 G		3区 SK101 土层断面	完掘状况
	2区 SD78·SD79 土层断面 G		3区 SK84 土层断面	完掘状况
	2区 SD189 土层断面	2区 SD189 完掘状况	3区 SK65 土层断面	完掘状况
	2区 SD325 土层断面	2区 SD325 完掘状况	3区 SK40 土层断面	完掘状况
写真图版 50	2区 SD898 土层断面	2区 SD898 完掘状况	3区 SK70 土层断面	3区 SK70 完掘状况
	2区 SD154·SD155 土层断面 A·B		3区 SK45 土层断面	3区 SK45 完掘状况
	2区 SD155·SK237·SX190 土层断面 C		3区 SK44 土层断面	3区 SK44 完掘状况
	2区 SD154·SD155 完掘状况		3区 SK37 土层断面	3区 SK37 完掘状况
	2区 SK237·SX190 完掘状况		3区 SK36 土层断面	3区 SK36 完掘状况
	2区 SD881·SD882 土层断面		3区 SK22 土层断面	3区 SK22 完掘状况
	2区 SB989·SB991·SB992·SB993·SB994 完掘状况		3区 SK2 土层断面	
写真图版 51	2区 SB990 完掘状况		3区 SX113 土层断面	完掘状况
	2区 SB995·SB996·SB997·SB998·SB999·SB1000 完掘状况		3区 SX182 土层断面	3区 SX182 完掘状况
	3区基本层序 A·SX244 土层断面		3区 SX181 土层断面	3区 SX181 完掘状况
	3区基本层序 D		3区 Pit148 土层断面	3区 Pit148 完掘状况
	3区基本层序 G	3区基本层序 J	3区 Pit135 土层断面	3区 Pit135 完掘状况
	3区基本层序 M		3区 Pit39 土层断面	完掘状况
	3区 SE149 土层断面	完掘状况	3区 SD233 土层断面	3区 SD230 土层断面
	3区 SE94·SX245 土层断面	完掘状况	3区 SD230 完掘状况	3区 SD234 土层断面
写真图版 53	3区 SE215 土层断面		3区 SD234 完掘状况	
	3区 SE215·SD85 完掘状况		3区 SD228 土层断面 A	
	3区 SE16 土层断面	完掘状况	3区 SD228 土层断面 B	
	3区 SK216 土层断面	完掘状况	3区 SD227 土层断面 A	
	3区 SK180 土层断面	完掘状况	3区 SD227 土层断面 B	
			3区 SD227·SD228 完掘状况	
			3区 SD238 完掘状况	
			3区 SD211 土层断面 B	
			3区 SD211 土层断面 C	
			3区 SD211 完掘状况	
			3区 SD178 土层断面	3区 SD178 完掘状况

写真図版 63	3 区 SD166・SK197 土層断面 A 3 区 SD166 土層断面 B 3 区 SD162 土層断面 A 3 区 SD162 土層断面 B 3 区 SD162・SD166 完掘状況 3 区 SD152 土層断面 B 3 区 SD152・SK154 完掘状況 3 区 SD89・SE212 土層断面 A	4 区 SK10 土層断面 4 区 SX39 土層断面・完掘状況 4 区 SX44 土層断面 4 区 SX44 完掘状況 4 区 Pir47 土層断面・完掘状況	4 区 SK10 完掘状況 4 区 SX39 土層断面・完掘状況 4 区 SX44 土層断面 4 区 SX44 完掘状況 4 区 Pir47 土層断面・完掘状況
写真図版 64	3 区 SE212 完掘状況 3 区 SD89 土層断面 B 3 区 SD89・SK134 完掘状況 3 区 SD86・SD87 土層断面 A 3 区 SD86・SD87 土層断面 B 3 区 SD86・SD87 土層断面 C 3 区 SD86・SD87 完掘状況 3 区 SD81 土層断面 A	4 区 SD43 土層断面 4 区 SD41 土層断面 4 区 SD41 完掘状況 4 区 SD40 土層断面・完掘状況 4 区 SD38 土層断面 4 区 SD38 完掘状況	4 区 SD43 完掘状況 4 区 SD41 土層断面 4 区 SD41 完掘状況 4 区 SD40 土層断面・完掘状況 4 区 SD38 土層断面 4 区 SD38 完掘状況
写真図版 65	3 区 SD81 土層断面 B 3 区 SD81 土層断面 C 3 区 SD81 完掘状況 3 区 SD76 土層断面 A 3 区 SD76 土層断面 B 3 区 SD76 完掘状況 3 区 SD46 土層断面 A 3 区 SD46 土層断面 B	4 区 SD33 土層断面 A 4 区 SD33 土層断面 B 4 区 SD33 完掘状況 4 区 SD32 土層断面 4 区 SD32 完掘状況 4 区 SD29・SD30・SD46 土層断面 4 区 SD29 完掘状況 4 区 SD28 土層断面・完掘状況	4 区 SD33 土層断面 A 4 区 SD33 土層断面 B 4 区 SD33 完掘状況 4 区 SD32 土層断面 4 区 SD32 完掘状況 4 区 SD29・SD30・SD46 土層断面 4 区 SD29 完掘状況 4 区 SD28 土層断面・完掘状況
写真図版 66	3 区 SD46 完掘状況 3 区 SD43 土層断面 3 区 SD43 完掘状況 3 区 SD1 土層断面 A 3 区 SD1 土層断面 B 3 区 SD1・SK2 完掘状況 3 区 SD71 土層断面 B 3 区 SD71 土層断面 C	4 区 SD23 完掘状況 4 区 SD18 土層断面 4 区 SD18 完掘状況 4 区 SD17 土層断面 A 4 区 SD17 土層断面 B 4 区 SD17 完掘状況 4 区 SD16 土層断面 4 区 SD16 完掘状況 4 区 SD12・SD13 土層断面 4 区 SD12 完掘状況	4 区 SD23 完掘状況 4 区 SD18 土層断面 4 区 SD18 完掘状況 4 区 SD17 土層断面 A 4 区 SD17 土層断面 B 4 区 SD17 完掘状況 4 区 SD16 土層断面 4 区 SD16 完掘状況 4 区 SD12・SD13 土層断面 4 区 SD12 完掘状況
写真図版 67	3 区 SD71 土層断面 D 3 区 SD71 土層断面 E 3 区 SD71 土層断面 F 3 区 SD71 完掘状況 3 区 SD57・SD246 土層断面 A 3 区 SD58 土層断面 A 3 区 SD59 土層断面 A 3 区 SD60 土層断面 A	4 区 SD2 土層断面 B 4 区 SD2 土層断面 C 4 区 SD50・SX49 完掘状況 4 区 SD1 土層断面 4 区 SD1 完掘状況	4 区 SD2 土層断面 B 4 区 SD2 土層断面 C 4 区 SD50・SX49 完掘状況 4 区 SD1 土層断面 4 区 SD1 完掘状況
写真図版 68	3 区 SD60 土層断面 B 3 区 SD59 土層断面 B 3 区 SD58 土層断面 B 3 区 SD57・SD246 土層断面 B 3 区 SD57・SD246 完掘状況 3 区 SD58 完掘状況 3 区 SD59 完掘状況 3 区 SD60 完掘状況	出土遺物 1 土器 出土遺物 2 古代土器、中世陶磁器 中世陶器 1	出土遺物 1 土器 出土遺物 2 古代土器、中世陶磁器 中世陶器 1
写真図版 69	4 区基本層序 A 4 区基本層序 D 4 区基本層序 E 4 区基本層序 G 4 区基本層序 I 4 区基本層序 L 4 区 SK14 土層断面 4 区 SD15 土層断面	出土遺物 3 中世陶器 2 中世陶器 3 出土遺物 4 中世陶器 4 転用研磨具、 鉄製品 出土遺物 5 鍛冶関連遺物 1 鍛冶関連遺物 2	出土遺物 3 中世陶器 2 中世陶器 3 出土遺物 4 中世陶器 4 転用研磨具、 鉄製品 出土遺物 5 鍛冶関連遺物 1 鍛冶関連遺物 2
写真図版 70	4 区 SK14・SD15 完掘状況 4 区 SK11 土層断面・完掘状況	出土遺物 6 石製品 1 石製品 2 出土遺物 7 石製品 3 石製品 4 出土遺物 8 石製品 5 石製品 6 出土遺物 9 石製品 7 石製品 8 出土遺物 10 木製品 1 2 区 SE14・ SE328・SE612 出土遺物 11 木製品 2 2 区 SE800 出土遺物 12 木製品 3 2 区 SE800 出土遺物 13 木製品 4 2 区 SE800 出土遺物 14 木製品 5 2 区 SE800 出土遺物 15 木製品 6 2 区 SE800・ Pir690	出土遺物 6 石製品 1 石製品 2 出土遺物 7 石製品 3 石製品 4 出土遺物 8 石製品 5 石製品 6 出土遺物 9 石製品 7 石製品 8 出土遺物 10 木製品 1 2 区 SE14・ SE328・SE612 出土遺物 11 木製品 2 2 区 SE800 出土遺物 12 木製品 3 2 区 SE800 出土遺物 13 木製品 4 2 区 SE800 出土遺物 14 木製品 5 2 区 SE800 出土遺物 15 木製品 6 2 区 SE800・ Pir690

第I章 序 章

第1節 遺跡概観(第1表)

細池寺道上遺跡は昭和60年8月に行われた新潟県教育委員会(以下、県教委という)主催の遺跡詳細分布調査の折に、寺道上遺跡(旧新津市遺跡番号28)から平安時代の須恵器甕・坏、縄文時代後・晩期の土器?が見い出され古代を中心とした遺跡として遺跡登録された。その後、発掘調査は本発掘調査および確認調査を今回の調査まで、通算26回調査が行われている(第1表)。平成元年に刊行された『新津市史資料編第1巻 原始・古代・中世編』では後に細池寺道上遺跡に統合された木津橋遺跡(旧新津市遺跡番号63)のみが報告され、平安時代の土師器長甕、須恵器大甕が紹介され(川上・木村・鈴木1989)、その後に遺跡登録されている。平成2年に行われた「磐越自動車道建設」に伴う県教委が行った試掘・確認調査により、金屋集落横が寺道上遺跡の地点と異なることから新遺跡、細池遺跡(旧新津市遺跡番号68)とした。さらに、寺道上遺跡の範囲は拡大した。その後の平成3・4年に新潟県による細池遺跡と寺道上遺跡の調査が行われ〔小池ほか1994〕。平成8・9年には新津市による市道建設に伴う本発掘調査が細池遺跡で行われた〔立木・渡邊ほか1998〕。平成11年には新津市による同原因の調査が寺道上遺跡で行われた〔渡邊ほか2001〕。平成13年に行われた両新地区ほ場整備事業に伴う確認調査(図版4)の結果、遺跡範囲がさらに拡大し、細池・寺道上遺跡の両遺跡と木津橋遺跡を含めた範囲を「細池寺道上遺跡」(旧新津市遺跡番号28、新潟市遺跡番号151)として寺道上遺跡の番号を用いて、再登録された。それに伴う処置として、細池・木津橋遺跡の遺跡番号は欠番として扱われた。これ以降の遺跡名は「細池寺道上遺跡」の名称を用いる。合わせて、土手外遺跡(旧新津市遺跡番号89)が細池寺道上遺跡の東側で古代・中世の遺跡として新発見され、遺跡登録されたが、平成14年に行われた両新地区ほ場整備に伴う確認調査の結果、細池寺道上遺跡の範囲拡大により同遺跡に統一された。それに伴い土手外遺跡の遺跡番号は欠番となった。確認調査の結果は第III章第1節に詳述する。

細池寺道上遺跡における既存の本発掘調査は、平成3・4年度にかけて県教委が磐越自動車道建設に伴い「細池遺跡」19,960m²、「寺道上遺跡」14,660m²の計34,620m²を調査している。その結果、微高地上に古代から中世に至る集落跡・ほ場跡などが検出されている(小池ほか1994)。特筆されるものとしては、古代の集落跡、さらに中世のほ場跡などである。平成8・9年度に行われた市道建設に伴う「細池遺跡」の本発掘調査〔立木・渡邊ほか1998〕では、2,848m²が調査され、平安時代に所属する遺構・遺物が検出された。平成11年には市道建設に伴い、843.78m²が調査され、「都保一口」と刻書された須恵器短頸甕に代表される9世紀第2四半期のまとまった土器群が確認され、短期間に営まれた集落跡で遺物の出土状況も良好であり、古代土器編年研究に重要な調査例となった。平成15年度には、東北電力(株)の「平成15年度東北電力西新潟線鉄塔建替工事」に伴う本発掘調査をほ場整備事業対象範囲で実施し、細池寺道上遺跡の一部412.4m²を調査した結果、古代の旧河跡と仏鉢形土器など特殊な土器を含む9世紀後半の土器が出土している〔北村・菊池ほか2004〕。

平成19年度には、ほ場整備に伴う本発掘調査〔潮田2014〕が実施され、8952.7m²が調査された。区画溝で区切られた中世の集落が確認された。

第2節 発掘調査に至る経緯

平成7年度に、新潟市秋葉区内の旧阿賀浦村・新開村区域(両新地区)における県営ほ場整備事業の計画が旧

第1表 細池考道上遺跡調査履歴

通算調査回数	東京は宅地整備 内新地区に伴う 発掘調査回数	調査年次	調査種別	調査原因	調査主体	担当	調査面積	文献	目録番号	備考	
		S60年(1985)8.4	分布調査	新築工事跡 詳細分布調査	新潟県	県文化行政課				考道上	考道上遺跡を新登録
		H1年(1989)	分布調査	「新潟市史資料 編纂」巻原史・ 古代・中世」 に伴う調査	新潟市	川上良雄		【川上ほか 1989】		木津橋	市史に既存の「細池考道上遺跡」の一部の木津橋遺跡が古代の遺跡として掲載され、一般に周知される。
1		H2年(1990)10.1~10.18	確認調査	特種自動車道	新潟県	県文化行政課 小池義人	958㎡	【小池ほか 1994】		細池	
2		H2年(1990)10.1~10.18	確認調査	特種自動車道	新潟県	県文化行政課 小池義人	820㎡	【小池ほか 1994】		考道上	
3		H3年(1991)4.15~12.7	本発掘調査	特種自動車道	新潟県	県文化行政課 小池義人				細池	
4		H3年(1991)7.8~12.7	本発掘調査	特種自動車道	新潟県	県文化行政課 小池義人	34,320㎡ (細池遺跡 19,950㎡、 考道上遺跡 14,660㎡)	【小池ほか 1994】		考道上	古代・中世の集落跡の一部および中世の広範囲なほ場が確認された。奈良・平安時代の遺物は9世紀が主体で、新幹線発着および既述産業施設が確認されている。
5		H4年(1992)4.8~8.7	本発掘調査	特種自動車道	新潟県	県文化行政課 小池義人				細池	
6		H4年(1992)4.24~5.28	本発掘調査	特種自動車道	新潟県	県文化行政課 小池義人				考道上	
7		H7年(1995)11.6~11.10	確認調査	農道拡幅	新潟市	新潟市教育委員会 渡邊昭和	97㎡			細池	
8		H8年(1996)7.22~7.23	確認調査	農道拡幅	新潟市	新潟市教育委員会 渡邊昭和	53㎡			考道上	
9		H8年(1996)10.17~12.13	本発掘調査	農道拡幅	新潟市	新潟市教育委員会 渡邊昭和	1,429㎡	【立木・貫達 ほか1998】		細池	古代の集落跡の一部および中世のほ場が確認された。
10		H9年(1997)10.7~11.25	本発掘調査	農道拡幅	新潟市	新潟市教育委員会 立木宏明	1,419㎡			細池	
11		H9年(1997)10.30	確認調査	農道拡幅	新潟市	新潟市教育委員会 渡邊昭和	97㎡			考道上	
12		H11年(1999)10.1~12.15	本発掘調査	農道拡幅	新潟市	新潟市教育委員会 渡邊昭和	843.78㎡	【渡邊ほか 2001】		考道上	古代の溝などを検出した。「部屋1」として呼ばれた土坑は、築造時期が出土した。
13	1	H13年(2001)10.15~11.8	確認調査	内新地区ほ場 整備事業	新潟市	新潟市教育委員会 渡邊昭和				考道上	
14	2	H13年(2001)10.15~11.8	確認調査	内新地区ほ場 整備事業	新潟市	新潟市教育委員会 渡邊昭和				木津橋	
15	3	H13年(2001)10.15~11.8	確認調査	内新地区ほ場 整備事業	新潟市	新潟市教育委員会 渡邊昭和	1,147㎡			細池	細池・考道上・木津橋遺跡を統合し細池考道上とする。
16	4	H13年(2001)10.15~11.8	確認調査	内新地区ほ場 整備事業	新潟市	新潟市教育委員会 渡邊昭和				土手外	
17		H14年(2002)10.16~10.24	確認調査	鉄塔建設	新潟市	新潟市教育委員会 立木宏明	86.4㎡				
18	5	H14年(2002)10.16~11.15	確認調査	内新地区ほ場 整備事業	新潟市	新潟市教育委員会 渡邊昭和					
19	6	H14年(2002)10.16~11.15	確認調査	内新地区ほ場 整備事業	新潟市	新潟市教育委員会 渡邊昭和	1,701㎡			土手外	土手外を統合。
20		H15年(2003)9.5~12.19	本発掘調査	鉄塔建設	新潟市	シン技術コンサル 北村 淳	412.4㎡	【北村ほか 2004】			古代の河川跡が検出され、覆土中に土師器、磁器の食器類が多量出土。「用箱」と名づけられた積層土層が出土した。
21	7	H15年(2003)11.17~12.1	確認調査	内新地区ほ場 整備事業	新潟市	新潟市教育委員会 渡邊昭和	490.5㎡				
22	8	H15年(2004)10.4~11.5	確認調査	内新地区ほ場 整備事業	新潟市	新潟市教育委員会 渡邊昭和	40.1㎡				
23	9	H17年(2005)10.11~10.26	確認調査	内新地区ほ場 整備事業	新潟市	新潟市理蔵文化財 センター 渡邊よしみ	154.5㎡				
24	10	H18年(2006)11.30	確認調査	内新地区ほ場 整備事業	新潟市	県文化行政課 浮田 義	24㎡				
25	11	H19年(2007)6.11~12.11	本発掘調査	内新地区ほ場 整備事業	新潟市	新潟市理蔵文化財 センター 鎌田スチカ	8,952.7㎡	【瀬田2014】			古代・中世の集落跡が確認された。主体は中世(13c末~14c初期)で、溝で区画された中に掘立柱建物や井戸を構築し、居住域としている。
26	12	H20年(2008)6.10~9.27	本発掘調査	内新地区ほ場 整備事業	新潟市	新潟市理蔵文化財 センター 立木宏明	2,912㎡	【本書】			中世の集落跡、掘立柱建物 20棟、井戸 30基、土坑 121基、Pit 1300基以上など遺構密度が高い。道路状遺構や橋状遺構などの土木構造物が確認されている。遺物は鎌倉・室町時代の磁器類、青磁、白磁、瀬戸・美濃焼などが出土している。

新津市生涯学習課に知らされた。旧新津市生涯学習課は、新津東土地改良区（現新津郷土地改良区）および旧新津市農産業振興課と協議を重ね、県教委が平成3・4年度に磐越自動車道建設に伴い本発掘調査を実施した細池寺道上遺跡〔小池ほか1994〕の範囲とあわせて多くの遺跡の存在が予想された。

平成11年度に入り、事業計画が見直され、限営ほ場整備事業（担い手育成型）両新地区として約170haが対象になり、新潟県新津農地事務所（現新潟県新潟地域振興局新津農業振興部、以下、新潟地域振興局という）と協議を行い、全区域を対象とした試掘・確認調査を平成13～15年度に実施した。その結果、ほ場整備事業範囲内に細池寺道上遺跡、西江浦遺跡、道上遺跡、下久保遺跡の4遺跡が確認された。

道上遺跡については平成17年度、下久保遺跡については平成18年度に調査を終了している。平成19年度からほ場面工事に伴う細池寺道上遺跡の本発掘調査が行われ（潮田2014）、平成20年度調査は2年目の本発掘調査となる。また、平成17年3月の市町村合併により事業主体は新潟市教育委員会となった。本発掘調査対象範囲の設定は、平成19年度に、新潟地域振興局・新津東土地改良区・新潟市歴史文化課の3者で遺跡の取扱いを巡って協議を重ねた結果、平成11年9月10日付け教文第578号で新潟県教育委員会教育長から通知された「発掘調査の要否の判断基準について（通知）」の基準により、保護層（工事の施工に際して埋蔵文化財を保護するために設ける一定の厚さの土層、樹根等による緩衝層）を確保できない場合には本発掘調査を実施するとし、保護層が確保できない用・排水路管部分および田部分の約2,912m²の本発掘調査を実施することで合意した。

新潟地域振興局から平成20年4月18日付け新振津農第46号で文化財保護法第94条の第1項の通知と合わせて平成20年4月18日付け新振津農第47号で本調査の依頼が提出され、新潟県教育委員会教育長から新津農地事務所長へ、平成20年5月9日付け教文第139号の2で本発掘調査を実施するように指示文が出された。それを受けて、新潟市教育委員会教育長から新潟県教育委員会教育長へ、平成20年6月9日付け教生第5022号の11で文化財保護法第99条第1項による発掘調査の通知を提出して本発掘調査を実施した。最終的な調査面積は2771.66m²となった。なお、新津農地は平成20年度より新潟県新潟地域振興局新津農業振興部に、新津東土地改良区は平成19年度より新津郷土地改良区に改組されている。



調査風景



調査風景



現地説明会



現地説明会

第Ⅱ章 遺跡の位置と環境

第1節 遺跡の位置と地理的環境 (第1図、図版1・2)

新潟市は平成17年に行われた周辺市町村(新津市・白根市・豊栄市・小須戸町・横越町・亀田町・西川町・巻町・味方村・湯東村・月潟村・中之口村)との合併により、海岸部を含む越後平野の大部分と信濃川を挟んで対峙する弥彦・角田山塊と新津丘陵が含まれる総面積726.1km²の広大な面積を有する市となった。

遺跡のある新潟市秋葉区(以下、秋葉区という)は越後平野のほぼ中央に位置し、新津丘陵を中心として東に阿賀野川、西に信濃川が北流する。享保年間には加治川が阿賀野川に、阿賀野川が新潟港で信濃川に合流する状況で、度々水害に見舞われていたため、享保15年(1730)に新発田藩が松ヶ崎放水路を開削し、現阿賀野川の河口となった。下新付付近で、五泉市域を北流してきた早出川が阿賀野川に合流する。また、七日町付近では阿賀野川から分岐した小阿賀野川が西流し、覚路津付近で信濃川に合流する。新津丘陵東縁を北流する能代川は、太平洋戦争後に水害対策の河川改修が行われた。これにより五泉市千原～秋葉区大間関の蛇行部分が直線化し、秋葉区新津地区の市街地を貫流していた本来の流路から分流が東方に作られ、現在の新津川・能代川となっている。この能代川と新津川は下興野付近で再び合流し、荻島付近で小阿賀野川に注いでいる。

秋葉区付近の地形は丘陵とその縁辺の段丘、沖積地から成っている。南南西～北北東に走る新津丘陵は加茂川を南限に標高278mの高立山が最も高く、北に行くに従い標高を下げて北端で70～80mとなり、その周囲には段丘が標高10～70m間に4段見られる。沖積地は信濃川・阿賀野川の二大河川により形成され、自然堤防や旧河道・後背湿地・三角州などの地形が見られる。阿賀野川が流路を東遷させた結果、秋葉区域では新津丘陵北端～小阿賀野川間に自然堤防が形成され、現在起伏の極少ない微高地として断続的に存在している。遺跡は阿賀野川左岸、早出川合流地点の北西約1.5kmに位置し、この微高地上に存在する。

遺跡では調査直前まで水田として利用されているが、遺跡周辺の旧景観については既にまとめられている(小池^{ほか}1994)。それによれば現在の遺跡周辺は水田地帯であるが、これは大正末年～昭和20年代に行われた耕地整理事業によって形成されたものであり、整理事業以前の状況からは当該地域の微地形を反映した土地利用が行われていた様子が窺えるとする。つまり低地は方形区画の水田に、微高地は畑地に、微高地周縁は畑地と微高地を水田化するため開発された畑を囲む水田「堀田」が混在するという土地利用が見られるとしている。

第2節 周辺の遺跡(第2表、第2～6図)

時代別の遺跡の分布は旧石器時代では丘陵部に限定される。縄文・弥生時代では丘陵・段丘上および砂丘地に集中し、古墳時代には丘陵や段丘の縁辺部や平野部微高地・砂丘地、奈良・平安時代になるとさらに平野部微高地に多くの分布が見られるようになる。具体的には古代までは丘陵上に弥生時代後期の環壕集落・円墳などが展開し、丘陵裾部には奈良・平安時代の製鉄・須恵器(土師器)窯などの生産遺跡が集中している。そして細池寺道上遺跡は、古代・中世の複合遺跡として周知されている。

合併後の遺跡数は市域で725か所(平成26年3月現在)である。以下に時代ごとに解説を加える。

旧石器時代の遺跡 市内で3遺跡確認されている。新津丘陵に2か所、角田山麓に1か所ある。当該期の遺跡は、風化火山灰層(ローム層)を上部に包含される場合が多い。新津丘陵沿いでは古津八幡山遺跡(297)(渡邊・立木^{ほか}2001・2004)や、草水町2丁目窯跡(253)でナイフ形石器・石刃などが散発的に出土している。角



第1図 細池寺道上遺跡周辺地形分類図

角田山麓ではケカチ堂遺跡〔小野 1994a〕から尖頭器（旧石器～縄文時代草創期）などの出土が確認されている。

縄文時代の遺跡 市内で 169 遺跡が確認されている。時期としては草創期～晩期の遺跡が確認されているが、土器の出土が確認されるのは早期後半以降である。市内の代表的な遺跡を網羅的に紹介すると、草創期の遺跡としては新津丘陵にある愛宕澤遺跡（254）で縄文時代草創期前半の石器（神子柴型の磨石製石斧・石核）が検出された〔立木・澤野 2004a〕。角田山麓には御手洗遺跡、福井遺跡、新谷遺跡〔小野 1994b〕などで同期の石斧が出土している。遺跡は丘陵沿いに確認されている。続く、早期の確実な遺跡は確認されていない。前期以降になると山麓や砂丘上に多くの遺跡が残されている。砂丘上の遺跡として旧亀田町の砂前遺跡（154）〔酒井・廣野 2002〕と角田山麓の布目遺跡〔小野・小黒 1987〕は前期前半の遺跡である。それに続く前期後半の新谷遺跡〔前山 1994a〕、重稲場遺跡群〔前山 1994b〕などが代表例である。中・後期には新津丘陵の丘陵平坦面に平遺跡（249）〔川上・遠藤 1983〕、原遺跡（279）〔中～晩期〕、秋葉遺跡（260）〔中～後期〕などが存在する。角田山麓には縄文時代の遺跡密度が高く、豊原遺跡〔小野・前山 1988〕、大沢遺跡〔甘粕・古川 1981、小野 1982、前山 1990〕、上原遺跡〔上原 1971〕などが代表例である。砂丘地・沖積地の遺跡には、大規模な集落を形成するような遺跡は確認されていない。出土状況が注目される例として、味方排水機場遺跡〔高浜・ト部・崎崎 2000〕の現地地表下 19～20m から確認された中期後葉・後期前葉土器片がある。沖積地での縄文時代遺跡のあり方を考える上で非常に重要な例である。晩期の遺跡としては砂丘上や沖積地に立地する遺跡が多い。代表例として烏屋遺跡（51）〔関はら 1980〕、緒立遺跡〔金子 1983〕、御井戸遺跡〔前山 1994c〕など県内を代表する遺跡が存在する。近年の調査では、採取した天然アスファルトの精製・加工を行ったと考えられる晩期中～後葉の大沢谷内遺跡〔細野・伊比 2012〕や近隣の漆製品・木製品が出土した大沢谷内北遺跡〔前山・伊比 2010〕などが注目される。

弥生時代の遺跡 市内で 65 遺跡が確認されている。弥生時代前期の遺跡としては前述した緒立遺跡〔金子 1983〕が代表例である。そのほか、砂丘上や沖積地に多くの遺跡が存在する。中期の遺跡としては旧越崎町の駒込小丸山遺跡（143）〔家田 1987、酒井 2000a〕、山家遺跡（151）〔川上 1993、酒井 2000b〕などで出土している。秋葉区新津地区では平成 15 年度の土会調査で秋葉遺跡から中期前半、壺辛遺跡（291）から中期後半の土器が出土している〔渡邊・立木 2004〕。特に壺辛遺跡では、現地地表 2m の地点から出土しており、今後も台地と沖積地の境界から遺跡が検出される可能性があり、注意を要する。後期の遺跡としては新津丘陵沿いの古津八幡山遺跡〔川上 1994、渡邊 1994a〕とその周辺の居村 C 遺跡（D・E 地点）（308）〔川上 1996、渡邊 1997〕があり、いずれも弥生時代後期に属する。古津八幡山遺跡は一定期間定住していた拠点集落と見られる高地性環濠集落で、二重の環濠・竪穴住居・炉跡・方形周溝墓が確認されている。遺物は東北系と北陸系の弥生土器が出土しており、当該地域の弥生時代を考える上で重要な遺跡である。砂丘上の遺跡としては六地山遺跡〔寺村 1960、中村 1960〕、石動遺跡（112）〔廣野 1996〕がある。近年、江南区（旧亀田町）の砂丘および砂丘間低地に養海山遺跡（204）〔新潟市 2007〕や西郷遺跡〔土橋 2007〕などの前・中期の遺跡が確認されている。また角田山麓には山谷遺跡（山谷古墳下層）〔甘粕・小野 1993〕、大沢遺跡〔甘粕・古川 1981、小野 1982〕、御井戸遺跡〔前山・相田 2004・2005〕などがある。

古墳時代の遺跡 市内で 90 遺跡が確認されている。市内最古の古墳は古墳時代初頭の古津八幡山遺跡前方後方墳である。前期の古墳としては、角田山麓の前方後方墳である山谷古墳〔甘粕・小野 1993〕、前方後円墳である菖蒲塚古墳〔相田・前山 2003・2005〕がある。それに隣接して同期の南赤坂遺跡〔前山・相田 2002〕、御井戸遺跡〔前山・相田 2004・2005〕がある。砂丘上や沖積地には緒立 C 遺跡〔渡邊 1994〕や東園遺跡（138）〔朝岡・諫山 2003〕、日本遺跡（199）〔立木・細野 2013〕、正尺 C 遺跡（50）〔土橋 2006〕などがある。新津丘陵の古津八幡山遺跡の北西端に古津八幡山古墳（297）が造営される（墳径約 60m・造り出し付き円墳）〔甘粕・川村 1992〕。古墳に隣接する舟戸遺跡（290）〔川上 1995〕・高矢 C 遺跡（292）は中期の遺跡であり、丘陵縁辺や端部に立地する。舟戸遺跡では中期頃の竪穴住居跡が検出され、古墳との関連が注目されている。平野部の沖ノ羽遺跡（227）〔星野 1996〕・上浦 A 遺跡（234）〔坂上 2003〕・結七島遺跡（228）〔田中・丹下 2004〕では古代の生活面より下



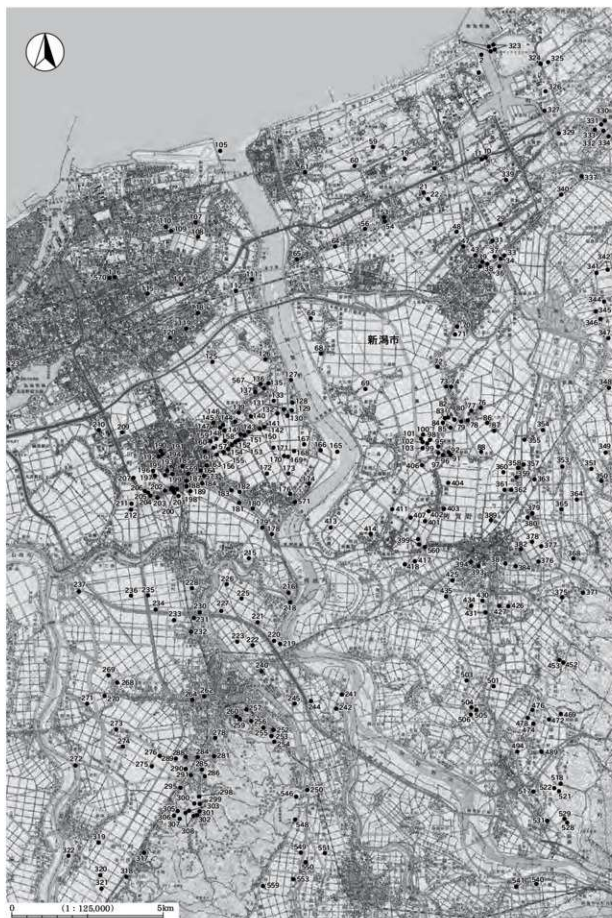
第2図 緋池寺道上遺跡周辺の遺跡分布図(旧石器時代・縄文時代)



第3図 細池寺道上遺跡周辺の遺跡分布図(弥生時代)



第4図 細池寺道上遺跡周辺の遺跡分布図(古墳時代)



第5図 細池寺道上遺跡周辺の遺跡分布図(古代)



第6図 綿池寺道上遺跡周辺の遺跡分布図(中世)

から古墳時代前・中期の遺構・遺物が検出されている。近年沖積地の微高地から古墳時代の遺跡が多く見つかり、平野部への遺跡進出の様相が明らかになりつつある。

古代の遺跡 古代（飛鳥～平安時代）の遺跡は市内で348遺跡確認されている。平野部には集落遺跡が多く立地し、丘陵裾部には製鉄遺跡、須恵器・土師器窯跡などの生産遺跡が集中している。海岸近くの砂丘上には製塩遺跡もある。古代の遺跡については遺跡周辺の秋葉区に限定して記述する。新津丘陵窯跡群は新津丘陵北東斜面に分布し、七木松窯跡（256）〔中川・倉田1956〕、草水町2丁目窯跡、滝谷窯跡（255）〔川上・木村・鈴木1989〕などがある。平成18年度の下水道工事に伴う立会調査で七木松窯跡に隣接する地点で、新たに秋葉2丁目窯跡（257）（9世紀前半）が発見された。昭和27年に出版された『新津市誌』では新津丘陵に18か所の窯跡が存在すると記載されており（小林1952）、近隣に未知の窯跡がまだ多数存在すると考えられる。製鉄遺跡は新津丘陵西斜面に居村遺跡・大入C遺跡（303）などがあり、9世紀第2四半世紀以降とされる〔渡邊ほか1997〕。

次に、沖積地に立地する集落遺跡を古い時期から紹介する。長沼遺跡（236）は、非ロクロの土師器や返りのある須恵器蓋が定量出土した、7世紀後半～8世紀の遺跡である〔渡邊1991〕。近年、秋葉区天ヶ沢地内の大沢谷内遺跡（321）からは7世紀後半の土器に伴出して県内最古と言われる「九九木簡」などの木製品や律令祭祀具などが出土している。両遺跡ともに、7世紀中葉の647年に造営されたとされる「淳足棚」と年代が近く、注目される。上浦A遺跡では掘立柱建物が発見され〔川上1997、坂上2003〕、門面視や多量の墨書土器が出土している。上浦A遺跡の年代は出土物の年代観から7世紀末～10世紀と考えられ、存続期間の長い遺跡である。隣接する上浦B遺跡（233）〔新潟市国際文化歴史文化課2007〕からは、周囲を溝で囲まれた総柱建物1基と掘立柱建物2基が方向を揃えて検出された。周辺には井戸や畑跡も検出されている。遺跡は9世紀後半の短期間に営まれている。希少なものとしては奈良三彩の小壺が1点出土している。

また、新津丘陵北側の満日地区には沖ノ羽遺跡〔石川ほか1994、星野ほか1996、細野ほか2002、春日2003a、北村・菊池ほか2004、立木・澤野ほか2005、立木ほか2008、遠藤・澤野ほか2014〕、山王浦遺跡（223）〔立木・澤野ほか2004b〕、中谷内遺跡（226）〔立木ほか1999、渡邊ほか2002〕、内野遺跡（225）〔立木・高野ほか2002〕、無頭遺跡（221）〔長澤ほか2002〕、大下遺跡（222）、中新田久保遺跡（220）など9世紀後半を中心とする遺跡が多く確認されている。沖ノ羽遺跡からは8世紀第3四半世紀から10世紀第1四半世紀までの遺構・遺物が連続的に確認されており、集落や生産域が時期的に移動する様相が明らかになりつつある。瓦塔や緑釉陶器香炉、同香炉蓋、土師器仏鉢形土器など特殊な遺物が出土した地点もあり、「村落内寺院」を持つ地域の中心的な集落である。山王浦遺跡からは9世紀後半の雨落溝を伴う掘立柱建物が3基検出されており、井戸や土坑など周辺施設が併設する建物小群がいくつか並存する「住耕一体型」の集落の一部と考えられる。中谷内遺跡からは平安時代に流れた旧旧路に沿って、集落の一部が確認された。旧旧道の覆土中からは多くの祭祀に伴う墨書土器が出土した。土器は上層と下層で様相を異にし、9世紀第3四半世紀からと第4四半世紀の概ね2～3時期に分けられる。緑釉陶器無台椀など希少品も出土している。内野遺跡からは溝・小土坑などが検出され、9世紀後半の集落の一部が確認された。無頭遺跡は狭小な調査区で不明な部分が多いが、9世紀後半の土器が少量出土している。

新津丘陵東側の両新地区では細池寺道上遺跡（244）〔小池ほか1994、立木・渡邊ほか1998、渡邊ほか2001、北村ほか2004、潮田2014〕、諏訪畑遺跡（250）〔潮田2008〕、小実山遺跡（546）〔山崎・遠藤1999〕など9～10世紀にかけての遺跡が確認されている。細池寺道上遺跡は、遺跡範囲が広範囲におよんでいるが9世紀代の遺物が主体的に確認されている。遺物の中には、「都保一口」と刻書された9世紀前半の須恵器短頸壺や土師器仏鉢形土器など特殊な遺物も出土している。諏訪畑遺跡からは9世紀後半から10世紀初頭の土師器長甕と鍋の一括資料が出土している。さらに出土状況から炉跡状遺構に伴うと考えられ貴重な例である。小実山遺跡は諏訪畑遺跡の能代川対岸の丘陵上に位置する。出土物は10世紀前半が主体である。緑釉陶器耳皿など特殊遺物が出土している。

中世の遺跡 市内で215遺跡が確認されているが、秋葉区に限定して記述する。城館跡が10か所、山城として東島城跡（280）・金津城跡（311）〔樺山・竹田ほか1987〕の2か所があり、館跡とされるものが5か所ある。

集落跡は平野部微高地に立地する。自然堤防上の遺跡の実態がよく分からなかったが、平成4年に調査された江内遺跡(230)〔春日ほか1996〕の発掘に伴い、14～15世紀の集落が発見された。また細池遺跡(現、細池寺道上遺跡)〔小池ほか1994〕では中世以降のほ場の各単位施設と思われる遺構が検出されている。沖ノ羽遺跡では12～13世紀の集落およびほ場の一部が確認された〔石川ほか1994、星野ほか1996、春日2003a〕。出土遺物の中には県内初出土となる烏帽子が出土している。沖ノ羽遺跡の北東にある内野遺跡の調査では14～15世紀の自然堤防上の集落の様相が明らかとなった。遺構としては掘立柱建物・井戸・溝があり、遺物は珠洲焼甕・壺類、青磁、白磁、瀬戸・美濃焼などが確認された。さらにそれらの陶磁器とともに井戸内より鉄鍋が出土した。リサイクルを基本とする当時の社会で鉄製品が残ったということは、祭祀行為等で埋納されたと考えられる例である。そのほかに井戸底から大形犬の骨の一部が検出され、食用の可能性が指摘されており、中世の食文化を考える上で貴重である。

近世の遺跡 市内で50遺跡が確認されている。集落跡は中世と同じ平野部微高地に立地しており、現在の住宅地が存続して立地することが多く実態は不明な点が多い。発掘調査例も少ないが、秋葉区では江内遺跡で17世紀前半からの集落の一部が明らかにされている。近年、湊町新潟の「近世新潟町跡」〔佐藤2007〕が調査され、幾層も重なる生活面を確認した。肥前系を中心とする各地の陶磁器が多量に出土した。部分的な調査ではあるが、17～19世紀の町屋の実態に迫る重要な調査例である。

第3節 歴史的環境

古墳時代の越後国については文献史料では不明な点が多い。越後平野に立地する古墳は秋葉区の古津八幡山古墳をはじめ、西蒲区の菖蒲塚古墳・山谷古墳、西区の緒立神社古墳や三条市の保内三王山古墳群などいずれも前期のもので、5世紀代は越後平野での古墳の実態は不明瞭である。5世紀後半以降は高田平野・魚野川流域に造営されるようになる。

越後の領域については第1段階(3～4世紀)は旧越前国(越前・加賀・能登)、第2段階(5～6世紀)は旧越中国(頸城・古志・魚沼・蒲原4郡まで含む)まで、第3段階(7世紀中～)は淳足・磐舟欄までとし、次第に北上していく様が見える(米沢1965・1980)。『続日本紀』大宝2年(702)3月条には、越中国4郡を削いで越後国に編入するとあり、頸城・古志・魚沼・蒲原の4郡がこれに当たるとされ、これにより越中国の領域が確定した。最終的に越後国の領域が確定するのは、和銅5年(712)にそれまで越後国に属していた出羽郡を分割して出羽国を建国したことによる。

古代の秋葉区域は蒲原郡に属し、その郡域は概ね三条市以北阿賀野川以西の越後平野と推定され、中世南北朝期に蒲原郡の郡域が日沼垂郡を含む領域に拡大するまでは大幅な変更はないと思われる。7世紀段階には旧越中国の淳足欄に属する領域として整備され、8世紀には蒲原郡として成立したとみられる。蒲原郡内には10世紀成立の『和名類聚抄』に日置・桜井・勇礼・青海・小伏の5郷が見られる。秋葉区域の郷域は現段階では不明である。

宝亀11年(780)の「西大寺資財流記帳」〔『寧楽遺文』中巻〕には、西大寺の荘園として蒲原郡に鶺鴒庄・梶田庄が見られる。同史料に「越後国水田并墾田地帳景雲三年」とあることから、成立はいずれもそれ以前の8世紀中葉と見られる。所在地については式内社名から、鶺鴒庄は五泉市橋田、梶田庄は三条市周辺とされている。これらの荘園に秋葉区域が含まれていたのかは不明である。

新津丘陵における須恵器生産は、早ければ7世紀後半には始まり、8世紀前半～9世紀中頃が主な操業時期である。これは越後国内の他地域の須恵器生産動向とほぼ一致しており、いわゆる「一郡一窯体制」であった。しかし9世紀前半～中葉には、佐渡小泊窯の製品が越後国全域に流通するという画期的変化が生じる(坂井1996)。一方、金津丘陵製鉄遺跡群は新津丘陵北西側の金津地区にあり、窯跡と近接するのは燃料が薪や木炭と

共通するためである。古代の秋葉区域の産業は新津丘陵の製鉄・窯跡群が中心で、低湿地や潟湖が大部分を占めていた越後平野の中で新津丘陵は重要な位置にあったと思われる。文献史料上は確認できないが、沼重柵や国府津である蒲原津とも何らかの関係があった可能性がある。

11世紀後半に各地で成立し始めた公領のひとつである金津保は、秋葉区域に所在したとされる。金津保の初見は建武3年(1336)11月18日「羽黒義成軍忠状写」で、「同二日、引籠于金津保新津城、对于小国政光以下御敵等、到散々合戦畢」(『新潟県史』資料編4-1935)とあり、北朝方である三浦和田(羽黒)義成は金津保にあった新津城に籠り、南朝方の小国政光らと戦ったとある。この史料によって金津保には新津城が含まれていたことがわかり、この新津城とは新津城・程島館・東島城のいずれであろうとされる(木村1989)。また天正5年(1577)「三条業給分帳」に「金津保之内遊川」(『新潟県史』資料編5-2704)とあり、遊川は田上町湯川とみられ、さらに天文13年(1544)10月10日「上杉玄清定実知行宛行状」・同「長尾晴景湖状」(『新潟県史』資料編4-1495・1496)に「金津保下条村」とあるのは、五泉市下条に当たるとされる。以上のことから金津保の領域は年代によって若干の違いがあった可能性はあるが、秋葉区～田上町北部と新津丘陵の五泉市側までを含む範囲であったと推定する。

院政期～鎌倉初期には建仁元年(1201)3月4日に「城四部長茂并伴類新津四部已下、於吉野奥被誅畢」(『吾妻鏡』)とあり、新津四部はおそらく金津保に何らかの関連をもつ人物と見られるが、阿賀野川以北に勢力を持ち国衝勢力と対峙する城長茂と行動をともにしている。このことから公領である金津保は国衝勢力と城氏との間で不安定な状況であったことが予想される。また南北朝動乱期には阿賀野川以北の北朝方佐々木加地景綱らと、刈羽・魚沼地域に勢力を置く南朝方の小国氏らの蒲原津をめぐる攻防が続き、阿賀野川流域である金津保(つまり秋葉区域)は、その中で拠点の一つとして注目されていた。その後も越後守護となった上杉氏・守護代長尾氏にとって、その支配に抵抗する阿賀野川以北の国人層や本庄・色部・中条・佐々木加地氏らを統制するために金津保は地理的に極めて重要な拠点であった。そのため金津保は国衝領として守護の支配下に置かれることとなる。

天正6年(1578)3月上杉謙信が死去し、養子である景勝・景虎の間で後継争い「御館の乱」がおこる。この乱に景勝方として参戦した新津氏は、以後それまで金津保の勢力であった平賀氏に替わり領主となった。そして慶長3年(1598)景勝とともに会津へと国替えさせられるまで、新津氏が金津保を中心に発展することとなった。

中世における金津保を中心とした秋葉区域は、阿賀野川流域であり、蒲原津に近いという地理的環境や越後平野を一望することができるという新津丘陵の存在から、常に不安定な政治状況に置かれていた。先に金津保の領域に推定した範囲に、新津丘陵を中心に中世城館が常に置かれていたのはそのことを示しているのだろう。

近世に入り、越後平野では新発田藩によって新田開発に伴う治水工事が行われるようになった。また近世後期には町人請負による新田開発が盛んになり、潟の干拓が行われた。阿賀野川などの河川も水害対策のために掘削を掘削するなどの普請がなされた。

第三章 調査の概要

第1節 試掘・確認調査 (図版4、第1表)

両新地区ほ場整備事業に伴う試掘・確認調査は、平成13～17年度にほ場整備事業区域全域を行っている。平成13年度には1,147m²、平成14年度には1,701m²、平成15年度には490.5m²、平成16年度には40.1m²、平成17年度には154.5m²の現状で3533.1m²を行っている。

今回の調査地点は、平成14・16年度の確認調査で見つかった範囲となっている。1区とした田部分は現況は田にあたり、A地区156トレンチでは、現地表面(G・L)から0.3～0.5mで黒茶褐色～茶褐色土層の中世相当層が確認され、包含層の広がり予想された。2区とした現況田のA地区331トレンチでは、現地表面(G・L)から0.25～0.35mで黒茶褐色～茶褐色土層の中世包含層および相当層が確認されている。出土遺物としては中世の青磁が確認されている。3区とした用・排水路部分は現農道部分にあたり、隣接するA地区154～157・169～171・344・345・348・349・352トレンチの調査成果を参考にし、現地表面(G・L)から1.0～1.5mで黒茶褐色～茶褐色土層の中世包含層および相当層が確認されている。4区とした用・排水路部分は現農道部分にあたり、隣接するA地区133～140・333・334・337～339トレンチの調査成果を参考にし、現地表面(G・L)から1.0～1.5mで黒茶褐色～茶褐色土層の中世包含層および相当層が確認されている。以上の結果から、保護層が確保されない本発掘調査範囲は前述の通り約2,911.5m²となった。

第2節 本発掘調査

A 調査方法

1) グリッドの設定 (図版5～7)

グリッドを設定するにあたっては、新座標(世界測地系)を用い、平成19年度調査より細池寺道上遺跡の調査区全体にグリッド設定を行った。その基準点はX座標:200400.000、Y座標:56900.000、緯度:37°48'15"14414、経度139°08'42"21710を1A1A杭とした。基準点に対し国土地理院の第8系座標軸を用いて10mの方眼を組み、これを大グリッドとした。大グリッドの名称は北西隅の杭を基点として短軸方向をアラビア数字、長軸方向をアルファベットとし、この組み合わせによって表示した。大グリッドをさらに2m方眼に区分して1から25の小グリッドに分割し、「7P-1J」のように呼称した。基準杭の打設は測量業者に委託した。発掘調査区4点の座標(新座標)は次のとおりである。

1区 7P-1J (X座標:199800.000、Y座標:58490.000、Z座標:7.967m、緯度:37°47'55"3213、

経度:139°09'51"0421)

2区 8O-2A (X座標:199690.000、Y座標:58300.000、Z座標:8.054m、緯度:37°47'51"7970、

経度:139°09'43"2436)

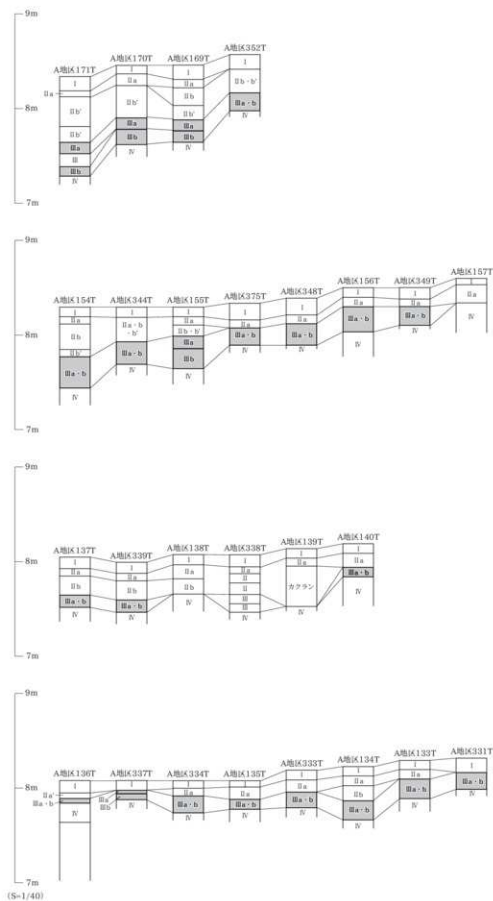
3区 6P-6J (X座標:199850.000、Y座標:58490.000、Z座標:7.864m、緯度:37°47'56"9430、

経度:139°09'51"0566)

4区 7O-9G (X座標:199720.000、Y座標:58360.000、Z座標:8.266m、緯度:37°47'52"7563、

経度:139°09'45"7049)

1区 7P-1J杭で長軸方向を座標北の0度0分0秒とし、座標北は真北に対し0度24分25秒49東偏し、磁



第7図 細池寺道上遺跡試掘・確認調査土層柱状図

北は真北に対し7度44分00秒西偏する。

2) 調査方法

① 表土剥ぎ：確認調査によって遺物の出土が多量であることから、遺物包含層(Ⅲ層)上面まで、遺物の出土に注意しながら重機(バックホウ)により除去した。排土は横置きした。法面は安全面を考慮して一分の勾配とした。また、湛水防止のために、表土剥ぎと並行して調査区の周囲に土側溝を掘り、2時のポンプで強制排水を行った。土側溝は人力で掘削し、幅20cm、深さ20cm程の溝で、壁面を垂直に掘ると崩壊する恐れがあるために緩く傾斜をつけたV字の溝を掘削した。土側溝により遺構の破壊が考えられたが、湛水により調査が不能になることを防ぐ処置である。

② 包含層掘削・遺構検出・発掘：重機で掘削後、ジョレン等を用いて人力で精査を行い、包含層の掘削・遺構の検出にあたった。排土は人力で調査区外へ搬出した。

③ 実測・写真：実測図は断面図を1/20で作成した。平面図や各種測量点は測量業者に委託してトータルステーションを用いて作成し、あわせて俯瞰写真を撮影した。写真撮影は35mm版、6×7版のカメラを用い、白黒フィルム・カラーポジフィルムを適宜併用した。さらにデジタルカメラでの撮影も行った。

④ 遺物取り上げ：包含層出土遺物は小グリッド単位として取り上げた。遺構出土遺物は点数が少ない地点が多く、層位・小グリッド単位ごとに一括で取り上げた。

⑤ 自然科学分析：土壌分析・植物珪酸体分析・花粉分析・樹種同定・種実同定の科学分析を行った。

B 調査経過

平成20年6月10日から諸準備を開始した。調査員3名で調査を開始する。6月12日に機材搬入を行った。6月16日～7月14日まで、2区と4区を同時にその後、1区と3区の順番で重機によってⅠ～Ⅱ層を除去した。表土剥ぎと並行して作業員約8名(2区5名、3区3名)で排水路掘削、法面仕上げおよび遺構検出準備作業を行った。さらに7月5日より表土機械掘削班と2班に分かれ、2区から順番に人力包含層掘削および遺構検出作業を行い、徐々に人員を増やしながら最終的には作業員約20名で遺構精査を開始した。7月15日より4区の遺構検出および掘削を開始する。8月5日に2区のローリングタワーでの撮影を行った。同日より1区の遺構精査調査を開始した。4区は遺構の遺存状況が悪く、8月8日に4区の完掘写真を撮影する。8月18日より3区の遺構精査を開始する。8月22日に(株)火山灰考古学研究所の早田勉氏に来跡頂き、1・2区の自然科学分析サンプリングを行った。9月1日に1区のローリングタワーでの撮影を行った。9月3日に3区の調査をほぼ終了し、全体のラジコンヘリコプターでの空中撮影を行った。9月4日以降は遺構密度が高かった2区の遺構精査を9月17日まで行った。9月20日に現地説明会を開催し、152名の参加があった。9月25日に機材撤収を行い、9月27日までにプレハブを撤去し、調査を終了した。

最終的な発掘調査面積は、1区上端面積720.65m²、1区下端面積691.38m²、2区上端面積901.36m²、2区下端面積884.09m²、3区上端面積748.18m²、3区下端面積513.14m²、4区上端面積401.47m²、4区下端面積325.70m²である。合計面積は上端面積2771.66m²、下端面積2414.31m²である。

C 調査体制

【平成20年度】

調査期間	平成20年6月10日～平成20年9月27日
調査主体	新潟市教育委員会(教育長 佐藤満夫)
所管課	歴史文化課(課長 倉地一則、課長補佐 山田一雄) 歴史文化課埋蔵文化財係(係長 渡邊明和)
事務局	埋蔵文化財センター(所長 山田光行)
調査担当	立木宏明(主査)
調査員	潮田憲幸(副主査) 高野裕子(専門臨時職員)

第3節 整理作業

A 整理方法

1) 遺物

遺物量はコンテナ（内径54.5×33.6×10.0cm）にして100箱である。平安・鎌倉・室町時代の土器・陶磁器・石製品・土製品・木製品・鍛冶関連遺物など各種におよぶ遺物がある。

遺物の整理作業は次の手順で行った。①洗浄。②注記。③包含層：グリッド別の種類の重量計測。④遺構：遺物の器種別の重量・個体数計測。⑤接合。⑥報告書掲載遺物の抽出。⑦実測図作成。観察表作成。⑧トレース図作成。⑨版割付作成。⑩版下作成。このうち⑧と⑩は業者に委託してデジタル編集をした。

2) 遺構

平面図を作成するにあたっては、まず測量者に委託した1/20の遺構平面図と手取り断面図との校正作業を行った。報告書の1/80と1/40の遺構平面図は測量業者が作成し、デジタルデータとした。

B 整理経過

平成20年度は発掘調査終了後、整理作業を開始した。平成21年度も引き続き整理作業を行った。出土遺物の水洗・注記・計測・接合・実測作業と、写真・図面整理を行い、併せて測量作業に委託した遺構平面図の校正作業を行った。遺物実測には、2名で約6か月を要した。遺構平面図は測量業者作成のデジタルデータを用いた。職員は、遺物写真の撮影、図版のレイアウト、報告書の執筆・編集にあたった。平成24年度に石製品のトレース・執筆を、平成25年度に全体編集等を行い、平成26年度に報告書を刊行した。

C 整理体制

【平成20年度】

整理期間	平成20年6月10日～平成21年3月31日
調査主体	新潟市教育委員会（教育長 佐藤満夫）
所管課	歴史文化課（課長 倉地一則、課長補佐 山田一雄） 歴史文化課埋蔵文化財係（係長 渡邊朋和）
事務局	埋蔵文化財センター（所長 山田光行）
整理担当	立木宏明（主査）
調査員	瀧田憲幸（副主査） 高野裕子（専門臨時職員）

【平成21年度】

整理期間	平成21年6月15日～平成22年3月31日
調査主体	新潟市教育委員会（教育長 佐藤満夫）
所管課	歴史文化課（課長 倉地一則、課長補佐 頼所洋一） 歴史文化課埋蔵文化財係（係長 渡邊朋和）
事務局	埋蔵文化財センター（所長 山田光行）
整理担当	立木宏明（主査）
調査員	高野裕子（専門臨時職員）

【平成24年度】

整理期間	平成24年7月23日～平成25年2月22日
調査主体	新潟市教育委員会（教育長 阿部愛子）
所管課・事務局	文化財センター（所長 高橋 保 所長補佐 丸山徳幸 主任 渡邊朋和）
整理担当	立木宏明（主査）

【平成25年度】

整理期間	平成25年7月9日～平成26年3月7日
調査主体	新潟市教育委員会（教育長 阿部愛子）
所管課・事務局	文化財センター（所長 中野俊一 所長補佐 丸山徳幸 主任 渡邊朋和 遠藤恭雄 本間敏則）
整理担当	立木宏明（主査）

第IV章 遺 跡

第1節 概 要

細池寺道上遺跡は阿賀野川の自然堤防上に立地する。標高は現水田面で8.5～8.2mを測り、南東から北西にかけて緩やかに下がっていく。遺構確認面でも同様に傾斜しており標高8.1～7.2mを測る。便宜上、面工事部分を1区・2区、用排水管理設を伴う路線工事部分を3区・4区として調査した。出土遺物は鎌倉・室町時代のうち12世紀後半と14世紀のものが主体を占め、平安時代の遺物は少量であり大半は後世の紛れ込みとみられる。

遺構は各調査区の標高が高くなる南東部分で密度が濃く、大部分の遺構は出土遺物の状況から鎌倉・室町時代に属する。3区・4区は調査区域が狭小なため遺構全体を調査できず、一部分の調査に限られているものが多い。

遺物量はコンテナ(内径54.5×33.6×10.0cm)換算で100箱となる。内訳は土器・陶磁器39箱、鉄製品・鍛冶関連遺物4箱、石製品・礫50箱、木製品7箱である。

第2節 層 序 (図版13・29・54・71、写真図版19・30・52・69)

基本層序はI～IV層の4層に大別でき、この中でさらに細分できる場合はa・b・' (ダッシュ)を付した。調査区ごとに記録をしているため色調等に若干の相違が生じているが、共通の認識のもとに分類した。I層は現水田耕作土、II層は現水田床土である。III層は古代・中世の遺物包含層である。IV層は遺構確認面となる。記録に際しては色調・土質、土色粘記号、粘性・しまり、混入物に着目した。1区・2区は大正末年から昭和20年代に行われた耕地整理による削平や耕作による攪乱、4区は既存道路造成工事による攪乱を受けているが遺物包含層は比較的良好に遺存している。遺構確認面までの深度は最も浅いところで1区基本層序C付近の0.18m、最も深いところで3区基本層序C付近の1.22mである。3区では遺構確認面までの深度が深く遺物包含層が厚く堆積している。旧河川と推測される落ち込みは見られず、阿賀野川や早出川による洪水堆積層も確認できない。また、遺構確認面であるIV層は酸化しており長期間湛水することなく安定した土地だったことが窺える。

- I 層 黒褐色 (10YR3/1) 土 粘性・しまりややあり。炭化物はほとんどなし。層厚0.05～0.30m。現水田耕作土。
- II 層 褐灰色 (10YR4/1) 土 粘性あり、しまり非常にあり。炭化物はほとんどなし。層厚0.05～0.70m。現水田床土。
- II a 層 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質シルト 粘性あり、しまり非常にあり。層厚0.05～0.23m。
- II b 層 灰黄褐色 (10YR4/2) 粘質シルト 粘性・しまりあり。III層土がブロック状に入る。層厚0.02～0.54m。
- II b' 層 灰黄褐色 (10YR4/2) 粘質シルト 粘性・しまりあり。II b 層土とIII a 層土間の漸移層。3区に見られる。層厚0.08～0.17m。
- III a 層 黒褐色 (10YR2/3) 土 粘性ややあり、しまりあり。φ1mmの炭化物が少量入る。層厚0.05～0.40m。古代・中世の遺物包含層。
- III b 層 黒褐色 (10YR3/2) 土 粘性ややあり、しまりあり。φ1mmの炭化物が少量入る。層厚0.02～0.30m。古代・中世の遺物包含層。
- III b' 層 黒色 (10Y2/1) 粘質シルト 粘性・しまりあり。III b 層土より暗く、腐植質土。層厚0.04～

0.20m、3区・4区に見られる。古代・中世の遺物包含層。

IV 層 暗褐色(10YR3/4)土 粘性ややあり、しまりあり。炭化物はほとんどなし。地山・遺構確認面。

第3節 遺 構 (図版8～74)

A 遺構の概要

遺構番号は調査区ごとに遺構の種類に関わらず通し番号を付したが、遺構ではないと判断したものについては欠番とした。説明は調査区ごとにし、井戸(SE)、土坑(SK)、性格不明遺構(SX)、溝(SD)、畝状小溝、小土坑(Pit)、掘立柱建物(SB)、道路状遺構の順に概ね北から南へと順次記す。遺跡全体で検出された遺構数はSE 30基、SK 120基、SX 25基、SD 93基、畝状小溝 14基、Pit 1370基、SB 20棟、道路状遺構 2基である。遺構の形態分類は和泉A遺跡での分類(加藤・荒川1999)を参考としたが、調査区外へ延びる遺構については可能な限り推測して記した。遺構の計測値等は別表1に示し、詳細な説明は一部省略している。また、遺構出土土器・陶磁器・鉄製品・鍛冶関連遺物は別表3、石製品については別表4に示した。

B 1区の遺構

1) 1区の概要

1区では標高7.85～8.10mを測り、遺構は7.90m以上の範囲に集中しており地形の低い北側では遺構密度が希薄となる。検出された遺構はSE 8基、SK 14基、SD 22基、畝状小溝 14基、Pit 348基の計406基、SB 8棟である。平安時代の土師器の小片が5点出土しているが、いずれも後世の混入と思われる。総柱構造の掘立柱建物は標高7.95m付近の微高地上に存在する。同時期に存在したかは不明であるが大形の井戸3基はN69°Eの軸に直線的に並ぶと同時に、小形の井戸5基のうち4基がこの軸の周辺に分布しており、水脈がこの軸に沿って存在していたことが窺える。調査面積は上端面積720.65m²、下端面積691.38m²である。

2) 1区の遺構各説

a 井 戸 (SE)

SE17 (図版11・14、写真図版19)

7P-11に位置する。SK385、SD13・15・16・18・19を切る。井戸側はなく素掘りの井戸あるいは水溜めである。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸3.42m・短軸3.40m・深さ1.50mを測る。覆土は7層に分けられ、4層以下は人為的な埋め戻し土である。遺物は1・2層から土師器小甕、中世土師器皿、珠洲焼片口鉢、椀形滓が出土し、4・5層からは人頭大の礫を含めて計8.6kgの礫と砥石、敲石、台石、軽石製石製品が出土している(図版75・80・82・83)。

SE420 (図版10・15、写真図版20)

6P-10J、7P-1Jに位置する。SE333に切られる。井戸側は残存していないが断面の形状より水溜め施設として曲物が使用され、井戸廃棄時に抜き取られた可能性がある。平面形は楕円形、断面形は漏斗状である。確認面での長軸3.14m・短軸2.53m・深さ1.59mを測る。SE333の完掘作業とともにSE420を完掘してしまったため土層断面図を作成できなかった。遺物は出土していない。

SE333 (図版10・15、写真図版19・20)

6P-10J、7P-1Jに位置する。SE420・SD332を切る。素掘りの井戸である。平面形は楕円形、断面形は漏斗状である。確認面での長軸3.14m・短軸2.53m・深さ0.80mを測る。ただし、SE333の本来の掘方はひとまわり小さかったものと考えている。SE420が完全に埋まりきらないうちにSE333が掘削されたか、あるいはSE420掘方が窪地状になってSE333が完全に埋没する際に1・2層が堆積し、結果的にSE333の上端が広がったものと推測する。よって、上端の形状はSE420のもので、1・2層はSE333覆土と捉える。覆土は5

層に分けられ、3層以下は人為的な埋め戻し土である。遺物は珠洲焼片口鉢、軽石製石製品、礫が出土している(図版75・83)。

SE12 (図版11・12・15, 写真図版20)

7P-1Hに位置する。素掘りの井戸である。遺構の半分は調査区外へ延びているが平面形は楕円形と推測でき、断面形は台形状である。確認面での長軸0.87m・短軸1.25m・深さ0.65mを測る。覆土は6層に分けられ、3層以下は人為的な埋め戻し土である。遺物は礫が出土している。

SE14 (図版11・12・15, 写真図版20)

7P-1Hに位置する。SD13に切られる。素掘りの井戸である。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸1.20m・短軸0.97m・深さ0.46mを測る。覆土は4層に分けられ、3・4層は人為的な埋め戻し土である。遺物は出土していない。

SE6 (図版12・16, 写真図版7・20)

7P-1G・2G・1H・2Hに位置する。SB429の雨落ち溝であるSD5を切る。井戸側はなく素掘りの井戸あるいは水溜めである。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸4.07m・短軸3.90m・深さ1.55mを測る。覆土は9層に分けられ、5・6・8層は人為的な埋め戻し土である。遺物は中世土師器皿、珠洲焼片口鉢、鉄滓、磨石、敲石、磨石+敲石、軽石製石製品、焼礫・礫が出土している(図版79・82・83)。中でも焼礫・礫の総重量は25.7kgにも及ぶ。

SE10 (図版11・12・16, 写真図版20)

7P-1Hに位置する。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸1.02m・短軸1.02m・深さ0.26mを測る。素掘りの井戸にしては深度が浅く、また地下水が湧水する透水層までは掘削されていないことから井戸ではない可能性がある。覆土は3層に分けられる。遺物は砥石が出土している(図版82)。

SE1 (図版12・16, 写真図版21)

7P-2Gに位置する。SD2を切る。素掘りの井戸である。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸1.20m・短軸1.00m・深さ0.48mを測る。覆土は6層に分けられる。2層土には黒灰が混じり、2層下面からは刀子が出土している。遺物は青磁椀、刀子、鉄滓、焼礫・礫が出土している(図版75・79)。

b 土 坑 (SK)

SK427 (図版13)

6Q-10A・10Bに位置する。深度が浅いため包含層掘削時に掘り飛ばしてしまった遺構である。基本層序Eで確認したのみで平面形は不明、断面形は弧状である。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK370 (図版10・17, 写真図版21)

6Q-10Aに位置する。平面形は円形、断面形は弧状である。確認面での長軸1.61m・短軸1.50m・深さ0.28mを測る。覆土は4層に分けられ、1・3層は炭化物を多く含む。遺物は出土していない。

SK412 (図版10・17, 写真図版21)

6Q-9Aに位置する。遺構の半分は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形は半円状である。調査可能部分での規模は確認面での長軸0.81m・短軸0.19m・深さ0.25mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK327 (図版10・17, 写真図版22)

6P-10Jに位置する。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸0.77m・短軸0.74m・深さ0.21mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK304 (図版10・11・17, 写真図版22)

6P-10I・10Jに位置する。平面形は楕円形、断面形は弧状である。確認面での長軸1.64m・短軸1.28m・深さ0.05mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK316 (図版 10・11・18, 写真図版 22)

6P-10Jに位置する。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸0.63m・短軸0.57m・深さ0.09mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK265 (図版 11・18, 写真図版 22)

7P-11に位置する。SD264を切る。平面形は円形、断面形は弧状である。確認面での長軸0.69m・短軸0.62m・深さ0.18mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK409 (図版 11・14)

7P-11に位置する。SD16に切られる。平面形は円形、断面形は台形状である。遺存部分の規模は確認面で長軸0.54m・短軸0.16m・深さ0.21mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK385 (図版 11・18, 写真図版 23)

7P-11に位置する。SB430を構成するPit230とSE17に切られているが平面形は楕円形、断面形は弧状と推測できる。遺存部分の規模は確認面で長軸0.85m・短軸0.46m・深さ0.19mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK299 (図版 10・11・18, 写真図版 23)

6P-10Iに位置する。平面形は円形、断面形は弧状である。確認面での長軸0.99m・短軸0.85m・深さ0.15mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK22 (図版 11・18, 写真図版 23)

7P-11に位置する。SD21を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸0.71m・短軸0.64m・深さ0.14mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は礫が出土している。

SK23 (図版 11・18, 写真図版 23)

7P-11に位置する。平面形は円形、断面形は弧状である。確認面での長軸0.73m・短軸0.66m・深さ0.11mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK347 (図版 11・18, 写真図版 24)

7P-1Jに位置する。SD417を切る。遺構の半分は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形は弧状である。確認面での長軸0.81m・短軸0.30m・深さ0.16mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK98 (図版 12・18, 写真図版 24)

7P-2Hに位置する。SB429を構成するPit99を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸0.78m・短軸0.55m・深さ0.19mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

c 溝 (SD)

SD368 (図版 10・17, 写真図版 21)

6Q-10Aに位置する。主軸方位はN15°Eで調査区外へ延びる南北溝である。北部分は隣接する3区へ延びており3区SD71と同一遺構となるため土層注記は共通させた。断面形は台形状である。確認面での短軸1.10m・深さ0.52mを測る。覆土は6層に分けられる。遺物は軽石製石製品、礫が出土している(図版83)。

SD342 (図版 10・11・18, 写真図版 24)

7P-1Jに位置する。SD290-SD340を切り、SD341に切られる。主軸方位はN78°EからN74°Wへと変化し、調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短軸0.42m・深さ0.19mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は礫が出土している。

SD341 (図版 10・11・18, 写真図版 24)

7P-1Jに位置する。SD342とSB428の雨落ち溝であるSD332を切り、SD291に切られる。主軸方位はN75°EからN14°Wへ変化し、調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短軸0.40m・深さ

0.21mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は鉄滓、磨石、礫が出土している（図版82）。

SD340（図版11・18、写真図版24）

7P-1Jに位置する。SD417を切り、SD253・SD290・SD291・SD342に切られる。SD341・SD342との切り合いは不明である。主軸方位はN62°Wで南東部は調査区外へ延びる。断面形は弧状である。確認面での短軸0.21m・深さ0.06mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD288（図版11・18）

7P-1Iに位置する。SD254・SD255・SD264・SD280・SD281・SD282・SD283・SD284を切る。主軸方位はN11°Eである。確認面での長軸3.15m・短軸0.38m・深さ0.13mを測る。覆土は土層断面図を作成できなかったため不明である。遺物は出土していない。

SD292（図版11・19）

7P-1I・1Jに位置する。SD253・SD264・SD284・SD339を切る。主軸方位はN76°Eである。断面形は弧状である。確認面での長軸2.42m・短軸0.25m・深さ0.07mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD289（図版11・19、写真図版25）

7P-1Iに位置する。SD291・SD253・SD281・SD280を切る。主軸方位はN5°Wで南側は調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短軸0.55m・深さ0.26mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は珠洲焼窯、礫が出土している（図版75）。

SD21（図版11・18、写真図版24・25）

7P-1Iに位置する。SK22・SD16に切られる。主軸方位はN11°Eである。断面形は半円状である。確認面での短軸0.28m・深さ0.11mを測る。覆土は単層である。遺物は軽石製石製品、礫が出土している（図版83）。

SD16（図版11・14・18、写真図版25）

7P-1Iに位置する。SK409・SD13・SD15・SD21・SD281・SD282・SD252を切り、SE17に切られる。主軸方位はN6°E、N82°Wへと変化する。断面形は台形状である。確認面での短軸0.59m・深さ0.34mを測る。覆土は4層に分けられる。遺物は焼礫、礫が出土している。

SD13（図版11・12・15・19、写真図版26）

7P-1H・1Iに位置する。SE14を切り、SE12・SE17・SD15・SD16に切られる。主軸方位はN76°EからN15°Eへと変化する。調査区外へ延びる。断面形は弧状から台形状になる。確認面での短軸0.70m・深さ0.18mを測る。底面標高はSE17付近で7.93m、SB434エレベーションaラインでは7.71mとなり北へ向かって傾斜していることが判る。覆土は3層に分けられる。遺物は礫が出土している。

SD15（図版11・12・19、写真図版26）

7P-1Iに位置する。SD13を切り、SE17・SD16に切られる。主軸方位はN67°Eである。断面形は台形状である。確認面での短軸0.30m・深さ0.09mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD18（図版11・19、写真図版25・26）

7P-1Iに位置する。SE17に切られる。主軸方位はN58°Wである。断面形は弧状である。確認面での短軸0.35m・深さ0.04mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD19（図版11・19、写真図版26）

7P-1Iに位置する。SE17に切られる。主軸方位はN65°Wである。断面は弧状である。確認面での短軸0.31m・深さ0.03mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。SD18に形状や覆土、主軸方位が類似していることから同時期に存在した可能性が高い。

SD11（図版12、写真図版26）

7P-1Hに位置する。主軸方位はN85°Wで西側は調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短

軸 0.75m、掘り込み面からの深さ 0.25m を測る。覆土は 3 層に分けられる。遺物は出土していない。

SD9 (図版 12・19、写真図版 27)

7P-1H・2H に位置する。主軸方位は N69° W である。断面形は半円状である。確認面での長軸 2.40m・短軸 0.59m・深さ 0.46m を測る。覆土は 5 層に分けられる。遺物は出土していない。

SD8 (図版 12・19、写真図版 27)

7P-2H に位置する。主軸方位は N76° W である。断面形は台形状である。確認面での長軸 1.26m・短軸 0.37m・深さ 0.09m を測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD2 (図版 12・19、写真図版 27)

7P-2G に位置する。SE1 に切られる。主軸方位は N78° W である。断面形は台形状である。確認面での短軸 0.48m・深さ 0.12m を測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD4 (図版 12・21、写真図版 27)

7P-2G に位置する。主軸方位は N13° E である。断面形は台形状である。確認面での長軸 1.95m・短軸 0.45m・深さ 0.22m を測る。覆土は 2 層に分けられる。遺物は出土していない。

d 畝状小溝 (写真図版 7)

2 方向の畝状小溝のうち南北方向では 5 基、東西方向では 9 基確認されている。切り合い関係については遺構検出の際に東西溝が南北溝を切っていることを確認しており、南北溝の遺構確認面は IV 層上面である。植物珪酸体 (プラント・オパール) 分析の結果、東西溝ではイネ・ムギ類の栽培がされていた可能性が高い (第 VI 章第 1 節参照)。

SD252 (図版 11・19、写真図版 28)

7P-1I・2I に位置する。SD16・SD254・SD255・SD264・SD280・SD281・SD282・SD283・SD284 に切られる。主軸方位は N21° E の南北溝で南側は調査区外へ延びる。断面形は弧状である。確認面での短軸 0.62m・深さ 0.22m を測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD253 (図版 11・19、写真図版 28)

7P-1I・1J・2I に位置する。SD340 を切り、SD254・SD255・SD264・SD280・SD281・SD282・SD283・SD284・SD289・SD292 に切られる。主軸方位は N38° E の南北溝で南側は調査区外へ延びる。断面形は弧状である。確認面での短軸 0.70m・深さ 0.14m を測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD291 (図版 11・19、写真図版 25・28)

7P-1I・1J・2I に位置する。SD340 を切り、SD289・341・342 に切られる。主軸方位は N40° E の南北溝で南側は調査区外へ延びる。断面形は弧状である。確認面での短軸 0.72m・深さ 0.17m を測る。覆土は単層である。遺物は鉄滓が出土している。

SD290 (図版 11・19、写真図版 25・28)

7P-1J に位置する。SD340 を切る。主軸方位は N40° E の南北溝で北端は SD341・SD342 に切れ、南側は調査区外へ延びる。断面形は弧状である。確認面での短軸 0.40m・深さ 0.08m を測る。覆土は単層である。遺物は軽石裂石製品が出土している (図版 83)。植物珪酸体 (プラント・オパール) 分析を実施したが、イネは検出されなかった (第 VI 章第 1 節参照)。

SD417 (図版 11、写真図版 28)

7P-1J に位置する。SD340 を切る。主軸方位は N28° E の南北溝で北端は土側溝で破壊され、南側は SK347 に切られる。断面形は弧状である。確認面での短軸 0.28m・深さ 0.08m を測る。土層断面図は作成していないため覆土は不明であるが、おそらく単層であろう。遺物は出土していない。

SD339 (図版 11・19、写真図版 28)

7P-1I・1J に位置する。SD253 を切り、SD292 に切られる。主軸方位は N56° W の東西溝である。断面形

は弧状である。確認面での長軸4.10m・短軸0.46m・深さ0.04mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD264 (図版11・19, 写真図版28)

6P-10I, 7P-11・1Jに位置する。SD252・SD253を切り, SK265・SD288・SD292に切られる。主軸方位はN56°Wの東西溝である。断面形は弧状である。確認面での長軸9.18m・短軸0.47m・深さ0.08mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。溝の西側は幅が細くなり他の東西溝よりも長くなることからこの部分は別の溝となる可能性がある。植物珪酸体(プラント・オパール)分析を実施したところ、イネとムギ類(穎)について高い数値が得られ、これらの栽培が行われていた可能性が高いとの報告を受けた(第VI章第1節参照)。

SD284 (図版11・19, 写真図版28)

7P-11・1Jに位置する。SD252・SD253を切り, SD288・SD292に切られる。主軸方位はN55°Wの東西溝である。断面形は弧状である。確認面での長軸3.78m・短軸0.58m・深さ0.04mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD283 (図版11・19, 写真図版28)

7P-11・1Jに位置する。SD252・SD253を切り, SD288に切られる。主軸方位はN55°Wの東西溝である。断面形は弧状である。確認面での長軸3.50m・短軸0.53m・深さ0.03mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD282 (図版11・19, 写真図版28)

7P-11・1Jに位置する。SD252・SD253を切り, SD16・SD288に切られる。主軸方位はN61°Wの東西溝である。断面形は弧状である。確認面での長軸3.17m・短軸0.57m・深さ0.05mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD281 (図版11・19, 写真図版25・28)

7P-11に位置する。SD252・SD253を切り, SD16・SD289に切られる。主軸方位はN60°Wの東西溝である。断面形は弧状である。西端をSD16に切られるが、概ね確認面での長軸2.85m, 短軸0.49m・深さ0.04mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD280 (図版11・19, 写真図版28)

7P-11に位置する。SD252・SD253を切り, 東端はSD289に切られる。主軸方位はN65°Wの東西溝である。断面形は弧状である。確認面での短軸0.55m・深さ0.07mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD255 (図版11・19, 写真図版28)

7P-11に位置する。SD252・SD253を切る。主軸方位はN56°Wの東西溝である。断面形は台形状である。東端は土留溝で破壊されているが、概ね確認面での長軸2.60m, 短軸0.52m・深さ0.06mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD254 (図版11・19, 写真図版28)

7P-11に位置する。SD252・SD253を切る。主軸方位はN60°Wの東西溝である。断面形は弧状である。確認面での長軸2.45m・短軸0.42m・深さ0.06mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

e 掘立柱建物(SB)

SB428付SD332 (図版10・20, 写真図版8・28・29)

6P-10J, 6Q-10A, 7P-1J, 7Q-1Aに位置する。主軸方位はN80°Wの東西棟である。東側は調査区外へ延びているため正確な桁行は把握できないが、桁行2間(6.67m)・梁間2間(4.03m)の総柱建物である。床面積は26.88m²である。柱穴の規模は径0.30～0.70m・深さ0.17～0.58mとばらつきがある。柱間隔は桁行2.90～3.55m・梁間1.92～2.05mで桁行の柱間は一定しない。柱根は残存しない。

北側から西側にかけてSD332が走り、雨落ち溝となる。主軸方位はN74°W及びN10°Eである。断面形は

台形状である。確認面での短軸0.48m・深さ0.20mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。切り合い関係からSB428・SD332はSE333・SE420より古い。

SB429 付 SD7・SD5・SD3 (図版12・21, 写真図版8・29)

7P-2G・2H・3Hに位置する。主軸方位はN81°Wの東西棟である。東側は調査区外へ延びているため正確な桁行は把握できないが、桁行3間(9.37m)・梁間4間(7.09m)の総柱建物で北と南に廂をもつ。廂を含めた床面積は66.43m²である。柱穴の規模は径0.26～0.60m・深さ0.38～0.82mとばらつきがある。柱間隔は西側の桁行が2.60m前後、中間が3.20m、東側が3.40mとなる。梁間は身舎が平均2.18m、廂が1.30m台とほぼ一定している。

北・西・南側に位置するSD7・SD5・SD3が雨落ち溝となる。SD7の主軸方位はN77°Wである。断面形は台形状である。確認面での長軸6.15m・短軸0.62m・深さ0.07mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。SD5の北端はSE6に切られる。主軸方位はN8°Eである。断面形は半円状である。確認面での長軸6.71m・短軸0.58m・深さ0.26mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。SD3の東側は調査区外へと延びている。主軸方位はN79°Wである。断面形は台形状である。確認面での短軸0.30m、掘り込み面からの深さ0.15mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。SD3の確認面はⅢb層上面であることからSD5・SD7・SB429も同様にⅢb層上面が確認面であると考えられる。西側雨落ち溝であるSD5とSE6の切り合い関係からSB429はSE6より古いといえる。

SB430 (図版11・12・22, 写真図版28・29)

7P-11・2Iに位置する。主軸方位はN65°Wの東西棟である。東側は調査区外へ延びているため正確な桁行は把握できないが、桁行2間(4.60m)以上・梁間3間(6.37m)の総柱建物で北側に廂をもつ。廂を含めた床面積は29.30m²以上である。柱穴の規模は径0.30m前後で一定するが、深さは0.28～0.74mとばらつきがある。柱間隔は西側の桁行が2.20m台、東側が2.35mと一定している。梁間は身舎が2.52mと2.9m前後の2種類、廂が1.0m台となる。SE17および畝状小溝SD252・SD253と重複するが新旧関係は明確ではない。ただし、SE420と同様に総柱構造・東西棟であるSB428とSB429の井戸との切り合い関係を考慮するとSB428はSE420に、SB429はSE6に切られていることからこの2基の井戸と同規模のSE17もSB430を切っている可能性が高いと推測できる。そこでSE6がⅢb層上面が確認面と推測できるSB429を切っていることからSB430もⅢb層上面が確認面と仮定できる。

SB431 (図版10・11・20, 写真図版29)

6P-10I・10Jに位置している。主軸方位はN73°Wの東西棟である。桁行2間(3.83m)・梁間1間(2.63m)の側柱建物で、床面積は9.60m²である。柱穴の規模は径0.2m台で一定するが、深さは0.27～0.64mとばらつきがある。柱間隔は西側の桁行が1.42m、東側が平均2.40mである。梁間は2.40mと2.63mである。SB431を構成しているPit414はⅣ層上面が遺構確認面となることから、SB431はSB429およびSB430よりも古いと推察できる。

SB432 (図版10・11・23, 写真図版29)

6P-10I・10Jに位置している。主軸方位はN72°Wの東西棟である。桁行2間(3.62m)・梁間1間(3.04m)の側柱建物で、床面積は10.56m²である。柱穴の規模は径0.18～0.41m、深さ0.16～0.58mとばらつきがある。柱間隔は桁行が1.8m前後、梁間が2.88mと3.04mである。SB431とSB432では0.40mの間隔において平行するように構築されていること、東側の梁軸は一致していることから同時期に存在したか、あるいは一方に合わせてもう一方を建てた可能性がある。

SB433 (図版11・23, 写真図版29)

6P-10Iに位置している。主軸方位はN20°Eの南北棟である。北・西側は調査区外へ延びているため正確な規模は把握できないが、桁行2間(3.75m)・梁間2間(2.83m)の側柱建物で、床面積は10.75m²である。柱

穴の規模は径0.15～0.38m、深さ0.10～0.32mとばらつきがある。柱間隔は桁行が1.68mと2.07m、梁間が1.28mと1.55mである。

SB434 (図版11・12・22, 写真図版29)

7P-1Hに位置している。主軸方位はN78°Wの東西棟である。桁行1間(3.08m)・梁間1間(1.64m)の側柱建物で、床面積5.18m²である。柱穴の規模は径0.3m前後で一定しているが、深さは0.37～0.54mとややばらつきがある。柱間隔は桁行3.00m・梁間1.70m前後である。

SB435 (図版12・23, 写真図版29)

7P-2Gに位置している。主軸方位はN11°Eの南北棟である。桁行2間(3.55m)・梁間2間(3.30m)の側柱建物で、床面積11.86m²である。柱穴の規模は径0.30m前後で一定しているが、深さは0.31～0.60mとばらつきがある。柱間隔は桁行1.57～1.98m・梁間1.55～1.79mである。SB429との新旧関係は不明である。

C 2 区 の 遺 構

1) 2 区 の 概 要

2区では標高7.80～8.00mを測り、遺構密度は調査区南半で高くなる。検出された遺構はSE17基、SK62基、SX9基、SD24基、Pit848基の計960基、SB12棟、道路状遺構2基である。Pit8基から平安時代の土師器の小片が数点ずつ出土しているが、いずれも中世期に紛れ込んだものと思われる。すべての遺構は出土遺物や覆土の状況から中世に属するものと考えている。調査区のほぼ中央では南北に走る道路状遺構が検出された。路面として使用された部分は遺構密度が希薄となっており、道路状遺構で確認されることがある波板状遺構や硬化面はみられない。路面の両側には側溝として機能した溝が掘られており、土層観察によりこの側溝は数度の掘り直しを経たことが窺える。調査面積は上端面積901.36m²、下端面積884.09m²である。

2) 2 区 の 遺 構 各 説

a 井 戸 (SE)

SE34 (図版27・30, 写真図版30)

7O-10Aに位置する。素掘りの井戸である。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面での長軸1.15m・短軸1.00m・深さ0.98mを測る。覆土は7層に分けられ、2層以下は人為的な埋め戻し土である。遺物は土師器、珠洲焼壺、礫が出土している。

SE19 (図版27・30, 写真図版30)

8N-1Jに位置する。SD20を切る。素掘りの井戸である。遺構の半分は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形は台形状である。確認面での深さ0.99mを測る。覆土は9層に分けられ、3・5～9層は人為的な埋め戻し土である。遺物は焼礫が出土している。

SE14 (図版27・30, 写真図版31)

8N-1Jに位置する。井戸側は残存していないが断面の形状より水溜め施設として曲物が使用され、井戸廃棄時に抜き取られた可能性がある。土側溝により一部破壊されているが、平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面での長軸1.26m・短軸1.03m・深さ1.57mを測る。覆土は6層に分けられ、4層以下は人為的な埋め戻し土である。6層土については花粉分析と種実同定を実施した。花粉分析の結果、周辺には水田やソバ属・アブラナ科の畑が存在していた可能性が高いことが判明した(第VI章第2節参照)。種実同定では炭化したイネ・オオムギ・コムギ・ムギ類が多いという結果が得られた(同第4節参照)。遺物は土師器無台椀、珠洲焼壺・甕・片口鉢、砥石、磨石、台石、不定形石器、焼礫・礫、板状木製品、箸状木製品、燃えさしが出土している(図版75・83・85・86・88・90)。

SE181 (図版27・30, 写真図版32)

8O-1Aに位置する。SD42に切られる。素掘りの井戸である。平面形は円形、断面形は箱状である。SD42

底面での長軸 1.27m・短軸 1.16m、確認面からの深さ 1.09m を測る。覆土は土層断面図を作成していないため不明である。遺物は出土していない。

SE110 (図版 27・31, 写真図版 31)

8O-1A・1B に位置する。素掘りの井戸である。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 1.39m・短軸 1.38m・深さ 1.02m を測る。覆土は 7 層に分けられ、2 層以下は人為的な埋め戻し土である。遺物は珠洲焼片口鉢、焼礫・礫が出土している (図版 75)。

SE121 (図版 27・31, 写真図版 31)

8N-2J に位置する。素掘りの井戸である。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面での長軸 1.05m・短軸 1.05m・深さ 1.07m を測る。覆土は 4 層に分けられ、すべて人為的な埋め戻し土である。遺物は珠洲焼壺・片口鉢、鉄滓、椀形滓、礫が出土している (図版 76・81)。

SE130 (図版 27・31, 写真図版 31)

8N-2J に位置する。素掘りの井戸である。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面での長軸 0.90m・短軸 0.86m・深さ 1.17m を測る。覆土は 5 層に分けられ、すべて人為的な埋め戻し土である。遺物は須恵器長頸壺、珠洲焼壺・片口鉢、焼礫・礫が出土している (図版 75)。

SE111 (図版 27・31, 写真図版 30)

8O-2J に位置する。素掘りの井戸である。遺構の半分は調査区外へ延びているが、平面形は円形と推測でき、断面形は台形状である。確認面からの深さ 1.84m を測る。覆土は 8 層に分けられ、3 層以下は人為的な埋め戻し土である。遺物は中世土師器皿、珠洲焼壺・甕・片口鉢、珠洲系陶器甕、鉄滓、焼礫・礫が出土している (図版 76)。

SE328 (図版 27・28・32, 写真図版 32)

8O-2B に位置する。井戸側は残存していないが断面の形状より水溜め施設として曲物が使用され、井戸廃棄時に抜き取られた可能性がある。SK331 を切る。平面形は円形、断面形は U 字状である。土側溝や擾乱により破壊されているが、確認面での長軸 1.20m・短軸 1.07m・深さ 2.03m を測る。覆土は 6 層に分けられ、人為的な埋め戻し土である。6 層土については種実同定を実施し、炭化したオオムギが最も多いという結果が得られた (第 VI 章第 4 節参照)。遺物は珠洲焼壺・甕・片口鉢、珠洲系陶器甕、敲石、軽石製石製品、剥片、焼礫・礫、曲物、円形板、燃えさが出土している (図版 76・88・90)。焼礫・礫の総重量は 29.5kg にも及ぶ。

SE375 (図版 28・32, 写真図版 32)

8O-2B に位置する。SK371 に切られる。素掘りの井戸である。平面形は円形、断面形は U 字状である。確認面での長軸 0.95m・短軸 0.88m・深さ 0.59m を測る。覆土は 4 層に分けられ、人為的な埋め戻し土である。遺物は出土していない。

SE368 (図版 28・32, 写真図版 32)

8O-2A に位置する。SD176 を切る。素掘りの井戸である。平面形は円形、断面形は U 字状である。確認面での長軸 1.20m・短軸 1.11m・深さ 1.25m を測る。覆土は 7 層に分けられ、人為的な埋め戻し土である。遺物は中世土師器皿、珠洲焼壺・片口鉢、剥片、焼礫・礫が出土している (図版 75)。焼礫・礫の総重量は 16.3kg にも及ぶ。

SE494 (図版 28, 写真図版 32)

8O-2B・2C に位置する。素掘りの井戸である。遺構の半分は調査区外へ延びているが、平面形は円形と推測でき、断面形は箱状である。確認面からの深さ 0.94m を測る。覆土は 4 層に分けられ、人為的な埋め戻し土である。遺物は珠洲焼壺・甕、刀子、鉄滓、椀形滓、台石、焼礫・礫が出土している (図版 79・81・86)。

SE453 (図版 28・33, 写真図版 33)

8O-3A に位置する。SD78・SD79 を切る。素掘りの井戸である。平面形は円形、断面形は台形状である。確

認面での長軸 1.72m・短軸 1.53m・深さ 1.08m を測る。覆土は 5 層に分けられ、人為的な埋め戻し土である。遺物は中世土師器皿、白磁碗、珠洲焼壺・甕・片口鉢、鉄滓、炉壁、軽石製石製品、焼礫・礫が出土している（図版 75）。

SE609（図版 28・33、写真図版 33）

80-3A に位置する。SD78・SD79 を切る。井戸側は残存していないが断面の形状より水溜め施設として曲物が使用され、井戸廃棄時に抜き取られた可能性がある。平面形は楕円形、断面は漏斗状である。確認面での長軸 1.23m・短軸 0.72m・深さ 1.79m を測る。覆土は 4 層に分けられ、人為的な埋め戻し土である。遺物は中世土師器、鉄滓が出土している。

SE612（図版 28・33、写真図版 10・33）

80-3A に位置する。SK610 に切られ、SD78・SD79 を切る。素掘りの井戸である。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 1.40m・短軸 1.14m・深さ 1.18m を測る。覆土は 5 層に分けられ、人為的な埋め戻し土である。2 層下面からは拳大～人頭大の焼礫・礫が計 19kg 出土しており、井戸廃棄の際に半分ほど埋め戻してから投入されたものと思われる。5 層土については種実同定を実施し、アサ・ナス・イネ・ヒョウタン類・ウリ類が多いという結果が得られた（第 VI 章 4 節参照）。遺物は中世土師器皿、粘土塊、鉄滓、碗形滓、砥石、磨石、軽石製石製品、剥片、石核、焼礫・礫、箸状木製品、燃えさしが出土している（図版 80・83・85・88・90）。

SE513（図版 28・34、写真図版 33）

80-3A・4A に位置する。素掘りの井戸である。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 2.30m・短軸 1.75m・深さ 1.33m を測る。覆土は 6 層に分けられ、人為的な埋め戻し土である。遺物は青磁碗、鉄滓、焼礫・礫が出土している（図版 81）。

SE800（図版 28・34、写真図版 11・34）

80-3B に位置する。縦板組隅柱横棧留と推測される井戸側をもつ。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 2.32m・短軸 1.96m・深さ 2.04m を測る。覆土は 10 層に分けられ、人為的な埋め戻し土である。井戸側の縦板はほとんどが抜き取られているが遺構確認面から 1.50m 下には三枚納差によって方形に組まれた横棧をはしめ隅柱などが残されている。この横棧を縦板組隅柱横棧留の縦板を支える基礎とも考えたが上部構造を支えたアタリ痕は確認できない。本来、縦板組隅柱横棧留は隅柱に設けた納差に横棧を差し込んで固定する構造だが、SE800 では納組みした横棧の内側に隅柱が打ち込まれている。縦板で井戸壁面の土留めをし、縦板を内側から横棧で押さえ、さらに横棧の内側から隅柱を打ち込むことによって高さを固定していたものとみられる。また、この横棧の納組み部分の下には長さ 20cm 強の隅柱によって支えられている。41～44 は下部の横棧で 54～56 は上部の横棧として機能していたのであろう。遺物は中世土師器皿、珠洲焼壺、北越窯産陶器鉢、釘、鉄滓、羽口、石核、礫、井戸側、曲物、板状木製品、箸状木製品、燃えさしが出土している（図版 75・80・88・91～95）。

b 土坑 (SK)

SK33（図版 27・35、写真図版 34）

8N-1J に位置する。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面での長軸 0.93m・短軸 0.81m・深さ 0.27m を測る。覆土は 5 層に分けられる。遺物は出土していない。

SK37（図版 27・35、写真図版 34）

8N-1J に位置する。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.74m・短軸 0.56m・深さ 0.17m を測る。覆土は 3 層に分けられる。遺物は出土していない。

SK41（図版 27・40、写真図版 47）

8N-1J に位置する。SD39 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.87m・短軸

0.70m・深さ0.18mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

SK149 (図版27・40, 写真図版47)

8O-1Aに位置する。SD80に切られている。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸0.87m・短軸0.54m・深さ0.24mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

SK276 (図版27・35, 写真図版34・35)

8O-1Aに位置する。SK277に切られているが平面形は方形と推測でき、断面形は弧状である。確認面での長軸0.60m・短軸0.44m・深さ0.13mを測る。覆土は単層である。遺物は炭化物が出土している。

SK277 (図版27・35, 写真図版34・35)

8O-1Aに位置する。SK276を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸0.57m・短軸0.49m・深さ0.15mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK150 (図版27・35, 写真図版35)

8N-1J・2Jに位置する。SD167を切る。平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面での長軸0.96m・短軸0.60m・深さ0.14mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK160 (図版27・35, 写真図版35)

8N-2Jに位置する。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸1.15m・短軸0.66m・深さ0.22mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は鏝が出土している。

SK165 (図版27・35, 写真図版35)

8N-2J, 8O-2Aに位置する。平面形は円形、断面形は弧状である。確認面での長軸1.19m・短軸1.06m・深さ0.05mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK151 (図版27・35, 写真図版36)

8N-2Jに位置する。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸1.92m・短軸0.76m・深さ0.17mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

SK203 (図版27・35, 写真図版36)

8N-2Jに位置する。平面形は方形、断面形は半円状である。確認面での長軸0.63m・短軸0.56m・深さ0.20mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK224 (図版27・35, 写真図版36)

8O-2Aに位置する。平面形は楕円形、断面形は弧状である。確認面での長軸0.63m・短軸0.51m・深さ0.09mを測る。覆土は単層である。遺物は鏝が出土している。

SK237 (図版27・28・41, 写真図版50)

8O-2A・3Aに位置する。SX190を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸0.66m・短軸0.63m・深さ0.21mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK324 (図版27・35, 写真図版36)

8O-2Aに位置する。平面形は楕円形、断面形は弧状である。確認面での長軸0.98m・短軸0.55m・深さ0.09mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK319 (図版27・35, 写真図版37)

8O-2A・2Bに位置する。平面形は円形、断面形は弧状である。確認面での長軸0.61m・短軸0.55m・深さ0.14mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK331 (図版27・28・32, 写真図版46)

8O-2Bに位置する。土側溝とSE328に切られているが、平面形は楕円形と推測でき、断面形は弧状である。確認面での長軸0.82m・短軸0.47m・深さ0.11mを測る。覆土は単層である。遺物は珠洲焼壺が出土している。

SK481 (図版 28・36、写真図版 37)

80-2Bに位置する。攪乱を受けているが平面形は円形、断面形は弧状である。確認面での長軸 0.73m・短軸 0.67m・深さ 0.17mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK369 (図版 28・36、写真図版 37)

80-2Bに位置する。攪乱を受けているが平面形は方形～円形、断面形は階段状である。確認面での長軸 1.01m・短軸 0.86m・深さ 0.30mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は礫が出土している。

SK371 (図版 28・36、写真図版 32)

80-2Bに位置する。SE375を切る。平面形は円形、断面形は弧状である。確認面での長軸 0.73m・短軸 0.65m・深さ 0.16mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は碗形滓が出土している(図版 81)。

SK372 (図版 28・36、写真図版 37)

80-2Bに位置する。SK371に切られているが平面形は円形、断面形は弧状である。確認面での長軸 0.46m・深さ 0.09mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK443 (図版 28・36、写真図版 38)

80-2Bに位置する。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.93m・短軸 0.39m・深さ 0.20mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK445 (図版 28・36、写真図版 38)

80-2B・2Cに位置する。土側溝とSE494に切られているが平面形は楕円形と推測でき、断面形は弧状である。確認面での短軸 0.71m・深さ 0.07mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK381 (図版 28・36、写真図版 38)

80-2Aに位置する。SK382に切られているが平面形は楕円形、断面形は弧状と推測できる。確認面での短軸 0.80m・深さ 0.13mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK382 (図版 28・36、写真図版 38)

80-2A・2B・3A・3Bに位置する。SK381とSK383を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 1.29m・短軸 1.06m・深さ 0.27mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK383 (図版 28・36、写真図版 38)

80-2Bに位置する。SK382に切られているが平面形は円形、断面形は台形状と推測できる。確認面での長軸 0.88m・深さ 0.25mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

SK495 (図版 28・36、写真図版 38)

80-2C・3Cに位置する。土側溝とSE494に切られているが平面形は楕円形、断面形は弧状と推測できる。確認面での長軸 1.13m・深さ 0.19mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は珠洲焼片口鉢が出土している(図版 79)。

SK454 (図版 28・36、写真図版 39)

80-3Aに位置する。SK455を切る。平面形は長方形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.60m・短軸 0.48m・深さ 0.15mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は砥石、礫が出土している(図版 84)。

SK455 (図版 28・36、写真図版 39)

80-3Aに位置する。SK454に切られているが平面形は楕円形、断面形は半円状と推測できる。確認面での長軸 0.98m・短軸 0.73m・深さ 0.37mを測る。覆土は4層に分けられる。遺物は礫が出土している。

SK506 (図版 28・36、写真図版 39)

80-3Aに位置する。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.72m・短軸 0.64m・深さ 0.24mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は礫が出土している。

SK702 (図版 28・36, 写真図版 39)

80-3B・3Cに位置する。平面形は方形、断面形は箱状である。確認面での長軸 1.57m・短軸 1.32m・深さ 0.10mを測る。覆土は単層である。遺物は礫が出土している。

SK722 (図版 28・36, 写真図版 39)

80-3B・3Cに位置する。平面形は方形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.89m・短軸 0.75m・深さ 0.26mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK796 (図版 28・37, 写真図版 40)

80-3B・3Cに位置する。平面形は楕円形、断面形は弧状である。確認面での長軸 1.13m・短軸 0.52m・深さ 0.09mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK499 (図版 28・37, 写真図版 40)

80-3Cに位置する。Pit498・Pit500・Pit830に切られているが平面形は楕円形、断面形は弧状と推測できる。確認面での短軸 0.60m・深さ 0.09mを測る。覆土は単層に分けられる。遺物は珠洲焼土、鉄滓が出土している。

SK729 (図版 28・37, 写真図版 40)

80-3Cに位置する。攪乱を受けているが平面形は長方形と推測できる。断面形は箱状である。確認面での長軸 1.68m・短軸 0.84m・深さ 0.20mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は礫が出土している。

SK715 (図版 28・37, 写真図版 40)

80-3Cに位置する。Pit503に切られ、SK716を切る。遺構の大半は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形は弧状である。掘り込み面からの深さ 0.23mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK716 (図版 28・37, 写真図版 40)

80-3Cに位置する。SK715に切られSK871を切る。遺構の大半は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形は階段状である。確認面からの深さ 0.47mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は鉄滓、礫が出土している。

SK871 (図版 28・37, 写真図版 40)

80-3Cに位置する。SK716に切られる。遺構の大半は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形は台形状である。確認面からの深さ 0.22mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK720 (図版 28・37, 写真図版 40)

80-3Cに位置する。遺構の大半は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形は台形状である。確認面からの深さ 0.13mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK724 (図版 28・37, 写真図版 41)

80-3Cに位置する。平面形は方形、断面形は弧状である。確認面での長軸 0.99m・短軸 0.72m・深さ 0.17mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK725 (図版 28・37, 写真図版 41)

80-3Cに位置する。平面形は楕円形、断面形は弧状である。確認面での長軸 0.82m・短軸 0.51m・深さ 0.13mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK730 (図版 28・37, 写真図版 41)

80-3Cに位置する。平面形は方形、断面形は弧状である。確認面での長軸 1.15m・短軸 1.06m・深さ 0.24mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK734 (図版 28・38, 写真図版 41)

80-3Cに位置する。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.71m、Pit733とPit735に切られているため短軸は不明、深さ 0.29mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。SB1000を構成するPit735に切られているためSK734の方が古い。

SK741 (図版 28・38, 写真図版 42)

80-3Cに位置する。平面形は円形、断面形は弧状である。確認面での長軸 0.62m・短軸 0.58m・深さ 0.09mを測る。覆土は単層である。遺物は鉄滓が出土している。

SK739 (図版 28・38, 写真図版 42)

80-3Cに位置する。Pit926とPit927を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 1.14m・短軸 0.92m・深さ 0.26mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK752 (図版 28・38, 写真図版 42)

80-3Cに位置する。土側溝によって一部破壊されているが、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.85m・短軸 0.73m・深さ 0.07mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK750 (図版 28・38, 写真図版 42)

80-3Cに位置する。遺構の大半は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形は台形状である。確認面からの深さ 0.26mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK610 (図版 28・33, 写真図版 33)

80-3Aに位置する。SD79に切られ、SE612を切る。平面形は楕円形、断面形は弧状である。確認面での長軸 1.46m・短軸 0.99m・深さ 0.23mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は珠洲焼壺、炉壁、礫が出土している。

SK664 (図版 28・38, 写真図版 43)

80-4Aに位置する。攪乱に切られているが、平面形は楕円形、断面形は弧状である。確認面での長軸 0.70m・短軸 0.37m・深さ 0.09mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK668 (図版 28・38, 写真図版 42)

80-4Aに位置する。Pit857とPit858に切られる。遺構の大半は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形は袋状である。確認面からの深さ 0.23mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK869 (図版 28・38, 写真図版 43)

80-4Aに位置する。攪乱に切られているが、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.68m・短軸 0.53m・深さ 0.19mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK672 (図版 28・38, 写真図版 43)

80-4Aに位置する。Pit949に切られる。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.59m・短軸 0.56m・深さ 0.15mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK673 (図版 28・38, 写真図版 43)

80-4Aに位置し、SB990を構成する。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.60m・短軸 0.49m・深さ 0.34mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK883 (図版 28・38, 写真図版 44)

80-4Aに位置する。攪乱とSD882に切られているが、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.55m・短軸 0.50m・深さ 0.20mを測る。覆土は単層である。遺物は礫が出土している。

SK838 (図版 28・38, 写真図版 44)

80-4Bに位置する。平面形は長方形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.79m・短軸 0.53m・深さ 0.15mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK890 (図版 28・39, 写真図版 44)

80-4A・4Bに位置する。平面形は長方形～円形、断面形は弧状である。確認面での長軸 1.47m・短軸 0.94m・深さ 0.25mを測る。覆土は4層に分けられる。遺物は珠洲焼壺、鉄滓、焼礫・礫が出土している。

SK900 (図版 28・39, 写真図版 44・45)

80-4Bに位置する。SK902とPit899・攪乱に切られ、Pit960を切る。平面形は不整形、断面形は階段状である。確認面での長軸 1.63m・短軸 1.38m・深さ 0.20mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は中世土師器皿、台石、礫、炭化物が出土している(図版 87)。

SK902 (図版 28・39, 写真図版 44・45)

80-4Bに位置する。SK900とSX959を切る。平面形は長方形、断面形は台形状である。確認面での長軸 1.01m・短軸 0.92m・深さ 0.46mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は焼礫・礫が出土している。

SK951 (図版 28・42, 写真図版 45)

80-4Bに位置し、SB990を構成する。攪乱に切られているが、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.47m・深さ 0.24mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK956 (図版 28・39, 写真図版 45)

80-4Bに位置する。SD768に切られているが、平面形は楕円形、断面形は弧状に推測できる。確認面での深さ 0.15mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK842 (図版 28・39, 写真図版 45)

80-4Bに位置する。平面形は楕円形、断面形は弧状である。確認面での長軸 0.75m・短軸 0.57m・深さ 0.13mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK851 (図版 28・39, 写真図版 46)

80-4Bに位置する。Pit853と土側溝に切られているが、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.71m・短軸 0.60m・深さ 0.26mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は礫が出土している。

SK855 (図版 28・39, 写真図版 46)

80-3C・4B・4Cに位置する。Pit935と土側溝に切られ、Pit849を切る。平面形は楕円形、断面形は弧状である。確認面での長軸 1.73m・短軸 0.89m・深さ 0.09mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は中世土師器皿が出土している。

c 性格不明遺構 (SX)

SX177 (図版 27・40, 写真図版 12)

8N-1Jに位置する。SD42と直交するSX177a・b・c・dから成る。主軸方位はほぼ一致し、平行する4基の溝状の遺構である。SD42との新旧関係は認められなかったことから同時期に存在したものと考える。平面形は楕円形、断面形はSX177aがU字状であるが、SX177b～dは漏斗状である。確認面での長軸 1.06～2.04m・短軸 0.42～0.80m・深さ 0.12～0.42mを測る。SD42に付属する施設であろう。溝に木材を据えることによって構造物の基礎とした可能性が考えられる。遺物は出土していない。

SX190 (図版 27・28・41, 写真図版 50)

80-2A・3Aに位置する。SK237に切られ、SD155を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 2.63m・短軸 1.10m・深さ 0.27mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は珠洲焼水注、中世土師器皿、礫が出土している(図版 77)。

SX603 (図版 28)

80-3Aに位置する。東半分はSD58に切られているが、平面形は楕円形、断面形は弧状である。確認面での短軸 0.31m・深さ 0.05mを測る。覆土は単層である。遺物は礫が出土している。

SX605 (図版 28)

80-3Aに位置する。東半分はSD58に切られているが、平面形は楕円形、断面形は弧状である。確認面での短軸 0.36m・深さ 0.05mを測る。覆土は単層である。遺物は礫が出土している。

SX649 (図版 28・39, 写真図版 47)

80-3A・4Aに位置する。西端はSE513に切られているが、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での短軸0.78m・深さ0.42mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は磨石、礫が出土している(図版85)。

SX959 (図版 28・41, 写真図版 49)

80-4Bに位置する。SD767を切る。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面からの深さ0.29mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は焼礫・礫が出土している。

d 溝(SD)

SD20 (図版 27・30, 写真図版 30)

8N-1Jに位置する。SE19に切られている。北側は調査区外へと延びている。主軸方位はN12°Wである。断面形は台形状である。確認面での短軸0.34m・深さ0.18mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD39 (図版 27・40, 写真図版 12・14・47)

8N-1Jに位置する。SK41とSD42及びSX177に切られている。主軸方位はN62°Eである。断面形は弧状である。確認面での長軸8.93m・短軸1.02m・深さ0.20mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は軽石製石製品、鉄滓、焼礫・礫が出土している(図版88)。

SD42 (図版 27・40, 写真図版 12・14・47・48)

8N-1J・2I・2J, 80-1A・1Bに位置する。SE181とSD57・38・78・79・60・148・58・176を切る。Ⅲa層上面から掘り込まれる。東西は調査区外へと延びている。主軸方位はN67°Eである。断面形は階段状である。確認面での短軸2.10m、掘り込み面からの深さ0.83mを測る。覆土は19層に分けられる。遺物は土師器無台碗・長甕、須恵器無台杯・大甕、青磁皿、白磁碗、珠洲焼壺・甕・片口鉢、珠洲系陶器甕、常滑焼壺、中世土師器皿、刀子、釘、鉄滓、碗形埴、砥石、磨石、敲石、台石、軽石製石製品、焼礫・礫が出土している(図版77・79・81・83～86・88)。

SD56 (図版 27・40・41, 写真図版 47・48)

80-1Aに位置する。SD79・60・58・176に切られている。東側は調査区外へと延びている。主軸方位はN72°Eである。断面形は台形状である。確認面での短軸0.67m・深さ0.20mを測る。覆土は単層である。遺物は珠洲焼壺が出土している。

SD80 (図版 27・40・41, 写真図版 47・48)

80-1Aに位置する。SD42とSD176に切れ、SK148を切る。主軸方位はN71°Eである。断面形は台形状である。確認面からの深さ0.44mを測る。覆土は10層に分けられる。遺物は珠洲焼壺・甕、鉄滓、敲石、軽石製石製品、焼礫・礫が出土している(図版77・85)。

SD57 (図版 27・28・41, 写真図版 13・48)

8N-1J, 80-1A・2A・3Aに位置する。SE453とSK33・SK37とSD42・SD78に切れ、SD38を切る。道路状遺構1の西側側溝にあたる。北側は調査区外へ延び、南側は80-3A13まで西側上端を確認できる。主軸方位はN20°Wである。断面形は台形状である。確認面での短軸0.74m・深さ0.31mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は土師器無台碗、珠洲焼壺・甕・片口鉢、中世土師器皿、台石、焼礫・礫が出土している(図版87)。

SD38 (図版 27・28・41, 写真図版 13・48)

7N-10J, 8N-1Jに位置する。SD57・SD78に切られる。道路状遺構1の西側側溝にあたる。北側は調査区外へ延び、南端は8N-1J20までとなる。主軸方位はN11°Wである。断面形は台形状である。確認面での短軸0.90m・深さ0.77mを測る。覆土は10層に分けられる。遺物は土師器長甕、珠洲焼壺・甕・片口鉢、珠洲系陶器壺、常滑焼壺、中世土師器、焼礫・礫が出土している(図版77)。

SD78 (図版 27・28・41, 写真図版 13・48・49)

7N-10J, 8N-1J, 8O-1A・2A・3A・4A・4Bに位置する。SD79に切られ、SD38を切る。道路状遺構1の西側側溝にあたる。北側・南側ともに調査区外へ延びる。主軸方位はN18°Wであるが、8O-1A16以北はN12°Wとなる。断面形は概ね台形状である。確認面での短軸0.88m・深さ0.66mを測る。覆土は7層に分けられる。遺物は土師器無台碗、珠洲焼壺・甕・片口鉢、中世土師器皿、粘土塊、羽口、鉄滓、灰壁、砥石、磨石、敲石、台石、軽石製石製品、焼礫・礫が出土している(図版78・80・81・84～87)。

SD178 (図版 27・28・41, 写真図版 13)

8N-1Jに位置する。SD38・SD78に切られる。道路状遺構1の西側側溝にあたる。主軸方位はN12°Wである。断面形は台形状である。遺存部分での長軸2.19m・短軸0.31m・深さ0.11mを測る。断面図を作成していないため覆土は不明である。遺物は出土していない。

SD79 (図版 27・28・41, 写真図版 13・48・49)

7N-10J, 8N-1J, 8O-1A・2A・3A・4A・4Bに位置する。道路状遺構1の西側側溝にあたる。切り合い関係から西側側溝の中でもっとも新しい溝である。南北とも調査区外へ延びている。主軸方位はN19°Wであるが、8O-1A16以北はやや北方向に向きを変えN12°Wとなる。断面形は台形状～弧状である。確認面での短軸0.78m・深さ0.63mを測る。覆土は6層に分けられる。遺物は土師器小甕、中世土師器皿、珠洲焼壺・片口鉢、鉄滓、椀形滓、砥石、磨石、敲石、焼礫・礫が出土している(図版78・81・83～86)。

SD60 (図版 27・28・41, 写真図版 13・14・48)

7O-10A, 8O-1Aに位置する。道路状遺構1の東側側溝にあたる。SD58に切られ、南側はSD767と重複関係にあるが新旧は不明である。北側は調査区外へ延びている。主軸方位はN13°Wである。断面形は台形状である。確認面での短軸0.60m・深さ0.21mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は中世土師器皿が出土している。

SD148 (図版 27・28・41, 写真図版 13・48)

8O-1Aに位置する。道路状遺構1の東側側溝にあたる。SD58・SD176・SD80に切られる。主軸方位はN18°Wである。断面形は台形状である。遺存する長軸1.65m・短軸0.50m・深さ0.21mを測る。覆土は単層である。遺物は礫が出土している。

SD58 (図版 27・28・41, 写真図版 13・48)

7O-10A, 8O-1A・2A・3A・3Bに位置する。道路状遺構1の東側側溝にあたる。SD176に切られ、SD60・SD767を切る。北側は調査区外へ延びている。主軸方位はN12°Wである。断面形は台形状である。確認面での短軸1.25m・深さ0.68mを測る。覆土は7層に分けられる。遺物は土師器長甕、白磁椀、中世土師器皿、珠洲焼壺・壺・片口鉢、粘土塊、鉄滓、椀形滓、砥石、磨石、焼礫・礫が出土している(図版77・79・81・84・85)。

SD176 (図版 27・28・41, 写真図版 13・48)

7O-10A, 8O-1A・2A・3Aに位置する。道路状遺構1の東側側溝にあたる。SD58を切り、南側はSD768と重複関係にあるが新旧は不明である。北側は調査区外へ延びている。主軸方位はN18°Wであるが、8O-1A17以北はやや北へ軸を変えN10°Wとなる。断面形は階段状である。確認面での短軸1.34m・深さ0.50mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は土師器長甕、珠洲焼壺・壺・片口鉢、珠洲系陶器甕、中世土師器皿、鉄滓、石硯、磨石、敲石、軽石製石製品、焼礫・礫が出土している(図版78・85・86)。

SD767 (図版 27・28・41, 写真図版 13・48・49)

8O-3A・3B・4Bに位置する。道路状遺構1の東側側溝にあたる。SD58に切られる。SD60と重複関係にあるが新旧は不明である。南側は調査区外へ延びている。主軸方位はN28°～20°Wで北へ緩やかに湾曲している。断面形は台形状である。確認面での短軸0.66m・深さ0.44mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は珠洲焼壺・片口鉢、鉄滓、焼礫・礫が出土している。

SD768 (図版 27・28・41, 写真図版 13・49)

80-3A・3B・4Bに位置する。道路状遺構1の東側側溝にあたる。SD58を切る。SD176と重複関係にあるが新旧は不明である。南側は調査区外へ延びている。主軸方位はN21°Wである。断面形は台形状である。確認面での短軸0.63m・深さ0.38mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は珠洲焼片口鉢、中世土師器皿、鉄滓、砥石、焼礫・礫が出土している(図版78・84)。

SD167 (図版 27・35, 写真図版 35)

8N-1Jに位置する。SD42とSK150に切られている。主軸方位はN17°Wである。断面形は台形状と思われる。確認面での短軸0.44m・深さ0.25mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SD189 (図版 27・41, 写真図版 49)

80-1Aに位置する。SE110に切られ、SD42を切る。主軸方位はN25°Wである。断面形は階段状である。確認面での短軸0.65m・深さ0.19mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

SD325 (図版 27・41, 写真図版 49)

80-2Aに位置する。南側をSD176に切られる。主軸方位はN15°Wである。断面形は半円状である。確認面での短軸0.47m・深さ0.20mを測る。覆土は単層である。遺物は珠洲焼片が出土している。

SD154 (図版 27・28・41, 写真図版 13・50)

8N-2J・3J, 80-2Aに位置する。道路状遺構2の北側側溝にあたる。主軸方位はN72°Eである。断面形は台形状である。西端は土側溝に切られているが確認面での長軸5.83m前後・短軸0.53m・深さ0.06mを測る。覆土は単層である。遺物は珠洲焼片口鉢、礫が出土している。

SD155 (図版 27・28・41, 写真図版 13・50)

8N-3J, 80-3Aに位置する。道路状遺構2の南側側溝にあたる。西側は調査区外へ延びている。主軸方位はN76°Eである。断面形は台形状である。確認面での短軸0.49m・深さ0.41mを測る。覆土は4層に分けられる。遺物は珠洲焼壺、粘土塊が出土している。

SD898 (図版 28・41, 写真図版 50)

80-4Bに位置する。南端をPit899に切られる。主軸方位はN25°Wである。断面形は台形状である。確認面での長軸1.52m・短軸0.38m・深さ0.21mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は珠洲焼片口鉢、礫が出土している(図版78)。

SD881 (図版 28・41, 写真図版 50)

80-4Aに位置する。西側は調査区外へ延びている。主軸方位はN72°Eである。断面形は台形状である。確認面での短軸0.33m・深さ0.15mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD882 (図版 28・41, 写真図版 50)

80-4Aに位置する。西側は調査区外へ延びている。主軸方位はN78°Eである。断面形は台形状である。確認面での短軸0.96m・深さ0.41mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は中世土師器皿、焼礫・礫が出土している。

e 据立柱建物(SB)

SB989 (図版 27・42, 写真図版 50)

8N-1J, 80-1A・2Aに位置する。主軸方位はN75°Eの東西棟である。桁行3間(9.1m)・梁間2間(3.84m)の総柱建物である。北側はSD42に切られているため明確な梁間ではないが、梁間3間目にあたる柱穴が存在しないことから梁間を2間と判断した。床面積は34.94m²である。柱穴の規模は径0.40m前後で一定するが、深さは0.29～0.50mとばらつきがある。柱間間隔は桁行が3m前後、梁間が2m前後とほぼ一定している。SD42と柱穴とのセクション図は作成していないが、現場作業時にSD57・SD58・SD42に切られていることを確認した。

SB990 (図版 28・42, 写真図版 51)

8N-3J, 8O-3A・3B・4A・4Bに位置する。主軸方位はN71°Eの東西棟である。西側は調査区外へ延びているため正確な桁行は把握できないが、桁行5間(12.52m)・梁間4間(8.05m)の総柱建物で北と南に廂をもつ。廂を含めた床面積は100.79m²である。柱穴の規模は径0.40m台・0.50m台が大平を占め、深さは0.30m台・0.40m台がほとんどである。柱間間隔は桁行が2.40m前後である。梁間は身舎で2.4m前後、廂部分で1.5m前後となる。SD79に切られていることからSB990は道路状遺構1よりも古い。

SB991 (図版 27・43, 写真図版 50)

8N-1J, 8O-1Aに位置する。主軸方位はN18°Wの南北棟である。桁行2間(3.69m)・梁間1間(2.48m)の側柱建物である。床面積は9.15m²である。柱穴の規模は径0.30m前後・深さ0.40m台でほぼ一定している。柱間間隔は桁行1.80m前後・梁間2.48mである。

SB992 (図版 27・43, 写真図版 50)

8N-1J・2J, 8O-2Aに位置する。主軸方位はN21°Eの南北棟である。桁行2間(3.62m)・梁間1間(2.05m)の側柱建物である。床面積は7.12m²である。柱穴の規模は0.20m強であるが、深さ0.17～0.57mとばらつきがある。柱間間隔は桁行1.7～1.9m、梁間2.0mである。

SB993 (図版 27・28・43, 写真図版 50)

8N-3Jに位置する。主軸方位はN12°Wの南北棟である。桁行2間(3.38m)・梁間1間(1.88m)の側柱建物である。床面積は6.24m²である。柱穴の規模は径0.03m前後であるが、深さ0.17～0.46mとばらつきがある。柱間間隔は桁行1.7m・梁間1.8mである。

SB994 (図版 28・43, 写真図版 50)

8O-2A・2B・3A・3Bに位置する。主軸方位はN16°Wの南北棟である。桁行2間(5.34m)・梁間2間(3.85m)の束柱を有する総柱建物である。床面積は19.93m²である。柱穴の規模は径0.30m前後・深さ0.30m前後でほぼ一定している。柱間間隔は桁行が北側と南側で異なりそれぞれ3.1mと2.2mである。梁間は1.7～2.0mとややばらつく。

SB995 (図版 28・43, 写真図版 51)

8O-2B・3A・3Bに位置する。主軸方位はN68°Eの東西棟である。桁行2間(6.46m)・梁間1間(2.80m)の側柱建物である。床面積は17.53m²である。柱穴の規模は径0.30～0.50m・深さ0.23～0.60mと共にばらつきがある。柱間間隔は桁行が西側と東側で異なりそれぞれ2.3m・2.5mと3.9mである。梁間は2.7～2.8mである。

SB996 (図版 28・44, 写真図版 51)

8O-2B・3Bに位置する。主軸方位はN68°Eの東西棟である。桁行2間(4.00m)・梁間1間(3.21m)の側柱建物である。床面積は12.31m²である。柱穴の規模は径0.44～0.69m・深さ0.35～0.70mと共にばらつきがある。柱間間隔は桁行が2m前後、梁間が3m前後である。

SB997 (図版 28・44, 写真図版 51)

8O-3Bに位置する。主軸方位はN68°Eの東西棟である。桁行2間(4.80m)・梁間1間(2.75m)の側柱建物である。床面積は12.38m²である。柱穴の規模は径0.25～0.45m・深さ0.40m前後である。柱間間隔は桁行が2.1～2.68m、梁間が2.53mと2.75mである。

SB998 (図版 28・44, 写真図版 51)

8O-3B・4Bに位置する。主軸方位はN76°Eの東西棟である。桁行2間(4.87m)・梁間2間(3.66m)の側柱建物である。床面積は17.72m²である。柱穴の規模は径0.30m前後がほとんどで、深さは0.30～0.40m台である。柱間間隔は桁行が2.4m前後、梁間が北側と南側で異なりそれぞれ1.3mと2.3mである。

SB999 (図版 28・44, 写真図版 51)

80-3B・3C・4Bに位置する。主軸方位はN71°Eの東西棟である。桁行2間(2.89m)・梁間1間(2.89m)の側柱建物である。床面積は13.47m²である。柱穴の規模は径0.30m前後がほとんどで、深さは0.25～0.54mである。柱間隔は桁行が西側と東側で異なりそれぞれ2.6mと2.0m、梁間が2.89mである。

SB1000 (図版 28・44, 写真図版 51)

80-3B・3C・4B・4Cに位置する。主軸方位はN70°Eの東西棟である。桁行2間(5.41m)・梁間1間(2.23m)の側柱建物である。床面積は11.60m²である。柱穴の規模は径0.40m前後・深さ0.35～0.55mである。柱間隔は桁行が2.7m前後、梁間が2.2mである。

f 道路状遺構 (図版 27・28・41, 写真図版 13)

道路状遺構 1

中央部に空白域を扶むように平行して掘り直されている南北溝が11基検出された。この平行する溝は道の側溝として機能し、溝に扶まれた遺構密度の低い空間が路面として機能していたと推測する。道路状遺構の路面に稀に見られる硬化面や波板状遺構は確認されなかった。西側の側溝はSD79・SD78・SD38・SD57・SD178、東側の側溝はSD60・SD58・SD176・SD148・SD767・SD768で構成される。西側の側溝は土層観察により少なくとも4度の掘り直しが認められ、継続的に維持管理されていたことが窺える。切り合い関係から西側の側溝はSD38→SD57→SD78→SD79の順に掘削されたことが分かる。同様に東側の側溝も少なくとも3度の掘り直しが認められる。直接切り合い関係にある溝の新旧関係についてはSD60→SD58→SD176、SD148→SD58→SD176、SD767→SD58→SD176、SD767→SD768の順になるが、SD58より古いSD60・SD148・SD767の前後関係は不明である。よって、東側側溝すべてについての新旧関係を明確にすることはできない。これらのことを考慮すると(SD38→SD57)-SD60・SD767、SD78-SD58、SD79-SD176・SD768の組み合わせが想定できる。また、SD176の延長上にSD768が存在していることから、この2本が同時存在していた可能性もある。主軸方位はN18°Wで道路状遺構の延長上には北側に深川集落が、南側には盛岩寺のある寺新田集落がある。

道路状遺構 2

平行するSD154とSD155を側溝とする。道路状遺構1と道路状遺構2との位置関係はほぼ直角である。これは単なる偶然に構築されたものとは考えがたく、掘り込み面が同じであることから仮に同時期の道だとすると80-2A22付近が分岐点にあたる。主軸方位はN74°Eで、西側は調査区外へと延び、延長上に現在の東金沢集落がある。

D 3 区 の 遺 構**1) 3 区 の 概 要**

遺物包含層に相当するⅢa～Ⅲb'層の遺存状態は良好である。遺構確認面の標高は北端で7.66m、南端では8.06mを測り、旧地形は北へ下がっていくことが窺える。遺構はまんべんなく分布しているが、中間付近で密度が高くなる。検出された遺構はSE 5基、SK 39基、SX 13基、SD 27基、Pit 156基の計240基である。調査面積は上端面積748.18m²、下端面積513.14m²である。

2) 3 区 の 遺 構 各 説**a 井 戸 (SE)****SE149** (図版 49・55, 写真図版 52)

6P-2Gに位置する。素掘りの井戸である。遺構の半分は調査区外へ延びているが、平面形は方形に近く、断面形は台形状である。確認面での長軸2.13m、掘り込み面からの深さ1.07mを測る。覆土は10層に分けられる。遺物は中世土師器皿、珠洲焼壺・片口鉢、磨石+敲石、軽石製石製品、焼罍・罍が出土している(図版 89)。

SE94 (図版 50・55、写真図版 52)

6P-4Hに位置する。SX245を切る。素掘りの井戸である。遺構は調査区外へ延びているが、平面形は楕円形と推測でき、断面形は台形状である。掘り込み面からの深さ0.76mを測る。覆土は5層に分けられ、1～4層は人為的な埋め戻し土である。遺物は珠洲焼甕、瀬戸美濃焼印皿、襷が出土している(図版79)。

SE215 (図版 50・55、写真図版 52・53)

6P-5I・6I・6Jに位置する。SD85を切る。井戸側は残存していないが断面の形状より水溜め施設として曲物を使用され、井戸廃棄時に抜き取られた可能性がある。遺構は調査区外へ延びているが、平面形は円形と推測でき、断面形は台形状である。確認面での長軸1.56m・深さ1.37mを測る。覆土は9層に分けられ、1～7層は人為的な埋め戻し土である。遺物は出土していない。

SE16 (図版 53・55、写真図版 53)

7Q-3D・3Eに位置する。素掘りの井戸である。遺構の大半は調査区外へ延びているため本来の底面まで調査できていない。平面形は不明であるが、断面形は弧状である。確認面での深さ0.48mを測る。覆土は4層に分けられ、1～3層は人為的な埋め戻し土である。遺物は出土していない。

SE212 (図版 50・61、写真図版 63・64)

5P-5I、6P-4Iに位置する。SD89を切る。遺構の半分は調査区外へ延びているが、平面形は円形に推測でき、断面形は台形状である。確認面での長軸1.58m、掘り込み面からの深さ0.82mを測る。覆土は6層に分けられ、1～3層は人為的な埋め戻し土である。遺物は出土していない。

b 土 坑 (SK)**SK216** (図版 49・56、写真図版 53)

5P-10Fに位置する。遺構の半分は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形は弧状である。確認面からの深さ0.21mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は珠洲焼甕が出土している。

SK180 (図版 49・56、写真図版 53)

6P-1Fに位置する。遺構の大半は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形は弧状である。確認面からの深さ0.18mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK177 (図版 49・56、写真図版 53)

6P-1Fに位置する。遺構の大半は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形は台形状である。確認面からの深さ0.33mを測る。覆土は4層に分けられ、すべて人為的な埋め戻し土である。遺物は出土していない。

SK175 (図版 49・56、写真図版 53)

6P-1Fに位置する。平面形は方形～楕円形、断面形は階段状である。確認面での長軸0.43m・短軸0.28m・深さ0.22mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK174 (図版 49・56、写真図版 54)

6P-1Fに位置する。土側溝に切られているが、平面形は楕円形と推測でき、断面形は階段状である。確認面での長軸0.82m・短軸0.66m・深さ0.39mを測る。覆土は4層に分けられる。遺物は出土していない。

SK169 (図版 49・56)

6P-1Gに位置する。遺構の大半は調査区外へ延びているが、平面形は円形と推測でき、断面形は台形状である。確認面での長軸0.71m・深さ0.34mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

SK197 (図版 49・61、写真図版 63)

6P-1F・1G・2Gに位置する。SD166を切る。遺構の半分は調査区外へ延びているが、平面形は楕円形と推測でき、断面形は台形状である。確認面での長軸1.05m、掘り込み面からの深さ0.37mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

SK158 (図版 49・56、写真図版 53)

6P-2Gに位置する。遺構の半分は調査区外へ延びているが、平面形は楕円形と推測でき、断面形は箱状である。確認面からの深さ 0.28m を測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

SK157 (図版 49・56、写真図版 54)

6P-2Gに位置する。Pit156に切られ、遺構の半分は調査区外へ延びているが、平面形は楕円形と推測でき、断面形は弧状である。確認面での短軸 0.45m、掘り込み面からの深さ 0.18m を測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK154 (図版 49・56、写真図版 63)

6P-2Gに位置する。土側溝に切られているが、平面形は方形と推測でき、断面形は弧状である。確認面からの深さ 0.08m を測る。土層断面図を作成していないため覆土は不明である。遺物は出土していない。

SK142 (図版 49・57、写真図版 54)

6P-3Gに位置する。遺構の半分は調査区外へ延びているが、平面形は楕円形と推測でき、断面形は台形状である。掘り込み面からの深さ 0.37m を測る。覆土は4層に分けられる。遺物は出土していない。

SK140 (図版 49・57、写真図版 54)

6P-3Gに位置する。平面形は長方形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.47m・短軸 0.31m・深さ 0.31m を測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

SK138 (図版 49・57、写真図版 55)

6P-3Gに位置する。土側溝に切られているが、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.97m・短軸 0.30m・深さ 0.07m を測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK131 (図版 49・57、写真図版 55)

6P-3Hに位置する。平面形は楕円形、断面形は漏斗状である。確認面での長軸 0.86m・短軸 0.42・深さ 0.37m を測る。覆土は4層に分けられ、堆積状況から柱穴と考えられる。遺物は出土していない。

SK125 (図版 49・50・57、写真図版 55)

6P-3Hに位置する。土側溝に切られているが、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 1.27m・短軸 0.80m・深さ 0.11m を測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK126 (図版 50・57、写真図版 55)

6P-3Hに位置する。土側溝に切られ遺構の半分は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形は台形状である。確認面での短軸 0.63m、掘り込み面からの深さ 0.23m を測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

SK124 (図版 50・57、写真図版 56)

6P-3Hに位置する。平面形は楕円形、断面形は弧状である。確認面での長軸 0.73m・短軸 0.46m・深さ 0.10m を測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK123 (図版 50・57、写真図版 56)

6P-3Hに位置する。平面形は長方形、断面形は弧状である。確認面での長軸 0.43m・短軸 0.29m・深さ 0.07m を測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK114 (図版 50・57、写真図版 56)

6P-3Hに位置する。平面形は楕円形、断面形は漏斗状である。確認面での長軸 1.42m・短軸 1.15m・深さ 0.38m を測る。覆土は4層に分けられる。遺物は中世土師器皿が出土している。

SK106 (図版 50・57、写真図版 54)

6P-4Hに位置する。土側溝に切られ遺構の半分は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形は弧状である。掘り込み面からの深さ 0.25m を測る。覆土は2層に分けられ、人為的な埋め戻し土である。遺物は出土

していない。

SK104 (図版 50・57, 写真図版 56)

6P-4Hに位置する。土側溝に切られ遺構はわずかに調査区外へ延びているが、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 1.51m・短軸 0.84m・深さ 0.34m を測る。覆土は 3 層に分けられ、人為的な埋め戻し土である。遺物は出土していない。

SK96 (図版 50・58, 写真図版 57)

6P-4Hに位置する。平面形は円形、断面形は弧状である。確認面での長軸 0.63m・短軸 0.56m・深さ 0.16m を測る。覆土は 2 層に分けられる。遺物は出土していない。

SK92 (図版 50・58, 写真図版 57)

6P-4Hに位置する。Pit133と土側溝に切られているが、平面形は円形、断面形は弧状である。確認面での長軸 0.96m・短軸 0.86m・深さ 0.23m を測る。覆土は 2 層に分けられる。遺物は出土していない。

SK134 (図版 50・58, 写真図版 57)

6P-5Iに位置する。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 1.27m・短軸 0.52m・深さ 0.18m を測る。覆土は 2 層に分けられる。遺物は出土していない。

SK101 (図版 50・58, 写真図版 57)

6P-5Iに位置する。遺構の半分は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形はV字状である。掘り込み面からの深さ 0.38m を測る。覆土は 4 層に分けられる。遺物は出土していない。

SK84 (図版 51・58, 写真図版 57)

6P-6Jに位置する。遺構の半分は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形は弧状である。確認面からの深さ 0.24m を測る。覆土は 3 層に分けられる。遺物は出土していない。

SK65 (図版 52・58, 写真図版 57)

6Q-9Bに位置する。遺構の半分は調査区外へ延びているが、平面形は円形と推測でき、断面形は台形状である。確認面での長軸 1.26m・深さ 0.29m を測る。覆土は 5 層に分けられる。遺物は出土していない。

SK70 (図版 51・58, 写真図版 58)

6Q-9Bに位置する。平面形は円形、断面形は弧状である。確認面での長軸 0.82m・短軸 0.79m・深さ 0.28m を測る。覆土は 3 層に分けられる。遺物は出土していない。

SK45 (図版 52・58, 写真図版 58)

7Q-1Cに位置する。平面形は方形、断面形は階段状である。確認面での長軸 0.54m・短軸 0.45m・深さ 0.39m を測る。覆土は 4 層に分けられる。遺物は出土していない。

SK44 (図版 52・58, 写真図版 58)

7Q-1Cに位置する。土側溝に切られているが、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.65m・短軸 0.57m・深さ 0.36m を測る。覆土は 4 層に分けられる。遺物は出土していない。

SK40 (図版 52・58, 写真図版 57)

7Q-1D・2Dに位置する。遺構の半分は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形は半円状である。確認面での長軸 0.64m、掘り込み面からの深さ 0.33m を測る。覆土は 4 層に分けられる。遺物は出土していない。

SK37 (図版 52・58, 写真図版 58)

7Q-2Dに位置する。平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面での長軸 0.44m・短軸 0.30m・深さ 0.34m を測る。覆土は 3 層に分けられる。遺物は出土していない。

SK36 (図版 52・58, 写真図版 59)

7Q-2Dに位置する。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面での長軸 0.36m・短軸 0.34m・深さ 0.35m を測る。覆土は 4 層に分けられ、堆積状況から柱穴と考えられる。遺物は出土していない。

SK22 (図版 53・58, 写真図版 59)

7Q-3Dに位置する。平面形は楕円形、断面形は漏斗状である。確認面での長軸 0.42m・短軸 0.32m・深さ 0.53mを測る。覆土は3層に分けられる。断面形から柱穴と考えられる。遺物は出土していない。

SK2 (図版 53・58, 写真図版 59・66)

7Q-4Eに位置する。SD1を切る。平面形は楕円形、断面形は弧状である。確認面での長軸 0.57m・短軸 0.29m・深さ 0.16mを測る。覆土は4層に分けられる。遺物は出土していない。

c 性格不明遺構 (SX)

SX244 (図版 47・54, 写真図版 52)

5P-5Bに位置する。遺構の大部分は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形は弧状である。確認面からの深さ 0.39mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SX235 (図版 48)

5P-7D・8Dに位置する。遺構の半分は調査区外へ延びているため平面形は不明、土層断面図を作成していないため断面形・覆土は不明である。確認面での短軸 1.80m・深さ 0.22mを測る。遺物は出土していない。

SX182 (図版 49・59, 写真図版 59)

5P-10F, 6P-1Fに位置する。土側溝に切られ、遺構は調査区外へ延びているが平面形は方形、断面形は弧状である。確認面での短軸 1.24m、掘り込み面からの深さ 0.35mを測る。覆土は5層に分けられる。遺物は中世土師器皿が出土している。

SX181 (図版 49・59, 写真図版 60)

6P-1Fに位置する。遺構は調査区外へ延びているが、平面形は楕円形、断面形は弧状である。確認面での長軸 2.36m・深さ 0.31mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

SX113 (図版 50・59, 写真図版 59)

6P-3H・4Hに位置する。遺構は調査区外へ延びているが、平面形は楕円形、断面形は弧状である。確認面での長軸 1.24m・深さ 0.16mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SX112 (図版 50・59)

6P-3H・4Hに位置する。平面形は円形、断面形は漏斗状である。確認面での長軸 0.64m・短軸 0.62m・深さ 0.24mを測る。覆土は2層であるが、植生痕の可能性が高い。遺物は出土していない。

SX245 (図版 50・55, 写真図版 52)

6P-4Hに位置する。SE94に切られ、遺構は調査区外へ延びているため平面形は不明、断面形は階段状である。確認面からの深さ 0.42mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

d 溝 (SD)

SD233 (図版 47・59, 写真図版 60・61)

5P-6Cに位置する。主軸方位はN17°Eで南北は調査区外へ延びる。断面形はV字状である。確認面での短軸 0.74m、掘り込み面からの深さ 0.74mを測る。覆土は6層に分けられる。遺物は出土していない。

SD230 (図版 47・59, 写真図版 61)

5P-6Cに位置する。主軸方位はN82°Wで西側は調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短軸 0.64m・深さ 0.29mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

SD234 (図版 48・59, 写真図版 61)

5P-8D・8Eに位置する。主軸方位はN80°Wで東西は調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での 1.37m・深さ 0.50mを測る。覆土は5層に分けられる。遺物は出土していない。

SD228 (図版 48・60, 写真図版 61・62)

5P-7C・7Dに位置する。東西方向と南北方向の溝からなる。主軸方位はN78°WとN20°Eで調査区外へ延

びる。断面形はV字状である。確認面での短軸 0.87m・深さ 0.85m を測る。覆土は 5 層に分けられる。遺物は出土していない。

SD227 (図版 48・60, 写真図版 61・62)

5P-7C・7D に位置する。主軸方位は N80° W で東西は調査区外へ延びる。断面形は半円形である。確認面での短軸 1.21m, 掘り込み面からの深さ 0.58m を測る。覆土は 5 層に分けられる。遺物は出土していない。

SD238 (図版 48・60, 写真図版 62)

5P-8D に位置する。主軸方位は N90° W で東側は調査区外へ延びる。断面形は弧状である。確認面での短軸 0.28m・深さ 0.06m を測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD211 (図版 48・60, 写真図版 62)

5P-9E に位置する。主軸方位は N71° W で東西は調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短軸 2.22m・深さ 0.63m を測る。覆土は 6 層に分けられる。遺物は鏝が出土している。

SD188 (図版 49・56)

5P-10F に位置する。SK216 を切る。主軸方位は N18° E で南北は調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短軸 1.89m, 掘り込み面からの深さ 0.71m を測る。覆土は 5 層に分けられる。遺物は珠洲焼壺、石臼、鏝が出土している (図版 89)。

SD178 (図版 49・60, 写真図版 62)

6P-1F に位置する。主軸方位は N10° E で南側は調査区外へ延びる。断面形はV字状である。確認面での短軸 0.35m, 掘り込み面からの深さ 0.29m を測る。覆土は 4 層に分けられる。遺物は出土していない。

SD166 (図版 49・61, 写真図版 63)

6P-1G・2G に位置する。SK197 に切られている。主軸方位は N81° W で東西は調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短軸 0.68m, 掘り込み面からの深さ 0.37m を測る。覆土は 3 層に分けられる。遺物は出土していない。

SD162 (図版 49・61, 写真図版 63)

6P-2G に位置する。主軸方位は N8° E で南北は調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短軸 0.53m, 掘り込み面からの深さ 0.31m を測る。覆土は 3 層に分けられる。遺物は出土していない。

SD152 (図版 49・61, 写真図版 63)

6P-2G に位置する。主軸方位は N86° E から N36° E で両端とも調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短軸 0.98m, 掘り込み面からの深さ 0.67m を測る。覆土は 6 層に分けられる。遺物は敲石が出土している (図版 89)。

SD89 (図版 50・61, 写真図版 63・64)

6P-4H・4I・5I に位置する。SE212 に切られている。主軸方位は N67° W で西側は調査区外へ延びる。6P-4I22・23 で N20° E の北方向へ分岐している。断面形は台形状である。確認面での短軸 1.36m, 掘り込み面からの深さ 0.41m を測る。覆土は 6 層に分けられる。遺物は出土していない。

SD86 (図版 50・62, 写真図版 64)

6P-5I に位置する。SD87 を切る。主軸方位は N32° E で北東・南西は調査区外へ延びる。断面形は台形状である。掘り込み面からの深さ 0.73m を測る。覆土は 5 層に分けられる。遺物は出土していない。

SD87 (図版 50・62, 写真図版 64)

6P-5I に位置する。SD86 に切られる。主軸方位は N30° E で北東・南西は調査区外へ延びる。断面形は階段状である。掘り込み面からの深さ 0.64m を測る。覆土は 6 層に分けられる。遺物は出土していない。

SD85 (図版 50・55, 写真図版 53)

6P-5I・6I・6J に位置する。SE215 に切れ、遺構の大半は調査区外へ延びている。主軸方位は N68° W で

ある。断面形は台形状である。確認面からの深さ0.28mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

SD81 (図版51・62, 写真図版64・65)

6P-6J・7Jに位置する。主軸方位はN71°Wで東西は調査区外へ延びている。断面形は階段状である。確認面での短軸1.24m・深さ0.40mを測る。覆土は7層に分けられる。遺物は砥石が出土している(図版89)。

SD76 (図版51・62, 写真図版65)

6P-8Aに位置する。主軸方位はN35°Eで北東・南西は調査区へ延びている。断面形は台形状である。確認面での短軸0.80m・深さ0.27mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

SD46 (図版52・62, 写真図版65・66)

6Q-10C, 7Q-1Cに位置する。主軸方位はN32°Eで北東・南西は調査区外へ延びている。断面形は弧状である。確認面での短軸0.68m・深さ0.20mを測る。覆土は4層に分けられる。遺物は出土していない。

SD43 (図版52・62, 写真図版66)

7Q-2Dに位置する。主軸方位はN36°Wである。断面形は弧状である。確認面での長軸2.50m, 短軸0.26m・深さ0.04mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD1 (図版53・62, 写真図版66)

7Q-3E, 4Eに位置する。主軸方位はN43°Wから7Q-3E21でN63°Eに東偏する。東・西は調査区外へ延びる。断面形は半円状である。確認面での短軸0.43m・深さ0.19mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

SD71 (図版51・63, 写真図版66・67)

6Q-8A・8B・9A・9Bに位置する。主軸方位はN8°EとN55°Wで北・南・西は調査区外へ延びる。南北溝から東西溝が分岐していることから複数の溝が存在している可能性もあるが土層観察からは切り合い関係を確認できなかったため1基の溝とした。また、南北溝は1区SD368と主軸方位・形状が類似することから同一溝と判断し土層注記を共通して記した。断面形は台形状である。確認面での短軸0.97m・深さ0.40mを測る。覆土は8層に分けられる。遺物は中世土師器皿、軽石製石製品、焼窯・窯が出土している(図版79・89)。

SD246 (図版52・63, 写真図版67・68)

6Q-10B・10Cに位置する。SD57を切る。主軸方位はN32°Eで北東・南西は調査区外へ延びる。断面形は弧状である。確認面での短軸2.27m・深さ0.47mを測る。覆土は4層に分けられる。遺物は出土していない。

SD57 (図版52・63, 写真図版67・68)

6Q-10B・10Cに位置する。SD246に切られる。主軸方位はN41°Eで北東・南西は調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での深さ0.55mを測る。覆土は4層に分けられる。遺物は須恵器大甕、中世土師器皿、北越窯産陶器甕、灰壁、焼窯・窯が出土している(図版79)。

SD58 (図版52・63, 写真図版67・68)

6Q-10Bに位置する。SD59とSD246に切られる。主軸方位はN35°Eで北東・南西は調査区外へ延びる。断面形は底面の乱れた階段状である。確認面からの深さ0.38mを測る。覆土は4層に分けられる。遺物は出土していない。

SD59 (図版52・63, 写真図版67・68)

6Q-10Bに位置する。SD58を切る。主軸方位はN29°Eで北東・南西は調査区外へ延びる。断面形は漏斗状である。確認面での短軸1.71m・深さ0.70mを測る。覆土は7層に分けられる。遺物は出土していない。

SD60 (図版52・63, 写真図版67・68)

6Q-9B・10Bに位置する。主軸方位はN35°Eで北東・南西は調査区外へ延びる。断面形は漏斗状である。確認面での短軸1.36m, 掘り込み面からの深さ0.53mを測る。覆土は6層に分けられる。遺物は出土していない。

E 4 区 の 遺 構

1) 4 区 の 概 要

4区で検出された遺構はSK 5基、SX 3基、SD 20基、Pit 18基の計46基である。調査面積は上端面積401.47m²、下端面積325.70m²である。

2) 4 区 の 遺 構 各 説

a 土 坑 (SK)

SK14 (図版 68・72、写真図版 69・70)

70-6E・6F・7Fに位置する。遺構の半分は調査区外へ延びているが、平面形は円形、断面形は半円形である。確認面からの深さ0.29mを測る。覆土は4層に分けられる。遺物は出土していない。

SK11 (図版 68・72、写真図版 70)

70-8Fに位置する。遺構の半分は調査区外へ延びているが、平面形は円形、断面形はU字状である。確認面からの深さ0.69mを測る。覆土は6層に分けられる。遺物は出土していない。

SK10 (図版 68・72、写真図版 70)

70-8Fに位置する。遺構の半分は調査区外へ延びているが、平面形は円形、断面形は弧状である。確認面からの深さ0.16mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK3 (図版 69・72)

80-1I・2Iに位置する。土側溝に切られているが、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面での長軸0.72m・短軸0.52m・深さ0.17mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK5 (図版 69)

70-10Hに位置する。土側溝に切られているが、平面形は楕円形、断面形は弧状である。確認面からの深さ0.09mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

b 性 格 不 明 遺 構 (SX)

SX39 (図版 66・72、写真図版 70)

6N-7Iに位置する。遺構の大半は調査区外へ延びているため平面形・断面形は不明である。確認面からの深さ0.15mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SX44 (図版 66・72、写真図版 70)

6N-5H・6Hに位置する。平面形は楕円形、断面は弧状である。確認面での長軸1.88m・短軸0.50m・深さ0.12mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SX49 (図版 70・74、写真図版 74)

80-2I・2J・3Jに位置する。SD50に切られ、遺構の半分は調査区外へ延びているが、平面形は楕円形、断面形は弧状である。確認面からの深さ0.39mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は磁石、礫が出土している(図版 89)。

c 溝 (SD)

SD43 (図版 66・72、写真図版 71)

6N-6Hに位置する。主軸方位はN9°Eで北・南とも調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短軸1.28m、掘り込み面からの深さ0.52mを測る。覆土は8層に分けられる。遺物は出土していない。

SD41 (図版 66・72、写真図版 71)

6N-6I・7Iに位置する。攪乱によって切られ、遺構は調査区外へ延びる。断面形は弧状である。確認面からの深さ0.07mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD40 (図版 66・73, 写真図版 71)

6N-7Iに位置する。主軸方位はN67°Eで東西は調査区外へ延びる。断面形は階段状である。確認面での短軸1.25m、掘り込み面からの深さ0.42mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

SD38 (図版 66・73, 写真図版 71)

6N-8J・9Jに位置する。主軸方位はN7°Wで南北は調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短軸1.08m・深さ0.53mを測る。覆土は8層に分けられる。遺物は軽石製石製品が出土している(図版 89)。

SD33 (図版 67・73, 写真図版 72)

6O-10Aに位置する。主軸方位はN35°Wで南東は調査区外へ延びる。断面形は弧状である。確認面での短軸0.57m・深さ0.09mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD32 (図版 67・73, 写真図版 72)

7O-1Bに位置する。遺構の大半は調査区外へ延びる。確認面からの深さ0.39mを測る。覆土は5層に分けられる。遺物は出土していない。

SD30 (図版 67・73, 写真図版 72)

7O-1Bに位置する。SD46に切られる。主軸方位はN3°Wで南北は調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短軸1.11m、掘り込み面からの深さ0.44mを測る。覆土は5層に分けられる。遺物は出土していない。

SD46 (図版 67・73, 写真図版 72)

7O-1B・2Bに位置する。SD29とSD30を切る。主軸方位はN89°Wで東西は調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短軸1.51m、掘り込み面からの深さ0.18mを測る。覆土は5層に分けられる。遺物は出土していない。

SD29 (図版 67・73, 写真図版 72)

7O-1B・2Bに位置する。SD46に切られる。主軸方位はN82°Wで東西は調査区外へ延びる。断面形は弧状である。掘り込み面からの深さ0.30mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SD28 (図版 67・73, 写真図版 72)

7O-2Bに位置する。主軸方位はN55°Eで北東・南西は調査区外へ延びる。断面形は弧状である。確認面での短軸1.28m・深さ0.21mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SD23 (図版 67・73, 写真図版 73)

7O-2Bに位置する。主軸方位はN90°Wで東は調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短軸0.30m・深さ0.40mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD18 (図版 67・73, 写真図版 73)

7O-3Cに位置する。主軸方位はN4°Eで南北は調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短軸1.02m・深さ0.20mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD17 (図版 67・68・74, 写真図版 73)

7O-4D・5Dに位置する。主軸方位はN18°Wで南北は調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短軸は0.77m・深さ0.25mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は珠洲系陶器が出土している。

SD16 (図版 68・74, 写真図版 73)

7O-5D・5Eに位置する。主軸方位は概ねN2°Wで南北は調査区外へ延びる。断面形は弧状である。確認面での短軸0.55m・深さ0.17mを測る。覆土は単層である。遺物は出土していない。

SD13 (図版 68・74, 写真図版 74)

7O-6Eに位置する。SD12に切られる。主軸方位はN13°Wで南北は調査区外へ延びる。断面形は階段状である。確認面からの深さ0.32mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

SD12 (図版 68・74、写真図版 74)

70-6Eに位置する。SD13を切る。主軸方位はN54°Eで南西は調査区外へ延びる。断面形は半円状である。確認面での短軸0.70m・深さ0.25mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SD15 (図版 68・72、写真図版 69・70)

70-6E・6Fに位置する。主軸方位はN69°Eで北東・南西は調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短軸0.76m・深さ0.31mを測る。覆土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

SD2 (図版 69・70・74、写真図版 74)

80-2Iに位置する。SD50を切る。主軸方位はN72°Eで東西は調査区外へ延びる。断面形は階段状である。確認面での短軸1.67m、掘り込み面からの深さ0.51mを測る。覆土は7層に分けられる。遺物は礎が出土している。

SD50 (図版 69・70・74、写真図版 74)

80-2I・2Jに位置する。SD2に切れ、SX49を切る。主軸方位はN13°Wで南北は調査区外へ延びる。断面形は弧状である。確認面での短軸0.45m・深さ0.19mを測る。覆土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

SD1 (図版 70・74、写真図版 74)

80-3Jに位置する。主軸方位はN6°Wで南北は調査区外へ延びる。断面形は台形状である。確認面での短軸0.85m・深さ0.40mを測る。覆土は4層に分けられる。遺物は出土していない。

第V章 遺 物

第1節 概 要

細池寺道上遺跡からは平安時代と鎌倉時代・室町時代の遺物が出土している。遺物出土総量はコンテナ（内法 54.5 × 33.6 × 10.0cm）に 100 箱である。平安時代の土器 3 箱、鎌倉時代・室町時代の土器・陶磁器 36 箱、鉄製品・鍛冶関連遺物 4 箱、石製品・礫 50 箱、木製品 7 箱である。

第2節 平安時代の遺物

平安時代の土器は土師器・須恵器がある。遺跡全体の総重量比は土師器 43.21%（105.0g）・須恵器 56.79%（138.0g）、総点数比は土師器 82.61%（38 点）・須恵器 17.39%（8 点）である。

A 土器の分類と記述

同一器種での細分類については出土点数が少なく、すべて小破片のため不可能と判断した。以下は図化できた土器について記す。成形・調整についての記述に際しては山三賀Ⅱ遺跡の報告書〔坂井 1989〕を参考にした。

1. 「ロクロナデ」はロクロ回転を利用したナデで、ロクロ回転を利用しない撫でを「ナデ」とした。
2. ロクロ回転を利用したハケ目を「カキメ」、ロクロ回転を利用しないハケ目を「ハケメ」とした。
3. 須恵器大甕などの外面に見られる叩板工具を用いた成形痕を「タタキメ」とし、内面の当て具を用いた成形痕を「当て具痕」とした。

胎土については資料数が少ないため分類はしていない。

B 出土土器等各説

1) 1 区出土土器

SE17（図版 75、写真図版 76）

土師器小甕（1）が出土している。口縁部から体部にかけての破片である。内外面ロクロナデ後体部にカキメ調整が施される。ロクロ回転方向は器面に残っている砂粒の移動痕から右回転である。

2) 2 区出土土器

Pit554（図版 75、写真図版 76）

土師器無台碗（2）が 1 点出土している。口縁部から体部の破片である。炭化物が内外面に付着している。

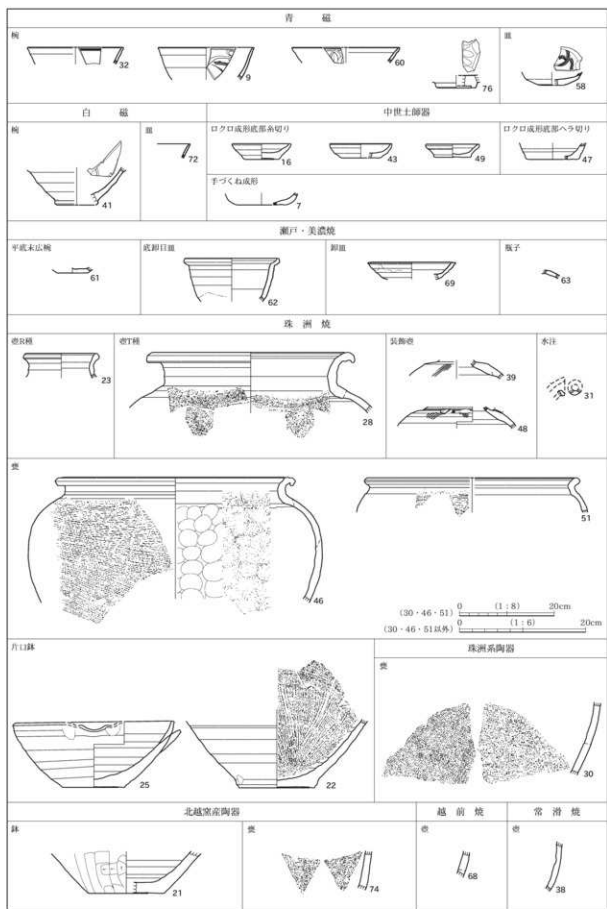
包含層（図版 75、写真図版 76）

土師器長甕（3）、須恵器無台杯（4）・長胴壺（5）が出土している。3 は口縁部破片で内外面ロクロナデである。4 は底部破片でロクロ左回転のヘラ切り、佐渡小泊産である。5 は体部破片で内面にモミ痕が残る。

3) 3 区出土土器

SD57（図版 75、写真図版 76）

須恵器大甕（6）が出土している。体部破片で外面にはタタキメで成形後カキメが巡り、内面には同心円の当て具痕が残る。



第8図 中世土器・陶磁器分類図

第3節 鎌倉時代・室町時代の遺物

鎌倉時代・室町時代の遺物は青磁、白磁、珠洲焼、珠洲系陶器、北越窯産陶器、越前焼、常滑焼、瀬戸・美濃焼、中世土師器がある。本遺跡は11世紀後半～15世紀前半の遺物が出土しているが、主体となる時期は12世紀後半～13世紀前半と13世紀末葉～14世紀中葉である。

A 土器の分類と記述

記述はまず分類を行い、次に遺構別・包含層出土の順に記した。土器・陶磁器の分類・名称および編年については青磁・白磁は山本信夫の研究〔山本2000・2005〕、珠洲焼は吉岡康暢の研究〔吉岡1994〕、瀬戸・美濃焼は藤澤良祐の研究〔藤澤2008〕、中世土師器は水澤幸一の研究〔水澤2007〕を参考とした。点数はすべて破片数を表している。

青磁 碗が5点、皿が2点出土しており龍泉窯系青磁である。9・42は内面に片彫りで草花状の文様をもつ碗Ⅰ-3a類、32は内外面無文の碗Ⅰ-1a類、60は外面に竊連弁文をもつ碗Ⅱ-b類、76は碗で見込みに花卉を片彫りするが分類名不明である。58は小形の皿で内面見込みに櫛状工具で花文を描く皿Ⅰ-2b類、59は皿Ⅰ類である。

白磁 碗が5点、皿が1点出土している。18・41は口縁部に玉縁を有するタイプで底部内面に沈線を描き高台内側の削りが浅い碗Ⅳ-1a類である。72は口縁部が口売りの皿Ⅲ-1b類である。

中世土師器 皿が111点出土している。小破片の資料が多く図化できたものは11個体である。成形・底部切り離し技法による分類にとどめる。7は手づくね成形である。16・19・20・27・43・49・57はロクロ成形底部糸切りで、16と27は若干量の差はあるものの同一形態を呈する。47・75はロクロ成形底部へら切りで、色調は灰白色系である。55・73はロクロ成形ではあるが底部欠損のため切り離し技法が不明である。

瀬戸・美濃焼 平底末広碗が3点、底卸皿が5点、卸皿が1点、瓶子が1点出土している。61は平底末広碗である。62は折縁中皿か底卸皿であるが軸葉が安定せず胎土との定着率が悪いことから前期様式と判断し中期様式から出現する折縁中皿ではなく底卸皿とした。63は瓶子である。69は卸皿である。

珠洲焼 壺R種が15点、壺T種が123点、装飾壺が3点、水注が1点、甕が100点、片口鉢が111点出土している。23・24はロクロ成形による壺R種である。28・34・64は叩き締めて成形する壺T種である。33・39・48は装飾壺である。33・48は胴部に耳を貼り付けられていたが剥離している。39は胴部に櫛状工具で施文される。31は水注の注口端部と思われる。11・46・51・65・66・70・71・77は甕である。8・10・12～15・17・22・25・26・29・35～37・40・44・45・50・52～54・56・67・78・79は片口鉢で時期により卸目の有無がある。

珠洲系陶器 珠洲焼と同様の技法により成形されるが胎土は粘性を帯び、外面は黒光りしている点で珠洲焼とは異なる。壺が1点、甕が8点出土している。壺は小破片のため図化していない。30は甕である。

北越窯産陶器 鉢が1点、甕が2点出土している。21は鉢である。74は甕である。

越前焼 壺が1点出土している。68は胴部破片である。

常滑焼 壺が2点出土している。38は胴部破片である。

B 出土土器等各説

1) 1区出土土器

SE17 (図版75、写真図版76)

中世土師器(7)と珠洲焼片口鉢(8)が出土している。7は体部から底部の破片で、成形は手づくね、胎土は粉つ

ぼい。8は口縁部から胴部の破片で、時期はⅡ2期である。

SE1 (図版75、写真図版76)

青磁碗(9)が出土している。龍泉窯系の端反碗で口縁部から体部にかけての破片である。透明度の高い釉が薄くかかりロクロナデが顕著に見え、内外面とも貫入が生じる。外面は無文、内面は割花文である。I-3a類でD期(XV~XV期、12世紀中頃~後半)に相当する。

SE333 (図版75、写真図版76)

珠洲焼片口鉢(10)が出土している。底部から胴部の破片である。外底面は静止糸切りであることからⅡ期以降の所産である。

SD289 (図版75、写真図版76)

珠洲焼壺(11)が出土している。口頸部の破片である。外面には平行タタキメ、内面には押圧痕が残る。時期は口頸部形態からⅡ2期である。

2) 2区出土土器

SE14 (図版75、写真図版76)

珠洲焼片口鉢(12・13)が出土している。12は口縁部から胴部の破片である。内面には9目を1単位とする卸目を施し、卸目と口縁の間には櫛状工具による横方向の沈線が4本通る。卸目は使用により磨耗している。時期はⅢ期である。13も口縁部から胴部の破片である。内面には1単位7~8目の卸目を施されているが、使用によりかなり磨耗している。時期はⅣ2~Ⅳ3期である。

SE110 (図版75、写真図版76)

珠洲焼片口鉢(14)が出土している。口縁部の破片である。焼成は悪く酸化している。時期はⅡ2期に相当する。

SE130 (図版75、写真図版75)

珠洲焼片口鉢(15)が出土している。口縁部の破片である。時期はⅢ期に相当する。

SE368 (図版75、写真図版75・76)

中世土師器皿(16)と珠洲焼片口鉢(17)が出土している。16は全形を窺える資料である。ロクロ成形底部糸切りである。胎土は異なるが器形はSE111出土の27と共通する。17は底部資料で外底部は静止糸切りである。片口鉢としたが壺底部の可能性もある。焼成は悪く酸化状態である。

SE453 (図版75、写真図版76)

白磁碗(18)が出土している。底部資料であるが玉縁口縁の碗である。軸層は厚く外面にはピンホールが生じる。底部内面に沈線を巡らし、高台内側の削りが浅いⅣ-1a類でC期(XII~XIII期、11世紀後半~12世紀前半)に相当する。

SE800 (図版75、写真図版76)

中世土師器皿(19・20)と北越窯産陶器鉢(21)が出土している。19・20は底部破片でロクロ成形底部糸切りである。19は灰白色、20は褐色を呈し、ともにややザラついた胎土に雲母が目立つ。21は底部から体部の破片である。外面はヘラナデ、内面はナデやヨコナデがされる。

SE121 (図版76、写真図版75)

珠洲焼片口鉢(22)が出土している。胴部から底部の資料である。口縁部はほぼ水平に削り揃えられ破面を滑らかに整える。外底面は静止糸切りである。内面は1単位8目の卸目を密に施す。焼成は酸化気味である。SD154出土破片と接合しSD157出土破片と同一個体である。時期はⅣ2期~Ⅴ期に相当する。

SE328 (図版76、写真図版76)

珠洲焼壺R種(23・24)と珠洲焼片口鉢(25・26)が出土している。23は口頸部の破片である。24は肩部の破片である。23と24は降灰の色調と器面が酷似しているため同一個体かと思われたが頸基部の径が異なることから同一個体とは考え難い。時期はⅠ2期に相当する。25は完形に近い資料である。外底面は静止糸切りで

ある。卸目は施されておらず内面は使用により磨耗している。火に掛けながら使用していたようで底部外面にはススカ付着し内面は加熱により変色している。時期はⅠ2期に相当する。26は口縁部から胴部にかけての資料であり、Pit414出土破片にも同一個体がある。ロクロ成形による凹凸が細かく残っている。卸目は施されていない。時期はⅠ3期に相当する。

SE111 (図版76、写真図版75)

中世土師器皿(27)、珠洲焼壺T種(28)、珠洲焼片口鉢(29)、珠洲系陶器壺(30)が出土している。27は全形を窺える資料である。ロクロ成形底部系切りで長石と雲母の混和が目立つ胎土である。共伴する珠洲焼は12世紀後半である。28は口縁部から上胴部の資料である。口縁部から頸部にかけての折り返しはしっかりしており内面にはわずかながら段が生じる。時期はⅠ2期に相当する。29は口縁部から胴部にかけての資料である。卸目がないことと口縁部形態から時期はⅠ2期である。30は胴部破片である。叩き締め成形の結果、外面には平行タタキメが、内面には押し痕が残る。外面は黒光りしている。

SX190 (図版77、写真図版77)

珠洲焼水注(31)である。注口部の破片である。端部を短く外側へ折り返している。

SD42 (図版77、写真図版76・77)

青磁碗(32)、珠洲焼裝飾壺(33)、珠洲焼壺T種(34)、珠洲焼片口鉢(35～37)、常滑焼壺(38)が出土している。32は口縁部から体部の破片で、龍泉窯系である。口縁部内面には櫛状工具による沈線が4本走る。Ⅰ-1a類と思われD期(XV～XV期、12世紀中頃～後半)に相当する。33は頸基部から上胴部の破片である。肩部には櫛状工具による波状文が施文されている。また、円形に粘土が剥離しており四耳壺の耳が貼り付けられていたと考えられる。時期はⅠ期に相当する。34は口頸部の破片で、内面は弾けている。Ⅱ2期に相当する。35は胴部の破片である。内面には1単位22目の細かな卸目を施す。時期はⅡ2期に相当する。36は口縁部の破片である。遺存部に卸目は見られませんが、口縁形態からⅣ1～Ⅳ2期に相当するため本来は施されているものと思われる。外側は還元されているが内側は酸化状態となる。37も口縁部の破片である。内面には卸目が施されるが1単位あたりの目数は不明である。時期はⅣ1～Ⅳ2期である。38は胴部の破片である。外面は降灰により灰オリーブ色を呈する。

SD80 (図版77、写真図版77)

珠洲焼裝飾壺(39)が出土している。頸基部から胴上部の破片である。波状文が施文され、肩部の張りが24と酷似しているが、胎土と法量が異なることから同一個体ではない。時期はⅠ期に相当する。

SD38 (図版77、写真図版77)

珠洲焼片口鉢(40)が出土している。口縁部から胴部の破片が出土している。内面には1単位10目の卸目を施す。時期はⅣ1期に相当する。

SD58 (図版77、写真図版76・77)

白磁碗(41)、青磁碗(42)、中世土師器皿(43)、珠洲焼片口鉢(44・45)、珠洲焼壺(46)が出土している。41は体部から底部の資料である。18と同様に玉縁状の口縁を有する碗である。釉層は厚く、外面にはピンホールが目立つ。底部内面に沈線を通らし高台内側の削りが浅いⅣ-1a類である。時期はC期(XII～XIII期、11世紀後半～12世紀前半)に相当する。42は口縁部から体部の破片で、龍泉窯系である。内面に文様を片彫りすることからⅠ-2類かⅠ-4a類と思われ、D期(XV～XV期、12世紀中頃～後半)に相当する。43は口縁部から底部の破片である。ロクロ成形底部系切りである。口縁部は成形でのロクロナデとは別に一段ナデをする。44は底部の資料である。外底面は静止系切り後、縁を削る。内面は卸目が施されず、使用により磨耗している。破損後に被熱しており内外面および破面には炭化物が付着している。時期はⅡ期に相当する。45は胴部から底部の資料である。外底面は切り離し後に縁を削り、遺存部はそのケズリ部分にあたる。内面にはロクロナデによる凹凸が顕著に残り、1単位6目の卸目を施す。時期はⅡ2期である。46は口縁部から胴部にかけての資料である。

口縁部の折り返しには棒状工具が用いられ、その結果内面には稜が強く生じる。口縁端部の成形も丁寧で面が形成されている。時期はⅠ2期に相当する。SD42・SD80・SE111出土破片と接合する。

SD78 (図版78、写真図版76・78)

中世土師器皿(47)と珠洲焼装飾壺(48)が出土している。47は体部から底部の破片である。ロク口成形底部へら切りで灰白色を呈する。48は四耳壺で頸基部から上胴部の破片である。頸基部直下に櫛状工具による波状文を施文し、さらに耳を横位に貼り付けているが剥離している。時期はⅠ期である。

SD79 (図版78、写真図版75)

中世土師器皿(49)が出土している。口縁部から底部の資料である。ロク口成形底部糸切りで橙色系である。底部から直立気味に立ち上げ体部は外側に引き出すように開く。海道遺跡SE420(高橋2005)に類似した器形が見られるが、底部の厚みは49のほうが薄い作りとなる。

SD176 (図版78、写真図版78)

珠洲焼片口鉢(50)が出土している。胴部から底部の資料である。外底面は静止糸切り後、縁を削る。内面は鉗目が施されず、使用により磨耗している。外底面の削りと鉗目が施されないことを考慮すると時期はⅡ2期に相当する。

SD767 (図版78、写真図版78)

珠洲焼甕(51)が出土している。口縁部から上胴部の破片である。口縁部を折り返すために頸基部を強く撫でることによって外面には窪みができ、内面には稜が生じている。時期はⅡ～Ⅲ期と考えられる。

SD768 (図版78、写真図版78)

珠洲焼片口鉢(52)が出土している。口縁部の破片である。口縁部を強く撫でることによって外面がやや窪む。内面に鉗目は見られない。口縁部形態からⅠ3期に相当する。

SD898 (図版78、写真図版78)

珠洲焼片口鉢(53)が出土している。口縁部から胴部の破片である。内面には1単位9目の鉗目を口縁直下から施し、横方向にも施す。時期はⅢ期に相当する。

Pit107 (図版78、写真図版78)

珠洲焼片口鉢(54)が出土している。口縁部の破片である。内面に鉗目は見られない。口縁部形態からⅡ2期と考えられる。

Pit376 (図版78、写真図版76)

中世土師器皿(55)が出土している。口縁部の破片である。内外面剥離しており調整痕は残っていないが、ロク口成形と思われる。色調は橙色系である。

Pit436 (図版78、写真図版78)

珠洲焼片口鉢(56)が出土している。口縁部の破片である。内面に鉗目は見られない。口縁部形態からⅢ期と考えられる。

包含層出土

中世土師器皿(57)、青磁皿(58・59)・椀(60)、瀬戸・美濃焼平底末広椀(61)・底鉗目皿(62)・瓶子(63)、珠洲焼壺Ⅰ種(64)・甕(65・66)・片口鉢(67)、越前焼(68)が出土している。57は底部資料である。ロク口成形底部糸切りで、灰白色系である。58は底部破片で、龍泉窯系である。透明度の高い釉薬が内外面とも施されるが外底面は剥ぎ取られる。内面見込みに櫛状工具で花文を描くことからⅠ-2b類、D期(XIV～XV期、12世紀中頃～後半)に相当する。59は口縁部破片である。龍泉窯系のⅢⅠ類にあたる。60は口縁部破片である。釉層はやや厚い。外面に片切形りの鑄造弁文を施文することからⅡ-b類、E期(XVI～XVII期、13世紀前後～前半)に相当する。61は底部資料である。底部は右回転糸切りで無軸、内面には薄く灰釉が施される。平底末広椀の生産期間は前期様式Ⅲ期から中期様式Ⅳ期までとなるが、底径から中期様式と考えられる。62は口縁部から体

部の資料である。内外面に灰軸が施軸されるが定着が悪く剥離が目立つ。受口部は使用により擦れたためほとんど剥落している。折縁中皿の可能性もある。時期は前期様式Ⅲ期頃に相当する。63は体部の破片である。外面に灰軸が施軸されるが細かな貫入が生じ剥離し易い。軸洞から前期様式と考えられる。64は頸基部から上胴部の破片である。外面は頸基部直下に円弧を2分割する記号文が刻印される。記号文はⅢ～Ⅴ期に多用される。65は口縁部から上胴部の破片である。口縁部形態から時期はⅢ期に相当する。66は口縁部の破片である。口縁部は水平に引き出されている。時期はⅠ2期に相当する。67は口縁部から胴部の資料である。内面には1単位12～13目の卸目を施す。時期はⅣ2期に相当する。68は体部破片である。

3) 3区出土土器

SE94 (図版79、写真図版76)

瀬戸・美濃焼卸皿(69)、珠洲焼甕(70・71)が出土している。69は口縁部から底部の破片である。内面見込みに卸目を施す。内外面に灰軸が施軸されるが、内面には無軸の部分が斑状に残っている。時期は中期様式Ⅱ～Ⅲ期に相当し、14世紀中頃に位置付けられる。70は口縁部破片である。口縁部は短く、端部は丸くおさめる。時期はⅣ1期に相当する。包含層出土の77と同一個体の可能性がある。71は底部資料である。外底面は砂底である。胴部の平行タタキメは外底部との境目際まで及ぶ。平行タタキメの原体は太目である。時期はⅤ期頃と思われる。

SX49 (図版79、写真図版76)

白磁皿(72)が出土している。口縁部から体部の破片である。口縁部端部が口禿げとなるタイプでⅨ-1b類である。時期はF期(13世紀中頃～14世紀初頭前後)に相当するが、13世紀後半から14世紀前半に増加する器形である。

SD71 (図版79、写真図版76)

中世土師器皿(73)が出土している。口縁部から体部の破片である。ロクロ成形であるが底部が遺存していないため切り離しは不明である。

SD57 (図版79、写真図版78)

北越窯産陶器甕(74)が出土している。体部破片である。外面はヘラナデの後に格子状・円形(菊花文か)の押印、内面はナデとヨコナデ調整される。

包含層出土

中世土師器皿(75)、青磁椀(76)、珠洲焼甕(77)・片口鉢(78)が出土している。75は体部から底部の資料である。全体的に摩耗しているがロクロ成形でおそらく底部はヘラ切りである。76は底部破片である。龍泉窯系で内面見込みに花弁を彫る。外面は畳付と高台内面を軸刺ぎする。77は口縁部破片である。口縁部は短く、端部は丸くおさめる。時期はⅣ1期に相当する。SE94出土の70と同一個体の可能性がある。78は胴部破片である。内面に1単位7～8目の卸目を施す。時期はⅢ期と考えられる。

4) 4区出土土器

包含層出土

珠洲焼片口鉢(79)が出土している。胴部破片である。内面に卸目はみられない。

第4節 転用研磨具・鉄製品・鍛冶関連遺物・石製品・木製品

A 転用研磨具 (図版79、写真図版78)

須恵器杯蓋、珠洲焼壺T種・片口鉢が転用研磨具として二次使用されている。80は珠洲焼片口鉢の胴部破片で外面が研磨面である。81は珠洲焼壺T種の胴部破片で外面と破面が研磨面である。82は珠洲焼壺T種の胴部破片で破面が研磨面である。83～86は珠洲焼片口鉢の胴部破片で破面が研磨面である。87は須恵器杯蓋に貼り付けられているつまみを残すように内面から丁寧に打ち欠き、つまみ部分の内面を研磨面としている。

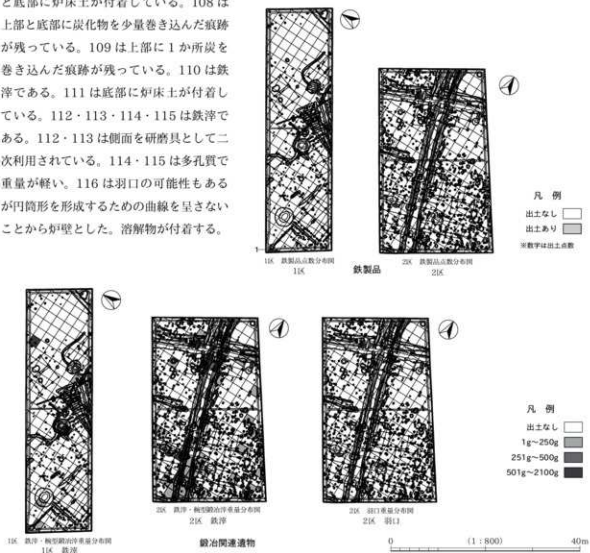
B 鉄製品・鍛冶関連遺物 (図版79・80・81、写真図版79)

鉄製品の出土点数は刀子3点(実測数3点)、鉄釘3点(同2点)、鉄鍋1点(同1点)、不明14点(同1点)である。鍛冶関連遺物の出土点数は鉄滓151点(実測数5点)、椀形滓13点(同12点)、羽口4点(同4点)、炉壁26点(同1点)である。詳細な計測値は別表3、出土点数・重量点数は別表8～11に示した。

88は鉄鍋の胴部の破片で蓋受けとなる段を有している。89～91は刀子である。89は切先から茎である。90は切先から茎であるが、一部欠損している。91は切先である。92・93は釘で断面形は長方形である。94は不明鉄製品で扁平な面の片面の縁辺に2本の凸帯が通る。

95～98は羽口である。95は精良な胎土で、炉内に挿入されていた部分には外面に溶解物が付着している。輪側に取り付けられていた端部は器厚をやや薄くし、その分だけ内径が広がる。96は炉側の先端部にあたり、荒目な胎土である。内外面には溶解物が付着している。97・98は精良な胎土で、内面は酸化し、外面は還元気味となる。炉内に挿入されていた部分には外面に溶解物が付着している。

99～109・111は椀形滓である。99は底部に炉床土が付着し、炭を少量巻き込んでいる。100は底部に炉床土が付着している。101は上部と底部に炭を多く巻き込んでいる。102は底部に炭を少量巻き込んでいる。103は上部に炭を少量巻き込んだ痕跡が残っている。104・105・107には付着物は見られない。106は上部と底部に炉床土が付着している。108は上部と底部に炭化物を少量巻き込んだ痕跡が残っている。109は上部に1か所炭を巻き込んだ痕跡が残っている。110は鉄滓である。111は底部に炉床土が付着している。112・113は側面を研磨具として二次利用されている。114・115は多孔質で重量が軽い。116は羽口の可能性もあるが円筒形を形成するための曲線を呈さないことから炉壁とした。溶解物が付着する。



第9図 鉄製品、鍛冶関連遺物出土数・重量分布図

C 石製品 (図版 82～89、写真図版 80～83)

石製品の出土点数は総点数 131 点のうち砥石 31 点 (実測数 29 点)、石硯 1 点 (同 1 点)、磨石 25 点 (同 24 点)、敲石 22 点 (同 20 点)、磨石 + 敲石 2 点 (同 2 点)、台石 11 点 (同 10 点)、軽石製石製品 28 点 (同 14 点)、石臼 1 点 (同 1 点)、不定形石器 3 点 (同 3 点)、剥片 5 点 (同 1 点)、石核 2 点 (同 1 点)、焼礫 191 点、礫 1026 点である。詳細な計測値は別表 4、出土点数・個体数・石製品組成・石材組成・重量組成等は別表 12～17 に示した。石製品は遺構単位でのまとまりに欠けるため、区単位順で器種ごとに記載する。

1) 1区出土石製品

砥石 (1～4)

1～4 は凝灰岩製の砥石である。1～3 は緻密な淡い橙色の縞模様が入る特徴的な石材を用い、4 は粗製の石材を用いている。1 は 4 面の砥面を持つ中砥石である。2 は手持ち用の砥石片である。3 は 5 面に砥石面を持ち、被熱を受けている。4 は円礫の上端部に敲き痕を持ち、表面に 3 面に分かれる砥面が残る。形状から置砥石として用いられたと考えられる。被熱を受けている。

磨石 (5・7)

5 は凝灰岩製の磨石である。表裏面に薄い磨痕跡がある。7 は花崗岩製の磨石破片である。

磨石 + 敲石 (6)

6 は凝灰岩製の磨石と敲石の複合石器である。下端に敲痕跡残る。

敲石 (8～10)

8～10 は花崗岩製円礫を用いた敲石である。8 は被熱を受けており両端に敲痕がある。9 も両端に敲痕跡が残る。10 は一端に敲痕が残る。

台石 (11)

11 は硬質な凝灰岩製の台石である。被熱を受けている。端部が一部剥離されている。表面に薄い削痕が残る。

軽石製石製品 (12～19)

12～19 は軽石製の石製品である。多様なものを一括しており、使用痕が確認されないものが多い。石材の特徴から、現在の軽石の用途のように被対象物を擦る用途のものが多いと考えられ、使用痕の無いものも積極的に石製品として取り上げた。12 は小形円礫状の製品である。13 は多孔されている製品である。上半部が欠損している。現状で 6 か所の孔が残る。14 は小形円礫状の製品である。15 は左側縁が欠損した円礫状の製品である。16・17・19 は石製品の破片である。いずれも小形の円礫を素材としている。18 は精円形の礫を素材としている。表面がわずかに擦れており使用による痕跡と考えられる。

2) 2区出土石製品

砥石 (20～42)

20～30 の砥石は凝灰岩製、31 は緑色凝灰岩製、32～38、40～42 は硬砂岩製、39 は礫岩である。20 は白色系色調の石材で軟質である。3面に砥面が残る手持ち砥石である。21 は上端部を含め 5面に砥面が残る手持ち砥石である。22 は不定形の手持ち砥石破片である。23 は緻密な淡い橙色の縞模様が入る凝灰岩製の手持ち砥石である。周辺を打割している。24 は軟質の凝灰岩製石材を用いた手持ち砥石である。3面の砥面が残る。25 は白色系色調の手持ち砥石である。先端は欠損し、小口面を入れて 5面の砥面が残る。26 は白色系色調の手持ち砥石で、4面の砥面が残る。27 は手持ち砥石の末端部である。28 は白色系の手持ち砥石破片である。29 は橙色系色調の板状素材製手持ち砥石破片である。30 は剥片状の砥石破片である。31 は大形の礫破片を素材として、3面の砥面が残る。置砥石の可能性が高い。32 は大形砥石の破損品である。表裏面に砥面が残る。台石の可能性もある。33 は厚手の剥片を素材とした砥石である。34・35 は礫面を直接砥面とした砥石片である。35 は被熱を受けている。36 は台石状の礫を素材とした置砥石である。表面と側面に砥面がある。37 は台形の

礫素材を敲打によって側面を仕上げた置砥石で、被熱を受けている。節理面によって分離している。38は砥面が2面残る。置砥石の可能性ある。39は被熱を受けた置砥石破片である。40は1面に砥面が残る置砥石である。41は置砥石破片である。2面に砥面が残る。42は表面と左側縁の一部の2面に砥面が残る置砥石破片である。被熱を受けている。

石硯 (43)

43は粘板岩製の石硯である。上端を上下面の2方向からの擦切りによって折断している。海の部分と陸の差がほとんど無く、全体に擦痕が多数見られることから、折断された後に砥石として再利用された可能性が高い。

磨石 (44～65)

表面が円滑に摩耗した石製品を一括しており多様な用途がふくまれていると考えられる。44は凝灰岩製の円礫を用いた磨石である。表面に軽い磨痕と被熱痕跡が観察される。断面形は楕円形で旧石器・縄文時代から出土する磨石の典型的な形態である。59は被熱を受けている。45から65は平面形は円形から楕円形で多様であるが断面形が扁平で長軸が115～21mmまでの比較的小形の円礫を用いた一群である。石材はチャート(45・63)、花崗岩(46・47)、凝灰岩(48・49・52・55～59・62・64)、斑巖岩(50・51)、硬砂岩(53)、安山岩(54)など阿賀野川流域に産する石材が用いられている。上越市山屋敷1遺跡の縄文時代中期の石器の中に、径50mm前後で厚さ8～10mm前後の扁平な資料が多数見つかり「円盤形砥石」とした(澤田・立木2003)、それに類似した資料である。山屋敷1遺跡例では周縁を刃部として使用されており「砥石」としての機能が窺えたが、細池寺道上遺跡の例では表裏面の磨痕が僅かに観察され、側面には顕著な研磨痕が観察されないが一部認められる。何かを擦ったものと考えられる。この差違は使用の頻度と石材の違いすなわち石材の硬度との関係もあり一概に言えないが、時代は異なるが同類の石製品の可能性がある。中世を主体とした遺跡の報告書等で目にするのが少ないので、出土していても掲載されない場合が多いのかもしれない。今後注目すべき資料である。^{注1)}

また、44のような従来から磨石と分類されるものを磨石A類とした場合、後者は磨石B類として今後記載する。

磨石B類の細分類は円形なもの(45・46・48・54・63・64)と楕円形なもの(47・49～53・55～62・65)に分けられる。長軸の大小と扁平度によっての細分類も可能であるが今回は行っていない。

敲石 (66～79)

斑巖岩(66)、凝灰岩(67・70・75・76・78)、花崗岩(68・72～74・79)、硬砂岩(69・71・77)などが石材として利用されている。全て表皮が残る円形あるいは楕円形礫を用いている。68は逆三角形、69・70は棒状楕円形の平面形で端部に敲打痕が残る。71は端部に敲打による破損が見られる資料である。72は端部に敲痕、右側縁に使用による割れが認められる。被熱を受けている。73は棒状楕円形の素材で端部に敲打による欠損がある。74は端部に敲打痕がある。75は端部に剥離状の敲打痕を残す。76は端部に敲打による割れが見られる。77は敲打痕が残る敲石破片である。78・79は端部に敲打痕跡が残る資料である。

台石 (80～88)

80は表面に被熱痕跡が残る凝灰岩製の台石である。81は硬砂岩製の磨石である。表・裏面に弱い磨面が残る。82～85は花崗岩製の台石である。84は大形の台石で荒い成形時の敲打痕が残る。86・87は凝灰岩製の台石である。同一個体である。表・裏面に磨面が残る。88は被熱を受けた大形の硬砂岩製の台石である。表面は顕著な磨面が残る。裏面と左側縁は剥離あるいは敲打による成形が行われている。

軽石製石製品 (89～91)

89は大形の軽石製石製品である。端部が剥離されている。素材として持ち込まれた可能性がある。90は棒状の軽石製石製品である。91は中形の軽石製石製品である。

不定形石器 (92・95～97)

92は石英製の不定形石器である。表皮を持つ剥片を素材とし、右側縁に調整痕が残る。95・96は粘板岩を石材とし、節理面において接合(97)する不定形石器である。95は板状の素材の表面左側縁および裏面左側縁

に平坦剥離が一部連続し刃部としている。96は表面右側縁に階段状の剥離を行い刃部としている。3点について、縄文時代の不定形石器認定の概念で説明したが、特異な石製品である。

剥片 (93)

礫面を持つ石英製の剥片である。火打石等の破片の可能性はある。

石核 (94)

凝灰岩製の石核である。台形の礫を不定形に剥離しており、縄文時代の石核と同様に「目的的な剥片」を剥離する石核と認定した。被熱を受けている。

3) 3区出土石製品

砥石 (98)

98はチャート製の砥石である。硬質で円滑な表面の自然礫を素材のまま利用し、表裏面砥面としている。

磨石 + 敲石 (99)

99は緑色凝灰岩製で平面形が楕円形である。上下端に敲痕が残る。表面に磨面がある。

敲石 (100～102)

100～102は凝灰岩製の敲石である。100は棒状の素材を分割し端部に敲痕を残す。101・102は端部に敲きによる剥離状の痕跡を残す。

軽石製石製品 (103)

103は円形の軽石製石製品である。

石臼 (104)

輝石安山岩製の石臼下臼である。斜行した白目が残る。被熱していることから臼としての機能停止後及び分割され、炉石等に利用されたものと考えられる。

4) 4区出土石製品

砥石 (105)

凝灰岩製の砥石である。4面の不正形の砥面を持つ。

軽石製石製品 (106・107)

106・107は楕円形の軽石製石製品である。

D 木製品 (図版90～95、写真図版84～89)

2区 Pit690から出土した柱根1点を除くすべてが2区井戸からの出土で総点数は196点である。内訳は柱根1点、井戸側部材26点、曲物11点、円形板2点、板状木製品36点、箸状木製品58点、燃えさし17点、不明・自然木45点である。そのうち遺存状態が比較的良好なものについて66点を図化した。遺構一括資料が多いことから、遺構別に記載を行う。詳細な計測値は別表5、出土点数は別表18に示した。

2区 SE14 (1・2)

1は板状木製品である。四辺とも破損した面で本来の形はとどめていない。2は箸状木製品と思われる。

2区 SE328 (3～5)

3・4は曲物の破片である。3は綴じ皮部分で返し縫い部分が見られることから上縁あるいは下縁にあたる。綴じ皮の幅や内面ケビキの間隔から井戸側に使用する大型の曲物ではなく柄杓などの小型の曲物であろう。4も小型の曲物である。5は円形板である。直径22.4cmを測る。側面に木釘穴が1か所あることから曲物の底板であろう。井戸最下層である6層からの出土であるため井戸廃棄の際に井戸に蓋をするという役割を果たしたのかもしれない。

2区 SE612 (6～39)

6～39は箸状木製品である。6・7はほぼ完形に近く長さ24cm程である。最下層である5層からは本遺跡

出土の箸状木製品の9割近くが出土している。

2区 SE800 (40～66)

41～44・54～60は井戸側部材である。40は横棧で41～44を三枚組接によって組み合わせた状態の図である。41・42は凹状、43・44は凸状に両端が加工されている。41は南西辺にあたる。「下」と「一」の墨書に加え、柄穴の位置を決めるための墨引きが残る。42は北東辺にあたる。「下」の墨書は赤外線撮影でも確認することはできなかったが、「三」の墨書と柄穴の位置を決めるための墨引きが残る。また、43との結合部にはアタリ痕が残る。43は南東辺にあたる。「下」と「二」の墨書が確認できる。両端には柄を削り出す。44は北西辺にあたる。「下」と「四」の墨書が確認できる。両端には柄を削り出す。43・44は樹種同定の結果、スギであることが判明した(第VI章第3節参照)。42以外には組み合わせられた状態の側面中央に「下」と順序を示す漢数字が墨書されている。なお、墨書については現場作業中に確認した当初は鮮明に読み取れたが、徐々に墨が流出してしまい不明瞭になってしまったものがある。「下」は組み合わせた状態を正位としていることから井戸内での天地を記したものであろう。これに対し「一」・「二」・「三」・「四」は「下」とは傾きが90°異なり、組み合わせた状態では正位にならないことから「下」よりも前に墨書された可能性が高い。さらに「一」と「三」、「二」と「四」は同じ向きで読めることから墨書された時点では向きを揃えて置いたか、あるいは「一」と「三」、「二」と「四」が同一材であったことが考えられる。54～56も横棧である。54・55は井戸底に刺さった状態で出土しているが、前述の41～44のように柄や柄穴を有することから横棧と判断した。54は腐食して原形をとどめていないが両端に柄を削り出している。55・56は柄穴を有する横棧で55には柄穴の位置を記した墨引きが残る。57～60は隅柱である。57は東隅柱、58は西隅柱で上部は遺存していない。59は東隅柱で42・43結合部を下から支える位置にあり、60は西隅柱で41・44結合部を下から支える位置に配されるが、いずれも柄によって固定されるものではない。ともに樹皮を剥ぎミカン割されている。45は曲物の破片である。内面ケビキの間隔が3・4よりも広いことから、これよりも大型の曲物と思われる。46・47は板状木製品である。46は四辺とも破面で、47は上下を欠損する。48～53は箸状木製品で完形に近いものはない。61～66は井戸側部材である。41～44周辺で出土したものを井戸側部材とした。61は1:2の割合で切断されている。62は板状、63はL字状に加工されている。64・65は出土位置から横棧の可能性がある。66は腐食が著しい。

2区 Pit690 (67)

67は柱根でPit底面から出土している。

注

- 1) 新潟市秋葉区内野遺跡(13～15世紀)[立木・高野2002]、村上市古渡路遺跡の中世集落(13～15世紀)[土橋ら2011]などから出土し、報告されている。

第VI章 自然科学分析

第1節 植物珪酸体(プラント・オパール)分析

A はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内にガラスの主成分である珪酸(SiO_2)が蓄積したものであり、植物が枯れたあとも微化石(プラント・オパール)となって土壤中に半永久的に残っている。プラント・オパール分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり、イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査が可能である(杉山2000)。

B 試料

分析試料は、1区の基本層序A、SD290覆土、SD339覆土から採取された計5点である。試料採取層位を分析結果図に示す。

C 分析法

プラント・オパール分析は、ガラスビーズ法(藤原1976)を用いて、次の手順で行った。

- 1) 試料を105℃で24時間乾燥(絶乾)
- 2) 試料約1gに対し直径約40 μm のガラスビーズを約0.02g添加(電子分析天秤により0.1mgの精度で秤量)
- 3) 電気炉灰化法(550℃・6時間)による脱有機物処理
- 4) 超音波水中照射(300W・42kHz・10分間)による分散
- 5) 沈底法による20 μm 以下の微粒子除去
- 6) 封入剤(オイキット)中に分散してプレパラート作成
- 7) 検鏡・計数

同定は、400倍の偏光顕微鏡下で、おもにイネ科植物の機動細胞に由来するプラント・オパールを対象として行った。計数は、ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。試料1gあたりのガラスビーズ個数に、計数されたプラント・オパールとガラスビーズ個数の比率をかけて、試料1g中のプラント・オパール個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重と各植物の換算係数(機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重、単位:10⁻⁶g)をかけて、単位面積で層厚1cmあたりの植物体生産量を算出した。これにより、各植物の繁茂状況や植物間の占有割合などを具体的にとらえることができる(杉山2000)。

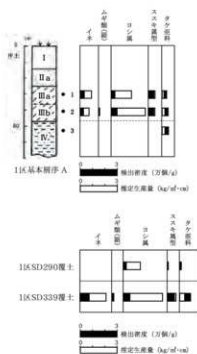
D 分析結果

水田跡(稲作跡)の検討が主目的であることから、同定および定量はイネ、ムギ類(穎の表皮細胞)、ヒエ属型、ヨシ属、ススキ属型、タケ亜科の主要な6分類群に限定した。これらの分類群について定量を行い、その結果を第3表および第10図に示した。写真図版に主要な分類群の顕微鏡写真を示す。

第3表 細池寺道上遺跡におけるプラント・オパール分析結果

分類群	地点・試料 学名	1区基本層序A			1区SD290	1区SD339
		1(Ⅱa層)	2(Ⅱb層)	3(Ⅱ層)	1	1
イネ	<i>Oryza sativa</i>	32	25			73
ムギ類(穎の表皮細胞)	<i>Hordeum-Triticum</i>		8			16
ヨシ属	<i>Phragmites</i>	26	44		22	51
ススキ属型	<i>Miscanthus</i> type	45	44		7	59
タケ亜科	Bambusoideae	38	50	53	15	88

推定生産量(単位: kg/m ² ・cm): 試料の仮比重を1.0と仮定して算出						
イネ	<i>Oryza sativa</i>	0.94	0.73		2.16	
ヨシ属	<i>Phragmites</i>	1.61	2.75	1.42	3.24	
ススキ属型	<i>Miscanthus</i> type	0.55	0.54	0.09	0.73	
タケ亜科	Bambusoideae	0.18	0.24	0.25	0.07	0.42



第10図 細池寺道上遺跡におけるプラント・オパール分析結果

b 1区SD290覆土

溝状遺構の覆土について分析を行った。その結果、イネは検出されなかった。

c 1区SD339覆土

溝状遺構の覆土について分析を行った。その結果、イネが7,300個/gと高い密度で検出された。したがって、同層序では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

2) ムギ類について

1区基本層序Aの試料2と1区SD339覆土では、ムギ類(穎の表皮細胞)が検出された。密度は800個/gおよび1,600個/gと比較的低い値であるが、穎(初穀)が栽培地に残される確率は低いことから、少量が検出された場合でもかなり過大に評価する必要がある。したがって、これらの層序の時期に調査地点もしくはその周辺でムギ類が栽培されていた可能性が考えられる。

E 考 察

1) 水田跡の検討

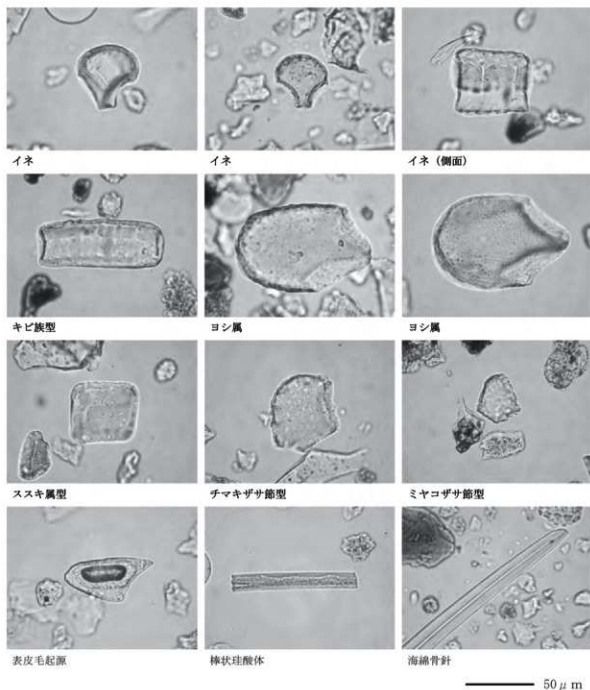
水田跡(稲作跡)の検証や探査を行う場合、一般にイネのプラント・オパールが試料1gあたり5,000個以上と高い密度で検出された場合に、そこで稲作が行われていた可能性が高いと判断している(杉山2000)。ただし、密度が3,000個/g程度でも水田遺構が検出される事例があることから、ここでは判断の基準を3,000個/gとして検討を行った。

a 1区の基本層序A

試料1~試料3の層序について分析を行った。その結果、試料1と試料2からイネが検出された。このうち、試料1では密度が3,200個/gと比較的高い値である。したがって、同層序では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。試料2では密度が2,500個/gと比較的低い値である。イネの密度が低い原因としては、稲作が行われていた期間が短かったこと、土層の堆積速度が速かったこと、採取地点が畦畔など耕作面以外であったこと、および上層や他所からの混入などが考えられる。

F まとめ

プラント・オパール分析の結果、1区基本層序Aの試料1および1区SD339 覆土では、イネが多量に検出され、それぞれ稲作が行われていた可能性が高いと判断された。また、1区基本層序Aの試料2の層序でも、稲作が行われていた可能性が認められた。さらに、1区基本層序Aの試料2の層序および1区SD339 覆土では、ムギ類が栽培されていた可能性も認められた。



第11図 植物珪酸体（プラント・オパール）の顕微鏡写真

第2節 花粉分析

A はじめに

花粉分析は、一般に低湿地の堆積物を対象とした比較的広域な植生・環境の復原に應用されており、遺跡調査においては遺構内の堆積物などを対象とした局地的な植生の推定も試みられている。花粉などの植物遺体は、水成堆積物では保存状況が良好であるが、乾燥的な環境下の堆積物では分解されて残存していない場合もある。

B 試料

分析試料は、1区基本層序Aから採取された3点および2区SE14(6層)から採取された1点の計4点である。試料採取層位を分析結果図に示す。

C 方法

花粉の分離抽出は、中村(1973)の方法をもとに、以下の手順で行った。

- (1) 試料から1cm³を秤量
- (2) 0.5%リン酸三ナトリウム(12水)溶液を加えて15分間湯煎
- (3) 水洗処理の後、0.5mmの篩で礫などの大きな粒子を取り除き、沈澱法で砂粒を除去
- (4) 25%フッ化水素酸溶液を加えて30分放置
- (5) 水洗処理の後、水酢酸によって脱水し、アセトリス処理(無水酢酸9:濃硫酸1のエドマン氏液を加え1分間湯煎)を施す
- (6) 再び水酢酸を加えて水洗処理
- (7) 沈澱に石炭酸フクシンを加えて染色し、グリセリンゼリーで封入してプレパラート作成
- (8) 検鏡・計数

検鏡は、生物顕微鏡によって300～1000倍で行った。花粉の同定は、島倉(1973)および中村(1980)をアトラスとして、所有の現生標本との対比で行った。結果は同定レベルによって、科、亜科、属、亜属、節および種の階級で分類し、複数の分類群にまたがるものはハイフン(-)で結んで示した。イネ属については、中村(1974・1977)を参考にして、現生標本の表面模様・大きさ・孔・表層断面の特徴と対比して同定しているが、個体変化や類似種もあることからイネ属型とした。

D 結果

1) 分類群

出現した分類群は、樹木花粉16、樹木花粉と草本花粉を含むもの1、草本花粉12、シダ植物胞子2形態の計31である。分析結果を第4表に示し、花粉数が100個以上計数された試料については花粉総数を基数とする花粉ダイアグラムを示した。主要な分類群について顕微鏡写真を示す。以下に出現した分類群を記載する。

[樹木花粉]

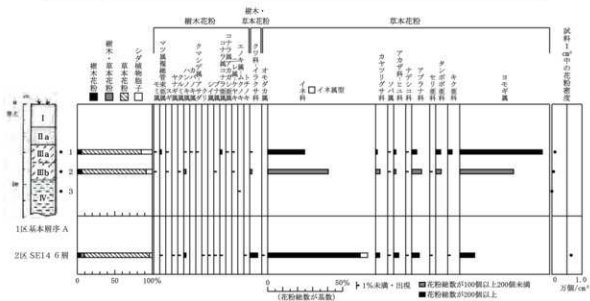
モミ属、マツ属複雑管束亜属、スギ、ヤナギ属、クルミ属、ハンノキ属、カバノキ属、クマシデ属-アサダ、クリ、シイ属、ブナ属、コナラ属コナラ亜属、コナラ属アカガシ亜属、ニレ属-ケヤキ、エノキ属-ムクノキ、トチノキ

[樹木花粉と草本花粉を含むもの]

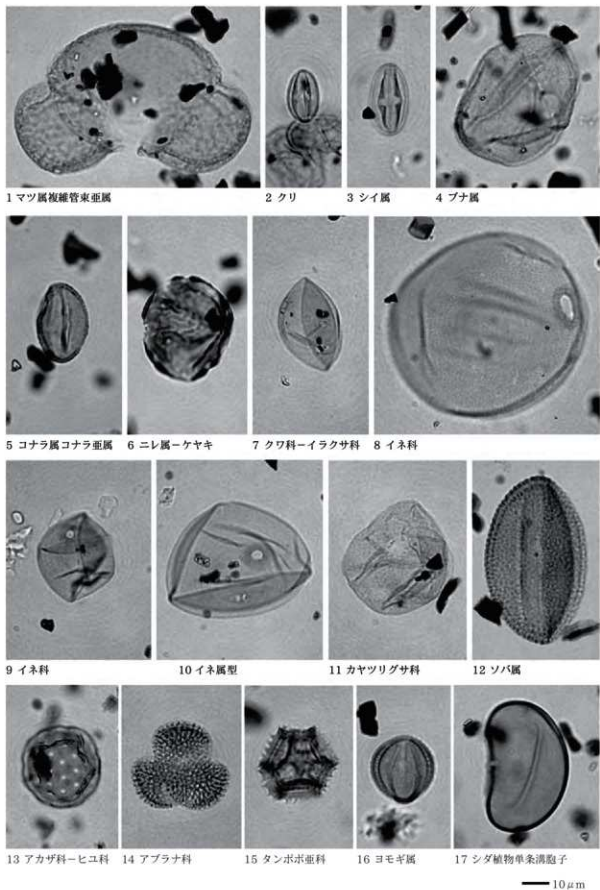
クワ科-イラクサ科

第4表 細池寺遺跡上遺跡における花粉分析結果

学名	分類群	和名	1区基本層序A			2区 SE14
			1 (IIa層)	2 (IIb層)	3 (IV層)	6層
Arboreal pollen						
<i>Abies</i>		榊木花粉				
<i>Pinus</i> subgen. <i>Diploxyloides</i>		モミ属	1	1		
<i>Cryptomeria japonica</i>		マツ属椎葉松亜亜属	3			2
<i>Salix</i>		スギ	1	1		
<i>Salix</i>		ヤナギ属				1
<i>Juglans</i>		クルミ属		1		1
<i>Alnus</i>		ハンノキ属	2	2		6
<i>Betula</i>		カバノキ属	2			
<i>Carpinus-Ostrya japonica</i>		クマシラ属-アサダ	1			
<i>Castanea crenata</i>		クリ				1
<i>Castanopsis</i>		シイ属				1
<i>Fagus</i>		ブナ属		1		1
<i>Quercus</i> subgen. <i>Lepidobalanus</i>		コナラ属コナラ亜属	4			3
<i>Quercus</i> subgen. <i>Cyclobalanopsis</i>		コナラ属アカガシ亜属	1			
<i>Ulmus-Zelkova serrata</i>		ニレ属-ケヤキ	1	1		
<i>Celtis-Aphananthe aspera</i>		エノキ属-ムクノキ			1	
<i>Artocarpus turbinata</i>		トチノキ				2
Arboreal · Nonarboreal pollen						
Moraceae-Urticaceae						
		クワ科-イラクサ科	1	2		22
Nonarboreal pollen						
Sagittaria						
		オモダカ属				1
Gramineae						
		イネ科	64	55		254
<i>Oryza</i> type						
		イネ属型	1			20
Cyperaceae						
		カヤヅグサ科	3	4		11
<i>Fagopyrum</i>						
		ソバ属	2	1		3
Chenopodiaceae-Amaranthaceae						
		アカザ科-ヒユ科	4	2		14
Caryophyllaceae						
		ナデシコ科	2	1		2
Cruciferae						
		アブラナ科	9	9		21
Aptidoideae						
		セリ亜科		1		2
Lactucoideae						
		タンポポ科	9	5		
Asteroideae						
		キク亜科	8			3
<i>Artemisia</i>						
		ヨモギ属	146	49		41
Fern spore						
シダ植物胞子						
Monolate type spore						
		単葉溝胞子	24	6	1	14
Trilate type spore						
		三葉溝胞子	22	6		3
Arboreal pollen						
		樹木花粉	16	7	3	18
Arboreal · Nonarboreal pollen						
		樹木・草本花粉	1	2	0	22
Nonarboreal pollen						
		草本花粉	248	127	0	372
Total pollen						
		花粉総数	265	136	3	412
Pollen frequencies of 1cm ³						
		試料1cm ³ 中の花粉密度	1.0	5.5	0.7	6.4
			×10 ³	×10 ²	×10	×10 ³
Unknown pollen						
		未同定花粉	6	3	0	6
Fern spore						
		シダ植物胞子	46	12	1	17
Helminth eggs						
		寄生虫卵	(-)	(-)	(-)	(-)
Digestion remains						
		明らかな消化残遺	(-)	(-)	(-)	(-)
Charcoal fragments						
		微細炭化物	(+)	(+)		(+)



第12図 細池寺遺跡上遺跡における花粉ダイアグラム



第13図 総池寺道上遺跡の花粉・胞子

[草本花粉]

オモダカ属、イネ科、イネ属型、カヤツリグサ科、ソバ属、アカザ科-ヒユ科、ナデシコ科、アブラナ科、セリ亜科、タンポポ亜科、キク亜科、ヨモギ属

[シダ植物胞子]

単条溝胞子、三条溝胞子

2) 花粉群集の特徴

a 1区基本層序A

下位の試料3では、花粉がほとんど検出されなかった。試料2と試料1では、草本花粉の占める割合が高く、樹木花粉はわずかである。草本花粉では、ヨモギ属とイネ科が優勢で、アブラナ科、タンポポ亜科、カヤツリグサ科、アカザ科-ヒユ科、ソバ属などが伴われる。アブラナ科やソバ属は虫媒花であり、風媒花と比較して現地性が高く花粉の生産量も少ないことから、他の分類群と比較して過大に評価する必要がある。樹木花粉では、ハンノキ属、コナラ属コナラ亜属、マツ属複雑管束亜属などが認められた。

b 2区SE14

6層では、草本花粉の占める割合が高く、樹木花粉はわずかである。草本花粉では、イネ科（イネ属型を含む）が卓越し、ヨモギ属、アブラナ科、アカザ科-ヒユ科、カヤツリグサ科、ソバ属、オモダカ属などが伴われる。樹木花粉では、ハンノキ属、コナラ属コナラ亜属、マツ属複雑管束亜属、トチノキなどが認められた。また、樹木花粉と草本花粉を含むクワ科-イラクサ科も検出された。

E 花粉分析から推定される植生と環境

1) 1区基本層序A

試料3では、花粉がほとんど検出されなかった。花粉が検出されない原因としては、乾燥もしくは乾湿を繰り返す堆積環境下で花粉などの有機質遺体が分解されたこと、土層の堆積速度が速かったこと、および水流や粒径による淘汰・選別を受けたことが考えられる。

試料2と試料1の層準の堆積当時は、イネ科、ヨモギ属をはじめアブラナ科、タンポポ亜科なども生育する草本主体の植生であったと推定される。イネ科には路傍などに生育する人里植物や耕地雑草が多く含まれ、ヨモギ属やタンポポ亜科は乾燥を好む人里植物ないし耕地雑草である。また、栽培植物を含むソバ属、アブラナ科の出現から、これらを栽培する畑の分布が示唆される。アブラナ科には、アブラナ（ナタネ）、ダイコン、ハクサイ、タカナ、カブなど多くの栽培植物が含まれている。周辺に森林は少なく、周辺地域にハンノキ属、ナラ類（コナラ属コナラ亜属）、マツ類（マツ属複雑管束亜属）などが分布していたと考えられる。

2) 2区SE14

中世の井戸の堆積物（6層）では、イネ科（イネ属型を含む）が卓越し、水田雑草のオモダカ属が伴われることから、周辺に水田が分布していたと推定される。また、栽培植物を含むソバ属、アブラナ科の出現から、これらを栽培する畑の分布も示唆される。当時の調査区周辺は、イネ科を主体としてヨモギ属なども生育する草本主体の植生であったと考えられ、周辺地域にハンノキ属などが分布していたと推定される。

第3節 樹種同定

A はじめに

木材は、セルロースを骨格とする木部細胞の集合体であり、解剖学的形質の特徴から樹種の同定が可能である。木材は花粉などの微化石と比較して移動性が小さいことから、比較的近隣の森林植生の推定が可能であり、遺跡から出土したものについては木材の利用状況や流通を探る手がかりとなる。

B 試 料

試料は、中世の井戸である2区 SE800 から採取された2点の井戸側材である。

C 方 法

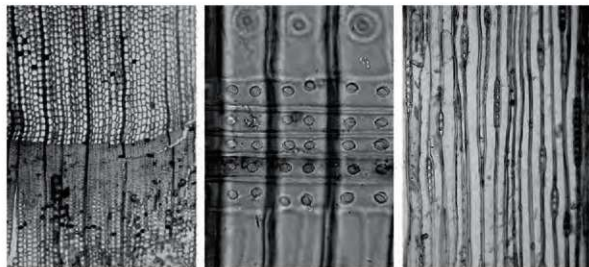
カミソリを用いて新鮮な横断面(木口と同義)、放射断面(柾目)、接線断面(板目)の基本三断面の切片を作製し、生物顕微鏡によって40～1000倍で観察した。同定は、解剖学的形質および現生標本との対比によって行った。

D 結 果

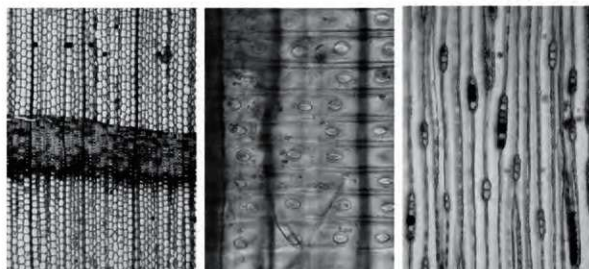
第5表に結果を示し、主要な分類群の顕微鏡写真を示す。以下に同定根拠となった特徴を記す。

第5表 細池寺道上遺跡における樹種同定結果

遺構	図版番号	遺物	結果(学名/和名)
216SE800	図版93-44	井戸側	<i>Cryptomeria japonica</i> D.Don スギ
218SE800	図版93-43	井戸側	<i>Cryptomeria japonica</i> D.Don スギ



横断面 ————— : 0.5mm 放射断面 ————— : 0.05mm 接線断面 ————— : 0.2mm
1. 2区 SE800 図版93-44 井戸側 2区 スギ



横断面 ————— : 0.5mm 放射断面 ————— : 0.05mm 接線断面 ————— : 0.2mm
2. 2区 SE800 図版93-43 井戸側 2区 スギ

第14図 細池寺道上遺跡の木材

スギ *Cryptomeria japonica* D. Don スギ科 第14図

仮道管、樹脂細胞および放射柔細胞から構成される針葉樹材である。横断面：早材から晩材への移行はやや急で、晩材部の幅が比較的広い。樹脂細胞が見られる。放射断面：放射柔細胞の分野状孔は典型的なスギ型で、1分野に2個存在するものがほとんどである。接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型で、10細胞高以下のものが多い。樹脂細胞が存在する。

E 所 見

樹種同定の結果、中世の井戸（SE800）から採取された2点の井戸側材は、いずれもスギと同定された。スギは、本州、四国、九州、屋久島に分布する日本特産の常緑針葉樹で、高さ40m、径2mに達する。材は、軽軟であるが強韌で加工工作が容易であり、大きな材がとれる良材である。

第4節 種実同定

A はじめに

植物の種子や果実は比較的強韌なものが多く、堆積物や遺構内に残存している場合がある。堆積物などから種実を検出し、その種類や構成を調べることで、過去の植生や栽培植物を明らかにすることができる。

B 試 料

試料は、中世の井戸である2区のSE14（6層）、SE328（6層）、SE612（5層）から発掘調査担当者により採取された選別済み試料である。試料については遺構により便宜的に複数のケースに分けて保管されていた。

C 方 法

肉眼および双眼体顕微鏡で観察し、形態的特徴および現生標本との対比によって同定を行った。結果は同定レベルによって科、属、種の階級で示した。

D 結 果

1) 分 類 群

樹木5、草本19の計24分類群が同定された。学名、和名および粒数を第6表に示し、主要な分類群を写真に示す。以下に同定根拠となる形態的特徴を記載する。

[樹木]

ブナ科 *Fagaceae* 堅果（破片）

黒褐色で楕円形を呈し、一端につき部が残る。表面は平滑である。破片であり、科レベルの同定である。

モモ *Prunus persica* Batsch 核（半形）バラ科

黄褐色～黒褐色で楕円形を呈し、側面に縫合線が発達する。表面にはモモ特有の隆起がある。

イスザンショウ *Zanthoxylum schinifolium* S. et Z. 種子 ミカン科

種子は黒褐色で楕円状球形を呈す。側面に長く深いへそがある。表面にやや大きな網目模様がある。

アカメガシワ *Mallotus japonicus* Muell. et Arg. 種子（完形・破片） トウダイグサ科

黒色で球形を呈し、「Y」字状のへそがある。表面にはいぼ状の突起が密に分布する。

ブドウ属 *Vitis* 種子（完形・破片） ブドウ科

茶褐色で卵形を呈し、先端がとがる。腹面には二つの孔があり、背面には先端が楕円形のへそがある。

〔草本〕

ヒルムシロ属 *Potamogeton* 果実(破片) ヒルムシロ科

茶褐色で楕円形を呈し、頂端に花柱が残る。果背に稜がある。

イネ *Oryza sativa* L. 穎・炭化果実(完形・破片) イネ科

穎は茶褐色で扁平楕円形を呈し、下端に枝杖が残る。表面には微細な顆粒状突起がある。炭化が認められるものそうでないものがあつた。果実は炭化しているため黒色である。長楕円形を呈し、胚の部分がくぼむ。表面には数本の筋が走る。

イネ? *Oryza sativa* L.? 炭化果実 イネ科

イネと思われるが、著しく炭化し分解が進んでいるため、イネ?とする。

第6表 細池寺遺跡における種実同定結果

分類群	学名	和名	部位	2KSE14				2KSE328		2KSE612
				6期				6期		5期
				No.1	No.2	No.3	No.4	合計	-1m64cm	合計
Arbor		樹木								
Fagaceae		ブナ科	堅果(破片)						2	
<i>Prunus persica</i> Batsch		モモ	核(半形)						2	
<i>Zanthoxylum armatum</i> S. et Z.		イヌザンショウ	種子						3	
<i>Zanthoxylum armatum</i> S. et Z.		カラスザンショウ	種子			1	1		3	
<i>Mallotus japonicus</i> Muell. et Arg.		アカメガシワ	種子	2	2	4	2	2	8	
		(破片)				2	2		3	
Vitis		ブドウ属	種子						1	
		(破片)		1		1			2	
Herb		草本								
<i>Potamogeton</i>		ヒルムシロ属	果実(破片)						3	
<i>Oryza sativa</i> L.		イネ	穎				1	1	1	
		(破片,炭化)							61	
		果実		1	2	3	31	34	14	
		(破片)							2	
<i>Oryza sativa</i> L.?		イネ?	果実						2	
<i>Hordeum vulgare</i> L.		オオムギ	果実	1	4	23	28	17	6	
<i>Triticum aestivum</i> L.		コムギ	果実	6	9	9	24	4	1	
<i>Hordeum-Triticum</i>		ムギ類	果実(破片)	1	5	11	20	37	3	
Gramineae		イネ科	穎						3	
		(破片)							2	
<i>Carex</i>		スゲ属	果実(破片)		1			1		
<i>Cannabis sativa</i> L.		アサ	種子		1			1	1	
		(破片)			5	3	8	1	1	
<i>Humulus scandens</i> Merr.		カナムグラ	種子(破片)			2	2		84	
Moraceae		クワ科	種子(破片)	4	6	7	17	3	3	
<i>Polygonum</i>		タデ属	果実(炭化)						1	
		(破片)			1		1		3	
<i>Vigna</i>		ササゲ属	子葉					1	1	
		(半形)							2	
		(破片)		3			3		2	
<i>Vigna</i> ?		ササゲ属?	子葉						1	
Leguminosae		マメ科	子葉(破片)					1	1	
<i>Solanum melongena</i> L.		ナス	種子					1	1	
		(破片)							112	
<i>Benicuca hispida</i> Cogn.		トウガン	種子						1	
<i>Trichosanthes multiloba</i> M.		モミジカラスクリ	種子(破片)						1	
<i>Cucumis melo</i> L.		ウリ類	種子					4	4	
		(破片)						2	2	
<i>Lagenaria siceraria</i> Standl.		ヒョウタン類	種子		1		1		2	
		(破片)			2		2		37	
<i>Euthamia Strumarium</i> L.		オナモミ	果実(破片)						4	
Total		合計		9	29	41	91	170	31	
		不明種実	破片			3	3		1	
		不明植物遺体	破片						1	
Unknown		不明	破片		12		12		5	
		不明炭化物片	破片						2	

* 大半には炭化材料、木材片、山崩、炭化物片、石、土塊、長山片、削が含まれている

* イネ果実、オオムギ、コムギ、ムギ類、ササゲ属、マメ科はすべて炭化

オオムギ *Hordeum vulgare* L. 炭化果実(破片) イネ科

炭化しているため黒色で、楕円形を呈す。腹部の端には胚がある。背面には縦に一本の溝がある。側面の形は曲率が大きく、胚と胚乳との接する輪郭線は山形である。

コムギ *Triticum aestivum* L. 炭化果実 イネ科

炭化しているため黒色で、楕円形を呈する。腹部の端には胚がある。背面には縦に一本の溝がある。比較的四角い形を呈し、短い。

ムギ類(オオムギ・コムギ) *Hordeum-Triticum* 炭化果実(破片) イネ科

オオムギもしくはコムギと思われるが、破片であり著しく炭化し分解が進んでいるため、ムギ類とした。

イネ科 Gramineae 類

類は灰褐色～茶褐色で楕円形を呈す。腹部はやや平ら。背面は丸い。表面は滑らかである。

スゲ属 *Carex* 果実(破片) カヤツリグサ科

茶褐色で倒卵形、扁平である。果皮は柔らかい。

アサ *Cannabis sativa* L. 種子(完形・破片) クワ科

茶褐色で広卵形を呈す。一端には円形のへそ部がある。アサは南アジアや中央アジア原産とされる1年草の畑作物である。茎皮の繊維は麻糸になり、種子は油を採ったり食用になる。

カナムグラ *Humulus japonicus* Sieb. et Zucc. 種子(破片) クワ科

黒色で円形を呈し、断面形は両凸レンズ状である。側面には心形を呈するへそがある。

クワ科 Moraceae 種子(破片)

アサ、カナムグラと思われるが、破片で形態が不明のため、科レベルの同定である。

タデ属 *Polygonum* 果実(完形・破片) タデ科

黒褐色で先端がとがる卵形を呈す。表面にはやや光沢があり、断面は三角形である。

ササゲ属 *Vigna* 炭化子葉(完形・半形・破片) マメ科

黒色で楕円形を呈す。へそは縦に細長い。ササゲ属にはリョクトウ、アズキ、ササゲなどの栽培植物が含まれるが、現状の研究では識別は困難である。

マメ科 Leguminosae 炭化子葉(破片) マメ科

黒色で楕円形を呈し、縦に一本の溝状の筋が走る。ここでは破片であり著しく炭化し分解が進んでいるため、科レベルの同定である。

ナス *Solanum melongera* L. 種子(完形・破片) ナス科

黄褐色で扁平楕円形を呈し、一端にくぼんだへそがある。表面には網目模様がある。

トウガン *Benincasa hispida* Cogn. 種子 ウリ科

卵倒形を呈し、扁平。周辺部の縁は平行に一段高くなる。

モミジカラスウリ *Trichosanthes multiloba* M. 種子(破片) ウリ科

淡褐色で扁平楕円形を呈す。中央部がやや膨らみ、周辺はざらつく。

ウリ類 *Cucumis melo* L. 種子(完形・破片) ウリ科

淡褐色～黄褐色で長楕円形を呈し、上端は「ハ」字状にくぼむ。藤下によると小粒種子(雑草メロン型)、中粒種子(マクワウリ・シロウリ型)、大粒種子(モルディカ型)がある。

ヒョウタン類 *Lagenaria siceraria* Standl. 種子(完形・破片) ウリ科

淡褐色で楕円形を呈す。上端にはへそと発芽孔があり、下端は波うつ切形を呈す。表面には縦に2本の低い稜が走る。果皮は、木質化しやや厚みがある。表面はなめらかで裏面は粗い。藤下がヒョウタン仲間とするものには、ヒョウタン・フクベ・カンピョウが含まれ、このうちフクベ・カンピョウは食用になる。

オナモミ *Xanthium strumarium* L. 果実(破片) キク科

黒褐色で長楕円形を呈し、先端は2本の突起が伸びる。表面にかぎ状の突起が全体に分布する。ここで完形のものはない。

2) 種実群集の特徴

a 2区SE14

イネ、オオムギ、コムギ、ムギ類が多く同定され、クワ科、アカメガシワ、アサ、カナムグラ、ヒョウタン類、ブドウ属、スゲ属、ササゲ属も認められた。

b 2区SE328

オオムギが多く同定され、ムギ類、ウリ類、イネ、アカメガシワ、クワ科、アサ、イネ類、イネ科、タデ属、ササゲ属、マメ科、ナスも認められた。

c 2区SE612

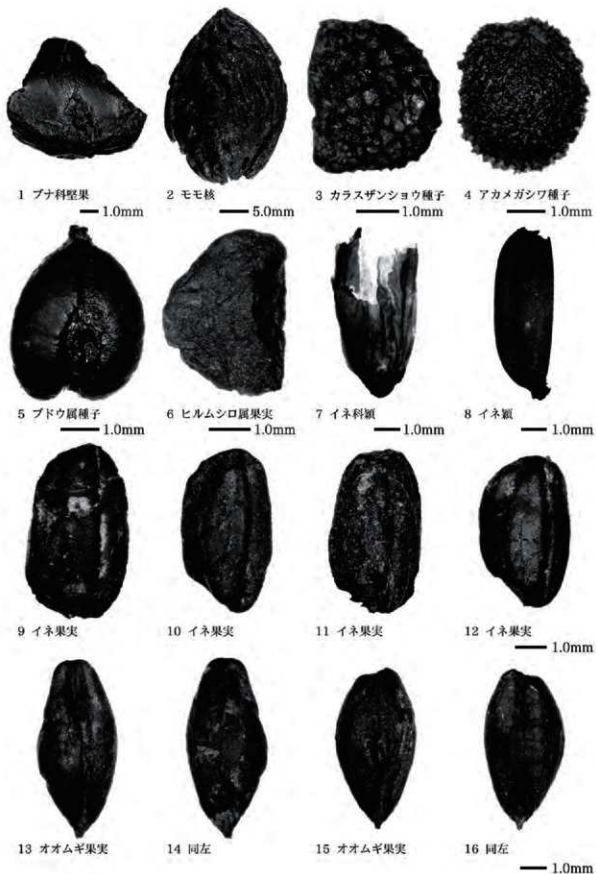
アサ、ナスであり、イネ、ヒョウタン類、ウリ類が多く同定され、ササゲ属、ムギ類、アカメガシワ、オオムギ、オナモミ、イヌザンショウ、ヒルムシロ属、クワ科、ブドウ属、ブナ科、モモ、イネ類、イネ?、コムギ、カナムグラ、ササゲ属?、トウガン、モミジカラスウリも認められた。

E 考 察

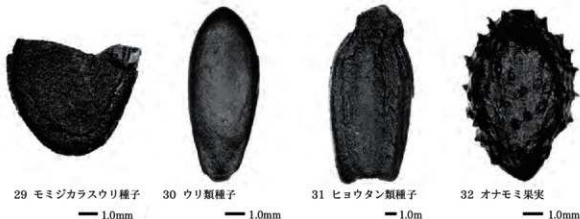
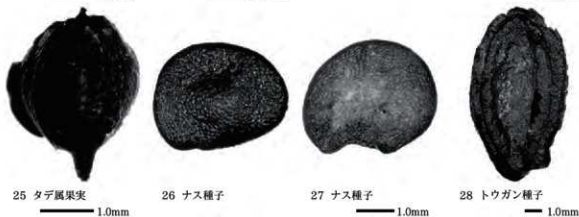
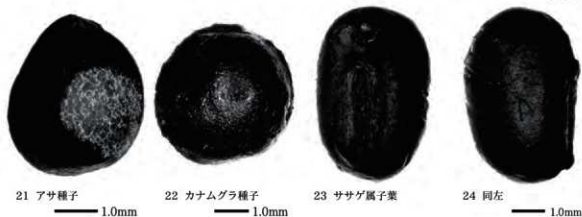
種実同定の結果、中世の井戸(2区SE14、2区SE328、2区SE612)から採取された選別済み試料では、ブナ科、モモ、イヌザンショウ、アカメガシワ、ブドウ属、ヒルムシロ属、イネ、イネ?、オオムギ、コムギ、ムギ類、イネ科、スゲ属、アサ、カナムグラ、クワ科、タデ属、ササゲ属、ササゲ属?、マメ科、ナス、トウガン、モミジカラスウリ、ウリ類、ヒョウタン類、オナモミが同定された。

このうち、モモ、イネ、オオムギ、コムギ、アサ、ササゲ属、ナス、トウガン、ウリ類、ヒョウタン類は栽培植物であり、ブドウ属は食用となる有用植物である。このように、畑作物を中心とした多様な作物がみられるのが特徴的である。

樹木のイヌザンショウ、アカメガシワ、草本のイネ科、スゲ属、カナムグラ、クワ科、マメ科、モミジカラスウリ、オナモミは、いずれも人里植物ないし集落周辺に多い植物である。SE612で認められたヒルムシロ属は、浮葉植物で約1.5m以浅の水深に生育する。



第15図 細池寺遺跡上遺跡の種実1



第16図 縮池寺遺上遺跡の種実2

第七章 総 括

第1節 細池寺道上遺跡の遺構について

A 掘立柱建物の変遷

1区・2区とも多くの柱穴を検出しているが、これらの柱穴を検討した結果、掘立柱建物に復元できたのは1区では8棟、2区では12棟の合計20棟である。柱穴出土遺物は細片のみで時期を決定できるものはない。そのため建物ごとの時期を特定することは不可能である。そこで、切り合い関係と建物の長軸（桁行）方向から相対的な新旧関係の把握を試みる。建物の長軸方向をみると第17図のとおり1区と2区では南北棟で23～41度、東西棟で133～157度の差が生じる。このため1区と2区の掘立柱建物が同一時期であるとは考え難いことから調査区ごとに述べる。

1区では南北棟が2棟、東西棟が6棟復元でき、このうち総柱建物となる3棟はすべて東西棟である。側柱建物の東西棟については梁間1間構造、南北棟については梁間2間構造となる。長軸方向は南北棟でN11～20°E、東西棟でN65～81°Wの範囲におさまるが、東西棟については3群に分けられる。A群としたSB431・SB432はN72・73°Wで、約90度違いで南北棟のSB433が存在する。B群としたSB428・SB429・SB434はN78～81°Wで、約90度違いで南北棟のSB435が存在する。C群としたSB430はN65°Wでこれと組み合わせる南北棟はない。A群とB群では5度、A群とC群では7度の開きがみられる。各群の新旧関係をみていくと、まずA群SB431を構成するPit414の遺構確認面はIV層上面である。次にB群SB429の雨落ち溝SD3の遺構確認面はIII層上面であることからB群はA群より新しい。C群SB430はSE17に切られ、SE17はSD13を切る。SD13はB群SB434に切られるが、C群SB430とB群SB434の新旧関係は不明である。ただし、遺構各説で記述したようにC群SB430はIII層上面を遺構確認面と仮定できることからC群はA群より新しいと推測可能である。よって、建物群の変遷は古い順にA群→B群→C群またはA群→C群→B群を想定している。

建物群と畝状小溝の関係については畝状小溝の遺構確認面がA群と同じIV層上面であることからA群との新旧関係は不明ではあるがB群・C群よりも古いといえる。加えて、畝状小溝は吉岡編年〔吉岡1994〕II期に相当する珠洲焼甕〔11〕が出土したSD289に切られることから12世紀後半以前と考えられる。1区から出土した遺物は非常に少量ではあるが12世紀後半から13世紀前半のものである。C群SB430を切るSE17からは吉岡編年II期に相当する珠洲焼片口鉢〔8〕が出土していることからC群も12世紀後半以前に位置付けが可能である。以上のことから1区建物群の主体となる時期は12世紀後半が下限であろう。

2区では南北棟が4棟、東西棟が8棟復元でき、このうち総柱建物となるのは南北棟1棟、東西棟が2棟である。長軸方向は南北棟でN12～21°W、東西棟でN68～76°Eの範囲におさまり、南北棟ではほとんど見られず分層を躊躇してしまいが、東西棟については大きく2群に分けることが可能である。B群としたSB989・SB998はN75・76°Eで南北棟はSB993が伴う。A群としたSB995・SB996・SB997・SB1000・SB990・SB999はN68～71°Eで南北棟はSB994・SB991・SB992が組み合わせり、A群とB群では4度の開きがみられる。遺跡の変遷を把握するには道路状遺構1との新旧関係が重要となるが、道路状遺構1と切り合い関係にあるものはB群SB989とA群SB990・SBB991・SB994である。このうちB群SB989・A群SB990については道路状遺構1より古いことが切り合い関係から判明している。これら2棟の新旧関係を定める直接的な手掛かりはないが、1区の建物に関しては時期が下ると長軸が東西軸寄りに変化する。仮にこの傾向を2区

建物群にあてはめるとA群→B群の順に構築されたことになる。よって、掘立柱建物群は道路状遺構1に先行することから古い順にA群→B群→道路状遺構1の変遷を仮定できる。

2区出土遺物の主体は珠洲焼の吉岡編年Ⅰ～Ⅱ期とⅣ期にあり、それぞれ12世紀後半～13世紀前半と13世紀末～14世紀中葉に位置付けられる。遺跡はこの2時期を中心に営まれていたものと推察される。掘立柱建物A群は12世紀後半～13世紀前半に、同B群は13世紀末葉～14世紀中葉に営まれ、この後に道路状遺構1が構築された可能性が高い。

B 道路状遺構

13～14世紀の道路状遺構の規模は側溝を含めた最大幅が1.5～8.3mのものが確認されており、中でも5～8m台が多くとなる傾向が指摘されている(本田2008)。2区細池寺道上遺跡でのおよその計測値を古い順に示すと以下ようになる。

- ① SD38-SD60・SD767 側溝含幅 3.24m (路面幅 2.04m)、側溝幅 0.66～0.90m・深 0.21～0.77m
- ② SD57-SD60・SD767 側溝含幅 3.84～4.24m (路面幅 3.00m)、側溝幅 0.60～0.74m・深 0.21～0.44m
- ③ SD78-SD58 側溝含幅 2.80m (路面幅 1.40～1.90m)、側溝幅 0.88～1.25m・深 0.67m
- ④ SD79-SD176・SD768 側溝含幅 2.44～3.20m (路面幅 1.20～1.68m)、側溝幅 0.63～1.34m・深 0.38～0.63m

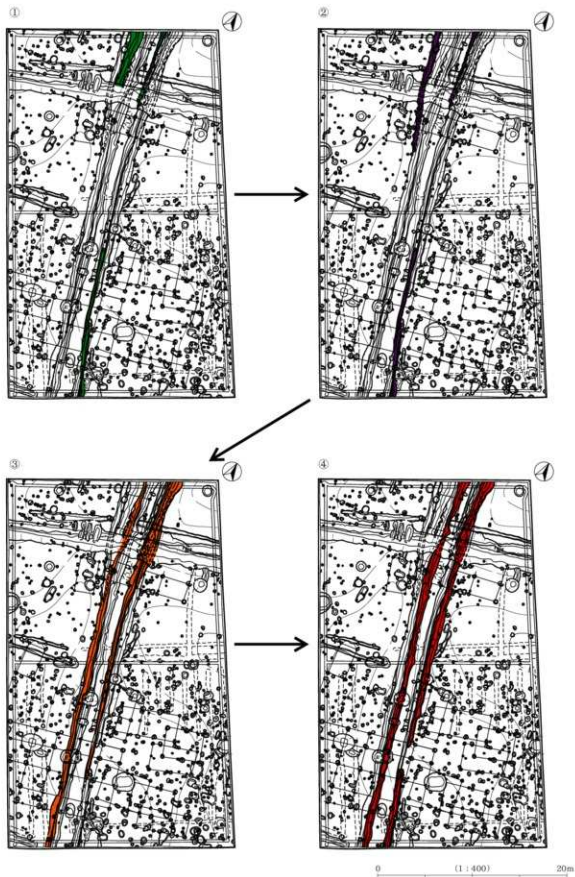
側溝の規模に大きな変化は見られないが、路面幅は一時的に拡大するものの連続的に側溝が掘削されてからは縮小傾向となる。

出土遺物から道路状遺構1の存続時期を推測する。西側側溝はSD38→SD57→SD78→SD79の順に、東側側溝はSD60・SD767→SD58→SD176・SD768の順に掘削されていることから少なくとも4度の掘り直しがなされている。これらの平行する溝群からは吉岡編年Ⅰ3～Ⅳ1期に相当する珠洲焼が出土し、時間幅にしておよそ130年である。切り合い関係の古い順にみるとSD38ではⅣ1期の珠洲焼片口鉢(40)、SD78ではⅠ期の珠洲焼壺(48)、SD79では13世紀代の中世土師器皿、SD767ではⅡ～Ⅲ期の珠洲焼甕(51)、SD58ではⅡ期の珠洲焼片口鉢(44・45)、SD768ではⅠ3期の珠洲焼片口鉢(52)が出土している。切り合い関係で最も古いSD38がⅣ1期に位置付けられることから道路状遺構1の上限は13世紀末～14世紀初めと考えられる。ただし、この上限を採用すると掘立柱建物B群と道とが重複し矛盾が生じてしまう。SD79とSB990を構成するPi893の切り合い関係(66Eセクション)により道路状遺構1はSB990より新しいことが判明している。B群建物の下限を14世紀中葉に想定しているため道路状遺構1はこれ以降の14世紀末葉に構築されたと推察できる。道路状遺構1は細池寺道上遺跡の集落廃絶後に道として機能し、他集落どうしを繋いでいた可能性があることは前に記載したとおりである。2区に西隣する金屋集落と大安寺集落を結ぶ現道路は蛇行しながらしばしば流路を変えてきた阿賀野川の自然堤防上に位置する。この現道路と並ぶようにして道路状遺構1は南北に延びていることから自然堤防上に形成された集落を結ぶ道として管理されていたのではなかろうか。

第2節 細池寺道上遺跡の土器・陶磁器について

出土した土器・陶磁器の総点数に対して鎌倉・室町時代の土器・陶磁器は9割以上を占めており、平安時代の土師器・須恵器はすべて小破片のみであることから遺跡の所属時代は鎌倉・室町時代と認識している。

中世の土器・陶磁器としては青磁、白磁、瀬戸・美濃焼、珠洲焼、珠洲系陶器、北越空産陶器、越前焼、常滑焼、中世土師器が出土している。種別ごとに年代をみていくと青磁は12世紀中頃～後半(9・32・58・59)、13世紀前後～前半(60)である。白磁は11世紀後半～12世紀前半(18・41)のものだが12世紀後半まで一定量



第19図 2区道路伏道構1の変遷

見られる。13世紀中頃～14世紀初頭前後(72)であるが13世紀後半～14世紀前半に増加する。瀬戸・美濃焼は13世紀代(62・63)、14世紀代(69)である。珠洲焼は12世紀後半～15世紀前半である。主体となる時期は1区では12世紀後半～13世紀前半、2区では12世紀後半～13世紀前半と13世紀末葉～14世紀中葉、1区と隣接する3区では13世紀末葉～14世紀中葉、4区は時期決定の可能な遺物がなため不明である。このように2時期に画期を設定できる。

まず、1番目の画期である12世紀後半～13世紀前半は珠洲焼の吉岡編年I～II期に相当する。珠洲焼の中でも片口鉢が多く出土し、1期に属するものは2区SE328(25・26)・SE111(29)・SD768(52)がある。いずれも胴部は丸みをもって立ち上げて口縁部は内湾ぎみにおさめ、端部は角が生じるほどしっかりと面取りし、わずかに外傾するという1期の特徴をよく表す資料である。SE111では中世土師器と珠洲系陶器が共存しており出土層位からこれらも珠洲焼と同時期に位置付けられるだろう。II期の片口鉢は1区SE17(8)、2区SE110(14)・SD42(35)・SD58(44・45)・Pit107(54)があげられる。口縁部は1期と同様に内湾ぎみになるが、端部はやや丸みを帯びる。鉾目が施される個体が増加する時期である。8の出土した2層の上層である1層からは中世土師器皿(7)が出土している。珠洲焼以外では青磁と白磁がわずかに伴う。

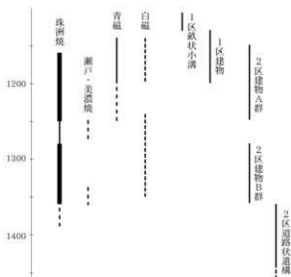
2番目の画期とした13世紀末葉～14世紀中葉は珠洲焼の吉岡編年IV1・IV2期に相当する。この時期の珠洲焼は2区SE14(13)・SD42(36・37)・SD38(40)があげられる。胴部は直線の開き、口縁端部は厚みを増してさらに外端部を擴むようにおさめるのが特徴である。珠洲焼以外では瀬戸・美濃焼と白磁がわずかに伴う。

有力者の存在を窺わせる威信財となる高級陶磁器、職人の存在を示唆できる遺物が出土していないことから一般農耕民で構成された集落であろう。また、天目茶碗などの喫茶に関する茶道具類も見られないことから喫茶習慣が一般集落に浸透し始める15世紀(水澤2005)までは存続していなかったものと推測している。中世の陶磁器に占める珠洲焼片口鉢の割合は高く破片点数比で45%を占めている。一方で食膳具での椀皿類は23%である。土器・陶磁器の椀皿類が低率であることは遺存しにくい木製品や漆器の食膳具が主体を占め、土器・陶磁器はこれらを補充するという状況を反映しているものと考えられる。

第3節 細池寺道上遺跡の軽石製石製品について

細池寺道上遺跡出土の石製品のうち、特徴的な遺物として28点出土した軽石製石製品がある。軽石製石製品は軽石製の石製品と言う意味あいでは用いている。軽石製石製品は新潟市域の調査では、経験的に阿賀野川流域の遺跡に多いとの認識があった。その中で、今回の細池寺道上遺跡の調査で軽石製石製品はパラエティに富んでいる。その位置付けを行うために、以下に、軽石の性質を記し、石製品の形態と分布の概要、通時的な特徴を示す。

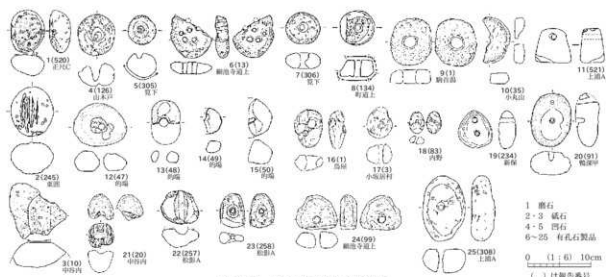
軽石製石製品の軽石は火山砕屑物の一種である。多孔質で見かけ密度が小さい。白色から褐色を呈する。輝石・角閃石・斜長石・石英・黒雲母などの鉱物結晶が含まれる。多孔質の性質のため、水に浮く場合があり、別名浮石とも呼



第20図 遺跡の変遷



第21図 沼沢カルデラ・只野川・阿賀野川の位置
(稲葉1976)を一部改変)



第 22 図 軽石製石製品の利用形態



第 23 図 軽石製石製品円径の分類

ばれる。安山岩質、デイサイト質、流紋岩質など珪長質のマグマの発泡によって生じる¹²⁾。

細池寺道上遺跡を含む越後平野周辺には、軽石が噴出するような火山は確認できない。軽石の噴出源については、細池寺道上遺跡からの距離を考えると細池寺道上遺跡の南東 53km にある、阿賀川支流只見川流域にある沼沢火山 (カルデラ) [山元 2003] (第 21 図) の可能性が高いと考えている。沼沢火山の噴出物層序では、約 11 万年前の尻吹峠火砕堆積物及び芝原降下堆積物、約 7 万年前の木沢沼溶岩、約 4.5 万年前の水沼火砕堆積物と約 4 万年前の惣山溶岩、約 2 万年前の沼御前火砕堆積物及び前山溶岩、紀元前 3,400 年頃¹²⁾ の沼沢湖火砕堆積物が確認されている [山元 2003]。沼沢火山で最後に起きた沼沢湖火砕堆積物を堆積させた火山活動は、噴煙は南側に偏って流れ新潟県側に直接的に影響を与えていないが、阿賀川を経て、阿賀野川に土石流として流れ込み現在の津川盆地をせき止め一時的に湖沼化している。その水成堆積層は「沼沢浮石質砂層」[只見川第四紀研究グループ 1966a・b]「鹿瀬軽石質砂層」[稲葉ほか 1976] と呼称され、場所によっては数 m 以上の堆積が確認され、広く盆地内に堆積している。せき止め湖はそれほど時間を置かず決壊し、阿賀野川下流域に堆積物を供給した。沼沢火山を噴出源とする軽石はこの堆積物層に含まれ、福島県西会津町野沢では 25cm の軽石礫を含むが、下流では礫が小さくなるとされる [稲葉ほか 1976]。この軽石礫は、下流域の段丘や現・旧阿賀野川河床に堆積している。下流域にもたらされた軽石はより小形のものが多いと推定される。

次に細池寺道上遺跡周辺の遺跡での様相を確認するために、新潟市域の遺跡を中心に阿賀野川下流域の軽石製石製品の略集成¹³⁾を行い (第 22～24 図、第 7 表)、53 遺跡を確認した。時代的には遺跡の中心時期から判断して縄文時代から江戸時代までの長期間にわたって遺跡で確認出来る。一番古いものは縄文時代前期前半の布目



第24図 阿賀野川下流域の軽石製石製品出土遺跡分布図

※第7表掲載のうち1・6・9・37・39・47・49・53は第24図範囲外

第 7 表 阿賀野川下流域の軽石製石製品出土遺跡

No.	遺跡名	所在地	時代(年代)	発見時期 (年)	軽石製品の出土状況							備考	文献	
					有孔 製品	有孔 製品 (円盤)	有孔 製品 (円筒)	有孔 製品 (円錐)	有孔 製品 (円錐)	有孔 製品 (円錐)	有孔 製品 (円錐)			
1	1号A	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
2	2号B	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
3	3号上層	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2004	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
4	4号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
5	5号A	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
6	6号B	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
7	7号(阿賀野川)	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
8	8号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
9	9号(阿賀野川)	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
10	10号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
11	11号A	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
12	12号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
13	13号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
14	14号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
15	15号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
16	16号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
17	17号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
18	18号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
19	19号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
20	20号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
21	21号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
22	22号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
23	23号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
24	24号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
25	25号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
26	26号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
27	27号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
28	28号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
29	29号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
30	30号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
31	31号A	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
32	32号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
33	33号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
34	34号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
35	35号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
36	36号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
37	37号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
38	38号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
39	39号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
40	40号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
41	41号A	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
42	42号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
43	43号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
44	44号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
45	45号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
46	46号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
47	47号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
48	48号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
49	49号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
50	50号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
51	51号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
52	52号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)
53	53号1	新潟県北蒲原郡	縄文前期前期	2002	1								1) 軽石製砥石	小澤 1994(1)

1) 阿賀野川下流域(1)～(10)号、(11)号～(15)号、(16)号、(17)号、(18)号、(19)号、(20)号、(21)号、(22)号、(23)号、(24)号、(25)号、(26)号、(27)号、(28)号、(29)号、(30)号、(31)号、(32)号、(33)号、(34)号、(35)号、(36)号、(37)号、(38)号、(39)号、(40)号、(41)号、(42)号、(43)号、(44)号、(45)号、(46)号、(47)号、(48)号、(49)号、(50)号、(51)号、(52)号、(53)号

A遺跡がある^(注4)。それ以外縄文時代は晩期の遺跡まで11遺跡で確認できる。弥生時代には2遺跡で確認され、古墳時代は3遺跡、古代34遺跡、中世11遺跡、近世3遺跡で確認されている。調査遺跡数に左右される面があるが、古代・中世で比較的普遍的に用いられているといえよう。いずれにしても、縄文時代にはじまり近世まで継続して利用される息の長い遺物であると言える。

軽石製石製品の利用形態^(注5)として磨石(第22図1)・砥石(第22図2・3)・凹石(第22図4・5)として使われたものが確認される(第22図)。特徴的な遺物として有孔石製品(第22図6～25)がある。縄文時代から中世の遺跡までに使われている通時的な石製品である。素材に対して多孔のもの(第22図6)、円盤状の素材の中心に孔が穿たれたもの(第22図7～10)、楕円形の素材の中心に孔が穿たれたもの(第22図12～18・21～25)^(注6)、素材の片側に偏って孔が穿たれているもの(第22図11・19・20)がある。そのうち、多孔のものは腹の下敷として(第22図2)、円盤状のものも紡錘車として利用された(第22図7～9)と考えられる。平面形が台形のものも楕円形として(第22図11)の利用も考えられる。楕円形素材の中心や、片側に偏って孔が穿たれたものも多くは水に浮くものは浮子として、沈むものは錘としての利用(第22図12～25)が想定される。また、軽石製石製品の大多数を占めるのは剝離や穿孔などの大幅な加工が無い円盤である。縄文時代から近世に至る遺跡に出土し、無加工の状態で使用された石製品である。形状は円から楕円形で法量により4類に分かれる(第23図)。時代を跨いだ全体の傾向として小形品(～5cm)が35%、中形品(5.1～10.0cm)が49%、大形品(10.1～

15.0cm)が8%、超大形品(15.1cm以上)が8%であった。中形品の比率が多い。円礫は擦磨痕が観察され、擦る・砥ぐなどの要素に加え、超大形品は細池寺道上遺跡例の第23図4のように剥片剥離され使用した例もある。あたかも弥生時代以前の剥片石器の石核のように使用され、剥離された剥片様のもは利器として利用されたり、さらに磨石と台石を用いて砕かれ研磨材あるいは土器の混和材として使用されたのかも知れない。

分布としては地域的な発掘調査の多寡に関係する面があるが、阿賀野川流域に比較的遺跡が多い。第7表に参考までに現在の阿賀野川の流路との直近の距離を示したが、円礫のうち超大形品は、古代の官的要素の高い遺跡(坂井1996)である的場遺跡を除き阿賀野川と3km圏内に出土している。当時からの阿賀野川流路変更(大矢・加藤1984)を考慮しても阿賀野川との結びつきが強く考えられる。傍証ながら、古代遺跡が多数存在する信濃川流域の加茂市内の遺跡では、馬越遺跡(伊藤2005)に2点を確認したのみであり信濃川水系近隣には採取地がなかった可能性が高い。

以上のように、軽石製石製品は縄文時代から江戸時代まで、さらに現代まで長い間使い続けられた石製品である。実際はどこで採集され、遺跡に持ち込まれたものであろうか。昭和30年(1955)頃まで江南区・秋葉区の阿賀野川河川敷では軽石の採取が比較的容易であった^{7・8)}。現代の河川工事が大幅に行われた阿賀野川では軽石の採取は困難であるが⁹⁾、縄文時代以降の近代まで阿賀野川下流域での採取は可能であったと考えられる。このことから、今回集成した阿賀野川下流域の遺跡では直接・間接の区別は不明であるが軽石製石製品の大部分は沼沢火山起源のものである可能性が高い。阿賀野川に近い中世の遺跡である細池寺道上遺跡では直接的な採取が行われていたと考えられる。今後、理化学分析などの手法を用いての検証が必要であろう。また、軽石の流通も時代・時期によって異なることが想像され¹⁰⁾、広域での比較を通じた検討も今後の課題である。

第4節 細池寺道上遺跡の様相について

今回の細池寺道上遺跡発掘調査の出土遺物や切り合い関係をもとに検討してきた結果をまとめると、1区畝状小溝(12世紀前半)→1区建物群(12世紀後半)、2区建物A群(12世紀後半)→2区建物B群(13世紀末葉～14世紀中葉)→2区道路状遺構(14世紀末葉～15世紀前半)の順に変遷してきたことがいえる。2区については13世紀前半～後半にかけて断絶した時期があるが12世紀前半から15世紀前半までの長期にわたり利用されていた。

1区ではムギ類やイネを栽培する耕作地として利用されていた土地を12世紀後半には居住地に転用している。1区の遺構で特徴的なものに7基検出された井戸がある。各井戸には時期差があるが地形に対して東西に一直線に並行している。当時の地下水脈に沿って設置されたのだろう。集落を営むにあたって、井戸水を継続的に必要としていたといえる。

1区の花粉分析結果から復元された中世の包含層であるⅢa・Ⅲb層の堆積した当時の環境は、乾燥を好むイネ科・ヨモギ属をはじめアブラナ科・タンポポ科などの草本主体の人里植物や耕地雑草が生育する風景である。また、栽培植物を含むソバ属・アブラナ科が検出されていることから近隣にこれらを栽培する畑の存在が想定できる。樹木ではハンノキ属・ナラ類(コナラ属コナラ亜属)・マツ類(マツ属液窒素亜属)などの分布が考えられる。

2区の遺構では前述した道路状遺構が重要である。少なくとも4回の補修工事がおこなわれており、130年間継続的に維持管理された幹線道路として利用されていたと考えられる。また、私道的な道路ではなく公道的な性格をもった道路の可能性もある。

2区では基本順序の花粉分析を実施していないが、1区とはさほど変わらない植生環境を呈していたであろう。2区で行った井戸覆土内から出土した種実同定を行った結果、モモ・イネ・オオムギ・コムギ・アサ・ササガ族・ナス・トウガン・ウリ類・ヒョウタン類など多様な栽培植物が確認された。集落周辺の畑・田などで多種類の栽培植物が栽培されていたことが窺える。また、井戸中に捨てられた食物残渣の一部という見方から、中世の多様

な食生活の一部が明らかとなったとも言える。

最後に中世の細池寺道上遺跡周辺の社会情勢に少し触れると、細池寺道上遺跡の東約 6km 地点、阿賀野川の対岸には有力者である越後城氏の居館跡と推測されている大坪遺跡がある〔荒川¹⁰⁾2006〕。大坪遺跡は阿賀野川の対岸の白河荘に立地し 11 世紀後半～12 世紀を主体とする。12 世紀には細池寺道上遺跡が営まれ始めており大坪遺跡と存続時期が重なっている。細池寺道上遺跡周辺は 11 世紀後半に各地で成立しはじめた公領のうちのひとつである金津保（秋葉区全域から南蒲原郡田上町周辺まで）の領地の一部と考えられる〔第Ⅱ章第 3 節参照〕〔中野 1976〕。この金津保との関連を想定される新津四郎は建仁元年（1201）に城四郎長茂と共に吉野で殺される。新津四郎は城氏の従者と考えられていることから金津保は城氏の勢力下にあった。これ以後、金津保は在地領主と国衛勢力の競合地となった。

14 世紀末葉からの 2 区道路状遺構（道）の造成に関しては当地の支配層が関与したものと考えられるが具体的な氏名等は不明と言わざるを得ない。今後の調査により、細池寺道上遺跡周辺の阿賀野川左岸の中世集落の構成と道路網が明らかになることを期待したい。

注

- 注 1) 『新版 地学辞典』〔1996 地学団体研究会〕などを参考に記述した。
- 注 2) 1960・70 年代の沼沢湖火砕流堆積物の年代は 5Ka に集中していたが〔只見川第四紀研究グループ 1966a など〕、新しい測定結果は 4.4～4.8Ka の放射性炭素年代が得られ、暦年に直すと紀元前 3,700～3,000 年前で誤差補正の結果、紀元前 3,400 年頃の年代値になったとしている〔山元 2003〕。考古学的には、阿賀町北野遺跡上層〔高橋¹⁰⁾2005〕の事例では大木 6 式新段階の土器が滝瀬軽石質砂層の上層から出土し、同北野遺跡下層〔高橋・荒谷 2003〕、上野東・現明原遺跡〔高橋¹⁰⁾2006〕では滝瀬軽石質砂層の下層から大木 6 式古段階の土器が出土している〔金内¹⁰⁾2011〕。大木 6 式期の段階で沼沢火山が活動したことが限定される〔滝沢 1995、中島 2006a、遠藤 2012〕。
- 注 3) 軽石製石製品の数量は一部写真などで判断し、修正したものがある。軽石製石製品は特徴的な性質があるため比較的、発掘調査では認識されやすい石製品である。しかし、自然磨汰のものが多く、石製品として認識されない場合も多いと考えられ、発掘調査報告書によっては取り上げられてない可能性が高い。また、阿賀野川流域（主に新潟市域）の地域を限ったため、今回の集積は略集積とした。
- 注 4) 前述した、沼沢湖火砕流堆積物は考古学的には縄文時代前期後葉大木 6 式段階に堆積しておる。布目 A 遺跡の主体時期は前期前葉となるため沼沢湖火砕流堆積物の時期と異なる。解釈としては沼沢火山の古い時期の堆積物がもたらしたのか、別の火山の軽石が遺跡にもたらされたことも想定される。あるいは、表面採集品のため、縄文時代前期以降の遺物の可能性が考えられる。
- 注 5) 弥生時代以前の石器のように器種分類の必要性もあるが、機能が不明なものが多く、技術形態学的な操作が必要であると考え、今回はあくまでも便宜的な区別を行った。今後は他石材の石製品とともに型式学的な検討を要する。特に円礫とした中には薄い刃割が見られるものが多いが、擦った行為か、擦られた行為なのか不明確なものが多く、今回の集積では一部記載を尊重して磨石・礫石に分類したものが多く、大部分は判断つかず円礫に含めた。今後は実見のうえ判断する必要がある。
- 注 6) 縄文時代晩期の鳥屋遺跡出土品（第 22 図 16）は自然の窪みとの記載されているが、類例に含めた。
- 注 7) 酒井和男氏の御教示によると、昭和 29・30 年（1954・1955）頃に旧亀田町（現新潟市江南区）内の定期市「三・九の市」で旧亀越町（現新潟市江南区）木津・横越集落の女性達が背中の背負子に阿賀野川で採取した軽石を入れて販売を行っていた（ふり市）。当時の木津集落周辺では阿賀野川で川底に沈んだ流木を網で採取し薪としていた。その副産物として川底から軽石が多数採取できたという。
- 注 8) 比企政巳氏の御教示によると、細池寺道上遺跡が所在する秋葉区東金沢地内では昭和 30 年（1955）代まで金属性錫の噴きこぼれや煤を落とすために阿賀野川から軽石を採集し、鍋擦りとして使用していた。
- 注 9) 細池寺道上遺跡近隣の新潟市秋葉区七日町から金屋地内の阿賀野川左岸堤外地 3 か所で軽石探索を行ったが採取できなかった。
- 注 10) 新潟県内でも縄文時代では阿賀町角岩岩陰〔中島 2006b〕（阿賀町教育委員会阿部泰之氏ご教示）、長岡市岩野原遺跡（駒形・寺崎 1981）（長岡市立科学博物館小熊博史氏ご教示）などで出土し、弥生時代後期の上越市裏山遺跡〔小池・野水 2000〕では 165 点の軽石製研磨具が出土している。阿賀町の例は沼沢湖起源であると考えられるが、岩野原遺跡、裏山遺跡の例は他所の可能性もある。特に後者は妙高山山群が近隣にあるため、妙高山山群起源の可能性が考えられる。同時期の古津八幡山遺跡とは軽石の噴出起源地が異なると想定される。

引用・参考文献

- ア 相田泰臣・前山精明 2003 『葛蒲塚古墳・華人塚古墳 - 2002年度確認調査の概要 -』 巻町教育委員会
- 相田泰臣・前山精明 2005 『葛蒲塚古墳・華人塚古墳Ⅱ - 2003年度確認調査の概要 -』 巻町教育委員会
- 相田泰臣ほか 2012 『林付遺跡 第2次調査 - 新潟市立新潟東南小学校体育館建設に伴う林付遺跡第2次発掘調査報告書 -』 新潟市教育委員会
- 赤羽正春・高橋知之 1994 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第62集 横雲バイパス関係発掘調査報告書 上郷遺跡Ⅰ』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 朝岡政康・諫山えりか 2003 『東園遺跡 卸売市場建設に伴う市道東8-273建設事業用地内発掘調査報告書』 新潟市教育委員会
- 朝岡政康 2008 『結七島遺跡Ⅳ 第13・15・17次調査 第13・15・17次調査 - 荻川駅東土地区画整理事業に伴う結七島遺跡第7～9次発掘調査報告書 -』 新潟市教育委員会
- 朝岡政康ほか 2009 『手代山北遺跡 第2・3次調査 - 市道亀田南線建設事業に伴う手代山北遺跡第2・3次発掘調査報告書 -』 新潟市教育委員会
- 朝岡政康 2010 『三王山遺跡Ⅱ 第4・7次調査 - 新潟市立亀田中学校校舎・体育館改築工事に伴う三王山遺跡第2・4次発掘調査報告書 -』 新潟市教育委員会
- 阿部朝衛 1988 『第5章 鳥屋遺跡の発掘調査 第3節 石器と石製品』 『豊栄市史資料編1(考古編)』 豊栄市
- 甘粕 健・小野 昭ほか 1993 『越後山谷古墳』 巻町教育委員会・新潟大学考古学研究会
- 甘粕 健・川村浩司ほか 1992 『古津八幡山古墳Ⅰ 1991年度調査報告書』 新潟市教育委員会
- 甘粕 健・古川知明ほか 1981 『大沢遺跡B・B地区の調査概報』 巻町・潟東村教育委員会
- 荒川陸史ほか 2006 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第153集 一般国道49号安田バイパス関係発掘調査報告書 大坪遺跡』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 荒谷伸郎ほか 2010 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第215集 一般国道49号阿賀野バイパス関係発掘調査報告書Ⅱ 山口遺跡』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- イ 家田順一郎 1987 『小丸山遺跡(小丸山遺跡緊急発掘調査報告書)』 横越村教育委員会
- 諫山えりか 2004 『新潟市山木戸遺跡 マンション等建設予定地内発掘調査報告書』 新潟市教育委員会
- 諫山えりか 2007 『居屋敷跡遺跡 第3次調査 - 県営地盤沈下対策事業新潟県南部5期地区沼海揚水機場建設事業に伴う居屋敷跡遺跡第3次発掘調査報告書 -』 新潟市教育委員会
- 諫山えりか 2009 『中田遺跡 第2次調査 - 市道荻川新津線道路改良事業に伴う中田遺跡第2次発掘調査報告書 -』 新潟市教育委員会
- 石川智紀ほか 1994 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第58集 勢越自動車道関係発掘調査報告書 沖ノ羽遺跡Ⅰ(A地区)』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 石川日出志ほか 1992 『新潟県安田町文化財調査報告 12 六野湖遺跡 1990年調査報告書 立川ブラインド工業株式会社東日本工場増設に伴う新潟県北蒲原郡安田町六野湖遺跡発掘調査報告書』 安田町教育委員会
- 石田守之・高橋明公子ほか 2009 『聖籠町文化財調査報告書 第4集 携帯電話基地建設に伴う発掘調査報告書 金港遺跡』 新潟県聖籠町教育委員会
- 石田守之・渡辺明公子ほか 2013 『聖籠町文化財調査報告書 第5集 弁天風公園周辺整備事業に伴う発掘調査報告書 蓬野Ⅰ遺跡 湯沢遺跡』 新潟県聖籠町教育委員会
- 伊東 崇 1998 『松山窯跡 新潟県北蒲原郡黒川村大字塩沢地内における古代窯跡の発掘調査報告書』 黒川村教育委員会
- 伊藤秀和 2001 『鬼倉遺跡 - 国道403号線道路改良工事に係わる埋蔵文化財発掘調査報告書 -』 加茂市教育委員会
- 伊藤秀和 2005 『馬越遺跡 - 国道403号線道路改良工事に係わる埋蔵文化財発掘調査報告書 -』 加茂市教育委員会
- 稲場 明・木村 広・二宮俊策・稲場裕一 1976 『津川・野沢間の阿賀野川沿岸の第四系について』 『研究報告』 第9号 新潟県立教育センター
- 今井さやかほか 2007 『日本遺跡 第3次調査 - 鍋田土地区画整理事業に伴う日本遺跡発掘調査報告書 -』 新潟市教育委員会

- 今井さやか 2008 『下大口遺跡 第2次調査 一宅地造成に伴う下大口遺跡第2次発掘調査報告書ー』 新潟市教育委員会
- ウ 上野一久・春日真実 1997 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第87集 横雲バイパス関係発掘調査報告書 上郷遺跡II』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 植田 真・逢竹陽一郎ほか 2003 『結七島遺跡発掘調査報告書II』 新潟市教育委員会
- 上原甲子郎 1971 『上ノ原遺跡緊急調査事業報告書』 巻町
- 潮田憲幸 2008 『諏訪畑遺跡 第3次調査 一老人健康保険施設「秋葉の郷」建設にともなう発掘調査報告書ー』 新潟市教育委員会
- 潮田憲幸 2014 『福池寺道上遺跡II 第25次調査 一県営ほ場整備事業（担い手育成型）両新地区に伴う第11次発掘調査報告書ー』 新潟市教育委員会
- 内福信雄 1988 『須志器裏に見られる叩き目文について』『シンポジウム北陸の古代土器研究の現状と課題』報告編 石川考古学研究会・北陸古代土器研究会
- 宇野隆夫 1992 『食器計量の意義と方法』『国立歴史民俗博物館研究報告』第40集 国立歴史民俗博物館
- エ 江口友子 2001 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第102集 国道49号横雲バイパス関係発掘調査報告書IV 川根谷内墓所遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 遠藤 佐 2012 『第2編（原始）第2章第3節第6項 沼沢火山の噴火』『東海原部史 通史編1 自然・原始・古代・中世・近世』東海原部史編さん委員会
- 遠藤恭雄・澤野慶子ほか 2014 『沖ノ羽遺跡V 第18・19次調査 一県営ほ場整備事業（担い手育成型）満日地区に伴う沖ノ羽遺跡第11・12次発掘調査報告書ー』 新潟市教育委員会
- オ 大矢雅彦・加藤泰彦 1984 『阿賀野川水害地形分類図』建設省北陸地方建設局阿賀野川工事事務所
- 小熊博史 1994 『布日遺跡』『巻町史』資料編1 考古 巻町
- 尾崎高宏 2001 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第107集 日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書II 正尺A遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 小田由美子ほか 2006 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第149集 上信越自動車道関係発掘調査報告書XVI 滝寺古窯跡群大貫古窯跡群』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 小野 昭 1994a 『ケカチ堂遺跡』『巻町史』資料編1 考古 巻町
- 小野 昭 1994b 『新谷遺跡』『巻町史』資料編1 考古 巻町
- 小野 昭ほか 1982 『大沢遺跡II 一第3次調査概報ー』新潟大学考古学研究室
- 小野 昭・小熊博史 1987 『巻町布日遺跡の調査』『巻町史研究』III 巻町
- 小野 昭・前山精明ほか 1988 『巻町豊原遺跡の調査』巻町
- 小野 昭・前山精明 1994 『豊原遺跡』『巻町史』資料編1 考古 巻町
- カ 春日真実 1991 『古代佐渡小泊室における須志器の生産と流通』『新潟考古学談話会』第8号 新潟考古学談話会
- 春日真実 1995 『越後・佐渡における8世紀中葉の画期』『北陸古代土器研究』第5号 北陸古代土器研究会
- 春日真実ほか 1996 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第76集 磐越自動車道関係発掘調査報告書 江内遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 春日真実 1997 『越後・佐渡における9世紀中葉の画期』『北陸古代土器研究』第6号 北陸古代土器研究会
- 春日真実 1999 『第4章 古代 第2節 土器編年と地域性』『新潟県の考古学』高志書院
- 春日真実 2003a 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第123集 磐越自動車道関係発掘調査報告書 沖ノ羽遺跡III（C地区）』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 春日真実 2003b 『消費遺跡出土佐渡小泊産須志器のロクロ回転方向 一越後出土の資料を中心にー』『研究紀要』第4号 財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 春日真実 2005 『越後における奈良・平安時代土器編年の対応関係について 一「今池編年」・「下ノ西編年」・「山三賀編年」の検討を中心にー』『新潟考古』第16号 新潟県考古学会
- 春日真実 2007 『越後における古代の煮炊具について』『新潟考古』第18号 新潟県考古学会
- 春日真実ほか 2004 『越後阿賀北地域の古代土器様相』新潟古代土器研究会
- 春日真実ほか 2008 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第202集 一般国道8号糸魚川東バイパス関係発掘調査報告書III 六反田南遺跡・前波南遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 春日真実・笹澤正史 1999 『越後・佐渡の様相』『北陸古代土器研究』第8号 北陸古代土器研究会
- 加藤 学ほか 2001 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第106集 日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書I 松影A遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

- 加藤 学はか 2013 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第237集 一般国道49号阿賀野バイパス関係発掘調査報告書VI 柄日本道跡II』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 金内 元はか 2011 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第222集 一般国道49号線湯川改良関係発掘調査報告書IV 向大浦道跡 上空野中丸道跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 金子拓男 1987 『古代における信濃川・阿賀野川の河口と流域について』『研究集録』第15号 新潟県立新潟江南高等学校
- 金子拓男はか 1983 『緒立遺跡発掘調査報告書』黒崎町教育委員会
- 鴨井幸彦・田中里志・安井 賢 2006 『新潟平野における砂丘列の形成年代と発達史』『第四紀研究』第45巻 第2号 日本第四紀学会
- 川上貞雄 1981 『山崎須志遺跡』五泉市教育委員会
- 川上貞雄 1982 『川の中道跡発掘調査報告書』亀田町教育委員会
- 川上貞雄 1983 『五泉市文化財報告(3) 馬下稲場遺跡 発掘調査報告書』新潟県五泉市教育委員会
- 川上貞雄・遠藤孝司 1983 『平道跡緊急発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 川上貞雄 1992 『川口甲道跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 川上貞雄 1993 『横越村文化財調査報告書2 山の家道跡緊急発掘調査報告書』横越村教育委員会
- 川上貞雄 1994 『八越山道跡I 道構編』新津市教育委員会
- 川上貞雄 1995 『舟戸遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 川上貞雄 1996 『金津丘陵製鉄遺跡群 居村B・D地区』新津市教育委員会
- 川上貞雄 1996a 『荒木前道跡第2次調査 新潟県中蒲原郡亀田町・荒木前遺跡発掘調査報告書』亀田町教育委員会
- 川上貞雄 1997 『上浦A遺跡 新津市工業団地第2期工事地内発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 川上貞雄・木村宗文・鈴木泰夫 1989 『新津市史』資料編 第1巻 原始・古代・中世 新津市
- 川上貞雄・中山俊道 2002 『箕神村文化財調査報告書13 主要地方道新潟五泉間湖線地方特定道路整備費(改築)工事新居町災害復旧助成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 腰堀遺跡』箕神村教育委員会
- キ 北野博司 1999 『須志器貯蔵具の器種分類案』『北陸古代土器研究』第8号 北陸古代土器研究会
- 北村 淳・菊池康一郎はか 2004 『中谷内道跡III・沖ノ羽道跡II・細池寺道上道跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 木村宗文 1989 『資料解説 古代越後国と蒲原郡』『新津市史』資料編 第1巻 原始・古代・中世 新津市
- 木村宗文 1993 『初期花園の成立』『新津市史』通史編 上巻 新津市史編さん委員会
- コ 小池邦明・藤塚 明 1993 『新潟市の場跡 的場地区画整理事業用地内発掘調査報告書』新潟市教育委員会
- 小池邦明・本間佳吉 1995 『新潟市小丸山道跡 直り山団地建設事業用地内発掘調査報告書』新潟市教育委員会
- 小池義人はか 1994 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第59集 磐越自動車道関係発掘調査報告書 細池道跡 寺道上道跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 小池義人・野水 仁 2000 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第96集 上信越自動車道関係発掘調査報告書VII 裏山道跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 小林 存 1952 『新津市誌』新津市
- 駒形敏朗・寺崎裕助 1981 『埋蔵文化財発掘調査報告書 岩野原道跡』長岡市教育委員会
- 小山正忠・竹原秀雄 1967 『新版標準土色帖』農林水産省農林水産技術会議事務局・財団法人日本色彩研究所監修
- サ 酒井和男 1980 『三王山道跡』亀田町教育委員会
- 酒井和男はか 1987 『大江山地区の道跡』新潟市教育委員会
- 酒井和男 2000a 『小丸山道跡』『横越町史』資料編 横越町
- 酒井和男 2000b 『山の家道跡』『横越町史』資料編 横越町
- 酒井和男・廣野耕造 2002 『新潟砂丘における居住の初源』『新潟考古』第13号 新潟県考古学会
- 坂井秀弥 1988a 『越後・佐渡における古代土器の生産と流通 - 8~10世紀を中心として -』『シンポジウム北陸の古代土器研究の現状と課題』報告編 石川考古学研究会・北陸古代土器研究会
- 坂井秀弥 1988b 『古代のごはんは蒸した『飯』であった』『新潟考古学談話会会報』第2号 新潟考古学談話会
- 坂井秀弥 1989a 『第VII章 まとめ 2 奈良・平安時代の土器』『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第53集 新新バイパス関係発掘調査報告書 山三賀II道跡』新潟県教育委員会・建設省北陸地方建設局新潟国道工事事務所
- 坂井秀弥 1989b 『北陸型土器器具類の製作技法』『新潟考古学談話会会報』第3号 新潟考古学談話会
- 坂井秀弥 1990a 『山三賀II道跡からみた阿賀北地方の古代土器』『新潟考古学談話会会報』第4号 新潟考古学談話会

- 坂井秀弥 1990b 『古代ロクロ土器器型の二系譜と須恵器との関係』『新潟考古学談話会会報』第6号 新潟考古学談話会
- 坂井秀弥 1994 『序と館、集落と屋敷—東国古代遺跡における館の形成—』『城と館を掘る・読む—古代から中世へ—』山川出版社
- 坂井秀弥 1996 『水辺の古代官衛遺跡 越後平野の内水面・舟運・漁業』『越と古代の北陸』名著出版
- 坂井秀弥 1999 『第IV章 古代 第1節 総論』『新潟県の考古学』高志書院
- 坂井秀弥ほか 1984 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第35集 上新バイパス関係遺跡発掘調査報告書Ⅰ 今池遺跡・下新町遺跡・子安遺跡』新潟県教育委員会
- 坂井秀弥ほか 1991 『佐渡の須恵器』『新潟考古』第2号 新潟県考古学会
- 坂井秀弥・鶴間正昭・春日真実 1991 『佐渡の須恵器』『新潟考古』第2号 新潟県考古学会
- 坂上右紀 2003 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第118集 磐越自動車道関係発掘調査報告書 上浦遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 笹澤正史 1998 『Ⅷ、付編 高田平野における平安時代前半期の食器について』『坂田遺跡発掘調査報告書』上越市教育委員会
- 笹澤正史 2001 『須恵器瓶類の口縁頸部接合痕跡』『北陸古代土器研究』第9号 北陸古代土器研究会
- 笹澤正史ほか 1997 『坂田遺跡発掘調査報告書』上越市教育委員会
- 佐藤友子 2007 『新潟市近世新潟町跡の調査について』『新潟県考古学会第19回大会研究発表会発表要旨』新潟県考古学会
- 佐藤友子ほか 2008 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第187集 一般国道7号万代橋下流橋関係発掘調査報告書 近世新潟町跡(広小路堀地点)』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 佐藤友子ほか 2012 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第238集 一般国道8号白根バイパス関係発掘調査報告書Ⅱ 小坂居付遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 澤田 敦・立木宏明 2003 『17山屋敷1遺跡 3遺物(3) 石器』『上越市史』資料編2 考古 上越市
- セ 関 雅之 1990 『古代細型管状土器考』『北越考古学』第3号 北越考古学研究会
- 関 雅之ほか 1980 『烏屋遺跡Ⅰ』豊栄市教育委員会
- 関 雅之ほか 1988 『豊栄市史 資料編1 考古』豊栄市
- タ 高野裕子・渡邊朋和 2003 『川口乙遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 高橋 保 2005 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第150集 上信越自動車道関係発掘調査報告書ⅩⅡ 海道遺跡・大塚遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 高橋保雄・荒谷伸郎 2003 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第119集 磐越自動車道関係発掘調査報告書 北野遺跡Ⅰ(下層)』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 高橋保雄ほか 2005 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第141集 磐越自動車道関係発掘調査報告書 北野遺跡Ⅱ(上層)』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 高橋保雄 2006 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第160集 一般国道49号揚川改良関係発掘調査報告書Ⅰ 上野東遺跡 現明崑遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 高橋保雄ほか 2006 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第172集 一般国道49号安田バイパス関係発掘調査報告書 鶴深甲遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 高濱行徳・卜部厚志・寺崎裕助 2000 『排水機場遺跡』『味方村史』味方村
- 滝沢規朗 1995 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第68集 磐越自動車道関係発掘調査報告書 大坂上道遺跡 猿顔遺跡 中瀬遺跡 牧ノ辻遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 田嶋明人 1986 『考察—漆町遺跡出土土器の編年の考察』『漆町遺跡Ⅰ』石川県立埋蔵文化財センター
- 田嶋明人 1988 『古代土器編年輪の設定』『シンポジウム北陸の古代土器研究の現状と課題』報告編 石川考古学研究会・北陸古代土器研究会
- 只見川第四紀研究グループ 1966a 『只見川・阿賀野川流域の第四系の編年—ひとくに沼沢浮石層の層位学的諸問題について—』『第四紀 第四紀総合研究連絡誌』No.8 第四紀総合事務局
- 只見川第四紀研究グループ 1966b 『福島県野盆地の浮石質砂層の基底部より産出した木材の14C年代—日本の第四紀層の14C年代XXVI—』『地球科学』82 地学団体研究会
- 龍田優子ほか 2012 『結七鳥遺跡Ⅵ 第24次調査—宅地造成に伴う結七鳥遺跡第2次発掘調査報告書—』新潟市教育委員会

- 田中一廣・丹下昌之ほか 2004 『結七島遺跡発掘調査報告書Ⅲ』 新津市教育委員会
- 田中 靖 1996 『門新遺跡 外割田地区』 和島村教育委員会
- 田中 靖ほか 1995 『門新遺跡』 和島村教育委員会
- チ 地学団体研究会・新版地学事典編集委員会 1996 『新版 地学事典』 平凡社
- ツ 立木宏明・渡邊朋和ほか 1998 『細池遺跡発掘調査報告書』 新津市教育委員会
- 立木宏明ほか 1999 『中谷内遺跡発掘調査報告書』 新津市教育委員会
- 立木宏明ほか 2000 『川根遺跡発掘調査報告書』 新津市教育委員会
- 立木宏明・高野裕子ほか 2002 『内野遺跡発掘調査報告書』 新津市教育委員会
- 立木宏明・澤野慶子ほか 2003 『結七島遺跡発掘調査報告書Ⅰ』 新津市教育委員会
- 立木宏明・澤野慶子ほか 2004a 『愛宕澤遺跡発掘調査報告書』 新津市教育委員会
- 立木宏明・澤野慶子ほか 2004b 『山王浦遺跡発掘調査報告書』 新津市教育委員会
- 立木宏明・澤野慶子ほか 2005 『沖ノ羽遺跡発掘調査報告書Ⅲ』 新津市教育委員会
- 立木宏明・澤野慶子・八藤後智人ほか 2008 『沖ノ羽遺跡Ⅳ 第15次調査 一泉宮市場整備事業(担い手育成型)満日地区に伴う沖ノ羽遺跡第8次発掘調査報告書一』 新潟市教育委員会
- 立木宏明・伊比博和ほか 2013 『峰岡城山遺跡 第2次調査 一城山屋内体育施設造成工事に伴う峰岡城山遺跡第2次発掘調査報告書一』 新潟市教育委員会
- 立木宏明・細野高伯ほか 2013 『日本遺跡Ⅱ 第6次調査 一市道亀田300号線道路改良工事に伴う日本遺跡第2次発掘調査報告書一』 新潟市教育委員会
- テ 寺村光晴 1960 『越後六地山遺跡』『上代文化』30 国学院大学考古学会
- ト 土橋由理子ほか 1999 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第91集 一般国道49号横雲バイパス関係発掘調査報告書Ⅲ 牛道遺跡』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 土橋由理子 2006 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第166集 日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書ⅡⅢ 馬見坂遺跡 正尺A遺跡 正尺C遺跡』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 土橋由理子 2007 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第177集 一般国道49号亀田バイパス関係発掘調査報告書Ⅰ 城所道下遺跡 武左衛門裏遺跡』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 土橋由理子 2009 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第200集 一般国道49号亀田バイパス関係発掘調査報告書Ⅱ 大蔵遺跡 西郷遺跡』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 土橋由理子 2011 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第221集 日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書XXXXⅠ 古渡路遺跡』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- ナ 中川成夫・倉田芳郎 1956 『新津田家七本松須忠器跡発掘調査報告書』 北方文化博物館
- 長澤展生ほか 2002 『無頭遺跡発掘調査報告書』 新津市教育委員会
- 長澤展生ほか 2002 『五泉市文化財報告(13) 能代川関係発掘調査報告書Ⅵ 中田遺跡』 新潟県五泉市教育委員会・株式会社社みくに考古学研究所
- 中島栄一 2006a 『第1章 東蒲原郡の考古学研究と遺跡の概要』『東蒲原郡史 資料編1 原始』 東蒲原郡史編さん委員会
- 中島栄一 2006b 『第2節第3章 東蒲原郡の遺跡と遺物 舟嶋岩跡』『東蒲原郡史 資料編1 原始』 東蒲原郡史編さん委員会
- 中野三義 1976 『中蒲原郡の荘園・保』『かみくむむし』第21号 かみくむむしの会
- 中村孝三郎 1960 『西蒲原郡中野小屋村曾和弥生式六地山遺跡』『NHK』Vol.3 長岡市立科学博物館友の会
- ニ 新潟古代土器研究会 2004 『越後阿賀北地域の古代土器様相』
- 新潟市国際文化部歴史文化課 2007 『新・新潟市史双書2 新潟市の遺跡』 新潟市
- 新潟市史編さん原始古代中世史会 1994 『新潟市史』資料編1 原始 古代 中世 新潟市
- ノ 野水晃子ほか 2003 『能代川関係発掘調査報告書Ⅰ 新保北遺跡』 五泉市教育委員会・株式会社吉田建設
- ヒ 廣野耕造 1996 『石動遺跡 平成7年度発掘調査概報』 新潟市教育委員会
- 廣野耕造 1997 『笹山前遺跡・神明社裏遺跡・城山遺跡』 新潟市教育委員会
- フ 藤澤良祐 2008 『中世瀬戸窯の研究』 高志書院
- 藤塚 明・小池邦明・渡邊朋和 1982 『新潟市小丸山遺跡発掘調査概報』 新潟市教育委員会
- 古澤愛史 2002 『京ヶ瀬村埋蔵文化財発掘調査報告書 第1集 町道上遺跡発掘調査報告書』 新潟県京ヶ瀬村教育委員会

- 古澤安史ほか 2004 『泉宮渾水防除事業関連遺跡発掘調査報告書Ⅱ 村下遺跡』京ヶ瀬村教育委員会
- 古澤安史 2005 『土居内西遺跡』阿賀野市教育委員会
- 古澤安史ほか 2011 『泉宮渾水防除事業関連遺跡発掘調査報告書Ⅲ 塚塚遺跡・山口野中遺跡・三辺稲荷遺跡』阿賀野市教育委員会
- 古庄浩明ほか 2003 『結七島遺跡発掘調査報告書Ⅱ』新津市教育委員会
- 文化庁文化財部記念物課監修 2010 『発掘調査のてびき』文化庁文化財部記念物課
- ホ 星野明ほか 1996 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第80集 勢越自動車道関係発掘調査報告書 沖ノ羽遺跡Ⅱ(B地区)』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 細野高伯ほか 2002 『沖ノ羽遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 細野高伯・伊比博和ほか 2012 『大沢谷内遺跡Ⅱ 第7・9・11・12・14次調査 ―一般国道403号小須戸田上バイパス整備工事に伴う大沢谷内遺跡第2・4・6・7・9次発掘調査報告書―』新潟市教育委員会
- 本田祐二 2008 『越後・佐渡(新潟県)の様相』『北陸中世のみち』第21回北陸中世考古学研究会資料集 北陸中世考古学研究会
- マ 前山精明 1990 『大沢遺跡―縄文時代中期前葉を主とする集落跡の調査概要―』巻町教育委員会
- 前山精明 1994a 『新谷遺跡』『巻町史』資料編1 考古 巻町
- 前山精明 1994b 『重穂場遺跡群』『巻町史』資料編1 考古 巻町
- 前山精明 1994c 『御井戸遺跡』『巻町史』資料編1 考古 巻町
- 前山精明 1994d 『上ノ原遺跡』『巻町史』資料編1 考古 巻町
- 前山精明・相田泰臣 2002 『南赤坂遺跡―縄文時代前期～中期・古墳時代前期を主とする集落跡の調査―』巻町教育委員会
- 前山精明・相田泰臣 2004 『御井戸遺跡Ⅱ―2003年度確認調査の概要―』巻町教育委員会
- 前山精明・相田泰臣 2005 『御井戸遺跡Ⅲ―2004年度確認調査の概要―』巻町教育委員会
- 前山精明・伊比博和ほか 2010 『大沢谷内北遺跡 第3次調査―(仮称)国道403号小須戸田バイパス整備工事に伴う大沢谷内北遺跡第3次発掘調査報告書―』新潟市教育委員会
- 前山精明ほか 2012 『大沢谷内遺跡Ⅲ 第8次調査―市道鎌倉横川線改良工事に伴う大沢谷内遺跡第2次発掘調査報告書―』新潟市教育委員会
- ミ 水澤幸一 2005 『越後の様相』『中世北陸の茶道具』第18回 北陸中世考古学研究会資料集 北陸中世考古学研究会
- 水澤幸一 2007 『中世越後の土器と陶磁器―11～14世紀前半―』『中世前期北陸のカワラケと輸入陶磁器・施釉陶器・瀬戸美濃製品』第20回 北陸中世考古学研究会資料集 北陸中世考古学研究会
- ヤ 山口陽子ほか 2000 『新潟県安田町文化財調査報告13 小山崎遺跡発掘調査報告書 泉宮安田・水原工業団地開発に伴う新潟県北蒲原郡安田町小山崎遺跡発掘調査報告書』安田町教育委員会
- 山崎 天・遠藤 佐 1999 『小天山遺跡』五泉市教育委員会
- 山崎 天ほか 2004 『五泉市文化財報告(11) 能代川関係発掘調査報告書Ⅳ 新保遺跡 住吉田東遺跡』新潟県五泉市教育委員会・山武考古学研究所
- 山崎 天ほか 2004 『五泉市文化財報告(12) 能代川関係発掘調査報告書Ⅴ 覽下遺跡』新潟県五泉市教育委員会・山武考古学研究所
- 山崎 天ほか 2004 『五泉市文化財報告(14) 能代川関係発掘調査報告書Ⅶ 巳ノ明遺跡』新潟県五泉市教育委員会・株式会社社野上建設興業
- 山崎 天ほか 2005 『五泉市文化財報告(17) 能代川関係発掘調査報告書Ⅹ 榎表遺跡』新潟県五泉市教育委員会・株式会社社みくに考古学研究所
- 山元孝広 2003 『東北日本、沼沢火山の形成史：噴出物順序、噴出年代及びマグマ噴出量の再検討』『地質調査研究報告』第54巻 第9/10号
- 山本信夫 2000 『太宰府市の文化財 第49集 太宰府条坊跡ⅩⅤ―陶磁器分類編―』太宰府市教育委員会
- 山本信夫 2005 『貿易陶磁中世前期(11～14世紀前半)編年』『全国シンポジウム 中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～』発表要旨全国シンポジウム「中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～」実行委員会
- ヨ 横山勝榮・竹田和夫ほか 1987 『新潟県中世城跡等分布調査報告書』新潟県教育委員会
- 吉井雅勇ほか 1999 『元山跡群 平成9・10年度町内遺跡試掘確認調査報告書』荒川町教育委員会
- 吉井雅勇ほか 2002 『鴨付遺跡―一級河川乙日川(鳥川工区)統合一級河川整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』荒川町教育委員会

- 吉岡康暢 1994 『中世須恵器の研究』 吉川弘文館
- 米沢 康 1965 『大化前代における越の史的位置』『信濃』17-1 信濃史学会
- 米沢 康 1980 『大宝二年の越中国四部分割をめぐって』『信濃』32-6 信濃史学会
- ワ 渡邊明和 1991 『長沼遺跡発掘調査報告書』 新潟市教育委員会
- 渡邊明和 1992 『上浦遺跡発掘調査報告書』 新潟市教育委員会
- 渡邊明和 1994a 『八幡山遺跡発掘調査報告書 一平成5年度範囲確認調査一』 新潟市教育委員会
- 渡邊明和 1994b 『平成5年度 新潟市内遺跡確認調査報告書』 新潟市教育委員会
- 渡邊明和 1999 『第4章 第4節 第3項 製鉄』『新潟県の考古学』 新潟県考古学会
- 渡邊明和ほか 1997 『金津丘陵製鉄遺跡群発掘調査報告書II 居村遺跡E・A・C地点、大入遺跡A地点』 新潟市教育委員会
- 渡邊明和ほか 1998 『金津丘陵製鉄遺跡群発掘調査報告書III (分析・考察編)』 新潟市教育委員会
- 渡邊明和ほか 2001 『寺道遺跡発掘調査報告書』 新潟市教育委員会
- 渡邊明和ほか 2002 『中谷内遺跡発掘調査報告書II』 新潟市教育委員会
- 渡邊明和・立木宏明ほか 2001 『八幡山遺跡発掘調査報告書』 新潟市教育委員会
- 渡邊明和・立木宏明ほか 2004 『八幡山遺跡群発掘調査報告書 一第11・12・13・14次調査一』 新潟市教育委員会
- 渡邊ますみ 1991 『荒木前遺跡』 亀田町教育委員会
- 渡邊ますみ 1994 『緒立C遺跡発掘調査報告書』 黒崎町教育委員会
- 渡邊ますみ 1998 『第2章 原始・古代 一緒立遺跡一』『黒崎町史資料編1 原始・古代・中世』 黒崎町
- 渡邊ますみほか 2009 『駒首遺跡 第3・4次調査 一大型小売店建設に伴う駒首遺跡第3・4次発掘調査報告書一』 新潟市教育委員会
- 渡邊ますみ・池田ひろ子 2009 『上大川遺跡 第2次調査 一市道正尺・早通線道路改良工事に伴う上大川遺跡第2次調査報告書一』 新潟市教育委員会
- 渡邊ますみ・奈良貴史 2012 『四十石遺跡 第2次調査 一(仮称)新赤塚埋立処分地整備工事に伴う四十石遺跡第2次発掘調査報告書一』 新潟市教育委員会

第Ⅴ章 自然化学分析参考文献

- 笠原安夫 1985 『日本雑草図説』 養賢堂 p.494
- 笠原安夫 1988 『作物および田畑雑草種類』『弥生文化の研究 第2巻 生業』 雄山閣出版 p.131-139
- 金原正明 1993 『花粉分析法による古環境復原』『新版古代の日本 第10巻 古代資料研究の方法』 角川書店 p.248-262
- 金原正明 1996 『古代モモの形態と品種』『月刊考古学ジャーナル』No.409 ニューサイエンス社 p.15-19
- 島倉巳三郎 1973 『日本植物の花粉形態』『大阪市立自然科学博物館収蔵目録』第5集 p.60
- 島地 謙・伊東隆夫 1988 『日本の遺跡出土本製品総覧』 雄山閣出版 p.296
- 島地 謙・佐伯 浩・原田 浩・塩倉高義・石田茂雄・重松頼生・須藤修司 1985 『木造の構造』 文永堂出版 p.290
- 杉山真二 2000 『植物珪酸体(プラント・オパール)』『考古学と植物学』 同成社 p.189-213
- 中村 純 1973 『花粉分析』 古今書院 p.82-110
- 中村 純 1974 『イネ科花粉について、とくにイネ(Oryza sativa)を中心として』『第四紀研究』13 p.187-193
- 中村 純 1977 『稲作とイネ花粉』『考古学と自然科学』第10号 p.21-30
- 中村 純 1980 『日本産花粉の票徴』『大阪自然史博物館収蔵目録』第13集 p.91
- 南木睦彦 1991 『栽培植物』『古墳時代の研究第4巻生産と流通I』 雄山閣出版 p.165-174
- 南木睦彦 1992 『低湿地遺跡の樺実』『月刊考古学ジャーナル』No.355 ニューサイエンス社 p.18-22
- 南木睦彦 1993 『葉・果実・種子』『日本第四紀学会編、第四紀試料分析法』 東京大学出版会 p.276-283
- 藤原宏志 1976 『プラント・オパール分析法の基礎的研究(1) 一数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法一』『考古学と自然科学』9 p.15-29
- 藤原宏志・杉山真二 1984 『プラント・オパール分析法の基礎的研究(5) 一プラント・オパール分析による水田址の調査一』『考古学と自然科学』17 p.73-85
- 山田昌久 1993 『日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成 一用材から見た人間・植物関係史一』『植生史研究 特別1号』 植生史研究会 p.242
- 吉崎昌一 1992 『古代雑穀の検出』『月刊考古学ジャーナル』No.355 ニューサイエンス社 p.2-14
- 渡辺 誠 1975 『縄文時代の植物食』 雄山閣出版 p.187

別表1 堀池寺道遺跡遺構計測表

期数No	写真 図号No	区	遺構名	シロヨロシ	時代	構造	築造方位	規模 (m)			高さ 単位 (m)	断面	建物 の 種類	遺物 の 種類	遺 跡 の 位置 (北緯 東経)	備 考		
								上 長	下 長	幅								
11-14	19	IK3017	7P111-12-16-18	中群	N42°E	3.42	3.40	1.41	0.94	1.50	6.43	円筒状	7	75-80 82-83	30	8,601.0		
10-15	10	IK3020	6P1022-23,7P122-4-8	中群	N66°W	3.14	2.53	0.70	0.52	1.59	6.33	円筒状	4	75-80				
10-15	10-20	IK3023	6P1023,7P122-3	中群	N47°E	3.14	2.53	0.65	0.50	0.72	6.00	円筒状	4	75-83	2	167.0		
11-12-15	20	IK3012	7P104	中群	N31°W	(0.87)	1.25	(0.30)	0.29	0.65	7.34	円筒状	6	8	1	24.0		
12-12-15	20	IK3014	7P1015	中群	N84°W	(1.20)	(0.97)	0.70	0.60	0.46	7.01	円筒状	4					
12-16	7-20	IK3008	7P1224-25 7P1224-9-9-10 7P1021,7P1011-6	中群	N40°E	4.07	3.00	1.53	1.08	1.53	6.40	円筒状	7	79-82 83	42	25,748.0		
11-12-16	21	IK3010	7P1024	中群	N65°W	1.02	1.02	0.69	0.64	0.26	7.75	円筒状	3			82		
12-16	21	IK3021	7P251-2, 6-7	中群	N83°W	1.20	1.00	0.61	0.55	0.48	7.48	円筒状	6	75-79	4	858.0		
12-16	21	IK3022	6Q10A1,5,6Q10B1	中群	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	遺跡跡目下2-1		
10-17	21	IK3070	6Q10A10-15	中群	N88°W	1.61	1.50	(1.50)	(1.30)	0.28	7.72	円筒状	4					
10-17	21	IK3042	6Q9A11	中群	—	(0.81)	(0.19)	(0.43)	(0.12)	0.25	7.69	—	—	—	—			
10-17	22	IK3027	6P1029	中群	N35°E	0.77	0.74	0.45	0.34	0.21	7.79	円筒状	2					
10-11-17	22	IK3004	6P1010-11,6P1016-11	中群	N62°W	1.64	1.28	1.50	0.94	0.96	7.86	円筒状	7					
10-11-18	22	IK3016	6P1017-22	中群	N69°W	0.63	0.57	0.27	0.25	0.09	7.84	円筒状	2					
11-18	22	IK3005	7P104	中群	N47°W	0.69	0.62	0.49	0.38	0.18	7.72	円筒状	2					
11-14	18	IK3006	7P1011	中群	N9°E	(0.54)	(0.16)	(0.29)	(0.20)	0.21	7.70	円筒状	2					
11-18	23	IK3085	7P1017	中群	N50°W	(0.85)	(0.46)	(0.74)	(0.35)	0.19	7.74	円筒状	3					
10-11-18	23	IK3029	6P1020	中群	N45°E	0.99	0.85	0.73	0.57	0.15	7.80	円筒状	3					
11-16	23	IK3022	7P1013	中群	N13°E	0.71	0.64	0.36	0.25	0.14	7.77	円筒状	2			272.0		
11-18	23	IK3023	7P1012-13	中群	N60°E	0.73	0.66	0.46	0.43	0.17	7.96	円筒状	2					
11-18	24	IK3047	7P1012-12-17-18	中群	N11°E	(0.83)	(0.20)	(1.10)	(0.14)	0.16	7.78	—	—	—	—			
12-18	24	IK3008	7P2016	中群	N70°W	(0.78)	0.55	0.54	0.37	0.19	7.82	円筒状	3					
10-17	21	IK3036	6Q10A4-5-9-10-11	中群	N15°E	(5.95)	1.10	(5.95)	0.64	0.52	7.62	—	—	—	6	83	2	283.0
10-20	28	IK3032	6P1018-20-23,25,6Q10A21-22,7P126	中群	N10°E	—	0.88	—	0.30	0.20	7.82	—	—	—	1		SH428南端石	
10-11-18	24	IK3042	7P127-9-12-13	中群	N74°W	—	0.82	—	0.22	0.19	7.81	—	—	—	2		1	186.0
10-11-18	24	IK3041	7P127-8-12-14	中群	N14°W	—	0.40	—	0.19	0.21	7.74	—	—	—	3	82	1	560.0
11-18	24	IK3040	7P126-7-12-13	中群	N62°W	(3.40)	0.21	(3.38)	0.11	0.06	7.88	—	—	—	1			
11-18	18	IK3088	7P105-10-15	中群	N11°E	3.15	0.38	2.93	0.16	0.13	7.78	—	—	—	1			
11-19	18	IK3092	7P110,7P126-7	中群	N76°E	(2.42)	0.25	(2.38)	0.14	0.07	7.85	—	—	—	1			
11-19	25	IK3089	7P115-20-25	中群	N6°W	(3.02)	0.55	(2.95)	0.25	0.26	7.74	—	—	—	75	17	200.0	
11-18	24	IK3021	7P127-8-12-13	中群	N11°E	(3.84)	0.25	(3.83)	0.43	0.11	7.78	—	—	—	1	83	20	390.0
11-14-18	25	IK3016	7P107-8-10-15-21	中群	N82°W	—	0.59	—	0.28	0.34	7.59	—	—	—	4		8	4,166.0
11-12	16	IK3013	7P104-5-10-15-19-20	中群	N15°E	—	0.70	—	0.45	0.18	7.79	—	—	—	3		1	388.0
11-12-19	16	IK3015	7P1016	中群	N67°E	(1.28)	0.30	1.29	0.19	0.09	7.93	—	—	—	1			
11-19	25-26	IK3018	7P1018	中群	N58°W	(1.44)	0.35	(1.40)	0.18	0.04	7.94	—	—	—	1			
11-19	26	IK3019	7P1013-18-19	中群	N65°W	(1.48)	0.31	(1.39)	0.14	0.03	7.95	—	—	—	1			
12	26	IK3011	7P107-12-13	中群	N65°W	(1.72)	0.75	(1.69)	0.44	0.28	7.84	—	—	—	3			
12-19	27	IK309	7P1022-23,7P202-3	中群	N69°W	2.40	0.59	1.60	0.20	0.46	7.62	—	—	—	3			
12-19	27	IK308	7P202-3	中群	N70°W	1.26	0.37	1.15	0.28	0.09	8.00	—	—	—	1			
12-19	27	IK302	7P227-8-9-10	中群	N78°W	(5.72)	0.46	(5.64)	0.24	0.12	7.86	—	—	—	1			
12-21	27	IK304	7P209-14	中群	N13°E	1.95	0.45	1.63	0.30	0.23	7.88	—	—	—	1			
12-21	28	IK305	7P2010-14-19-13-20-24-25	中群	N8°E	(6.71)	0.58	(6.63)	0.35	0.26	7.85	—	—	—	1			SH429南端石
12-21	28	IK307	7P2010-14-19-13-20-24-25	中群	N77°W	6.15	0.62	6.08	0.33	0.07	8.00	—	—	—	1			SH429南端石
12-21	28	IK303	7P205,7P201	中群	N79°W	(2.45)	0.30	(2.38)	0.22	0.13	8.01	—	—	—	2			SH429南端石
11-19	28	IK3052	7P105-9-10-14-13-19-23-24,7P201-3	中群	N21°E	(10.90)	0.62	(10.78)	0.45	0.22	7.88	—	—	—	1			鉄柱小溝
11-19	28	IK3053	7P105-19-20-24-25,7P126-7-11,7P203-4	中群	N38°E	(10.91)	0.70	(10.57)	0.60	0.14	7.92	—	—	—	1			鉄柱小溝
11-19	25-28	IK3029	25,7P127-11-12-13,7P120-24	中群	N40°E	(10.07)	0.72	(9.37)	0.64	0.17	7.87	—	—	—	1			鉄柱小溝
11-19	25-28	IK3026	7P1012-13-16-17-21	中群	N40°E	(5.30)	0.40	(5.11)	0.27	0.08	7.90	—	—	—	1	83		鉄柱小溝
11-19	28	IK3047	7P1012-13	中群	N28°E	(0.35)	0.28	(0.35)	(0.20)	0.08	7.89	—	—	—	1			鉄柱小溝
11-19	28	IK3024	7P105,7P101-6	中群	N45°W	4.32	0.46	4.04	0.24	0.12	7.86	—	—	—	1			鉄柱小溝
11-19	28	IK3024	6P1023,7P103-5-10,7P126-13	中群	N52°W	9.18	0.47	9.10	0.37	0.08	7.84	—	—	—	1			鉄柱小溝
11-19	28	IK3084	7P1010-15,7P126-11	中群	N55°W	3.78	0.58	3.62	0.52	0.04	7.88	—	—	—	1			鉄柱小溝
11-19	28	IK3083	7P1010-15,7P126-11	中群	N55°W	3.50	0.53	3.37	0.39	0.03	7.89	—	—	—	1			鉄柱小溝
11-19	28	IK3082	7P1014-15,7P126-11	中群	N61°W	3.17	0.57	3.04	0.46	0.00	7.87	—	—	—	1			鉄柱小溝
11-19	25-28	IK3021	7P1014-15-20	中群	N60°W	(2.85)	0.49	(2.78)	0.43	0.04	7.88	—	—	—	1			鉄柱小溝
11-19	28	IK3026	7P1014-15-19-20	中群	N45°W	(2.0)	0.55	(1.93)	0.48	0.07	7.87	—	—	—	1			鉄柱小溝
11-19	28	IK3025	7P1019-20	中群	N56°W	(2.60)	0.62	2.47	0.45	0.06	7.89	—	—	—	1			鉄柱小溝
11-19	28	IK3024	7P1019-24-25	中群	N60°W	2.45	0.42	2.24	0.24	0.06	7.89	—	—	—	1			鉄柱小溝
10-11	18	IK3079	6P1023	中群	—	0.19	0.17	0.08	0.09	0.29	7.99	円筒	—	2				
10-11	18	IK3090	6P1027	中群	—	0.20	0.25	0.12	0.08	0.32	7.55	円筒	—	2				
12	18	IK3027	6P1017	中群	—	(0.12)	(0.09)	(0.04)	(0.04)	0.23	7.67	円筒	—	2				
12	18	IK3095	6P1019	中群	—	0.29	0.23	0.11	0.07	0.22	7.62	円筒	—	2				
10-11	18	IK3098	6P1019-20	中群	—	0.27	0.20	0.09	0.09	0.23	7.66	円筒	—	2				
12	18	IK3013	6P1022	中群	—	0.16	0.15	0.08	0.08	0.14	7.66	円筒	—	2				
12	18	IK3049	6P1022	中群	—	0.17	0.17	0.07	0.07	0.16	7.64	円筒	—	2				
12	18	IK3059	6P1022	中群	—	(0.17)	(0.15)	(0.07)	(0.06)	0.16	7.69	円筒	—	2				
10	18	IK3089	6P1022	中群	—	0.38	0.27	0.10	0.07	0.34	7.50	円筒	—	2				
10	18	IK3021	6P1023	中群	—	0.16	0.15	0.08	0.08	0.13	7.72	円筒	—	2				
10	18	IK3022	6P1023	中群	—	0.28	0.26	0.18	0.07	0.38	7.60	円筒	—	2				

別表

河川No.	支川No.	区	橋名	ダリッド	橋式	用途	主筋方位	橋長(m)				橋面 積(㎡)	橋 高 (m)	橋脚 の 種類	橋脚 の 数	橋 幅 (m)	橋 高 (m)	備考
								上 部	下 部	橋 脚	橋 脚							
12	38	1K P6107	7P-2G14-19	鋼桁	並	-	0.41	0.26	0.13	0.13	0.51	7.50	橋脚	-	1			
12		1K P666	7P-2G15	鋼桁	並	-	0.26	0.24	0.17	0.13	0.17	7.87	橋脚	-	1			
12		1K P6108	7P-2G15	鋼桁	並	-	0.25	0.15	0.07	0.05	0.01	7.92	橋脚	-	1			
12		1K P631	7P-2G18	鋼桁	並	-	0.15	0.14	0.06	0.04	0.44	7.59	橋脚	-	1			
12		1K P632	7P-2G18	鋼桁	並	-	0.26	0.25	0.03	0.03	0.27	7.76	橋脚	-	1			
12		1K P633	7P-2G18	鋼桁	並	-	0.24	0.17	0.04	0.03	0.19	7.82	橋脚	-	1			
12		1K P635	7P-2G18	鋼桁	並	-	0.35	0.30	0.10	0.08	0.36	7.66	橋脚	-	1			
12		1K P636	7P-2G18	鋼桁	並	-	0.21	0.15	0.07	0.04	0.07	7.94	橋脚	-	1			
12		1K P638	7P-2G18-22	鋼桁	並	-	0.20	0.19	0.07	0.04	0.17	7.88	橋脚	-	1			
12		1K P646	7P-2G18	鋼桁	並	-	0.21	0.19	0.09	0.08	0.16	7.90	橋脚	-	1			
12		1K P647	7P-2G19	鋼桁	並	-	0.17	0.15	0.11	0.09	0.28	7.72	橋脚	-	1			
12		1K P648	7P-2G19	鋼桁	並	-	0.19	0.19	0.12	0.08	0.36	7.64	橋脚	-	1			
12		1K P649	7P-2G19	鋼桁	並	-	0.22	0.22	0.14	0.11	0.53	7.66	橋脚	-	1			
12		1K P650	7P-2G19	鋼桁	並	-	0.24	0.22	0.13	0.13	0.11	7.90	橋脚	-	1			
12		1K P661	7P-2G19	鋼桁	並	-	0.22	0.22	0.08	0.08	0.08	7.93	橋脚	-	1			
12		1K P6202	7P-2G19	鋼桁	並	-	0.25	0.23	0.10	0.05	0.15	7.86	橋脚	-	1			
12		1K P659	7P-2G20	鋼桁	並	-	0.30	0.28	0.13	0.10	0.56	7.50	橋脚	-	1			
12		1K P670	7P-2G20	鋼桁	並	-	0.28	0.26	0.13	0.08	0.47	7.52	橋脚	-	1			
12		1K P6123	7P-2G20	鋼桁	並	-	0.13	0.11	0.09	0.07	0.08	7.93	橋脚	-	1			
12		1K P651	7P-2G23	鋼桁	並	-	0.23	0.19	0.13	0.12	0.28	7.77	橋脚	-	1			
12		1K P653	7P-2G23	鋼桁	並	-	0.18	0.16	0.04	0.02	0.33	7.71	橋脚	-	1			
12		1K P654	7P-2G24	鋼桁	並	-	0.24	0.18	0.08	0.08	0.38	7.82	橋脚	-	1			
12		1K P655	7P-2G24	鋼桁	並	-	0.21	0.19	0.08	0.05	0.25	7.77	橋脚	-	1			
12		1K P657	7P-2G24	鋼桁	並	-	0.21	0.15	0.08	0.06	0.10	7.91	橋脚	-	1			
12		1K P658	7P-2G24	鋼桁	並	-	0.35	0.29	0.05	0.04	0.30	7.67	橋脚	-	1			
12		1K P659	7P-2G24	鋼桁	並	-	0.26	0.23	0.08	0.08	0.29	7.73	橋脚	-	1			
12		1K P660	3P-2G24, 7P-3G4	鋼桁	並	-	0.34	0.27	0.27	0.27	0.13	7.85	橋脚	-	1			
12		1K P677	7P-2G24, 7P-3G4	鋼桁	並	-	0.27	0.25	0.22	0.10	0.06	7.96	橋脚	-	1			
12		1K P675	7P-2G25, 7P-3G5	鋼桁	並	-	0.35	0.24	0.24	0.15	0.56	7.49	橋脚	-	1			
12		1K P676	7P-2G25, 7P-3G5	鋼桁	並	-	0.39	0.37	0.16	0.09	0.37	7.68	橋脚	-	1			
12		1K P6102	7P-2B1	鋼桁	並	-	0.23	0.21	0.15	0.10	0.19	7.85	橋脚	-	1			
12		1K P6126	7P-2B3	鋼桁	並	-	0.23	0.22	0.12	0.09	0.17	7.91	橋脚	-	1			
12		1K P6125	7P-2B3-8	鋼桁	並	-	0.25	0.20	0.14	0.08	0.26	7.81	橋脚	-	1			
12		1K P6128	7P-2B4	鋼桁	並	-	0.16	0.15	0.07	0.07	0.12	7.85	橋脚	-	1			
11-12		1K P6181	7P-2B4-5	鋼桁	並	-	0.13	0.13	0.07	0.07	0.12	7.87	橋脚	-	1			
11-12		1K P6182	7P-2B5	鋼桁	並	-	0.25	0.24	0.13	0.12	0.51	7.61	橋脚	-	1			
11-12		1K P6183	7P-2B5	鋼桁	並	-	0.20	0.19	0.05	0.03	0.23	7.82	橋脚	-	1			
11-12		1K P6184	7P-2B5	鋼桁	並	-	0.19	0.18	0.08	0.05	0.13	7.90	橋脚	-	1			
12		1K P6101	7P-2B6	鋼桁	並	-	0.34	0.25	0.09	0.08	0.37	7.69	橋脚	-	1			
12		1K P6109	7P-2B7	鋼桁	並	-	0.28	0.25	0.07	0.03	0.42	7.60	橋脚	-	1			
12		1K P6111	7P-2B7	鋼桁	並	-	0.29	0.27	0.28	0.15	0.23	7.84	橋脚	-	1			
12		1K P6112	7P-2B7	鋼桁	並	-	0.29	0.25	0.18	0.17	0.13	7.93	橋脚	-	1			
12		1K P6119	7P-2B7-8	鋼桁	並	-	0.37	0.34	0.19	0.19	0.14	7.97	橋脚	-	1			
12		1K P6120	7P-2B8	鋼桁	並	-	0.27	0.20	0.18	0.14	0.05	8.05	橋脚	-	1			
12		1K P6122	7P-2B8	鋼桁	並	-	0.21	0.19	0.12	0.11	0.08	8.01	橋脚	-	1			
12		1K P6240	7P-2B9-14	鋼桁	並	-	0.40	0.31	0.32	0.22	0.14	7.96	橋脚	-	1			
11-12		1K P6185	7P-2B9	鋼桁	並	-	0.39	0.24	0.08	0.07	0.30	7.77	橋脚	-	1			
12		1K P6186	7P-2B10	鋼桁	並	-	0.27	0.26	0.10	0.08	0.29	7.68	橋脚	-	1			
11-12		1K P6188	7P-2B10	鋼桁	並	-	0.21	0.16	0.11	0.08	0.25	7.86	橋脚	-	1			
11-12		1K P6189	7P-2B10	鋼桁	並	-	0.19	0.15	0.07	0.06	0.11	7.96	橋脚	-	1			
11-12		1K P6187	7P-2B10, 7P-2B6	鋼桁	並	-	0.48	0.35	0.12	0.09	0.58	7.52	橋脚	-	1			
12		1K P6150	7P-2B11	鋼桁	並	-	0.15	0.12	0.10	0.06	0.14	7.92	橋脚	-	1			
12		1K P6114	7P-2B12	鋼桁	並	-	0.25	0.22	0.13	0.09	0.34	7.75	橋脚	-	1			
12		1K P6115	7P-2B12	鋼桁	並	-	0.17	0.09	0.08	0.07	0.22	7.87	橋脚	-	1			
12		1K P6116	7P-2B12	鋼桁	並	-	0.31	0.28	0.14	0.13	0.21	7.88	橋脚	-	1			
12		1K P6117	7P-2B12, 17	鋼桁	並	-	0.17	0.17	0.07	0.07	0.15	7.91	橋脚	-	1			
12		1K P6151	7P-2B14	鋼桁	並	-	0.33	0.29	0.24	0.19	0.42	7.69	橋脚	-	1			
12		1K P6152	7P-2B15	鋼桁	並	-	0.26	0.24	0.16	0.13	0.21	7.90	橋脚	-	1			
12		1K P6154	7P-2B15	鋼桁	並	-	0.65	0.55	0.28	0.21	0.44	7.64	橋脚	-	1			
12		1K P6155	7P-2B15	鋼桁	並	-	0.29	0.27	0.08	0.03	0.41	7.70	橋脚	-	1			
12		1K P6156	7P-2B15	鋼桁	並	-	0.24	0.19	0.08	0.07	0.22	7.89	橋脚	-	1			
12		1K P6149	7P-2B19	鋼桁	並	-	0.27	0.20	0.11	0.09	0.48	7.63	橋脚	-	1			
12		1K P6158	7P-2B20	鋼桁	並	-	0.22	0.21	0.07	0.05	0.25	7.85	橋脚	-	1			
12		1K P6159	7P-2B20	鋼桁	並	-	0.29	0.13	0.20	0.09	0.17	7.98	橋脚	-	1			
12		1K P6195	7P-2B21	鋼桁	並	-	0.21	0.16	0.05	0.03	0.18	7.85	橋脚	-	1			
12		1K P6196	7P-2B21	鋼桁	並	-	0.23	0.21	0.06	0.05	0.20	7.81	橋脚	-	1			
12		1K P6195	7P-2B1	鋼桁	並	-	0.25	0.20	0.08	0.06	0.26	7.71	橋脚	-	1			
11-12		1K P6197	7P-2B2	鋼桁	並	-	0.41	0.36	0.15	0.12	0.38	7.72	橋脚	-	1			
11-12		1K P6198	7P-2B2	鋼桁	並	-	0.20	0.16	0.17	0.08	0.01	7.94	橋脚	-	1			
11-12		1K P6200	7P-2B2	鋼桁	並	-	0.18	0.14	0.08	0.05	0.06	7.97	橋脚	-	1			
11-12		1K P6201	7P-2B2	鋼桁	並	-	0.20	0.17	0.07	0.05	0.13	7.87	橋脚	-	1			
11-12		1K P6199	7P-2B8	鋼桁	並	-	0.15	0.13	0.08	0.07	0.08	7.99	橋脚	-	1			
11-12		1K P6201	7P-2B7	鋼桁	並	-	0.24	0.15	0.08	0.06	0.09	7.99	橋脚	-	1			
12		1K P681	7P-3G4	鋼桁	並	-	0.22	0.16	0.11	0.10	0.22	7.79	橋脚	-	1			
12		1K P684	7P-3G4	鋼桁	並	-	0.40	0.20	0.29	0.12	0.11	7.92	橋脚	-	1			
12		1K P686	7P-3G4	鋼桁	並	-	0.29	0.25	0.15	0.13	0.11	7.90	橋脚	-	1			
12		1K P687	7P-3G4	鋼桁	並	-	0.27	0.25	0.17	0.15	0.25	7.75	橋脚	-	1			
12		1K P682	7P-3G4-5	鋼桁	並	-	0.30	0.25	0.12	0.09	0.12	7.90	橋脚	-	1			
12		1K P683	7P-3G4-5	鋼桁	並	-	0.23	0.19	0.08	0.06	0.21	7.80	橋脚	-	1			
12		1K P688	7P-3G4-9	鋼桁	並	-	0.24	0.23	0.13	0.07	0.24	7.78	橋脚	-	1			
12		1K P690	7P-3G5	鋼桁	並	-	0.28	0.27	0.13	0.14	0.68	7.37	橋脚	-	1			
12		1K P691	7P-3G5	鋼桁	並	-	0.27	0.25	0.15	0.14	0.20	7.81	橋脚	-	1			
12		1K P692	7P-3G5	鋼桁	並	-	0.20	0.19	0.10	0.08	0.24	7.78	橋脚	-	1			
12		1K P693	7P-3B1	鋼桁	並	-	0.25	0.20	0.11	0.08	0.32	7.72	橋脚	-	1			
12		1K P6147	7P-3B2	鋼桁	並	-	0.09	0.12										

河川名称	写尺 図号	区	測標名	ブリーフ コード	河川 名称	主軸方位	橋長 (m)			橋高 (m)			橋脚 の 種類	護岸 の 種類	護岸 の 延長 (m)	橋 の 延長 (m)	備考			
							上	下	下	橋脚	橋脚	橋脚								
							延長	幅員	幅員	高さ	高さ	高さ								
27-28-41	13-14-45	216	SD00	70-10A2-180-1A1-6 -11-12-16-17	中野	N13°W	18.63	0.00	6.20	0.21	7.55	-	自衛隊	1	橋					
27-28-41	13-48	216	SD148	80-1A6-11-12	中野	N18°W	1.65	0.50	1.44	0.28	0.21	7.45	-	自衛隊	1	橋	3	162.0		
				70-10A21-22 80-2A2-3-4-7-11- 12-17-22	中野	N12°W	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
27-28-41	13-48	216	SD58	80-2A2-3-4-7-8-13 18-22-24-80-3A4- 9-10-14-15-20- 25-80-2B21	中野	N20°W	32.55	1.25	32.50	0.25	0.68	7.22	-	自衛隊	7	橋	77-79- 81-84- 85	89	11,066.3	
27-28-41	13-48	216	SD176	70-10A16-17-21- 22-80-1A1-2-4-7- 12-17-22-23 80-2A2-3-4-7-13-14 -18-19-24-80-3A4- 5-9-10-15-20	中野	N10°W	(29.28)	1.34	(29.15)	0.45	0.50	7.42	-	建設	2	橋	78-85- 86	47	5,738.0	
27-28-41	13-48	49	216	SD767	80-3A4-9-10-14-15- 16-20-25-80-2B1 80-4B1-6-7-11-12- 17	中野	N20°W N28°W	(15.84)	0.66	-	(0.28)	0.44	7.53	-	自衛隊	2	橋	78	20	3,173.0
27-28-41	13-49	216	SD768	80-3A25-80-2B1- 17	中野	N21°W	(8.40)	0.63	(8.28)	0.35	0.38	7.00	-	自衛隊	3	橋	78-84	28	2,500.0	
27-28-41	35	216	SD167	8N1224-25	中野	N17°W	(0.64)	0.44	(0.64)	0.30	0.25	7.66	-	自衛隊	2	橋				
27-28-41	49	216	SD189	80-1A15	中野	N25°W	(1.34)	0.65	(1.22)	0.23	0.19	7.7	-	建設	3	橋				
27-28-41	49	216	SD225	80-2A9-14-19	中野	N15°W	-	0.47	-	0.30	0.28	7.76	-	平河	1	橋				
27-28-41	13-50	216	SD154	8N1224-25,8N1313 4-8,80-2A21	中野	N72°E	(5.83)	0.53	(5.64)	0.28	0.06	7.90	-	自衛隊	1	橋	7	396.0		
27-28-41	13-50	216	SD155	8N1313-5-8-9 80-3A1-2	中野	N76°E	(7.20)	0.49	(6.81)	0.30	0.41	7.66	-	自衛隊	4	橋				
28-41	50	216	SD898	80-4B1-2-7	中野	N25°W	(1.52)	0.38	(1.35)	0.21	0.21	7.70	-	自衛隊	2	橋	78	1	25.0	
28-41	50	216	SD881	80-4A2-5	中野	N25°E	(3.08)	0.66	(2.85)	0.42	0.41	7.61	-	自衛隊	3	橋	3	30.0		
27	216	PD35	8N1115-20	中野	-	(0.14)	0.66	(0.05)	0.02	0.25	7.56	内	-	1						
27	216	PD7	8N1119	中野	-	0.27	0.25	0.16	0.10	0.23	7.55	内	-	1			22.0			
27	216	PD77	8N1119	中野	-	0.20	0.18	0.10	0.10	0.18	7.56	内	-	1						
27	216	PD77	8N1119	中野	-	(0.24)	0.20	(0.15)	0.10	0.20	7.55	内	-	1						
27	216	PD8	8N1119-20	中野	-	(0.18)	(0.17)	0.07	0.05	0.24	7.53	内	-	1						
27	216	PD9	8N1120	中野	-	0.25	0.20	0.10	0.06	0.26	7.57	内	-	1			41.0			
27	216	PD2	8N1120	中野	-	0.24	0.21	0.12	0.10	0.26	7.54	内	-	1						
27	216	PD10	8N1120,8N1116	中野	-	0.28	0.24	0.15	0.09	0.22	7.59	内	-	1			21.0			
27	216	PD3	8N1120-25	中野	-	0.13	0.12	0.09	0.08	0.11	7.67	内	-	1						
27	216	PD5	8N1120-25	中野	-	0.52	0.46	0.17	0.14	0.44	7.42	内	-	2						
27	216	PD1	8N1124	中野	-	(0.25)	0.18	0.11	0.09	0.12	7.64	内	-	1						
27	216	PD2	8N1125	中野	-	0.35	0.23	0.18	0.15	0.18	7.70	内	-	1						
27	216	PD4	8N1125	中野	-	0.15	0.12	0.09	0.08	0.24	7.57	内	-	1						
27	216	PD5	8N1125	中野	-	0.25	0.23	0.08	0.07	0.33	7.49	内	-	1						
27	216	PD43	8N1125	中野	-	0.20	0.18	0.13	0.09	0.08	7.74	内	-	1						
27	216	PD44	8N1125	中野	-	0.32	0.22	0.22	0.15	0.25	7.51	内	-	1						
27	216	PD45	8N1125	中野	-	0.30	0.23	0.13	0.09	0.36	7.45	内	-	1						
27	216	PD48	8N1125	中野	-	0.17	0.14	0.05	0.03	0.22	7.56	内	-	1						
27	216	PD49	8N1125	中野	-	0.27	0.19	0.16	0.10	0.09	7.71	内	-	1						
27	216	PD45	8N1125,8N1121	中野	-	0.28	0.28	0.13	0.12	0.18	7.63	内	-	1						
27	216	PD32	8N113-8	中野	-	(0.19)	(0.15)	0.07	0.07	0.26	7.65	内	-	1			34.0			
27	216	PD106	8N113,801A1	中野	-	(0.66)	0.29	(0.46)	0.21	0.06	7.77	内	-	1			1	34.0		
27	216	PD18	8N118-7-11-12	中野	-	0.43	0.38	0.16	0.16	0.37	7.50	内	-	1						
27	216	PD21	8N117	中野	-	(0.38)	(0.37)	(0.28)	(0.21)	0.26	7.66	内	-	2						
27	216	PD38	8N117	中野	-	0.22	0.19	0.08	0.07	0.38	7.55	内	-	1						
27	216	PD29	8N117	中野	-	(0.28)	0.23	0.23	0.14	0.13	7.78	内	-	1						
27	216	PD36	8N117	中野	-	(0.19)	(0.10)	(0.12)	(0.06)	0.01	7.81	内	-	1						
27	216	PD23	8N117-8-12-13	中野	-	0.44	0.40	0.20	0.12	0.23	7.69	内	-	2						
27	216	PD27	8N118	中野	-	0.49	0.43	0.08	0.08	0.45	7.44	内	-	1						
27	216	PD31	8N118	中野	-	(0.22)	(0.17)	0.11	0.09	0.38	7.52	内	-	1						
27	216	PD51	8N118	中野	-	(0.40)	(0.32)	(0.20)	(0.17)	0.26	7.64	内	-	1						
27	216	PD52	8N118	中野	-	(0.24)	(0.24)	0.09	0.08	0.47	7.43	内	-	1						
27	216	PD30	8N118-9	中野	-	0.25	0.24	0.09	0.09	0.30	7.59	内	-	1						
27	216	PD103	8N119	中野	-	0.22	0.20	0.09	0.07	0.11	7.77	内	-	1						
27	216	PD104	8N119	中野	-	(0.20)	0.21	0.17	0.15	0.06	7.81	内	-	1						
27	216	PD105	8N119	中野	-	(0.25)	0.29	(0.21)	0.21	0.10	7.76	内	-	1						
27	216	PD109	8N119-14	中野	-	(0.25)	(0.24)	(0.11)	(0.11)	-	-	内	-	1						
27	216	PD17	8N111	中野	-	0.56	0.33	0.11	0.11	0.65	7.21	内	-	1						
27	216	PD13	8N111-16	中野	-	0.26	0.26	0.14	0.09	0.48	7.38	内	-	1						
27	216	PD15	8N112	中野	-	0.52	0.21	0.11	0.09	0.35	7.51	内	-	1						
27	216	PD16	8N112	中野	-	0.30	0.25	0.12	0.10	0.42	7.44	内	-	1						
27	216	PD22	8N112	中野	-	0.33	0.26	0.19	0.13	0.20	7.72	内	-	2						
27	216	PD67	8N112	中野	-	0.56	0.28	0.13	0.13	0.41	7.43	内	-	1						
27	216	PD81	8N112	中野	-	0.35	0.25	0.09	0.07	0.41	7.43	内	-	1						
27	216	PD13	8N112-17	中野	-	0.32	0.29	0.19	0.16	0.28	7.54	内	-	1						
27	216	PD55	8N112-17	中野	-	0.33	0.28	0.15	0.14	0.40	7.46	内	-	1						
27	216	PD59	8N112-17	中野	-	(0.18)	0.27	(0.16)	(0.10)	0.32	7.52	内	-	1						
27	216	PD24	8N112-13	中野	-	0.29	0.22	0.13	0.11	0.17	7.71	内	-	1						
27	216	PD25	8N112-13	中野	-	0.21	0.24	0.08	0.07	0.27	7.61	内	-	1						
27	216	PD30	8N113	中野	-	0.25	0.21	0.15	0.15	0.11	7.78	内	-	1						
27	216	PD68	8N113	中野	-	0.28	0.27	0.10	0.09	0.18	7.70	内	-	1						
27	47	216	PD171	8N113	中野	-	0.46	(0.31)	0.13	0.08	0.37	7.47	内	-	1					
27	47	216	PD66	8N113-14	中野	-	(0.30)	(0.28)	0.13	0.11	0.40	7.44	内	-	1					
27	216	PD98	8N114	中野	-	0.52	0.37	0.38	0.20	0.17	7.68	内	-	1						
27	216	PD99	8N114	中野	-	0.29	0.23	0.10	0.09	0.23	7.62	内	-	1						
27	216	PD107	8N114	中野	-	0.13	0.09	0.09	0.08	0.19	7.50	内	-	1			78			
27	216	PD111	8N116	中野	-	0.29	0.29	0.18	0.15	0.17	7.75	内	-	1						
27	216	PD12	8N116	中野	-	0.22	0.22	0.19	0.19	0.14	7.73	内	-	1						
27	216	PD45	8N116	中野	-	0.28														

国政No.	支庁 国政No.	区 道標記	道路種別	グリッド	区画 番号	用途 種別	幅員(m)			道路 幅員(m)	道路 幅員(m)	道路 幅員(m)	道路 幅員(m)	道路 幅員(m)	備考
							上 幅員	下 幅員	幅員						
27	218	PK630	NN-2124	市街地	0	-	0.32	0.25	0.08	0.31	0.08	0.31	7.66	1	
27	218	PK641	NN-2124,NN-324	市街地	0	-	0.21	0.18	0.08	0.05	0.27	7.72	9	1	
27	218	PK6174	NN-2125	市街地	0	-	0.25	0.24	0.15	0.13	0.16	7.80	9	1	
27	218	PK6175	NN-2125	市街地	0	-	0.27	0.25	0.20	0.19	0.26	7.72	9	1	
27	218	PK6208	NN-323	市街地	0	-	0.42	0.28	0.20	0.17	0.14	7.79	9	1	
27	218	PK630	NN-323	市街地	0	-	0.23	0.19	0.15	0.10	0.12	7.74	9	1	
27	218	PK6173	NN-324	市街地	0	-	0.30	0.37	0.16	0.13	0.28	7.72	9	1	
27	218	PK6179	NN-324	市街地	0	-	0.22	0.22	0.06	0.05	0.28	7.70	9	1	
27	218	PK6180	NN-324	市街地	0	-	0.41	0.34	0.31	0.28	0.14	7.84	9	1	
27	218	PK6211	NN-324	市街地	0	-	0.22	0.14	0.13	0.11	0.28	7.74	9	1	
27	218	PK6234	NN-324	市街地	0	-	0.21	0.18	0.12	0.08	0.14	7.84	9	1	
27	218	PK6236	NN-328,NO-3A1	市街地	0	-	0.32	0.25	0.10	0.09	0.38	7.60	9	1	16.0
27-28	218	PK6543	NN-215-10	市街地	0	-	0.16	0.11	0.09	0.07	0.05	7.95	9	1	
27	218	PK6227	NN-219	市街地	0	-	0.35	0.23	0.17	0.20	0.18	7.76	9	1	
27	218	PK6228	NN-329	市街地	0	-	0.18	0.18	0.10	0.06	0.26	7.70	9	1	
27	218	PK6229	NN-329	市街地	0	-	0.20	0.18	0.12	0.12	0.07	7.89	9	1	
27-28	218	PK6238	NN-310	市街地	0	-	0.39	0.35	0.27	0.25	0.22	7.80	9	1	
27-28	218	PK6239	NN-310	市街地	0	-	0.32	0.24	0.23	0.17	0.24	7.79	9	1	
27-28	218	PK6542	NN-310	市街地	0	-	0.29	0.25	0.15	0.11	0.21	7.79	9	1	
27-28	218	PK6544	NN-310,NO-3A6	市街地	0	-	0.40	0.33	0.29	0.24	0.18	7.84	9	1	
27-28	218	PK6553	NN-310,NO-3A6	市街地	0	-	0.28	0.28	0.13	0.09	0.41	7.62	9	1	
27-28	218	PK6555	NN-314-15	市街地	0	-	0.40	0.30	0.27	0.22	0.38	7.74	9	1	
27-28	218	PK6577	NN-314	市街地	0	-	0.50	0.32	0.25	0.23	0.33	7.66	9	1	
28	218	PK6678	NN-315	市街地	0	-	0.26	0.23	0.15	0.11	0.18	7.75	9	1	
27-28	218	PK6679	NN-315	市街地	0	-	0.36	0.31	0.18	0.13	0.40	7.55	9	1	
28	218	PK6569	NN-215,NO-3A11	市街地	0	-	0.36	0.23	0.20	0.13	0.14	7.87	9	1	
28	218	PK667	NN-219	市街地	0	-	0.40	0.30	0.12	0.08	0.13	7.84	9	1	
27	218	PK6568	NN-220	市街地	0	-	0.43	0.36	0.16	0.13	0.48	7.47	9	1	
28	218	PK6583	NN-220	市街地	0	-	0.52	0.40	0.16	0.15	0.46	7.52	9	1	
28	218	PK6605	NN-410,NO-4B6	市街地	0	-	0.36	0.25	0.14	0.11	0.25	7.88	9	1	
27	218	PK674	NO-1A2	市街地	0	-	0.15	0.13	0.12	0.04	0.08	7.76	9	1	
27	218	PK675	NO-1A2-3	市街地	0	-	0.15	0.22	0.10	0.13	0.09	7.81	9	1	
27	218	PK676	NO-1A3-8	市街地	0	-	0.22	0.20	0.13	0.10	0.15	7.75	9	1	
27	218	PK671	NO-1A6	市街地	0	-	0.24	0.22	0.15	0.09	0.25	7.53	9	1	
27	218	PK673	NO-1A8	市街地	0	-	0.29	0.22	0.24	0.18	0.08	7.80	9	1	
27	218	PK6102	NO-1A6	市街地	0	-	0.21	0.14	0.08	0.06	0.19	7.60	9	1	
27	218	PK6143	NO-1A11	市街地	0	-	0.15	0.12	0.08	0.07	0.19	7.44	9	1	
27	218	PK9123	NO-1A12	市街地	0	-	0.21	0.19	0.13	0.11	0.22	7.43	9	1	
27	218	PK670	NO-1A14	市街地	0	-	0.35	0.29	0.15	0.15	0.18	7.77	9	1	
27	218	PK6295	NO-1A15,NO-1B11	市街地	0	-	0.37	0.28	0.20	0.18	0.14	7.78	9	1	
27	218	PK6211	NO-1A17	市街地	0	-	0.27	0.24	0.12	0.08	0.24	7.52	9	1	
27	218	PK2651	NO-1A17-18	市街地	0	-	0.20	0.11	0.13	0.10	0.07	7.75	9	1	
27	218	PK2652	NO-1A17-18	市街地	0	-	0.27	0.23	0.13	0.11	0.27	7.55	9	1	
27	218	PK2653	NO-1A18	市街地	0	-	0.34	0.26	0.25	0.22	0.14	7.74	9	1	
27	218	PK2654	NO-1A18	市街地	0	-	0.38	0.29	0.30	0.14	0.23	7.70	9	1	
27	218	PK2655	NO-1A18	市街地	0	-	0.22	0.19	0.17	0.13	0.20	7.72	9	1	
27	218	PK2656	NO-1A18	市街地	0	-	0.23	0.10	0.22	0.05	0.41	7.53	9	1	
27	218	PK2658	NO-1A18	市街地	0	-	0.28	0.23	0.23	0.15	0.19	7.65	9	1	
27	218	PK2660	NO-1A18-23	市街地	0	-	0.17	0.16	0.09	0.07	0.08	7.87	9	1	
27	218	PK2680	NO-1A19	市街地	0	-	0.25	0.16	0.14	0.09	0.26	7.67	9	1	
27	218	PK2681	NO-1A19-24	市街地	0	-	0.18	0.12	0.13	0.09	0.31	7.83	9	1	
27	218	PK1142	NO-1A19	市街地	0	-	0.28	0.25	0.11	0.11	0.24	7.62	9	1	
27	218	PK1141	NO-1A21	市街地	0	-	0.40	0.35	0.33	0.24	0.15	7.67	9	1	
27	218	PK6082	NO-1A21	市街地	0	-	0.20	0.17	0.08	0.05	0.09	7.52	9	1	
27	218	PK6083	NO-1A21	市街地	0	-	0.38	0.28	0.15	0.10	0.12	7.50	9	1	
27	218	PK6084	NO-1A21	市街地	0	-	0.32	0.31	0.21	0.15	0.08	7.55	9	1	
27	218	PK6085	NO-1A21	市街地	0	-	0.30	0.24	0.10	0.09	0.16	7.51	9	1	
27	218	PK6086	NO-1A21,NO-2A1	市街地	0	-	0.20	0.17	0.06	0.06	0.14	7.31	9	1	
27	218	PK2659	NO-1A22	市街地	0	-	0.24	0.20	0.12	0.11	0.22	7.71	9	1	
27	218	PK6115	NO-1A22	市街地	0	-	0.29	0.21	0.08	0.05	0.48	7.46	9	1	
27	218	PK6116	NO-1A22	市街地	0	-	0.21	0.18	0.09	0.08	0.38	7.57	9	1	
27	218	PK2661	NO-1A23	市街地	0	-	0.29	0.22	0.15	0.08	0.07	7.87	9	1	
27	218	PK2662	NO-1A23	市街地	0	-	0.18	0.18	0.10	0.09	0.09	7.86	9	1	
27	218	PK2663	NO-1A23	市街地	0	-	0.19	0.16	0.13	0.08	0.08	7.86	9	1	
27	218	PK2664	NO-1A23	市街地	0	-	0.23	0.20	0.20	0.12	0.09	7.85	9	1	
27	218	PK2666	NO-1A23	市街地	0	-	0.21	0.19	0.13	0.12	0.09	7.85	9	1	
27	218	PK2667	NO-1A23	市街地	0	-	0.20	0.15	0.14	0.10	0.13	7.82	9	1	
27	218	PK2668	NO-1A23	市街地	0	-	0.23	0.22	0.31	0.12	0.08	7.88	9	1	
27	218	PK2669	NO-1A23	市街地	0	-	0.24	0.22	0.15	0.12	0.06	7.87	9	1	
27	218	PK2670	NO-1A23	市街地	0	-	0.16	0.14	0.08	0.07	0.09	7.85	9	1	
27	218	PK2671	NO-1A23	市街地	0	-	0.19	0.16	0.06	0.05	0.09	7.85	9	1	
27	218	PK2672	NO-1A23	市街地	0	-	0.26	0.24	0.16	0.13	0.01	7.84	9	1	
27	218	PK2678	NO-1A23	市街地	0	-	0.22	0.18	0.12	0.10	0.19	7.80	9	1	
27	218	PK2683	NO-1A23-24	市街地	0	-	0.20	0.16	0.15	0.12	0.11	7.83	9	1	
27	218	PK2685	NO-1A24	市街地	0	-	0.20	0.20	0.09	0.08	0.25	7.70	9	1	
27	218	PK2686	NO-1A24	市街地	0	-	0.21	0.19	0.12	0.09	0.23	7.73	9	1	
27	218	PK2611	NO-1B11	市街地	0	-	0.18	0.14	0.11	0.09	0.31	7.86	9	1	
27	218	PK26102	NO-1B11	市街地	0	-	0.21	0.15	0.15	0.10	0.16	7.75	9	1	
27	218	PK26103	NO-1B11	市街地	0	-	0.34	0.18	0.21	0.12	0.38	7.52	9	1	
27	218	PK26104	NO-1B11	市街地	0	-	0.21	0.19	0.15	0.10	0.13	7.79	9	1	
27	218	PK26111	NO-1B11	市街地	0	-	0.31	0.30	0.21	0.18	0.20	7.72	9	1	
27	218	PK26107	NO-1B11	市街地	0	-	0.20	0.20	0.14	0.10	0.08	7.84	9	1	
27	218	PK26108	NO-1B16	市街地	0	-	0.23	0.22	0.18	0.16	0.33	7.61	9	1	
27	218	PK26197	NO-1B21,NO-2B1	市街地	0	-	0.21	0.18	0.10	0.10	0.19	7.77	9	1	
27	218	PK26116	NO-1B21	市街地	0	-	0.44	0.38	0.15	0.11	0.32	7.67	9	1	
27	218	PK26111	NO-1B22-23	市街地	0	-	0.47	0.45	0.30	0.27	0.61	7.38	9	1	
27	218	PK26100	NO-1B6-11	市街地	0	-	0.50	0.38	0.37	0.32	0.13	7.79	9	1	
27	218	PK26129	NO-2A1	市街地	0	-	0.38	0.23	0.12	0.11	0.48	7.45	9	1	
27	218	PK2697	NO-2A1	市街地	0	-	0.13	0.15	0.07	0.08	0.19	7.47	9	1	
27	218	PK6172	NO-2A1-6	市街地	0	-	0.36	0.27	0.21	0.18	0.17	7.78	9	1	
27	218	PK6116	NO-2A2	市街地	0	-	0.23	0.20	0.13	0.07	0.15	7.78	9	1	
27	218	PK6117	NO-2A2	市街地	0	-	0.26	0.23	0.17	0.09	0.13	7.80	9	1	
27	218	PK2673	NO-2A3	市街地	0	-</									

別 表

図号No.	写真 図号No.	区	道標No.	グリッド	橋名	構造	主軸方位	橋 長 (m)			橋 高		橋脚 の 種類	橋脚間の 距離	橋 高 差 (m)	橋 高 差 (%)	備 考	
								上 部	下 部	基礎	橋脚 の 高さ	橋 高 差						
								延長	幅員	深さ	平均	最大						
27	2K P6289	80-2A3	中野	南	-	0.20	0.18	0.11	0.11	0.11	0.11	7.84	河	-	-	-	-	
27	2K P6290	80-2A3	中野	南	-	0.17	0.14	0.09	0.06	0.12	0.24	7.84	河	-	-	-	-	
27	2K P6291	80-2A3	中野	南	-	0.17	0.11	0.08	0.05	0.17	7.80	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6292	80-2A3	中野	南	-	0.25	0.23	0.12	0.10	0.30	7.77	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6293	80-2A3-8	中野	南	-	0.33	0.30	0.19	0.15	0.14	7.81	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6294	80-2A4	中野	南	-	0.30	0.21	0.20	0.13	0.13	0.13	7.82	河	河	-	-	-	-
27	2K P6295	80-2A4	中野	南	-	0.25	0.21	0.16	0.09	0.26	7.73	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6193	80-2A6	中野	南	-	0.43	0.32	0.15	0.13	0.20	7.71	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6194	80-2A6	中野	南	-	0.23	0.21	0.17	0.09	0.21	7.69	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6195	80-2A6	中野	南	-	0.29	0.29	0.13	0.11	0.18	7.79	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6198	80-2A6	中野	南	-	0.27	0.22	0.13	0.11	0.33	7.63	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6296	80-2A8	中野	南	-	0.47	0.43	0.15	0.12	0.45	7.51	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6297	80-2A8-9	中野	南	-	0.25	0.21	0.14	0.12	0.25	7.73	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6298	80-2A8	中野	南	-	0.43	0.33	0.31	0.23	0.12	7.66	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6225	80-2A11	中野	南	-	0.20	0.18	0.15	0.10	0.26	7.71	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6244	80-2A11-1E	中野	南	-	0.26	0.20	0.18	0.12	0.20	7.74	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6245	80-2A12	中野	南	-	0.21	0.21	0.13	0.11	0.24	7.69	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6227	80-2A12-1F	中野	南	-	0.21	0.19	0.15	0.10	0.18	7.74	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6313	80-2A13	中野	南	-	0.25	0.20	0.13	0.10	0.22	7.64	河	河	-	1	14.0	-	
27	2K P6062	80-2A13	中野	南	-	0.18	0.15	0.12	0.10	0.06	7.72	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6063	80-2A13-1E	中野	南	-	0.18	0.17	0.14	0.12	0.07	7.68	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6107	80-2A14	中野	南	-	0.40	0.33	0.17	0.13	0.23	7.72	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6326	80-2A14	中野	南	-	0.40	0.32	0.27	0.19	0.13	7.63	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6334	80-2A14-19	中野	南	-	0.43	0.33	0.13	0.11	0.44	7.52	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6323	80-2A15	中野	南	-	0.42	0.31	0.15	0.12	0.40	7.58	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6350	80-2A15-80-2B11	中野	南	-	0.50	0.40	0.22	0.21	0.48	7.52	河	河	-	4	有	-	
27	2K P6340	80-2A16	中野	南	-	0.31	0.17	0.15	0.11	0.14	7.74	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6410	80-2A16	中野	南	-	0.31	0.25	0.18	0.14	0.18	7.76	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6246	80-2A17	中野	南	-	0.32	0.26	0.21	0.17	0.35	7.70	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6247	80-2A17	中野	南	-	0.30	0.11	0.06	0.05	0.03	7.92	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6335	80-2A19	中野	南	-	0.28	0.23	0.15	0.12	0.28	7.69	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6336	80-2A19	中野	南	-	0.30	0.29	0.20	0.18	0.33	7.59	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6337	80-2A19	中野	南	-	0.19	0.18	0.12	0.11	0.13	7.81	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6338	80-2A19	中野	南	-	0.23	0.22	0.14	0.09	0.19	7.75	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6522	80-2A19	中野	南	-	0.23	0.17	0.16	0.13	0.16	7.77	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6523	80-2A19	中野	南	-	0.33	0.28	0.27	0.22	0.14	7.79	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6339	80-2A20	中野	南	-	0.18	0.17	0.12	0.11	0.14	7.80	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6329	80-2A20	中野	南	-	0.32	0.29	0.20	0.18	0.40	7.55	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6360	80-2A20	中野	南	-	0.33	0.32	0.09	0.07	0.46	7.49	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6068	80-2A20	中野	南	-	0.18	0.18	0.10	0.10	0.21	7.74	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6386	80-2A20-25	中野	南	-	0.21	0.17	0.14	0.11	0.21	7.62	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6387	80-2A20-25	中野	南	-	0.23	0.23	0.13	0.08	0.13	7.75	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6389	80-2A20-25	中野	南	-	0.22	0.22	0.12	0.09	0.28	7.66	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6391	80-2A20-25	中野	南	-	0.34	0.30	0.21	0.20	0.29	7.64	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6238	80-2A21	中野	南	-	0.34	0.26	0.21	0.18	0.22	7.77	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6243	80-2A21	中野	南	-	0.19	0.18	0.10	0.09	0.21	7.79	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6240	80-2A21	中野	南	-	0.24	0.17	0.12	0.10	0.17	7.63	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6248	80-2A21-22	中野	南	-	0.25	0.22	0.08	0.06	0.29	7.51	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6384	80-2A24	中野	南	-	0.24	0.15	0.11	0.09	0.35	7.56	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6385	80-2A24	中野	南	-	0.22	0.17	0.12	0.07	0.24	7.69	河	河	-	-	-	-	
28	2K P6456	80-2A24	中野	南	-	0.19	0.18	0.07	0.06	0.16	7.72	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6456	80-2A24	中野	南	-	0.17	0.15	0.08	0.06	0.19	7.62	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6457	80-2A24	中野	南	-	0.20	0.20	0.09	0.09	0.30	7.54	河	河	-	-	-	-	
28	2K P6452	80-2A24-25-80-3A4 5	中野	南	-	0.36	0.34	0.13	0.09	0.23	7.67	河	河	-	1	24.0	-	
27-28	2K P6390	80-2A25	中野	南	-	0.25	0.24	0.08	0.08	0.17	7.76	河	河	-	-	-	-	
28	2K P6392	80-2A25	中野	南	-	0.31	0.31	0.19	0.17	0.08	7.84	河	河	-	-	-	-	
28	2K P6393	80-2A25	中野	南	-	0.38	0.33	0.24	0.23	0.22	7.70	河	河	-	1	21.0	-	
28	2K P6450	80-2A25	中野	南	-	0.18	0.18	0.12	0.10	0.07	7.83	河	河	-	-	-	-	
28	2K P6451	80-2A25	中野	南	-	0.22	0.20	0.13	0.11	0.12	7.78	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6524	80-2A25	中野	南	-	0.27	0.26	0.15	0.14	0.40	7.53	河	河	-	-	-	-	
28	2K P6492	80-2A25-80-3A5	中野	南	-	0.45	0.32	0.19	0.14	0.48	7.45	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6314	80-2B1	中野	南	-	0.26	0.22	0.19	0.14	0.08	7.90	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6312	80-2B2	中野	南	-	0.42	0.41	0.36	0.31	0.18	7.83	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6329	80-2B2-3	中野	南	-	0.24	0.20	0.13	0.10	0.26	7.75	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6330	80-2B2-3-7-8	中野	南	-	0.36	0.34	0.24	0.21	0.19	7.73	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6290	80-2B6	中野	南	-	0.30	0.23	0.15	0.14	0.24	7.75	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6321	80-2B6	中野	南	-	0.31	0.28	0.19	0.13	0.33	7.64	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6322	80-2B6	中野	南	-	0.23	0.18	0.09	0.06	0.44	7.56	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6430	80-2B6	中野	南	-	0.28	0.26	0.18	0.10	0.18	7.81	河	河	-	-	-	-	
27	2K P6332	80-2B6	中野	南	-	0.25	0.20	0.13	0.12	0.38	7.64	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6328	80-2B8	中野	南	-	0.21	0.20	0.14	0.10	0.22	7.78	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6343	80-2B11	中野	南	-	0.45	0.31	0.14	0.13	0.29	7.69	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6344	80-2B11	中野	南	-	0.42	0.40	0.32	0.25	0.14	7.84	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6351	80-2B11	中野	南	-	0.23	0.22	0.12	0.10	0.44	7.54	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6436	80-2B11-12	中野	南	-	0.30	0.20	0.16	0.10	0.16	7.72	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6342	80-2B11-12-16-17	中野	南	-	0.36	0.33	0.21	0.20	0.48	7.50	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6342	80-2B11-16	中野	南	-	0.43	0.31	0.25	0.23	0.47	7.52	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6352	80-2B12	中野	南	-	0.29	0.26	0.18	0.15	0.43	7.56	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6323	80-2B12-17	中野	南	-	0.22	0.20	0.12	0.07	0.22	7.76	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6354	80-2B12-17	中野	南	-	0.67	0.46	0.32	0.26	0.45	7.54	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6364	80-2B13	中野	南	-	0.26	0.25	0.18	0.15	0.26	7.72	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6365	80-2B13	中野	南	-	0.35	0.34	0.27	0.21	0.18	7.80	河	河	-	-	-	-	
27-28	2K P6366	80-2B13	中野	南	-	0.36	0.28	0.15	0.14	0.43	7.54	河	河	-	-	-	-	
28	2K P6367	80-2B13	中野	南	-	0.22	0.20	0.14	0.13	0.20	7.75	河	河	-	-	-	-	
28	2K P6373	80-2B13	中野	南	-													

別 表

国庫No.	写尺 図紙No.	区	道標名	グリッド	橋名	用途	主軸方位	橋 長 (m)				橋脚 間隔		橋脚 の 種類	橋脚 間隔 の 種類	橋脚 の 高さ (点)	橋脚 の 高さ (m)	備 考
								上 部		下 部		中心	長さ					
								長	幅	長	幅							
28	21K P6738	80-3A8	中野	西	-	0.19	0.18	0.12	0.11	0.15	7.51	河内	-	1				
28	21K P6807	80-3A10	中野	西	-	0.53	0.30	0.30	0.19	0.23	7.07	河内	-	1				
28	21K P6858	80-3A10	中野	西	-	0.25	0.30	0.20	0.16	0.09	7.80	河内	-	1				
28	21K P6865	80-3A10	中野	西	-	0.42	0.34	0.22	0.12	0.30	7.59	河内	-	1	前	5	114.0	
28	21K P6866	80-3A10	中野	西	-	0.28	0.36	0.18	0.14	0.13	7.75	河内	-	1				
28	21K P6887	80-3A10	中野	西	-	0.30	0.29	0.18	0.17	0.18	7.71	河内	-	2				
28	21K P6898	80-3A10	中野	西	-	0.30	0.29	0.22	0.15	0.16	7.72	河内	-	2				
28	21K P6901	80-3A10	中野	西	-	0.21	0.15	0.11	0.06	0.15	7.73	河内	-	1				
28	21K P6746	80-3A10	中野	西	-	0.20	0.17	0.11	0.09	0.16	7.74	河内	-	1				
28	21K P6900	80-3A10,80-3B6	中野	西	-	0.23	0.16	0.09	0.03	0.09	7.79	河内	-	1				
28	21K P6981	80-3A10-15	中野	西	-	0.25	0.23	0.17	0.18	0.16	7.71	河内	-	1				
28	21K P6970	80-3A11	中野	西	-	0.41	0.30	0.16	0.12	0.31	7.71	河内	-	2				
28	21K P6971	80-3A11	中野	西	-	0.28	0.26	0.05	0.20	0.50	7.50	河内	-	2				
28	21K P6972	80-3A11	中野	西	-	0.25	0.24	0.17	0.15	0.33	7.69	河内	-	1	前			
28	21K P6973	80-3A11	中野	西	-	0.16	0.14	0.11	0.10	0.12	7.89	河内	-	1				
28	21K P6923	80-3A11-16	中野	西	-	0.30	0.24	0.15	0.12	0.49	7.50	河内	-	1				
28	21K P6974	80-3A12	中野	西	-	0.40	0.30	0.30	0.15	0.30	7.08	河内	-	2				
28	21K P6976	80-3A12	中野	西	-	0.39	0.35	0.13	0.10	0.42	7.66	河内	-	1	前			
28	21K P6977	80-3A12	中野	西	-	0.32	0.29	0.21	0.18	0.33	7.64	河内	-	2				
28	21K P6978	80-3A12	中野	西	-	0.24	0.22	0.17	0.12	0.11	7.81	河内	-	1				
28	21K P6982	80-3A12-17	中野	西	-	0.31	0.30	0.12	0.07	0.48	7.48	河内	-	1				
28	21K P6979	80-3A13	中野	西	-	0.19	0.16	0.08	0.07	0.07	7.82	河内	-	1				
28	21K P6980	80-3A13	中野	西	-	0.55	0.49	0.11	0.05	0.48	7.43	河内	-	2				
28	21K P6981	80-3A13	中野	西	-	0.27	0.22	0.18	0.14	0.18	7.76	河内	-	1				
28	21K P6913	80-3A13-18	中野	西	-	0.30	0.25	0.16	0.12	0.17	7.74	河内	-	1				
28	21K P6933	80-3A13-18	中野	西	-	0.29	0.23	0.18	0.14	0.14	7.80	河内	-	1				
28	21K P6974	80-3A14	中野	西	-	0.20	0.18	0.12	0.08	0.14	7.56	河内	-	1				
28	21K P6981	80-3A14	中野	西	-	0.14	0.21	0.10	0.09	0.17	7.71	河内	-	1	前	1	24.0	
28	21K P6908	80-3A15	中野	西	-	0.31	0.23	0.12	0.09	0.32	7.66	河内	-	1				
28	21K P6924	80-3A15,80-3B11	中野	西	-	0.47	0.34	0.20	0.16	0.18	7.69	河内	-	1	前			
28	21K P6915	80-3A16	中野	西	-	0.24	0.21	0.18	0.14	0.15	7.83	河内	-	1				
28	21K P6916	80-3A16	中野	西	-	0.25	0.23	0.14	0.12	0.26	7.75	河内	-	1				
28	21K P6917	80-3A16	中野	西	-	0.25	0.23	0.16	0.10	0.39	7.54	河内	-	1				
28	21K P6918	80-3A16	中野	西	-	0.30	0.29	0.13	0.11	0.17	7.60	河内	-	1	前			
28	21K P6919	80-3A16	中野	西	-	0.27	0.21	0.14	0.11	0.11	7.81	河内	-	1				
28	21K P6920	80-3A16	中野	西	-	0.43	0.32	0.13	0.08	0.43	7.54	河内	-	2				
28	21K P6922	80-3A16	中野	西	-	0.25	0.20	0.19	0.17	0.01	7.87	河内	-	2				
28	21K P6928	80-3A16-21	中野	西	-	0.29	0.25	0.23	0.17	0.30	7.84	河内	-	1				
28	21K P6925	80-3A17	中野	西	-	0.20	0.18	0.13	0.09	0.12	7.66	河内	-	1				
28	21K P6926	80-3A17	中野	西	-	0.26	0.25	0.21	0.16	0.18	7.80	河内	-	1				
28	21K P6927	80-3A17	中野	西	-	0.24	0.24	0.15	0.10	0.22	7.75	河内	-	1				
28	21K P6928	80-3A17	中野	西	-	0.29	0.28	0.28	0.19	0.27	7.69	河内	-	1				
28	21K P6929	80-3A17	中野	西	-	0.22	0.21	0.15	0.14	0.26	7.68	河内	-	1				
28	21K P6942	80-3A17	中野	西	-	0.44	0.36	0.25	0.20	0.13	7.81	河内	-	1	前			
28	21K P6930	80-3A17-18	中野	西	-	0.35	0.32	0.18	0.14	0.33	7.61	河内	-	1				
28	21K P6932	80-3A18	中野	西	-	0.26	0.23	0.18	0.14	0.28	7.66	河内	-	1				
28	21K P6934	80-3A18	中野	西	-	0.40	0.35	0.31	0.24	0.28	7.66	河内	-	2				
28	21K P6936	80-3A18	中野	西	-	0.21	0.17	0.12	0.10	0.13	7.79	河内	-	1				
28	21K P6937	80-3A18-22	中野	西	-	0.17	0.16	0.10	0.08	0.09	7.83	河内	-	1				
28	21K P6952	80-3A18	中野	西	-	0.25	0.20	0.18	0.12	0.16	7.87	河内	-	1				
28	21K P6959	80-3A20,80-3B16	中野	西	-	0.29	0.25	0.17	0.15	0.25	7.49	河内	-	2				
28	21K P6939	80-3A21	中野	西	-	0.70	0.48	0.17	0.12	0.57	7.38	河内	-	2	前	1	141.0	
28	21K P6947	80-3A21	中野	西	-	0.65	0.23	0.52	0.17	0.48	7.49	河内	-	3	前	2	46.0	
28	21K P6941	80-3A22	中野	西	-	0.26	0.24	0.13	0.12	0.01	7.85	河内	-	1	前			
28	21K P6943	80-3A23	中野	西	-	0.38	0.28	0.16	0.13	0.14	7.81	河内	-	1	前	1	97.0	
28	21K P6948	80-3A25	中野	西	-	0.29	0.27	0.15	0.12	0.23	7.72	河内	-	1				
28	21K P6949	80-3A25	中野	西	-	0.19	0.17	0.07	0.07	0.08	7.85	河内	-	1	前	1	24.0	
28	21K P6943	80-3B1	中野	西	-	0.43	0.26	0.20	0.15	0.33	7.59	河内	-	1				
28	21K P6944	80-3B1	中野	西	-	0.29	0.25	0.19	0.18	0.21	7.68	河内	-	1				
28	21K P6946	80-3B1-2	中野	西	-	0.20	0.20	0.10	0.07	0.14	7.78	河内	-	1				
28	21K P6979	80-3B1	中野	西	-	0.30	0.30	0.24	0.18	0.17	7.74	河内	-	1				
28	21K P6948	80-3B2	中野	西	-	0.40	0.30	0.19	0.09	0.41	7.49	河内	-	2				
28	21K P6917	80-3B2-7.8	中野	西	-	0.45	0.20	0.22	0.14	0.42	7.47	河内	-	1				
28	21K P6971	80-3B3	中野	西	-	0.30	0.13	0.11	0.07	0.18	7.72	河内	-	1				
28	21K P6972	80-3B3	中野	西	-	0.28	0.22	0.17	0.10	0.20	7.70	河内	-	1				
28	21K P6974	80-3B4	中野	西	-	0.24	0.21	0.12	0.10	0.36	7.53	河内	-	1				
28	21K P6976	80-3B4	中野	西	-	0.33	0.27	0.22	0.19	0.23	7.65	河内	-	1				
28	21K P6978	80-3B4	中野	西	-	0.28	0.24	0.16	0.14	0.29	7.61	河内	-	1				
28	21K P6979	80-3B4	中野	西	-	0.25	0.20	0.13	0.09	0.17	7.78	河内	-	1				
28	21K P6980	80-3B4	中野	西	-	0.29	0.27	0.14	0.14	0.45	7.46	河内	-	1				
28	21K P6982	80-3B4-5	中野	西	-	0.33	0.32	0.18	0.16	0.47	7.45	河内	-	1				
28	21K P6975	80-3B4-9	中野	西	-	0.38	0.31	0.11	0.11	0.33	7.56	河内	-	1				
28	21K P6982	80-3B5	中野	西	-	0.22	0.22	0.08	0.05	0.13	7.76	河内	-	1				
28	21K P6984	80-3B5	中野	西	-	0.24	0.21	0.16	0.12	0.19	7.74	河内	-	1				
28	21K P6987	80-3B5	中野	西	-	0.19	0.19	0.11	0.10	0.28	7.65	河内	-	1				
28	21K P6988	80-3B5	中野	西	-	0.20	0.19	0.17	0.13	0.01	7.81	河内	-	1				
28	21K P6909	80-3B5	中野	西	-	0.48	0.36	0.29	0.17	0.49	7.43	河内	-	1				
28	21K P6919	80-3B5,80-3C1	中野	西	-	0.33	0.23	0.18	0.08	0.56	7.36	河内	-	1				
28	21K P6971	80-3B5,80-3C1	中野	西	-	0.27	0.31	0.19	0.16	0.39	7.53	河内	-	1				
28	21K P6910	80-3B6	中野	西	-	0.23	0.19	0.09	0.07	0.11	7.77	河内	-	1				
28	21K P6911	80-3B6	中野	西	-	0.25	0.25	0.17	0.17	0.09	7.79	河内	-	1				
28	21K P6910	80-3B8-11	中野	西	-	0.15	0.15	0.18	0.13	0.14	7.64	河内	-	1	前			
28	21K P6914	80-3B7	中野	西	-	0.29	0.26	0.12	0.11	0.31	7.57	河内	-	1				
28	21K P6916	80-3B7	中野	西	-	0.25	0.24	0.14	0.11	0.21	7.67	河内	-	1				
28	21K P6918	80-3B7	中野	西	-	0.44	0.27	0.27	0.16	0.47	7.41	河内	-	1	前	2	396.0	

区画No.	Written 区画No.	区	道幅No.	グリッド	区画 No.	用途 主方向	幅 度 (m)				道 幅 (m)		道幅 の割合	建築物の 敷地面積 (㎡)	道幅 の割合 (%)	道 幅 (m)	備 考	
							上 層		下 層		道幅 の割合	平均 道幅						
							長軸	短軸	長軸	短軸								
28	2A	P653	80-389	00	00	N	-	0.30	0.24	0.30	0.24	0.099	7.70	内街	-	1		
28	2A	P667	80-389-10	00	00	N	-	0.20	0.20	0.15	0.12	0.14	7.60	内街	-	1		
28	2A	P635	80-3810	00	00	N	-	0.29	0.25	0.15	0.12	0.14	7.75	内街	-	1		
28	2A	P636	80-3810	00	00	N	-	0.23	0.26	0.12	0.09	0.25	7.67	内街	-	1		
28	2A	P668	80-3810	00	00	N	-	0.19	0.18	0.13	0.11	0.14	7.70	内街	-	1		
28	2A	P684	80-3810,80-3838	00	00	N	-	0.22	0.19	0.08	0.08	0.27	7.61	内街	-	1		
28	2A	P669	80-3810-15	00	00	N	-	0.25	0.23	0.16	0.14	0.44	7.45	内街	-	1		
28	2A	P636	80-3812	00	00	N	-	0.44	0.33	0.13	0.13	0.23	7.65	内街	-	1		
28	2A	P657	80-3812	00	00	N	-	0.44	0.30	0.28	0.19	0.33	7.75	内街	-	1		
28	2A	P691	80-3812	00	00	N	-	0.28	0.28	0.19	0.19	0.35	7.72	内街	-	1		
28	2A	P690	80-3812-17	00	00	N	-	0.45	0.35	0.17	0.12	0.57	7.31	内街	-	1	第 35	
28	2A	P658	80-3813	00	00	N	-	0.21	0.17	0.10	0.08	0.19	7.68	内街	-	1		
28	2A	P692	80-3813	00	00	N	-	0.30	0.27	0.15	0.11	0.42	7.45	内街	-	1	第 38	
28	2A	P676	80-3813-18	00	00	N	-	0.35	0.26	0.17	0.14	0.51	7.36	内街	-	1		
28	2A	P693	80-3814	00	00	N	-	0.46	0.33	0.28	0.16	0.17	7.60	内街	-	1		
28	2A	P694	80-3814	00	00	N	-	0.27	0.23	0.17	0.13	0.15	7.70	内街	-	1		
28	2A	P695	80-3814	00	00	N	-	0.23	0.29	0.14	0.13	0.47	7.42	内街	-	2		
28	2A	P678	80-3814	00	00	N	-	0.44	0.35	0.23	0.19	0.41	7.45	内街	-	1		
28	2A	P679	80-3814-15	00	00	N	-	0.27	0.23	0.14	0.10	0.49	7.40	内街	-	1		
28	2A	P678	80-3814-19	00	00	N	-	0.32	0.29	0.18	0.14	0.38	7.51	内街	-	1		
28	2A	P670	80-3815	00	00	N	-	0.25	0.22	0.15	0.15	0.17	7.72	内街	-	1		
28	2A	P671	80-3815	00	00	N	-	0.29	0.25	0.14	0.09	0.38	7.62	内街	-	1		
28	2A	P676	80-3815	00	00	N	-	0.20	0.15	0.11	0.09	0.15	7.28	内街	-	1		
28	2A	P612	80-3815	00	00	N	-	0.18	0.16	0.09	0.08	0.22	7.68	内街	-	1	第 1	
28	2A	P673	80-3815,80-3811	00	00	N	-	0.06	0.45	0.23	0.19	0.56	7.39	内街	-	1		
28	2A	P681	80-3816	00	00	N	-	0.17	0.16	0.07	0.07	0.15	7.71	内街	-	1		
28	2A	P684	80-3816	00	00	N	-	0.38	0.35	0.22	0.20	0.35	7.64	内街	-	1	第 1	
28	2A	P685	80-3816-21	00	00	N	-	0.32	0.32	0.20	0.12	0.21	7.65	内街	-	1	第 2 125.0	
28	2A	P670	80-3817	00	00	N	-	0.18	0.17	0.07	0.06	0.27	7.52	内街	-	1		
28	2A	P671	80-3817-18	00	00	N	-	0.28	0.23	0.08	0.05	0.23	7.66	内街	-	1		
28	2A	P672	80-3818	00	00	N	-	0.31	0.28	0.17	0.16	0.49	7.49	内街	-	1		
28	2A	P675	80-3818	00	00	N	-	0.44	0.30	0.21	0.06	0.29	7.59	内街	-	1		
28	2A	P676	80-3818	00	00	N	-	0.29	0.17	0.13	0.10	0.30	7.57	内街	-	1		
28	2A	P681	80-3818	00	00	N	-	0.21	0.16	0.08	0.06	0.25	7.64	内街	-	1		
28	2A	P674	80-3819	00	00	N	-	0.39	0.30	0.15	0.12	0.40	7.49	内街	-	1		
28	2A	P675	80-3819	00	00	N	-	0.31	0.29	0.20	0.19	0.18	7.70	内街	-	1		
28	2A	P678	80-3819	00	00	N	-	0.21	0.21	0.11	0.10	0.34	7.57	内街	-	1		
28	2A	P676	80-3819-20	00	00	N	-	0.22	0.22	0.16	0.15	0.38	7.54	内街	-	1		
28	2A	P670	80-3819-24	00	00	N	-	0.25	0.21	0.15	0.12	0.27	7.82	内街	-	1		
28	2A	P671	80-3820	00	00	N	-	0.28	0.27	0.16	0.13	0.32	7.58	内街	-	2		
28	2A	P673	80-3820	00	00	N	-	0.23	0.22	0.16	0.14	-	-	内街	-	1		
28	2A	P638	80-3820	00	00	N	-	0.26	0.26	0.18	0.15	0.28	7.62	内街	-	1		
28	2A	P674	80-3820,80-3816	00	00	N	-	0.25	0.20	0.13	0.11	-	-	内街	-	1		
28-37	40	2A	P675	80-3820,80-3816	00	00	N	-	0.30	0.27	0.19	0.10	0.25	7.66	内街	-	1	
28	2A	P616	80-3821	00	00	N	-	0.37	0.34	0.24	0.19	0.29	7.56	内街	-	1	第 2 81.0	
28	2A	P637	80-3821	00	00	N	-	0.19	0.16	0.08	0.06	0.16	7.69	内街	-	1		
28	2A	P692	80-3821	00	00	N	-	0.42	0.27	0.23	0.15	0.37	7.49	内街	-	1		
28	2A	P695	80-3821	00	00	N	-	0.29	0.23	0.14	0.09	0.15	7.68	内街	-	1		
28	2A	P613	80-3822	00	00	N	-	0.30	0.28	0.20	0.14	0.14	7.72	内街	-	1		
28	2A	P638	80-3822	00	00	N	-	0.22	0.19	0.10	0.08	0.11	7.75	内街	-	1		
28	2A	P683	80-3823	00	00	N	-	0.33	0.29	0.18	0.13	0.34	7.51	内街	-	2		
28	2A	P684	80-3823	00	00	N	-	0.41	0.35	0.19	0.16	0.51	7.35	内街	-	1		
28	2A	P686	80-3823	00	00	N	-	0.26	0.25	0.13	0.11	0.35	7.52	内街	-	1		
28	2A	P687	80-3823	00	00	N	-	0.27	0.23	0.14	0.10	0.57	7.30	内街	-	1		
28	2A	P692	80-3823	00	00	N	-	0.25	0.21	0.12	0.11	0.16	7.72	内街	-	1		
28	2A	P688	80-3823-24	00	00	N	-	0.32	0.29	0.14	0.10	0.30	7.61	内街	-	2		
28	2A	P681	80-3823-24	00	00	N	-	0.30	0.28	0.29	0.17	0.25	7.81	内街	-	1		
28	2A	P689	80-3824	00	00	N	-	0.32	0.30	0.18	0.17	0.46	7.42	内街	-	2	第 1 27.0	
28	2A	P6810	80-3824	00	00	N	-	0.24	0.24	0.15	0.13	0.46	7.40	内街	-	2		
28	2A	P681	80-3824	00	00	N	-	0.30	0.14	0.15	0.08	0.26	7.60	内街	-	1		
28	2A	P644	80-3824	00	00	N	-	0.30	0.23	0.17	0.15	0.38	7.56	内街	-	1		
28	2A	P616	80-3824-25	00	00	N	-	0.40	0.20	0.25	0.15	0.48	7.28	内街	-	1		
28	2A	P617	80-3825	00	00	N	-	0.45	0.34	0.22	0.20	0.32	7.56	内街	-	1		
28	2A	P618	80-3825	00	00	N	-	0.26	0.26	0.18	0.16	0.14	7.75	内街	-	1		
28	2A	P620	80-3825	00	00	N	-	0.72	0.47	0.09	0.07	0.29	7.65	内街	-	1		
28	2A	P621	80-3825	00	00	N	-	0.25	0.23	0.16	0.13	0.18	7.70	内街	-	1		
28	2A	P622	80-3825	00	00	N	-	0.49	0.33	0.17	0.16	0.68	7.20	内街	-	2		
28	46	2A	P635	80-3825,80-3821, 80-4885,80-3821	00	00	N	-	0.52	0.40	0.20	0.15	0.67	7.23	内街	-	1	
28	2A	P647	80-3826	00	00	N	-	0.23	0.22	0.12	0.06	0.20	7.73	内街	-	1		
28	40	2A	P648	80-3826	00	00	N	-	0.48	0.31	0.10	0.10	0.68	7.26	内街	-	1	
28	40	2A	P650	80-3826	00	00	N	-	0.38	0.27	0.14	0.10	0.43	7.50	内街	-	1	
28	2A	P652	80-3826	00	00	N	-	0.21	0.12	0.13	0.09	0.36	7.58	内街	-	1		
28	2A	P630	80-3826	00	00	N	-	0.23	0.19	0.12	0.12	0.20	7.69	内街	-	1		
28	2A	P636	80-3826	00	00	N	-	0.19	0.13	0.06	0.05	0.27	7.65	内街	-	1		
28	2A	P672	80-3826-2	00	00	N	-	0.24	0.24	0.13	0.11	0.22	7.66	内街	-	1		
28	2A	P631	80-3827-2-6-7	00	00	N	-	0.34	0.32	0.28	0.18	0.21	7.73	内街	-	1		
28	2A	P651	80-3827-6	00	00	N	-	0.20	0.20	0.11	0.10	0.14	7.81	内街	-	1		
28	40	2A	P653	80-3828	00	00	N	-	0.46	0.18	0.18	0.12	0.39	7.55	内街	-	3	
28	2A	P673	80-3828	00	00	N	-	0.26	0.26	0.17	0.14	0.19	7.74	内街	-	1		
28	2A	P674	80-3828	00	00	N	-	0.21	0.18	0.14	0.11	0.25	7.66	内街	-	1		
28	2A	P675	80-3828	00	00	N	-	0.40	0.38	0.17	0.18	0.53	7.43	内街	-	1	第 1	
28	2A	P676	80-3828	00	00	N	-	0.27	0.23	0.11	0.10	0.29	7.67	内街	-	1		
28	2A	P677	80-3828	00	00	N	-	0.35	0.34	0.20	0.17	0.19	7.78	内街	-	1		
28	2A	P625	80-3828	00	00	N	-	0.29	0.27	0.13	0.13	0.38	7.58	内街	-	1		
28	2A	P629	80-3828	00	00	N	-	0.36	0.25	0.15	0.09	0.21	7.76	内街	-	1		
28																		

河川 区画 No.	河川 No.	区 画 No.	橋名	架り方	橋 種	主筋 方向	橋 長 (m)				橋 高 (m)		橋 脚 の 種類	橋脚 の 種類	橋 脚 の 高さ (m)	橋 脚 の 基礎 (m)	備 考		
							上 下		下 下		橋脚 の 高さ	橋脚 の 基礎							
							長	幅	長	幅									
28	218	P870	NO-4A17-28	中	平	-	0.13	0.22	0.13	0.13	0.13	7.70	河	-	1				
28	218	P880	NO-4B1	中	平	-	0.34	0.25	0.20	0.07	0.13	7.77	河	-	1				
28	218	P894	NO-4B2	中	平	-	0.38	0.29	0.23	0.11	0.17	7.72	河	-	1	72.0			
28	218	P920	NO-4B2	中	平	-	0.37	0.37	0.18	0.16	0.31	7.07	河	-	1				
28	218	P936	NO-4B2-7	中	平	-	0.56	0.45	0.27	0.20	0.38	7.50	河	-	1				
28	218	P940	NO-4B3	中	平	-	0.22	0.21	0.13	0.11	0.33	7.56	河	-	1				
28-38	44	218	P943	NO-4B3	中	平	-	0.33	0.23	0.17	0.14	0.27	7.60	河	池	宇	1		
28	218	P930	NO-4B3-4	中	平	-	0.67	0.58	0.27	0.27	0.44	7.41	河	-	4	1	4,250.0		
28	218	P940	NO-4B4	中	平	-	0.20	0.18	0.12	0.08	0.35	7.51	河	-	1				
28	218	P946	NO-4B4	中	平	-	0.23	0.25	0.16	0.14	0.08	8.29	7.60	河	-	1			
28	218	P947	NO-4B5	中	平	-	0.99	0.49	0.27	0.20	0.53	7.35	河	池	池	2			
28	218	P948	NO-4B5	中	平	-	0.30	0.30	0.21	0.19	0.12	7.78	河	-	1				
28	218	P950	NO-4B5	中	平	-	0.29	0.27	0.18	0.16	0.23	7.61	河	-	1				
28	218	P954	NO-4B5, NO-4C1	中	平	-	0.47	0.28	0.32	0.24	0.31	7.27	河	-	2	池	池		
28	218	P993	NO-4B6-11	中	平	-	0.42	0.31	0.17	0.13	0.44	7.50	河	池	池	-			
28	218	P994	NO-4B6-11	中	平	-	0.58	0.40	0.34	0.12	0.43	7.51	河	池	池	-			
28	218	P997	NO-4B6-7	中	平	-	0.55	0.21	0.13	0.13	0.17	7.25	河	-	1				
28-39	45	218	P995	NO-4B6-7	中	平	-	0.19	0.13	0.09	0.08	0.13	7.64	河	池	池	-		
28-39	46	218	P989	NO-4B7	中	平	-	0.75	0.69	0.30	0.12	0.36	7.54	河	-	2	池	75.0	
28	218	P967	NO-4B7-12	中	平	-	0.27	0.24	0.13	0.11	0.29	7.66	河	-	1				
28	218	P968	NO-4B7-12	中	平	-	0.24	0.22	0.13	0.13	0.48	7.40	河	-	1				
28-39	44-45	218	P990	NO-4B7-4	中	平	-	0.60	0.62	0.33	0.25	0.47	7.42	河	-	2			
28	218	P901	NO-4B8	中	平	-	0.40	0.36	0.25	0.24	0.41	7.47	河	-	2				
28	218	P940	NO-4B8	中	平	-	0.22	0.22	0.14	0.09	0.22	7.62	河	-	1				
28	218	P969	NO-4B8	中	平	-	0.27	0.24	0.17	0.14	0.19	7.68	河	-	1				
28	218	P943	NO-4B9	中	平	-	0.41	0.40	0.19	0.17	0.48	7.44	河	-	1				
28	218	P944	NO-4B9-10	中	平	-	0.32	0.20	0.20	0.17	0.11	7.85	河	-	1				
28	218	P852	NO-4B10	中	平	-	0.32	0.16	0.13	0.10	0.22	7.76	河	-	1				
28-39	46	218	P953	NO-4B10	中	平	-	0.34	0.29	0.14	0.13	0.39	7.50	河	-	1			
28	218	P948	NO-4B11	中	平	-	0.29	0.13	0.18	0.07	0.18	7.57	河	-	1				
28	218	P970	NO-4B11	中	平	-	0.22	0.22	0.12	0.12	0.13	7.84	河	-	1				
28	218	P961	NO-4B12	中	平	-	0.30	0.26	0.17	0.17	0.01	7.56	河	-	1				
28	218	P978	NO-4B12	中	平	-	0.35	0.23	0.15	0.15	0.14	7.56	河	-	1				
28	218	P945	NO-4B13-17	中	平	-	0.29	0.23	0.13	0.13	0.17	7.52	河	-	1				
28-41	49	218	P963	NO-4B13	中	平	-	0.56	0.53	0.34	0.29	0.47	7.51	河	-	1	池	719.0	
28	218	P646	NO-3A25, NO-3A21	中	平	-	0.47	0.44	0.34	0.32	0.50	7.47	河	-	1				
28	218	P640	NO-3A17-22	中	平	-	0.44	0.28	0.26	0.17	0.39	7.57	河	-	2				
28	218	P635	NO-3A18	中	平	-	0.25	0.23	0.22	0.18	0.29	7.55	河	-	2	池	65.0		
28-41	48	218	P630	NO-3A19	中	平	-	0.30	0.25	0.17	0.15	0.34	7.48	河	-	2			
28	218	P693	NO-3A15	中	平	-	0.42	0.35	0.14	0.13	0.44	7.43	河	池	池	-			
28	218	P695	NO-3B11	中	平	-	0.45	0.41	0.30	0.25	0.53	7.53	河	-	2				
28	218	P640	NO-3A22	中	平	-	0.59	0.40	0.19	0.16	0.42	7.53	河	-	2				
28	218	P643	NO-3A19-24	中	平	-	0.40	0.20	0.15	0.13	0.29	7.51	河	-	1	池	298.0		
28	218	P680	NO-3A30, NO-3B16	中	平	-	0.54	0.42	0.22	0.19	0.60	7.35	河	-	2				
28	218	P689	NO-3B7	中	平	-	0.40	0.35	0.14	0.14	0.42	7.45	河	-	2	池	706.0		
28	218	P655	NO-4A2-3	中	平	-	0.52	0.44	0.20	0.14	0.38	7.59	河	-	2				
28	218	P658	NO-4A3-4	中	平	-	0.54	0.40	0.15	0.13	0.48	7.56	河	-	2				
28	218	P691	NO-4A5	中	平	-	0.35	0.33	0.18	0.15	0.56	7.35	河	-	1				
28	218	P688	NO-3B21	中	平	-	0.63	0.53	0.18	0.14	0.52	7.36	河	-	2	池	119.0		
28	218	P694	NO-3B22	中	平	-	0.46	0.41	0.22	0.17	0.33	7.30	河	-	1				
28	218	P648	NO-4A8-13	中	平	-	0.50	0.48	0.22	0.19	0.44	7.53	河	-	1				
28-41	218	P665	NO-4A9	中	平	-	0.58	0.38	0.21	0.15	0.54	7.42	河	-	3				
28	218	P691	NO-4B3	中	平	-	0.40	0.32	0.20	0.20	0.45	7.47	河	池	池	池	池	池	
28	218	P690	NO-4B2-3	中	平	-	0.37	0.36	0.15	0.12	0.59	7.30	河	-	2				
28	218	P663	NO-3A13	中	平	-	0.75	0.52	0.34	0.30	0.49	7.43	河	-	1				
28	218	P646	NO-4A10-15	中	平	-	0.42	0.40	0.17	0.16	0.42	7.40	河	-	1				
28-39	45	218	P697	NO-4B6-7	中	平	-	0.55	0.48	0.35	0.19	0.41	7.45	河	-	2			
27	218	P6122	KN-1225	中	平	-	0.34	0.30	0.29	0.27	0.48	7.47	河	-	1				
27	218	P6144	KN-1A17-22	中	平	-	0.42	0.41	0.53	0.31	0.42	7.52	河	-	1				
27	218	P6257	KN-1A18	中	平	-	0.37	0.30	0.36	0.18	0.40	7.51	河	-	1				
27	218	P6282	KN-1A20	中	平	-	0.58	0.43	0.20	0.16	0.28	7.66	河	池	池	2			
27	218	P6164	KN-2A1	中	平	-	0.43	0.38	0.23	0.19	0.49	7.44	河	-	1	池	80.0		
27	218	P6147	KN-1A22, NO-2A2	中	平	-	0.34	0.32	0.16	0.14	0.56	7.43	河	-	1				
27	218	P6284	KN-1A22-3A	中	平	-	0.35	0.30	0.19	0.19	0.37	7.57	河	-	1				
27	218	P6287	KN-1A25	中	平	-	0.45	0.45	0.27	0.25	0.32	7.64	河	-	1				
27	218	P669	KN-1A14-15	中	平	-	0.38	0.32	0.20	0.19	0.39	7.44	河	-	1				
27	218	P6100	KN-1A4-9	中	平	-	0.34	0.32	0.12	0.10	0.47	7.36	河	-	1				
27	218	P6125	KN-1A3, NO-1A1	中	平	-	0.31	0.25	0.25	0.11	0.43	7.36	河	-	1				
27	218	P6147	KN-1A15	中	平	-	0.19	0.15	0.10	0.09	0.20	7.27	河	池	池	1			
27	218	P6108	KN-1A11	中	平	-	0.25	0.25	0.11	0.10	0.39	7.37	河	-	1	池			
27	218	P6146	KN-1A10	中	平	-	0.28	0.25	0.12	0.11	0.48	7.24	河	-	1				
27	218	P672	KN-1A6	中	平	-	0.27	0.26	0.11	0.09	0.41	7.41	河	-	1				
27	218	P6138	KN-2A4	中	平	-	0.28	0.27	0.15	0.12	0.32	7.63	河	-	1				
27	218	P6196	KN-1A25	中	平	-	0.24	0.20	0.13	0.09	0.19	7.76	河	池	池	1			
27	218	P6221	KN-2A10	中	平	-	0.22	0.17	0.13	0.09	0.17	7.80	河	池	池	1			
27	218	P6228	KN-2A6	中	平	-	0.21	0.21	0.12	0.10	0.43	7.53	河	-	1				
27	218	P6142	KN-2A4-9	中	平	-	0.25	0.25	0.12	0.10	0.37	7.37	河	-	1				
27	218	P6162	KN-2A5	中	平	-	0.40	0.35	0.14	0.13	0.33	7.61	河	-	1				
27	218	P6142	KN-2A4	中	平	-	0.27	0.26	0.19	0.18	0.17	7.84	河	-	1				
27	218	P6235	KN-3A5	中	平	-	0.45	0.39	0.11	0.09	0.26	7.72	河	池	池	1			
27-28	218	P657	KN-3A14-15	中	平	-	0.40	0.35	0.13	0.13	0.31	7.67	河	-	2				
27-28	218	P6540	KN-3A10	中	平	-	0.42	0.34	0.18	0.12	0.43	7.61	河	池	池	1			
27	218	P6141	KN-3A10	中	平	-	0.27	0.21	0.16	0.11	0.46	7.55	河	-	1				
27-28	218	P648	KN-2A24	中	平	-	0.35	0.32	0.25	0.22	0.37	7.53	河	-	1				
28	218	P949	NO-2A24-25	中	平	-	0.29	0.26	0.11	0.11	0.32	7.56	河	-	1				
28	218	P946	NO-2A25	中	平	-	0.24	0.22	0.15	0.13	0.27	7.64	河	-	1				
28	218	P9																	

国線No.	管内 線No.	区	通稱	グリッド	代	用途	主軸方位	規格 (mm)			線路 種類	電 圧	電 力	電 力 供給	電 力 供給 所	電 力 供給 所 の 種 別	電 力 供給 所 の 名	電 力 供給 所 の 座 標	電 力 供給 所 の 緯 度	電 力 供給 所 の 経 度	備 考				
								上	下	端															
								長	幅	幅															
50	3	SA105	SP-889		中	電	N-43-E	0.27	0.28	0.13	0.07	7.43	河	-	-	-	-	-	-	-	-				
50	52	SA245	SP-4820		中	電	N-20-W	(1.75) 0.42	-	-	0.42	7.18	河	-	-	-	-	-	-	-	-				
53	3	SA50	7Q-322		中	電	N-9-E	0.43	0.24	0.28	0.15	0.25	7.70	河内	-	-	-	-	-	-	-	-			
53	3	SA50	7Q-322-23		中	電	N-30-W	(0.31) 0.29	0.08	0.08	0.07	0.41	7.54	河内	-	3	有	8.0	-	-	-	-			
53	3	SA58	7Q-3223		中	電	N-4-E	0.39	0.28	0.08	0.08	0.33	7.02	河内	-	-	-	-	-	-	-	-			
53	3	SA58	7Q-3223-23		中	電	N-55-W	0.45	0.28	0.14	0.10	0.35	7.01	河内	-	-	-	-	-	-	-	-			
47-50	60-61	SA253	SP-671-2-6-7		中	電	N-17-E	(1.06) 0.74	(1.86) 0.24	0.74	0.08	0.74	7.08	河	-	V	字	6	-	-	-	-			
47-50	61	SA256	SP-671-18		中	電	N-82-W	(1.75) 0.64	(1.58) 0.31	0.28	0.78	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-			
48-50	61	SA254	SP-6D19-20* 25.5P-8E16-21		中	電	N-80-W	(2.47) 1.37	(2.47) 0.73	0.90	0.92	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-			
48-50	61-62	SA228	SP-7C13-5P-7D2-6-7-11-12		中	電	N-79-W	-	-	(4.92) 0.87	(4.92) 0.23	0.85	7.12	河	-	V	字	6	-	-	-	-			
48-60	61-62	SA3227	SP-7C13-5P-7D11-13		中	電	N-80-W	(4.74) 1.21	(4.74) 0.63	0.58	0.90	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-			
48-60	62	SA2258	SP-8D14-15		中	電	N-90-W	(1.55) 0.28	(1.42) 0.25	0.06	0.71	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-			
48-60	62	SA2211	SP-8C1-3-6-9-13-14		中	電	N-71-W	(6.23) 2.22	(6.23) 1.27	0.63	0.80	-	-	-	河	-	V	字	6	有	1	364.0			
49-66	62	SA2188	SP-10B-11-12-14		中	電	N-18-E	(2.30) 1.80	(2.30) 0.37	0.71	0.84	-	-	-	河	-	V	字	6	有	89	3	136.0		
49-60	62	SA2178	SP-119-14		中	電	N-10-E	(2.23) 0.35	1.74	0.18	0.29	7.26	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-		
49-61	63	SA2166	SP-121-22.6P-3C1-2		中	電	N-81-W	(2.53) 0.68	(2.53) 0.31	0.37	0.26	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-			
49-61	63	SA2162	SP-2G2-7-12		中	電	N-8-E	(2.73) 0.53	(2.73) 0.33	0.31	0.70	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-			
49-61	63	SA2162	SP-2G13-14-18-19		中	電	N-36-E	-	-	0.98	-	0.35	0.67	0.90	河	-	V	字	6	有	89	-	-		
50-61	63-64	SA2180	SP-4B25-6P-4B21-22-6P-4B1-2-3		中	電	N-67-W N-20-E	(4.95) 1.36	(4.83) 1.13	0.41	2.90	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-			
50-62	64	SA2186	SP-5A13-18-19		中	電	N-32-E	(1.68) 2.33	(1.68) 0.98	0.75	1.13	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-			
50-62	64	SA2187	SP-5A14-8-13		中	電	N-30-E	(4.15) (1.16)	(4.15) 0.56	0.64	7.03	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-			
50-55	63	SA2186	SP-5E24-25.6P-6H4-5,6P-6J1		中	電	N-68-W	(3.40) 0.90	(3.40) 0.48	0.28	7.43	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-			
51-62	64-65	SA2181	SP-6D17-22-23-24-25.6P-7A-5		中	電	N-71-W	(6.59) 1.34	(6.59) 0.43	0.40	7.41	-	-	-	河	-	V	字	6	有	89	-	-		
51-62	65	SA2176	6Q-8A7-8-12-13		中	電	N-35-E	(2.14) 0.80	(2.14) 0.44	0.27	7.63	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-			
52-62	65-66	SA2184	6Q-10C18-22-23-24-25		中	電	N-32-E	(4.49) 0.68	(4.49) 0.46	0.30	7.86	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-			
52-62	66	SA2183	7Q-2D13-14-19		中	電	N-36-W	2.50	0.26	2.42	0.14	0.04	7.83	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-	
53-62	66	SA2181	7Q-3E21-22.7Q-4E2-3-8-9-14-15-20		中	電	N-43-W N-63-E	-	0.43	-	0.29	0.10	7.87	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-	
51-63	66-67	SA2071	6Q-8A18-19-20* 25.6Q-8B16-21-25.6Q-9A5,9A6,9A7,9A8,9A9,9A10 2-6-11		中	電	N-8-E N-55-W	-	0.97	-	0.57	0.40	7.60	-	-	-	河	-	V	字	6	有	79-89	3	908.0
52-63	67-68	SA2046	6Q-10B10-15-20.6Q-10C6-11-16		中	電	N-32-E	(2.13) 2.27	(2.13) 0.58	0.47	7.90	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-	-		
52-63	67-68	SA2057	6Q-10B10-15-20.6Q-10C6-11-16		中	電	N-41-E	-	-	(2.00) 0.68	0.55	7.35	-	-	-	河	-	V	字	6	有	79-79	7	862.0	
52-63	67-68	SA2058	6Q-10B9-10-14-15		中	電	N-35-E	(2.02) (1.22)	(2.02) 0.40	0.38	7.59	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-	-		
53-63	67-68	SA2059	6Q-10B4-5-9-10-14-15		中	電	N-20-E	(2.03) 1.71	(2.03) 0.40	0.70	7.20	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-	-		
52-63	67-68	SA2060	6Q-8B2.6Q-10B3-4-9		中	電	N-35-E	(2.02) 1.36	(2.02) 0.30	0.53	7.55	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-	-		
47	3	SA236	SP-5C21-6P-8C1		中	電	N	-	(0.22) 0.11	(0.17) 0.06	0.07	7.14	-	-	-	河	-	V	字	6	-	-	-		
47	3	SA237	SP-7C10		中	電	N	-	(0.20) 0.28	(0.08) 0.06	0.27	6.97	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
47	3	SA238	SP-6C12		中	電	N	-	0.21	0.15	0.13	0.10	0.39	6.94	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
47	3	SA237	SP-7C10		中	電	N	-	0.21	0.18	0.09	0.07	0.15	7.11	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA241	SP-7D18		中	電	N	-	0.25	0.16	0.14	0.13	0.11	7.06	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA240	SP-7D16-17		中	電	N	-	0.24	0.18	0.15	0.10	0.14	7.02	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA236	SP-7D17		中	電	N	-	(0.22) 0.26	0.17	0.15	0.27	6.87	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA239	SP-7D21-22		中	電	N	-	0.17	0.15	0.11	0.09	0.07	7.06	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2120	SP-9E12-13		中	電	N	-	0.33	0.26	0.12	0.10	0.17	7.21	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2109	SP-9E12		中	電	N	-	0.23	0.10	0.08	0.07	0.09	7.29	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2107	SP-9E18		中	電	N	-	(0.20) 0.08	(0.13) 0.03	0.06	7.77	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2105	SP-9E19-24		中	電	N	-	(0.23) 0.22	0.15	0.10	0.08	7.23	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2106	SP-9E23		中	電	N	-	0.28	0.17	0.18	0.08	0.29	7.13	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2101	SP-9E24		中	電	N	-	(0.23) 0.20	0.15	0.09	0.27	7.18	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2102	SP-9E24		中	電	N	-	(0.21) 0.20	0.11	0.09	0.06	7.24	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2104	SP-9E24		中	電	N	-	0.23	0.17	0.11	0.10	0.09	7.29	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2100	SP-9E24, SP-10E4		中	電	N	-	0.27	0.19	0.16	0.12	0.19	7.21	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48-54	3	SA2103	SP-9E25		中	電	N	-	(0.20) 0.24	(0.09) 0.08	0.15	7.25	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2106	SP-9E25, SP-10E5		中	電	N	-	0.23	0.18	0.14	0.12	0.20	7.13	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2101	SP-10E5		中	電	N	-	0.27	0.19	0.15	0.11	0.14	7.28	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2108	SP-10E5		中	電	N	-	0.35	0.29	0.19	0.12	0.09	7.30	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2100	SP-10E10		中	電	N	-	(0.26) 0.21	0.16	0.11	0.03	7.36	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2105	SP-10E10, SP-10E6		中	電	N	-	0.26	0.23	0.15	0.10	0.18	7.25	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2107	SP-10E17		中	電	N	-	0.24	0.19	0.15	0.10	0.15	7.21	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2106	SP-10E17-22		中	電	N	-	0.21	0.17	0.14	0.08	0.10	7.28	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2184	SP-10E22		中	電	N	-	0.17	0.15	0.11	0.07	0.04	7.36	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2183	SP-10E23		中	電	N	-	0.32	0.27	0.25	0.19	0.10	7.30	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2185	SP-10E23		中	電	N	-	0.28	0.25	0.17	0.12	0.28	7.12	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2121	SP-10E23		中	電	N	-	0.24	0.18	0.19	0.12	0.09	7.28	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2220	SP-10E23		中	電	N	-	0.28	0.24	0.24	0.19	0.10	7.29	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2221	SP-10E23		中	電	N	-	0.22	0.18	0.17	0.13	0.06	7.31	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2222	SP-10E23		中	電	N	-	(0.30) 0.23	(0.21) 0.13	0.13	0.13	0.24	7.48	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2223	SP-10E23		中	電	N	-	0.19	0.17	0.07	0.05	0.01	7.27	河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	3	SA2224	SP-10E23																						

別 表

河川No.	支川No.	区	橋脚名	ダリッド	橋式	構造	主筋方位	橋 脚 (m)				橋脚間の 中心距離	橋脚 高さ	橋脚の 種類	橋脚間の 距離	橋脚 の 高さ	橋脚 の 種類	備 考
								上 部	下 部	橋脚 長さ	橋脚 高さ							
49	3	1	1P100	6P-2519	鋼桁	Ⅴ	-	0.13	0.25	0.14	0.13	0.21	7.25	Ⅴ	-	2		
49	3	1	1P101	6P-2519	鋼桁	Ⅴ	-	0.33	0.29	0.23	0.13	0.14	7.26	Ⅴ	-	1		
49	3	1	1P104	6P-2502	鋼桁	Ⅴ	-	0.29	0.24	0.15	0.07	0.42	7.02	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	60	3	1P148	6P-2524	鋼桁	Ⅴ	-	0.30	0.26	0.06	0.06	0.36	7.09	Ⅴ	Ⅴ	-	4	
49	3	1	1P149	6P-2524,6P-3624	鋼桁	Ⅴ	-	0.23	0.23	0.14	0.09	0.13	7.30	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	3	1	1P147	6P-2524-25	鋼桁	Ⅴ	-	0.30	0.29	0.15	0.10	0.26	7.22	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	3	1	1P144	6P-2525	鋼桁	Ⅴ	-	0.19	0.10	0.08	0.08	0.11	7.35	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	3	1	1P195	6P-2525	鋼桁	Ⅴ	-	0.14	0.14	0.05	0.04	0.27	7.18	Ⅴ	Ⅴ	-	-	
49	3	1	1P103	6P-2507	鋼桁	Ⅴ	-	0.24	0.22	0.12	0.11	0.31	7.12	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	3	1	1P101	6P-2507	鋼桁	Ⅴ	-	0.33	0.27	0.20	0.20	0.26	7.15	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	3	1	1P100	6P-2508	鋼桁	Ⅴ	-	0.17	0.16	0.10	0.07	0.30	7.14	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	3	1	1P103	6P-2508	鋼桁	Ⅴ	-	0.18	0.09	0.03	0.03	0.13	7.29	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49-56	3	1	1P106	6P-2508-13	鋼桁Ⅴ	Ⅴ	-	0.50	0.18	0.08	0.07	0.22	7.17	Ⅴ	Ⅴ	-	2	
49	3	1	1P208	6P-2508-13	鋼桁	Ⅴ	-	0.22	0.18	0.08	0.06	0.30	7.01	Ⅴ	Ⅴ	-	1	79-80
49	3	1	1P173	6P-2512,6P-3811	鋼桁	Ⅴ	-	0.31	0.23	0.19	0.15	0.14	7.32	Ⅴ	Ⅴ	-	2	
49	3	1	1P145	6P-3624-5	鋼桁	Ⅴ	-	0.16	0.14	0.09	0.06	0.13	7.30	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	3	1	1P141	6P-3625	鋼桁	Ⅴ	-	0.16	0.15	0.05	0.04	0.15	7.25	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	3	1	1P143	6P-3625	鋼桁	Ⅴ	-	0.21	0.16	0.09	0.09	0.11	7.33	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	3	1	1P193	6P-3625	鋼桁	Ⅴ	-	0.20	0.16	0.09	0.09	0.09	7.33	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	3	1	1P132	6P-3811	鋼桁	Ⅴ	-	0.22	0.19	0.06	0.03	0.14	7.33	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	3	1	1P139	6P-3811	鋼桁	Ⅴ	-	0.16	0.15	0.10	0.08	0.10	7.37	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	3	1	1P172	6P-3811	鋼桁	Ⅴ	-	0.27	0.23	0.13	0.11	0.18	7.31	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	3	1	1P130	6P-3811-2	鋼桁	Ⅴ	-	0.27	0.21	0.09	0.05	0.13	7.38	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P120	6P-3811	鋼桁	Ⅴ	-	0.31	0.28	0.20	0.18	0.21	7.25	Ⅴ	Ⅴ	-	1	1
50	3	1	1P121	6P-3811	鋼桁	Ⅴ	-	0.21	0.16	0.10	0.05	0.01	7.40	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P122	6P-3811	鋼桁	Ⅴ	-	0.24	0.16	0.15	0.11	0.12	7.35	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P118	6P-3811-16	鋼桁	Ⅴ	-	0.23	0.19	0.10	0.03	0.10	7.21	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P116	6P-3817	鋼桁	Ⅴ	-	0.38	0.30	0.19	0.17	0.21	7.27	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P117	6P-3817	鋼桁	Ⅴ	-	0.26	0.24	0.14	0.14	0.19	7.32	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P118	6P-3817	鋼桁	Ⅴ	-	0.26	0.22	0.20	0.15	0.13	7.38	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P123	6P-3812,6P-4813	鋼桁	Ⅴ	-	0.28	0.24	0.13	0.14	0.17	7.12	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	3	1	1P128	6P-3816	鋼桁	Ⅴ	-	0.27	0.24	0.10	0.08	0.17	7.29	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	3	1	1P127	6P-3816-7	鋼桁	Ⅴ	-	0.23	0.15	0.08	0.07	0.14	7.39	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	3	1	1P129	6P-3817	鋼桁	Ⅴ	-	0.20	0.13	0.07	0.03	0.13	7.37	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	3	1	1P109	6P-4813	鋼桁	Ⅴ	-	0.23	0.23	0.12	0.08	0.22	7.31	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
49	3	1	1P110	6P-4813	鋼桁	Ⅴ	-	0.20	0.13	0.07	0.04	0.24	7.31	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P111	6P-4814	鋼桁	Ⅴ	-	0.34	0.23	0.07	0.06	0.24	7.28	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P108	6P-4818-9	鋼桁	Ⅴ	-	0.30	0.30	0.18	0.16	0.26	7.29	Ⅴ	Ⅴ	-	2	
50	3	1	1P107	6P-4819	鋼桁	Ⅴ	-	0.22	0.20	0.12	0.11	0.49	7.51	Ⅴ	Ⅴ	-	1	28
50	3	1	1P127	6P-4819	鋼桁	Ⅴ	-	0.19	0.19	0.09	0.07	0.42	7.67	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50-59	60	3	1P135	6P-4819-10	鋼桁	Ⅴ	-	0.28	0.24	0.11	0.09	0.46	7.03	Ⅴ	Ⅴ	-	4	
50	3	1	1P208	6P-4814-15	鋼桁	Ⅴ	-	0.23	0.23	0.21	0.09	0.07	7.47	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P195	6P-4815	鋼桁	Ⅴ	-	0.30	0.20	0.10	0.09	0.11	7.43	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P199	6P-4815	鋼桁	Ⅴ	-	0.30	0.27	0.18	0.11	0.17	7.40	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P192	6P-4815-20	鋼桁	Ⅴ	-	0.27	0.22	0.13	0.10	0.22	7.22	Ⅴ	Ⅴ	-	2	
50	3	1	1P193	6P-4820	鋼桁	Ⅴ	-	0.30	0.27	0.17	0.12	0.18	7.38	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P133	6P-4820,6P-4816	鋼桁	Ⅴ	-	0.38	0.26	0.17	0.15	0.35	7.18	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P131	6P-4816	鋼桁	Ⅴ	-	0.31	0.28	0.21	0.19	0.19	7.33	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P102	6P-4821	鋼桁	Ⅴ	-	0.22	0.22	0.16	0.11	0.17	7.34	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P102	6P-4821	鋼桁	Ⅴ	-	0.44	0.29	0.32	0.19	0.15	7.33	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P190	6P-582	鋼桁	Ⅴ	-	0.28	0.27	0.22	0.18	0.34	7.10	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P123	6P-582	鋼桁	Ⅴ	-	0.20	0.16	0.12	0.11	0.28	7.09	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P124	6P-582	鋼桁	Ⅴ	-	0.19	0.16	0.08	0.06	0.14	7.28	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
50	3	1	1P198	6P-588	鋼桁	Ⅴ	-	0.35	0.32	0.23	0.20	0.49	7.03	Ⅴ	Ⅴ	-	3	
51	3	1	1P183	6P-6111	鋼桁	Ⅴ	-	0.25	0.22	0.13	0.09	0.26	7.32	Ⅴ	Ⅴ	-	2	
51	3	1	1P182	6P-612	鋼桁	Ⅴ	-	0.26	0.26	0.17	0.13	0.24	7.38	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
51	3	1	1P190	6P-7215	鋼桁	Ⅴ	-	0.24	0.20	0.13	0.09	0.13	7.67	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
51	3	1	1P179	6P-7215,6P-7A11	鋼桁	Ⅴ	-	0.37	0.22	0.16	0.06	0.30	7.48	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
51	3	1	1P177	6P-7A21	鋼桁	Ⅴ	-	0.31	0.30	0.22	0.18	0.37	7.44	Ⅴ	Ⅴ	-	2	
51	3	1	1P175	6P-8A12	鋼桁	Ⅴ	-	0.28	0.26	0.16	0.15	0.66	7.19	Ⅴ	Ⅴ	-	2	
51	3	1	1P174	6P-8A14-19	鋼桁	Ⅴ	-	0.32	0.30	0.17	0.15	0.45	7.45	Ⅴ	Ⅴ	-	3	
51	3	1	1P173	6P-8A19	鋼桁	Ⅴ	-	0.16	0.16	0.11	0.07	0.10	7.75	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
51	3	1	1P172	6P-8B16	鋼桁	Ⅴ	-	0.23	0.20	0.12	0.10	0.14	7.66	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
51	3	1	1P181	6P-8B12	鋼桁	Ⅴ	-	0.24	0.17	0.11	0.07	0.13	7.84	Ⅴ	Ⅴ	-	2	
51	3	1	1P186	6P-8B12	鋼桁	Ⅴ	-	0.17	0.16	0.09	0.09	0.12	7.66	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
51	3	1	1P189	6P-9B12	鋼桁	Ⅴ	-	0.18	0.15	0.07	0.07	0.23	7.72	Ⅴ	Ⅴ	-	2	
52	3	1	1P183	6P-9B23	鋼桁	Ⅴ	-	0.24	0.23	0.13	0.11	0.30	7.66	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
52	3	1	1P184	6P-9B23	鋼桁	Ⅴ	-	0.20	0.17	0.09	0.08	0.17	7.79	Ⅴ	Ⅴ	-	2	
52	3	1	1P185	6P-9B23	鋼桁	Ⅴ	-	0.24	0.18	0.14	0.09	0.17	7.80	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
52	3	1	1P182	6P-9B24	鋼桁	Ⅴ	-	0.21	0.15	0.11	0.09	0.11	7.81	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
52	3	1	1P185	6P-10B20	鋼桁	Ⅴ	-	0.29	0.22	0.13	0.10	0.15	7.76	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
52	3	1	1P181	6P-10B4	鋼桁	Ⅴ	-	0.20	0.18	0.11	0.09	0.19	7.70	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
52	3	1	1P178	6P-10B9	鋼桁	Ⅴ	-	0.16	0.13	0.08	0.06	0.14	7.71	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
52	3	1	1P166	6P-10C11	鋼桁	Ⅴ	-	0.18	0.15	0.12	0.08	0.18	7.78	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
52	3	1	1P147	6P-10C16	鋼桁	Ⅴ	-	0.20	0.16	0.10	0.09	0.17	7.77	Ⅴ	Ⅴ	-	2	
52	3	1	1P184	6P-10C16	鋼桁	Ⅴ	-	0.28	0.23	0.12	0.08	0.20	7.70	Ⅴ	Ⅴ	-	2	
52-59	60	3	1P169	7P-201-1	鋼桁	Ⅴ	-	0.23	0.30	0.18	0.18	0.14	7.72	Ⅴ	Ⅴ	-	4	
52	3	1	1P138	7P-201-2	鋼桁	Ⅴ	-	0.12	0.15	0.08	0.07	0.11	7.79	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
52	3	1	1P135	7P-201-3	鋼桁	Ⅴ	-	0.43	0.26	0.15	0.12	0.30	7.58	Ⅴ	Ⅴ	-	1	
52	3	1	1P134	7P-201-7	鋼桁	Ⅴ	-	0.23	0.16	0.12	0.09	0.30	7.60	Ⅴ	Ⅴ	-	2	
52	3	1	1P132	7P-201-8	鋼桁	Ⅴ	-	0.31	0.24	0.11	0.09	0.37						

国庫 No.	写 真 No.	区	遺構名	グリッド	年代	用途	主軸方位	敷 地 (m)				延 び		遺物の 種類	遺物の 数量	遺物の 状態	備 考	
								上 端		下 端		長さ	幅					
								北緯	東経	北緯	東経							
53	3A P630	7Q-304-5	中世	西	-	0.33	0.27	0.51	0.21	0.33	7.60	横形	-	2				
53	3A P621	7Q-309	中世	西	-	0.26	0.25	0.15	0.15	0.34	7.57	内形	-	3				
53	3A P623	7Q-309	中世	西	-	0.24	0.22	0.14	0.13	0.40	7.50	内形	-	3				
53	3A P617	7Q-3E10	中世	西	-	0.18	0.15	0.06	0.05	0.13	7.79	内形	-	1				
53	3A P615	7Q-3E10	中世	西	-	0.23	0.14	0.10	0.05	0.22	7.81	内形	-	2				
53	3A P613	7Q-3E2-23	中世	西	-	0.25	0.18	0.13	0.06	0.19	7.76	横形	-	2				
53	3A P65	7Q-4E10	中世	西	-	0.22	0.21	0.06	0.05	0.23	7.66	内形	-	1				
53	3A P66	7Q-4E10	中世	西	-	0.25	0.13	0.10	0.06	0.06	7.81	内形	-	2				
53	3A P63	7Q-4E14	中世	西	-	0.22	0.19	0.14	0.09	0.25	7.71	内形	-	1				
53	3A P611	7Q-4E3	中世	西	-	0.18	0.13	0.09	0.06	0.14	7.83	横形	-	1				
53	3A P612	7Q-4E3	中世	西	-	0.23	0.22	0.12	0.09	0.23	7.74	内形	-	1				
53	3A P642	7Q-4E3-4	中世	西	-	0.22	0.17	0.14	0.12	0.15	7.80	内形	-	2				
53	3A P610	7Q-4E4	中世	西	-	0.20	0.10	0.08	0.04	0.11	7.94	内形	-	1				
53	3A P69	7Q-4E9	中世	西	-	0.27	0.24	0.13	0.08	0.13	7.95	内形	-	1				
53	3A P641	7Q-4E9	中世	西	-	0.14	0.06	0.05	0.02	0.04	7.89	-	-	3				
53	3A P67	7Q-4E9-10	中世	西	-	0.32	0.24	0.14	0.12	0.25	7.67	内形	-	2				
53	3A P68	7Q-4E9-10-14-15	中世	西	-	0.27	0.26	0.18	0.12	0.46	7.45	内形	-	1				
68-72	69-70	4A SK14	70-4825,70-4921,70-7F1	中世	西	-	0.82	0.37	0.17	0.23	0.29	7.29	内形	半円状	-	1		
68-72	70	4A SK11	70-8F30	中世	西	N31 W	0.83	0.44	0.25	0.16	0.69	7.16	内形	半円状	-	1		
68-72	70	4A SK10	70-8F25	中世	西	-	0.44	0.26	0.20	0.24	0.16	7.74	内形	横状	-	1		
69-72	70	4A SK3	80-122,80-133	中世	西	N10 E	0.72	0.52	0.52	0.21	0.17	7.03	横形	横状	7	89	1	730.0
69	4A SK5	70-10R18	中世	西	N77 W	0.56	0.28	0.45	0.21	0.09	7.52	横形	横状	-	1			
69-72	70	4A SK39	6N-713-14-18-19	中世	西	-	-	-	-	-	0.15	7.32	-	-	2			
69-72	70	4A SK44	6N-5823,6N-614-4	中世	西	N30 W	1.88	0.50	1.98	0.38	0.12	7.34	横形	横状	-	1		
70-74	74	4A SK40	80-220-25,80-211-21,22,80-31,2	中世	西	N 2 W	2.55	1.83	0.60	0.48	0.39	6.98	横形	横状	2	89	1	730.0
69-72	71	4A SK43	6N-6H10-15-20	中世	西	N 9 E	1.43	1.28	1.13	0.54	0.52	7.22	-	内形	横状	-	1	
69-72	71	4A SK41	6N-621-22,6N-712	中世	西	-	2.69	0.84	2.30	0.77	0.07	7.45	-	横状	1			
69-73	71	4A SK40	80-127,8-12-14	中世	西	N67 E	1.86	1.25	1.86	0.51	0.45	7.34	-	横状	2			
69-73	71	4A SK38	6N-618-23-24,6N-623-4	中世	西	N 7 W	2.31	1.08	2.31	0.53	0.53	7.05	-	内形	横状	8	89	
67-73	72	4A SK33	80-18A14-19-20-24	中世	西	N35 W	2.53	0.57	2.55	0.51	0.09	7.41	-	横状	1			
67-73	72	4A SK32	70-187-12	中世	西	-	-	-	-	-	0.39	7.18	-	-	5			
67-73	72	4A SK30	70-1813-18-23	中世	西	N 3 W	2.47	1.11	2.47	0.53	0.44	7.31	-	内形	横状	5		
67-73	72	4A SK46	70-1822-24,70-280-4	中世	西	N89 W	1.61	1.51	1.61	1.00	0.18	7.68	-	内形	横状	5		
67-73	72	4A SK29	70-1823-24,70-280-4-5	中世	西	N82 W	1.75	1.30	1.75	0.58	0.30	7.40	-	横状	2			
67-73	72	4A SK28	70-284-5-8-10	中世	西	N55 E	1.25	1.28	1.25	0.83	0.21	7.46	-	横状	3			
67-73	72	4A SK23	70-2R10	中世	西	N90 W	1.15	0.30	1.08	0.17	0.40	7.44	-	内形	横状	1		
67-73	73	4A SK18	70-3C3-8	中世	西	N 4 E	1.85	1.02	1.85	0.75	0.20	7.52	-	内形	横状	1		
67-68-74	73	4A SK17	70-4D12-22-23,70-500-8	中世	西	N18 W	-	0.77	-	0.29	0.25	7.42	-	内形	横状	3	89	
68-74	73	4A SK16	70-5D10-15,70-6E6-11-16	中世	西	N 2 W	0.27	0.58	0.27	0.39	0.17	7.36	-	横状	1			
68-74	74	4A SK13	70-6E3-8-9-14	中世	西	N13 W	-	0.52	-	0.22	0.32	7.35	-	横状	2			
68-74	74	4A SK12	70-6E8-9-14	中世	西	N54 E	0.90	0.70	0.90	0.21	0.25	7.42	-	半円状	-	1		
68-72	69-70	4A SK15	70-4825,70-6F16-21	中世	西	N69 E	1.60	0.76	1.60	0.36	0.31	7.22	-	内形	横状	3		
69-70-74	74	4A SK2	80-210-13-15-18-19	中世	西	N72 E	3.67	1.67	3.67	0.33	0.51	7.37	-	横状	7	89	1	436.0
69-70-74	74	4A SK20	80-215-20-25,80-216-21	中世	西	N13 W	4.75	0.45	4.40	0.26	0.19	7.01	-	横状	2			
70-74	74	4A SK1	80-138-13-14-18-19-24	中世	西	N 6 W	5.62	0.85	4.62	0.38	0.40	7.00	-	内形	横状	4		
66	4A P648	6N-5H23	中世	西	-	0.27	0.21	0.19	0.10	0.07	7.59	横形	-	1				
66	4A P648	6N-712	中世	西	-	0.31	0.14	0.15	0.08	0.07	7.51	横形	-	1				
66	4A P637	6N-10A1	中世	西	-	0.23	0.17	0.09	0.06	0.21	7.38	横形	-	2				
67	4A P635	6N-10A14	中世	西	-	0.15	0.15	0.04	0.04	0.07	7.41	内形	-	-				
67	4A P631	70-1B17	中世	西	-	0.30	0.15	0.12	0.09	0.23	7.35	横形	-	1				
67-72	70	4A P647	70-1B17	中世	西	-	0.59	0.13	0.59	0.05	0.19	7.39	-	横状	2			
67	4A P627	70-2C11	中世	西	-	0.25	0.20	0.16	0.12	0.10	7.46	横形	-	1				
67	4A P626	70-2C16	中世	西	-	0.30	0.15	0.10	0.08	0.16	7.38	横形	-	1				
67	4A P625	70-2C21	中世	西	-	0.26	0.23	0.19	0.18	0.23	7.33	内形	-	1				
67	4A P622	70-2C22	中世	西	-	0.19	0.16	0.13	0.10	0.20	7.38	内形	-	2				
67	4A P624	70-2C25	中世	西	-	0.17	0.16	0.06	0.06	0.14	7.43	内形	-	1				
67	4A P619	70-3C-2	中世	西	-	0.25	0.21	0.15	0.12	0.17	7.39	内形	-	1				
67	4A P620	70-3C-2	中世	西	-	0.26	0.24	0.20	0.14	0.24	7.34	内形	-	2				
68	4A P69	70-8G16	中世	西	-	0.25	0.23	0.08	0.04	0.24	7.37	内形	-	1				
69	4A P68	70-8G20	中世	西	-	0.18	0.18	0.16	0.08	0.13	7.59	内形	-	2				
69	4A P66	70-10H13	中世	西	-	0.35	0.27	0.22	0.15	0.20	7.43	横形	-	2				
69	4A P64	70-10H19	中世	西	-	0.17	0.16	0.06	0.05	0.32	7.21	内形	-	-				
69	4A P67	70-10H2	中世	西	-	0.36	0.30	0.22	0.19	0.19	7.55	内形	-	1				

別表2 細池寺道上遺跡掘立柱建物計測表

1区SB428

測号	20	グリッド	座標 (m)		相行 (m)	2間 (16.67)	築間 (m)	2間 (4.03)	床面積 (㎡)	(26.86)	時期	中央	構造	柱材	柱方向	東西
			6P1023-25, 6Q10A21-22 7P1J3-5, 8-10, 7Q1A1-2, 6													
Pc番号	幅 尺 (m)				深さ	断面種類 (m)		柱径	柱六隅間	距離 (m)	柱六隅間	距離 (m)	方位		N 60° W	
	上端	左端	右端	下端		正面	背面						方位	傾斜		
330	0.30	0.30	0.12	0.08	0.53	7.42	円形	U字鉄	-	330-334	3.12	348-338	2.00			
334	0.43	0.38	0.17	0.14	0.50	7.46	円形	U字鉄	-	334-358	3.56					逆り合い関係
358	0.28	(0.36)	0.24	0.20	0.49	7.51	円形	礎状	-	404-348	0.51					
404	(0.43)	(0.39)	0.11	0.08	0.51	7.36	円形	U字鉄	-	337-352	2.90					P104<SB420
348	0.60	0.45	0.26	0.23	0.58	7.36	楕円形	U字鉄	-	337-404	1.92					
337	0.39	0.25	0.21	0.13	0.52	7.41	円形	U字鉄	-	404-330	2.05					備考
352	(0.70)	(0.24)	(0.42)	(0.12)	0.17	7.79	楕円形	-	-	352-348	1.98					断面も違件5

1区SB429

測号	21	グリッド	座標 (m)		相行 (m)	2間 (19.37)	築間 (m)	4間 (7.09)	床面積 (㎡)	(66.43)	時期	中央	構造	柱材	柱方向	東西
			7P2010-15, 20-25 7P210-24, 7P3011-2													
Pc番号	幅 尺 (m)				深さ	断面種類 (m)		柱径	柱六隅間	距離 (m)	柱六隅間	距離 (m)	方位		N 81° W	
	上端	左端	右端	下端		正面	背面						方位	傾斜		
82	0.50	0.43	0.16	0.14	0.52	7.48	円形	U字鉄	-	52-110	2.73	97-99	2.12			
110	(0.60)	0.36	0.13	0.10	0.82	7.25	方形<円形	礎状	-	110-121	3.22	99-100	2.19			
121	0.57	0.48	0.22	0.18	0.57	7.53	円形	礎状	-	121-153	3.42	100-110	1.35			
153	0.26	0.25	0.11	0.08	0.42	7.67	円形	U字鉄	-	65-106	2.69	148-118	2.22			
65	0.40	0.37	0.20	0.16	0.45	7.59	方形<円形	U字鉄	-	100-118	3.21	118-121	1.37			
100	0.50	0.42	0.19	0.15	0.52	7.55	方形<円形	U字鉄	-	118-157	3.42	157-153	1.38			
118	0.41	0.28	0.14	0.12	0.71	7.58	円形	礎状	-	68-99	2.64					逆り合い関係
157	0.38	(0.53)	0.22	0.20	0.61	7.53	円形	U字鉄	-	99-148	3.21					SB435と重複 P62<SB8 P74>P75 P99<SB38
58	0.40	0.34	0.19	0.10	0.55	7.47	方形<円形	U字鉄	-	72-97	2.58					P10<P11 P153<P154
99	0.47	0.37	0.33	0.24	0.31	7.70	楕円形	礎状	-	74-94	2.55					
148	0.43	0.34	0.13	0.10	0.41	7.73	楕円形	U字鉄	-	74-72	1.37					
72	0.39	0.38	0.20	0.18	0.43	7.61	円形	U字鉄	-	72-68	2.22					
97	0.45	0.40	0.32	0.24	0.42	7.59	円形	礎状	-	68-65	2.16					備考
74	0.41	0.41	0.25	0.20	0.48	7.56	方形<円形	U字鉄	-	65-62	1.34					
94	0.54	(0.43)	0.38	0.28	0.38	7.65	方形<円形	U字鉄	-	94-97	1.31					断面も違件5

1区SB430

測号	22	グリッド	座標 (m)		相行 (m)	2間 (4.60)	築間 (m)	3間 (6.37)	床面積 (㎡)	(29.30)	時期	中央	構造	柱材	柱方向	東西
			7P1117-18, 21-25 7P211-4, 6-8													
Pc番号	幅 尺 (m)				深さ	断面種類 (m)		柱径	柱六隅間	距離 (m)	柱六隅間	距離 (m)	方位		N 65° W	
	上端	左端	右端	下端		正面	背面						方位	傾斜		
235	0.30	0.26	0.12	0.12	0.43	7.50	円形	U字鉄	-	235-247	2.35	245-247	1.08			
247	0.26	0.24	0.12	0.11	0.38	4.60	円形	U字鉄	-	230-241	2.25					逆り合い関係
230	0.38	0.32	0.11	0.09	0.43	4.51	円形	U字鉄	-	241-245	2.35					SB17, SB252, SB253, SB291と重複 P230>SB385
241	0.39	0.29	0.17	0.14	0.38	7.64	楕円形	礎状	-	196-199	2.27					
245	0.30	0.27	0.16	0.15	0.51	7.50	円形	U字鉄	-	189-196	2.52					
196	0.39	0.36	0.18	0.15	0.74	7.26	円形	U字鉄	-	196-230	2.82					
199	0.25	0.24	0.17	0.16	0.31	7.72	円形	U字鉄	-	199-241	2.92					備考
189	0.39	0.37	0.09	0.06	0.40	7.70	円形	礎状	-	241-235	1.06					

1区SB431

測号	20	グリッド	座標 (m)		相行 (m)	2間 (3.83)	築間 (m)	1間 (2.63)	床面積 (㎡)	9.60	時期	中央	構造	柱材	柱方向	東西
			6P1010-15, 6P1036-7, 11-12, 16-17													
Pc番号	幅 尺 (m)				深さ	断面種類 (m)		柱径	柱六隅間	距離 (m)	柱六隅間	距離 (m)	方位		N 72° W	
	上端	左端	右端	下端		正面	背面						方位	傾斜		
414	(0.18)	(0.14)	(0.09)	(0.08)	0.27	7.67	楕円形	-	-	414-307	1.42					SB303と重複
307	0.22	0.22	0.15	0.12	0.38	7.52	円形	U字鉄	-	307-310	2.29					
310	0.28	0.25	0.09	0.09	0.64	7.27	円形	U字鉄	-	302-306	1.42					
302	0.28	0.21	0.10	0.10	0.29	7.59	楕円形	U字鉄	-	306-313	2.41					
306	0.24	0.22	0.13	0.11	0.31	7.58	円形	U字鉄	-	302-414	2.40					備考
313	0.27	0.23	0.13	0.12	0.29	7.64	円形	内照鉄	-	313-310	2.63					

1区SB432

測号	23	グリッド	座標 (m)		相行 (m)	2間 (3.62)	築間 (m)	1間 (3.04)	床面積 (㎡)	10.56	時期	中央	構造	柱材	柱方向	東西
			6P10115-20, 24-25 6P10411-16, 17-21													
Pc番号	幅 尺 (m)				深さ	断面種類 (m)		柱径	柱六隅間	距離 (m)	柱六隅間	距離 (m)	方位		N 72° W	
	上端	左端	右端	下端		正面	背面						方位	傾斜		
303	0.23	0.28	0.18	0.16	0.58	7.30	円形	U字鉄	-	303-407	1.72					
407	0.18	0.16	0.06	0.05	0.56	7.30	円形	U字鉄	-	407-312	1.83					
312	0.27	0.23	0.14	0.13	0.44	7.48	円形	U字鉄	-	297-386	1.81					
297	0.23	0.23	0.11	0.10	0.47	7.43	円形	U字鉄	-	386-320	1.81					
386	0.41	0.27	0.14	0.11	0.30	7.60	楕円形	礎状	-	297-303	3.04					備考
320	0.28	0.28	0.13	0.09	0.43	7.46	円形	U字鉄	-	320-312	2.88					

1区S8433

区画 番号	23	グランド	7P10H13-14-17-19 -23-24				桁行 (m)	2階 (3.75)	築間 (m)	2階 (2.85)	床面積 (㎡)	(10.73)	時期	中央	構造	柱材	棟方向	南北	方位						
			規 模 (m)																形 態		柱底	柱穴間隔	距離 (m)	N/S/E/W	
			上階	加幅	下階	加幅													深さ	平面				断面	窓付内・面積
P6番号	互換	加幅	互換	加幅	深さ	底面積 (㎡)	平面	断面	柱底	柱穴間隔	距離 (m)														
	258	0.15	0.13	0.06	0.06	0.10	7.72	円形	U字状	-	258-293	1.95													
	293	0.27	0.25	0.10	0.10	0.34	7.60	円形	U字状	-	293-294	1.28													
	294	0.27	0.28	0.17	0.06	0.32	7.54	楕円形	扇形状	-	294-296	2.07													
	296	0.29	0.22	0.12	0.05	0.11	7.75	長方形	平円状	-	296-301	1.68					備 考								
	301	0.38	0.31	0.17	0.08	0.18	7.69	楕円形	U字状	-	-	-													

1区S8434

区画 番号	22	グランド	7P1H1-4-8-10-14 -15				桁行 (m)	1階 (3.08)	築間 (m)	1階 (1.64)	床面積 (㎡)	(5.18)	時期	中央	構造	柱材	棟方向	東西	方位						
			規 模 (m)																形 態		柱底	柱穴間隔	距離 (m)	N/S/E/W	
			上階	加幅	下階	加幅													深さ	平面				断面	窓付内・面積
P6番号	互換	加幅	互換	加幅	深さ	底面積 (㎡)	平面 <td>断面</td> <td>柱底</td> <td>柱穴間隔</td> <td>距離 (m)</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td>	断面	柱底	柱穴間隔	距離 (m)														
	161	0.32	0.27	0.20	0.19	0.37	7.54	円形	U字状	-	161-219	3.08					SD13と重複								
	219	0.30	0.26	0.14	0.12	0.45	7.43	円形	U字状	-	163-127	3.07													
	163	0.28	0.23	0.12	0.10	0.52	7.38	楕円形	扇形状	-	163-161	1.64					備 考								
	127	0.30	0.28	0.16	0.13	0.54	7.41	円形	U字状	-	127-219	1.77													

1区S8435

区画 番号	23	グランド	7P2G13-15-18-20 -23-25				桁行 (m)	2階 (3.55)	築間 (m)	2階 (3.30)	床面積 (㎡)	11.86	時期	中央	構造	柱材	棟方向	南北	方位						
			規 模 (m)																形 態		柱底	柱穴間隔	距離 (m)	N/S/E/W	
			上階	加幅	下階	加幅													深さ	平面				断面	窓付内・面積
P6番号	互換	加幅	互換	加幅	深さ	底面積 (㎡)	平面	断面	柱底	柱穴間隔	距離 (m)														
	29	0.25	0.24	0.12	0.08	0.44	7.55	円形	U字状	-	29-41	1.75					S8439, S314, S355, 土倉敷 P29 > P28 P35 > P34 P56 > P57								
	41	0.23	0.23	0.15	0.14	0.42	7.55	円形	U字状	-	41-67	1.95													
	67	0.29	0.27	0.14	0.12	0.59	7.43	円形	U字状	-	52-56	1.63													
	52	0.28	(0.15)	0.24	(0.14)	0.31	7.75	円形	-	-	56-73	1.79													
	36	0.30	0.30	0.16	0.11	0.60	7.43	円形	U字状	-	52-37	1.67													
	73	0.30	0.27	0.12	0.10	0.58	7.45	円形	U字状	-	37-29	1.98													
	37	0.38	0.28	0.15	0.10	0.32	7.71	楕円形	扇形状	-	73-71	1.70													
	71	0.33	0.28	0.09	0.06	0.41	7.59	円形	扇形状	-	71-67	1.84					備 考								

2区S8989

区画 番号	42	グランド	R8N1220, R01A12- 16, R8N1225, R01A17 -25, R02A1-2				桁行 (m)	3階 (8.1)	築間 (m)	2階 (3.84)	床面積 (㎡)	34.94	時期	中央	構造	柱材	棟方向	東西	方位						
			規 模 (m)																形 態		柱底	柱穴間隔	距離 (m)	N/S/E/W	
			上階	加幅	下階	加幅													深さ	平面				断面	窓付内・面積
P6番号	互換	加幅	互換	加幅	深さ	底面積 (㎡)	平面	断面	柱底	柱穴間隔	距離 (m)														
	122	(0.24)	(0.30)	(0.29)	(0.27)	0.48	7.47	円形	U字状	-	122-144	3.15	287-283	1.90											
	144	(0.42)	(0.41)	0.33	0.31	0.42	7.52	円形	扇状	-	144-257	3.11	283-49	1.94											
	257	0.37	0.30	0.26	0.18	0.43	7.51	楕円形	扇状	-	257-282	2.84					窓付内・面積								
	282	(0.58)	0.43	0.20	0.16	0.29	7.66	楕円形	扇形状	-	164-147	3.10					S3181, SK276, SK277と重複 R80 < S812, P152 < S807 P144, P147 < S858 P164 > P279, P257 > P256								
	154	0.43	0.38	0.23	0.19	0.49	7.44	円形	U字状	-	147-284	2.95													
	147	(0.54)	(0.32)	0.16	0.14	0.50	7.43	円形	扇形状	-	284-287	2.87													
	284	0.35	0.30	0.19	0.19	0.37	7.57	円形	U字状	-	164-122	2.00													
	287	0.45	0.45	0.27	0.25	0.32	7.64	円形	扇形状	-	147-144	2.03					備 考								
	89	(0.38)	(0.32)	0.20	0.19	0.39	7.44	円形	U字状	-	284-257	1.96													

2区S8990

区画 番号	41	グランド	R8N3225, R03A12-17 -25, R03B13-12-16 -17-21, R04A1- 10-12-15, R04B1-3 -6-8				桁行 (m)	5階 (12.52) 以上	築間 (m)	4階 (8.05)	床面積 (㎡)	100.79	時期	中央	構造	柱材	棟方向	東西	方位						
			規 模 (m)																形 態		柱底	柱穴間隔	距離 (m)	N/S/E/W	
			上階	加幅	下階	加幅													深さ	平面				断面	窓付内・面積
P6番号	互換	加幅	互換	加幅	深さ	底面積 (㎡)	平面	断面	柱底	柱穴間隔	距離 (m)														
	646	0.47	0.44	0.34	0.32	0.50	7.47	円形	U字状	-	646-640	2.62	658-644	2.33											
	640	0.44	(0.26)	0.26	0.17	0.39	7.57	楕円形	U字状	-	640-635	2.35	644-635	1.61											
	635	0.35	0.33	0.22	0.18	0.39	7.55	円形	U字状	-	635-893	2.49	946-914	4.04											
	893	(0.20)	(0.25)	0.17	0.15	0.34	7.48	楕円形	U字状	-	893-593	2.47	914-913	2.28											
	393	0.42	0.35	0.14	0.13	0.44	7.43	楕円形	U字状	-	393-595	2.16	913-893	1.44											
	395	0.45	0.41	0.30	0.25	0.35	7.53	方形	U字状	-	644-913	2.47	957-891	1.55											
	914	0.59	0.40	0.19	0.16	0.42	7.53	楕円形	U字状	-	913-680	2.48	891-888	2.44											
	644	(0.40)	(0.39)	0.15	0.15	0.29	7.51	円形	扇形状	-	680-689	2.20	888-680	2.42											
	680	0.54	0.42	0.22	0.19	0.50	7.35	楕円形	扇形状	-	656-658	2.40	680-593	1.49											
	689	0.80	0.35	0.14	0.14	0.42	7.45	円形	扇形状	-	658-914	2.45	SK991-895	1.52											
	656	0.52	0.44	0.20	0.14	0.38	7.59	円形	扇形状	-	914-888	2.47	895-934	2.41											
	658	0.54	(0.40)	0.15	0.13	0.48	7.48	長方形	U字状	-	888-914	2.28	934-680	2.40											
	914	(0.35)	(0.33)	0.18	0.15	0.56	7.35	円形	U字状	-	697-595	2.42	689-595	1.44											
	888	0.53	0.53	0.18	0.14	0.52	7.36	円形	扇形状	-	665-891	4.91					窓付内・面積								
	934	(0.46)	(0.41)	(0.22)	(0.17)	0.32	7.30	円形	U字状	-	891-895	2.35					S8998								
	667	0.50	0.45	0.22	0.19	0.44	7.53	円形	扇形状	-	865-SK673	2.43					SK513, SK612, SK800 SK613, SK864, SK698, SK672, SK869, SK690, SK300								
	665	(0.58)	(0.38)	0.21	0.15	0.54	7.42	楕円形	扇形状	-	SK973-946	2.43													
	891	0.40	(0.32)	0.20	0.20	0.45	7.47	楕円形	U字状	-	946-957	2.47					SK649								
	895	0.37	0.36	0.15	0.12	0.59	7.30	円形	扇形状	-	957-SK961	2.39													
	945	(0.75)	(0.52)	0.34	0.30	0.49	7.45	楕円形	U字状	-	865-667	1.67					SK640 > P641								
	SK672	0.60	0.49	0.39	0.24	0.34	7.61	楕円形	台形	-	867-656	2.50					P895 < SK978								
	946	(0.42)	(0.40)	0.17	0.16	0.42	7.40	円形	U字状	-	656-640	1.95					P897 < SK906								
	957	(0.55)	(0.48)	0.35	0.19	0.41	7.45	円形	U字状	-	SK673-660	1.63					備 考								
	SK951	(0.70)	0.47	0.46	0.29	0.34	7.42	楕円形	台形	-	665-658	2.48													

別 表

2区S8991

区画番号	43	グリッド	座標 (m)				桁行 (m)	2間 (3.69)	架間 (m)	1間 (2.46)	床面積 (㎡)	9.15	時期	中供	構造	耐力	棟方向	南北						
			幅 度 (m)																深 度	形 態		柱状	柱六脚間	距離 (m)
			上層	知能	長軸	下層														底面形状 (m)	平面			
100	0.34	0.32	0.12	0.10	0.47	7.36	円形	U字状	-	100-101	2.48													
101	0.31	0.25	0.22	0.11	0.43	7.36	楕円形	U字状	-	347-108	2.48													
347	0.19	0.15	0.10	0.09	0.20	7.27	楕円形	U字状	-	347-346	1.78													
108	0.25	0.25	0.11	0.10	0.39	7.37	円形	U字状	-	346-100	1.91													
346	0.26	0.25	0.12	0.11	0.48	7.24	円形	U字状	-	108-72	1.86							備 考						
72	0.27	0.20	0.11	0.09	0.41	7.41	楕円形	U字状	-	72-101	1.83													

2区S8992

区画番号	43	グリッド	座標 (m)				桁行 (m)	2間 (3.62)	架間 (m)	1間 (2.06)	床面積 (㎡)	7.12	時期	中供	構造	耐力	棟方向	南北						
			幅 度 (m)																深 度	形 態		柱状	柱六脚間	距離 (m)
			上層	知能	長軸	下層														底面形状 (m)	平面			
138	0.28	0.27	0.15	0.12	0.32	7.63	円形	U字状	-	138-196	2.01													
196	0.24	0.20	0.13	0.09	0.19	7.76	楕円形	半円状	-	221-226	2.05													
221	0.22	0.17	0.13	0.09	0.17	7.80	楕円形	半円状	-	221-142	1.70													
226	0.21	0.21	0.12	0.10	0.43	7.53	円形	U字状	-	142-138	1.92													
142	0.25	0.25	0.12	0.10	0.37	7.37	円形	階段状	-	226-162	1.79							備 考						
162	0.40	0.33	0.14	0.13	0.33	7.61	円形	階段状	-	162-196	1.63													

2区S8993

区画番号	43	グリッド	座標 (m)				桁行 (m)	2間 (3.38)	架間 (m)	1間 (1.88)	床面積 (㎡)	6.24	時期	中供	構造	耐力	棟方向	南北						
			幅 度 (m)																深 度	形 態		柱状	柱六脚間	距離 (m)
			上層	知能	長軸	下層														底面形状 (m)	平面			
242	0.27	0.25	0.19	0.18	0.17	7.84	方形・円形	半円状	-	242-235	1.82													
235	0.45	0.29	0.11	0.09	0.26	7.72	楕円形	階段状	-	527-540	1.88													
537 (0.40)	0.35	0.13	0.13	0.31	7.67	円形	階段状	-	537-242	3.35														
540	0.42	0.34	0.18	0.12	0.43	7.61	楕円形	階段状	-	540-541	1.67							備 考						
541	0.27	(0.21)	0.16	0.11	0.46	7.55	円形	U字状	-	541-235	1.71													

2区S8994

区画番号	43	グリッド	座標 (m)				桁行 (m)	2間 (3.34)	架間 (m)	2間 (3.83)	床面積 (㎡)	19.93	時期	中供	構造	耐力	棟方向	南北						
			幅 度 (m)																深 度	形 態		柱状	柱六脚間	距離 (m)
			上層	知能	長軸	下層														底面形状 (m)	平面			
438	0.35	0.33	0.23	0.22	0.31	7.53	円形	傘 状	-	438-449	1.68	584-449	3.12											
449	0.29	0.28	0.11	0.11	0.33	7.56	円形	U字状	-	449-448	1.99	594-405	2.25											
446	0.24	0.22	0.15	0.13	0.27	7.64	円形	U字状	-	600-584	1.76	465-446	3.08											
600	0.31	0.30	0.21	0.17	0.47	7.41	円形	U字状	-	584-465	2.00						留付台・階段							
584	0.35	0.35	0.28	0.27	0.28	7.62	円形	U字状	-	607-591	1.83	S8994, SK381, SK382, SK306												
465	0.35	0.33	0.10	0.08	0.35	7.55	円形	U字状	-	591-594	2.02	SK303, SK305, SK308, SK176, SK767												
607	0.34	0.33 (0.21)	(0.19)	0.41	7.50	円形	U字状	-	607-600	2.18														
591	0.30	0.27	0.15	0.12	0.35	7.54	円形	U字状	-	600-458	3.16						備 考							
594	0.38	0.36	0.19	0.14	0.33	7.55	円形	円形状	-	591-584	2.21													

2区S8995

区画番号	43	グリッド	座標 (m)				桁行 (m)	2間 (6.46)	架間 (m)	1間 (2.80)	床面積 (㎡)	17.33	時期	中供	構造	耐力	棟方向	東西						
			幅 度 (m)																深 度	形 態		柱状	柱六脚間	距離 (m)
			上層	知能	長軸	下層														底面形状 (m)	平面			
505	0.33	0.34	0.24	0.20	0.33	7.58	円形	傘 状	-	505-462	2.29	473-407	3.80											
462	0.27	(0.50)	0.19	0.16	0.52	7.39	円形	階段状	-	462-407	3.95						留付台・階段							
407	0.29	0.28	0.20	0.20	0.23	7.70	円形	半円状	-	589-515	2.90	S8994, SK096 & 車庫												
589 (0.35)	0.40	0.40	0.11	0.07	0.29	7.60	円形	階段状	-	515-473	3.96	P462 > P463, P505 > SK506, P589 < P590												
515	0.48	0.34	0.26	0.25	0.60	7.29	長方形	傘 状	-	589-505	2.74						備 考							
473	0.50	0.32	0.12	0.09	0.31	7.58	楕円形	階段状	-	515-462	2.75													

2区S8996

区画番号	44	グリッド	座標 (m)				桁行 (m)	2間 (4.00)	架間 (m)	1間 (3.21)	床面積 (㎡)	12.31	時期	中供	構造	耐力	棟方向	東西						
			幅 度 (m)																深 度	形 態		柱状	柱六脚間	距離 (m)
			上層	知能	長軸	下層														底面形状 (m)	平面			
469	0.45	0.37	0.10	0.06	0.45	7.45	楕円形	階段状	-	469-436	2.08	P440 > P701												
436	0.50	0.47	0.10	0.06	0.43	7.49	円形	階段状	-	436-440	1.92	P465 > P471												
440	0.63	0.51	0.15	0.11	0.35	7.55	楕円形	階段状	-	527-534	2.07	P496 < SK 702												
527	0.44	0.36	0.23	0.20	0.38	7.48	楕円形	階段状	-	534-496	1.91						備 考							
534	0.53	0.47	0.12	0.10	0.47	7.42	円形	階段状	-	527-469	2.21													
496	0.69	(0.50)	0.20	0.17	0.70	7.23	長方形	階段状	-	496-440	2.97	S8996, SK097 & 車庫												

2区58997

図面 番号	44	グリッド	BO-3B4・5・7・10・13 ~15	桁行 (m)	2間 (4.80)	架間 (m)	1間 (2.75)	床面積 (㎡)	12.38	時期	中世	構造	素材	棟方向	東西
PC番号	幅 尺 (m)				深さ	底面寸法 (m)		形 態		柱状	柱六隅隅	距離 (m)	方位		
	上 階		下 階			平面	断面	N-70 主							
	左端	右端	左端	右端				N-70 主 N-70 主							
519	0.38	0.31	0.15	0.12	0.46	7.43	格付形	階段状	—	519-477	2.08	S8096, SK702と兼用 P477>P476			
477	0.33	0.30	0.14	0.12	0.49	7.39	円形	U字状	—	477-484	2.12				
484	0.25	0.22	0.16	0.15	0.40	7.52	円形	U字状	—	875-696	2.39				
875	0.36	0.32	0.15	0.12	0.47	7.41	円形	階段状	—	896-884	2.20				
696	0.38	0.35	0.14	0.13	0.34	7.54	円形	U字状	—	875-519	2.75		備 考		
884	0.45	0.42	0.21	0.19	0.45	7.43	円形	階段状	—	884-484	2.53				

2区58998

図面 番号	44	グリッド	BO-3H16・19・21~24 BO-4H1~4	桁行 (m)	2間 (4.87)	架間 (m)	2間 (3.66)	床面積 (㎡)	17.72	時期	中世	構造	素材	棟方向	東西
PC番号	幅 尺 (m)				深さ	底面寸法 (m)		形 態		柱状	柱六隅隅	距離 (m)	方位		
	上 階		下 階			平面	断面	N-70 主							
	左端	右端	左端	右端				N-70 主 N-70 主							
683	0.27	0.27	0.14	0.11	0.35	7.50	円形	階段状	—	683-770	2.33	S8096, S8099, SH1000と兼用 P770>SR809			
770	0.25	0.23	0.07	0.06	0.46	7.42	円形	階段状	—	770-772	2.54				
772	0.33	0.33	0.12	0.10	0.35	7.52	円形	階段状	—	892-834	2.42				
892	0.39	0.35	0.13	0.12	0.39	7.50	円形	階段状	—	834-814	2.44				
834	0.60	0.33	0.22	0.20	0.45	7.43	格付形	階段状	—	892-917	2.36				
814	0.33	0.33	0.12	0.08	0.33	7.52	円形	階段状	—	917-683	1.37				
917	0.31	0.30	0.14	0.14	0.29	7.56	円形	U字状	—	814-786	2.31	備 考			
786	0.28	0.25	0.11	0.10	0.29	7.57	円形	U字状	—	786-777	1.35				

2区58999

図面 番号	44	グリッド	BO-3H15・18~20・23~ 25, BO-3C21, BO-4H3・ 4	桁行 (m)	2間 (4.64)	架間 (m)	1間 (2.89)	床面積 (㎡)	13.47	時期	中世	構造	素材	棟方向	東西
PC番号	幅 尺 (m)				深さ	底面寸法 (m)		形 態		柱状	柱六隅隅	距離 (m)	方位		
	上 階		下 階			平面	断面	N-70 主							
	左端	右端	左端	右端				N-70 主 N-70 主							
783	0.28	0.25	0.16	0.13	0.54	7.34	円形	U字状	—	783-792	1.97	S8096, SK1000, SK300, SK796と兼用 P815>P816 P837>SK838			
792	0.57	0.40	0.14	0.10	0.37	7.53	格付形	階段状	—	837-815	2.02				
837	0.33	0.30	0.15	0.12	0.40	7.48	円形	U字状	—	815-760	2.02				
815	0.38	0.33	0.21	0.18	0.48	7.38	円形	U字状	—	760-792	2.89				
760	0.37	0.35	0.17	0.12	0.35	7.65	円形	階段状	—	—	—		備 考		

2区581000

図面 番号	44	グリッド	BO-3H30・24・25, BO-3C16・21・22, BO-4B4・5, BO-4C1	桁行 (m)	2間 (5.41)	架間 (m)	1間 (2.23)	床面積 (㎡)	11.00	時期	中世	構造	素材	棟方向	東西
PC番号	幅 尺 (m)				深さ	底面寸法 (m)		形 態		柱状	柱六隅隅	距離 (m)	方位		
	上 階		下 階			平面	断面	N-70 主							
	左端	右端	左端	右端				N-70 主 N-70 主							
813	(0.43)	0.39	0.25	0.23	0.52	7.34	円形	U字状	—	813-818	2.70	S8096, S8099と兼用 P735>SK734 P813<P812 P818<P820 P849<SK855			
818	(0.37)	0.32	0.14	0.13	0.55	7.34	円形	階段状	—	818-735	2.71				
735	0.45	0.38	0.14	0.13	0.48	7.44	方形<円形	階段状	—	841-849	2.97				
841	0.42	(0.37)	0.22	0.21	0.35	7.49	円形	階段状	—	849-758	2.75				
849	(0.42)	0.38	0.22	0.18	0.45	7.44	円形	U字状	—	841-813	2.23		備 考		
758	0.43	0.35	0.14	0.12	0.41	7.52	格付形	階段状	—	758-735	2.20				

別表3 細池寺遺跡出土遺跡土器・陶磁器・鉄製品・鍛冶関連遺物観察表

- 凡 例 1 出土位置 遺構名・グリッドを示した。
 2 器 種 類 V字に記した。
 3 注 量 白径・底径・胎高を示す。鉄製品の数は存在する最もよいものである。
 4 底径の数値 胎高/口径×100
 5 底径の数値 底径/口径×100

- 6 胎 土 胎土中に含まれる赤褐色・小塊等について記した。「石」は石混入、「長」は長石混、「雲」は雲母混あるいは黒雲母、「チ」はチター、「珪」は珪土混、「白」は白色灰化土、「角」は角閃石、「海」は海神砂を指す。「白」は白色灰化土、「小」は竹筒1007の記号を記した。
 7 色 調 土器の土色を調。「小」は竹筒1007の記号を記した。
 8 焼 成 焼成温度域・還元状態域の区分を記した。

- 9 手 法 特徴的な手法のみを記し、継続的な記録は行っていない。底部の「糸切り」・「ヘラ切り」は「すべて別焼白を施したものである。別焼白は別焼白の焼成方向を示す。
 10 遺 存 率 分数表示で遺存率を示した。
 11 目 録 土器・陶磁器の内 外面の寸数等を記した。
 12 時 期 (古河1994、山本2000)を参考に時期可能なものを記した。

図録 No.	発掘 No.	出土位置 遺構名・グリッド	部位	種類	器種	法 量 (cm)			胎土 状態	色 調	焼 成	手 法		遺 存 率	目 録	備 考		
						口径	底径	胎高				内 面	外 面				底 部	焼 成
75	76	1 1区	SK17	7P-1117	1層	土師器	小甕	16.0										
									黒 石・長・雲・珪	低温焼成 (2,500/4)	還元	ロクロナデ・カキメ	ロクロナデ・カキメ	右	3/36			
75	76	3 2区	7P554	8O-3A11	1層	土師器	瓶白鉢 (14.0)									内外面に灰化物付着		
									普通	低温焼成 (1,000/3)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ		2/36			
75	76	3 2区		8O-4B7	6層	土師器	長甕 (19.0)											
									黒 石・長・雲・珪	低温焼成 (2,500/4)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					
75	76	4 2区		8O-1A17	6層	磁器類	瓶白鉢	8.0								底径小径短		
									普通	低温焼成 (850/0)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	0/36		
75	76	5 2区		8N-1J4	3層	磁器類	長甕									底径小径短		
									黒 石・長・雲	低温焼成 (850/0)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					
75	76	6 3区	SK057	6Q-10B15	2層	磁器類	大甕									当て丸底		
									黒 石・長	低温焼成 (850/0)	還元	タタキメ・カキメ	当て丸底					
75	76	7 1区	SK17	7P-1112・17	1層	中世土師器	皿	8.0								手づくね成形		
									黒	低温焼成 (1,000/4)	還元	ナデ	無装飾		5/36			
75	76	8 1区	SK17	7P-1117	2層	珠洲焼	片白鉢 (30.0)									皿類		
									普通	低温焼成 (1,000/5)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ・磨目		2/36			
75	76	9 1区	SK1	7P-2G1	1層	青磁	瓶	15.0								皿類 (2N~3V類、 11世紀後半~12世紀初葉)		
									普通	低温焼成 (1,000/7)	還元	タタキメ	タタキメ		3/36			
75	76	10 1区	SK333	7P-1J3	3層	珠洲焼	片白鉢	9.0								皿類		
									普通	低温焼成 (1,000/3)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切り	18/36			
75	76	11 1区	SK339	7P-1J0	1層	珠洲焼	甕	44.0								皿類		
									普通	低温焼成 (850/0)	還元	手づくね	磨目		2/36			
75	76	12 2区	SK14	8N-1J11 (8O-1A11)	2層	珠洲焼	片白鉢	30.4								皿類		
									黒 石・雲・海	低温焼成 (500/1)	還元	ロクロナデ	磨目 単位付		6/36			
75	76	13 2区	SK14	8N-1J11	2層	珠洲焼	片白鉢	35.0								皿類		
									黒 長・雲・海	低温焼成 (850/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ・磨目 単位付		5/36			
75	76	14 2区	SK110	8O-1A20	2層	珠洲焼	片白鉢	131.0								皿類		
									普通	低温焼成 (1,000/4)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	1/36未満				
75	76	15 2区	SK130	8N-2J13	5層	珠洲焼	片白鉢									皿類		
									黒 石・長・雲・海	低温焼成 (1,000/4)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	1/36以下				
75	76	16 2区	SK368	8O-2A24	7層	中世土師器	甕	9.5	5.5	2.5	26	56						
									黒 石・長・雲・海	低温焼成 (7,500/7)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右	36/36	25/36	
75	76	17 2区	SK368	8O-2A24	7層	珠洲焼	片白鉢	9.6										
									黒 石・長・雲・海	低温焼成 (1,000/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切り	右	36/36		
75	76	18 2区	SK453	8O-3A4	1層	白磁	瓶	7.0								小甕 (2N~3N類、 11世紀後半~12世紀初葉)		
									普通	低温焼成 (500/1)	還元	タタキメ	タタキメ		5/36			
75	76	19 2区	SK300	8O-3B22	1層	中世土師器	皿	7.0										
									普通	低温焼成 (1,000/3)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り		9/36		
75	76	20 2区	SK300	8O-3B22	2層	中世土師器	皿	7.0										
									黒 雲・海・珪	低温焼成 (500/6)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右	9/36		
75	76	21 2区	SK300	8O-3B22	7層	北越後産陶器	片白鉢	12.0										
									普通	低温焼成 (500/1)	還元	ヘラナデ	ココナデ		5/36			
75	76	22 2区	SK124 (SK276)	8N-2J8 8O-2A21 (8O-2A4)	1層	珠洲焼	片白鉢	12.0										
									普通	低温焼成 (500/3)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ・磨目 単位付	静止糸切り		36/36	N2類・V類	
75	76	23 2区	SK328	8O-2B7	6層	珠洲焼	香炉類	11.0										
									普通	低温焼成 (1,000/3)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ		6/36			
75	76	24 2区	SK328	8O-2B7	6層	珠洲焼	香炉類											
									普通	低温焼成 (850/0)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					
75	76	25 2区	SK328	8O-2B7	6層	珠洲焼	香炉類	24.6	9.8	10.5	43	40						
									普通	低温焼成 (850/0)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切り	右	26/36	36/36	
75	76	26 2区	SK328 (7P414)	8O-2B7 (8O-2B14)	6層	珠洲焼	片白鉢	36.0										
									普通	低温焼成 (850/0)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ		右	7/36		
75	76	27 2区	SK111	8N-2J22	1層	中世土師器	皿	8.0	5.0	2.0	24	63						
									黒 石・長・雲・珪	低温焼成 (1,000/3)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右	3/36	36/36	27/36
75	76	28 2区	SK453 (SK453) (SK155) (SK121)	8N-2J8 (8N-1J9-24) (8N-1J11) (8N-1A6) (8O-3A8) (8O-3A4) (8N-3J0) (8N-2J8) (7O-10A11) (8O-1A9) (8O-2A3)	1層 (1層) (1層) (1層) (2~4層) (4層) (3層) (1層) (1層) (1層) (1層)	珠洲焼	香丁類	31.2										
									黒 石・長・雲	低温焼成 (500/1)	還元	白〜黒・ナデ	黒・白 手づくね		6/36		1層	

図号 No.	写真 No.	品名	品上位置	部位	種目	部類	法量 (cm)			厚さ mm	材質	前上		色		塩 漬	手法			番号			目録	備考			
							口径	径	高さ			状態	含有物	前上	動線		外面	内面	底面	側面	口縁部	底面			全体		
70	77	29	2R	SD111	SN2117-22	1層	珠洲焼	月白鉢	30.0			普通	石・瓦・赤	灰白 (N7/0)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ		4/36				1層目				
70	77	30	2R	SD111	SN2117	4層	珠洲系陶器	椀				普通	石・瓦・瓦	灰白 (N5/0)	還元	外箱：オリーブ 黒 (DY6/2)	還元	平行タタキメ	押圧	ナデ							
77	77	31	2R	SN190	HO-3A1	1層	珠洲焼	水引				普通	石・瓦	灰 (N5/0)	還元												
77	76	32	2R	SD42	HO-1A10	2層	青磁	碗	(15.0)			普通	石	灰 (7.5Y6/1)	還元	灰オリーブ (7.5Y6/2)						2/36		D層 (XIV~XV 期、 12世紀中頃~後半)	尾道家系、1-1a		
77	77	33	2R	SD42	SN221	1層	珠洲焼	茶碗				普通	石・瓦・赤・青・ 白・黄	灰 (N5/0)	還元	ロクロナデ	流状	ロクロナデ						1層目	耳が納まっている		
77	77	34	2R	SD42	HO-1A10	1層	珠洲焼	香手鉢 (21.0)				普通	石・瓦・赤・黄	灰白 (N7/0)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					2/36		1層目			
77	77	35	2R	SD42	HO-1A11	1層	珠洲焼	月白鉢				普通	石・瓦・赤・白・ 黄	灰白 (N7/0)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	器目1 単位22日			右			1層目			
77	77	36	2R	SD42	HO-1A11	1層	珠洲焼	月白鉢	(33.0)			普通	石・瓦・赤・青・ 白・黄	灰 (5Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					2/36		1層目			
77	77	37	2R	SD42	HO-1A8	1層	珠洲焼	月白鉢	(35.0)			普通	石・瓦・赤・青・ 白・黄	灰白 (2.5Y8/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	器目1 単位10日				2/36		1層目			
77	77	38	2R	SD42	HO-1A11- SN115	1-1層	宮塗焼	壺				普通	石・瓦・瓦	灰白 (5Y8/1)	還元	灰オリーブ (5Y6/2)											
77	77	39	2R	SD80	HO-1A7	1層	珠洲焼	茶碗				普通	石・瓦・白	灰 (N6/0)	還元	ロクロナデ	流状	ロクロナデ						1層目			
77	77	40	2R	SD98	HO-2A1	3層	珠洲焼	月白鉢	32.0			普通	石・瓦・瓦	灰 (N5/0)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	器目1 単位10日				3/36		1層目			
77	76	41	2R	SD58- SD42	HO-2A2- SN119	1-1層	白磁	碗	(7.0)			普通		灰白 (5Y8/1)	灰白 (5Y7/1)							1/36未満		C層 (XII~XIII 期、 11世紀後半~12世 紀前半)	尾道家系、1-2 12世紀中頃~後半		
77	76	42	2R	SD58	HO-1A11	1層	青磁	碗				普通		灰白 (5Y7/1)	灰オリーブ (5Y6/2)							1/36未満		D層 (XIV~XV 期、 12世紀中頃~後半)	尾道家系、1-2 12世紀中頃~後半		
77	76	43	2R	SD58	HO-1A7	1層	中世土器	皿	9.7	6.0	2.3	24	62	普通	石・瓦・赤・青・ 黄	にがし灰 (10Y8/7)							2/36	3/36	3/36	1層目	
77	77	44	2R	SD58	HO-2A8	1層	中世土器	月白鉢	10.0				普通	長・瓦・白・赤	灰 (N5/0)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	器目1 単位5日				11/36		1層目	内外面に灰質付 着、縁部に熱痕	
77	77	45	2R	SD58- SD42	HO-1A13- 17	1層	珠洲焼	月白鉢	10.5			普通	石・瓦・赤・白	灰 (N6/0)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	器目1 単位5日			ナデ		7/36		1層目		
77	77	46	2R	SD58- SD42- SD80- SN111	HO-1A17- HO-1A8-10 -12-17- SN222	1-5層	珠洲焼	椀	47.0			普通	石・瓦・赤・白	灰 (N5/0)	還元	ナデ	平行タタキメ ナデ	押圧				3/36		1層目			
78	76	47	2R	SD78	HO-2A17	1層	中世土器	皿	8.4			普通	石・瓦	灰白 (10Y8/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					10/36		13C前半			
78	78	48	2R	SD78	HO-3A19	1層	珠洲焼	茶碗				普通	石・瓦・赤・赤	灰 (N5/0)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ										
78	75	49	2R	SD79	HO-2A14	1層	中世土器	皿	6.3	5.9	2.1	25	71	普通	長・赤・赤	焼 (5Y8/6)											
78	78	50	2R	SD176	HO-2A5-10 (器目)	1層	珠洲焼	月白鉢	11.0			普通	長・瓦・赤	灰 (5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	器目1 単位5日					14/36		1層目		
78	78	51	2R	SD767- SD176	HO-3A15	1層	珠洲焼	椀	(44.4)			普通	石・瓦・赤・赤	灰 (7.5Y8/1)	還元	石・瓦・赤・赤	灰 (7.5Y8/1)					3/36		1層目			
78	78	52	2R	SD768	HO-4B12	1層	珠洲焼	月白鉢	(27.0)			普通	石・瓦・赤	灰白 (N7/0)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					2/36		1層目			
78	78	53	2R	SD898	HO-4B7	1層	珠洲焼	月白鉢	37.0			普通	石・瓦・白・赤	にがし灰 (10Y8/4)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	器目1 単位5日				4/36		1層目			
78	78	54	2R	P6107	SN114	1層	珠洲焼	月白鉢	(27.0)			普通	長・白・赤	灰白 (10Y8/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					2/36		1層目			
78	76	55	2R	P6276	HO-2B18	1層	中世土器	皿	10.6			普通	長・赤	焼 (7.5Y6/6)								5/36		1層目			
78	78	56	2R	P6436	HO-2H24	1層	珠洲焼	月白鉢				普通	石・瓦・白・赤	流黄 (7.5Y8/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					1/36		1層目			
78	76	57	2R		SN129-10	1-2層	中世土器	皿	6.5			普通	石・瓦・赤	流黄 (10Y8/7)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					17/36		1層目			
78	76	58	2R		HO-1A17	1層	青磁	皿	4.0			普通		灰白 (5Y7/1)	灰オリーブ (5Y6/2)								7/36		D層 (XIV~XV 期、 12世紀中頃~後半)	尾道家系、1-2b 12世紀中頃~後半)	
78	76	59	2R		HO-4A19	1層	青磁	皿				普通		灰白 (N7/0)	灰白 (5Y7/1)							2/36		1層目			
78	76	60	2R		HO-4B7	1層	青磁	皿	(17.0)			普通		灰白 (5Y8/1)	灰オリーブ (5Y5/3)							2/36		1層目			
78	76	61	2R		HO-1A16	1層	瀬戸系陶器	平直土鉢	6.0			普通		灰白 (5Y8/1)	灰白 (7.5Y7/2)								36/36		1層目		
78	76	62	2R		HO-1A12 (器目)	1層	瀬戸系陶器	直立土鉢	14.6			普通		灰白 (5Y8/1)	オリーブ (7.5Y6/2)								4/36		1層目		
78	76	63	2R		7D-10A21	1層	瀬戸系陶器	菓子				普通	石・瓦	灰白 (5Y8/1)	灰白 (5Y7/2)												
78	76	64	2R		HO-1A17	1層	珠洲焼	香手鉢				普通	長・瓦・赤	灰 (5Y6/1)	還元	器目1 単位5日	平行 ナデ	器目1 単位5日	器目1 単位5日	器目1 単位5日	器目1 単位5日						

別表4 福池寺道上遺跡石製品観察表

国史 No.	町内 No.	地名	注 記	出土位置			種類	材質	長さ (mm.)		年代	備考
				区	通称	了り方			単位	長さ		
82	80	1	09 福池寺道上 1.08.S817.7P-1117.4層	1.08.S817	7P-1117	4層	磁石	163.0	74.4	51.4	757.40中	
82	80	2	09 福池寺道上 1.08.S810.7P-1114.1層	1.08.S810	7P-1114	1層	磁石	56.0	19.4	22.4	22.01中	
82	80	3	09 福池寺道上 1.08.P956.7P-2024.1層	1.08.P956	7P-2024	1層	磁石	104.9	79.4	59.6	51.84中	燃焼
82	80	4	09 福池寺道上 1.08.P941.7P-2024.1層	1.08.P941	7P-2024	1層	磁石	160.0	124.4	85.4	283.21中	燃焼 磨研有可
82	80	5	09 福池寺道上 1.08.S86.7P-2024.5.3層	1.08.S86	7P-2024.5	3層	磁石	98.8	53.6	36.9	231.31中	磨研有可
82	80	6	09 福池寺道上 1.08.S86.7P-2025.10.4層	1.08.S86	7P-2025.10	4層	磁石+磁石	106.5	50.7	37.8	242.52中	
82	80	7	09 福池寺道上 1.08.S5041.7P-118.1層	1.08.S5041	7P-118	1層	磁石	61.4	29.5	53.0	64.79中	
82	80	8	09 福池寺道上 1.08.S817.7P-1117.4層	1.08.S817	7P-1117	4層	磁石	120.0	68.4	58.1	523.09中	燃焼
82	80	9	09 福池寺道上 1.08.S817.7P-1117.4層	1.08.S817	7P-1117	4層	磁石	69.9	66.4	22.0	298.09中	
82	80	10	09 福池寺道上 1.08.S817.7P-1117.4層	1.08.S817	7P-1117	4層	磁石	212.8	77.7	63.7	724.40中	燃焼
82	80	11	09 福池寺道上 1.08.S817.7P-1117.4層	1.08.S817	7P-1117	4層	磁石	144.0	201.0	92.1	5,000.00中	燃焼
82	80	12	09 福池寺道上 1.08.S817.7P-1117.4層	1.08.S817	7P-1117	4層	磁石	59.1	38.0	23.5	41.90中	
82	80	13	09 福池寺道上 1.08.S817.7P-1117.4層	1.08.S817	7P-1117	4層	磁石	68.9	66.4	22.0	298.09中	
82	80	14	09 福池寺道上 1.08.S817.7P-1117.4層	1.08.S817	7P-1117	4層	磁石	64.1	41.3	33.0	37.04中	
82	80	15	09 福池寺道上 1.08.S833.7P-113.1層	1.08.S833	7P-113	1層	磁石	86.7	53.4	38.9	72.14中	
82	80	16	09 福池寺道上 1.08.S89	1.08.S89	7P-204	2層	磁石	13.9	31.4	19.3	4.14中	
82	80	17	09 福池寺道上 1.08.S5038.9Q-10419.2層	1.08.S5038	9Q-10419	2層	磁石	73.7	35.8	36.3	24.05中	
82	80	18	09 福池寺道上 1.08.S5021.7P-118.1層	1.08.S5021	7P-118	1層	磁石	107.0	62.2	41.0	107.03中	磨研有可
82	80	19	09 福池寺道上 1.08.S5020.7P-118.1層	1.08.S5020	7P-118	1層	磁石	16.4	40.5	30.5	8.81中	
82	80	20	09 福池寺道上 2.08.S814.8N-111.1層	2.08.S814	8N-111	1層	磁石	38.0	24.8	12.8	12.15中	
82	80	21	09 福池寺道上 2.08.S814.8N-111.1層	2.08.S814	8N-111	1層	磁石	50.2	74.6	28.7	59.90中	
82	80	22	09 福池寺道上 2.08.SD42.8N-120.5層	2.08.SD42	8N-120	5層	磁石	75.5	32.6	31.5	74.94中	
82	80	23	09 福池寺道上 2.08.SD79.8N-1A21.1層	2.08.SD79	8N-1A21	1層	磁石	42.3	46.4	42.4	42.62中	
82	80	24	09 福池寺道上 2.08.P9569.8N-1A10.1層	2.08.P9569	8N-1A10	1層	磁石	53.3	47.6	34.3	103.23中	
82	80	25	09 福池寺道上 2.08.8N-487.2層	2.08.8N-487	2層	磁石	69.6			14.2	31.17中	
82	80	26	09 福池寺道上 2.08.8N-481.1層	2.08.8N-481	1層	磁石	47.6	39.8	20.3	44.47中		
82	80	27	09 福池寺道上 2.08.8N-1119.2層	2.08.8N-1119	2層	磁石	24.4	35.9	14.3	19.50中		
82	80	28	09 福池寺道上 2.08.8N-2A1.1層	2.08.8N-2A1	1層	磁石	32.0	40.5	7.1	7.67中		
82	80	29	09 福池寺道上 2.08.8N-114.1層	2.08.8N-114	1層	磁石	48.5	24.2	46.5	48.52中		
82	80	30	09 福池寺道上 2.08.SD42.8N-119.2層	2.08.SD42	8N-119	2層	磁石	39.2	37.1	19.5	10.53中	
82	80	31	09 福池寺道上 2.08.8N-484.8N-3A7.4層	2.08.8N-484	8N-3A7	4層	磁石	89.9	118.4	73.5	514.30中	
82	80	32	09 福池寺道上 2.08.SD42.8N-211.1層	2.08.SD42	8N-211	1層	磁石	103.9	89.4	92.5	898.44中	
82	80	33	09 福池寺道上 2.08.SD42.8N-212.5層	2.08.SD42	8N-212	5層	磁石	92.5	103.0	34.1	473.35中	磨研有可
82	80	34	09 福池寺道上 2.08.SD78.8N-2A1.1層	2.08.SD78	8N-2A1	1層	磁石	35.0	48.2	35.6	37.04中	
82	80	35	09 福池寺道上 2.08.SD79.8N-2A24.4層	2.08.SD79	8N-2A24	4層	磁石	66.0	48.5	47.0	192.26中	
82	80	36	09 福池寺道上 2.08.SD768.8N-486.1層	2.08.SD768	8N-486	1層	磁石	158.0	99.0	82.6	1,089.00中	
82	80	37	09 福池寺道上 2.08.8N-120.5層	2.08.8N-120	5層	磁石	183.0	87.0	65.4	1,827.55中	燃焼	
82	80	38	09 福池寺道上 2.08.SD1A12.2層	2.08.SD1A12	2層	磁石	50.2	74.6	28.7	59.90中		
82	80	39	09 福池寺道上 2.08.8N-486.2層	2.08.8N-486	2層	磁石	89.5	113.8	73.8	806.17中		
82	80	40	09 福池寺道上 2.08.SD58.8N-1A17.1層	2.08.SD58	8N-1A17	1層	磁石	49.2	54.6	47.5	79.41中	
82	80	41	09 福池寺道上 2.08.SD58.7Q-10A16.1層	2.08.SD58	7Q-10A16	1層	磁石	127.0	80.7	43.4	871.78中	
82	80	42	09 福池寺道上 2.08.8N-1A11.2層	2.08.8N-1A11	2層	磁石	137.5	67.5	84.0	657.80中		
82	80	43	09 福池寺道上 2.08.SD176.8N-3A15.1層	2.08.SD176	8N-3A15	1層	石製	52.0	54.0	15.5	83.59中	燃焼
82	80	44	09 福池寺道上 2.08.S814.8N-111.1層	2.08.S814	8N-111	1層	磁石	56.2	34.5	41.2	232.67中	燃焼
82	80	45	09 福池寺道上 2.08.SD42.8N-1A13.2層	2.08.SD42	8N-1A13	2層	磁石	50.2	74.6	28.7	59.90中	
82	80	46	09 福池寺道上 2.08.SD649.8N-4A3.2層	2.08.SD649	8N-4A3	2層	磁石	37.7	52.9	24.5	83.59中	
82	80	47	09 福池寺道上 2.08.SD42.8N-1A13.1層	2.08.SD42	8N-1A13	1層	磁石	84.0	60.8	27.0	192.56中	
82	80	48	09 福池寺道上 2.08.SD42.8N-1A12.1層	2.08.SD42	8N-1A12	1層	磁石	44.5	30.0	16.9	33.40中	
82	80	49	09 福池寺道上 2.08.SD42.8N-1A12.1層	2.08.SD42	8N-1A12	1層	磁石	49.1	33.0	16.9	33.40中	
82	80	50	09 福池寺道上 2.08.SD58.8N-2A8.1層	2.08.SD58	8N-2A8	1層	磁石	82.2	47.1	23.2	57.50中	
82	80	51	09 福池寺道上 2.08.SD58.8N-3A15.1層	2.08.SD58	8N-3A15	1層	磁石	64.1	52.9	19.9	88.74中	
82	80	52	09 福池寺道上 2.08.SD58.8N-1A12.5層	2.08.SD58	8N-1A12	5層	磁石	101.6	54.6	16.9	134.63中	
82	80	53	09 福池寺道上 2.08.SD78.8N-2A8.1層	2.08.SD78	8N-2A8	1層	磁石	69.8	49.3	12.2	37.48中	
82	80	54	09 福池寺道上 2.08.SD78.8N-2A1.1層	2.08.SD78	8N-2A1	1層	磁石	112.2	74.5	27.6	244.34中	
82	80	55	09 福池寺道上 2.08.SD78.8N-2A1.3層	2.08.SD78	8N-2A1	3層	磁石	61.7	51.5	12.2	54.66中	
82	80	56	09 福池寺道上 2.08.SD78.8N-1A11.3層	2.08.SD78	8N-1A11	3層	磁石	58.1	40.1	16.0	32.60中	
82	80	57	09 福池寺道上 2.08.SD78.8N-2A1.3層	2.08.SD78	8N-2A1	3層	磁石	31.5	52.9	15.6	53.63中	
82	80	58	09 福池寺道上 2.08.SD78.8N-1A11.5層	2.08.SD78	8N-1A11	5層	磁石	112.2	74.5	27.6	244.34中	
82	80	59	09 福池寺道上 2.08.SD78.8N-2A8.1層	2.08.SD78	8N-2A8	1層	磁石	30.0	89.8	15.6	117.43中	
82	80	60	09 福池寺道上 2.08.SD79.8N-1A16.1層	2.08.SD79	8N-1A16	1層	磁石	43.0	32.6	17.7	29.04中	
82	80	61	09 福池寺道上 2.08.SD79.8N-1A16.1層	2.08.SD79	8N-1A16	1層	磁石	49.5	38.5	15.1	34.05中	
82	80	62	09 福池寺道上 2.08.SD79.8N-2A1.2層	2.08.SD79	8N-2A1	2層	磁石	72.0	60.6	18.5	90.78中	
82	80	63	09 福池寺道上 2.08.P9223.8N-2A15.1層	2.08.P9223	8N-2A15	1層	磁石	F-#→ 22.6	21.1	6.8	3.84中	
82	80	64	09 福池寺道上 2.08.SD176.8N-2A8.2層	2.08.SD176	8N-2A8	2層	磁石	47.5	43.0	14.4	41.90中	
82	80	65	09 福池寺道上 2.08.7B-10225.3層	2.08.7B-10225	3層	磁石	69.6	36.5	13.5	46.50中		
82	80	66	09 福池寺道上 2.08.SD42.8N-1A13.1層	2.08.SD42	8N-1A13	1層	磁石	50.2	74.6	28.7	59.90中	
82	80	67	09 福池寺道上 2.08.SD42.8N-1A17.1層	2.08.SD42	8N-1A17	1層	磁石	77.0	43.5	37.3	153.30中	
82	80	68	09 福池寺道上 2.08.SD42.8N-1J24.5層	2.08.SD42	8N-1J24	5層	磁石	89.6	41.8	31.3	117.96中	
82	80	69	09 福池寺道上 2.08.SD80.8N-1A12.1層	2.08.SD80	8N-1A12	1層	磁石	104.1	36.2	31.9	160.57中	
82	80	70	09 福池寺道上 2.08.SD80.8N-1A12.1層	2.08.SD80	8N-1A12	1層	磁石	116.0	53.9	39.5	197.16中	
82	80	71	09 福池寺道上 2.08.SD80.8N-1A12.2層	2.08.SD80	8N-1A12	2層	磁石	82.9	39.2	19.5	103.50中	
82	80	72	09 福池寺道上 2.08.SD78.8N-1A21.1層	2.08.SD78	8N-1A21	1層	磁石	116.0	70.0	33.2	342.40中	
82	80	73	09 福池寺道上 2.08.SD78.8N-3A3.1層	2.08.SD78	8N-3A3	1層	磁石	103.9	89.4	92.5	192.56中	
82	80	74	09 福池寺道上 2.08.SD79.8N-1A21.1層	2.08.SD79	8N-1A21	1層	磁石	66.5	49.5	39.5	174.16中	
82	80	75	09 福池寺道上 2.08.SD79.8N-1A24.1層	2.08.SD79	8N-1A24	1層	磁石	80.0	121.0	22.0	2,000.00中	
82	80	76	09 福池寺道上 2.08.P9648.8N-2A24.1層	2.08.P9648	8N-2A24	1層	磁石	88.0	81.9	60.0	468.70中	
82	80	77	09 福池寺道上 2.08.8N-1A1.2層	2.08.8N-1A1	2層	磁石	69.6	60.6	29.9	59.00中		
82	80	78	09 福池寺道上 2.08.8N-1A15.2層	2.08.8N-1A15	2層	磁石	38.8	62.5	39.3	217.12中		
82	80	79	09 福池寺道上 2.08.SD79.8N-1A16.1層	2.08.SD79	8N-1A16	1層	磁石	72.0	60.6	18.5	90.78中	

別表

路線 No.	写真 No.	橋名	橋号	注 記	出上位置			橋種	分類	石積	橋長 (mm, 2)			橋高	備考
					区	道幅	グリッド				延長	延長	延長		
88	83	97	08	新橋寺道上 2.6. S814, R8-1211, 5.橋	2区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	報告書 No.301No.90
88	83	98	08	新橋寺道上 2.6. S814, R8-1211, 5.橋	2区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	98	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	99	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	100	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	101	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	102	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	103	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	104	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	105	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	106	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	107	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	108	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	109	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	110	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	111	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	112	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	113	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	114	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	115	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	116	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	117	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	118	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	119	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	120	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	
89	83	121	08	新橋寺道上 3.0. S814, R8-1211, 5.橋	3区	S814	R8-1211	5.橋	石積	127.3	60.9	28.1	336.3	中	

別表5 結曲寺道上道踏木製品観察表

路線 No.	写真 No.	橋名	橋号	注 記	出上位置	橋位	橋種	橋種	法 規			木厚	備 考			
									長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (mm)					
89	84	2	2/A	S814	R8-1211	6.橋	中	桁板木製品	3.10	123.0	0.30	0.30	横目			
89	84	2	2/A	S814	R8-1211	6.橋	中	桁板木製品	3.90	0.65	0.45	0.45	横目	背面の角部		
89	84	3	2/A	S8228	R8-2187	6.橋	中	桁木	3.90	119.10	0.60	0.60	横目			
89	84	4	2/A	S8328	R8-2187	6.橋	中	桁木	4.70	18.30	0.40	0.70	横目			
89	84	5	2/A	S8329	R8-2187	6.橋	中	桁木	22.40	18.70	0.60	0.70	横目	打込しゆき		
89	84	6	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	24.80	0.70	1.10	0.40	横目	前面六角部		
89	84	7	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	24.00	0.70	0.40	0.40	横目	前面六角部		
89	84	8	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	22.20	0.60	0.50	0.50	横目	前面六角部		
89	84	9	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	21.25	0.50	0.30	0.40	横目	前面六角部		
89	84	10	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	15.60	0.30	0.90	0.40	横目	前面六角部		
89	84	11	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	15.20	0.65	0.60	0.60	横目	前面六角部		
89	84	12	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	14.50	0.60	0.50	0.50	横目	前面六角部		
89	84	13	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	13.60	0.75	0.60	0.35	横目	前面六角部		
89	84	14	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	12.00	0.55	0.45	0.45	横目	前面六角部		
89	84	15	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	11.80	0.70	0.40	0.40	横目	前面六角部		
89	84	16	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	11.70	0.70	0.40	0.40	横目	前面六角部		
89	84	17	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	10.20	0.70	0.40	0.40	横目	前面六角部		
89	84	18	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	9.40	0.55	0.40	0.40	横目	前面六角部		
89	84	19	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	8.75	0.50	0.40	0.40	横目	前面六角部		
89	84	20	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	7.80	0.50	0.40	0.40	横目	前面六角部		
89	84	21	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	7.50	0.30	0.30	0.30	横目	前面六角部		
89	84	22	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	6.70	0.50	0.40	0.40	横目	前面六角部		
89	84	23	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	7.30	0.60	0.40	0.40	横目	前面六角部		
89	84	24	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	7.30	0.70	0.30	0.30	横目	前面六角部		
89	84	25	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	7.20	0.60	0.40	0.40	横目	前面六角部		
89	84	26	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	6.90	0.55	0.40	0.40	横目	前面六角部		
89	84	27	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	6.80	0.75	0.30	0.30	横目	前面六角部		
89	84	28	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	6.10	0.50	0.40	0.40	横目	前面六角部		
89	84	29	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	5.65	0.60	0.50	0.40	横目	前面六角部		
89	84	30	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	5.50	0.55	0.40	0.60	横目	前面六角部		
89	84	31	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	5.40	0.50	0.25	0.25	横目	前面六角部		
89	84	32	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	5.30	0.40	0.35	0.35	横目	前面六角部		
89	84	33	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	5.20	0.35	0.35	0.35	横目	前面六角部		
89	84	34	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	4.90	0.70	0.40	0.40	横目	前面六角部		
89	84	35	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	4.80	0.55	0.40	0.40	横目	前面六角部		
89	84	36	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	4.70	0.45	0.40	0.35	横目	前面六角部		
89	84	37	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	4.60	0.60	0.55	0.60	横目	前面六角部		
89	84	38	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	4.40	0.55	0.45	0.45	横目	前面六角部		
89	84	39	2/A	S8312	R8-3A24	5.橋	中	桁板木製品	4.00	0.45	0.40	0.35	横目	前面六角部		
91	82	85	40	2/A	S8300	R8-3B17	1.8	2.23	中	中	桁材	縦横 5.9		41 ~ 44 断面を含む		
91	82	85	40	2/A	S8300	R8-3B17	2.2	中	中	桁材	縦横 5.9	4.85	8.60	横目	断面「一」下、巻目を含む	
91	82	85	42	2/A	S8300	R8-3B18	2.3	中	中	桁材	縦横 5.9	7.80	2.80	横目	断面「一」下、巻目を含む	
91	82	85	43	2/A	S8300	R8-3B18	2.4	中	中	桁材	縦横 5.9	8.40	4.10	横目	断面「一」下、巻目を含む	
91	82	85	44	2/A	S8300	R8-3B17	1.8	中	中	桁材	縦横 5.9	80.00	5.80	7.70	横目	断面「一」下、巻目を含む
94	88	45	2/A	S8300	R8-3B22	2.3	7.橋	中	桁材	4.10	0.70	0.30	0.30	横目		
94	88	46	2/A	S8300	R8-3B22	2.3	6.中	中	桁板木製品	11.10	1.40	0.80	1.00	横目		
94	88	47	2/A	S8300	R8-3B22	2.3	9.橋	中	桁板木製品	31.70	3.00	0.60	0.60	横目	断面七角部	
94	88	48	2/A	S8300	R8-3B22	2.3	9.橋	中	桁板木製品	20.00	0.80	0.60	0.60	横目	断面七角部	
94	88	49	2/A	S8300	R8-3B22	2.3	9.橋	中	桁板木製品	15.30	0.70	0.60	0.60	横目	断面七角部	
94	88	50	2/A	S8300	R8-3B22	2.3	7.橋	中	桁板木製品	11.20	0.40	0.20	0.20	横目	断面六角部	
94	88	51	2/A													

別表6 細池寺道上遺跡遺構出土古代土器種構成率

- 凡例 1 平成24年の遺構から出土した土器（土器部・黒色土器・灰土器）の構成比率を示した表である。
 2 土器の計算法は口縁断面法（宇野 1992、春日 1994）とそれを用いた底面断面法により計測した。また、併せて口縁数・底面数を示した。
 3 口縁・底面断面法によって得られた数値は^{*}/36を示し、それぞれ口縁数・底面数と略記した。

区	遺構名	種類	口縁断面法		底面断面法		併計		合計				
			口縁数	断面数	口縁数	断面数	口縁数	断面数					
1区	SH17	口縁数					0.1	100.0%	0.1	100.0%			
		口縁断面(点)								1	100.0%		
		底面数											
		底面断面(点)									1	100.0%	
		総重量(g)									12.0	100.0%	
2区	SH34	口縁数											
		口縁断面(点)									1	100.0%	
		底面数											
		底面断面(点)										2.0	100.0%
		総重量(g)									2.0	100.0%	
2区	SH14	口縁数											
		口縁断面(点)									1	100.0%	
		底面数											
		底面断面(点)										1.0	100.0%
		総重量(g)									1.0	100.0%	
2区	SH30	口縁数											
		口縁断面(点)									1	100.0%	
		底面数											
		底面断面(点)										14.0	100.0%
		総重量(g)									14.0	100.0%	
2区	SH42	口縁数											
		口縁断面(点)									8	72.7%	
		底面数									3	9.1%	
		底面断面(点)									3	9.1%	
		総重量(g)									38.0	87.6%	
2区	SH57	口縁数											
		口縁断面(点)									3.0	4.5%	
		底面数									7	10.6%	
		底面断面(点)									18.0	27.3%	
		総重量(g)									66.0	100.0%	
2区	SH58	口縁数											
		口縁断面(点)									1	100.0%	
		底面数											
		底面断面(点)										2.0	100.0%
		総重量(g)									2.0	100.0%	
2区	SH38	口縁数											
		口縁断面(点)										1	100.0%
		底面数											
		底面断面(点)										2.0	100.0%
		総重量(g)									2.0	100.0%	
2区	SH78	口縁数											
		口縁断面(点)										1	100.0%
		底面数											
		底面断面(点)										6.0	100.0%
		総重量(g)									6.0	100.0%	
2区	SH79	口縁数											
		口縁断面(点)										2	100.0%
		底面数											
		底面断面(点)										2.0	100.0%
		総重量(g)									2.0	100.0%	
2区	SH56	口縁数											
		口縁断面(点)										1	100.0%
		底面数											
		底面断面(点)										6.0	100.0%
		総重量(g)									6.0	100.0%	

区	遺構名	種類	口縁断面法		底面断面法		併計		合計				
			口縁数	断面数	口縁数	断面数	口縁数	断面数					
2区	SH176	口縁数											
		口縁断面(点)									1	100.0%	
		底面数											
		底面断面(点)										4.0	100.0%
		総重量(g)									4.0	100.0%	
2区	PH542	口縁数											
		口縁断面(点)									1	100.0%	
		底面数											
		底面断面(点)										1.0	100.0%
		総重量(g)									1.0	100.0%	
2区	PH437	口縁数											
		口縁断面(点)									2	100.0%	
		底面数											
		底面断面(点)										1.0	100.0%
		総重量(g)									1.0	100.0%	
2区	PH554	口縁数											
		口縁断面(点)									0.06	100.0%	
		底面数											
		底面断面(点)										1	100.0%
		総重量(g)									1.0	100.0%	
2区	PH572	口縁数											
		口縁断面(点)									2	100.0%	
		底面数											
		底面断面(点)										1.0	100.0%
		総重量(g)									4.0	100.0%	
2区	PH576	口縁数											
		口縁断面(点)									1	100.0%	
		底面数											
		底面断面(点)										5.0	100.0%
		総重量(g)									5.0	100.0%	
2区	PH516	口縁数											
		口縁断面(点)										1	100.0%
		底面数											
		底面断面(点)										1.0	100.0%
		総重量(g)									1.0	100.0%	
2区	PH407	口縁数											
		口縁断面(点)										1	100.0%
		底面数											
		底面断面(点)										1.0	100.0%
		総重量(g)									1.0	100.0%	
3区	SH567	口縁数											
		口縁断面(点)										1	100.0%
		底面数											
		底面断面(点)										40.0	100.0%
		総重量(g)									40.0	100.0%	

別表 8 細池寺道上遺跡鉄製品点数集計表

地区	種別 遺跡	鉄製品				総点数 (点)
		刀子	鉄釘	鉄鏝	その他	
1区	SS253				2	2
	SK1	1				1
	SK14			7	7	7
	SD39				1	1
2区	SD42	1	1			2
	SD79				2	2
	PD208		1			1
	SK494	1			1	2
	SK300		1			1
	SK700				1	1
総点数 (点)		3	3	0	13	19

別表 9 細池寺道上遺跡鉄製品重量集計表

地区	種別 遺跡	鉄製品				総重量 (g)
		刀子	鉄釘	鉄鏝	その他	
1区	SK325				18.21	18.21
	SK1	191.50				191.50
	SK14				0.02	0.02
	SD39				25.87	25.87
2区	SD42	154.50	10.00			164.50
	SD79				19.40	19.40
	PD208		4.50			4.50
	SK494	8.50			34.32	42.82
	SK300		3.36			3.36
	SK700				0.00	0.00
総重量 (g)		354.50	17.86	0.00	97.82	470.18

別表 10 細池寺道上遺跡鍛冶関連遺物点数集計表

地区	種別 遺跡	鍛冶関連遺物				総点数 (点)	
		鉄片	焼印形	印	砂型		
1区	SD291	1				1	
	SD341	1				1	
	SK17	13	1		17	31	
	SK1	2				2	
	SK8	9				9	
	PD222	1				1	
	SD39	2				2	
	SD42	4	1			5	
	SD58	6	3			9	
	PD62			1	1	1	
	SD78	42		1	1	44	
	SD79	24	1			25	
	SK111	1				1	
	SK121	2	1			3	
	PD164	1				1	
	PD111	1				1	
	PD366	1				1	
	PD368	2				2	
	SK371		1			1	
	SK453				4	4	
	PD476	1				1	
	SK494	2	1			3	
	SK499				1	1	
	SK513	4				4	
2区	PD568	1			1		
	PD583	1			1		
	SK609	1			1		
	SK610				1	1	
	SK512	1	2			3	
	PD617	1				1	
	PD644	1				1	
	PD670	1				1	
	PD680	1				1	
	SK716	1				1	
	PD728	2				2	
	SK741	1				1	
	SK754	1				1	
	SD767	1				1	
	SD768	4				4	
	PD792	1				1	
	SK800	3		1		4	
	PD854	1				1	
	SK890	2				2	
	SK899	1				1	
	3区	SD552				1	1
		SK700				1	1
	総点数 (点)		145	11	3	26	185

別表 11 細池寺道上遺跡鍛冶関連遺物重量集計表

地区	種別 遺跡	鍛冶関連遺物				総重量 (g)	
		鉄片	焼印形	印	砂型		
1区	SD291	1.66				1.66	
	SD341	17.21				17.21	
	SK17	467.90	1650.00			7888.80	
	SK1	43.05				43.05	
	SK8	116.12				116.12	
	PD222		1355.00			1355.00	
	SD39	40.17				40.17	
	SD42	243.19	190.00			433.19	
	SD58	601.36	323.66			925.02	
	PD62				0.54	0.54	
	SD78	446.79		53.80	46.00	546.59	
	SD79	484.18	194.42			938.60	
	SK111	20.73				20.73	
	SK121	26.05	46.50			91.55	
	PD164	55.50				55.50	
	PD111	6.53				6.53	
	PD366	11.63				11.63	
	PD368	27.63				27.63	
	SK371			43.50		43.50	
	SK453				16.24	16.24	
	PD476	6.23				6.23	
	SK494	49.53	149.50			199.03	
	SK499				1.84	1.84	
	SK513	101.24				101.24	
2区	PD568	5.33			5.33		
	PD583	9.79			9.79		
	SK609	74.25			74.25		
	SK610				1.31	1.31	
	SK512	8.97	1053.00			1061.97	
	PD617	6.80				6.80	
	PD644	12.25				12.25	
	PD670	14.01				14.01	
	PD680	24.19				24.19	
	SK716	7.61				7.61	
	PD728	29.66				29.66	
	SK741	11.26				11.26	
	SK754	13.25				13.25	
	SD767	14.28				14.28	
	SD768	101.75				101.75	
	PD792	25.96				25.96	
	SK800	91.53		202.00		293.53	
	PD854			38.20		38.20	
	SK890	29.86				29.86	
	SK899	6.14				6.14	
	3区	SD552				3.45	3.45
		SK700				3.45	3.45
	総重量 (g)		3223.69	5034.58	294.00	7973.18	16515.45

別表 12 繩池寺遺跡出土石製品・礫構成率

遺跡名	種類	石 製 品										礫 構 成		合 計			
		砥石	石鏡	磨石	磨石・砥石	石臼	鮮石製石製品	石臼	不安定石鏡	磨石	石鏡	總 量	率				
1K SK17	計数点	1															
	個体数(点)	4.0%															
	総重量(g)	757.5															
1K SK33	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K SK32	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K SK6	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K SK10	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K SK1	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K SK22	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K SK66	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K SK42	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K SK91	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K SK28	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K SK21	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K SK16	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K SK13	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K SK29	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K SK10	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K P613	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K P649	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K P627	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K P636	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K P641	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																
1K P656	計数点																
	個体数(点)																
	総重量(g)																

通稱名	種類	石 質 品											造 材			計 計					
		磁石	石 炭	磨石	磁石	磨石・磁石	白 石	輝石質石製品	石 白	不定形石質	珪 石	石 積	造 材	造 材	造 材	計 計	計 計				
1R P973	品 数(点)														2	100.0%		2	100.0%		
	総重量(t)														2	100.0%		2	100.0%		
2R SK34	品 数(点)															100.0%		1	100.0%		
	総重量(t)															100.0%		1	100.0%		
2R SK19	品 数(点)														1	100.0%		1	100.0%		
	総重量(t)														1	100.0%		1	100.0%		
2R SK14	品 数(点)	2	13.0%		2	13.0%			1	7.0%					2	13.0%	7	47.0%	16	100.0%	
	総重量(t)	232.0	2.0%		870.0	6.0%			631.2	4.0%					219.5	1.0%	2890.0	26.0%	9309.3	61.0%	15152.0
2R SK10	品 数(点)														1	50.0%	1	50.0%	2	100.0%	
	総重量(t)														1	50.0%	1	50.0%	2	100.0%	
2R SF121	品 数(点)														47	70.0%	200	30.0%	47	70.0%	
	総重量(t)														4	100.0%	4	100.0%	4	100.0%	
2R SK130	品 数(点)														1	20.0%	4	80.0%	5	100.0%	
	総重量(t)														1	20.0%	4	80.0%	5	100.0%	
2R SF111	品 数(点)														30	21.0%	530	73.0%	73	100.0%	
	総重量(t)														6	60.0%	4	40.0%	10	100.0%	
2R SK326	品 数(点)				1	3.0%			1	3.0%					6	60.0%	4	40.0%	10	100.0%	
	総重量(t)				1	3.0%			23	74.0%					1970.0	84.0%	1116.0	36.0%	3086.0	100.0%	
2R SK308	品 数(点)														17	35.0%	30	63.0%	47	100.0%	
	総重量(t)														17	35.0%	30	63.0%	47	100.0%	
2R SF404	品 数(点)														1	14.0%	5	72.0%	7	100.0%	
	総重量(t)														1	14.0%	5	72.0%	7	100.0%	
2R SF403	品 数(点)														5	29.0%	11	63.0%	16	100.0%	
	総重量(t)														17.0	1.0%	30	63.0%	47	100.0%	
2R SF612	品 数(点)	1	3.0%		1	3.0%									11	33.0%	15	46.0%	26	100.0%	
	総重量(t)	29.4	0.0%		6.7	0.0%									3	9.0%	1	3.0%	10	31.0%	
2R SK313	品 数(点)														3	20.0%	12	80.0%	15	100.0%	
	総重量(t)														3	20.0%	12	80.0%	15	100.0%	
2R SK300	品 数(点)														3	17.0%	5	83.0%	8	100.0%	
	総重量(t)														3	17.0%	5	83.0%	8	100.0%	
2R SK160	品 数(点)														1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	
	総重量(t)														1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	
2R SK224	品 数(点)														1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	
	総重量(t)														1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	
2R SK309	品 数(点)														7	100.0%	7	100.0%	7	100.0%	
	総重量(t)														7	100.0%	7	100.0%	7	100.0%	
2R SK404	品 数(点)	1	20.0%		1	20.0%									4	80.0%	5	100.0%	5	100.0%	
	総重量(t)	514.4	38.0%												843.0	62.0%	1357.4	100.0%			
2R SK405	品 数(点)														5	100.0%	5	100.0%	5	100.0%	
	総重量(t)														107.0	100.0%	107.0	100.0%			
2R SK306	品 数(点)														5	100.0%	5	100.0%	5	100.0%	
	総重量(t)														346.0	100.0%	346.0	100.0%			

通称名	種類	種別											計		計				
		磁石	石炭	鉄石	亜鉛	銅石・磁石	白金	銅・鉛・鉄石	石目	不定形石	銅石	石炭	数量	価					
2区 SK702	点取(点)															2	100.0%	2	100.0%
	総数量(点)															2	100.0%	2	100.0%
2区 SK729	点取(点)															64.0	100.0%	64.0	100.0%
	総数量(点)															1	100.0%	1	100.0%
2区 SK716	点取(点)															14.0	100.0%	14.0	100.0%
	総数量(点)															2	100.0%	2	100.0%
2区 SK610	点取(点)															2	100.0%	2	100.0%
	総数量(点)															22.0	100.0%	22.0	100.0%
2区 SK583	点取(点)															2	100.0%	2	100.0%
	総数量(点)															2	100.0%	2	100.0%
2区 SK890	点取(点)															27.0	100.0%	27.0	100.0%
	総数量(点)															2	100.0%	2	100.0%
2区 SK300	点取(点)															1	10.0%	9	90.0%
	総数量(点)															1	10.0%	9	90.0%
2区 SK302	点取(点)															199.0	55.0%	164.0	45.0%
	総数量(点)															1	25.0%	3	75.0%
2区 SK851	点取(点)															1	25.0%	3	75.0%
	総数量(点)															164.0	98.0%	25.0	14.0%
2区 SX100	点取(点)															1	100.0%	1	100.0%
	総数量(点)															64.0	100.0%	64.0	100.0%
2区 SX063	点取(点)															5	100.0%	5	100.0%
	総数量(点)															5	100.0%	5	100.0%
2区 SX005	点取(点)															535.0	100.0%	535.0	100.0%
	総数量(点)															3	100.0%	3	100.0%
2区 SX049	点取(点)															440.0	100.0%	440.0	100.0%
	総数量(点)															1	100.0%	1	100.0%
2区 SX059	点取(点)															51.0	100.0%	51.0	100.0%
	総数量(点)															3	75.0%	4	100.0%
2区 SX039	点取(点)															40.0	1.0%	968.0	99.0%
	総数量(点)															2	33.0%	2	33.0%
2区 SX142	点取(点)															233.0	12.0%	1628.0	80.0%
	総数量(点)															28	21.0%	45	66.0%
2区 SX080	点取(点)															286	21.0%	85	66.0%
	総数量(点)															8007.0	26.0%	17379.3	57.0%
2区 SX057	点取(点)															1	3.0%	23	74.0%
	総数量(点)															1	3.0%	3	9.0%
2区 SX038	点取(点)															525.0	19.0%	1424.0	51.0%
	総数量(点)															3	37.5%	4	49.5%
2区 SX078	点取(点)															3	37.5%	4	49.5%
	総数量(点)															205.0	4.0%	457.0	9.0%
2区 SX079	点取(点)															7	3.0%	187	89.0%
	総数量(点)															7	3.0%	187	89.0%
2区 SX079	点取(点)															2729.0	15.0%	14065.0	74.0%
	総数量(点)															8	7.0%	100	87.0%
2区 SX079	点取(点)															8	7.0%	100	87.0%
	総数量(点)															2321.0	23.0%	7196.0	71.0%

通稱名	種類	石											雜			合計							
		原石	石籠	石	道石	磨石・道石	白石	軽石質石製品	石目	不定形石	溝石	石積	道	土	骨								
2区 S056	点数(点)	3	3.0%		3	4.0%											11	12.0%	78	81.0%	95	100.0%	
	数量(点)	3	3.0%		3	4.0%											11	12.0%	78	81.0%	95	100.0%	
2区 S076	点数(点)	1037.0	6.0%		310.4	4.0%											2481.0	20.0%	8585.3	68.0%	12413.7	100.0%	
	数量(点)			1	2.0%		1	2.0%								2	6.0%	44	84.0%	52	100.0%		
2区 S0176	点数(点)			1	2.0%	1	2.0%										3	6.0%	44	84.0%	52	100.0%	
	数量(点)			83.6	1.0%	42.0	1.0%	511.6	8.0%							6.0	0.1%				6401.1	100.0%	
2区 S0148	点数(点)																3	100.0%			3	100.0%	
	数量(点)																	162.0	100.0%	162.0	100.0%		
2区 S0767	点数(点)																3	15.0%	17	85.0%	20	100.0%	
	数量(点)																3	15.0%	17	85.0%	20	100.0%	
2区 S0768	点数(点)			1	3.0%												630.0	20.0%	3543.0	80.0%	3173.0	100.0%	
	数量(点)			1089.0	30.0%												2	7.0%	26	80.0%	29	100.0%	
2区 S0154	点数(点)																810.0	23.0%	1690.0	47.0%	3588.0	100.0%	
	数量(点)																7	100.0%	7	100.0%	7	100.0%	
2区 S0608	点数(点)																396.0	100.0%	396.0	100.0%			
	数量(点)																1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	
2区 S0682	点数(点)																1	33.0%	28.0	100.0%	28.0	100.0%	
	数量(点)																1	33.0%	2	67.0%	3	100.0%	
2区 P67	点数(点)																5.0	25.0%	15.0	75.0%	20.0	100.0%	
	数量(点)																1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	
2区 P60	点数(点)																	22.0	100.0%	22.0	100.0%		
	数量(点)																	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
2区 P610	点数(点)																	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	数量(点)																	21.0	100.0%	21.0	100.0%		
2区 P6106	点数(点)																	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	数量(点)																	34.0	100.0%	34.0	100.0%		
2区 P640	点数(点)																	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	数量(点)																	16.0	100.0%	16.0	100.0%		
2区 P6116	点数(点)																	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	数量(点)																	17.0	100.0%	17.0	100.0%		
2区 P6126	点数(点)																	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	数量(点)																	161.0	100.0%	161.0	100.0%		
2区 P6128	点数(点)																	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	数量(点)																	34.0	100.0%	34.0	100.0%		
2区 P6130	点数(点)																	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	数量(点)																	15.0	100.0%	15.0	100.0%		
2区 P6236	点数(点)																	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	数量(点)																	16.0	100.0%	16.0	100.0%		
2区 P6583	点数(点)																	2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%
	数量(点)																	8.0	100.0%	8.0	100.0%		
2区 P6239	点数(点)																	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	数量(点)																	191.0	100.0%	191.0	100.0%		
2区 P6311	点数(点)																	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	数量(点)																	3.0	100.0%	3.0	100.0%		

填报单号	填报单名称	石 灰 品												合 计			
		一级灰	二级灰	三级灰	四级灰	一级+二级灰	二级+三级灰	三级+四级灰	四级灰	一级灰	二级灰	三级灰	四级灰	数量	占比		
2区	P0313 一级灰(点)													1	100.0%	1	100.0%
	一级灰(单)													1	100.0%	1	100.0%
2区	P0323 一级灰(点)													14.0	100.0%	14.0	100.0%
	一级灰(单)													1	100.0%	1	100.0%
2区	P0448 一级灰(点)													3.8	100.0%	3.8	100.0%
	一级灰(单)													1	100.0%	1	100.0%
2区	P0452 一级灰(点)													468.7	100.0%	468.7	100.0%
	一级灰(单)													1	100.0%	1	100.0%
2区	P0383 一级灰(点)													24.0	100.0%	24.0	100.0%
	一级灰(单)													1	100.0%	1	100.0%
2区	P0414 一级灰(点)													31.0	100.0%	31.0	100.0%
	一级灰(单)													1	100.0%	1	100.0%
2区	P0380 一级灰(点)													2	100.0%	2	100.0%
	一级灰(单)													2	100.0%	2	100.0%
2区	P0411 一级灰(点)													81.0	100.0%	81.0	100.0%
	一级灰(单)													4	100.0%	4	100.0%
2区	P0608 一级灰(点)													4	100.0%	4	100.0%
	一级灰(单)													115.0	100.0%	115.0	100.0%
2区	P0504 一级灰(点)													4	100.0%	4	100.0%
	一级灰(单)													256.0	100.0%	256.0	100.0%
2区	P0585 一级灰(点)													1	100.0%	1	100.0%
	一级灰(单)													11.0	100.0%	11.0	100.0%
2区	P0595 一级灰(点)													1	25.0%	3	75.0%
	一级灰(单)													48.0	42.0%	66.0	58.0%
2区	P0592 一级灰(点)													1	100.0%	1	100.0%
	一级灰(单)													24.0	100.0%	24.0	100.0%
2区	P0639 一级灰(点)													1	100.0%	1	100.0%
	一级灰(单)													141.0	100.0%	141.0	100.0%
2区	P0647 一级灰(点)													2	100.0%	2	100.0%
	一级灰(单)													46.0	100.0%	46.0	100.0%
2区	P0643 一级灰(点)													1	100.0%	1	100.0%
	一级灰(单)													97.0	100.0%	97.0	100.0%
2区	P0664 一级灰(点)													1	100.0%	1	100.0%
	一级灰(单)													1	100.0%	1	100.0%
2区	P0718 一级灰(点)													24.0	100.0%	24.0	100.0%
	一级灰(单)													2	100.0%	2	100.0%
2区	P0630 一级灰(点)													396.0	100.0%	396.0	100.0%
	一级灰(单)													1	100.0%	1	100.0%
2区	P0633 一级灰(点)													1	100.0%	1	100.0%
	一级灰(单)													6.0	100.0%	6.0	100.0%
2区	P0692 一级灰(点)													1	100.0%	1	100.0%
	一级灰(单)													24.5	100.0%	24.5	100.0%
2区	P0912 一级灰(点)													1	100.0%	1	100.0%
	一级灰(单)													53.0	100.0%	53.0	100.0%
2区	P0684 一级灰(点)													1	100.0%	1	100.0%
	一级灰(单)													21.0	100.0%	21.0	100.0%

道槽名称	槽段	石 灰 土											填 土			合计			
		碎石	卵石	卵石	卵石	卵石+碎石	碎石	碎石+卵石	碎石	碎石+卵石	卵石	卵石	填土	碎石	填土				
2区 P9589	点 数(点)	1	100.0%															1	100.0%
	体积数(点)	1	100.0%															1	100.0%
	重量数(点)	101.2	100.0%															101.2	100.0%
2区 P9440	点 数(点)																	1	50.0%
	体积数(点)																	1	50.0%
	重量数(点)																	8.0	62.0%
2区 P9534	点 数(点)																	1	100.0%
	体积数(点)																	1	100.0%
	重量数(点)																	60.0	100.0%
2区 P9596	点 数(点)																	1	100.0%
	体积数(点)																	1	100.0%
	重量数(点)																	85.0	100.0%
2区 P9882	点 数(点)																	1	100.0%
	体积数(点)																	1	100.0%
	重量数(点)																	620.0	100.0%
2区 P9814	点 数(点)																	1	100.0%
	体积数(点)																	1	100.0%
	重量数(点)																	7500.0	100.0%
3区 SP349	点 数(点)																	1	6.0%
	体积数(点)																	1	6.0%
	重量数(点)																	341.4	74.0%
3区 SP34	点 数(点)																	2.0	0.4%
	体积数(点)																	1	0.0%
	重量数(点)																	84.0	18.0%
3区 SP34	点 数(点)																	1	100.0%
	体积数(点)																	142.0	100.0%
	重量数(点)																	340.0	7.0%
3区 SX40	点 数(点)																	1	100.0%
	体积数(点)																	1	100.0%
	重量数(点)																	8.0	100.0%
3区 SP111	点 数(点)																	1	100.0%
	体积数(点)																	1	100.0%
	重量数(点)																	364.0	100.0%
3区 SP188	点 数(点)																	1	25.0%
	体积数(点)																	1	25.0%
	重量数(点)																	779.2	85.0%
3区 SP152	点 数(点)																	1	100.0%
	体积数(点)																	1	100.0%
	重量数(点)																	746.6	100.0%
3区 SP81	点 数(点)																	1	100.0%
	体积数(点)																	1	100.0%
	重量数(点)																	264.5	100.0%
3区 SP71	点 数(点)																	1	33.0%
	体积数(点)																	1	33.0%
	重量数(点)																	126.5	12.0%
3区 SP67	点 数(点)																	2	29.0%
	体积数(点)																	2	29.0%
	重量数(点)																	352.0	41.0%
3区 P9208	点 数(点)																	5	71.0%
	体积数(点)																	5	71.0%
	重量数(点)																	682.0	100.0%
3区 P9120	点 数(点)																	1	100.0%
	体积数(点)																	1	100.0%
	重量数(点)																	26.0	100.0%
4区 SP108	点 数(点)																	2	100.0%
	体积数(点)																	2	100.0%
	重量数(点)																	48.2	100.0%
4区 SP92	点 数(点)																	1	100.0%
	体积数(点)																	1	100.0%
	重量数(点)																	436.0	100.0%
4区 SX49	点 数(点)																	1	50.0%
	体积数(点)																	1	50.0%
	重量数(点)																	257.8	76.0%

別表 13 堀池寺道上遺跡石製品組成と石材組成表

種類	磁石	石製	磨石	磨石+磁石	白石	石製石(彫刻)	石臼	不定形石製	鏡片	石橋	磁石(点)	磁石(重)	平均重量 (g)	点数組成 (%)	重量組成 (%)
磁石	2	1						2			5	495.38	99.08	3.82	0.84
石製		1									1	23.07	23.57	0.76	0.04
磨石			1								1	279.25	279.25	0.76	1.31
磨石+磁石			4	8							17	11,316.05	665.65	12.98	19.08
白石					2				1	1	2	33.99	17.00	1.63	0.06
石製石(彫刻)					1						4	644.17	161.04	3.05	1.99
石臼											1	514.29	514.29	0.76	0.87
不定形石製											51	21,298.08	417.61	39.94	35.31
鏡片									4	2	1	341.42	341.42	0.77	0.58
石橋											28	4,255.14	151.97	21.38	7.18
合計	1	1									11	406.17	806.17	0.77	1.36
総重量	6	2	2	2	2						16	18,629.26	1,158.08	12.22	31.25
平均重量	1	2									3	275.00	91.68	2.29	0.46
総点数 (点)	31	1	23	22	2	11	28	3	3	5	2	131			100.0
総重量 (g)	11,666.71	83.59	2,738.31	8,296.63	883.94	27,900.02	4,255.14	779.25	350.85	191.99	2,435.58	59,312.01	452.76		100.0
点数組成 (%)	23.66	0.76	19.08	16.80	1.52	8.4	21.38	0.77	2.29	3.82	1.53	100.0			
重量組成 (%)	19.67	0.14	4.62	13.99	0.98	47.69	7.12	1.31	0.59	0.32	4.12	100.0			

別表 14 堀池寺道上遺跡地区別石製品組成表

種類	磁石	石製	磨石	磨石+磁石	白石	石製石(彫刻)	石臼	不定形石製	鏡片	石橋	磁石(点)	磁石(重)	平均重量 (g)	点数組成 (%)	重量組成 (%)
1区	4	2	2	1	1	8					19	10,518.43	553.60		
2区	25	1	23	16	10	16					3	5,101.44	715.21	442.72	
2区	1										8	3,722.62	471.58		
4区	1										3	305.75	101.92		
総点数	31	1	25	22	11	28	1	3	5	2	131	59,312.01	452.76		

別表 15 堀池寺道上遺跡地区別石材組成表

種類	磁石	石製	磨石	磨石+磁石	白石	石製石(彫刻)	石臼	不定形石製	鏡片	石橋	磁石(点)	磁石(重)	平均重量 (g)	点数組成 (%)	重量組成 (%)
1区											4	1	61	8	191
2区	6	1	13	2	3	14	1	16	1	16	3	101	44,715.21	442.72	
2区	1										3	1	4	3,722.62	471.58
4区	1										1	2	3	305.75	101.92
総点数	9	1	13	2	4	15	1	28	1	16	3	131	59,312.01	452.76	

別表 16 堀池寺道上遺跡遺構別石製品点数組成表

種類	磁石	石製	磨石	磨石+磁石	白石	石製石(彫刻)	石臼	不定形石製	鏡片	石橋	合計(点)	
SR17	1					3					6	
SR333						1					1	
SR9		1	2	1		1					5	
SR10	1										1	
SR368						1					1	
SR341						1					1	
SR21						1					1	
SR290						1					1	
PR41	1										1	
PR56	1										1	
SR14	2		2		1	1					6	
SR328						1					1	
SR368						1					1	
SR494						1					1	
SR483						1					1	
SR612	1	1				1	3	1	2		10	
SR800										1	1	
SR464	1										1	
SR900											1	
SR649		1									1	
SR39						2					2	
SR42	3	2	3		2	4					15	
SR80						3					3	
SR57						1					1	
SR78	1	7	2		1	1					12	
SR79	2	3	1								6	
SR358	3	3									6	
SR176		1	1			2					4	
SR768											1	
PR323											1	
PR448						1					1	
PR692											1	
PR891						1					1	
PR589	1										1	
PR440						1					1	
PR892						1					1	
PR514						1					1	
SR149						1					1	
SR81	1										1	
SR771						1					1	
SR188						1					1	
SR152						1					1	
PR208						1					1	
SR49	1										1	
SR538	1					2					3	
合計(点)	21	3	24	18	2	10	28	3	2	5	2	114
総重量 (g)	18.4	0.9	21.15	15.6	1.8	8.8	24.6	0.9	1.6	4.4	1.8	100.0

別表 18 堀池寺道上遺跡木製品集計表

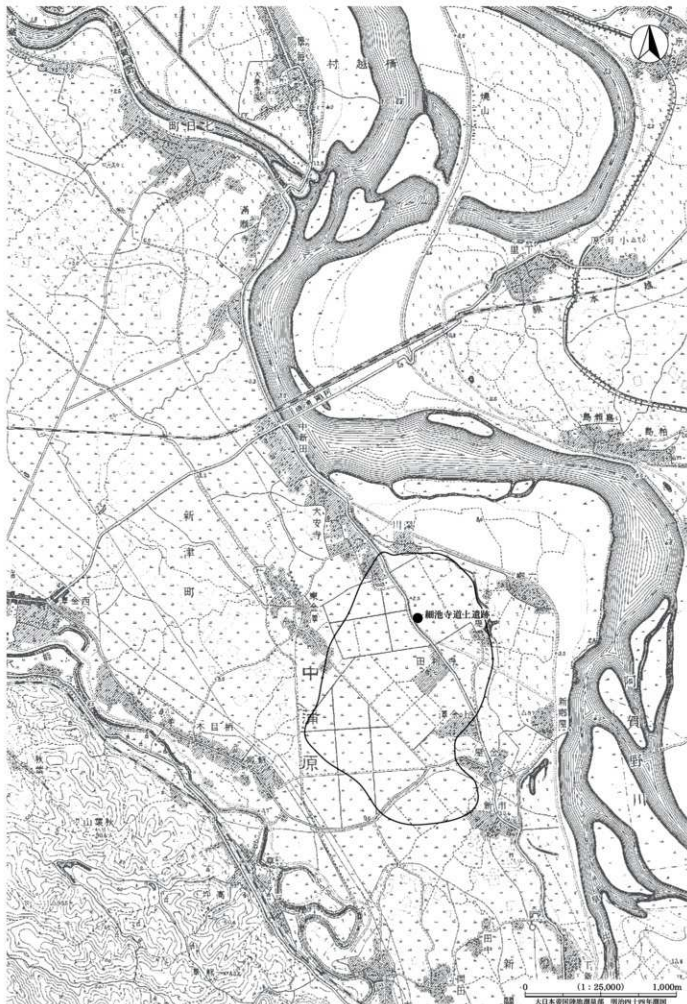
種類	種類	材種	片戸数材 (片戸側部材含む)	面物	円形板	管状	箸状	箸先スリ	不明・自然木	総点数 (点)
2区	SR14				33	1	1	1	11	48
2区	SR111								1	1
2区	SR328				10	2		13	4	29
2区	SR612							51	1	67
2区	PR890	1								1
2区	SR800		26	1	3	0	2	14	52	
2区	SR538		20	13	2	36	58	17	45	196

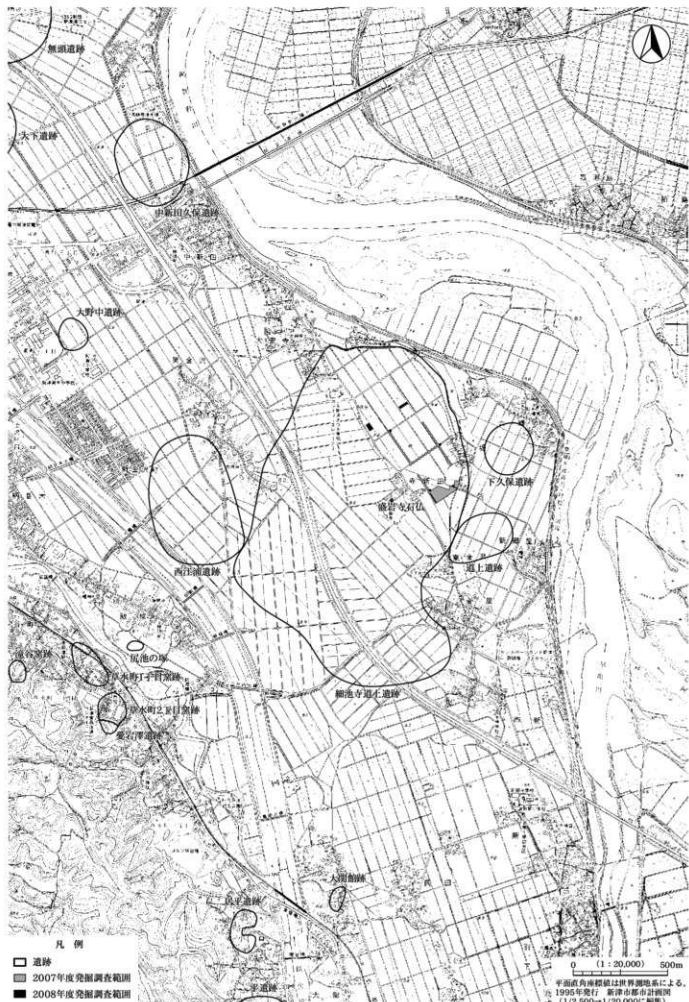
* 鏡片点数での集計

別表 17 堀池寺道上遺跡遺構別石製品重量組成表

種類	磁石	石製	磨石	磨石+磁石	白石	石製石(彫刻)	石臼	不定形石製	鏡片	石橋	合計(g)
SR17	787.0					522.7	5000.0	108.2			6388.5
SR333											79.1
SR9			221.3	986.6	242.5			4.1			1453.4
SR10	22.0										22.0
SR368										28.1	28.1
SR341			64.8								64.8
SR21										107.0	107.0
SR290										8.8	8.8
PR41	1864.7										1864.7
PR56	511.8										511.8
SR14	232.0		870.0			631.2	10.0	219.5		9.5	1952.7
SR328				410.0						15.0	15.0
SR368											5500.0
SR494						5000.0				17.0	17.0
SR483								3900.0			1675.0
SR612	294.4		6.7							421.0	3654.6
SR800										2014.6	2014.6
SR464	514.4										514.4
SR900										199.2	199.2
SR649										88.6	88.6
SR39										156.0	156.0
SR42	1246.7		338.4	497.1		2520.7	397.0				4999.9
SR80						800.1				21.0	821.1
SR57											4600.0
SR78	247.1		589.9	535.4		450.0	136.0				1958.4
SR79	234.9		155.9	174.2							564.9
SR358	1037.0		310.4								1347.4
SR176			83.6	42.0	611.8					6.9	643.1
SR768	1089.0										1089.0
PR323				3.8							3.8
PR448										408.7	408.7
PR692											24.2
PR891										728.6	728.6
PR589	101.2										101.2
PR440										8.0	8.0
PR892						620.0					620.0
PR514							7600.0				

圖 版







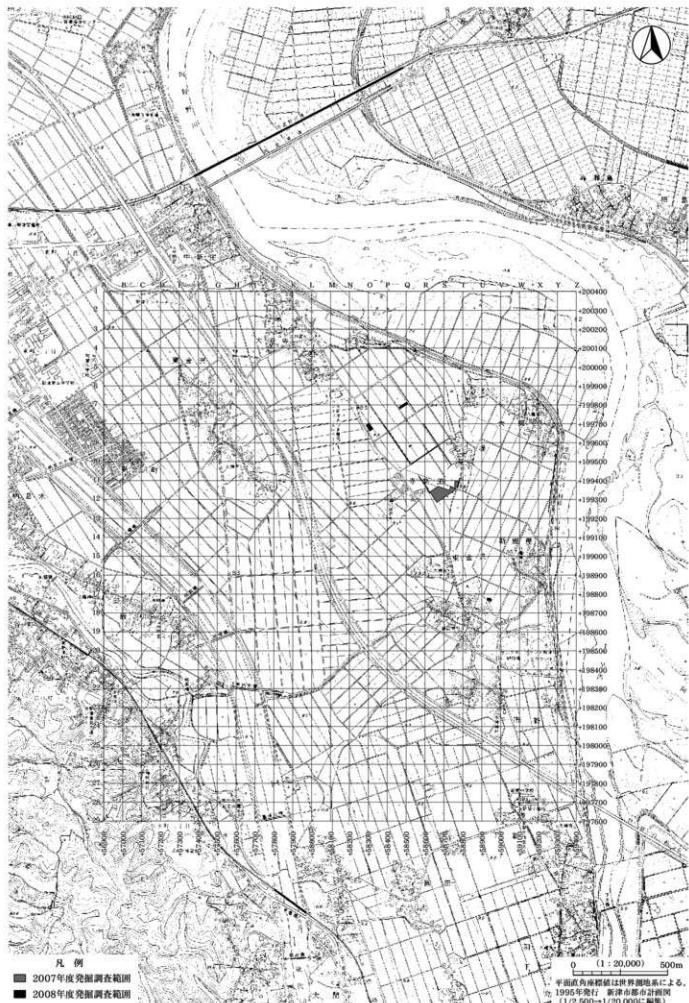
凡例

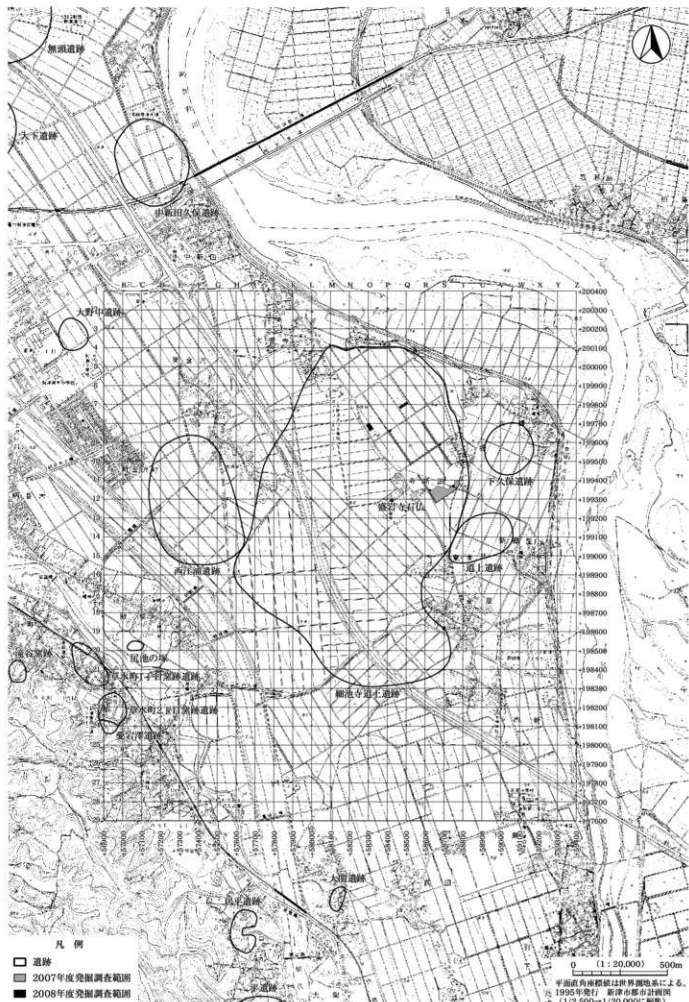
- 包含屑出土の遺物、遺構が検出されたトレンチ
- 包含屑出土の遺物、遺構が検出されなかったトレンチ

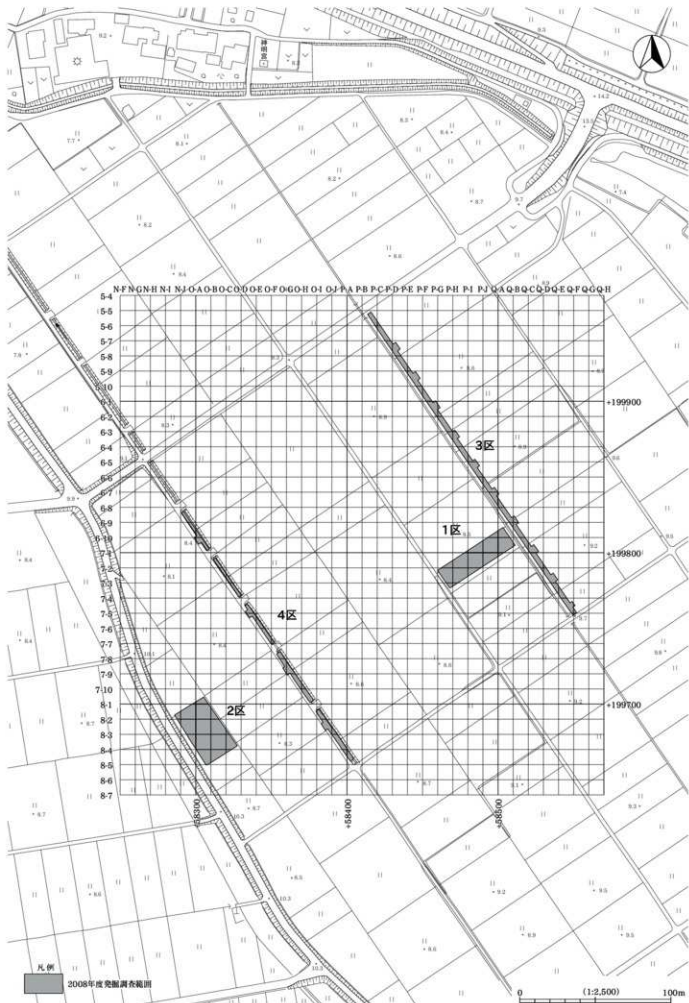
※両新地区は場整備事業に伴う試掘・確認調査地区名を便宜的に大塚寺から全塚までの幹線道路より東をA地区、その道路より西から惣越自動車道間をB地区、惣越自動車道より西をC地区とした。
トレンチ名称は、それぞれ一部を除き通し番号とした。

0 (1 : 12,500) 500m

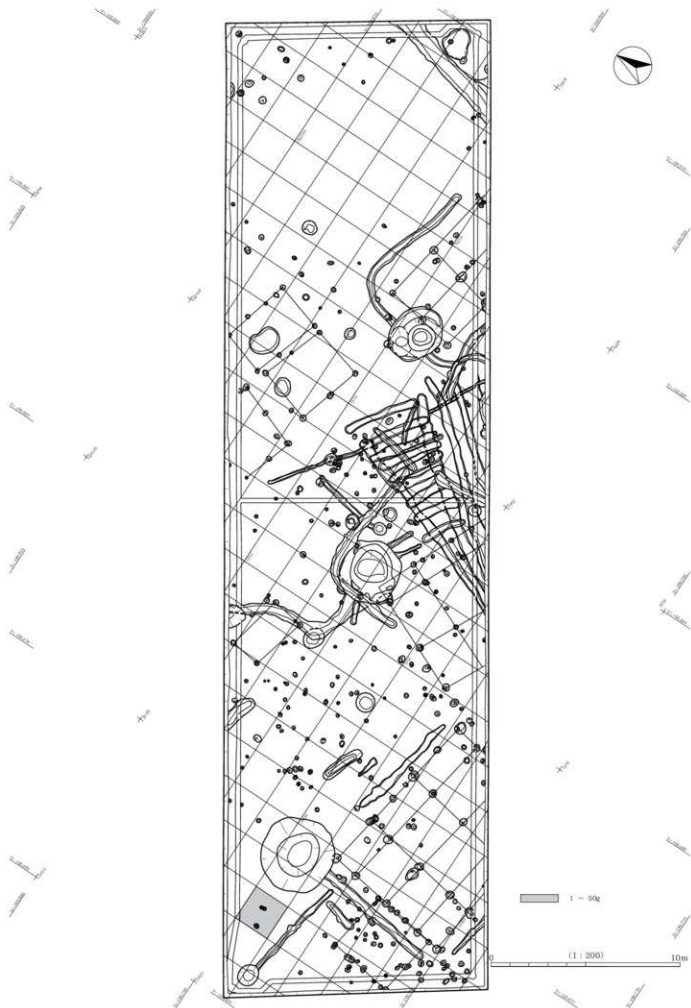
両新地区は場整備に伴う試掘・確認調査データをもとに作成

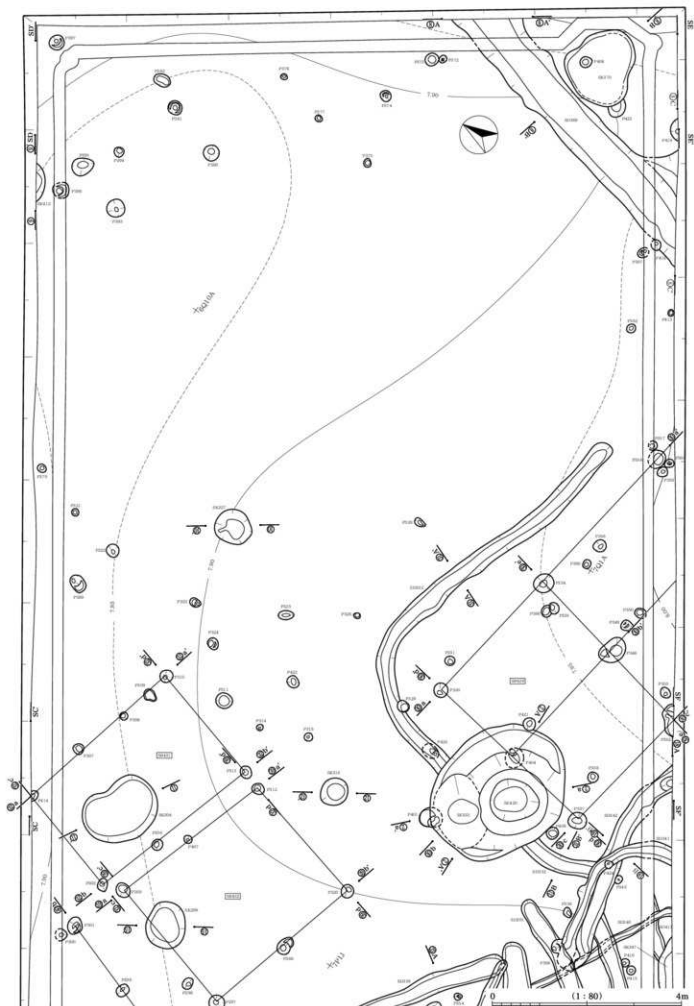


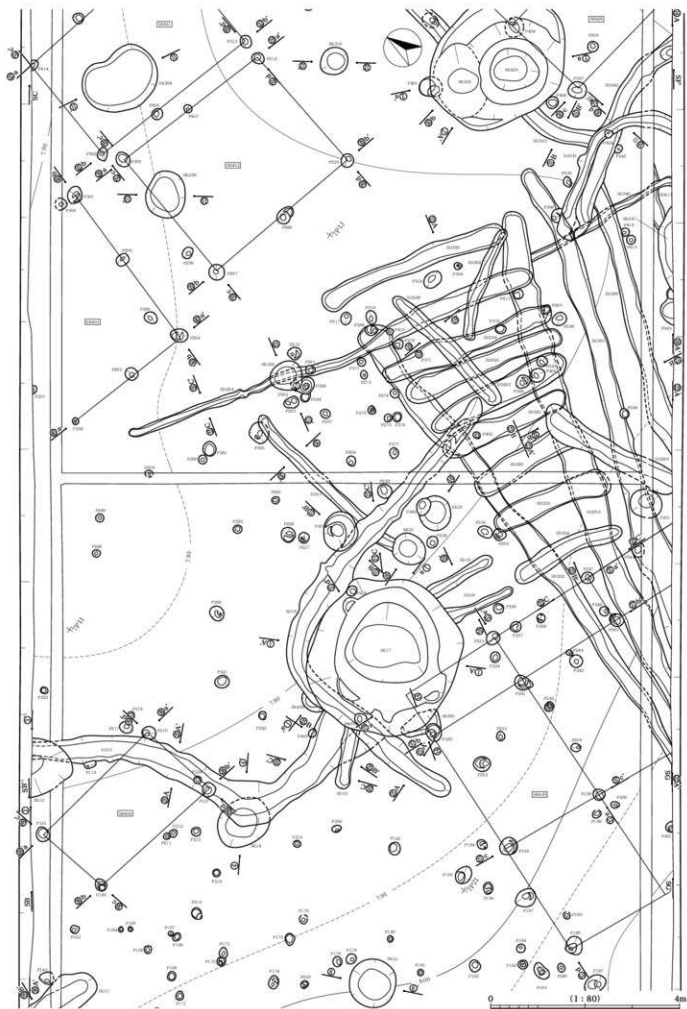


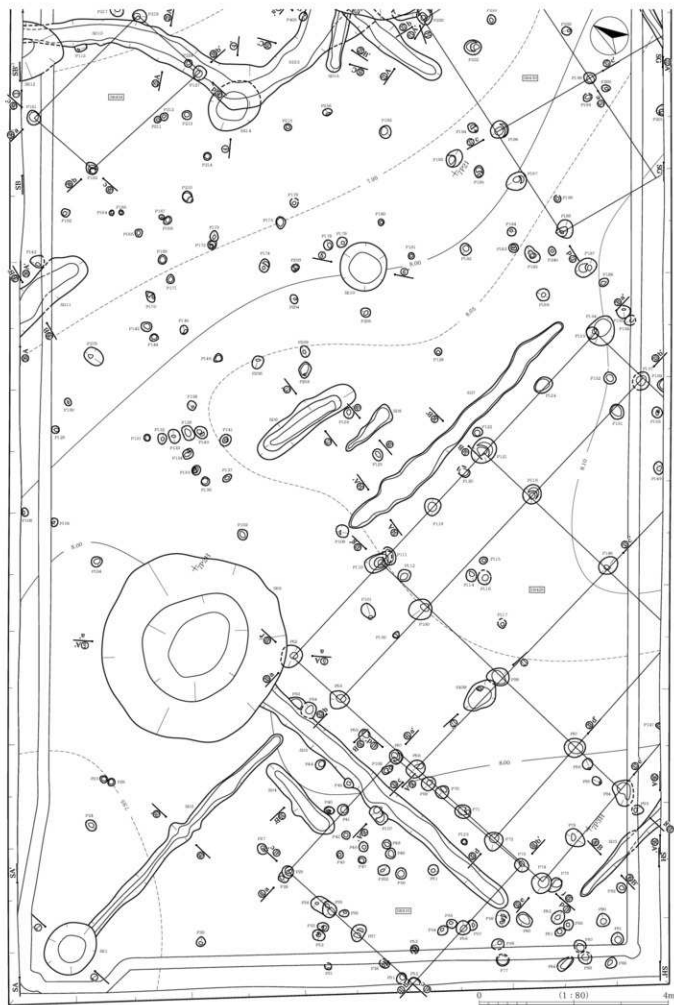


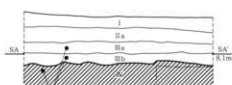




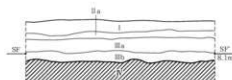
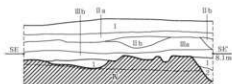
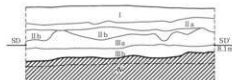
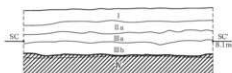
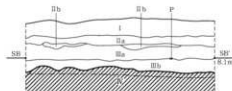








自然科学分析サンプル採取位置

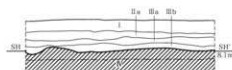
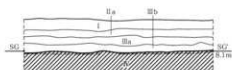


SK427

1 褐色シルト (10YR4/1) 腐れ中やあり、しまりあり。高・中層の心部掘削部には平面で把握できなかった。

P0419

1 黒褐色シルト (10YR2/3) 腐れ中やあり、しまりあり。片層が70°程度にやがや入る。
2 黒褐色シルト (10YR2/2) と片層との境界層 腐れ中やあり、しまりあり。変化物はほとんどなし。



基本層序

I 灰サリ〜アロシルト (10YR7/2)

腐れあり、しまり中やあり。腐れ中やあり、腐れ中やあり。

IIa 褐色シルト (10YR4/2)

腐れ、しまり中やあり。腐れ中やあり、腐れ中やあり。

IIb 黒褐色シルト (10YR4/2)

腐れ、しまり中やあり。腐れ中やあり、腐れ中やあり。

IIIa 黒褐色シルト (10YR3/2)

腐れ、しまり中やあり。腐れ中やあり、腐れ中やあり。

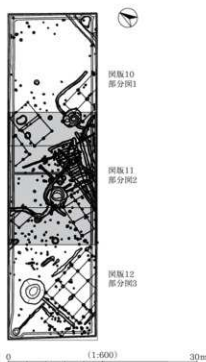
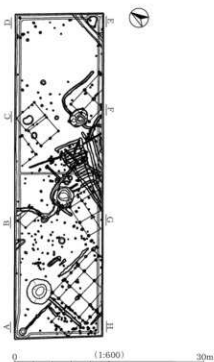
IIIb 褐色シルト (10YR4/1)

腐れ中やあり、しまり中やあり。φ3-5mmの硬化物が少量入る。多量の黒褐色土が部分的に入ら。遺物も少量。

N 硬い黒褐色シルト (10YR4/2)

腐れ中やあり、しまり中やあり、IIIa。

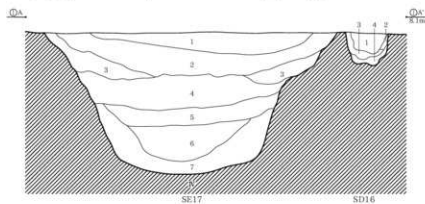
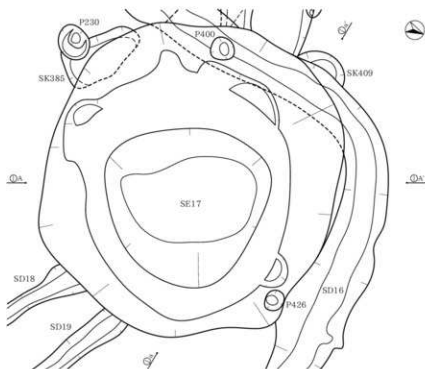
0 (1:40) 2m



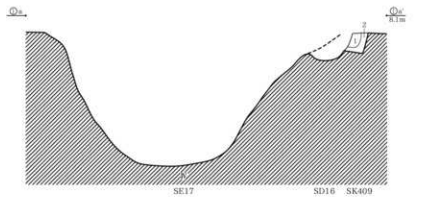
図版10
部分図1

図版11
部分図2

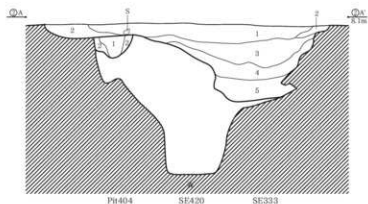
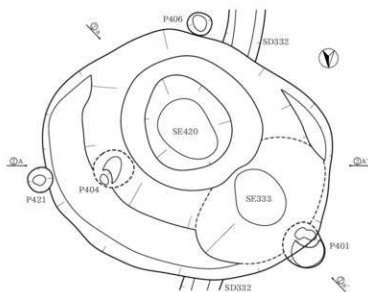
図版12
部分図3



- SD16**
- 1 黒褐色土 (10YR3/2) 腐植中やあり、しまりあり。φ1~3mmの炭化物が中量入る。SE17の1層よりやや浅い。
 - 2 黒褐色土 (10YR3/2) 腐植中やあり、しまりあり。φ1mmの炭化物が少量入る。右壁より階段にやや多く入る。
 - 3 黒褐色粘土 (10YR3/2) 腐植：しまりあり。炭化物はほとんどなし。右壁よりアソフ層にやや多く入る。
 - 4 黒褐色土 (10YR3/2) 土層上の粘土層。腐植中やあり、しまりあり。炭化物はほとんどなし。
- SE17**
- 1 黒褐色シルト (7.5YR4/3) 腐植：しまりあり。炭化物が少量入る。
 - 2 黒褐色シルト (7.5YR3/1) 腐植：しまりあり。
 - 3 黒褐色シルト (7.5YR3/1) 腐植：しまりあり。右壁より少量入る。
 - 4 黒褐色粘り土 (7.5YR3/1) 腐植濃層にあり、しまりあり。炭化粘り土層の粘土層。
 - 5 硬アソフ粘り土 (5Y4/3) 腐植濃層にあり、しまりあり。右壁より炭化粘り土の粘土層。
 - 6 灰褐色シルト (5Y4/1) 腐植：しまり濃層にあり。炭化粘り土層の硬アソフ層にあり。
 - 7 黒褐色粘り土 (5Y3/1) 腐植：しまり濃層にあり。右壁より炭化粘り土の粘り層。



- SK409**
- 1 黒褐色土 (10YR3/2) 腐植中やあり、しまりあり。φ1~3mmの炭化物が中量入る。
 - 2 土色不明褐色土 (10YR4/3) 腐植中やあり、しまりあり。φ1mmの炭化物が少量入る。

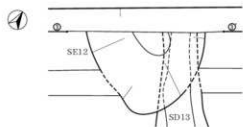
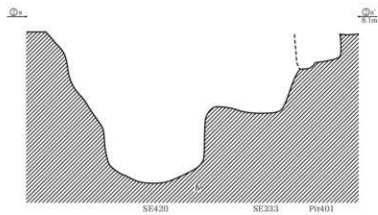


SE333

- 1 灰褐色土 (10YR3/2) 粘質・しりりあり、炭化物が稀少混入。
 2 褐色土 (10YR4/2) 粘質中あり、しりりあり、少量の炭化物。
 3 灰褐色土 (10YR4/2) 粘質・しりりあり、炭化物が少量混入。
 4 褐色土 (10YR4/3) 粘質・しりりあり、少量の炭化物混入。
 5 灰褐色粘質土 (10YR5/1) 粘質あり、しりり多量にあり、灰層土と炭化物土との互層構造。

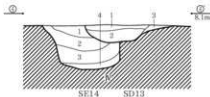
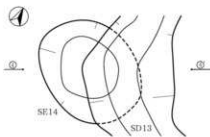
P404

- 1 灰褐色土 (10YR3/2) 粘質・しりりあり、炭化物が少量混入。
 2 濃い灰褐色土 (10YR4/3) 粘質・しりりあり。



SE12

- 1 灰褐色土 (10YR3/2) 粘質・しりりあり、炭化物が稀少混入。
 2 灰褐色土 (10YR3/1) 粘質・しりりあり、 ϕ 1mmの炭化物が混入。
 3 灰褐色土 (10YR3/1) 粘質・しりりあり、少量の炭化物。
 4 灰褐色粘質土 (2.5Y4/2) 粘質・しりりあり、少量の炭化物。
 5 褐色土 (10YR4/4) 粘質・しりりあり。
 6 灰褐色土 (10YR3/2) 粘質表面にあり、しりりあり。
 ϕ 1mmの炭化物が混入。

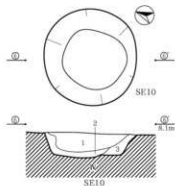
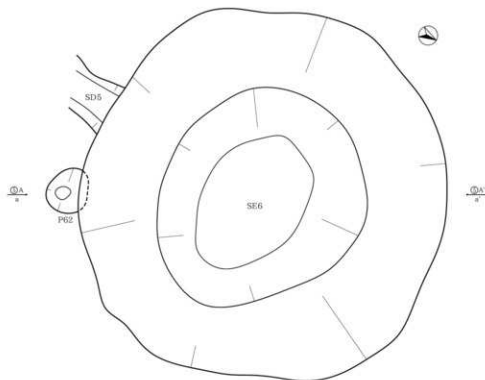


SD13

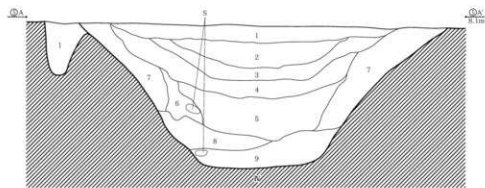
- 1 灰褐色土 (10YR3/3) 粘質中あり、しりりあり、 ϕ 1mmの炭化物が少量混入、灰層土が下に少量混入。
 2 灰褐色土 (10YR3/3) 粘質中あり、しりりあり、 ϕ 1~2mmの炭化物が少量混入、少量の炭層が下に少量混入。
 3 灰褐色土 (10YR4/2) 粘質中あり、しりりあり。

SE14

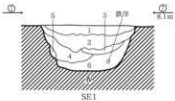
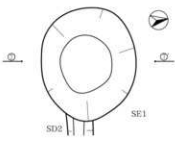
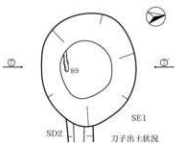
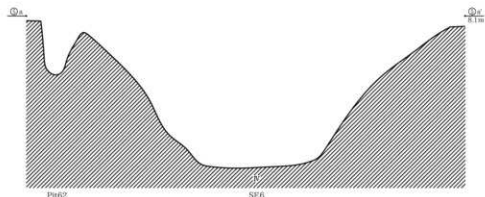
- 1 灰褐色土 (10YR3/3) 粘質中あり、しりりあり、 ϕ 1mmの炭化物が少量混入、少量の炭層が下に少量混入。
 2 灰褐色粘質土 (10YR3/2) 粘質・しりりあり、 ϕ 1~2mmの炭化物が少量混入。
 3 灰褐色粘質土 (10YR3/2) 粘質・しりりあり、少量の炭層が混入。
 4 灰褐色粘質土 (10YR3/4) 粘質・しりり中あり。



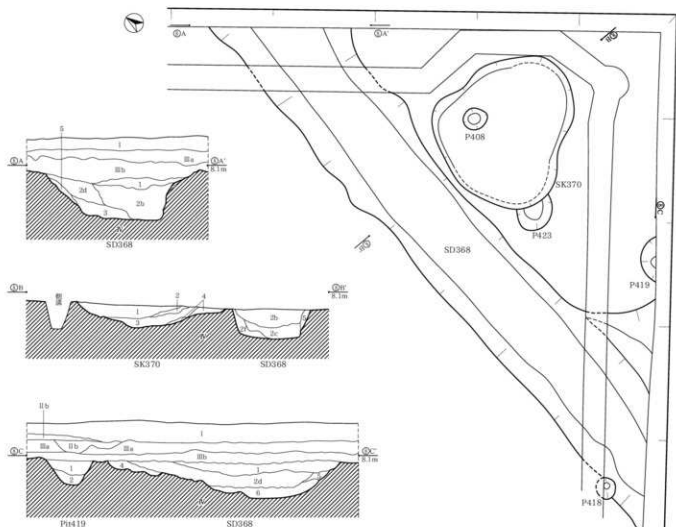
SE10
 1 褐色土 (10YR5/1) 軟質 - L. 土中中あり。
 2 2~3mmの硬化物が少量入る。
 3 灰褐色土 (10YR5/2) 軟質あり、L. 土中中あり。
 4 1mmの硬化物が少量入る。右層土が少量入る。
 5 灰褐色土 (10YR5/2) 軟質あり、L. 土中中あり。
 6 5mmの硬化物が少量入る。右層土が少量L. 土中中あり。



SE6
 1 灰褐色土 (10YR5/2) 軟質 - L. 土中あり。硬化物が少量入る。
 2 灰褐色土 (10YR5/4) 軟質 - L. 土中あり。硬化物が少量入る。
 3 灰褐色土 (10YR5/2) 軟質 - L. 土中あり。2~3mmの硬化物が少量入る。
 4 灰褐色土 (10YR5/1) 軟質土あり。L. 土中あり。刀鏃土が少量入る。
 5 灰色粘質土 (7.5Y5/1) 軟質土あり。L. 土中あり。灰 (アサ) 層。
 6 灰色粘質土 (10YR5/1) 軟質土あり。L. 土中あり。刀鏃土が入る。
 7 灰褐色土 (10YR5/2) 軟質 - L. 土中あり。右層土の混入。
 8 灰褐色粘質土 (10YR5/2) 軟質土あり。L. 土中あり。灰 (アサ) と軟質土の混入。
 9 灰色粘質土 (10YR5/1) 軟質 - L. 土中少量あり。軟質土と灰色粘質土の混入。
 Pt62
 1 灰褐色土 (10YR5/1) 軟質 - L. 土中あり。



SE1
 1 灰褐色土 (10YR5/2) 軟質 - L. 土中あり。
 2 5mmの硬化物が少量入る。右層土が少量L. 土中に入っている。
 3 灰色土 (10YR5/1) 軟質 - L. 土中中あり。
 4 灰色土あり。
 5 褐色土 (7.5Y5/1) 硬質土あり。
 6 灰褐色土 (10YR5/1) 軟質 - L. 土中あり。
 7 硬質土が少量入る。
 8 灰褐色土 (10YR5/1) 軟質 - L. 土中あり。
 9 灰色粘質土 (10YR5/1) 軟質土あり。L. 土中あり。
 10 灰色粘質土 (10YR5/1) 軟質土あり。L. 土中あり。



SD368

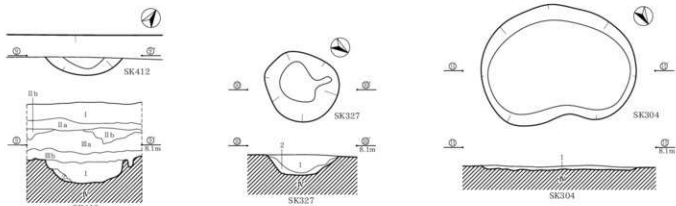
- 1 黒褐色土 (10YR3/2) 粘性中であり、しまりあり。φ1~5mmの炭化物が少量入る。
 2b 灰土 (10YR2/1) 粘性中であり、しまりあり。φ1~10mmの炭化物が中々多く入る。灰層土がブロック状にやや多く入る。粘土粒が少量入る。
 2c 赤色粘土 (10YR4/3) 粘性中であり、しまりあり。φ1~10mmの炭化物が少量入る。灰層土が少量入る。土層2層の厚。
 3a 黒褐色土 (10YR3/2) 粘性中であり、しまりあり。φ1~5mmの炭化物が中々多く入る。灰層土がブロック状に少量入る。粘土粒が少量入る。
 3b 黒褐色粘土 (10YR3/2) 粘性中であり、しまりあり。φ1~5mmの炭化物が少量入る。灰層土がブロック状に多く入る。
 3c 黒褐色土 (10YR3/2) 粘性中であり、しまりあり。φ1~5mmの炭化物が少量入る。灰層土がブロック状に少量入る。粘土粒が少量入る。
 4 灰褐色土 (10YR3/2) 粘性中であり、しまりあり。φ1~5mmの炭化物が少量入る。灰層土が少量入る。
 5 黒褐色土 (10YR3/2) 土層土の粘り層 粘性中であり、しまりあり。φ1~10mmの炭化物が少量入る。
 6 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性 しまりあり。φ1~20mmの炭化物が少量入る。灰層土が少量入る。粘土粒が少量入る。

SK370

- 1 赤土(黄褐色土) (10YR4/2) 粘性中であり、しまりあり。φ1~20mmの炭化物が中々多く入る。粘土粒が少量入る。
 2 黒褐色土 (10YR3/2) 粘性中であり、しまりあり。φ1~5mmの炭化物が少量入る。粘土粒が少量入る。
 3 黒褐色土 (10YR3/2) 粘性中であり、しまりあり。φ1~20mmの炭化物が中々多く入る。粘土粒が中々多く入る。
 4 赤土(黄褐色土) (10YR4/2) 粘性中であり、しまりあり。φ1~5mmの炭化物が少量入る。

P419

- 1 黒褐色土 (10YR3/2) 粘性中であり、しまりあり。灰層土がブロック状に中々多く入る。
 2 黒褐色土 (10YR3/2) 土層土の粘り層 粘性中であり、しまりあり。炭化物はほとんどない。



SK412

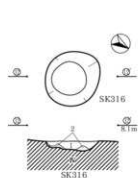
- 1 黒褐色土 (10YR2/1) 粘性中であり、しまりあり。
 φ1~10mmの炭化物が少量入る。灰層土が少量入る。
 2 黒褐色土 (10YR2/1) 土層土の粘り層 粘性中であり、しまりあり。
 炭化物はほとんどない。

SK327

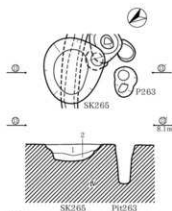
- 1 黒褐色土(赤土) (10YR3/1) 粘性 しまりあり。
 φ10mmの炭化物が少量入る。
 2 黒褐色土(赤土) (10YR3/2) 粘性 しまりあり。
 灰層土が少量入る。

SK304

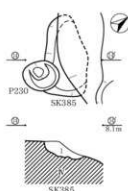
- 1 赤土(黄褐色土) (10YR4/2) 粘性中であり、しまりあり。
 灰層土が少量入る。
 2 黒褐色土(赤土) (10YR3/2) 粘性 しまりあり。
 灰層土が少量入る。



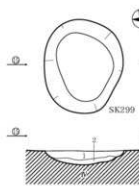
SK316
1 原築色シタ (10YR3/2) 断片・しまりあり、炭化物が少量入る。
2 2次土質褐色シタ (10YR4/2) 断片・しまりあり、片層土が入る。



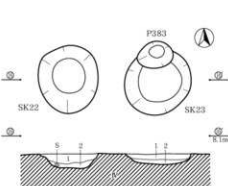
SK205 Pit263
1 原築色シタ (10YR3/2) 断片・しまりあり、 $\phi 5mm$ の炭化物が少量入る。
2 原築色シタ (10YR3/2) 断片片層土あり、しまりあり、片層土が入る。



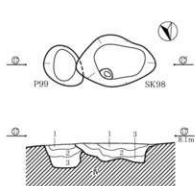
SK385
1 原築色土 (10YR3/2) 断片・しまりあり、 $\phi 1-2mm$ の炭化物が少量入る。
片層土が少量入る。



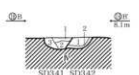
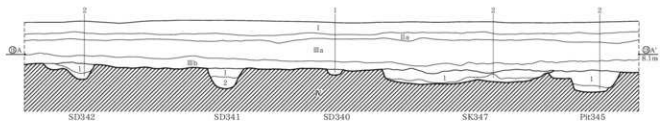
SK299
1 原築色シタ (10YR3/1) 断片・しまりあり、 $\phi 5mm$ の炭化物が少量入る。
2 原築色シタ (10YR3/2) 断片・しまりあり、片層土が少量入る。



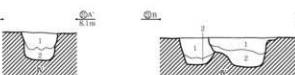
SK22 SK23
1 原築色シタ (10YR3/2) 断片・しまりあり、炭化物が少量入る。
2 原築色シタ (10YR3/2) 断片・しまりあり、片層土が入る。
SK23
1 原築色シタ (10YR3/2) 断片・しまりあり、炭化物が少量入る。
2 原築色シタ (10YR3/2) 断片・しまりあり、片層土が入る。



SK98 Pit99
1 原築色シタ (10YR3/2) 断片・しまりあり、炭化物が少量入る。
2 原築色シタ (10YR3/2) 断片・しまりあり。
3 原築色シタ (10YR4/4) 断片あり、しまり層にあり、片層土が入る。
SK98
1 原築色シタ (10YR3/1) 断片・しまりあり、炭化物が少量入る。
2 原築色シタ (10YR3/2) 断片・しまりあり、片層土が少量入る。
3 原築色シタ (10YR3/2) 断片・しまりあり、片層土が入る。



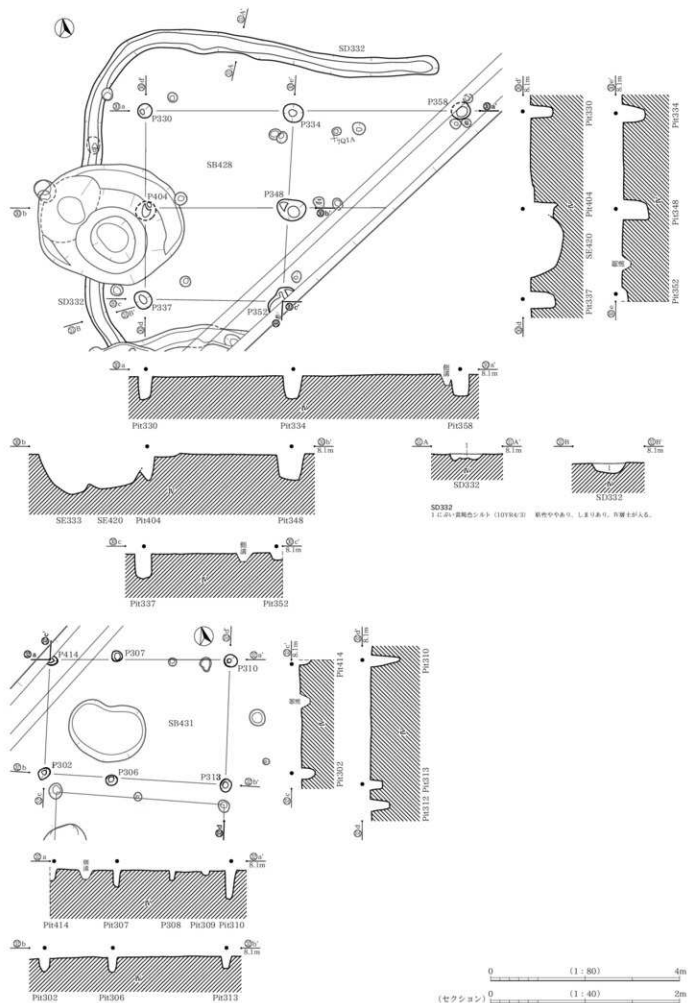
SD340
1 原色土 (10YR2/1) 断片・しまりあり、 $\phi 1mm$ の炭化物が少量入る。
SD341
1 原築色土 (10YR3/2) 断片・しまりあり、 $\phi 1mm$ の炭化物が少量入る。片層土が少フック状に少量入る。
2 原色土 (10YR2/1) 断片・しまりあり、炭化物はほとんどなし。片層土が少フック状に入る。
SD342
1 原色土 (10YR2/1) 断片・しまりあり、片層土が少フック状に少量入る。
2 原築色土 (10YR3/2) と片層土の混合層 断片・しまりあり、炭化物はほとんどなし。
Pit345
1 原色土 (10YR2/1) 断片・しまりあり、 $\phi 1mm$ の炭化物が少量入る。
2 原築色土 (10YR3/2) 断片・しまりあり、 $\phi 1mm$ の炭化物が少量入る。
SK347
1 原色土 (10YR2/1) 断片・しまりあり、炭化物はほとんどなし。片層土が少フック状に少量入る。
2 原色土 (10YR2/1) と片層土の混合層 断片・しまりあり、 $\phi 1mm$ の炭化物が少量入る。

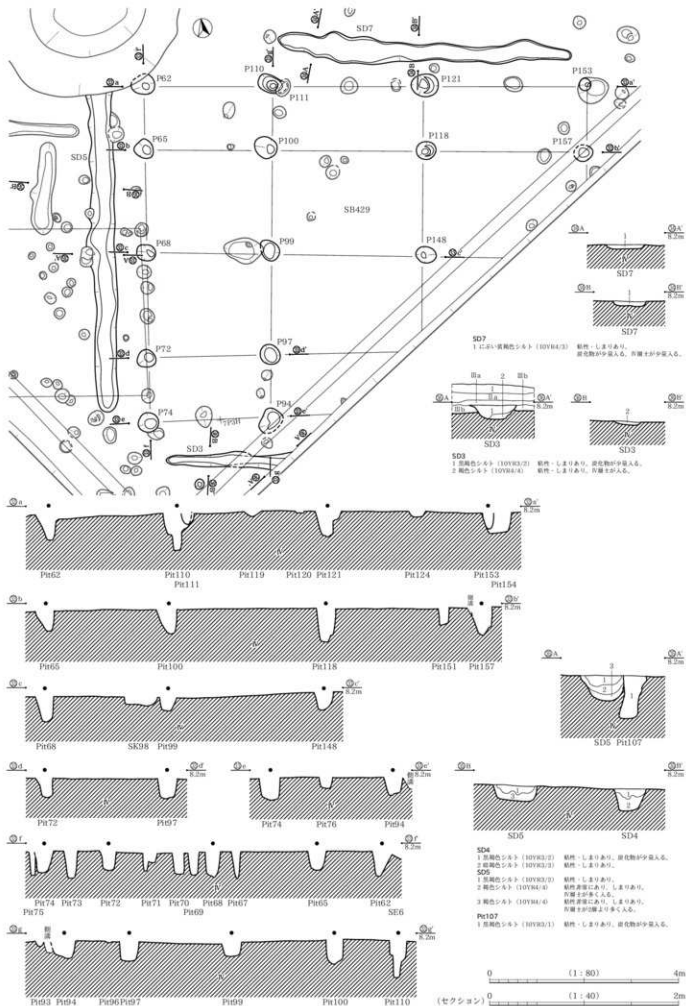


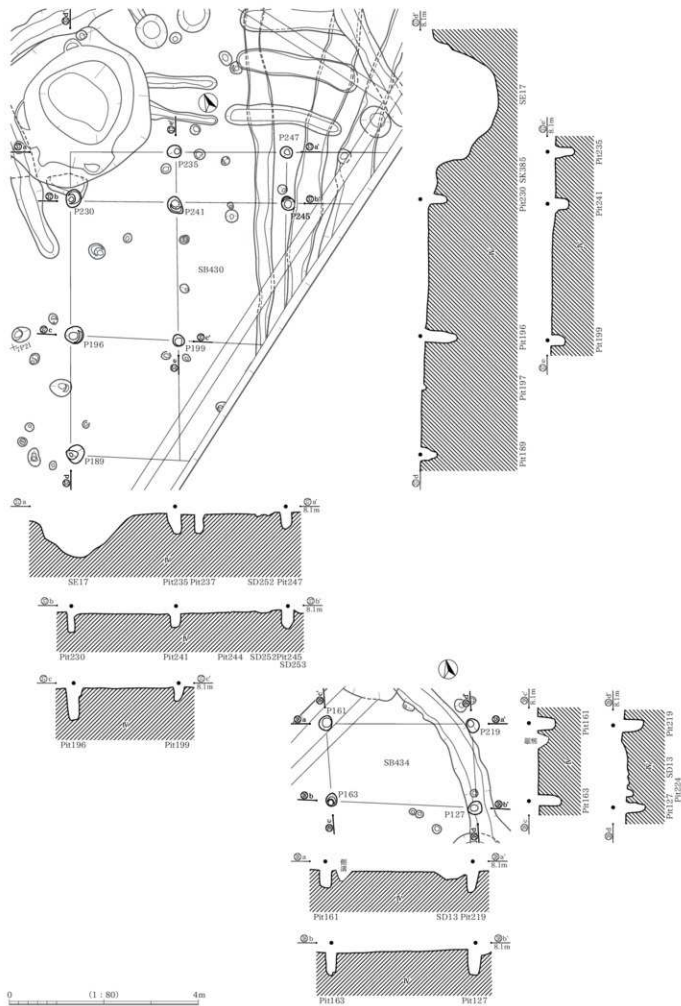
SD16
1 原築色土 (10YR3/2) 断片・しまりあり、 $\phi 1-3mm$ の炭化物が少量入る。SD12の土層より中細い。
2 原築色土 (10YR3/2) 断片・しまりあり、 $\phi 1mm$ の炭化物が少量入る。片層土が少フック状に中々多く入る。
3 原築色土 (10YR3/2) 断片・しまりあり、炭化物はほとんどなし。片層土が少フック状に中々多く入る。
4 原築色土 (10YR3/2) と片層土の混合層 断片・しまりあり、炭化物はほとんどなし。

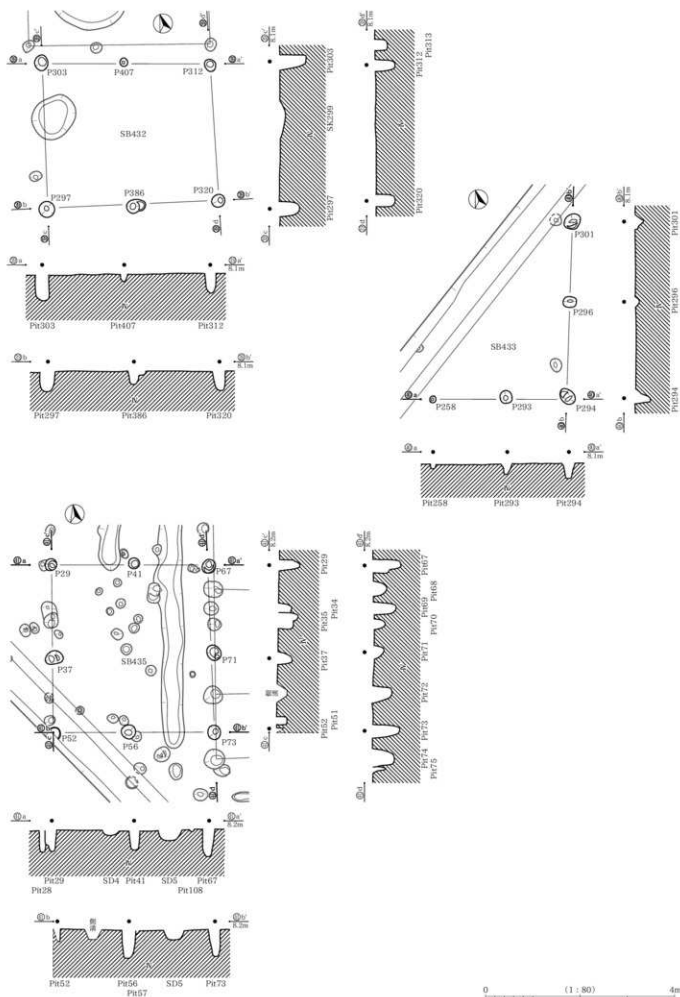
SD21
1 原築色土 (10YR3/2) 断片・しまりあり、炭化物はほとんどなし。片層土が少量入る。

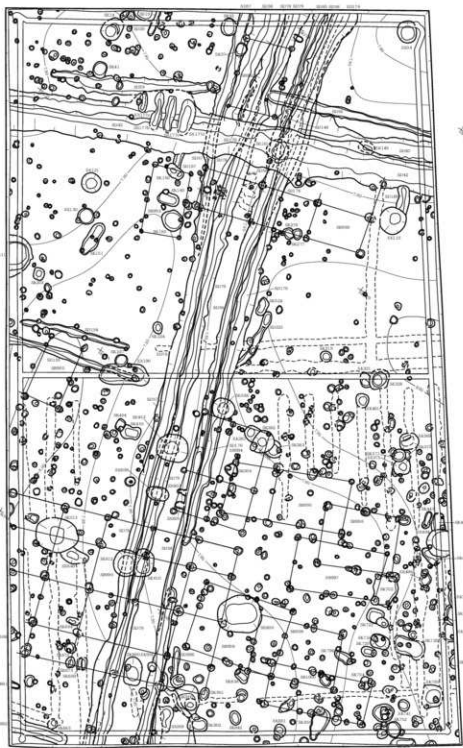
Pit20
1 原築色土 (10YR3/2) 断片・しまりあり、 $\phi 1-3mm$ の炭化物が少量入る。片層土が少フック状に入る。
2 原築色土 (10YR3/2) 断片・しまりあり、炭化物はほとんどなし。片層土が中々多く入る。

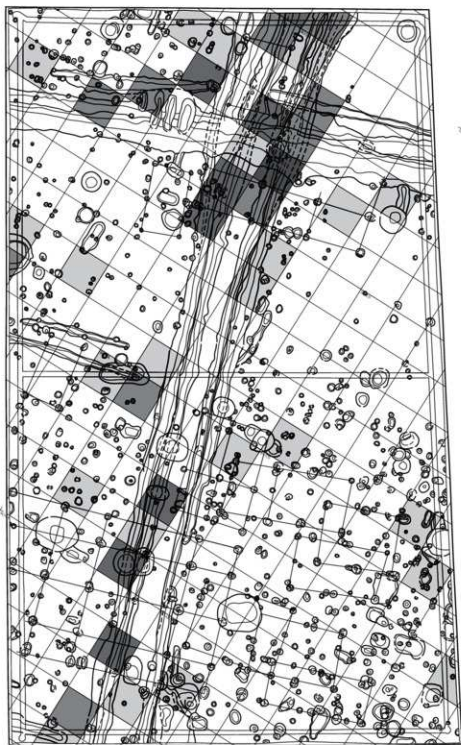




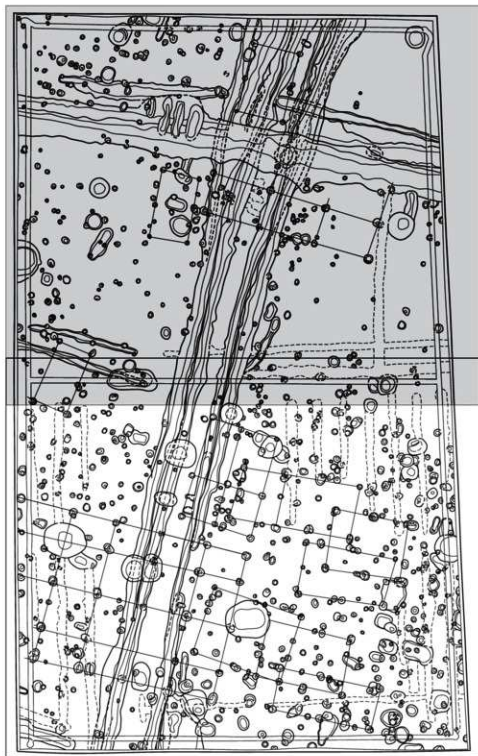


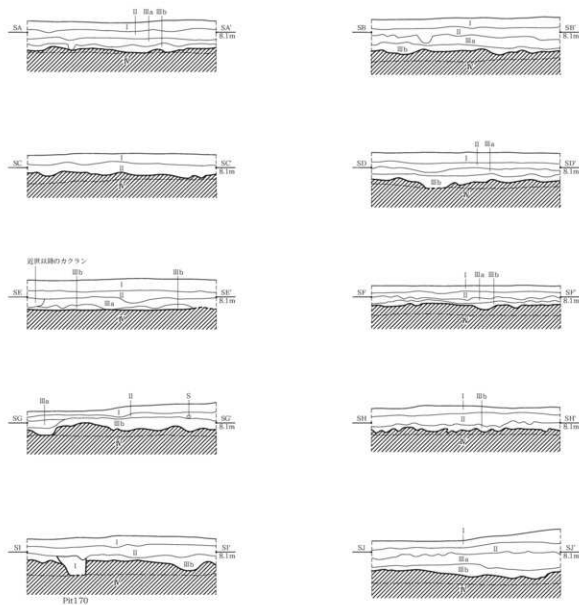






0 (1:200) 10m

图版27
部分图1图版28
部分图2

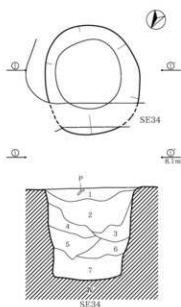


基本層序

- I 黒褐色土 (10YR5/1) 粘性、しまりややあり、炭化物はほとんどなく、塊状団粒あり。
 II 黒褐色土 (10YR5/1) 粘性あり、土中の空隙に多く、炭化物はほとんどなく、塊状団粒あり。
 IIIa 黒褐色土 (10YR5/2) 粘性ややあり、しまりあり、φ1mmの炭化物が少量入る、塊状団粒あり。
 IIIb 黒褐色土 (10YR5/2) 粘性ややあり、しまりあり、φ1mmの炭化物が少量入る、塊状団粒あり。
 IIIc 黒褐色土 (10YR5/4) 粘性ややあり、しまりあり、炭化物はほとんどなく、塊状団粒あり。

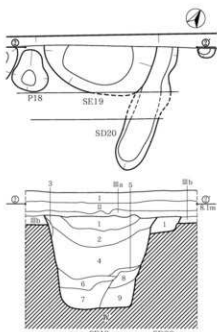
0 (1:40) 2m





SE34

- 1 黒褐色土 (10YR2/2) 粘り中であり、しまりあり、φ1mmの炭化物が少量入る。
- 2 黒色粘り土 (10YR2/1) 粘り中あり、しまり中あり、φ1-5mmの炭化物が中々多く入る。粘土土質のテラコッタが少量入る。
- 3 黒褐色粘り土 (10YR3/1) 粘り中あり、しまり中あり、炭化物はほとんどなし。粘土土質のテラコッタが中々多く入る。
- 4 黒褐色粘り土 (10YR3/2) 粘り、しまり中あり、粘土土質のテラコッタ (10YR3/1) が少量入る。
- 5 黒褐色粘り土 (10YR3/1) と黒褐色粘り土 (10YR3/2) の混合層 粘り、しまりあり、粘土土質が入る。
- 6 黒褐色粘り土 (10YR3/1) と黒褐色粘り土 (10YR3/2) の混合層 粘り、しまりあり、壁より粘土土質が多く入る。
- 7 黒褐色粘り土 (10YR3/1) 粘り、しまりあり、炭化物はなし。

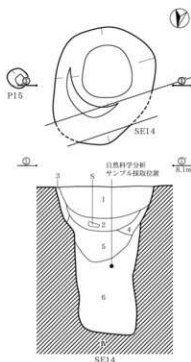


SE19

- 1 黒褐色土 (10YR3/2) 粘り中であり、しまりあり、φ1-10mmの炭化物が少量入る。
- 2 黒褐色土 (10YR3/2) 粘り中であり、しまりあり、φ1-10mmの炭化物が少量入る。
- 3 黒褐色土 (10YR3/2) 粘り中あり、しまり中あり、炭化物はほとんどなし。粘土土質が多く入る。
- 4 黒褐色粘り土 (10YR3/2) 粘り中あり、しまり中あり、φ1mmの炭化物が少量入る。粘土土質のテラコッタが少量入る。
- 5 黒色粘り土 (2.5Y2/1) 粘り中あり、炭化物なし。
- 6 黒褐色粘り土 (10YR3/1) 粘り、しまり中あり、炭化物はほとんどなし。
- 7 黒褐色粘り土 (10YR3/1) 粘り、しまり中あり、φ1mmの炭化物が少量入る。
- 8 黒褐色粘り土 (10YR3/1) 粘り、しまり中あり、炭化物はほとんどなし。黒褐色粘り土 (10YR3/1) が入る。
- 9 黒褐色粘り土 (10YR3/1) 粘り、しまり中あり、φ1mmの炭化物が少量入る。粘土土質のテラコッタが少量入る。

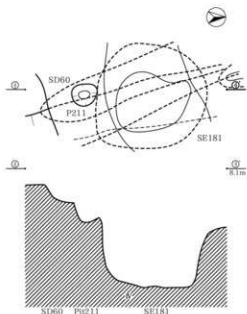
SD20

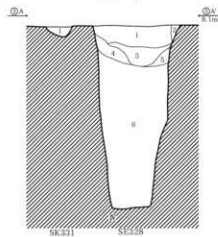
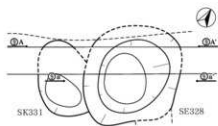
- 1 黒褐色土 (10YR3/3) 粘り中であり、しまりあり、炭化物はほとんどなし。



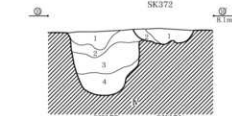
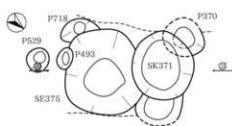
SE14

- 1 黒褐色土 (10YR3/2) 粘り中であり、しまりあり、φ1-10mmの炭化物が中々多く入る。
- 2 黒褐色粘り土 (10YR3/2) 粘り、しまりあり、φ2mmの炭化物が少量入る。
- 3 黒褐色土 (10YR3/2) 粘り中であり、しまりあり、φ2mmの炭化物が少量入る。粘土土質のテラコッタが中々多く入る。
- 4 黒褐色粘り土 (10YR3/2) 粘り中あり、しまり中あり、φ10mmの炭化物が少量入る。
- 5 黒褐色粘り土 (2.5Y2/1) 粘り中あり、しまり中あり、φ5mmの炭化物が少量多く入る。
- 6 黒褐色粘り土 (2.5Y2/1) 粘り中であり、しまり中あり、φ1mmの炭化物が少量入る。

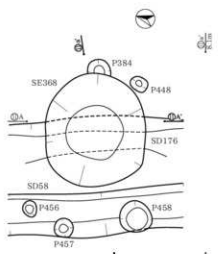




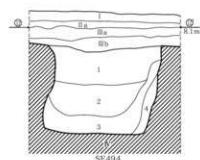
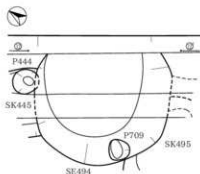
- SE328**
- 1 原土 (10YR2/1) 粘り中であり、しりりあり。φ1~3mmの硬気泡が少量入る。
 - 2 黒褐色土 (10YR4/2) 粘り中であり、しりりあり。硬気泡はほとんどない。
 - 3 原土 (10YR2/1) 粘り中であり、しりりあり。φ1mmの硬気泡が少量入る。1層よりやや硬く軽気泡。
 - 4 黒褐色土 (10YR2/1) 粘り - しりりあり。φ1mmの硬気泡が少量入る。中層土がトップ状に入る。
 - 5 黒褐色土 (10YR2/1) 粘り - しりりあり。φ1mmの硬気泡が少量入る。中層土がトップ状に入る。
 - 6 黒褐色土 (10YR2/1) 粘り - しりりあり。φ1~3mmの硬気泡が少量入る。
- SK331**
- 1 黒褐色土 (10YR2/2) 粘り中であり、しりりあり。硬気泡はほとんどない。



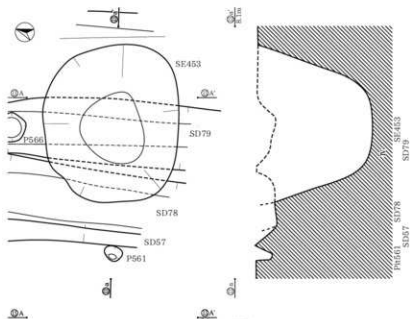
- SK371**
- 1 黒褐色土 (10YR2/2) 粘りあり、しりり中であり。φ1~3mmの硬気泡が少量入る。中層土が少量入る。
 - 2 黒褐色土 (10YR2/1) 粘り - しりりあり。φ1~3mmの硬気泡が少量入る。中層土が少量入る。
- SE375**
- 1 原土 (10YR2/1) 粘りあり、しりり中であり。中層土が入る。
 - 2 黒褐色土 (10YR4/2) 粘りあり、しりり中であり。中層土が入る。1層よりやや硬く硬気泡が少量入る。
 - 3 黒褐色土 (10YR2/1) 粘り - しりりあり。φ1~3mmの硬気泡が少量入る。
 - 4 黒褐色土 (10YR2/2) 粘り - しりりあり。φ1~3mmの硬気泡が少量入る。



- SE368**
- 1 黒褐色土 (10YR2/1) 粘り - しりり中であり。φ5mmの硬気泡が少量入る。
 - 2 黒褐色土 (10YR4/1) 粘りあり、しりり中であり。1層より粘り強い。
 - 3 原土 (10YR2/1) 粘りあり、しりり中であり。φ1~3mmの硬気泡が少量入る。
 - 4 黒褐色土 (10YR2/2) 粘り - しりり中であり。φ5mmの硬気泡が少量入る。
 - 5 原土 (10YR2/1) 粘りあり、しりり中であり。φ1~3mmの硬気泡が少量入る。
 - 6 黒褐色土 (10YR2/1) 粘り - しりりあり。中層土がトップ状に入る。
 - 7 黒褐色土 (10YR2/2) 粘り - しりりあり。中層土が少量入る。



- SE494**
- 1 黒褐色土 (10YR2/1) 粘りあり、しりり中であり。φ5mmの硬気泡が少量入る。
 - 2 黒褐色土 (10YR2/1) 粘り - しりりあり。φ5mmの硬気泡が少量入る。
 - 3 原土 (10YR2/1) 粘り - しりり中であり。硬気泡 (ア?) が多く入る。
 - 4 濃い黄褐色土 (10YR4/3) 粘り - しりりあり。中層土の硬質土。

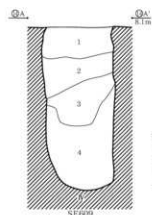
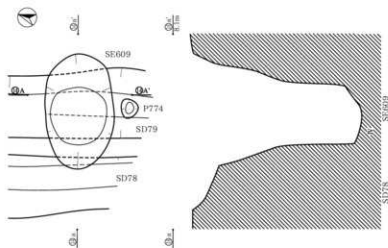


SE453

- 1 黒褐色シタ (10YR3/1) 軟性あり、しまり中であり、 $\phi 3\text{mm}$ の炭化物が入る。灰層上部のP566に入らる。
- 2 黒褐色シタ (10YR3/2) 軟性あり、しまり中であり、 $\phi 3\text{mm}$ の炭化物が入る。灰層上部に入らる。
- 3 濃い黒褐色シタ (10YR4/3) 軟性、しまりあり、灰層上部に入らる。
- 4 黒褐色シタ (10YR2/2) 軟性、しまりあり、 $\phi 3\text{mm}$ の炭化物が中々入る。灰層上部が中層に入らる。
- 5 黒褐色シタ (10YR2/1) 軟性非常にあり、しまりあり、灰層上部が中層に入らる。

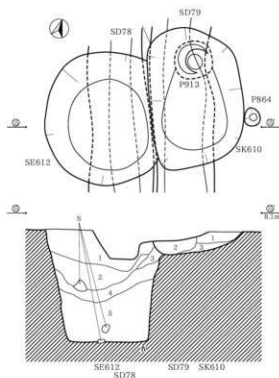


SE453



SE609

- 1 黒褐色シタ (7.5YR3/1) 軟性、しまりあり、 $\phi 2-3\text{mm}$ の炭化物が少量入る。
- 2 黒褐色シタ (7.5YR3/1) 軟性、しまりあり、灰層上部のP774の中に入らる。
- 3 黒褐色シタ (10YR2/2) 軟性、しまりあり、 $\phi 2-3\text{mm}$ の炭化物が少量入る。灰層上部が少量入る。
- 4 黒褐色シタ (10YR2/1) 軟性、しまり非常にあり、灰層上部のP774と黒色炭層との互層構造。

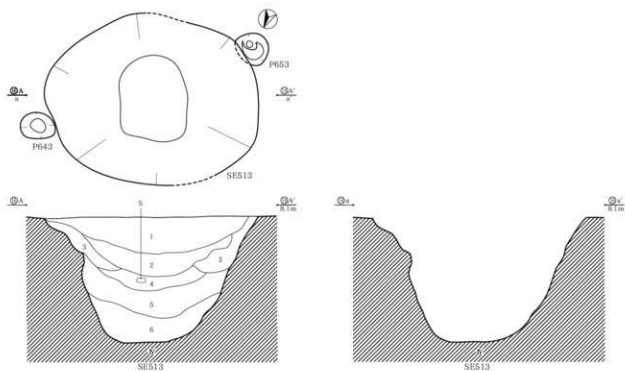


SK610

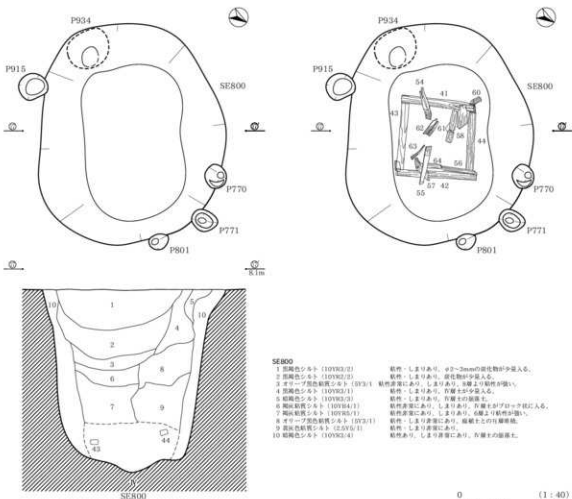
- 1 黒褐色シタ (10YR3/2) 軟性、しまりあり、炭化物が少量入る。灰層上部がアロウ状に入らる。
- 2 黒褐色シタ (10YR3/2) 軟性、しまりあり、灰層上部のP774の中に入らる。
- 3 褐色シタ (10YR4/6) 軟性あり、しまり非常にあり、灰層上部が少量入る。

SE612

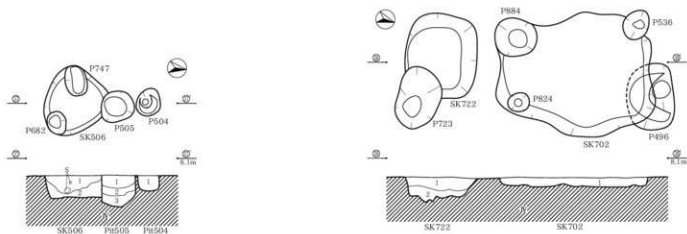
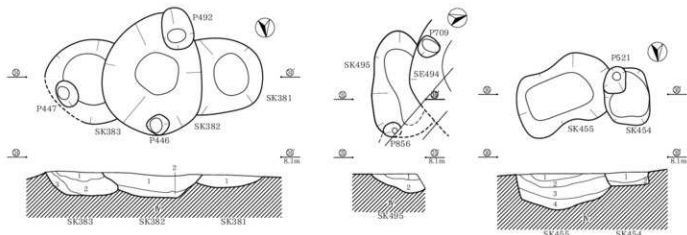
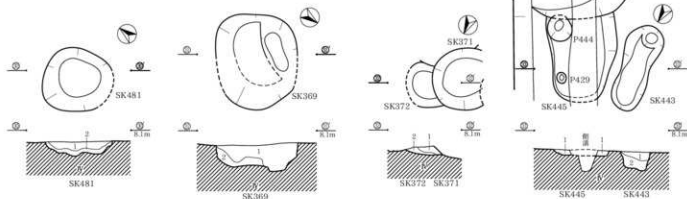
- 1 黒褐色シタ (10YR2/2) 軟性、しまりあり、灰層上部が少量入る。
- 2 黒褐色シタ (10YR2/1) 軟性中であり、しまりあり、灰 (ア) が入る。
- 3 黒褐色シタ (10YR2/2) 軟性、しまりあり、灰層上部に入らる。
- 4 灰褐色シタ (10YR4/2) 軟性、しまりあり、灰層上部のP774の中に入らる。
- 5 黒褐色シタ (10YR3/1) 軟性非常にあり、しまりあり、軟性非常に、灰層上部と黒色炭層との互層構造。



SE513
 1 黒褐色シルト (10YR2/2) 粘質中砂あり、しまりあり、φ5mmの炭化物が少量入る、灰層上部1/4程度に入る。
 2 黒褐色シルト (10YR3/1) 粘質中砂あり、しまりあり、φ5mmの炭化物が少量入る、1層より灰層上部に入る。
 3 石灰土層褐色シルト (10YR4/3) 粘質中砂あり、しまりあり、灰層上部1/4程度に入る。
 4 黒褐色シルト (10YR4/2) 粘質 - しまりあり、灰層上部の厚さ約1/4程度。
 5 黒褐色粘質シルト (10YR4/1) 粘質 - しまり厚層にあり、炭化物が散在に入る。
 6 黒褐色粘質シルト (2.5Y2/1) 粘質 - しまり厚層にあり、炭化物が散在に入る。



SE800
 1 黒褐色シルト (10YR2/2) 粘質 - しまりあり、φ2-3mmの炭化物が少量入る。
 2 黒褐色シルト (10YR2/2) 粘質 - しまりあり、炭化物が少量入る。
 3 オリーブ褐色粘質シルト (5Y3/1) 粘質厚層にあり、しまりあり、土層より粘質が強い。
 4 黒褐色シルト (10YR2/1) 粘質 - しまりあり、灰層上部少量入る。
 5 粘褐色シルト (10YR3/3) 粘質 - しまりあり、灰層上部の面層土。
 6 灰土層褐色シルト (10YR4/1) 粘質厚層にあり、しまりあり、灰層上部1/4程度に入る。
 7 黒褐色シルト (10YR4/1) 粘質厚層にあり、しまりあり、6層より粘質が強い。
 8 オリーブ褐色粘質シルト (5Y3/1) 粘質 - しまり厚層にあり、炭層上部の厚層地。
 9 黒褐色粘質シルト (2.5Y2/1) 粘質 - しまり厚層にあり。
 10 黒褐色粘質シルト (10YR2/4) 粘質あり、しまり厚層にあり、灰層土の面層土。



SK481
 1 瓦筒色少土 (10YR3/2) 鉄物・土まじりあり、 ϕ 5mmの炭化物が入る。
 2 赤黄褐色少土 (10YR4/2) 鉄物あり、土まじり量にあり。

SK369
 1 瓦筒色少土 (10YR3/2) 鉄物あり、土まじり中あり、 ϕ 1~3mmの炭化物が入る。瓦礫土が少量入る。
 2 赤褐色少土 (10YR3/2) 鉄物・土まじりあり、瓦礫土が多くなる。

SK372
 1 瓦筒色土 (10YR2/2) 鉄物中あり、土まじりあり、 ϕ 1~2mmの炭化物が少量入る。
 2 瓦筒色土 (10YR2/2) 鉄物中あり、土まじりあり、 ϕ 2mmの炭化物が少量入る。瓦礫土がフロッツ状に少量入る。1層土がフロッツ状。

SK445
 1 瓦筒色少土 (10YR3/2) 鉄物中あり、土まじりあり、瓦礫土が少量入る。
 2 赤褐色少土 (10YR3/1) 鉄物・土まじりあり。

SK381
 1 瓦筒色少土 (10YR3/2) 鉄物・土まじりあり、瓦礫土が少量入る。
 2 赤褐色少土 (10YR4/2) 鉄物・土まじりあり、瓦礫土が多くなる。

SK383
 1 瓦筒色少土 (10YR3/2) 鉄物中あり、土まじりあり、瓦礫土がフロッツ状に少量入る。
 2 赤褐色少土 (10YR4/2) 鉄物・土まじりあり、瓦礫土が多くなる。

SK495
 1 瓦筒色少土 (10YR3/1) 鉄物あり、土まじり中あり、炭化物が少量入る。
 2 赤黄褐色少土 (10YR4/2) 鉄物・土まじりあり、瓦礫土がフロッツ状に入ること。

SK454
 1 瓦筒色少土 (10YR3/2) 鉄物中あり、土まじりあり、 ϕ 5mmの炭化物が少量入る。
 2 赤褐色少土 (10YR4/1) 鉄物・土まじりあり、瓦礫土が多くなる。

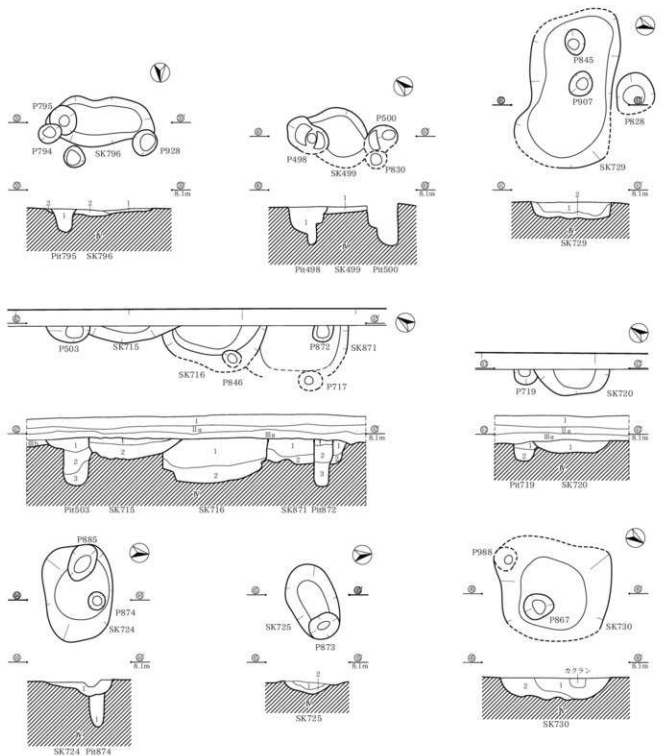
SK455
 1 瓦筒色少土 (10YR2/1) 鉄物中あり、土まじりあり、 ϕ 5mmの炭化物が少量入る。
 2 赤褐色少土 (10YR2/1) 鉄物・土まじり中あり、炭化物が多くなる。炭化層。
 3 瓦筒色少土 (10YR3/1) 鉄物・土まじりあり、 ϕ 5mmの炭化物が少量入る。
 4 赤黄褐色少土 (10YR4/2) 鉄物中あり、土まじりあり、炭化層が少量入る。

PS504
 1 瓦筒色少土 (10YR3/2) 鉄物・土まじりあり、瓦礫土が少量入る。

PS505
 1 瓦筒色少土 (10YR3/1) 鉄物・土まじりあり、瓦礫土がフロッツ状に入ること。
 2 赤褐色少土 (10YR4/2) 鉄物中あり、土まじりあり、瓦礫土が少量入る。
 3 瓦筒色少土 (10YR3/2) 鉄物あり、土まじりあり、炭化物が少量入る。

SK702
 1 瓦筒色少土 (10YR3/2) 鉄物・土まじりあり、 ϕ 5mmの炭化物が少量入る。
 2 赤褐色少土 (10YR4/2) 鉄物中あり、土まじりあり、瓦礫土がフロッツ状に入ること。

SK722
 1 瓦筒色少土 (10YR3/2) 鉄物・土まじりあり、瓦礫土が少量入る。
 2 赤褐色少土 (10YR4/3) 鉄物・土まじりあり、瓦礫土が多くなる。



P795

1 黒色シルト (10YR2/1) 軟性・しまりあり、炭化物が少量入る。右壁土が少量入る。

SK796

1 黒褐色シルト (10YR2/3) 軟性・しまりあり、 ϕ 5mmの炭化物が少量入る。

P928

1 黒褐色シルト (10YR2/3) 軟性・しまりあり、 ϕ 5mmの炭化物が少量入る。

P846

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・しまりあり、右壁土がブロック状に少量入る。

SK499

1 黒褐色シルト (7.5YR2/2) 軟性・しまりあり、 ϕ 2~3mmの炭化物が少量入る。右壁土が少量入る。

SK729

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・しまり中ややあり、右壁土がアース状に入る。

P500

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・しまりあり、1層より右壁土が少量入る。

P907

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・しまりあり、1層より炭化物が少量入る。

SK715

1 土色(黒褐色)シルト (10YR4/3) 軟性・滑りあり、しまりあり、右壁土が少量入る。

SK716

1 黒褐色シルト (10YR4/3) 軟性・しまりあり、 ϕ 2~3mmの炭化物が少量入る。

SK717

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・しまりあり、右壁土がアース状に入る。炭化物の割合が少い。

SK871

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・しまりあり、右壁土がアース状に入る。炭化物の割合が少い。

SK725

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・しまりあり、右壁土がアース状に入る。炭化物の割合が少い。

SK724

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・しまりあり、右壁土がアース状に入る。炭化物の割合が少い。

P719

1 黒褐色シルト (10YR2/3) 軟性・しまりあり、炭化物が少量入る。

SK720

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・しまりあり、炭化物が少量入る。

SK724

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・しまりあり、炭化物が少量入る。

SK725

1 黒褐色シルト (7.5YR2/1) 軟性・あり、しまり滑りにあり、右壁土が入る。

SK726

1 黒褐色シルト (10YR2/1) 軟性・しまりあり、炭化物が少量入る。

SK730

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・しまりあり、右壁土が入る。(カクラン)

SK730

1 黒褐色シルト (10YR4/3) 軟性・あり、しまり滑りにあり、右壁土がアース状に入る。

P885

1 黒褐色シルト (10YR2/3) 軟性・しまりあり、炭化物が少量入る。

SK724

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・しまりあり、炭化物が少量入る。

SK725

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・あり、しまり滑りにあり、右壁土が入る。

SK730

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・あり、しまり滑りにあり、右壁土がアース状に入る。

SK730

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・あり、しまり滑りにあり、右壁土がアース状に入る。

SK730

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・あり、しまり滑りにあり、右壁土がアース状に入る。

SK730

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・あり、しまり滑りにあり、右壁土がアース状に入る。

SK730

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・あり、しまり滑りにあり、右壁土がアース状に入る。

SK730

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・あり、しまり滑りにあり、右壁土がアース状に入る。

SK730

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・あり、しまり滑りにあり、右壁土がアース状に入る。

SK730

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・あり、しまり滑りにあり、右壁土がアース状に入る。

SK730

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・あり、しまり滑りにあり、右壁土がアース状に入る。

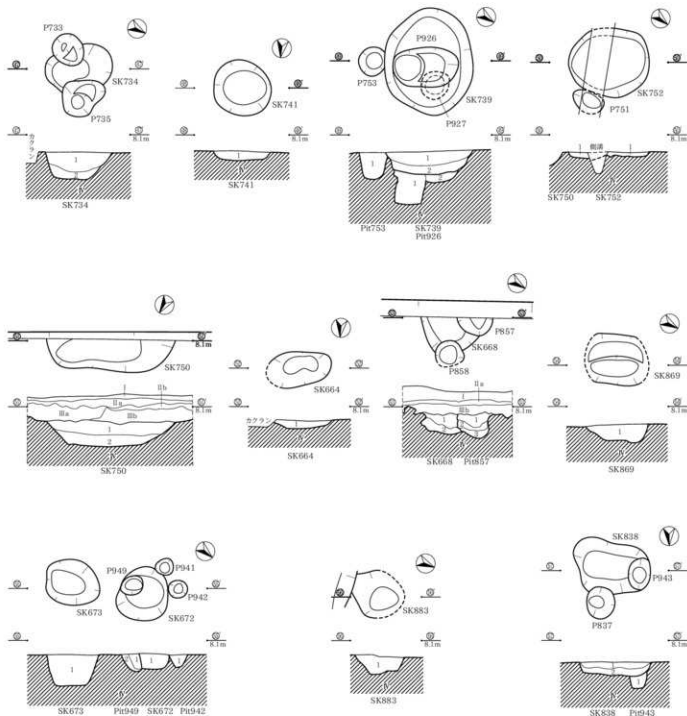
SK730

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・あり、しまり滑りにあり、右壁土がアース状に入る。

SK730

1 黒褐色シルト (10YR2/2) 軟性・あり、しまり滑りにあり、右壁土がアース状に入る。

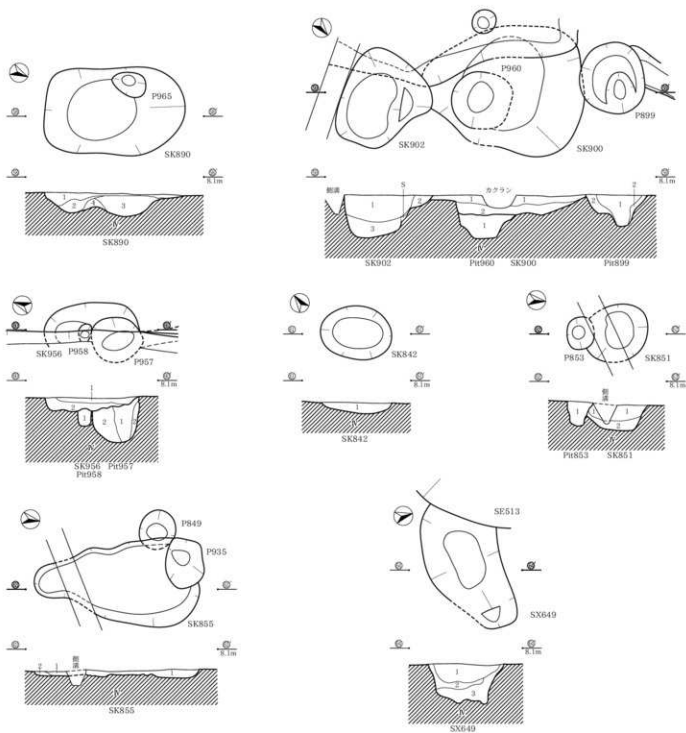
0 (1:40) 2m



- SK734**
 1 黒褐色土 (10YR3/2)
 2 黒褐色土 (10YR3/2)
SK741
 1 褐色土 (7.5Y4/2)
SK739
 1 黒褐色土 (10YR3/2)
 2 黒褐色土 (10YR3/2)
P753
 1 黒褐色土 (10YR3/1)
P926
 1 褐色土 (10YR4/1)
 2 灰色土 (10YR6/2)
SK750
 1 灰色土 (10YR3/2)
 2 灰色土 (10YR3/2)
SK752
 1 褐色土 (10YR3/2)
SK664
 1 黒褐色土 (10YR3/2)
 2 黒褐色土 (10YR3/2)
SK668
 1 黒褐色土 (10YR3/2)
 2 黒褐色土 (10YR3/2)
SK667
 1 黒褐色土 (10YR3/1)
 2 黒褐色土 (10YR3/1)

- 観察 - しり込みあり、灰層がわずかに残っている。
 観察 - しり込みあり、土層より灰層が多量に入っている。
 観察 - しり込みあり、土層より灰層が多量に入っている。
 観察 - しり込みあり、灰化層が少量入る。
 観察 - しり込みあり、灰層と黒褐色土の互層構造。
 観察 - しり込みあり、灰層が入る。
 観察 - しり込みあり、灰層がわずかに残っている。
 観察 - しり込みあり、1層より灰層が多量に入っている。
 観察 - しり込みあり、灰層が少量入る。
 観察 - しり込みあり、 $\phi 2 \sim 3mm$ の灰化層が少量入る。
 観察 - しり込みあり、 $\phi 2 \sim 3mm$ の灰化層が少量入る。
 観察 - しり込みあり、灰層が入る。
 観察 - しり込みあり、 $\phi 2 \sim 3mm$ の灰化層が少量入る。
 観察 - しり込みあり、灰層が入る。
 観察あり、しり込みや中あり、 $\phi 2 \sim 3mm$ の灰化層が少量入る。
 観察 - しり込みあり、灰層が入る。
 観察 - しり込みあり、 $\phi 2 \sim 3mm$ の灰化層が少量入る。

- SK669**
 1 オリーブ褐色土 (5Y3/1)
P842
 1 黒褐色土 (10YR3/2)
P849
 1 黒褐色土 (10YR3/2)
 2 黒褐色土 (10YR4/2)
SK672
 1 黒褐色土 (10YR3/2)
SK673
 1 灰色土 (10YR6/3)
SK683
 1 黒褐色土 (2.5Y3/1)
SK688
 1 黒褐色土 (10YR3/2)
 2 黒褐色土 (10YR3/2)
P837
 1 黒褐色土 (10YR3/2)
 2 黒褐色土 (10YR3/2)
 3 黒褐色土 (10YR3/2)
SK689
 1 黒褐色土 (10YR3/2)
 2 黒褐色土 (10YR3/2)
 3 黒褐色土 (10YR3/2)
 4 黒褐色土 (10YR3/2)
SK688
 1 オリーブ褐色土 (5Y3/1)
P842
 1 黒褐色土 (10YR3/2)
P849
 1 黒褐色土 (10YR3/2)
 2 黒褐色土 (10YR4/2)
SK672
 1 黒褐色土 (10YR3/2)
SK673
 1 灰色土 (10YR6/3)
SK683
 1 黒褐色土 (2.5Y3/1)
SK688
 1 黒褐色土 (10YR3/2)
 2 黒褐色土 (10YR3/2)
P837
 1 黒褐色土 (10YR3/2)
 2 黒褐色土 (10YR3/2)
 3 黒褐色土 (10YR3/2)
SK689
 1 黒褐色土 (10YR3/2)
 2 黒褐色土 (10YR3/2)
 3 黒褐色土 (10YR3/2)
 4 黒褐色土 (10YR3/2)



SK800

- 1 オープン状の黒色軟質シルト (10YR3/1)
2 オープン状のシルト (10YR2/2)
3 褐色軟質シルト (10Y4/1)

軟性土層にあり、しりりあり、片層土が入る。

SK900

- 1 黒褐色シルト (10YR3/2)
2 赤褐色シルト (10YR4/2)

軟性、しりりあり、炭化物が少量入る。

SK902

- 1 黒褐色シルト (10YR3/2)
2 黒褐色シルト (10YR3/2)

軟性、しりりあり、φ3mmの炭化物が少量入る。

SK956

- 1 黒褐色シルト (10YR3/2)
2 黒褐色シルト (10YR3/1)
3 褐色軟質シルト (10Y4/2)

軟性土層にあり、しりりあり、炭化物が少量入る。

SK957

- 1 黒褐色シルト (10YR3/2)
2 褐色軟質シルト (10Y4/2)

軟性、しりりあり、炭化物が少量入る。

SK842

- 1 黒褐色シルト (10YR3/2)
2 褐色軟質シルト (10Y4/2)

軟性、しりりあり、炭化物が少量入る。

SK842

- 1 黒褐色シルト (10YR3/2)
SK851

軟性、しりりあり、片層土がゾーン状に入る。

SK851

- 1 黒褐色シルト (10YR3/2)
2 黒褐色軟質土 (10YR3/2)

軟性ややあり、しりりあり、炭化物はほとんどなし、片層土がゾーン状に少量入る。

SK855

- 1 黒褐色シルト (10YR3/2)
2 黒褐色土 (10YR3/2)

軟性ややあり、しりりあり、炭化物はほとんどなし、片層土がブロック状に少量入る。

SK849

- 1 黒褐色シルト (10YR3/2)
2 黒褐色土 (10YR3/2)

軟性、しりりあり、片層土がゾーン状に入る。

SK855

- 1 黒褐色シルト (10YR3/2)
2 褐色軟質シルト (10Y4/2)

軟性、しりりあり、炭化物が少量入る。

SK855

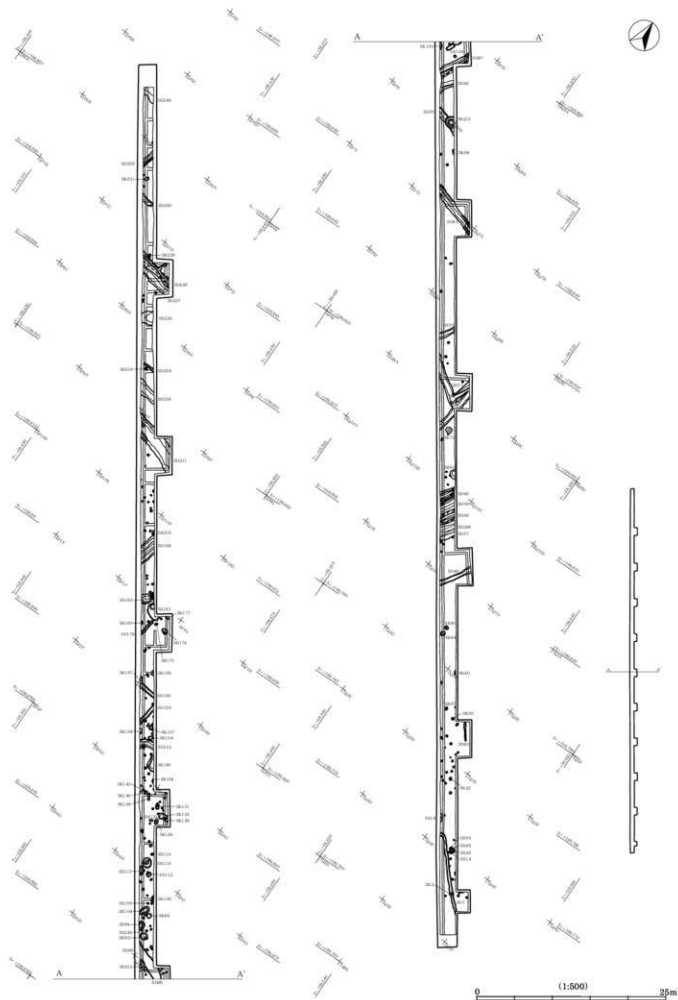
- 1 黒褐色シルト (10YR3/2)
2 褐色軟質シルト (10Y4/2)

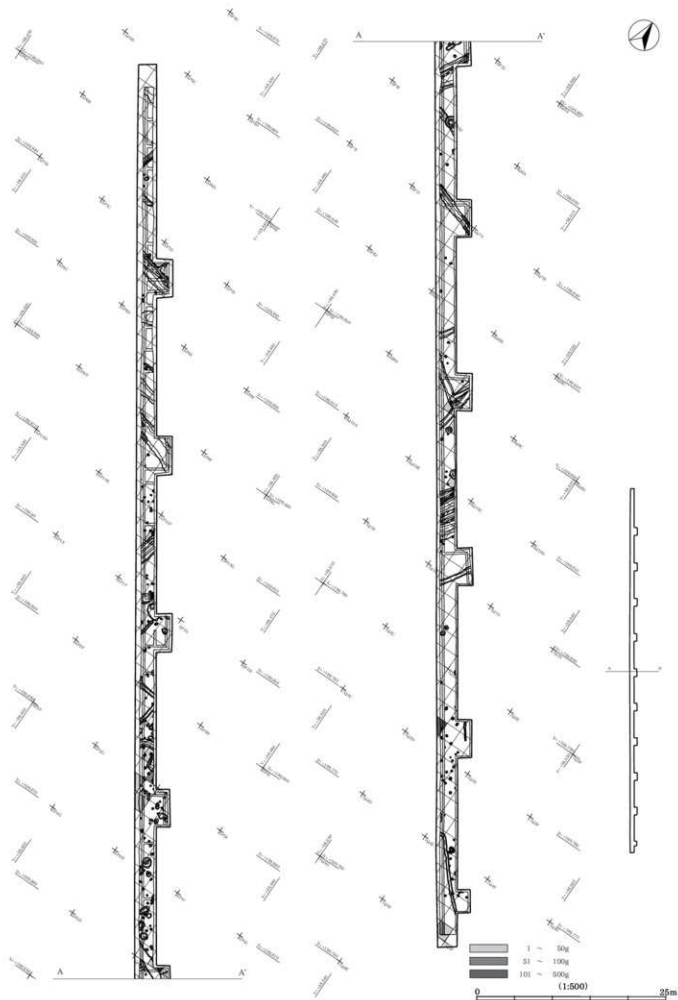
軟性、しりりあり、炭化物が少量入る。

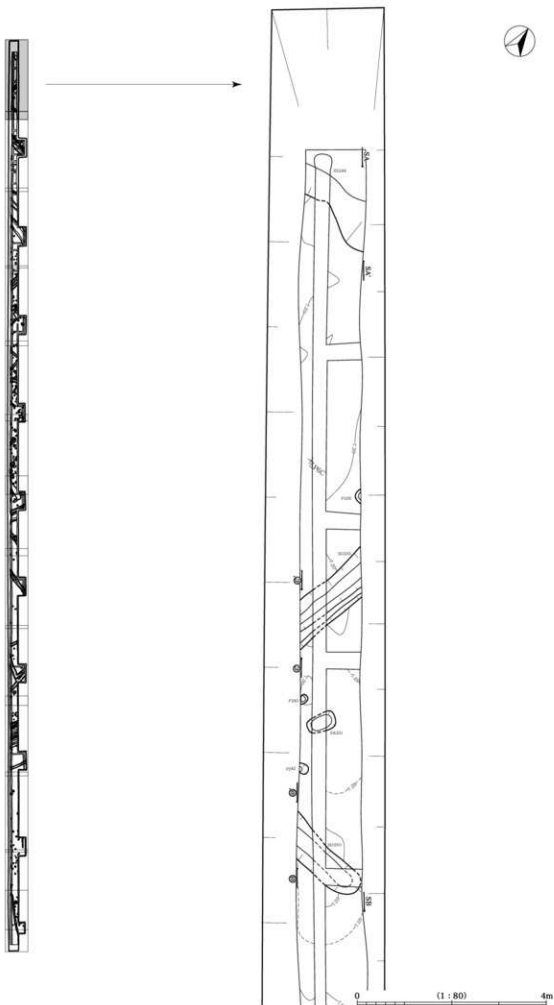
SK855

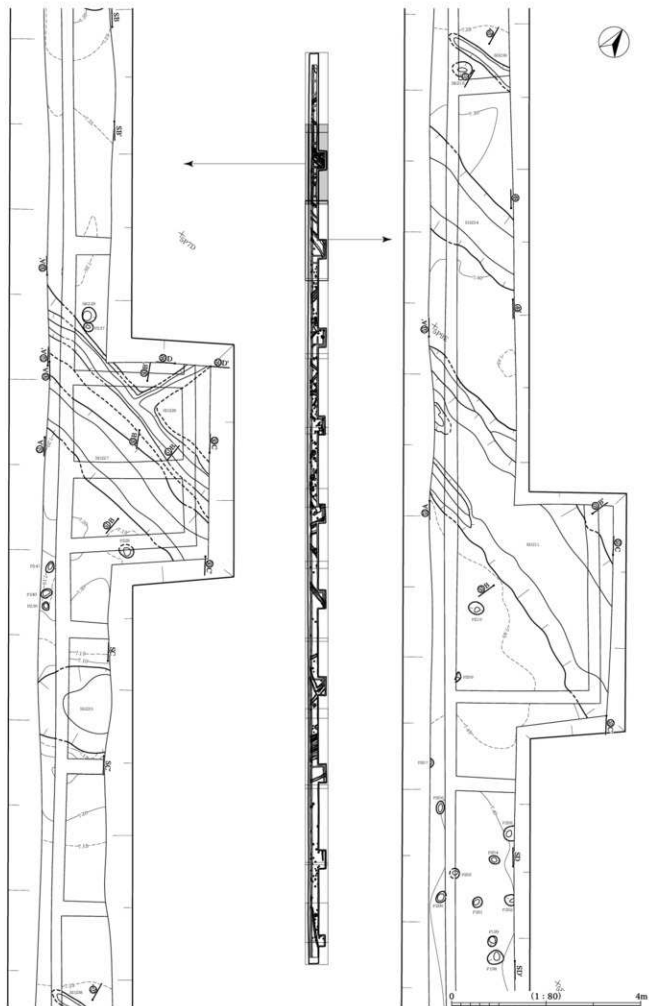
- 1 黒褐色シルト (10YR3/2)

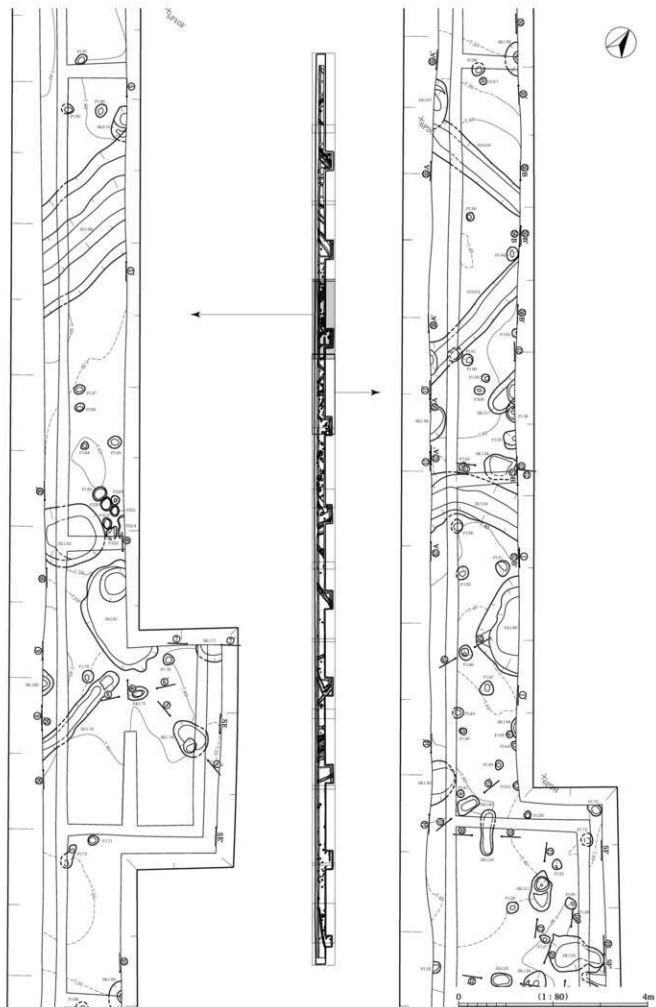
軟性、しりりあり、炭化物が少量入る。

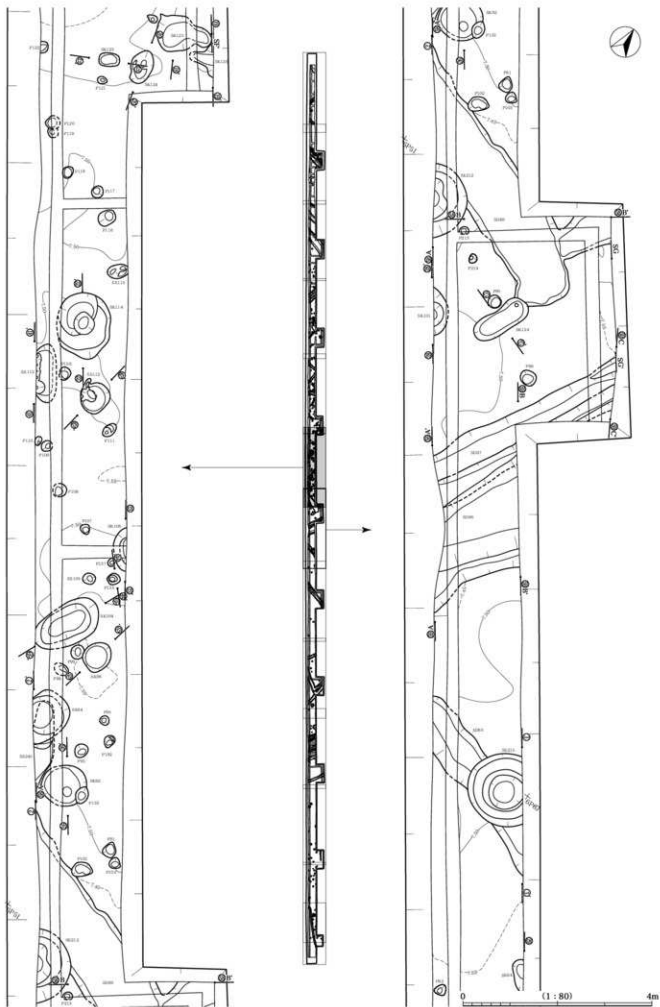


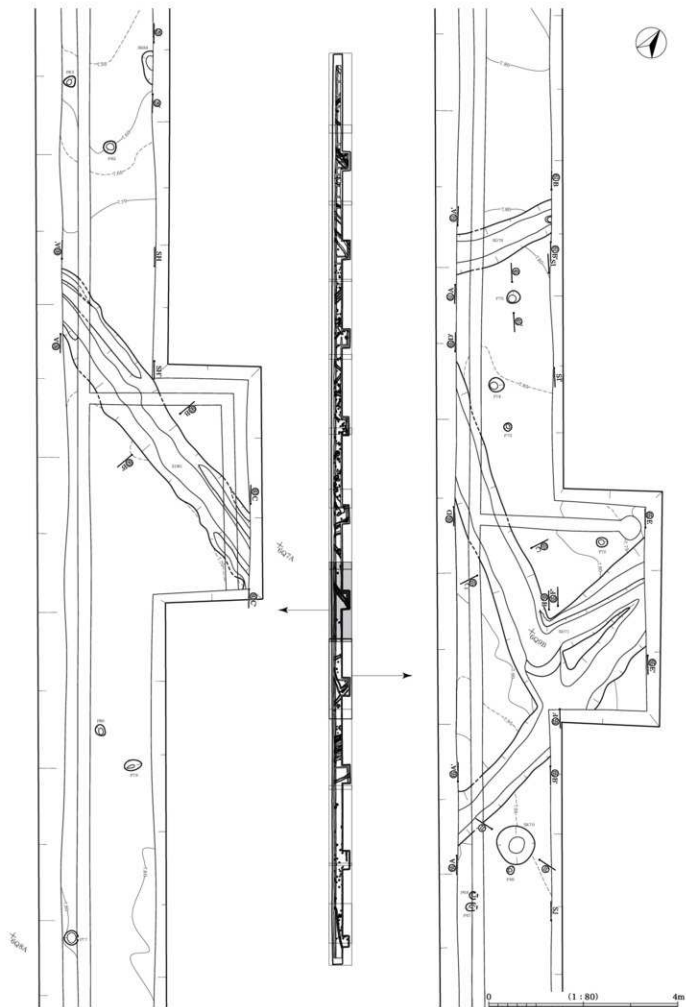


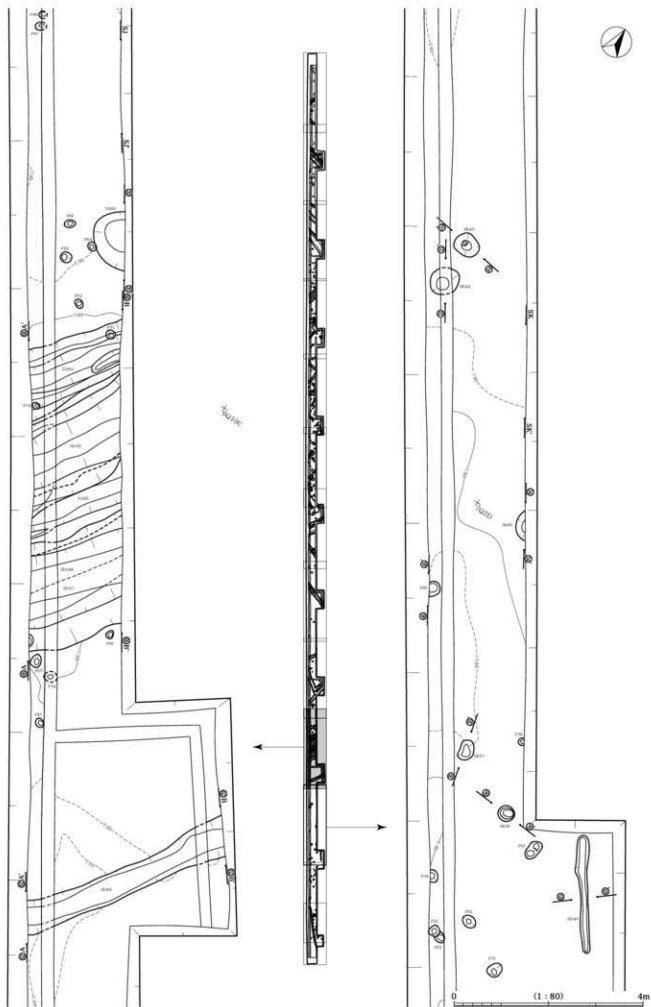


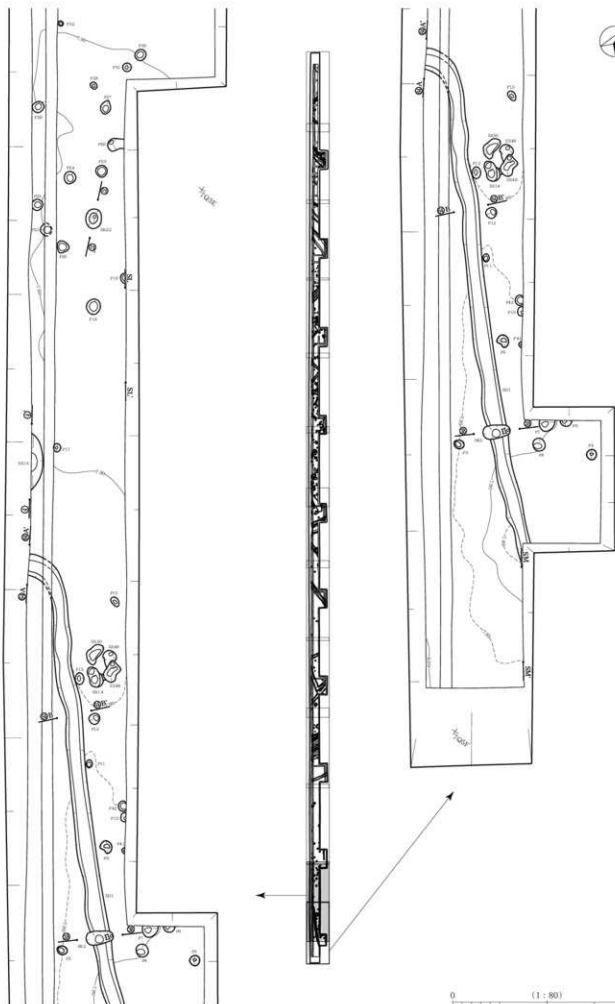


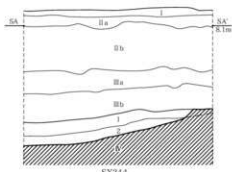




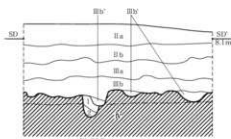
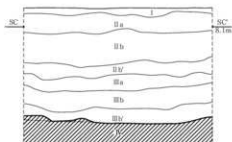
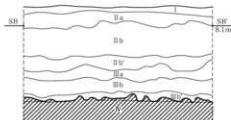




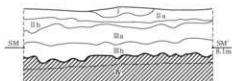
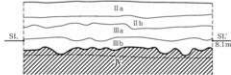
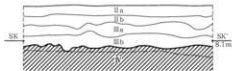
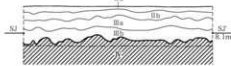
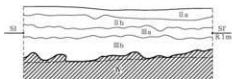
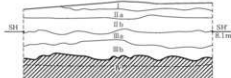
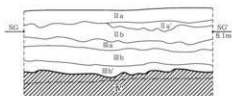
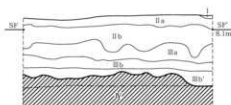
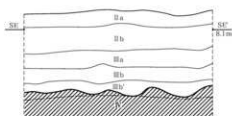




SX244
 1 黒褐色粘質シルト (10/93/2) 粘性・しりりあり、灰色腐植土が厚く入る。
 2 黒色粘質シルト (7/32/1) 粘性・しりりあり、灰色腐植土が厚く入る。

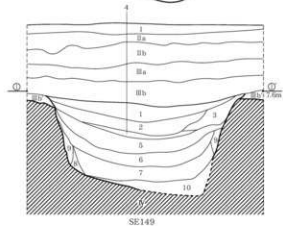
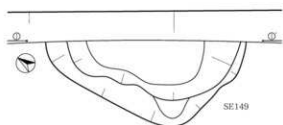


Pu202
 1 黒褐色粘質シルト (12/54/2) 粘性・しりりあり。
 2 黒褐色粘質シルト (12/53/1) 粘性・しりりあり。

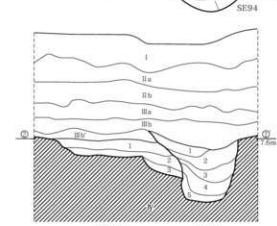
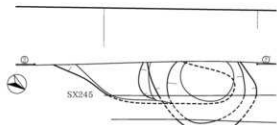


基本層序
 I 灰白色粘質シルト (10/93/2) 粘性・しりりあり、泥水混雑土。
 IIa 暗灰褐色シルト (12/54/2) 粘性あり、しりり滑りにあり、泥水混雑土。
 IIb 暗褐色粘質シルト (10/93/4/2) 粘性あり、しりり滑りにあり、泥水混雑土中へ暗い、泥水混雑土。
 IIIa 灰褐色粘質シルト (10/93/4/2) 粘性・しりりあり、泥水混雑土の腐植層が厚く入るもの。
 IIIb 黒褐色粘質シルト (10/93/2) 粘性・しりりあり、灰色腐植層が厚く入るもの。
 IIIa' 黒褐色粘質シルト (10/93/4/1) 粘性・しりりあり、泥水混雑土中へ暗い。
 IIIb' 黒褐色粘質シルト (10/93/2) 粘性・しりりあり、泥水混雑土中へ暗い、腐植層。
 N 暗褐色粘質シルト (10/93/4/1) 粘性中へあり、しりりあり、腐植土より暗く暗い、粘水混雑、古代、中代の腐植層。

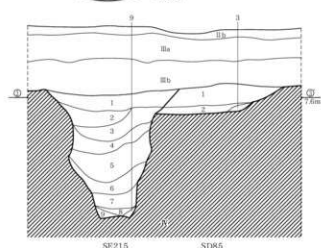
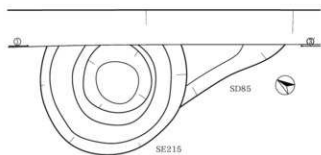




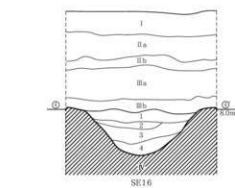
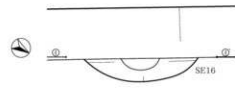
- SE149**
- 1 灰色粘質シルト (N4/0) 粘質・しまりあり、厚層土が少量入る。
 - 2 灰色粘質シルト (N4/0) 粘質・しまりあり、厚層土がアロツク状に入る。
 - 3 灰色粘質シルト (N4/0) 粘質・しまりあり、埋戻し土。
 - 4 褐色粘質シルト (N2/0) 粘質・しまりあり、埋戻し土。
 - 5 褐色粘質シルト (N2/0) 粘質・しまりあり、厚層土がアロツク状に少量入る。
 - 6 褐色粘質シルト (N2/0) 粘質・しまりあり、厚層土が少量入る。
 - 7 黒色粘質シルト (N2/0) 粘質・しまりあり、黒色粘質土が入る。
 - 8 黒色粘質シルト (N2/0) 粘質・しまりあり、埋戻しの埋戻し土。
 - 9 黒色粘質 (I2/0/2/1) 粘質・しまり中あり、厚層土が主眼、マンゴシが粘質土に入る。壁面層土が少量入る。
 - 10 黒色粘質 (I0/0/4/1) 粘質・しまりあり、厚層土と埋戻しの混合層。



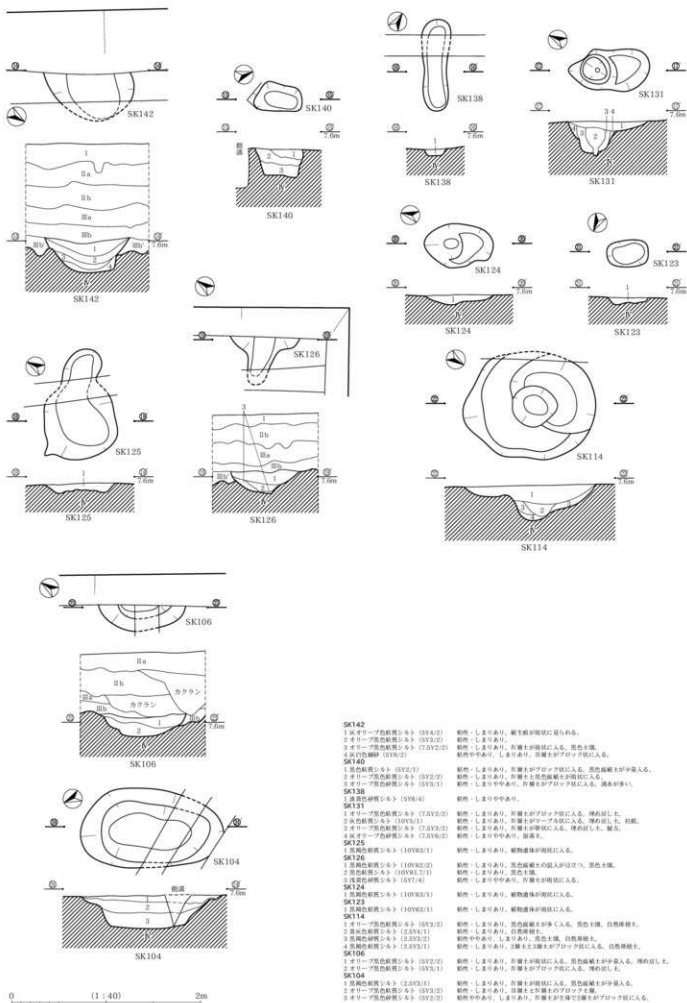
- SX245**
- 1 褐色粘質シルト (I0/0/4/1)
 - 2 褐色粘質シルト (I2/0/4/2)
 - 3 褐色粘質シルト (I2/0/2/1)
 - 4 褐色粘質シルト (I2/0/2/1)
- SE94**
- 1 褐色粘質シルト (N4/0) 粘質・しまりあり、埋戻し土。
 - 2 褐色粘質シルト (N4/0) 粘質・しまりあり、埋戻し土。
 - 3 褐色粘質シルト (N2/0) 粘質・しまりあり、厚層土がアロツク状に入る。埋戻し土。
 - 4 褐色粘質シルト (N2/0) 粘質・しまりあり、厚層土がアロツク状に少量入る。埋戻し土。
 - 5 褐色粘質シルト (N2/0) 粘質・しまりあり、厚層土がアロツク状に少量入る。埋戻し土。
 - 6 褐色粘質シルト (N2/0) 粘質・しまりあり、厚層土がアロツク状に少量入る。埋戻し土。
 - 7 黒色粘質 (I2/0/2/1) 粘質・しまり中あり、マンゴシが粘質土に入る。壁面層土が少量入る。
 - 8 黒色粘質 (I0/0/4/1) 粘質・しまりあり、厚層土と埋戻しの混合層。



- SD85**
- 1 褐色粘質シルト (I0/0/2/1) 粘質・しまりあり、厚層土がアロツク状に入る。埋戻し土。
 - 2 褐色粘質シルト (I0/0/2/1) 粘質・しまりあり、厚層土と埋戻しのアロツク主眼。埋戻し土。
 - 3 褐色粘質シルト (I0/0/2/1) 粘質・しまりあり、厚層土が埋戻し土に入る。埋戻し土。
 - 4 褐色粘質シルト (I2/0/2/1) とセリアー灰色シルト (I0/0/1/1) の混合層 粘質中あり、しまりあり、厚層土と埋戻しのアロツク主眼。埋戻し土。
 - 5 褐色粘質シルト (I0/0/2/1) 粘質・しまりあり、厚層土がアロツク状に少量入る。埋戻し土。
 - 6 褐色粘質シルト (I0/0/1/1) 粘質・しまりあり、厚層土が埋戻し土に入る。埋戻し土。
 - 7 褐色粘質シルト (I0/0/2/1) 粘質・しまりあり、厚層土が埋戻し土に入る。埋戻し土。
 - 8 褐色粘質シルト (I0/0/4/1) 粘質・しまり中あり、厚層土がアロツク状に少量入る。埋戻し土。
 - 9 褐色粘質 (I0/0/0/1) 粘質・しまり中あり、厚層土がアロツク状に少量入る。埋戻し土。
- SD85**
- 1 褐色粘質シルト (I0/0/2/1) 粘質・しまりあり、厚層土がアロツク状に入る。埋戻し土。
 - 2 褐色粘質シルト (I0/0/2/1) 粘質・しまりあり、厚層土がアロツク状に入る。埋戻し土。
 - 3 褐色粘質シルト (I0/0/2/1) 粘質・しまりあり、厚層土がアロツク状に入る。埋戻し土。
 - 4 褐色粘質シルト (I0/0/2/1) 粘質・しまりあり、厚層土がアロツク状に入る。埋戻し土。



- SE16**
- 1 褐色粘質シルト (I0/0/2/1) 粘質・しまりあり、厚層土がアロツク状に入る。埋戻し土。
 - 2 褐色粘質シルト (I0/0/2/1) 粘質・しまりあり、厚層土がアロツク状に入る。埋戻し土。
 - 3 褐色粘質シルト (I0/0/2/1) 粘質・しまりあり、厚層土がアロツク状に入る。埋戻し土。
 - 4 褐色粘質シルト (I0/0/2/1) 粘質・しまりあり、厚層土がアロツク状に入る。埋戻し土。



SK142

- 1 灰ヤマト色粘質シルト (10Y4/2)
- 2 オリーブ褐色粘質シルト (10Y2/2)
- 3 オリーブ褐色粘質シルト (7.5Y2/2)
- 4 灰黄色砂質シルト (10Y6/2)

SK140

- 1 灰黄色粘質シルト (10Y2/1)
- 2 オリーブ褐色粘質シルト (10Y2/2)
- 3 オリーブ褐色粘質シルト (10Y4/1)

SK138

- 1 黄灰色砂質シルト (9Y8/4)

SK131

- 1 オリーブ褐色粘質シルト (7.5Y2/2)
- 2 灰黄色粘質シルト (10Y4/1)
- 3 オリーブ褐色粘質シルト (7.5Y3/2)
- 4 灰ヤマト色砂質シルト (7.5Y6/2)

SK125

- 1 灰黄色粘質シルト (10Y6/1)

SK126

- 1 灰黄色粘質シルト (10Y6/2)
- 2 灰黄色粘質シルト (10Y8/1.7/1)
- 3 黄灰色砂質シルト (10Y7/4)

SK124

- 1 灰黄色粘質シルト (10Y6/1)

SK123

- 1 灰黄色粘質シルト (10Y6/1)

SK114

- 1 灰黄色粘質シルト (10Y6/2)
- 2 灰黄色粘質シルト (10Y8/1.7/1)
- 3 黄灰色砂質シルト (10Y7/4)
- 4 灰ヤマト色砂質シルト (7.5Y6/2)

SK106

- 1 灰黄色粘質シルト (10Y6/1)

SK104

- 1 オリーブ褐色粘質シルト (10Y2/2)
- 2 灰黄色粘質シルト (10Y8/1.7/1)
- 3 灰黄色粘質シルト (10Y6/2)
- 4 灰黄色粘質シルト (10Y6/1)

SK103

- 1 オリーブ褐色粘質シルト (10Y2/2)
- 2 オリーブ褐色粘質シルト (10Y4/1)

SK104

- 1 灰黄色粘質シルト (10Y6/1)
- 2 オリーブ褐色粘質シルト (10Y2/2)
- 3 オリーブ褐色粘質シルト (10Y4/1)
- 4 オリーブ褐色粘質シルト (10Y2/2)

軟弱 - しまりあり、縦物跡が周辺に認められる。

軟弱 - しまりあり。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。灰色土塊。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

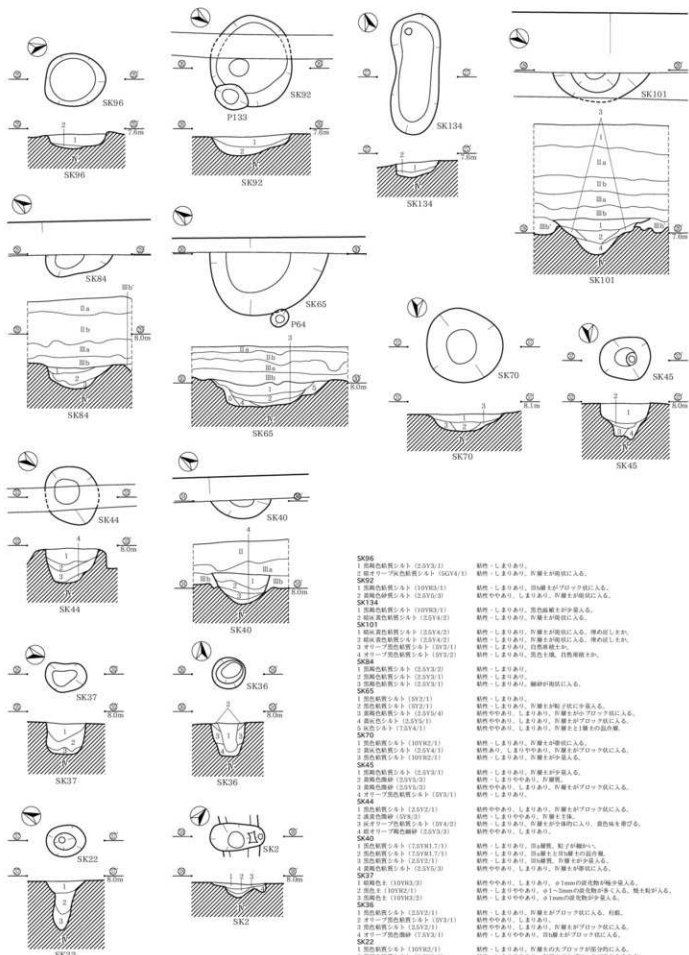
軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

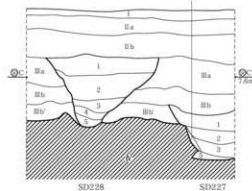
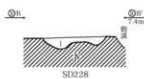
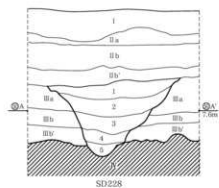
軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。

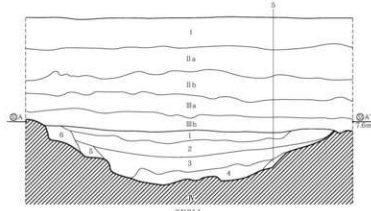
軟弱 - しまりあり、灰黄色土が周辺に広がる。埋め戻し土。



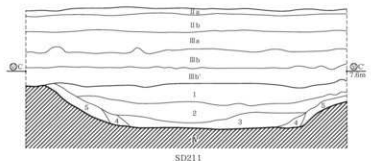
- SK96**
1 原形土坑形少斗 (2SV3/3)
2 壁下子一平底土坑形少斗 (2SV4/2)
- SK92**
1 原形土坑形少斗 (1SV9/3)
2 原形土坑形少斗 (2SV3/3)
- SK134**
1 原形土坑形少斗 (1SV9/3)
2 堀込土坑形少斗 (2SV4/2)
- SK101**
1 堀込土坑形少斗 (2SV4/2)
2 堀込土坑形少斗 (2SV4/2)
3 壁下子一平底土坑形少斗 (2SV3/1)
4 オープン底土坑形少斗 (1SV2/2)
- SK84**
1 原形土坑形少斗 (2SV3/2)
2 原形土坑形少斗 (2SV3/1)
3 原形土坑形少斗 (2SV3/1)
- SK65**
1 原形土坑形少斗 (1SV2/1)
2 原形土坑形少斗 (1SV2/1)
3 堀込土坑形少斗 (2SV4/2)
4 掘込土坑形少斗 (2SV3/1)
5 掘込土坑形少斗 (2SV3/1)
- SK70**
1 原形土坑形少斗 (1SV9/2/1)
2 原形土坑形少斗 (2SV4/1)
3 原形土坑形少斗 (1SV9/2/1)
- SK45**
1 原形土坑形少斗 (2SV3/1)
2 原形土坑形少斗 (2SV3/2)
3 原形土坑形少斗 (2SV3/2)
4 オープン底土坑形少斗 (1SV3/1)
- SK44**
1 原形土坑形少斗 (2SV2/1)
2 原形土坑形少斗 (2SV2/1)
3 掘下子一平底土坑形少斗 (1SV4/2)
4 掘下子一平底土坑形少斗 (2SV3/2)
- SK40**
1 原形土坑形少斗 (1SV9/2/1)
2 原形土坑形少斗 (2SV4/1)
3 原形土坑形少斗 (1SV9/2/1)
- SK37**
1 原形土坑形少斗 (2SV3/1)
2 原形土坑形少斗 (2SV3/2)
3 原形土坑形少斗 (2SV3/2)
4 オープン底土坑形少斗 (1SV3/1)
- SK36**
1 原形土坑形少斗 (2SV2/1)
2 原形土坑形少斗 (2SV2/1)
3 原形土坑形少斗 (2SV2/1)
4 掘下子一平底土坑形少斗 (1SV4/2)
- SK22**
1 原形土坑形少斗 (1SV9/2/1)
2 原形土坑形少斗 (2SV3/1)
3 原形土坑形少斗 (2SV3/1)
4 掘下子一平底土坑形少斗 (1SV4/2)
- SK2**
1 原形土坑形少斗 (1SV9/2/1)
2 原形土坑形少斗 (1SV9/2/2)
3 掘下子一平底土坑形少斗 (1SV4/2)
4 掘下子一平底土坑形少斗 (1SV9/2/2)
- SK96** 竪形・シタリあり。
SK92 竪形・シタリあり。内層土が開口部付近に入る。
SK134 竪形・シタリあり。掘込土が開口部付近に入る。
SK101 竪形・シタリあり。掘込土が開口部付近に入る。埋め直しあり。
SK84 竪形・シタリあり。掘込土が開口部付近に入る。埋め直しあり。
SK65 竪形・シタリあり。掘込土が開口部付近に入る。埋め直しあり。
SK70 竪形・シタリあり。掘込土が開口部付近に入る。埋め直しあり。
SK45 竪形・シタリあり。掘込土が開口部付近に入る。埋め直しあり。
SK44 竪形・シタリあり。掘込土が開口部付近に入る。埋め直しあり。
SK40 竪形・シタリあり。掘込土が開口部付近に入る。埋め直しあり。
SK37 竪形・シタリあり。掘込土が開口部付近に入る。埋め直しあり。
SK36 竪形・シタリあり。掘込土が開口部付近に入る。埋め直しあり。
SK22 竪形・シタリあり。掘込土が開口部付近に入る。埋め直しあり。
SK2 竪形・シタリあり。掘込土が開口部付近に入る。埋め直しあり。



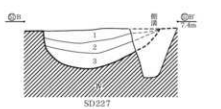
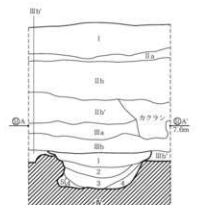
- SD228**
 1 灰色粘質シルト (2.0V7/2) 粘質・しまり中やあり、砂礫土が局所的に入る。
 2 細かい黒粘質シルト (1.0V6/4) 粘質・しまり中やあり、砂礫土がブロック状に入る。
 3 細かい黒粘質シルト (1.0V6/4) 粘質中やあり、しまりあり。
 4 黒粘質シルト (2.0V8/1) 粘質・しまりあり、砂礫土がブロック状に入る。
 5 赤褐色粘質シルト (1.0V6/1) 粘質・しまりあり、竹筒状砂子が入る。還元している。

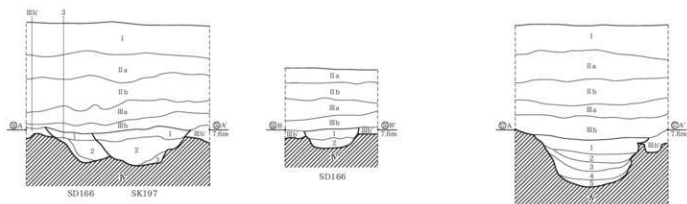


- SD211**
 1 黒粘質シルト (1.0V6/1) 粘質・しまりあり、砂礫土が中量に入る。
 2 黒粘質シルト (1.0V6/1) 粘質・しまりあり、黒色粘土が中量に入る。
 3 赤褐色粘質シルト (1.0V4/1) 粘質・しまりあり、砂礫土がブロック状に入る。黒色粘土が少量入る。
 4 黒粘質シルト (1.0V4/1) 粘質中やあり、しまりあり。黒色粘土が少量入る。
 5 黒粘質シルト (0.4/0) 粘質・しまりあり、黒色粘土が中量に入る。マンガンが入る。
 6 灰色粘質シルト (1.0V6/2) 粘質・しまり中やあり、砂礫土がブロック状で局所的に入っている。還元している。



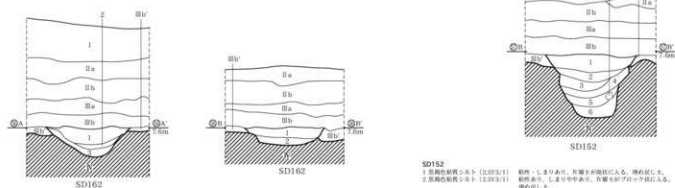
0 (1:40) 2m





SD166 SK197

- SD166 - SK197共通
 1 オリーブ灰色粘質シルト (1073/1) 粘性・しりりあり、腐葉土が混入。SD166の1層と対応。
 2 オリーブ灰色粘質シルト (1073/2) 粘性・しりりあり、腐葉土が混入。SD166の2層と対応。
 3 オリーブ灰色粘質シルト (1073/3) 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。

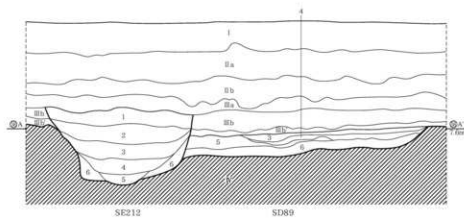


SD162

- SD162
 1 黒色粘質シルト (1078/1) 粘性・しりりあり、腐葉土が混入。
 2 黒色粘質シルト (1078/2) 粘性・しりりあり、腐葉土が混入。
 3 オリーブ灰色粘質シルト (1073/1) 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入、中層に腐葉土。

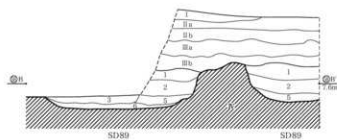
SD152

- SD152
 1 黒色粘質シルト (1073/1) 粘性・しりりあり、腐葉土が混入。埋め戻し土。
 2 黒色粘質シルト (1073/2) 粘性・しりりあり、腐葉土がブロック状に入る。埋め戻し土。
 3 黒色粘質シルト (1073/3) 粘性・しりりあり、腐葉土が混入。埋め戻し土。
 4 黒色粘質シルト (1073/4) 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。埋め戻し土。
 5 黒色粘質シルト (1073/5) 粘性・しりりあり、腐葉土が混入。埋め戻し土。
 6 黒色粘質シルト (1073/6) 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。埋め戻し土。



SE212

SD89



SD89

SD80

SD89

- SD89
 1 黒色粘質シルト (1073/2) 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 2 黒色粘質シルト (1073/1) 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 3 黒色粘質シルト (1073/3) 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 4 黒色粘質シルト (1073/4) 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 5 オリーブ灰色粘質シルト (1073/1) 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 6 黒色粘質シルト (1073/1) 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。

SE212

- SE212
 1 オリーブ灰色粘質シルト (1073/2) 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。埋め戻し土。
 2 黒色粘質シルト (1073/1) 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。埋め戻し土。
 3 黒色粘質シルト (1073/2) 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。埋め戻し土。
 4 黒色粘質シルト (1073/3) 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。埋め戻し土。
 5 オリーブ灰色粘質シルト (1073/1) 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。埋め戻し土。
 6 オリーブ灰色粘質 (1073/1) 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。埋め戻し土。

粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。

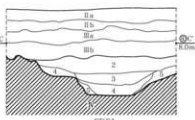
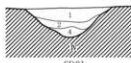
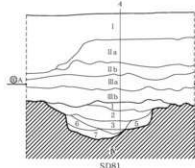
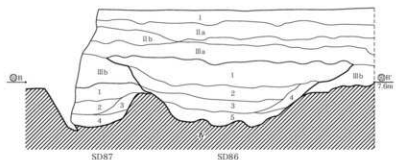
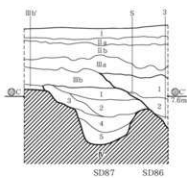
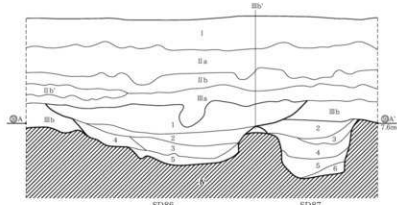
粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。

粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。

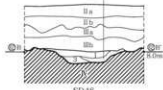
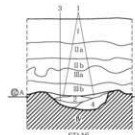
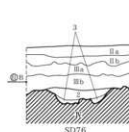
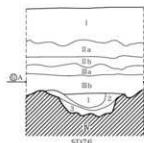
粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。

粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。

粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。
 粘性・しりりあり、腐葉土が少量混入。

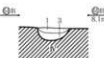
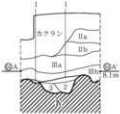
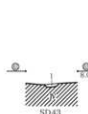


- SD81**
- 1 褐色粘質シルト (T.5V4/1) 粘性・しりりあり、腐植物が少量入る、褐色土層厚。
 - 2 赤色粘質シルト (T.5V4/1) 粘性・しりりあり。
 - 3 オリーブ褐色粘質シルト (3V2/2) 粘性中あり、しりりあり、白色土が散在に入る。
 - 4 灰オリーブ粘質シルト (3V3/2) 粘性中あり、しりりあり、腐葉土がブロック状に入る。
 - 5 灰オリーブ粘質シルト (3V4/3) 粘性中あり、しりりあり、腐葉土が塊状に入る。
 - 6 赤色シルト (T.5V4/1) 粘性・しりり中あり、腐葉土が塊状に入る。
 - 7 灰オリーブ粘質シルト (3V4/3) 粘性中あり、しりり中あり、腐葉土がブロック状に入る、マンガン酸が散在に入る。



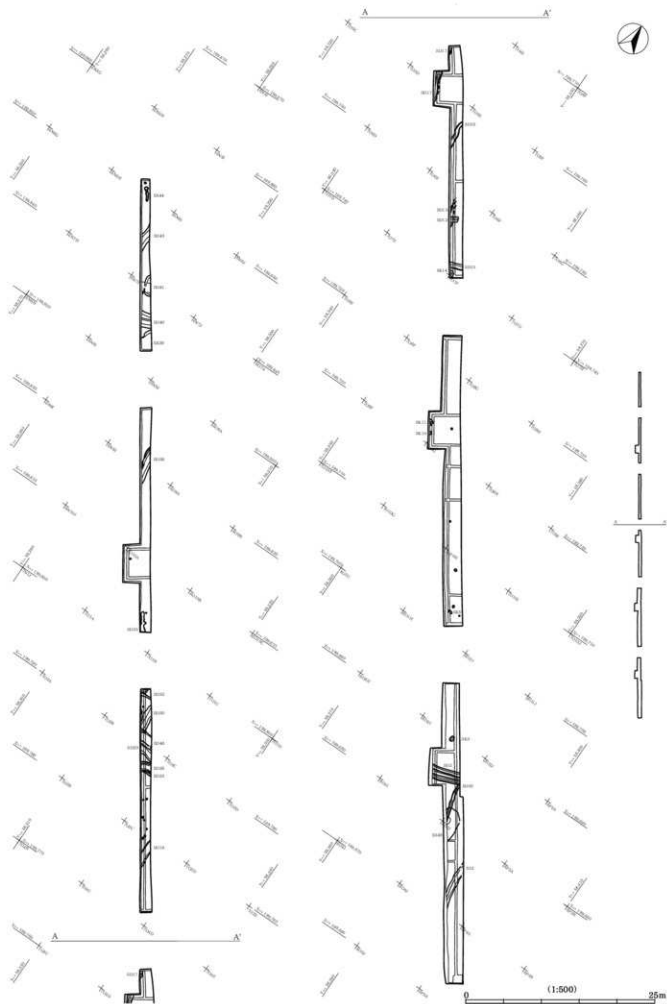
- SD76**
- 1 赤褐色粘質シルト (2.5V2/2) 粘性・しりりあり、腐葉土がブロック状に入る。
 - 2 オリーブ褐色粘質シルト (3V2/2) 粘性・しりりあり、腐葉土が塊状に入る。
 - 3 灰オリーブ褐色粘質シルト (2.5V2/2) 粘性・しりりあり、腐植物が少量入る、腐葉土がブロック状に入る。

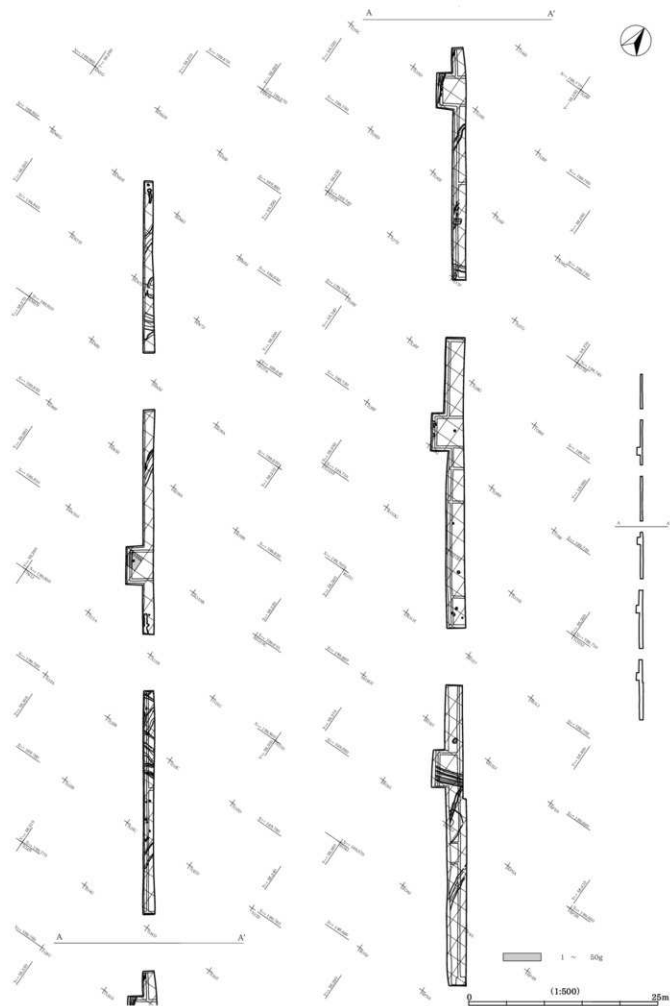
- SD46**
- 1 赤色粘質シルト (2.5V2/3) 粘性・しりりあり、腐葉土が塊状に入る。
 - 2 赤褐色粘質シルト (2.5V2/3) 粘性中あり、しりりあり、腐葉土がブロック状に入る。
 - 3 オリーブ褐色粘質シルト (3V3/4) 粘性・しりり中あり、腐葉土がブロック状に入る、腐葉土。
 - 4 赤色粘質シルト (2.5V2/3) 粘性・しりりあり、腐葉土が塊状に入る。

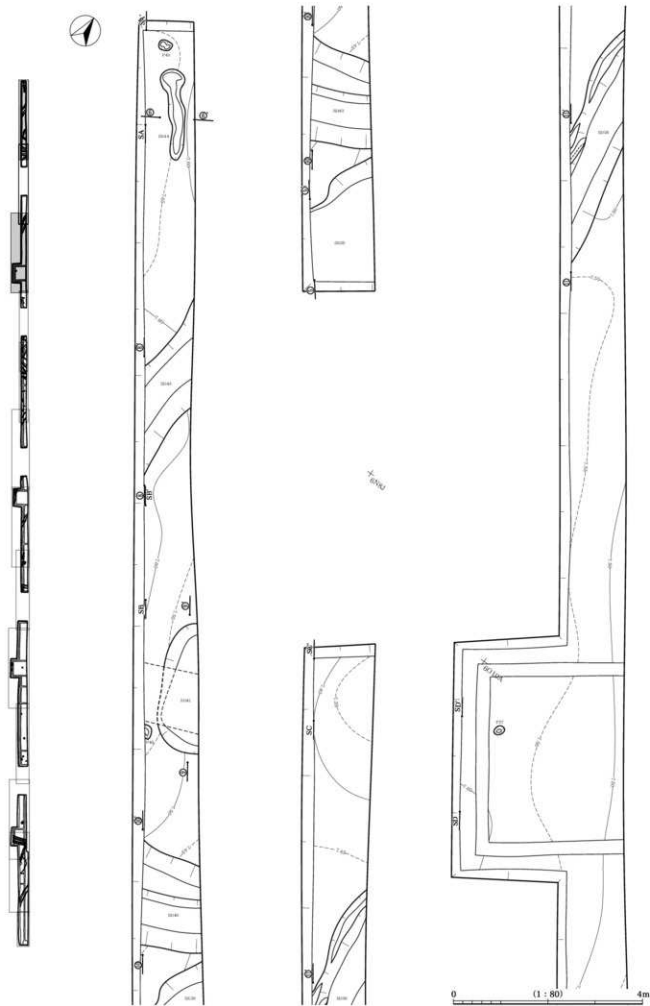


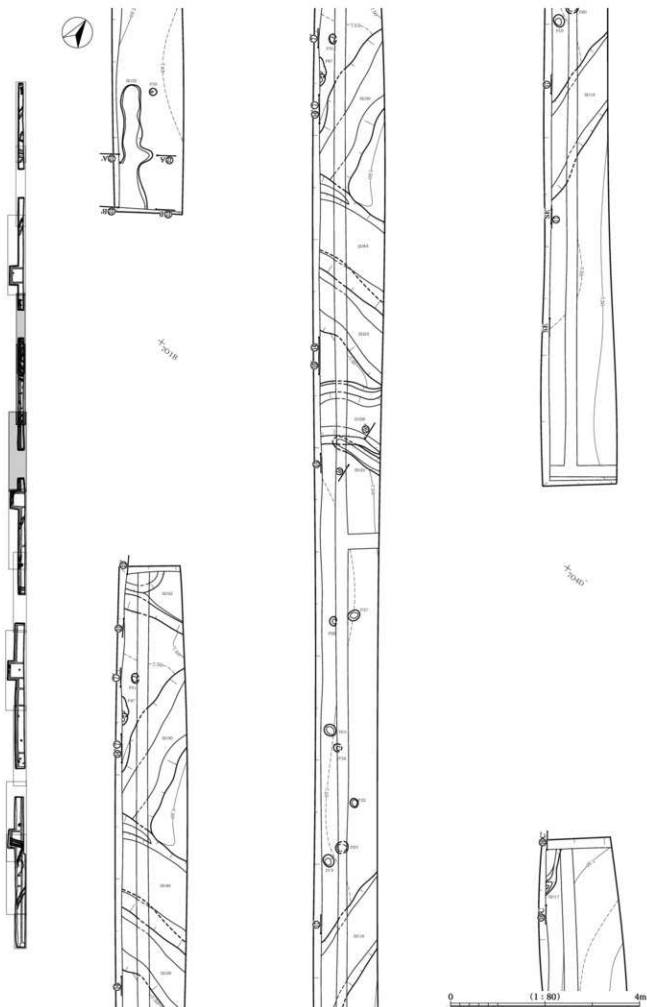
- SD43**
- 1 赤褐色粘質シルト (2.5V2/4) 粘性中あり、しりり中あり、腐葉土がブロック状に入る。

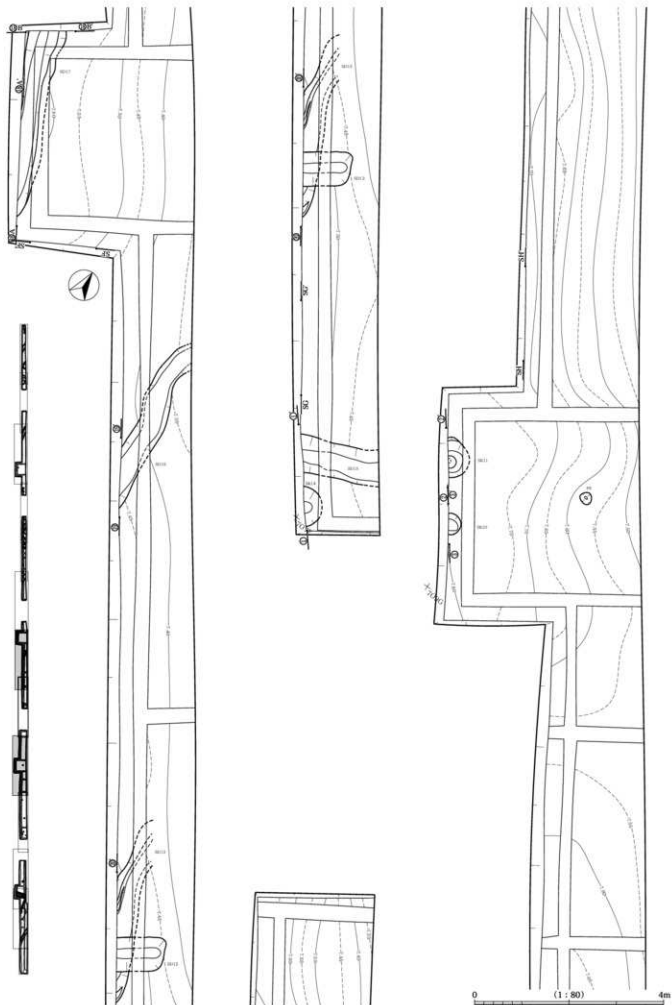
- SD1**
- 1 オリーブ褐色粘質シルト (3V2/2) 粘性・しりりあり、腐葉土がブロック状に入っている。
 - 2 赤褐色粘質シルト (3V2/1) 粘性中あり、しりりあり、腐葉土が少量入る。
 - 3 浅褐色粘質シルト (3V7/4) 粘性中あり、しりりあり、腐葉土がブロック状に入る。

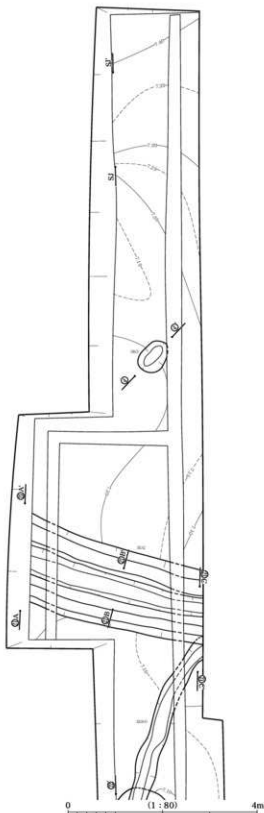
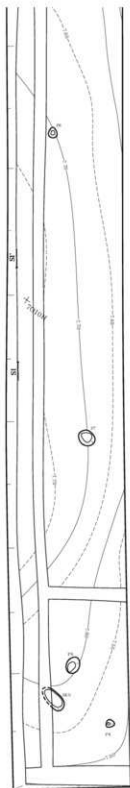


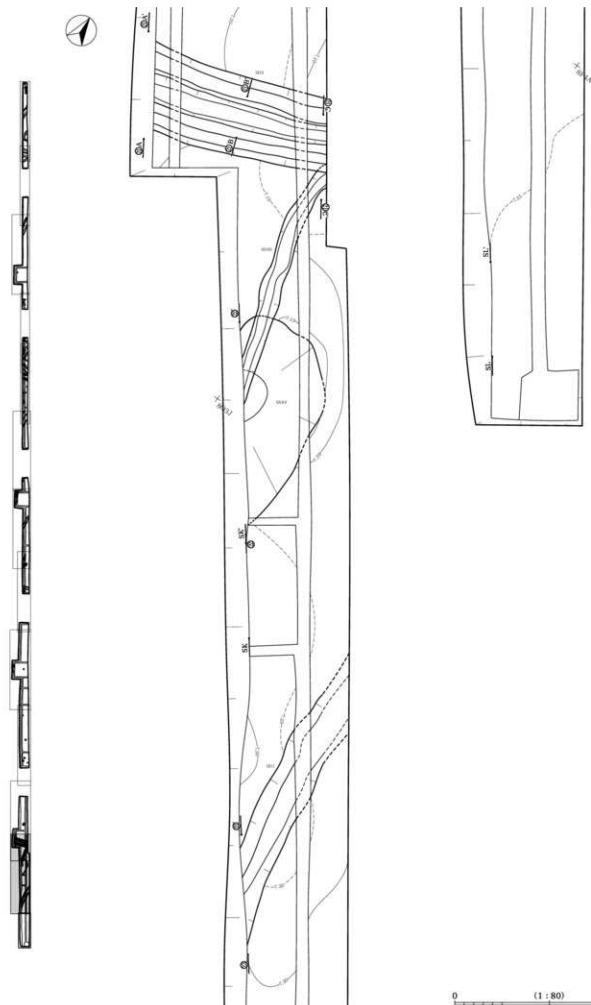


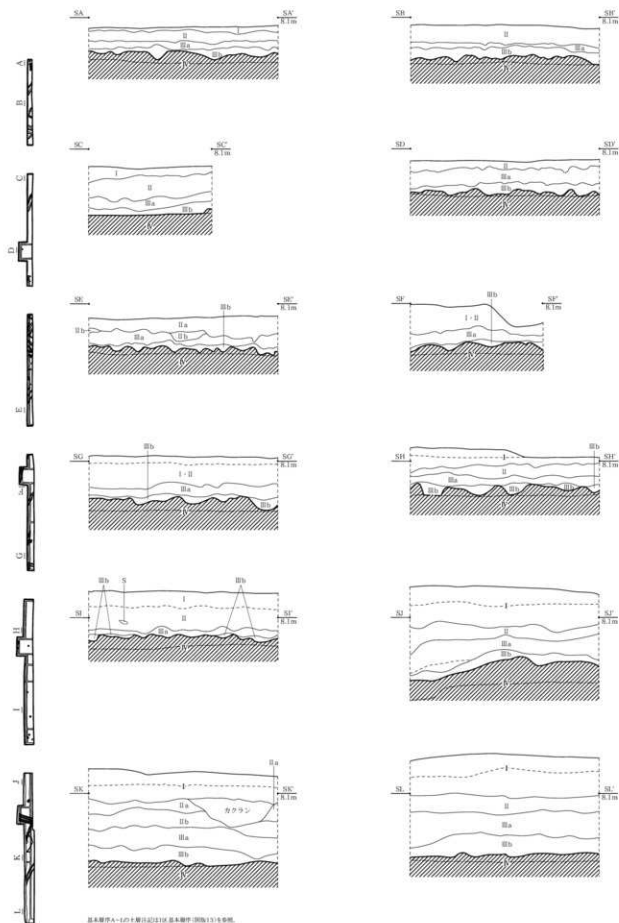


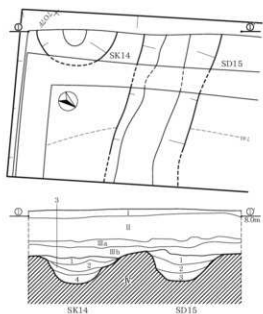




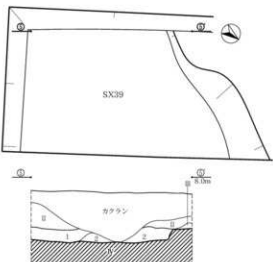




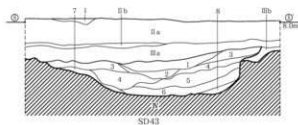




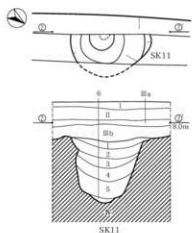
SK14
 1 オープン式彩色粘質シルト (T.0V3/1) 粘質・しまりあり。
 2 硬オリーブ彩色粘質シルト (Z.0GV3/1) 粘質・しまりあり。
 3 オリーブ彩色粘質シルト (1.0V2/1) 粘質・しまり中あり。
 4 オープン式彩色粘質シルト (T.0V3/1) 粘質・中あり、しまりあり、右壁土が崩壊状に入る。
SD15
 1 オープン式彩色粘質シルト (T.0V3/1) 粘質・しまりあり、凝縮が定む。
 2 硬オリーブ彩色粘質シルト (Z.0GV3/1) 粘質・しまりあり。
 3 オリーブ彩色粘質シルト (1.0V2/1) 粘質・中あり、しまりあり、右壁土がプロック状に入る。



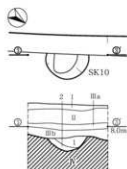
SX39
 1 硬オリーブ彩色粘質シルト (Z.0PV4/2) 粘質あり、しまり濃度があり、目撃土が崩壊状に入る。
 2 灰色粘質シルト (N5/0) 粘質・しまりあり、カタンスを受ける。



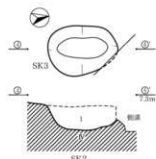
SD43
 1 灰色粘質シルト (1.0V1/1) 粘質あり、しまり濃度があり、目撃土が崩壊状に入る。右壁土が崩壊状に入る。
 2 オープン式彩色粘質シルト (1.0V3/1) 粘質・しまりあり、凝縮が定む。
 3 オープン式彩色粘質シルト (T.0V3/1) 粘質・しまりあり、炭灰凝縮が少量入る。
 4 凝縮彩色粘質シルト (S003/1) 粘質・しまりあり、炭灰凝縮がプロック状少量入る。凝縮層がテープ状に入る。
 5 オープン式彩色粘質シルト (1.0V2/1) 粘質・しまりあり、右壁土が崩壊状に入る。凝縮が定む。
 6 オープン式彩色粘質シルト (1.0V2/1) 粘質・しまりあり、右壁土がテープ状に入る。
 7 硬オリーブ彩色粘質シルト (Z.0GV3/2) 粘質・中あり、しまりあり、目撃土と凝縮が崩壊状に入る。
 8 灰色粘質シルト (1.0V4/1) 粘質・中あり、しまりあり、目撃土と目撃土との凝着層。



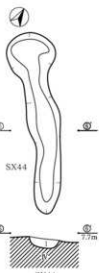
SK11
 1 オープン式彩色粘質シルト (1.0V2/2) 粘質・しまりあり、右壁土が崩壊状に入る。
 2 彩色粘質シルト (1.0V2/1) 粘質・しまりあり、凝縮が定む。
 3 彩色粘質シルト (1.0V2/1) 粘質・しまりあり、右壁土が崩壊状に入る。
 4 硬オリーブ彩色粘質シルト (Z.0GV3/1) 粘質・しまりあり、凝縮層がテープ状に入る。中層凝縮が定む。
 5 灰色粘質シルト (N5/0) 粘質・中あり、しまりあり、凝縮がテープ状に入る。凝縮層がテープ状に入る。
 6 凝縮彩色粘質 (1.0GV4/1) 粘質・中あり、しまりあり、炭灰凝縮。



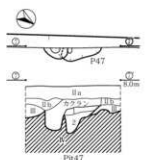
SK10
 1 オープン式彩色粘質シルト (1.0V3/1) 粘質・しまりあり。
 2 オープン式彩色粘質シルト (1.0V3/1) 粘質・しまりあり。
 右壁土がプロック状に入る。



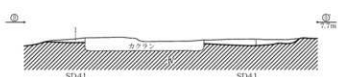
SK3
 1 凝灰質粘質シルト (N5/0) 粘質・中あり、しまりあり。



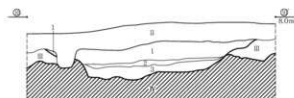
SX44
 1 オープン式彩色粘質シルト (1.0V2/1) 粘質あり、しまり濃度があり。



P47
 1 硬オリーブ彩色粘質シルト (Z.0GV4/1) 粘質・しまりあり、凝縮層がテープ状に入る。
 2 彩色粘質シルト (1.0V3/0) 粘質・しまりあり、炭灰凝縮が少量入る。

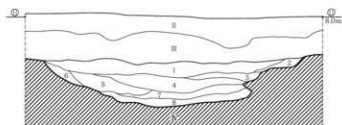


SD41
 1 オープン式彩色粘質シルト (1.0V3/1) 粘質・しまりあり。



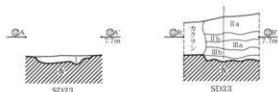
SD40

- 1 灰色粘質シルト (T.5V4/1) 軟弱 - しまりあり、自層土の混入層。
 2 灰色粘質シルト (10V3/1) 軟弱 - しまりあり、自層土が少量入る。中や中細砂混雑。
 3 灰色粘質シルト (N4/0) 軟弱 - 粘層あり、しまりあり、自層土が混雑に入る。



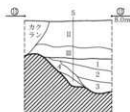
SD38

- 1 オリーブ灰色粘質シルト (10V3/1) 軟弱 - しまりあり、塊状泥がアープ層に入る。
 2 オリーブ灰色粘質シルト (10V3/1) 軟弱 - しまりあり、自層土がアープ層に入る。混雑土。
 3 オリーブ灰色粘質シルト (10V3/1) 軟弱 - しまりあり、自層土がアープ層に入る。混雑土。
 4 灰色粘質シルト (N4/0) 軟弱 - 粘層あり、しまりあり、塊状泥がアープ層に入る。
 5 灰色粘質シルト (10V4/1) 軟弱 - 粘層あり、しまりあり、自層土がアープ層に入る。
 6 オリーブ灰色粘質シルト (T.5V2/2) 軟弱 - 粘層あり、しまりあり、自層土の混入層。混雑土。
 7 灰色粘質シルト (N2/0) 軟弱 - しまり層にあり、自層土がアープ層に入る。塊状泥がアープ層に入る。
 8 灰色粘質シルト (N2/0) 軟弱 - しまりあり、自層土がアープ層に入る。軟弱砂土が少量混雑に入る。



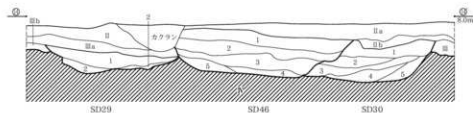
SD33

- 1 オリーブ灰色粘質シルト (5V3/1) 軟弱 - しまりあり、自層土が混雑に入る。



SD32

- 1 灰色粘質シルト (T.5V4/1) 軟弱 - しまりあり、塊状泥が混雑に入る。
 2 灰色粘質シルト (10V6/1) 軟弱 - しまりあり、塊状泥が混雑に入る。
 3 層状灰色粘質シルト (10V6/1) 軟弱 - しまり層にあり、自層土がアープ層に入る。塊状泥が混雑に入る。
 4 硬質オリーブ灰色粘質シルト (5V2/2) 軟弱 - しまりあり、自層土が塊状泥がアープ層に少量入る。
 5 層状灰色粘質シルト (5V4/1) 軟弱 - しまりあり、塊状泥が少量入る。



SD29

- 1 オリーブ灰色粘質シルト (T.5V2/2) 軟弱 - しまりあり、灰色粘質が少量入る。塊状泥がアープ層に入る。
 2 硬質オリーブ粘質シルト (T.5V4/2) 軟弱 - 粘層あり、しまりあり、自層土が混雑に入る。

SD30

- 1 灰色粘質シルト (N4/0) 軟弱 - しまりあり、塊状泥がアープ層に入る。
 2 灰色粘質シルト (N4/0) 軟弱 - 粘層にあり、しまりあり。
 3 灰色粘質シルト (5V6/1) 軟弱 - 粘層にあり、しまりあり、灰白色粘土が混雑に入る。
 4 硬質灰色粘質シルト (10V6/1) 軟弱 - しまり層にあり。
 5 灰色粘質シルト (10V6/1) 軟弱 - しまりあり、自層土が少量入る。中や中細砂混雑。混雑土。

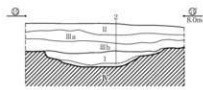
SD46

- 1 オリーブ灰色粘質シルト (2.5V3/1) 軟弱 - しまりあり、粘層土がアープ層に入る。自層土主体。
 2 灰色粘質シルト (N4/0) 軟弱 - 粘層にあり、しまりあり、塊状泥が混雑に入る。
 3 灰色粘質シルト (N2/0) 軟弱 - 粘層にあり、しまりあり、塊状泥が混雑に入る。
 4 灰色粘質シルト (N4/0) 軟弱 - しまり層にあり、灰白色粘土が混雑に入る。
 5 硬質オリーブ粘質シルト (5V2/2) 軟弱 - しまりあり、自層土がアープ層に入る。混雑土。

SD30

SD46

- 1 オリーブ灰色粘質シルト (2.5V3/1) 軟弱 - しまりあり、粘層土がアープ層に入る。自層土主体。
 2 灰色粘質シルト (N4/0) 軟弱 - 粘層にあり、しまりあり、塊状泥が混雑に入る。
 3 灰色粘質シルト (N2/0) 軟弱 - 粘層にあり、しまりあり、塊状泥が混雑に入る。
 4 灰色粘質シルト (N4/0) 軟弱 - しまり層にあり、灰白色粘土が混雑に入る。
 5 硬質オリーブ粘質シルト (5V2/2) 軟弱 - しまりあり、自層土がアープ層に入る。混雑土。



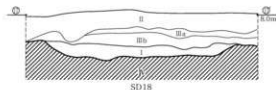
SD28

- 1 灰色粘質シルト (2.5V3/1) 軟弱 - しまりあり、自層土がアープ層に入る。
 2 オリーブ灰色粘質シルト (5V3/1) 軟弱 - 粘層あり、しまりあり、自層土が混雑に入る。



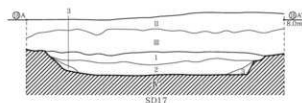
SD23

- 1 灰色粘質シルト (T.5V6/1) 軟弱 - 粘層にあり、しまりあり、灰色粘質が少量入る。

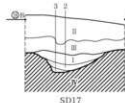


SD18

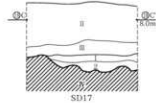
- 1 灰色粘質シルト (2.5V3/1) 軟弱 - しまりあり、自層土が混雑に少量入る。



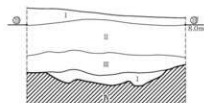
SD17
 1 緑灰色粘質シルト (N2/G1) 粘性・しりりあり、厚層土質層が間状に入る。
 2 緑灰色粘質シルト (N2/G1) 粘性・しりりあり、厚層土質がアゴ状に入る。
 3 灰オリーブ色粘質シルト (S16/G2) 粘性中あり、しりりあり、土層土がアゴ状に入る。流注す。



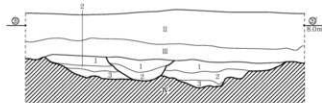
SD17



SD17



SD16
 1 オリーブ灰色粘質シルト (7.5G1/1) 粘性中あり、しりりあり、高粘層がアゴ状に入る。

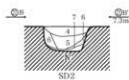
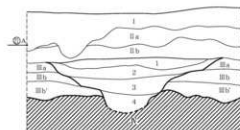


SD13

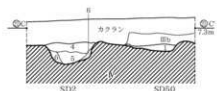
SD12

SD13

SD12
 1 黒褐色粘質シルト (10YR2/1) 粘性・しりりあり、硬物層がほぼなし。
 2 灰褐色粘質シルト (10YR2/1) 粘性・しりりあり、厚層土が間状に入る。
SD13
 1 黒褐色粘質シルト (2.5Y1/1) 粘性・しりりあり、厚層土が間状に入る。
 2 オリーブ灰色粘質シルト (5Y5/3) 粘性・しりりあり。
 3 黒褐色粘質シルト (10Y/1) 粘性中あり、しりりあり、厚層土がアゴ状に入る。



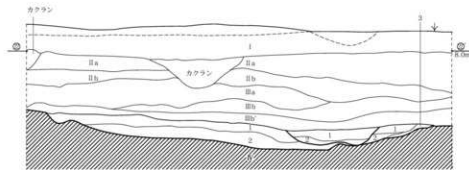
SD2



SD2

SD50

SD2
 1 灰色粘質シルト (7.5Y4/1) 粘性非常にあり、しりりあり。
 2 オリーブ灰色粘質シルト (7.5Y3/1) 粘性・しりりあり。
 3 暗オリーブ灰色粘質シルト (5G7/1) 粘性非常にあり、しりりあり、灰色層土が少量入る。
 4 灰色粘質シルト (10Y5/1) 粘性非常にあり、しりりあり。
 5 オリーブ灰色粘質シルト (5G7/1) 粘性非常にあり、しりりあり。
 6 オリーブ灰色粘質シルト (2.5G7/1) 粘性中あり、しりりあり、厚層土が間状に入る。
 7 暗赤褐色粘質 (5R2/1)

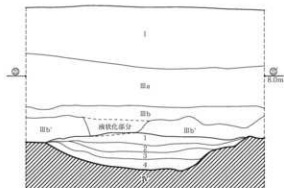


SX49

SD50

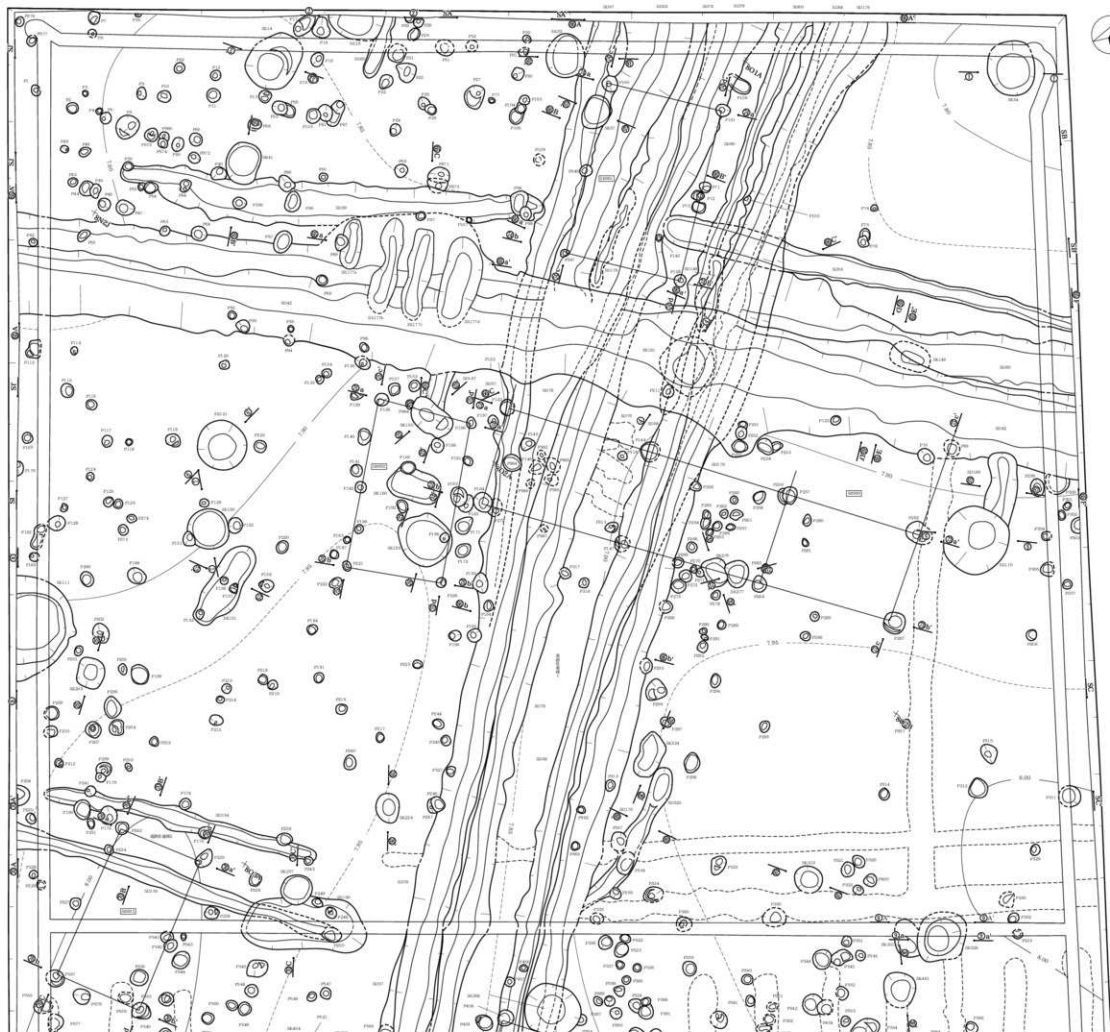
SX49

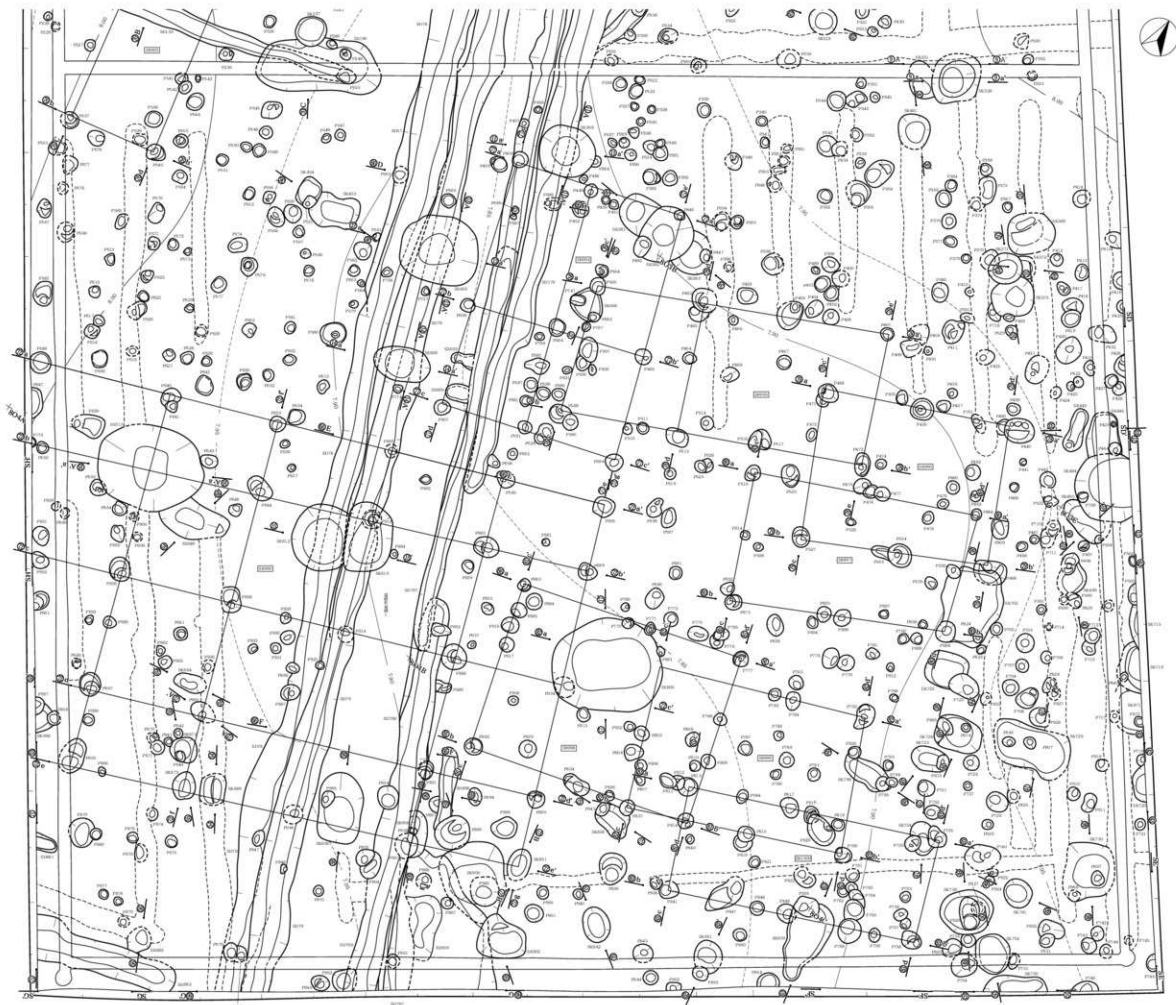
SD50
 1 灰色粘質シルト (10Y4/1) 粘性非常にあり、しりりあり。
 2 オリーブ粘質シルト (5G7/1) 粘性非常にあり、しりりあり。
SX49
 1 赤褐色粘質シルト (5R7/0) 粘性非常にあり、しりりあり、流化粘砂層状に入る。
 2 緑灰色粘質シルト (N2/G1) 粘性・しりりあり、厚層土がアゴ状に入る。
 3 灰色粘質シルト (5G4/1) 粘性・しりりあり。
 4 黒褐色粘質シルト (7.5Y1/1) 粘性・しりりあり。

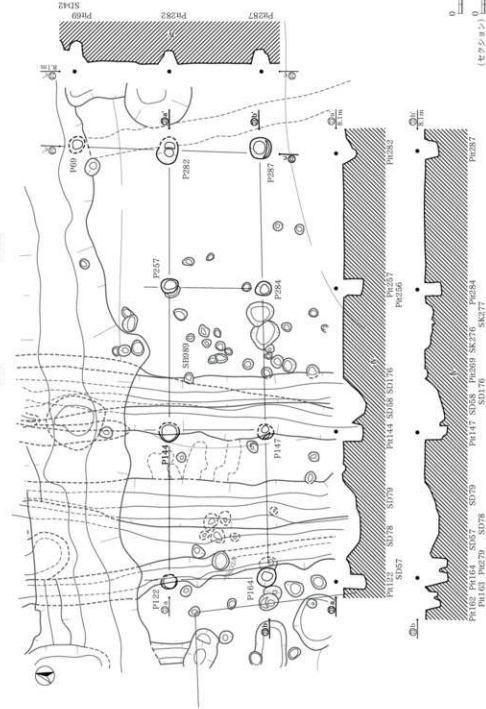
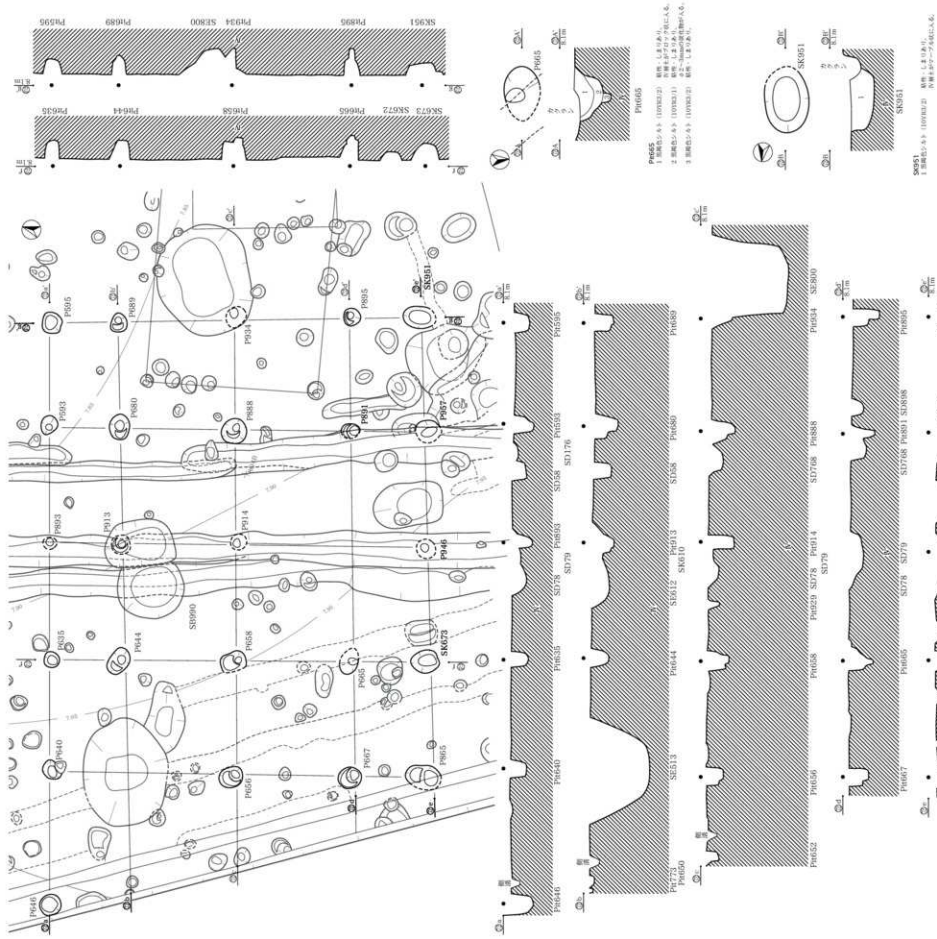


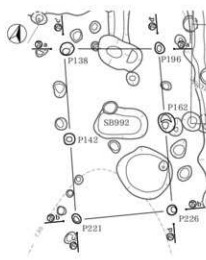
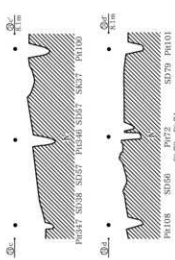
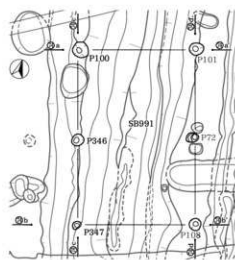
SD1

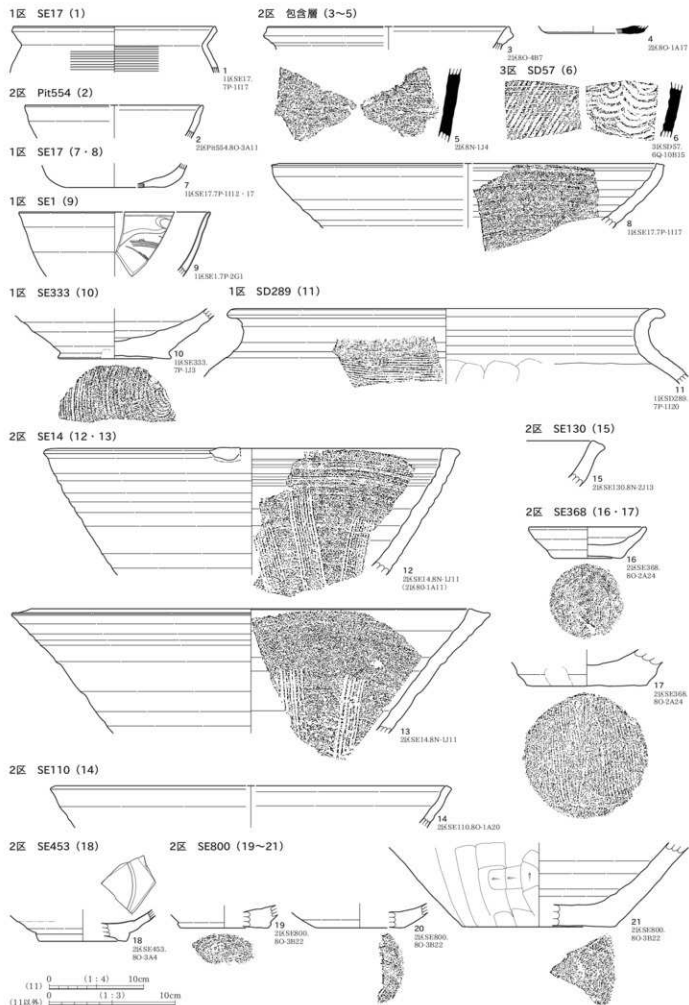
SD1
 1 緑灰色粘質シルト (7.5G1/1) 粘性・しりりあり、厚層土がアゴ状に入る。
 2 オリーブ灰色粘質シルト (2.5G7/1) 粘性・しりりあり。
 3 緑灰色粘質シルト (5G4/1) 粘性・しりりあり。
 4 黒褐色粘質シルト (5G4/1) 粘性中あり、しりりあり。



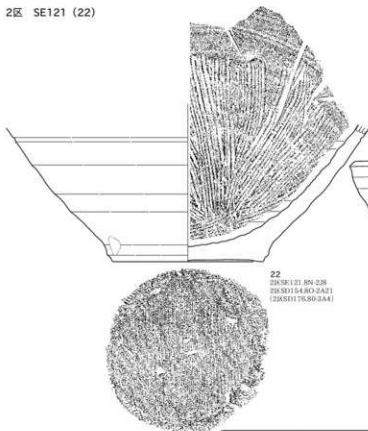




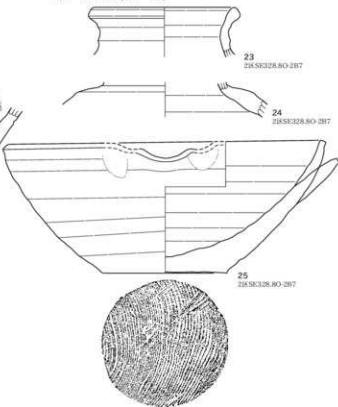




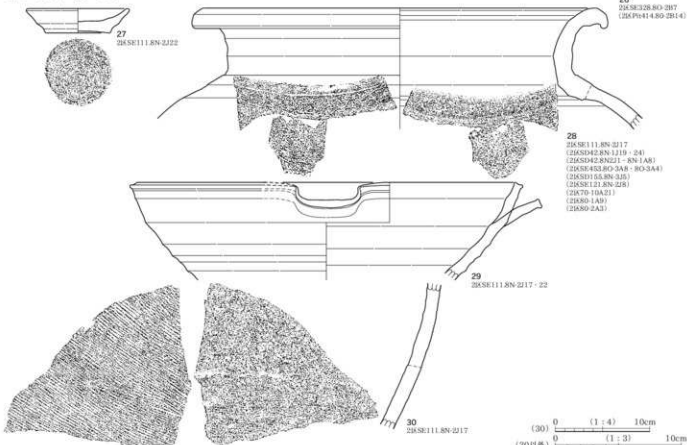
2区 SE121 (22)



2区 SE328 (23~26)



2区 SE111 (27~30)

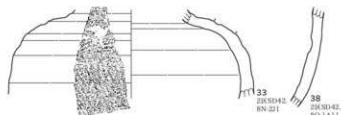


(30) 0 (1:4) 10cm
(30以下) 0 (1:3) 10cm

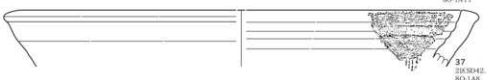
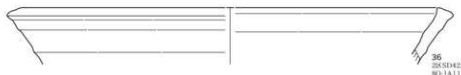
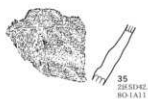
2区 SX190 (31)



2区 SD42 (32~38)



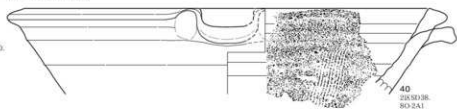
38
2区SD42.
80-1A11
2区SD38.
8N-1J5



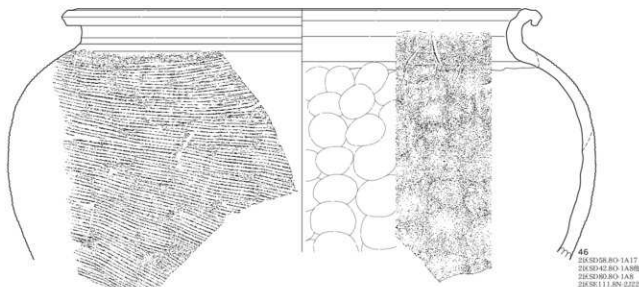
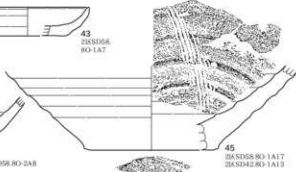
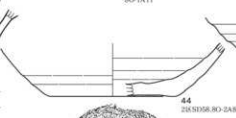
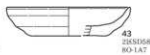
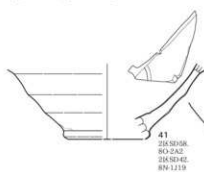
2区 SD80 (39)



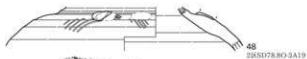
2区 SD38 (40)



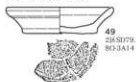
2区 SD58 (41~46)



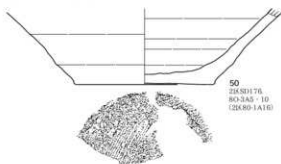
2区 SD78 (47・48)



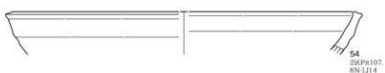
2区 SD79 (49)



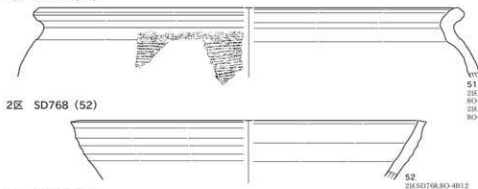
2区 SD176 (50)



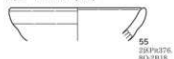
2区 Pit107 (54)



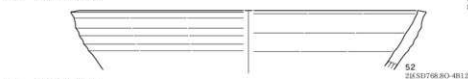
2区 SD767 (51)



2区 Pit376 (55)



2区 SD768 (52)



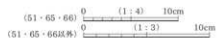
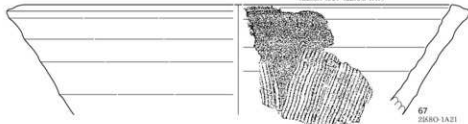
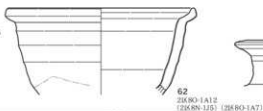
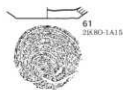
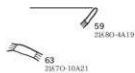
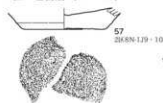
2区 Pit436 (56)



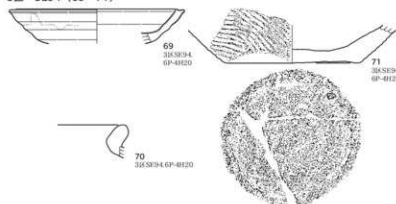
2区 SD898 (53)



2区 包含層 (57~68)



3区 SE94 (69~71)



3区 SX49 (72)



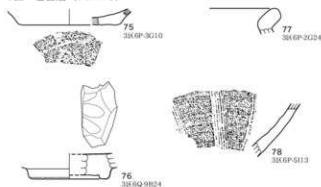
3区 SD71 (73)



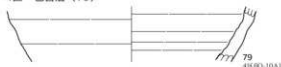
3区 SD57 (74)



3区 包含層 (75~78)

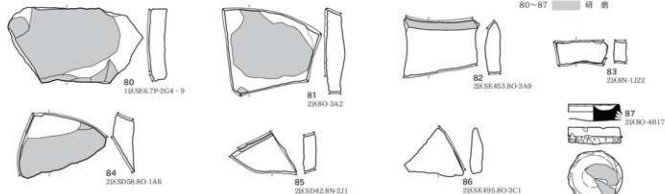


4区 包含層 (79)

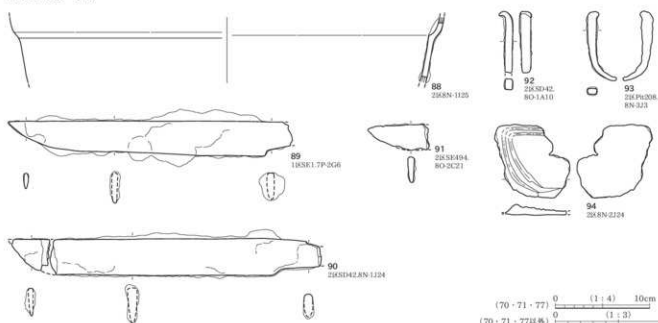


転用研磨具 (80~87)

80~87 研磨



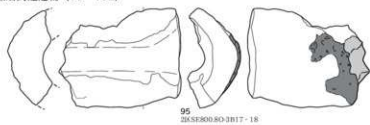
鉄製品 (88~94)



(70・71・77) 0 (1:4) 10cm
(70・71・77以外の) 0 (1:3) 10cm

鍛冶関連遺物 (95~102)

95・97・98 ■ 還元 95~98 ■ 溶解物付着



95
2KSE800.80.3B17-18



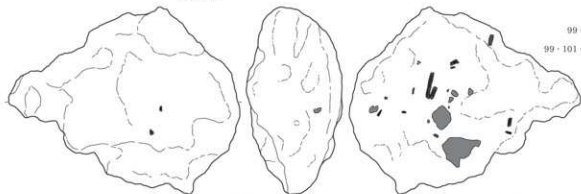
97
2K80-1A17



96
2KSD78.80.3A8

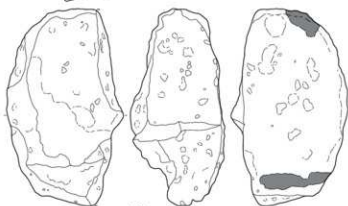
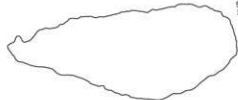


98
2KPH84.80.4C1

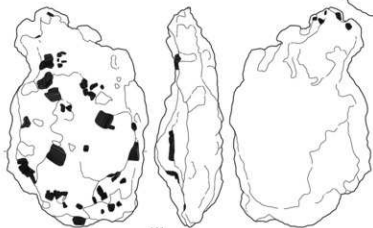


99
1KSR11.7P-1117

99・100 ■ 炉床土付着
99・101・102 ■ 炭



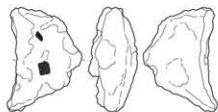
100
1KPK322.6P-1023



101
2KSE812.80.3A24

102
2KSE812.80.3A24

鍛冶関連遺物 (103~116)

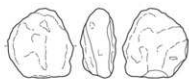


103
2KSD79.80-4A10

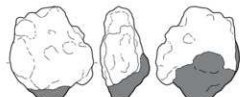
103・108・109 ■ 炭



104
2KSD68.80-1A12



105
2KSN-1J19



106
2KSD42.80-1A9

106・111 ■ 炉床土付着



107
2KSD68.80-3A4



108
2KSE49.80-2C21



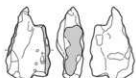
109
2KSE121.8N-2B8



110
2KSD70.80-1A21



111
2KSK371.80-2B19



112
2KPN164.80-2A1

112・113 ■ 研削



113
2KSE113.80-3A22



114
2KSD78.80-4A15



115
2KSD42.80-1A16

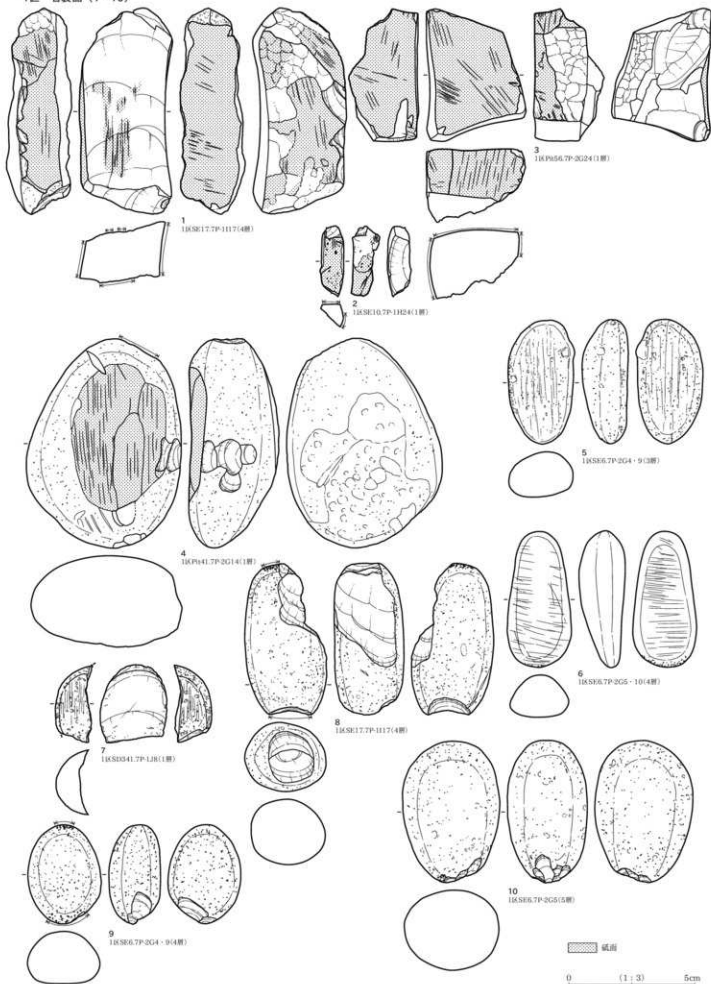


116
2KSD78.80-4A10

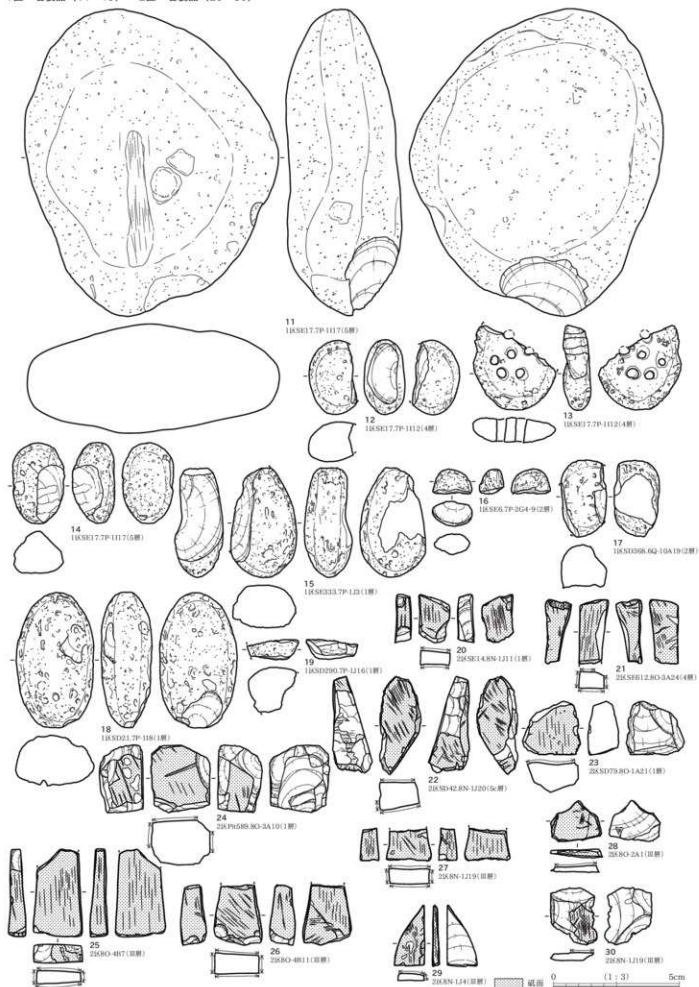
116 ■ 溶解物付着

0 (1:3) 10cm

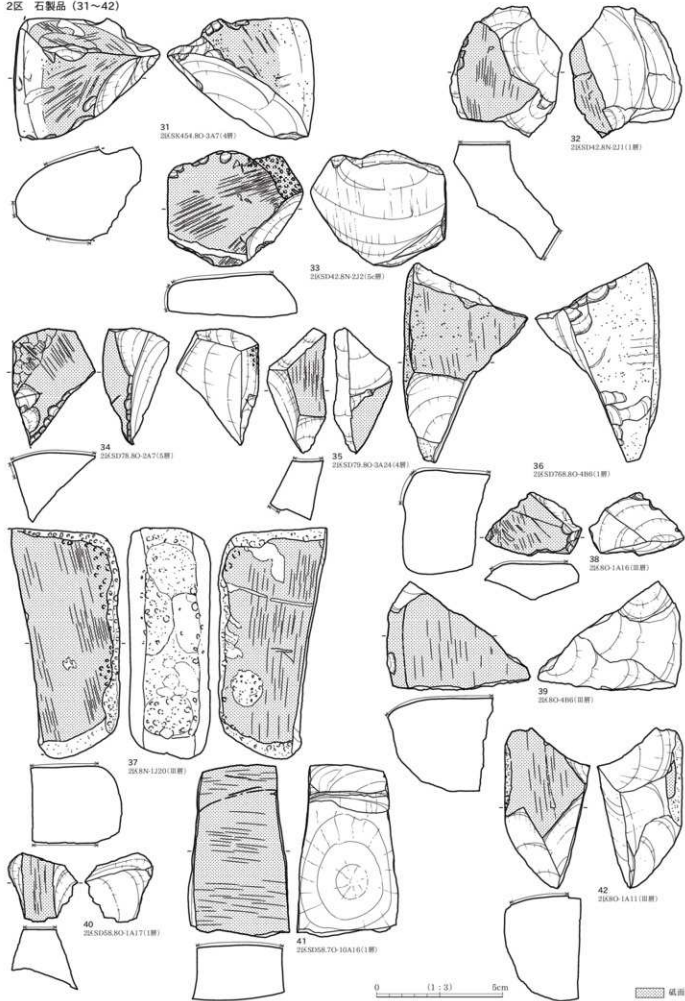
1区 石製品 (1~10)



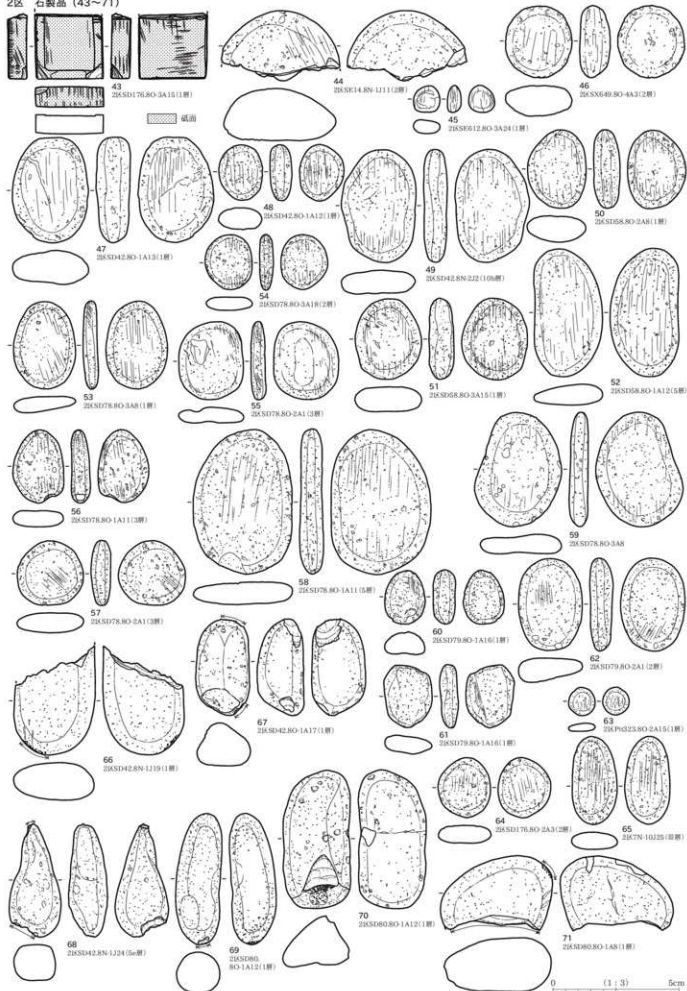
1区 石製品 (11~19) · 2区 石製品 (20~30)



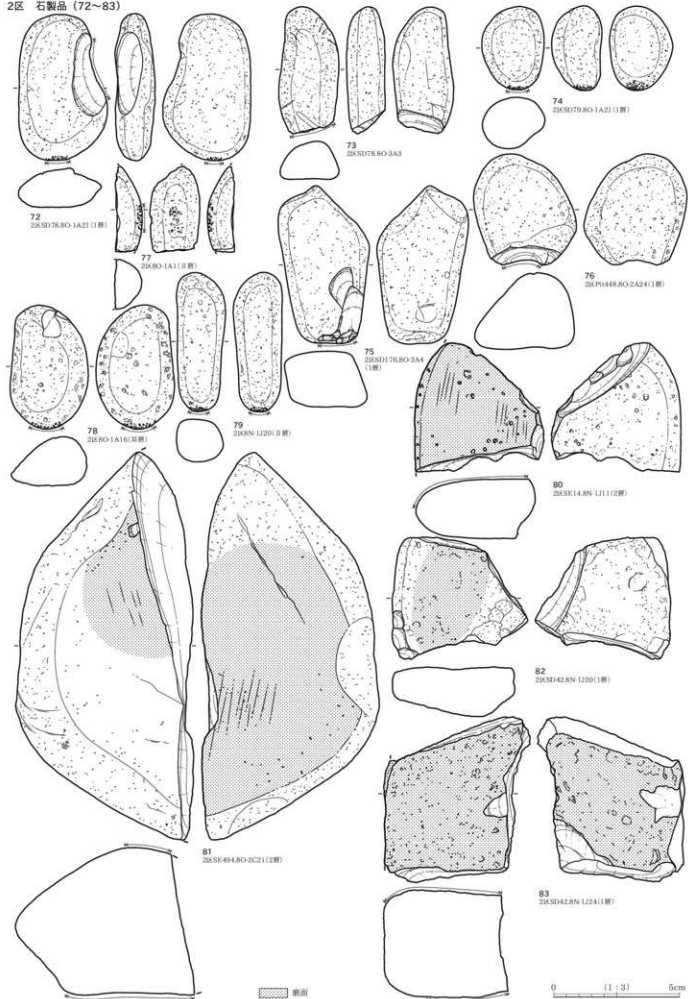
2区 石製品 (31~42)



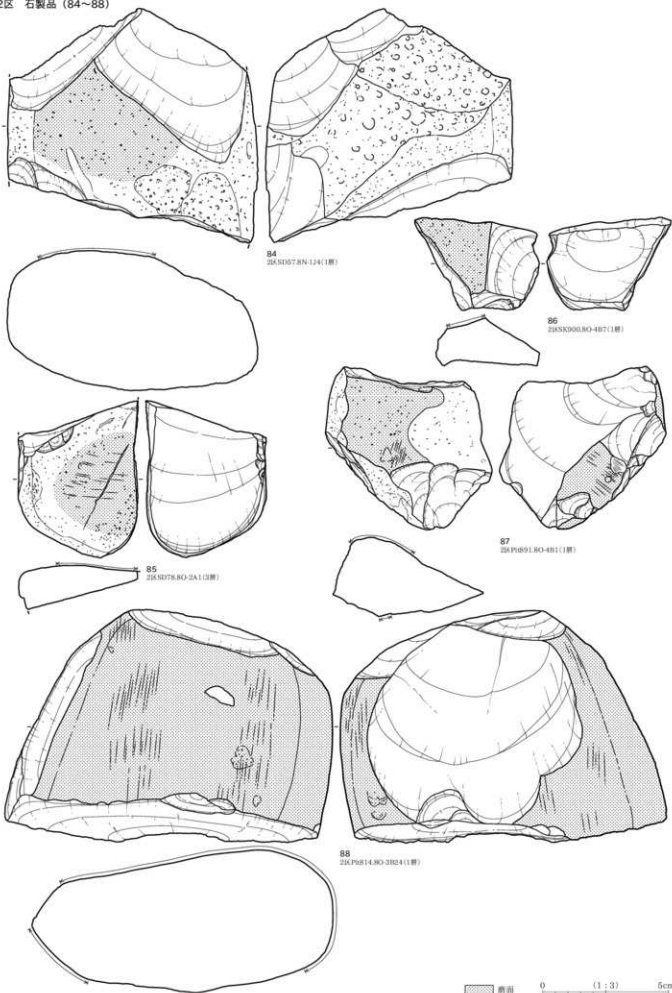
2区 石製品 (43~71)



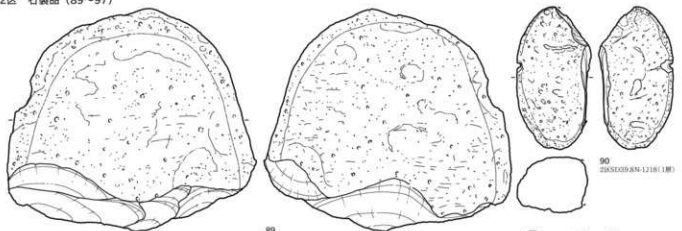
2区 石製品 (72~83)



2区 石製品 (84~88)

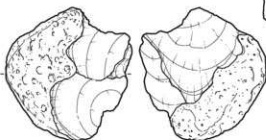
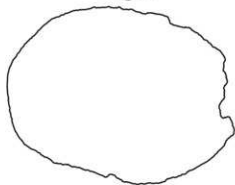


2区 石製品 (89~97)



89
ZSS0612RO-3A24(2冊)

90
ZSS0598N-1218(1冊)



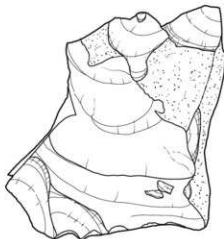
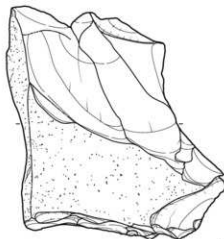
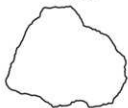
91
ZSS342.8N-1220(10冊)



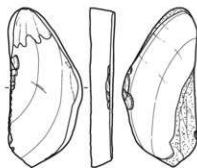
92
ZSPH092AO-3B12(1冊)



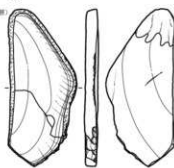
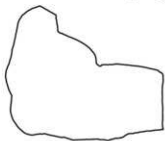
93
ZSS328.8O-2B7(6冊)



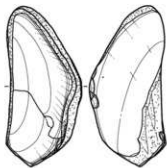
94
ZSSR00.8O-3B17(1冊)



95
ZSS3148N-1J11(5冊)

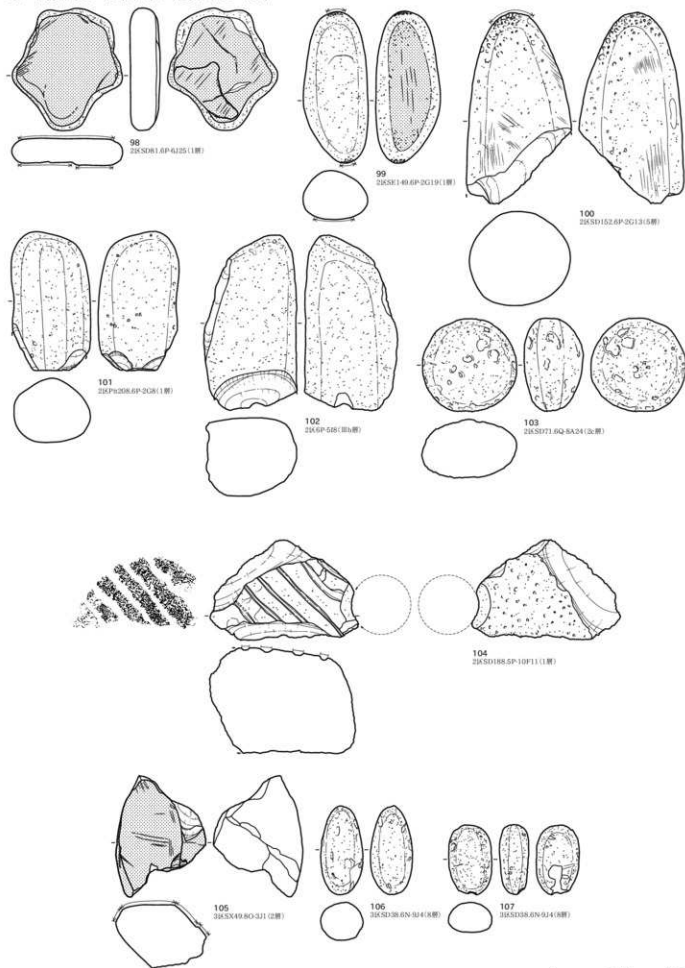


96
ZSRO-1A7(1冊)



97 (組合95-96)
ZSSE14.8N-1J11(5冊)
ZSRO-1A7(1冊)

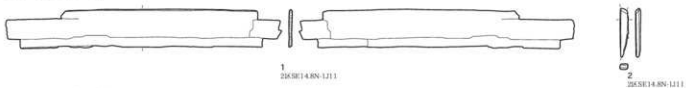
3区 石製品 (98~104)、4区 石製品 (105~107)



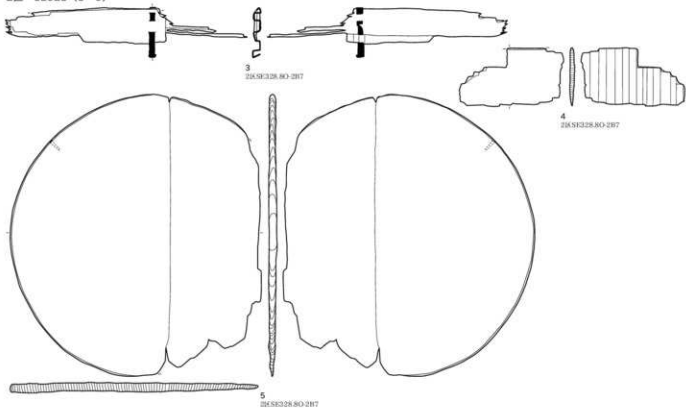
■ 磨面・砥面

0 (1:3) 10cm

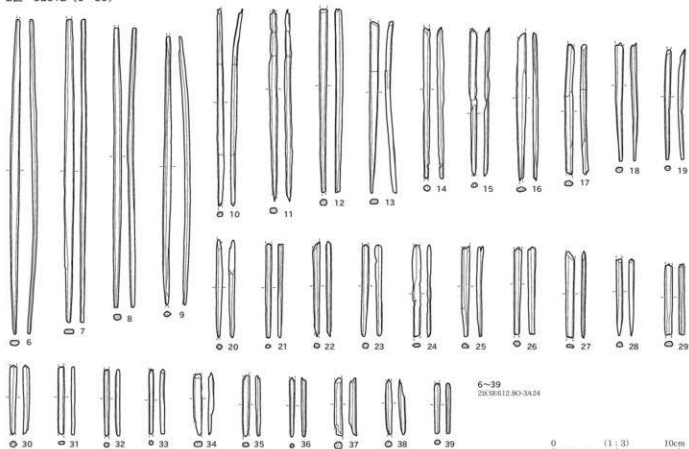
2区 SE14 (1-2)



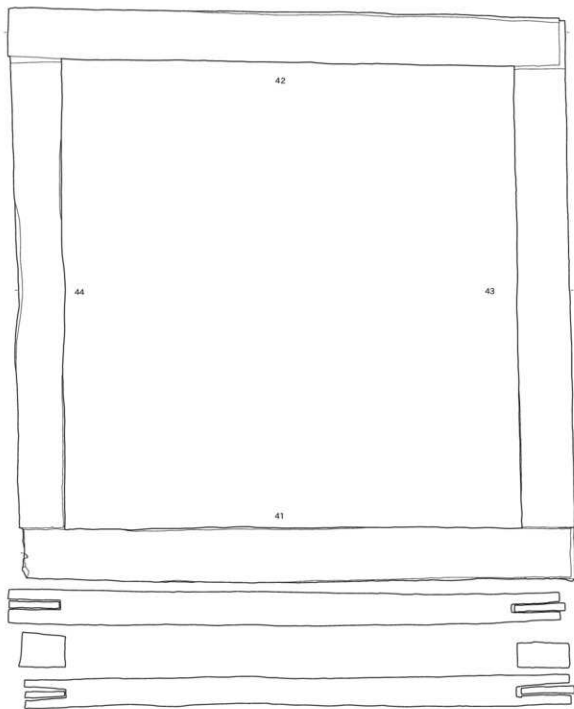
2区 SE328 (3~5)



2区 SE612 (6~39)



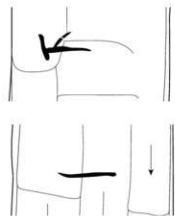
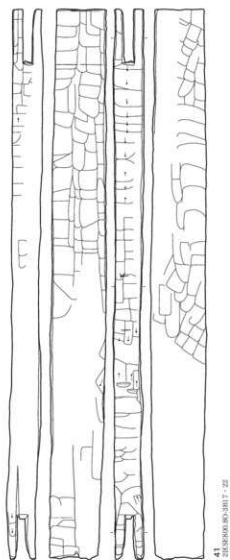
2区 SE800 (40)



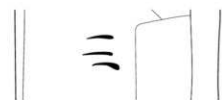
40
2KS8800.80-3B17-18-22-23

0 (1:6) 20cm

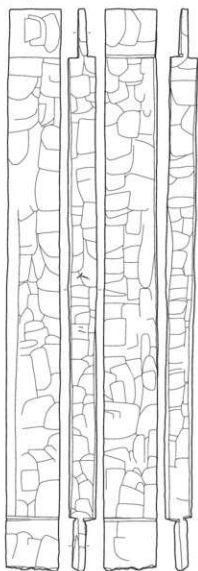
2区 SE800 (41・42)



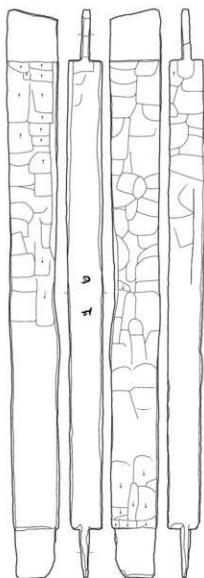
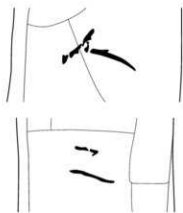
43上の75分厚板



2区 SE800 (43・44)



43
2HSE800.80.3H22・23



44
2HSE800.80.3H17・18



0 (1:6) 20cm

(原書拡大図) 0 2cm

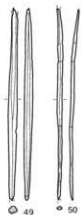
2区 SE800 (45~56)



45
2区SE800.80-3R22・23



48



49

50



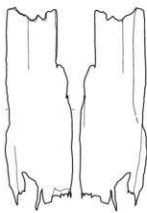
51



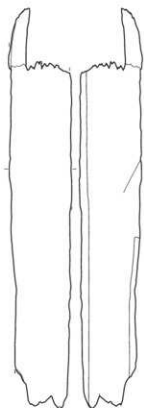
52



53



46
2区SE800.80-3R22

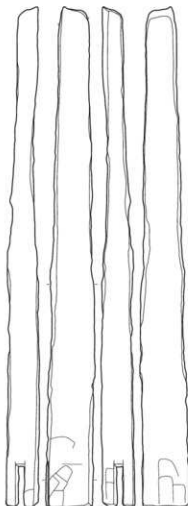


47
2区SE800.80-3R22

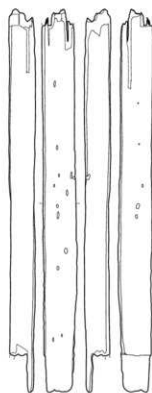
48~52
2区SE800.80-3R22



54
2区SE800.80-3R22



55
2区SE800.80-3R22

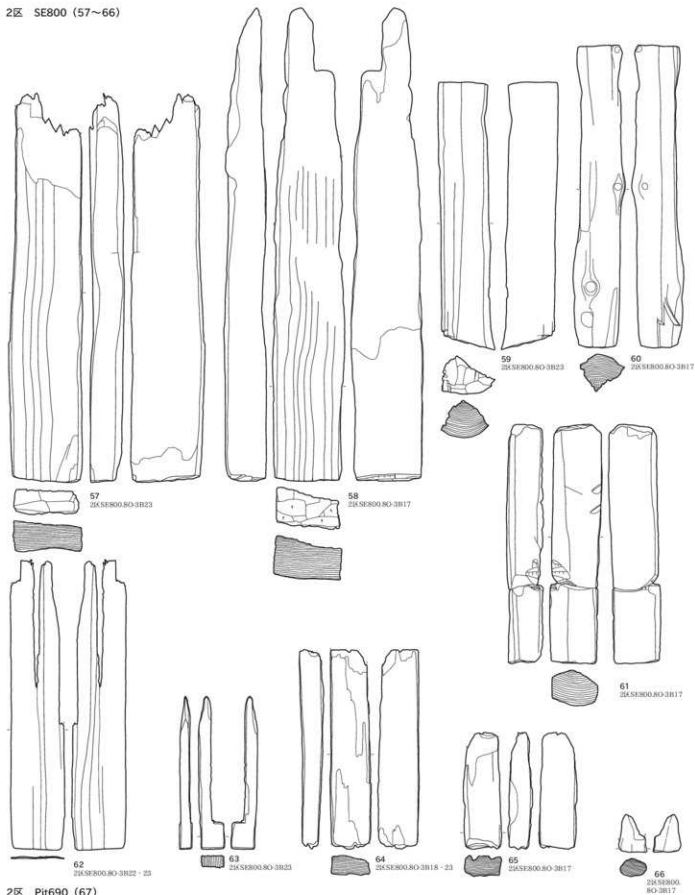


56
2区SE800.80-3R18

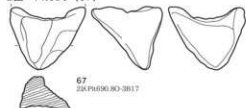


(45~53) 0 (1:3) 10cm
(54~56) 0 (1:6) 20cm

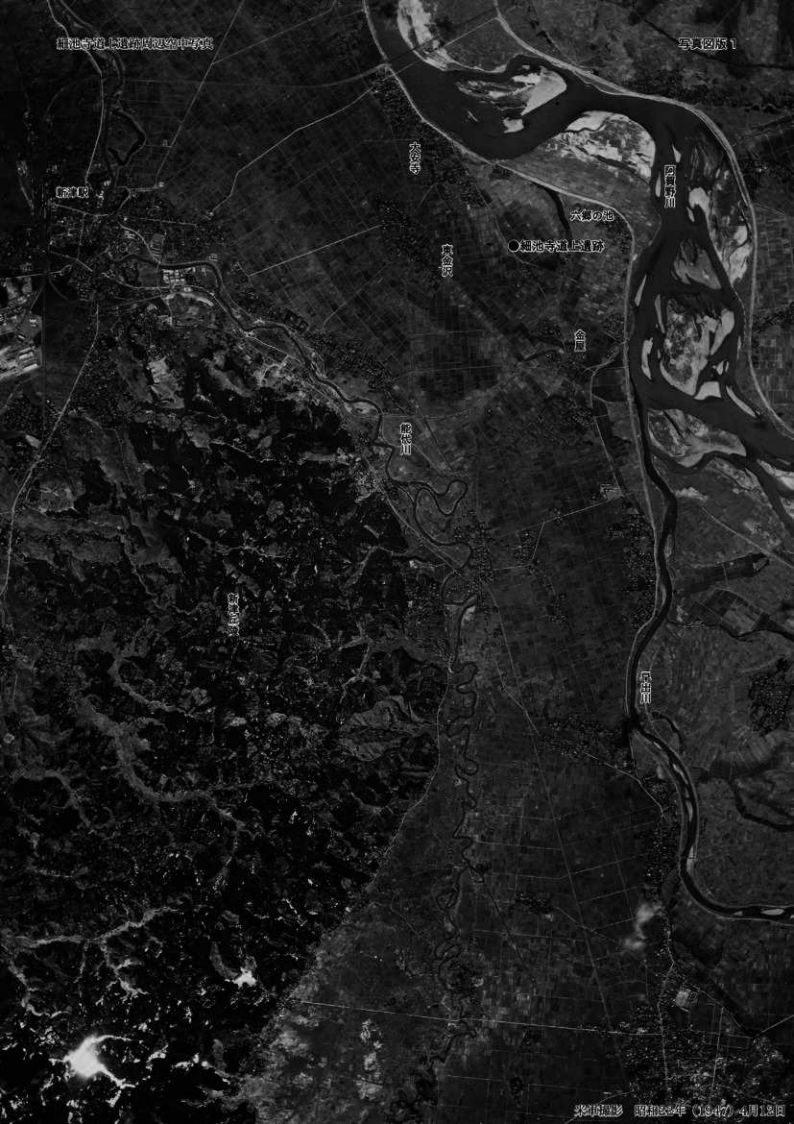
2区 SE800 (57~66)



2区 Pit690 (67)



(67) 0 (1:3) 10cm
 (57~66) 0 (1:6) 20cm



大谷寺

大谷寺

六人の池

○相池寺遺址跡

熊野川

金層

熊野川

高田川

高田川



調査前空中写真 2008年3月撮影（西から五頭山を望む）



調査前空中写真 2008年3月撮影（南から日本海を望む）



調査前空中写真 2008年3月撮影(東から新津丘陵を望む)



1区調査前現況(南東→北西)



2区調査前現況(南東→北西)



3区調査前現況(南東→北西)



4区調査前現況(南東→北西)



全調査区完掘空中写真（南東→北西）



1区・3区完掘空中写真（北東→南西）



2区・4区完插空中写真(北東→南西)



1区全景空中写真(南東→北西)



1区完掘状況（北東→南西）



1区完掘状況（南西→北東）



1区 SE6 土層断面 (北東→南西)



1区 鉢状小溝完掘状況 (北西→南東)



1区 SB428 完掘状況 (南東→北西)



1区 SB429 完掘状況 (南東→北西)



2区全景空中写真(北東→南西)



2区完掘状況(南東→北西)



2区完掘状況（北西→南東）



2区 SE612 土層断面（南→北）



2区 SE800 土層断面（北東→南西）



2区 SE800 井戸側出土状況（北東→南西）



2区 SD39·SD42·SX177 土层断面(南西→北東)



2区 SX177 完掘状況(南東→北西)



2区道路状遺構 1 (北→南)



2区道路状遺構 2 (東→西)



2区 SD39・SD42 完掘状況 (西→東)



2区 SD42・SD60 完掘状況 (北東→南西)



3区全景空中写真(南東→北西)



4区全景空中写真(南東→北西)



4区 (6N-6H・6I・7I 付近) 完掘状況 (北西→南東)



4区 (6N-8J・9J、6O-9A・10A 付近) 完掘状況 (北西→南東)



4区 (70-1B・2B・2C・3C 付近) 完掘状況 (北西→南東)



4区 (70-4D・5D・5E・6E 付近) 完掘状況 (北西→南東)



4区 (70-7F・8F・9G・10H 付近) 完掘状況 (北西→南東)



4区 (80-11・21・2J・3J・4J, 8P-4A 付近) 完掘状況 (北西→南東)



1区基本層序 A (南東→北西)



1区基本層序 C (南東→北西)



1区基本層序 D (南東→北西)



1区基本層序 E (北西→南東)



1区基本層序 G (北西→南東)



1区 SE17 土層断面 (北東→南西)



1区 SE17 完掘状況 (北東→南西)



1区 SE333・Pit404 土層断面 (北→南)



1区 SE333・SE420・Pit404 完掘状況 (北→南)



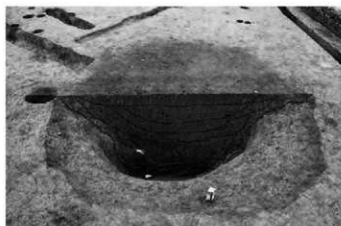
1区 SE12 土層断面・完掘状況 (南東→北西)



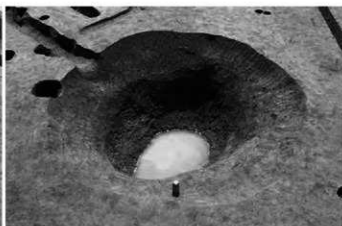
1区 SE14・SD13 土層断面 (南東→北西)



1区 SE14 完掘状況 (南→北)



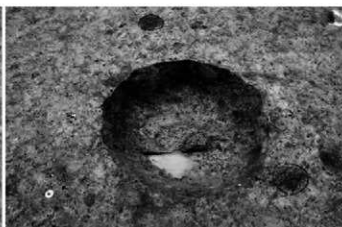
1区 SE6・Pit62 土層断面 (北東→南西)



1区 SE6・Pit62 完掘状況 (北東→南西)



1区 SE10 土層断面 (北東→南西)



1区 SE10 完掘状況 (北東→南西)



1区 SE1 土層断面 (東→西)



1区 SE1 刀子出土状況 (東→西)



1区 SE1 完掘状況 (東→西)



1区 SD368 土層断面 A (南西→北東)



1区 SK370・SD368 土層断面 B (北→南)



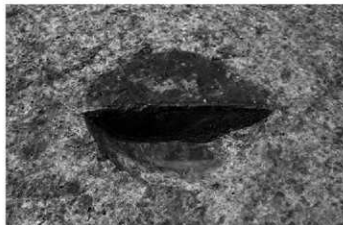
1区 SD368・Pit419 土層断面 C (北西→南東)



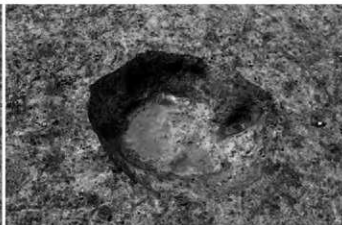
1区 SK370・SD368 完掘状況 (北→南)



1区 SK412 土層断面・完掘状況 (南東→北西)



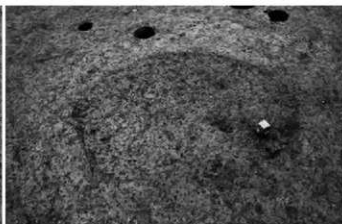
1区 SK327 土層断面 (北東→南西)



1区 SK327 完掘状況 (北東→南西)



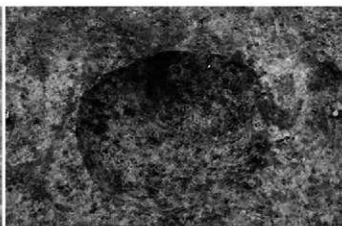
1区 SK304 土層断面 (北東→南西)



1区 SK304 完掘状況 (北東→南西)



1区 SK316 土層断面 (北東→南西)



1区 SK316 完掘状況 (北東→南西)



1区 SK265 土層断面 (北西→南東)



1区 SK265 完掘状況 (南東→北西)



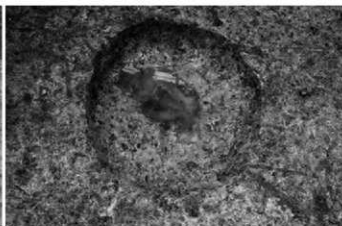
1区 SK385 土層断面 (南東→北西)



1区 SK385 完掘状況 (南東→北西)



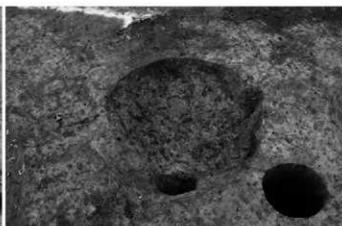
1区 SK299 土層断面 (北東→南西)



1区 SK299 完掘状況 (北東→南西)



1区 SK22 土層断面 (南→北)



1区 SK22 完掘状況 (南→北)



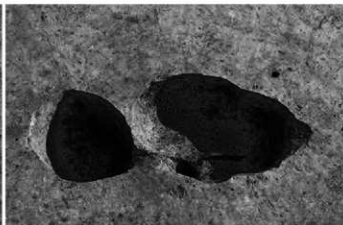
1区 SK23 土層断面 (南→北)



1区 SK23・Pit228・Pit383 完掘状況 (南東→北西)



1区 SK98・Pit99 土層断面(北→南)



1区 SK98・Pit99 完掘状況(北→南)



1区 SK347 土層断面・完掘状況(北西→南東)



1区 SD340 土層断面(北西→南東)



1区 SD341 土層断面(北西→南東)



1区 SD342 土層断面(北西→南東)



1区 SD341・SD342 完掘状況(東→西)



1区 SD21 土層断面(北→南)



1区SD21 完掘状況(北→南)



1区SD16 土層断面A(南→北)



1区SD16・SD21 土層断面C(南東→北西)



1区SD289 土層断面(北西→南東)



1区SD290 土層断面A(北西→南東)



1区SD291 土層断面B(北東→南西)



1区SD281 土層断面A(北西→南東)



1区SD18 土層断面(南東→北西)



1区 SD19 土層断面 (南東→北西)



1区 SD18・SD19 完掘状況 (南東→北西)



1区 SD13 土層断面 A (南東→北西)



1区 SD13・SD15・Pit405 土層断面 B (西→東)



1区 SD13 完掘状況 (南東→北西)



1区 SD15 完掘状況 (西→東)



1区 SD11 土層断面 A・B (南東→北西)



1区 SD11 完掘状況 (南東→北西)



1区SD9土層断面(東→西)



1区SD9完掘状況(東→西)



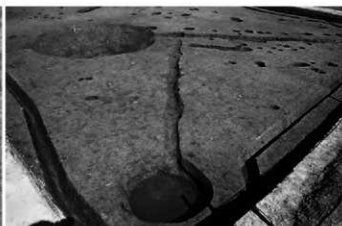
1区SD8土層断面(東→西)



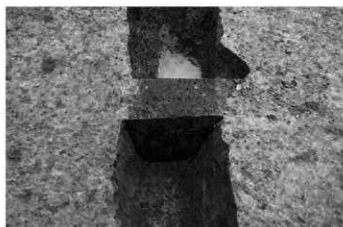
1区SD8完掘状況(東→西)



1区SD2土層断面(東→西)



1区SD2完掘状況(西→東)



1区SD4土層断面(北→南)



1区SD4完掘状況(北→南)



1区 SD7 土層断面 B (東→西)



1区 SD5・Pr107 土層断面 A (北→南)



1区 SD5 土層断面 B (北→南)



1区 SD3 土層断面 A (北西→南東)



1区 SB430 完掘状況 (東→西)



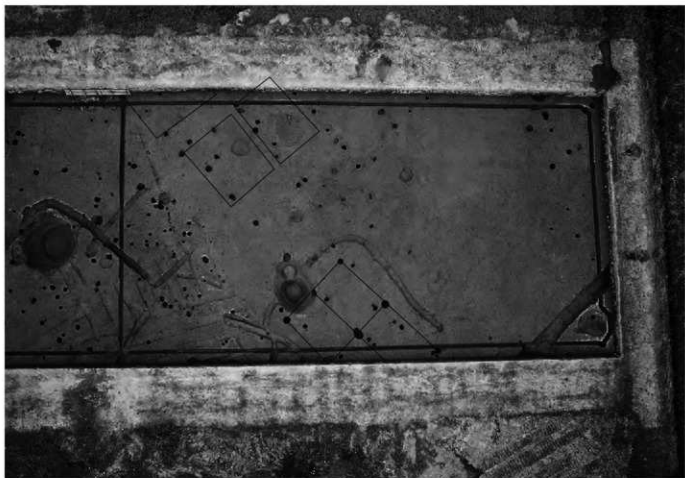
1区 SD332 土層断面 (東→西)



1区 鉄状小溝完掘状況 (北西→南東)



1区 SB428 完掘状況 (東→西)



1区 SB428・SB431・SB432・SB433 完掘状況 (南東→北西)



1区 SB429・SB430・SB434・SB435 完掘状況 (南東→北西)



2区基本層序 A (南東→北西)



2区基本層序 C (南西→北東)



2区基本層序 F (北西→南東)



2区基本層序 H (北東→南西)



2区 SE34 土層断面 (北西→南東)



2区 SE34 完掘状況 (北西→南東)



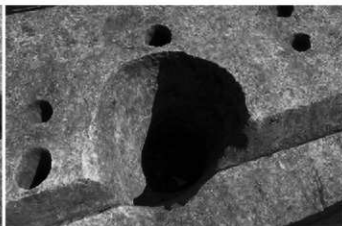
2区 SE19・SD20 土層断面・完掘状況 (南東→北西)



2区 SE111 土層断面・完掘状況 (北東→南西)



2区 SE14 土層断面 (北→南)



2区 SE14 完掘状況 (北→南)



2区 SE110 土層断面 (北西→南東)



2区 SE110 完掘状況 (北西→南東)



2区 SE121 土層断面 (東→西)



2区 SE121 完掘状況 (東→西)



2区 SE130 土層断面 (北東→南西)



2区 SE130 完掘状況 (北東→南西)



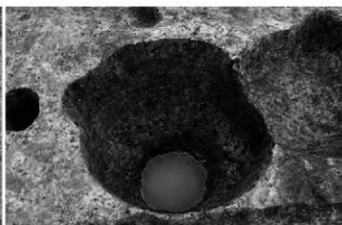
2区 SE328 土層断面 (南東→北西)



2区 SE328 完掘状況 (南東→北西)



2区 SE375・SK371 土層断面 (北東→南西)



2区 SE375 完掘状況 (北東→南西)



2区 SE181 完掘状況 (南→北)



2区 SE494 土層断面・完掘状況 (南西→北東)



2区 SE368 土層断面 (西→東)



2区 SE368 完掘状況 (西→東)



2区 SE453 土層断面 (西→東)



2区 SE453 完掘状況 (西→東)



2区 SE609 土層断面 (西→東)



2区 SE609 完掘状況 (西→東)



2区 SE612・SK610・SD79 土層断面 (南→北)



2区 SE612・SK610 完掘状況 (南→北)



2区 SE513 土層断面 (北西→南東)



2区 SE513 完掘状況 (北西→南東)



2区 SE800 土層断面 (北東→南西)



2区 SE800 完掘状況 (北東→南西)



2区 SK33・SD57 土層断面 (北西→南東)



2区 SK33 完掘状況 (南東→北西)



2区 SK37 土層断面 (北→南)



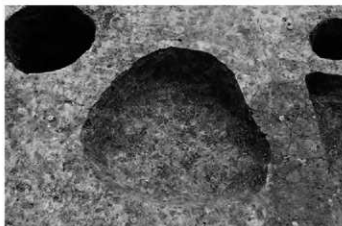
2区 SK37 完掘状況 (北→南)



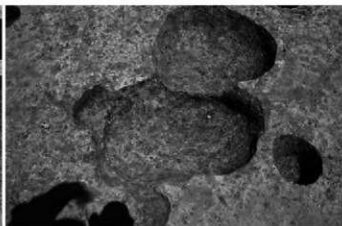
2区 SK276 土層断面 (南西→北東)



2区 SK277 土層断面 (北西→南東)



2区 SK277 完掘状況 (北西→南東)



2区 SK276・SK277 完掘状況 (南西→北東)



2区 SK150・SD167 土層断面 (東→西)



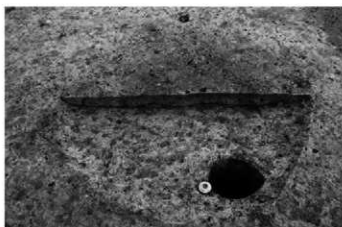
2区 SK150・SD167 完掘状況 (東→西)



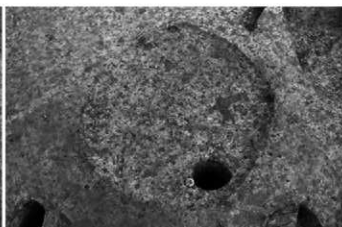
2区 SK160 土層断面 (東→西)



2区 SK160 完掘状況 (東→西)



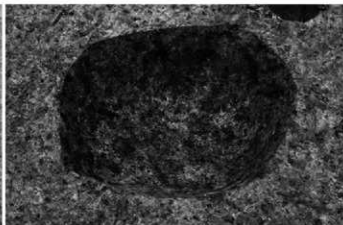
2区 SK165 土層断面 (東→西)



2区 SK165・Pit166 完掘状況 (東→西)



2区 SK203 土層断面 (東→西)



2区 SK203 完掘状況 (東→西)



2区 SK224 土層断面 (南西→北東)



2区 SK224 完掘状況 (南西→北東)



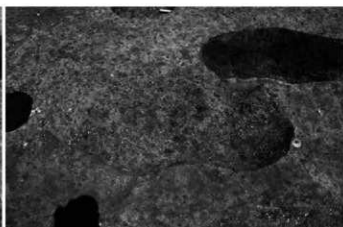
2区 SK151 土層断面 (北→南)



2区 SK151 完掘状況 (北→南)



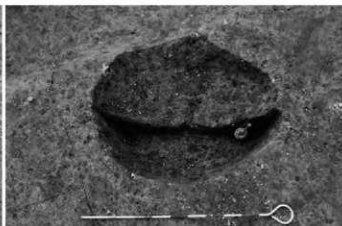
2区 SK324 土層断面 (西→東)



2区 SK324 完掘状況 (西→東)



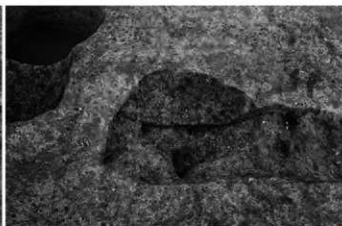
2区 SK319 土層断面 (北→南)



2区 SK319 完掘状況 (北→南)



2区 SK481 土層断面 (南西→北東)



2区 SK481 完掘状況 (南西→北東)



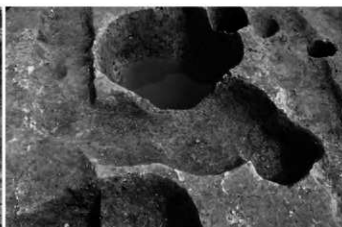
2区 SK369 土層断面 (北東→南西)



2区 SK369 完掘状況 (北東→南西)



2区 SK372 土層断面 (北西→南東)



2区 SK372 完掘状況 (北西→南東)



2区 SK443・SK445 土層断面 (北西→南東)



2区 SK443・SK445 完掘状況 (北西→南東)



2区 SK381・SK382・SK383 土層断面 (北→南)



2区 SK382 完掘状況 (北→南)



2区 SK381 完掘状況 (北→南)



2区 SK383 完掘状況 (北→南)



2区 SK495 土層断面 (東→西)



2区 SK495 完掘状況 (東→西)



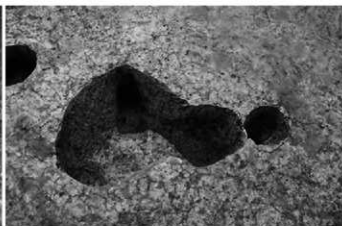
2区 SK454・SK455 土層断面 (北→南)



2区 SK454・SK455 完掘状況 (北→南)



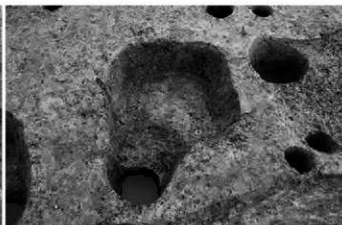
2区 SK506・Pit504・Pit505 土層断面 (東→西)



2区 SK506・Pit504・Pit505 完掘状況 (東→西)



2区 SK722 土層断面 (東→西)



2区 SK722 完掘状況 (東→西)



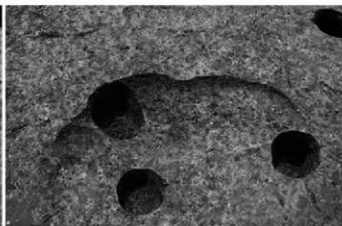
2区 SK702 土層断面 (東→西)



2区 SK702 完掘状況 (東→西)



2区 SK796・Pit795 土層断面 (北→南)



2区 SK796・Pit795 完掘状況 (北→南)



2区 SK499・Pit498 土層断面 (南西→北東)



2区 SK499・Pit498・Pit500 完掘状況 (南西→北東)



2区 SK729 土層断面 (東→西)



2区 SK729 完掘状況 (東→西)



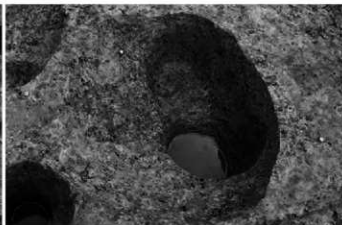
2区 SK715・SK716・SK371・Pit503・Pit4872 土層断面・完掘状況 (南西→北東)



2区 SK720・Pit719 土層断面・完掘状況 (南西→北東)



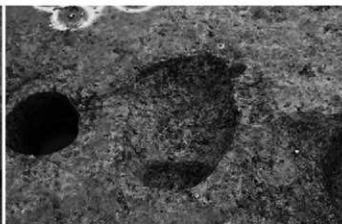
2区 SK724・Pit874 土層断面 (東→西)



2区 SK724・Pit874 完掘状況 (東→西)



2区 SK725 土層断面 (東→西)



2区 SK725 完掘状況 (東→西)



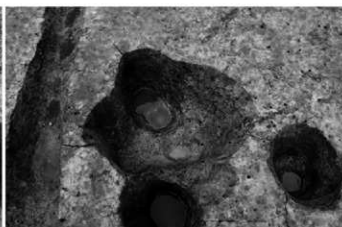
2区 SK730・Pit867 土層断面 (北東→南西)



2区 SK730・Pit867 完掘状況 (北東→南西)



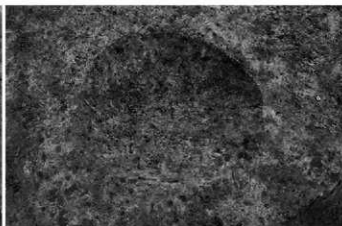
2区 SK734 土層断面 (北東→南西)



2区 SK734・Pit732・Pit733・Pit735 完掘状況 (北東→南西)



2区 SK741 土層断面 (北→南)



2区 SK741 完掘状況 (北→南)



2区 SK739・Pit753・Pit926 土層断面 (北東→南西)



2区 SK739・Pit753・Pit926 完掘状況 (北東→南西)



2区 SK752 土層断面 (北東→南西)



2区 SK752 完掘状況 (北東→南西)



2区 SK750 土層断面・完掘状況 (北西→南東)



2区 SK668・Pit857 土層断面・完掘状況 (北東→南西)



2区 SK664 土層断面 (北→南)



2区 SK664 完掘状況 (北→南)



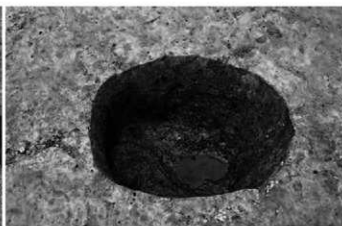
2区 SK869 土層断面 (北東→南西)



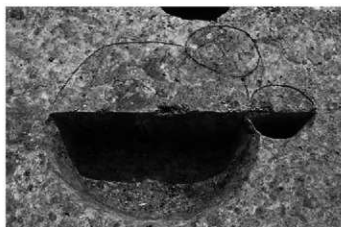
2区 SK869 完掘状況 (北東→南西)



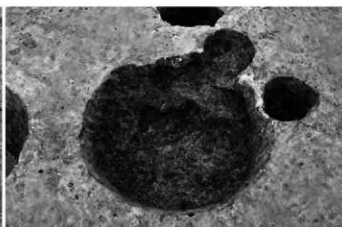
2区 SK673 土層断面 (北東→南西)



2区 SK673 完掘状況 (北東→南西)



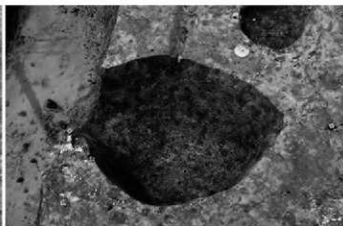
2区 SK672・Pit942・Pit949 土層断面 (北東→南西)



2区 SK672・Pit942・Pit949 完掘状況 (北東→南西)



2区 SK883 土層断面 (東→西)



2区 SK883 完掘状況 (東→西)



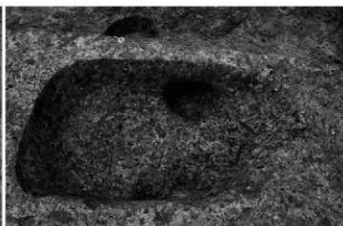
2区 SK838・Pit943 土層断面 (北→南)



2区 SK838・Pit943 完掘状況 (北→南))



2区 SK890 土層断面 (北東→南西)



2区 SK890 完掘状況 (北東→南西)



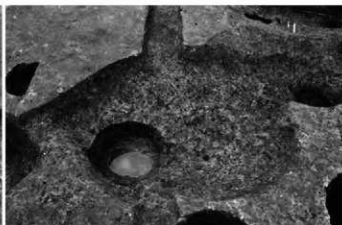
2区 SK900・Pit960 土層断面 (北東→南西)



2区 SK902 土層断面 (北東→南西)



2区 SK902 完掘状況 (北東→南西)



2区 SK900・Pit960 完掘状況 (北東→南西)



2区 SK951 土層断面 (西→東)



2区 SK951 完掘状況 (西→東)



2区 SK956・Pit957・Pit958 土層断面 (西→東)



2区 SK956 完掘状況 (西→東)



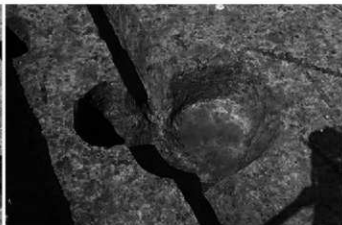
2区 SK842 土層断面 (南西→北東)



2区 SK842 完掘状況 (南西→北東)



2区 SK851・Pit853 土層断面 (東→西)



2区 SK851・Pit853 完掘状況 (東→西)



2区 SK855 土層断面 (東→西)



2区 SK855・Pit935 完掘状況 (東→西)



2区 SK331 完掘状況 (南東→北西)



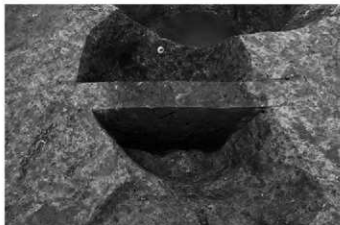
2区 SK371 完掘状況 (北東→南西)



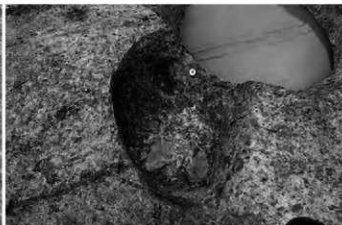
2区 SK610 完掘状況 (南→北)



2区 SK149 完掘状況 (東→西)



2区 SX649 土層断面 (東→西)



2区 SX649 完掘状況 (東→西)



2区 SD42 土層断面 A (北東→南西)



2区 SD39・SK41 土層断面 B (西→東)



2区 SK41 完掘状況 (西→東)



2区 SD39・SD42・Pit971・Pit975 土層断面 C (南西→北東)



2区 SD42・SD80・SK149 土層断面 E (東→西)



2区 SD56・SD42・SD80 土層断面 F (南西→北東)



2区 SD38・SD57・SD78・SD79 土層断面 A (南東→北西)



2区 SD58・SD60・SD176 土層断面 A (南東→北西)



2区 SD38・SD57・SD78・SD79 土層断面 B (南→北)



2区 SD42・56・57・58・80・148・176 土層断面 C (南東→北西)



2区 SD57・SD78・SD79・Pit565 土層断面 D (南→北)



2区 SD58・SD176・Pit688 土層断面 D (南→北)



2区 SD78・SD79・Pit893 土層断面 E (南→北)



2区 SD58・SD176・SD767 土層断面 E (南→北)



2区 SD78・SD79 土層断面 F (南→北)



2区 SD767・SD768 土層断面 F (南→北)



2区 SD767・SD768・SX959・Pit953 土層断面 G (北西→南東)



2区 SD78・SD79 土層断面 G (北西→南東)



2区 SD189 土層断面 (南東→北西)



2区 SD189 完掘状況 (南東→北西)



2区 SD325 土層断面 (北→南)



2区 SD325 完掘状況 (南→北)



2区 SD898 土層断面 (南→北)



2区 SD898 完掘状況 (南→北)



2区 SD154・SD155 土層断面 A・B (東→西)



2区 SD155・SK237・SX190 土層断面 C (北東→南西)



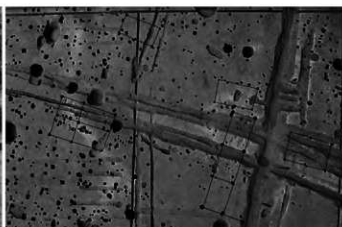
2区 SD154・SD155 完掘状況 (南西→北東)



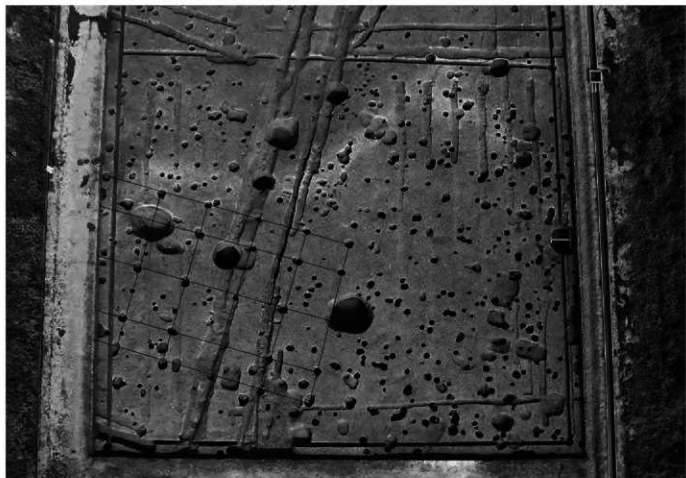
2区 SK237・SX190 完掘状況 (北東→南西)



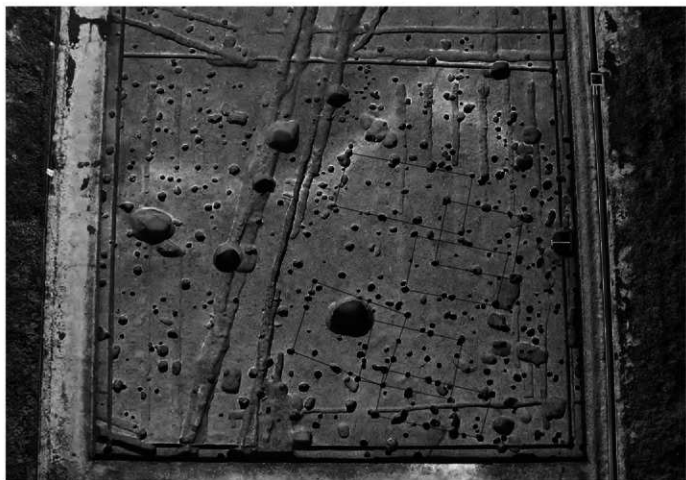
2区 SD881・SD882 土層断面 (北東→南西)



2区 SB989・SB991・SB992・SB993・SB994 完掘状況 (北東→南西)



2区 SB990 完掘状況 (南東→北西)



2区 SB995・SB996・SB997・SB998・SB999・SB1000 完掘状況 (南東→北西)



3区基本層序 A・SX244 土層断面 (南西→北東)



3区基本層序 D (南西→北東)



3区基本層序 G (南西→北東)



3区基本層序 J (南西→北東)



3区基本層序 M (南西→北東)



3区 SE149 土層断面・完掘状況 (南西→北東)



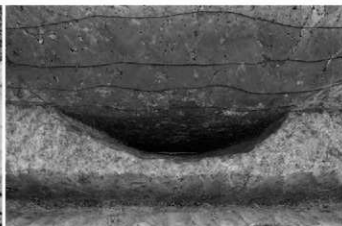
3区 SE94・SX245 土層断面・完掘状況 (北東→南西)



3区 SE215 土層断面 (南西→北東)



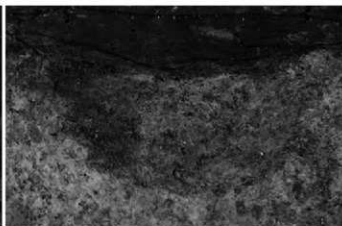
3区 SE215・SD85 完掘状況 (東→西)



3区 SE16 土層断面・完掘状況 (北東→南西)



3区 SK216 土層断面・完掘状況 (南西→北東)



3区 SK180 土層断面・完掘状況 (北東→南西)



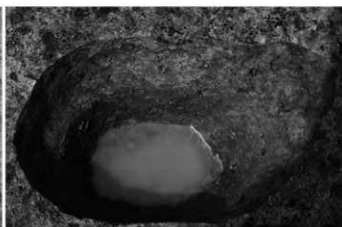
3区 SK177 土層断面・完掘状況 (南東→北西)



3区 SK158 土層断面・完掘状況 (北東→南西)



3区 SK175 土層断面 (南東→北西)



3区 SK175 完掘状況 (南東→北西)



3区 SK174 土層断面 (南→北)



3区 SK174 完掘状況 (南→北)



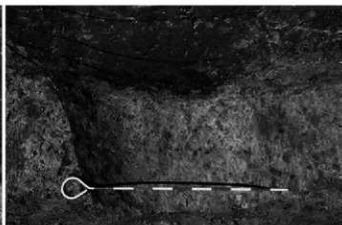
3区 SK157・Pit155・Pit156 土層断面・完掘状況 (南西→北東)



3区 SK106 土層断面・完掘状況 (南西→北東)



3区 SK142 土層断面 (北東→南西)



3区 SK142 完掘状況 (北東→南西)



3区 SK140 土層断面 (東→西)



3区 SK140 完掘状況 (東→西)



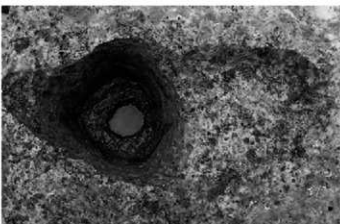
3区 SK138 土層断面 (南東→北西)



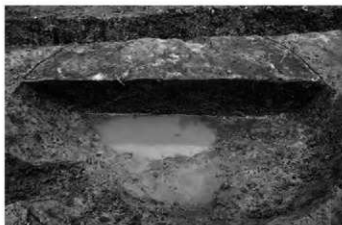
3区 SK138 完掘状況 (南東→北西)



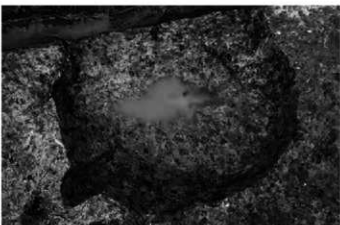
3区 SK131 土層断面 (南西→北東)



3区 SK131 完掘状況 (南西→北東)



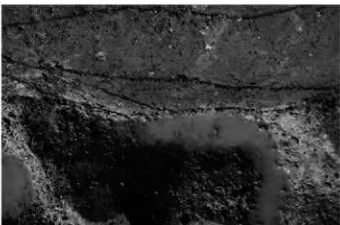
3区 SK125 土層断面 (南西→北東)



3区 SK125 完掘状況 (南西→北東)



3区 SK126 土層断面 (南西→北東)



3区 SK126 完掘状況 (南西→北東)



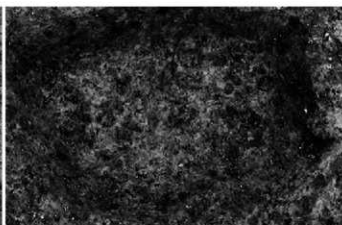
3区 SK124 土層断面 (西→東)



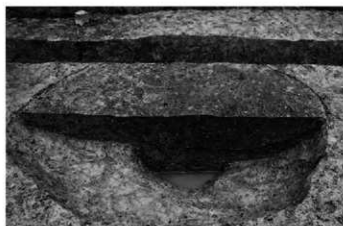
3区 SK124 完掘状況 (西→東)



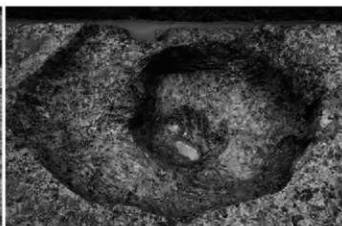
3区 SK123 土層断面 (北→南)



3区 SK123 完掘状況 (北→南)



3区 SK114 土層断面 (北東→南西)



3区 SK114 完掘状況 (北東→南西)



3区 SK104 土層断面 (北西→南東)



3区 SK104 完掘状況 (北西→南東)



3区SK96完掘状況(東→西)



3区SK92土層断面(北東→南西)



3区SK92完掘状況(北東→南西)



3区SK134土層断面(南→北)



3区SK101土層断面・完掘状況(北東→南西)



3区SK84土層断面・完掘状況(南西→北東)



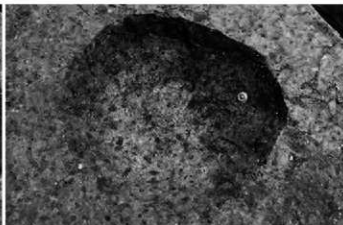
3区SK65土層断面・完掘状況(南西→北東)



3区SK40土層断面・完掘状況(南西→北東)



3区 SK70 土層断面 (北→南)



3区 SK70 完掘状況 (北→南)



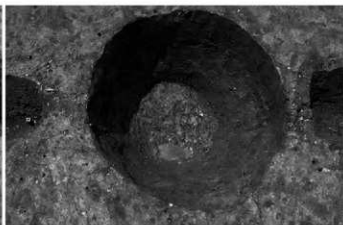
3区 SK45 土層断面 (北→南)



3区 SK45 完掘状況 (北→南)



3区 SK44 土層断面 (北東→南西)



3区 SK44 完掘状況 (北東→南西)



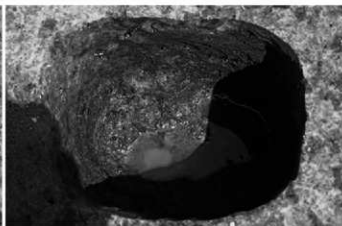
3区 SK37 土層断面 (東→西)



3区 SK37 完掘状況 (東→西)



3区 SK36 土層断面 (南→北)



3区 SK36 完掘状況 (南→北)



3区 SK22 土層断面 (西→東)



3区 SK22 完掘状況 (西→東)



3区 SK2 土層断面 (南東→北西)



3区 SX113 土層断面・完掘状況 (北東→南西)



3区 SX182 土層断面 (北東→南西)



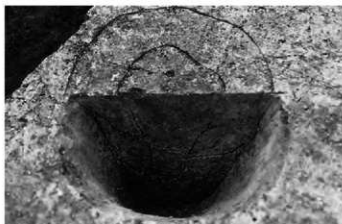
3区 SX182 完掘状況 (北東→南西)



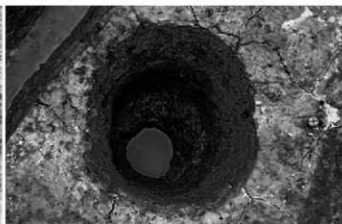
3区 SX181 土層断面 (南西→北東)



3区 SX181 完掘状況 (北東→南西)



3区 Pit148 土層断面 (東→西)



3区 Pit148 完掘状況 (東→西)



3区 Pit135 土層断面 (南西→北東)



3区 Pit135 完掘状況 (南西→北東)



3区 Pit39 土層断面・完掘状況 (北東→南西)



3区 SD233 土層断面 (北東→南西)



3区 SD233 完掘状況 (北東→南西)



3区 SD230 土層断面 (北東→南西)



3区 SD230 完掘状況 (東→西)



3区 SD234 土層断面 (南西→北東)



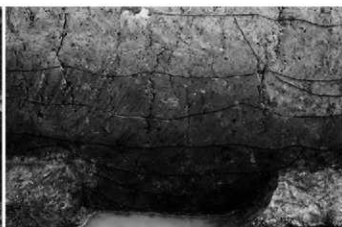
3区 SD234 完掘状況 (西→東)



3区 SD228 土層断面 A (北東→南西)



3区 SD228 土層断面 B (北東→南西)



3区 SD227 土層断面 A (北東→南西)



3区 SD227 土層断面 B (東→西)



3区 SD227・SD228 完掘状況 (東→西)



3区 SD238 完掘状況 (北東→南西)



3区 SD211 土層断面 B (東→西)



3区 SD211 土層断面 C (南西→北東)



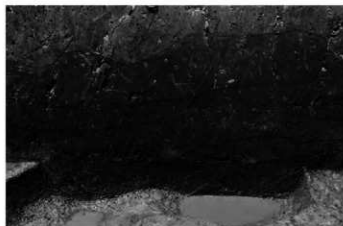
3区 SD211 完掘状況 (東→西)



3区 SD178 土層断面 (北東→南西)



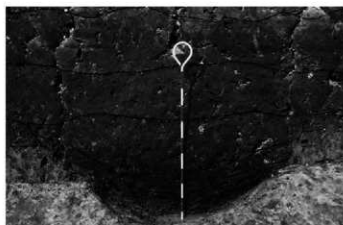
3区 SD178 完掘状況 (北→南)



3区 SD166・SK197 土層断面 A (北東→南西)



3区 SD166 土層断面 B (南西→北東)



3区 SD162 土層断面 A (北東→南西)



3区 SD162 土層断面 B (南西→北東)



3区 SD162・SD166 完掘状況 (北→南)



3区 SD152 土層断面 B (南西→北東)



3区 SD152・SK154 完掘状況 (南西→北東)



3区 SD89・SE212 土層断面 A (北東→南西)



3区 SE212 完掘状況 (北東→南西)



3区 SD89 土層断面 B (南東→北西)



3区 SD89・SK134 完掘状況 (東→西)



3区 SD86・SD87 土層断面 A (北東→南西)



3区 SD86・SD87 土層断面 B (南西→北東)



3区 SD86・SD87 土層断面 C (南西→北東)



3区 SD86・SD87 完掘状況 (南西→北東)



3区 SD81 土層断面 A (北東→南西)



3区 SD81 土層断面 B (西→東)



3区 SD81 土層断面 C (南西→北東)



3区 SD81 完掘状況 (東→西)



3区 SD76 土層断面 A (北東→南西)



3区 SD76 土層断面 B (南西→北東)



3区 SD76 完掘状況 (北東→南西)



3区 SD46 土層断面 A (北東→南西)



3区 SD46 土層断面 B (南西→北東)



3区SD46完掘状况(北东→南西)



3区SD43土層断面(南东→北西)



3区SD43完掘状况(南东→北西)



3区SD1土層断面A(北东→南西)



3区SD1土層断面B(南东→北西)



3区SD1·SK2完掘状况(南东→北西)



3区SD71土層断面B(南西→北东)



3区SD71土層断面C(北西→南东)



3区 SD71 土層断面 D (北東→南西)



3区 SD71 土層断面 E (南西→北東)



3区 SD71 土層断面 F (北東→南西)



3区 SD71 完掘状況 (北→南)



3区 SD57・SD246 土層断面 A (北東→南西)



3区 SD58 土層断面 A (北東→南西)



3区 SD59 土層断面 A (北東→南西)



3区 SD60 土層断面 A (北東→南西)



3区 SD60 土層断面 B (南西→北東)



3区 SD59 土層断面 B (南西→北東)



3区 SD58 土層断面 B (南西→北東)



3区 SD57・SD246 土層断面 B (南西→北東)



3区 SD57・SD246 完掘状況 (南西→北東)



3区 SD58 完掘状況 (南西→北東)



3区 SD59 完掘状況 (南西→北東)



3区 SD60 完掘状況 (南西→北東)



4区基本層序 A (北東→南西)



4区基本層序 D (北東→南西)



4区基本層序 E (北東→南西)



4区基本層序 G (北東→南西)



4区基本層序 I (北東→南西)



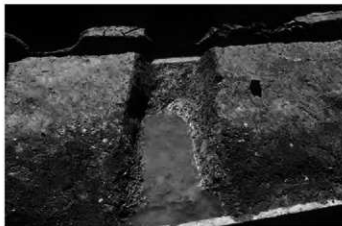
4区基本層序 L (北東→南西)



4区 SK14 土層断面 (北東→南西)



4区 SD15 土層断面 (北東→南西)



4区 SK14・SD15 完掘状況 (北東→南西)



4区 SK11 土層断面・完掘状況 (北東→南西)



4区 SK10 土層断面 (北東→南西)



4区 SK10 完掘状況 (北東→南西)



4区 SX39 土層断面・完掘状況 (北東→南西)



4区 SX44 土層断面 (南東→北西)



4区 SX44 完掘状況 (南東→北西)



4区 Pit47 土層断面・完掘状況 (北東→南西)



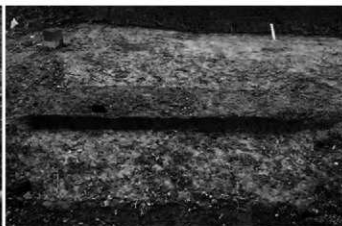
4区 SD43 土層断面 (北東→南西)



4区 SD43 完掘状況 (北→南)



4区 SD41 土層断面 (北東→南西)



4区 SD41 土層断面 (北東→南西)



4区 SD41 完掘状況 (北東→南西)



4区 SD40 土層断面・完掘状況 (北東→南西)



4区 SD38 土層断面 (北東→南西)



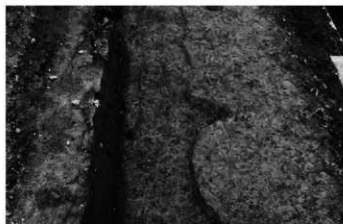
4区 SD38 完掘状況 (北→南)



4区 SD33 土層断面 A (北西→南東)



4区 SD33 土層断面 B (北西→南東)



4区 SD32 完掘状況 (南東→北西)



4区 SD32 土層断面 (北東→南西)



4区 SD32 完掘状況 (北東→南西)



4区 SD29・SD30・SD46 土層断面 (北東→南西)



4区 SD29 完掘状況 (東→西)



4区 SD28 土層断面・完掘状況 (北東→南西)



4区SD23完掘状況(東→西)



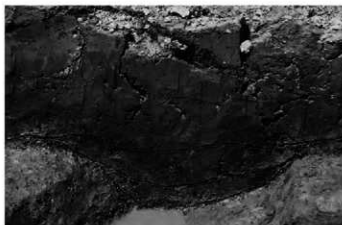
4区SD18土層断面(北東→南西)



4区SD18完掘状況(北→南)



4区SD17土層断面A(北東→南西)



4区SD17土層断面B(北西→南東)



4区SD17完掘状況(北→南)



4区SD16土層断面(北東→南西)



4区SD16完掘状況(北→南)



4区 SD12・SD13 土層断面 (北東→南西)



4区 SD12 完掘状況 (北東→南西)



4区 SD13 完掘状況 (北→南)



4区 SD2 土層断面 B (東→西)



4区 SD2・SD50 土層断面 C (南西→北東)



4区 SD50・SX49 完掘状況 (北東→南西)



4区 SD1 土層断面 (北東→南西)



4区 SD1 完掘状況 (北→南)





古代土器、中世陶磁器（青磁、白磁、中世土師器、瀬戸・美濃焼）



中世陶器1（珠洲焼・北越窯産陶器）



中世陶器2 (珠洲焼・珠洲系陶器)



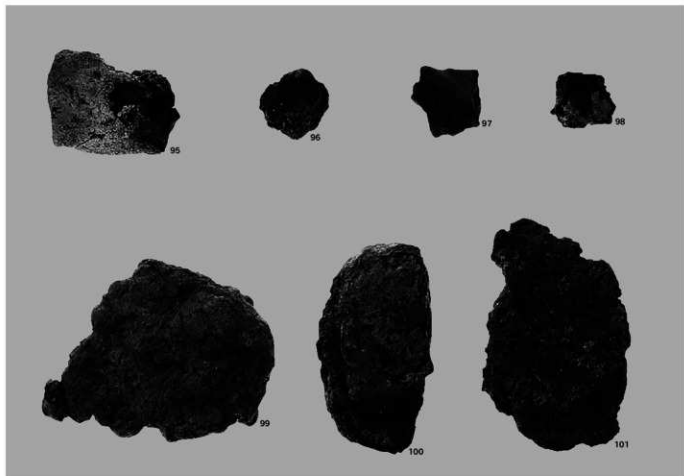
中世陶器3 (珠洲焼)



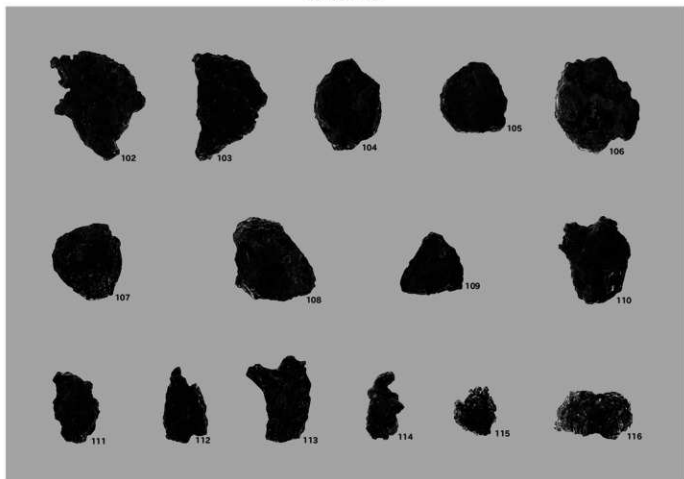
中世陶器4 (珠洲焼・北越窯産陶器)



転用研磨具、鉄製品



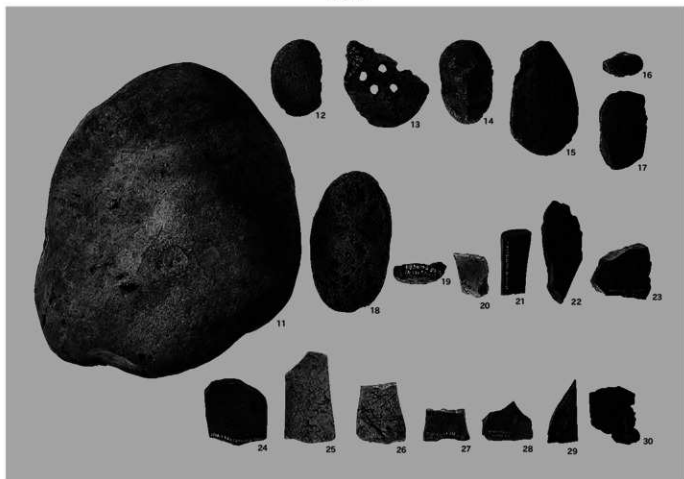
鍛冶関連遺物1



鍛冶関連遺物2



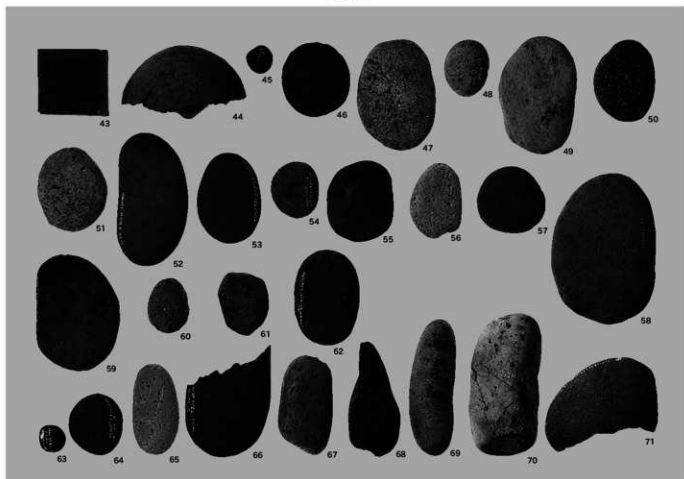
石製品1



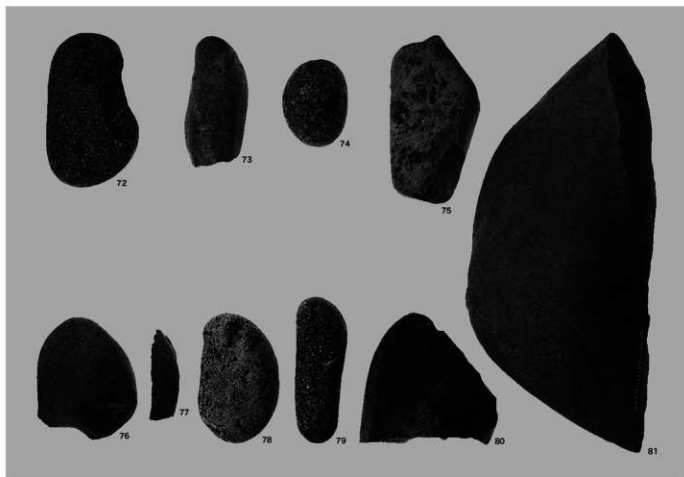
石製品2



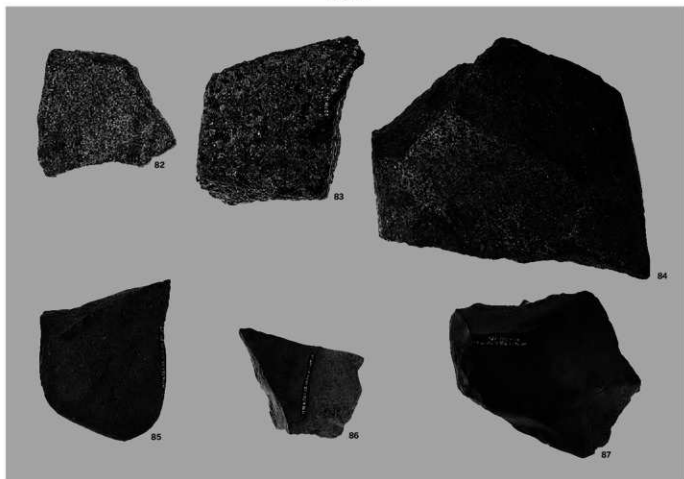
石製品3



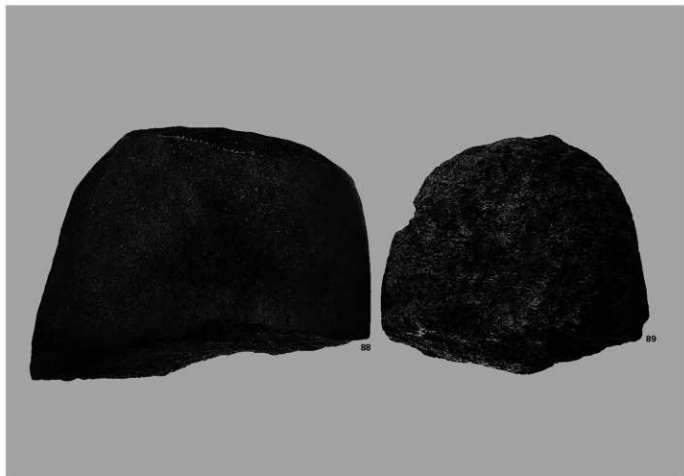
石製品4



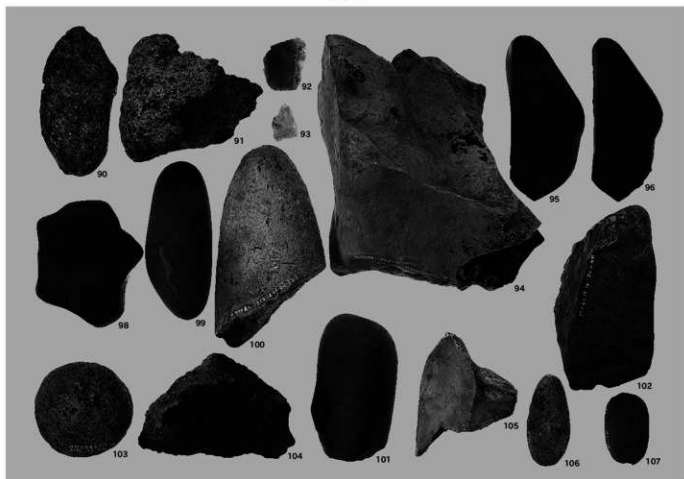
石製品5



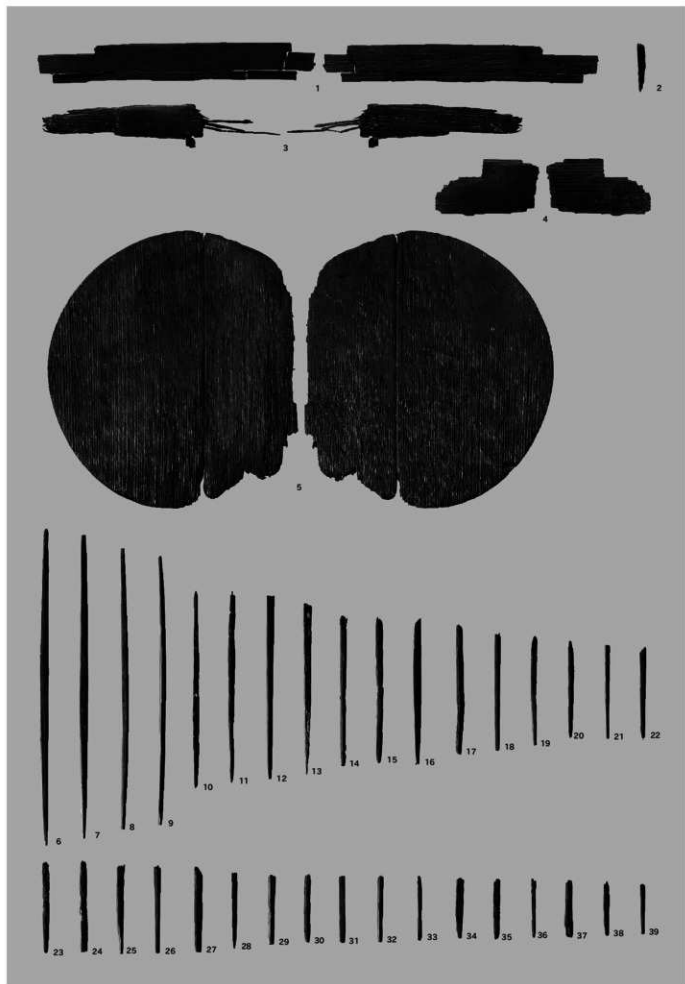
石製品6



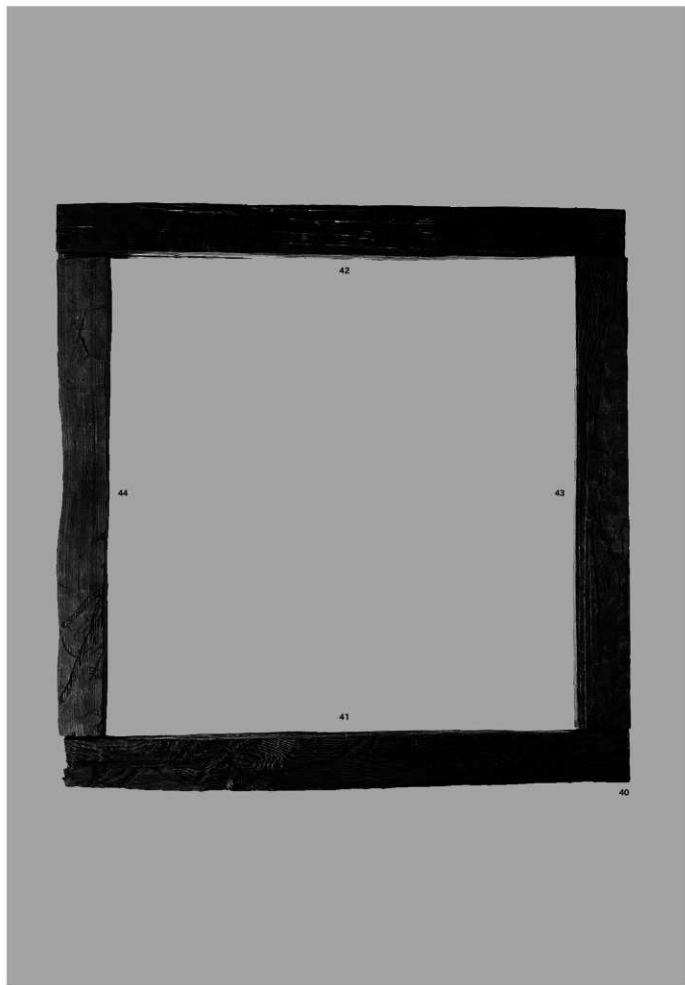
石製品7

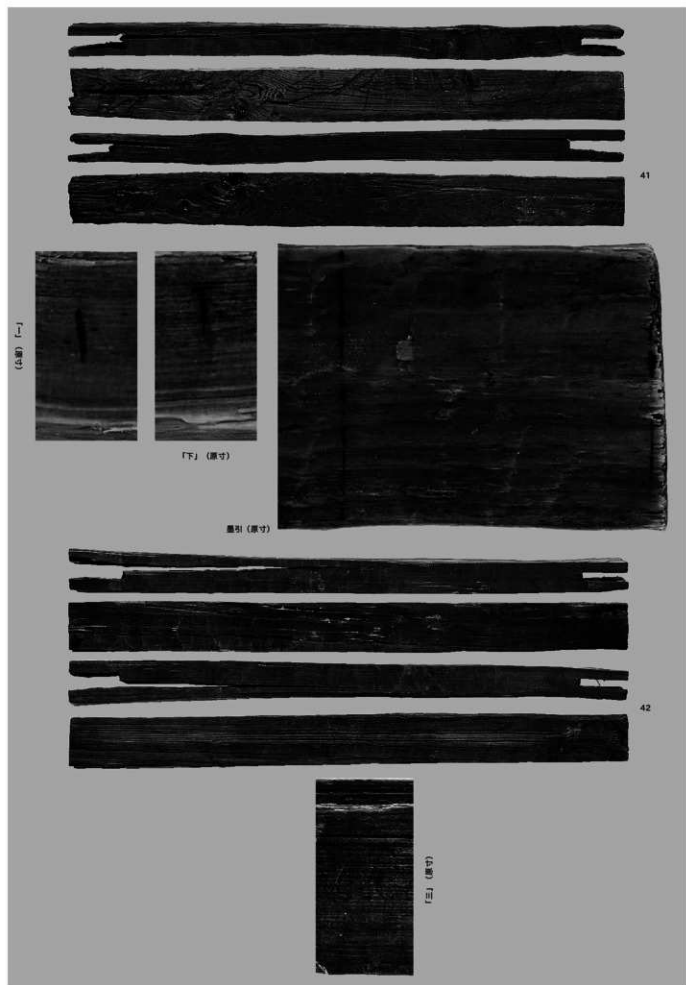


石製品8



2区 SE14 (1・2) 、SE328 (3~5) 、SE612 (6~39)







43



「下」(原寸)



「二」(原寸)



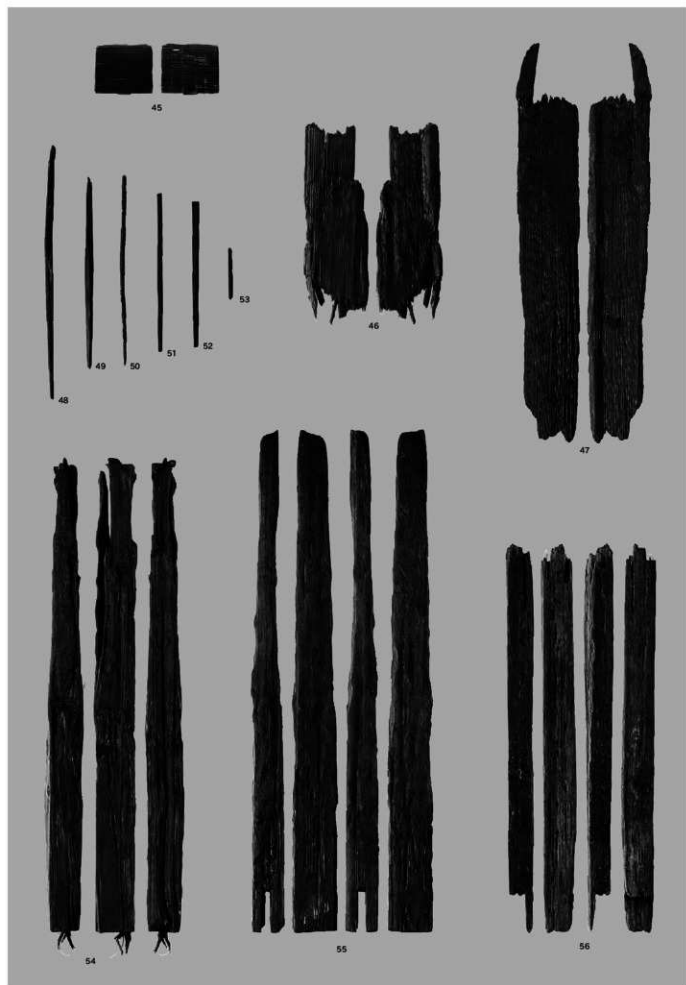
44



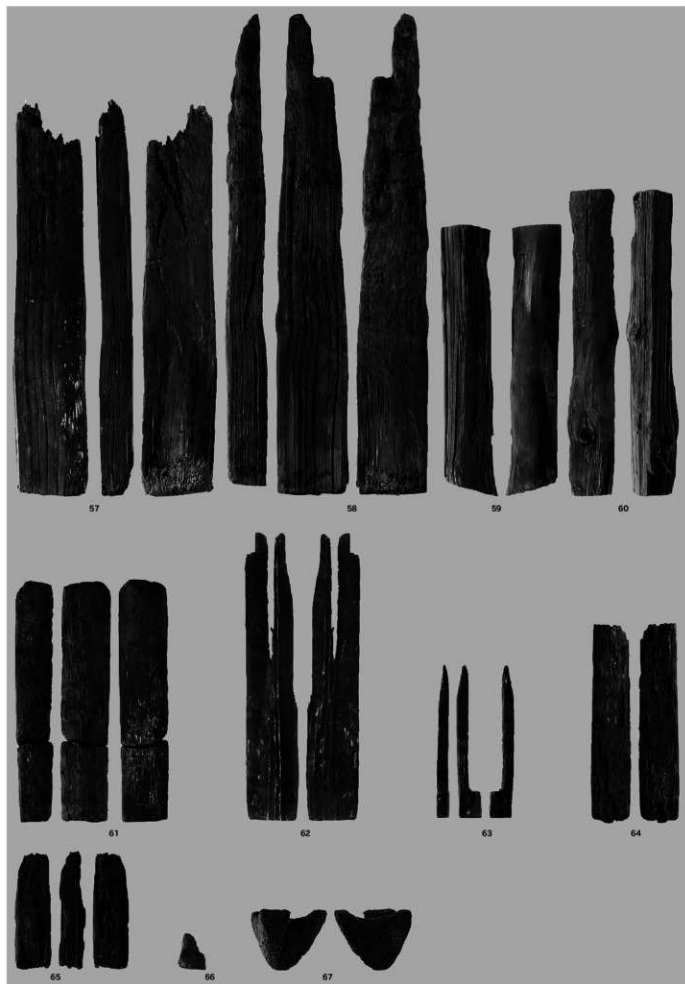
「四」(原寸)



(上)「一」(原寸)



2区 SE800 (45~56)



2区 SE800 (57~66)・Pit690 (67)

報告書抄録

ふりがな	ほそいけてらみちうえいせき さん だいにじゅうろくじちようさ							
書名	細池寺道上遺跡Ⅲ 第26次調査							
副書名	県営ほ場整備事業（担い手育成型）両新地区に伴う第12次発掘調査報告書							
シリーズ名	新潟市埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号								
編著者名	立木宏明・相澤（高野）裕子・株式会社火山灰考古学研究所							
編集機関	新潟市文化スポーツ部 文化財センター							
所在地	〒950-1122 新潟市西区木場2748番地1 TEL.025-378-0480							
発行年月日	2014年7月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積 ㎡	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
細池寺道上遺跡	新潟県新潟市 秋葉区大安寺字 土手外80-1 番地ほか	15105	151	37° 47' 55"	139° 09' 51"	20080610～ 20080927	2,911.5㎡	県営ほ場整備事業
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
細池寺道上遺跡	集落遺跡	平安時代・鎌倉時代・室町時代（12世紀後半～13世紀前半、13世紀末葉～15世紀前半）		井戸・土坑・性格不明遺構・溝・畝状小溝・小土坑・掘立柱建物、道路状遺構		須志器・土師器・青磁・白磁・瀬戸美濃焼・珠洲焼・珠洲系陶器・北越窯産陶器・越前焼・常滑焼・中世土師器・鉄製品・鍛冶関連遺物・石製品・木製品		
要約	<p>細池寺道上遺跡は阿賀野川左岸の微高地上に立地し、早出川合流地点の北1.5kmに位置する。平安時代の須志器・土師器がわずかに出土しているが、出土物の大半は鎌倉時代・室町時代に所属するものであり、12世紀後半～13世紀前半と13世紀末葉～15世紀中葉を中心とした集落遺跡である。調査区は4か所にわたる。1区では畝状小溝の存在から耕作地と思われる範囲が確認でき、ムギ類やイネを栽培していた可能性が高い。その後は雨落ち溝を伴う副付の掘立柱建物や側柱建物が建てられる。2区では2群に大別できる建物群が復元でき、その後は道路状遺構が南北と東西に構築される。3・4区は狭小な道路用地内の調査区であるため様相は不明な点が多いが、遺構の分布状況から区画された集落の一部と思われる。道路状遺構の存在により阿賀野川と沿岸の集落を結ぶ交通の一端を担った遺跡であると考えられる。</p>							

細池寺道上遺跡Ⅲ 第26次調査

— 県営ほ場整備事業（担い手育成型）両新地区に伴う第12次発掘調査報告書 —

2014年7月30日印刷
2014年7月31日発行

編集 新潟市文化財センター
〒950-1122 新潟市西区木場2748番地1
TEL. 025 (378) 0480

発行 新潟市教育委員会
〒951-8550 新潟市中央区学校町通一番町602番地1
TEL. 025 (228) 1000

印刷・製本 株式会社ウィザップ
〒950-0963 新潟市中央区南出来島2丁目1番25号
TEL. 025 (285) 3311